品川区こども計画の策定に向けた区民意識調査
報告書

令和7年3月

品川区　子ども育成課

目次

調査の概要 1

１．調査の目的 1
２．調査対象 1
３．調査方法 1
４．調査時期 1
５．回収状況 1
６．報告書の見方 2

Ⅰ　就学前児童保護者 3

１．家族の住まいについて 3
２．子どもと家族の状況について 4
３．教育環境 8
４．保護者の就労状況 15
５．平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 33
６．地域の子育て支援事業の利用状況 47
７．土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 56
８．子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育の利用者のみ） 62
９．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 73
１０．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度 90
１１．小学校就学後の放課後の過ごし方（生年月日が平成 31 年４月１日以前の場合） 109
１２．家庭での子育てや日頃感じていること 126
１３．自由記述 135

Ⅱ　小学生保護者 142

１．家族の住まいについて 142
２．子どもと家族の状況について 143
３．教育環境 146
４．保護者の就労状況 158
５．小学校就学後の放課後の過ごし方 168
６．「すまいるスクール（学童保育）」について 183
７．子どもの居場所について 188
８．いじめや不登校について 195
９．ヤングケアラーについて 198
１０．家庭での子育てや日頃感じていること 199
１１．自由記述 207

III　中学生 212

1．回答者の属性 212
2．家族との関係 214
3．自分自身のこと、悩みごと、相談先について 217
4．学校での生活や友達について 224
5．普段の過ごし方や地域の活動について 227
6．将来について 234
7．ヤングケアラーについて 238
8．子どもの権利について 240

IV　若者 246

1．回答者の属性 246
2．自分自身のこと、悩みごと、相談先について 249
3．学校での生活や友達について 256
4．仕事について 259
5．普段の過ごし方や地域の活動について 262
6．将来について 269
7．ヤングケアラーについて 273
8．子どもの権利について 275

資料編（調査票） 280

1．就学前児童保護者 280
2．小学生児童保護者 294
3．中学生 304
4．若者 312

調査の概要

１．調査の目的

「（仮）品川区こども計画」の策定にあたり、子ども・若者、子育て当事者の状況やニーズをより的確に踏まえた実効性のある計画とするために、計画の対象となる子ども・若者や子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるため調査を実施しました。

２．調査対象

①就学前児童保護者

品川区在住の小学校就学前児童の保護者　2,000 人

②小学生保護者

品川区在住の小学生の子どもを持つ保護者　2,000 人

③中学生

品川区在住の中学校・義務教育学校（後期課程）に通学する中学生　1,000 人

④若者

品川区在住の高校生世代から 39 歳の若者　2,000 人

３．調査方法

郵送配布、郵送回収及びインターネット回答によるアンケート調査

４．調査時期

令和６年６月

５．回収状況

	配布数	有効回収数	有効回答率
①就学前児童保護者	2,000	882	44.1%
②小学生保護者	2,000	891	44.6%
③中学生	1,000	298	29.8%
④若者	2,000	483	24.2%

※インターネット回答率は、

①55.4%（489）、②56.7%（505）、③35.2%（105）、④47.0%（227）

※前回調査（令和４年）は①就学前児童保護者 7,000 人を対象に実施し、回収率は 53.9%

６．報告書の見方

・　基数となるべき実数（ｎ）は、設問に対する回答数を表します。
・　各設問の集計は無回答を除いて集計しています。
・　就学前児童保護者における「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しません。
・　集計した数値（％）は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で 100％にならないことがあります。
・　回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100％超えます。
・　調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。

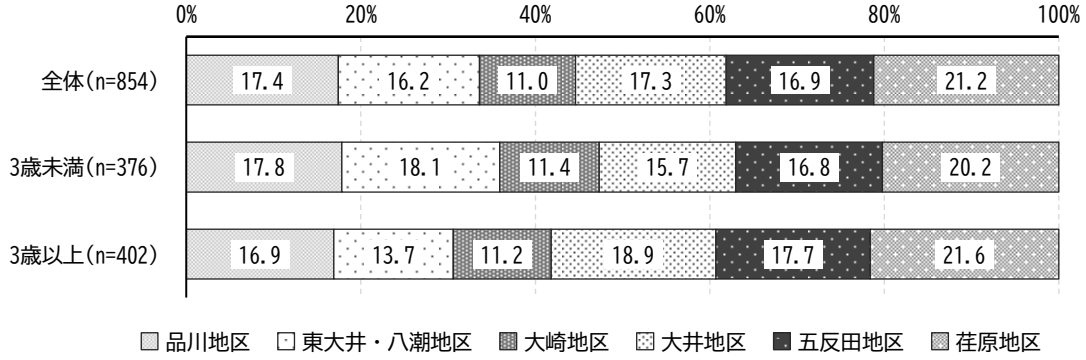
Ⅰ　就学前児童保護者

１．家族の住まいについて

（1）居住地区

問１　お住まいの地区をお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上いずれも、「荏原地区」が他に比べて２割程度とやや多く、「大崎地区」が少なくなっている。これら以外の４地区はほぼ同じ割合となっている。

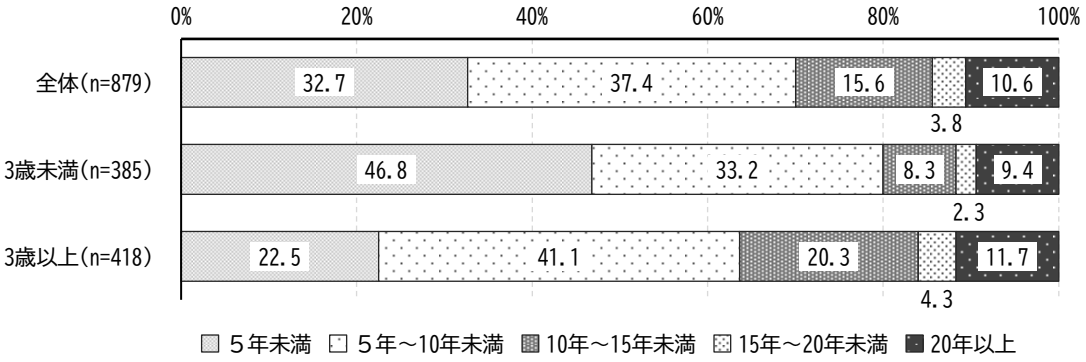


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）居住年数

問１-１　品川区に居住して何年になりますか。(□内に数字（１枠に１字）をご記入ください)

３歳未満は「５年未満」が最も多く 46.8%、３歳以上は「５年～10 年未満」が最も多く 41.1%となっている。



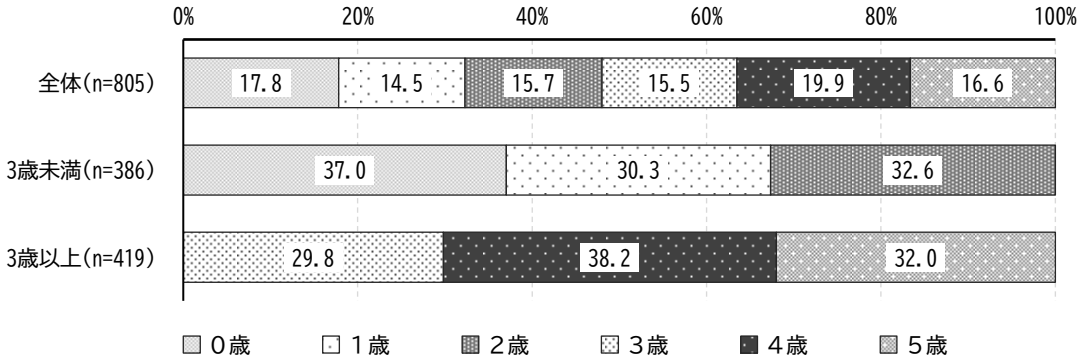
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

２．子どもと家族の状況について

（1）お子様の年齢

問２　お子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

３歳未満は「０歳」37.0%、「２歳」32.6%、「１歳」30.3%、
３歳以上は「４歳」38.2%、「５歳」32.0%、「３歳」29.8%の順となっている。



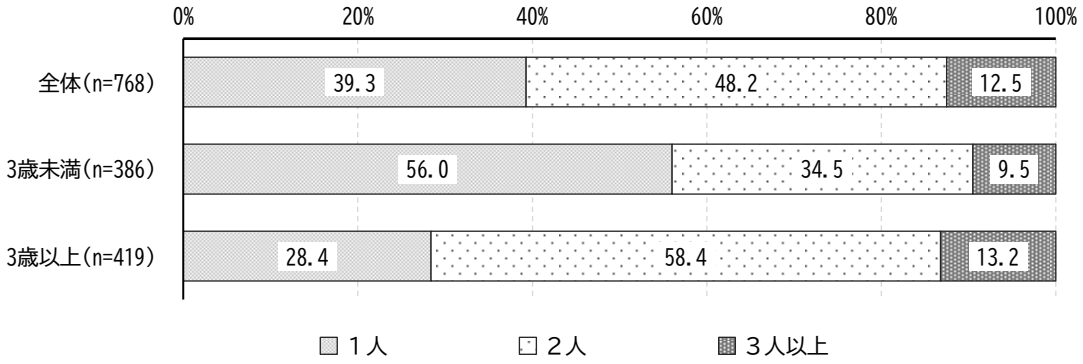
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）きょうだいの人数

問３　お子さんのきょうだいは何人いますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。
２人以上のお子さんがいる場合は、末子の生年月をご記入ください。
（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

【子どもの人数】

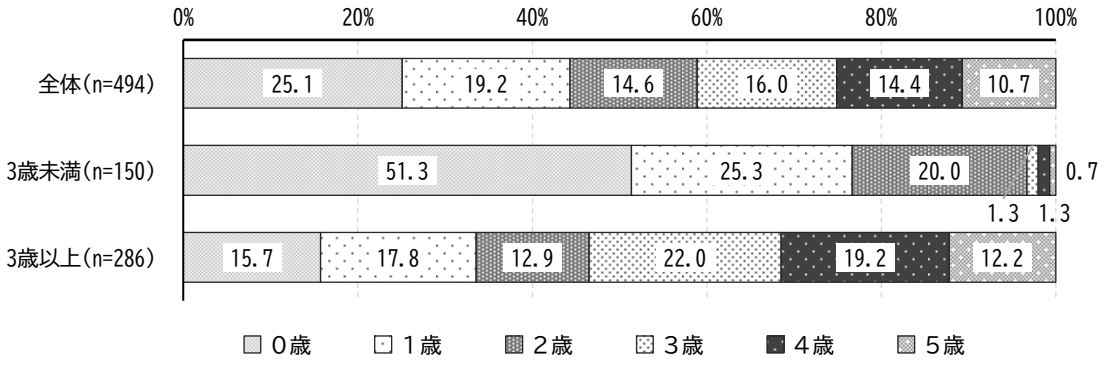
３歳未満は「１人」が 56.0%と最も多く、３歳以上は、「２人」が 58.4%と最も多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【末子の年齢】

３歳未満は「0 歳」が 51.3%と最も多く、３歳以上は「３歳」が 22.0%と最も多くなっている。

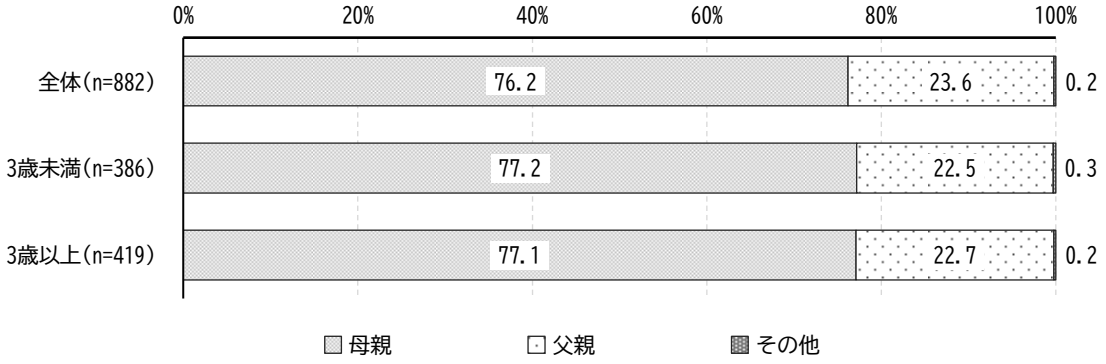


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（3）調査票回答者

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「母親」が７割以上を占めている。

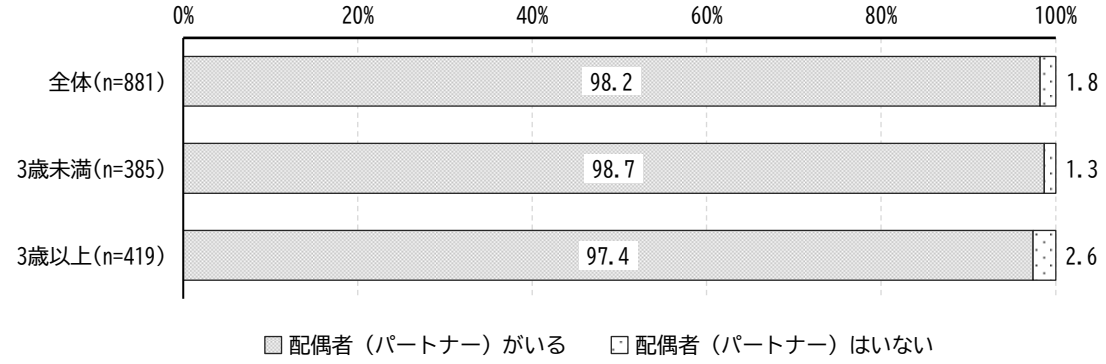


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（4）回答者の配偶関係

問５　この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「配偶者（パートナー）がいる」が９割以上を占めている。

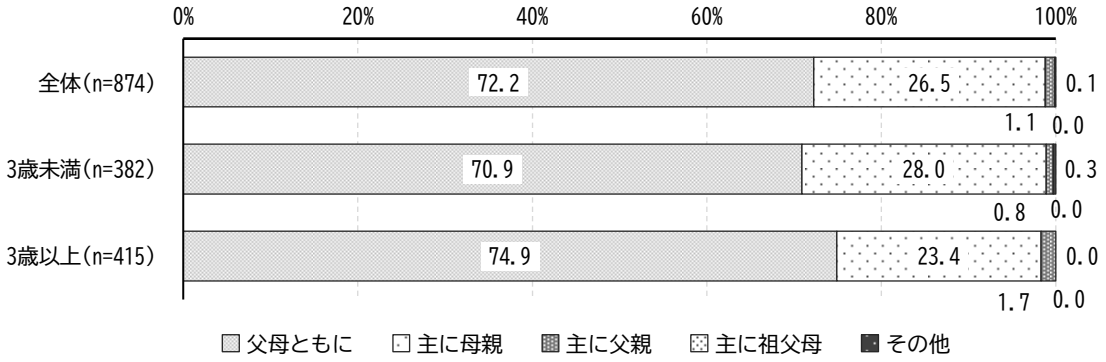


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（5）子育てを主に行っている人

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「父母ともに」が７割を占めている。次いで「主に母親」が約３割程度となっている。

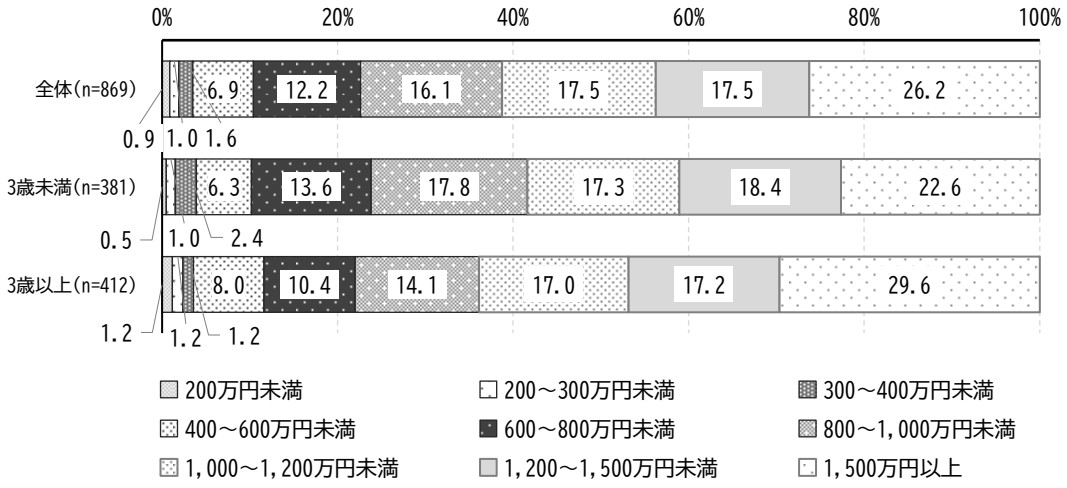


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（6）世帯年収

問７　あなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入」を教えてください。（手当、養育費、生活保護費などを含む）なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「1,500 万円以上」が２割以上と最も多く、次いで「1,200～1,500 万円未満」が２割弱となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

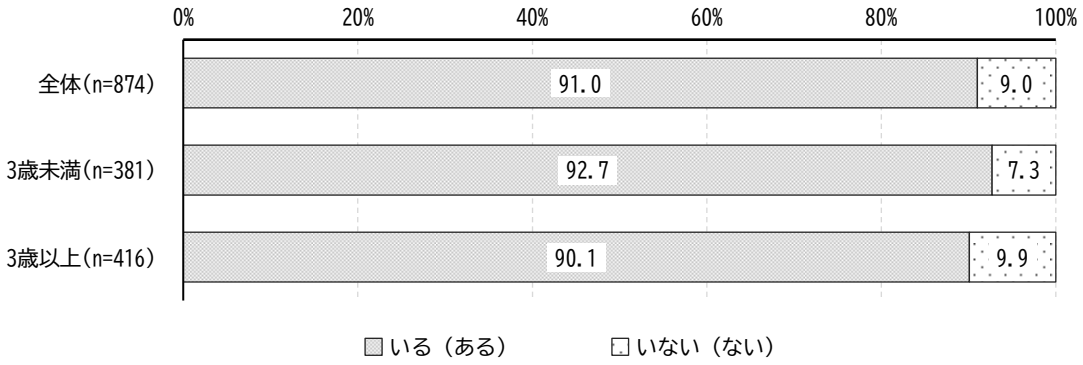
３．教育環境

（1）子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無

問８　お子さんの子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。

【相談できる人の有無】

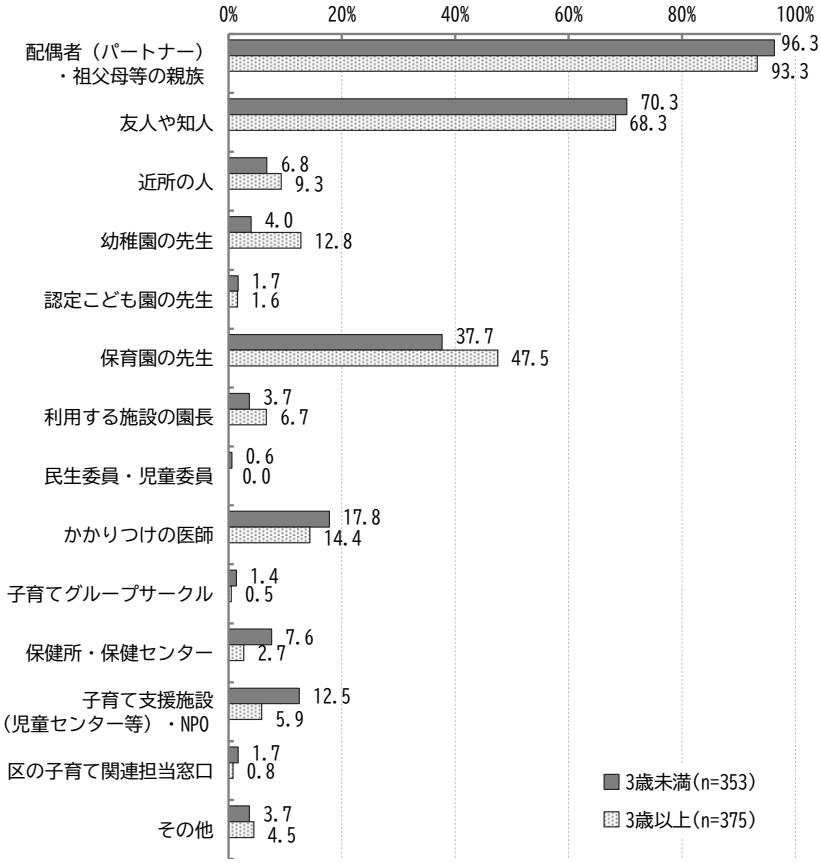
３歳未満・３歳以上ともに、「いる（ある）」が９割を超えている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【相談相手】

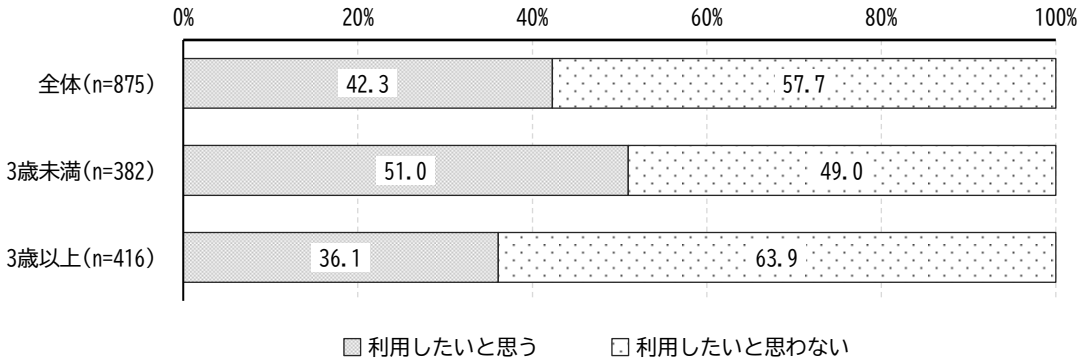
３歳未満・３歳以上ともに、「配偶者（パートナー）・祖父母等の親族」が９割を超えて最も多く、次いで「友人や知人」が約７割、「保育園の先生」が４割程度となっている。



（２）オンライン相談について

問９　子育て相談に関して、オンラインで相談できれば利用したいと思いますか。（１つを選択）

３歳未満は「利用したいと思う」が 51.0%とやや多く、３歳以上は「利用したいと思わない」が 63.9%と多くなっている。



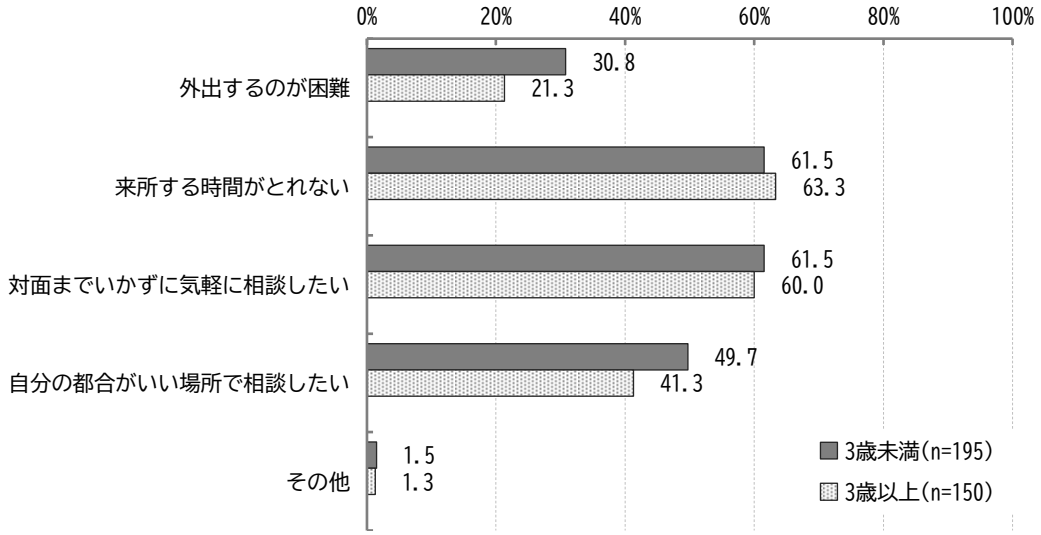
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

問９で、「１．利用したいと思う」を選んだ方に伺います。

（3）オンライン相談が必要な状況

問９－１　オンラインで相談が必要だと思う状況をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「来所する時間がとれない」と「対面までいかずに気軽に相談したい」が６割を超えて多く、次いで「自分の都合がいい場所で相談したい」が４割を超えている。

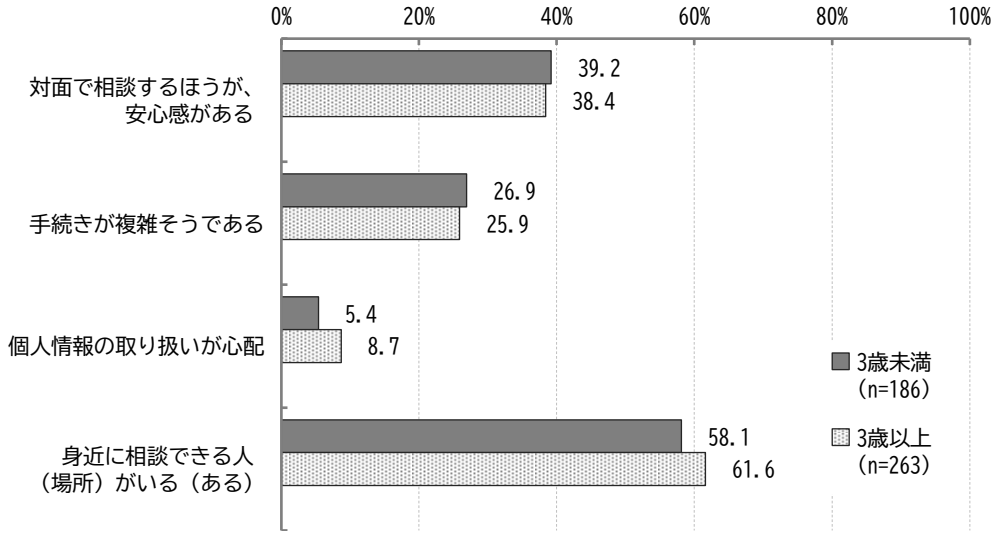


問９で、「２．利用したいと思わない」を選んだ方に伺います。

（４）利用したいと思わない理由

問９－２　利用したいと思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

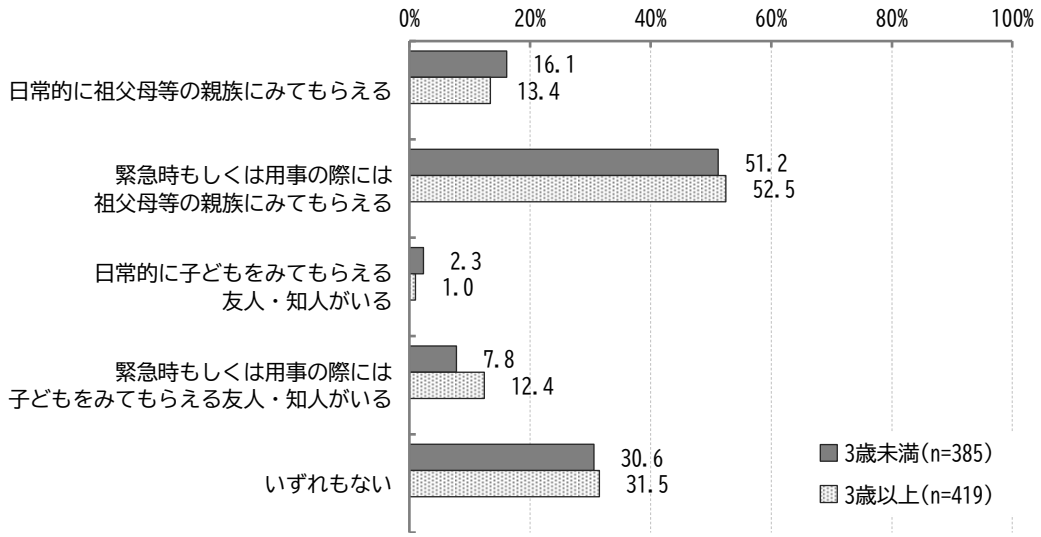
３歳未満・３歳以上ともに、「身近に相談できる人（場所）がいる（ある）」が６割前後と最も多く、次いで「対面で相談するほうが、安心感がある」が４割程度、「手続きが複雑そうである」が３割弱となっている。



（５）日頃子どもを見てもらえる親族・知人

問１０　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が５割以上と最も多く、次いで「いずれもない」が３割を占めている。



（6）周囲からどのようなサポートが必要か

問１１　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	● 兄弟を同じ保育園等に必ず登園できるようにしてほしい。 ● 保育園に預けるハードルを下げてほしい。育休、土日出勤など。 ● リフレッシュ目的での保育園利用。 ● 勤務時間が多様になっているため、24 時間保育や日曜祝日も保育園を開園してほしい。
評価	● 復職するために保育園へ預けていますが、それが結果的に子育ての大きなサポートになっており、預けられてよかった。

情報提供	
要望	● 情報が多いので、選択が難しい。アンケート等に答えて、最適なものを提示してくれるサービス等があるとうれしい。 ● おすすめの教育法、栄養面でのアドバイス、周囲のおすすめの設備や環境、保育園や幼稚園の情報など。 ● 同年代の子供を持つ親同士での座談会や、教育の専門家の方からのおうち知育についての講座
意見	● わざわざ広報を探しに行く必要があり、不便。
評価	● 母子手帳の交付時に品川区の子育て施設や制度を掲載した冊子により、能動的な情報提供が助かった。

相談支援	
要望	● 地域センターで区の子育て関連（保育園申請など）の相談ができると良い。 ● 悩みを相談して客観的なアドバイスがほしい。 ● 年齢ごとの発達目安や必要なことを相談したい。
意見	● 品川区おむつ見守り便のスタッフには、相談できてありがたかったが、１歳までということで利用できなくなり残念。
評価	● すくすく赤ちゃん訪問を利用して健康など自宅で相談できて、とても良かった。

幼児教育	
要望	● 区立幼稚園を３年生にしてほしい。 ● 無料で習い事体験させてほしい。 ● 学習支援システム。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

病児保育事業	
要望	● 病児保育の充実 ● 当日予約可能な病児保育サービス
意見	● 病児保育は実質（利用条件が厳しい）利用できず、両親は遠方なので、体調不良時は仕事を休むしかない。 ● 病児保育の手続き準備が面倒で、気軽に利用できない。 ● 既存の病児保育は少なくすぐ埋まってしまう。

一時預かり事業	
要望	● 当日預かり可能の一時保育があれば利用したい。 ● オアシスルームの登録が完了している家庭には空きがある場合、当日でも予約可能にしてほしい。急な場合に対応してくれる人が本当に必要。 ● 急用のときに一時的に預かってもらえるサービス。 ● 病気の際や私事での一時預かりの拡充。 ● 土日でも兄弟で一緒に預けられる区のサービスがもっとたくさんほしい。
意見	● 短時間の預かりがあれば気軽に利用できる（おむつなどはその場で支払いができ、手ぶらで行けると良い） ● 何かあったら預かってもらえる場所が少なく不安
評価	● オアシスルームがとても便利で助かっている。

地域子育て支援拠点事業	
要望	● 児童センターなど、子どもが遊べる場所があると助かる。 ● 児童センターのような子どもを自由に遊ばせられる場所がほしい。特に日曜に空いている場所を増やしてほしい。
意見	● 児童センターは空きがなく預けられない。
評価	● 児童センターには姉弟ともにお世話になっています。 ● 品川区は児童センター等施設利用や子供向け各種イベントなど充実していると思う。

子育てに関する援助（子育て援助活動支援事業等）	
要望	● 習い事などのファミサポの送迎サポートの充実。 ● ファミサポのサービス内容をもう少し広げてほしい。 ● 定期ではなく不定期(突発)でもファミサポを利用できるようにしてほしい。 ● ファミサポはありがたいが、中々予約取りにくいので、人員が増えてほしい
意見	● 提供会員が少なすぎて、実質機能していない。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

所得制限、助成金等	
要望	● ベビーシッターに助けてもらっているのでこの助成金は続けてほしい。 ● 家事を外注する時の支援金 ● 所得制限のない、家事代行サービスの補助。 ● 世帯収入に関係ない保育料。
意見	● 収入制限も設けず、ひとり親には親身に寄り添ってほしい。
評価	● 保育料無料はありがたい。その分、小学校へ上がってからの負担が大きい。

放課後児童健全育成事業	
要望	● すまいるよりももう少し学業や体験に特化した学童 ● 手続き的に利用しやすい学童

時間外保育事業	
要望	● 土日に親の仕事以外でも気軽に預け、保育できるサポート ● 気軽に土日に預かってくれるところ

子育て短期支援事業	
要望	● ショートステイの利用条件をゆるくしてほしい。自分が入院しても、出張ではないので使えないと言われ、利用にためらいが出る。

進学・教育関連	
要望	● 義務教育の間は平等な教育を受けられる環境。 ● 夏休みに集まれる公営の塾のような場所 ● 進学について早めに教えてくれるサイト

その他	
要望	● 韓国語でのサポート ● 双子でベビーカーが必要。エスカレーターはあっても、エレベーターがない。新馬場駅南口にエレベーターがほしい。バスにも断られる時があるので、できるだけ改善してほしい。 ● 必要な時にタイムリーにサポートしてもらえること。事前に予約することができない時に気兼ねなく頼めるとよい。 ● ドゥーラのサービス、シッターのサービスがとても助かるので、拡充してほしい。 ● かかりつけの小児科が 24 時間年中無休で開いていたら安心 ● 積極的な声かけ、行政による能動的なサポート ● 支援級や支援学校に通う子どもの長期休暇中の預け先
意見	● 良いサポートが分からない

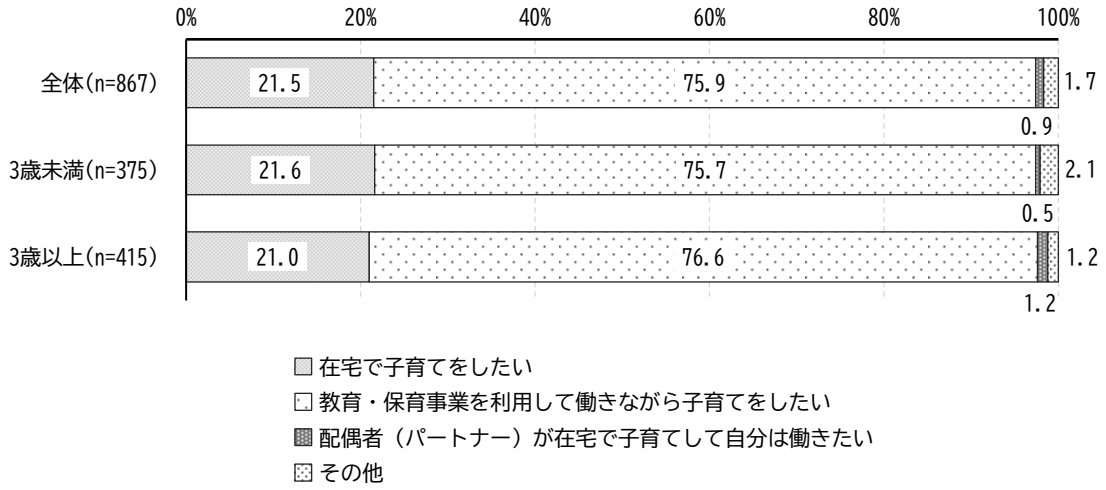
４．保護者の就労状況

（1）子育てや就労についての考え方

問１２　お子さんの保護者は子育てと就労についてどのような希望がありますか。
（それぞれ１つを選択）

【①母親／子育て・就労の希望】

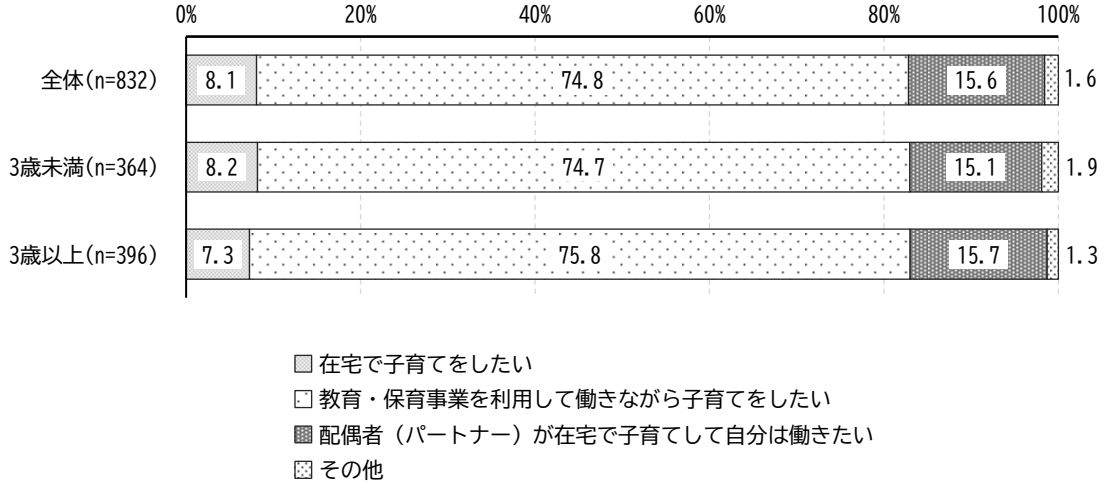
３歳未満・３歳以上ともに、「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が７割以上と最も多く、次いで「在宅で子育てをしたい」が２割を占めている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②父親／子育て・就労の希望】

３歳未満・３歳以上ともに、「教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい」が７割以上と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が在宅で子育てして自分は働きたい」が２割弱を占めている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）就労状況

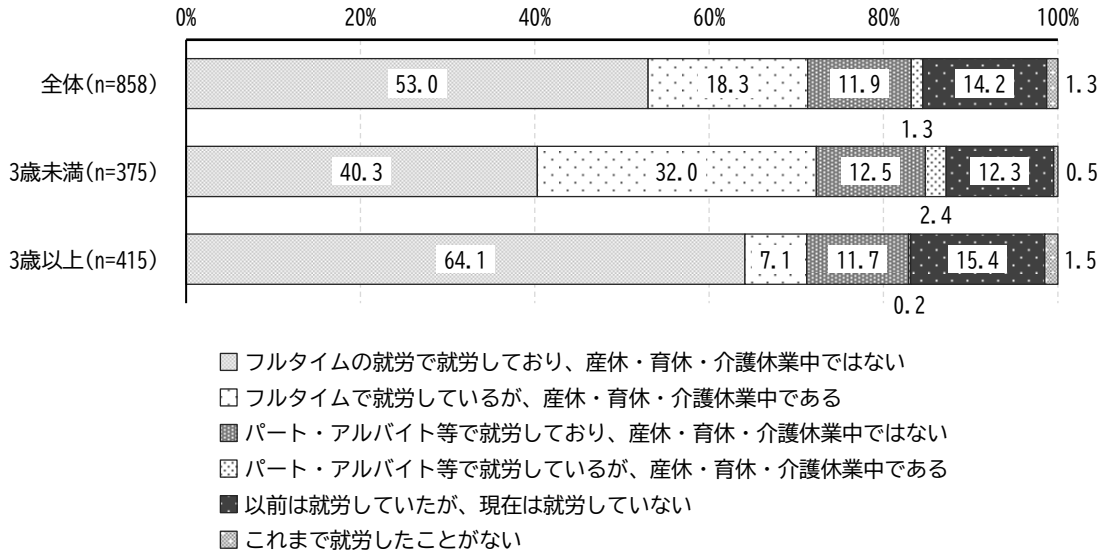
問１３　　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

問１３－１　保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

【①母親／就労状況】

３歳未満・３歳以上ともに、「フルタイムの就労で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっている。

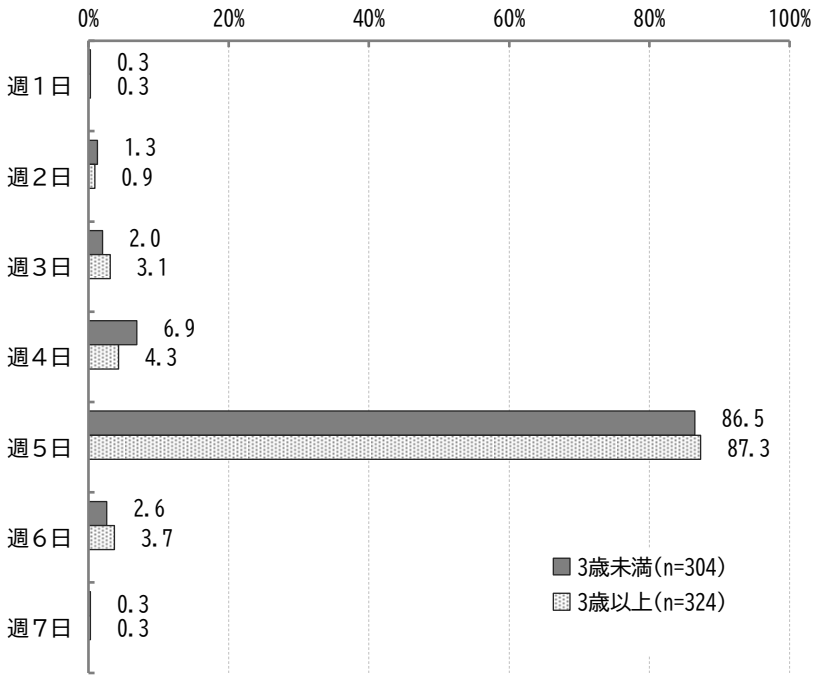
次いで、３歳未満では、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 32.0%、３歳以上では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 15.4%となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

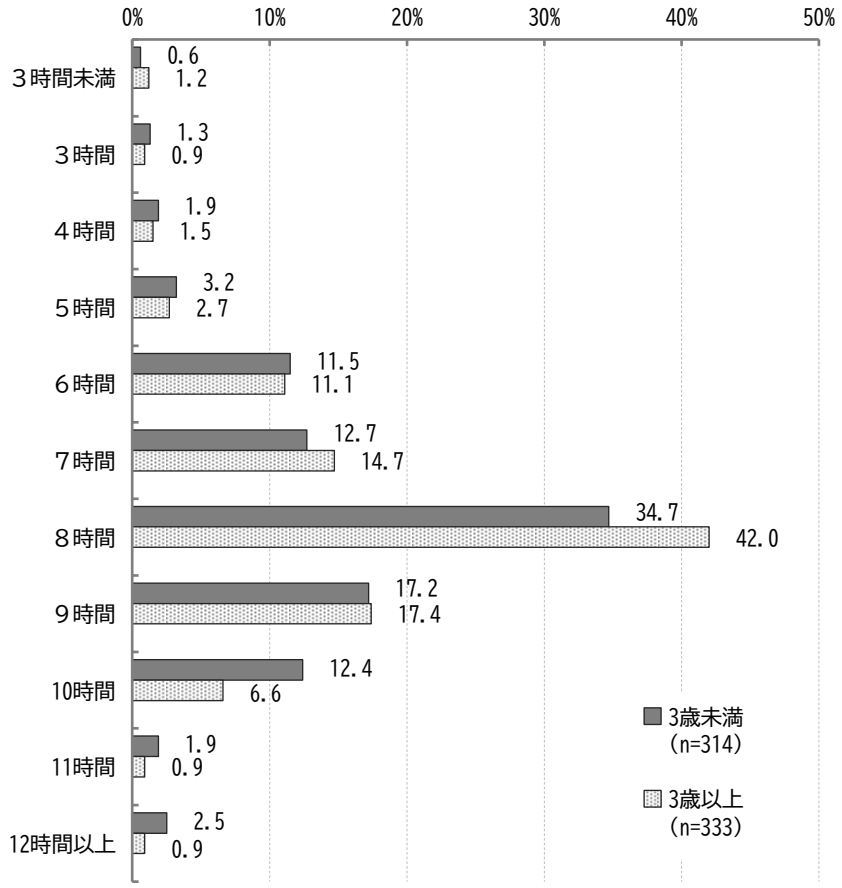
【②母親／１週あたりの就労日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週５日」が８割台で最も多くなっている。



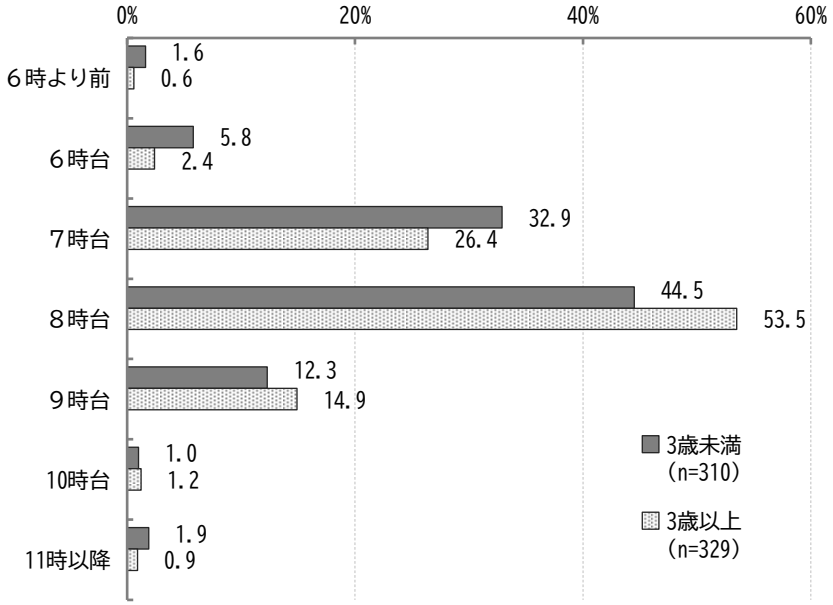
【③母親／１日あたりの就労時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時間」が３割以上と最も多くなっている。



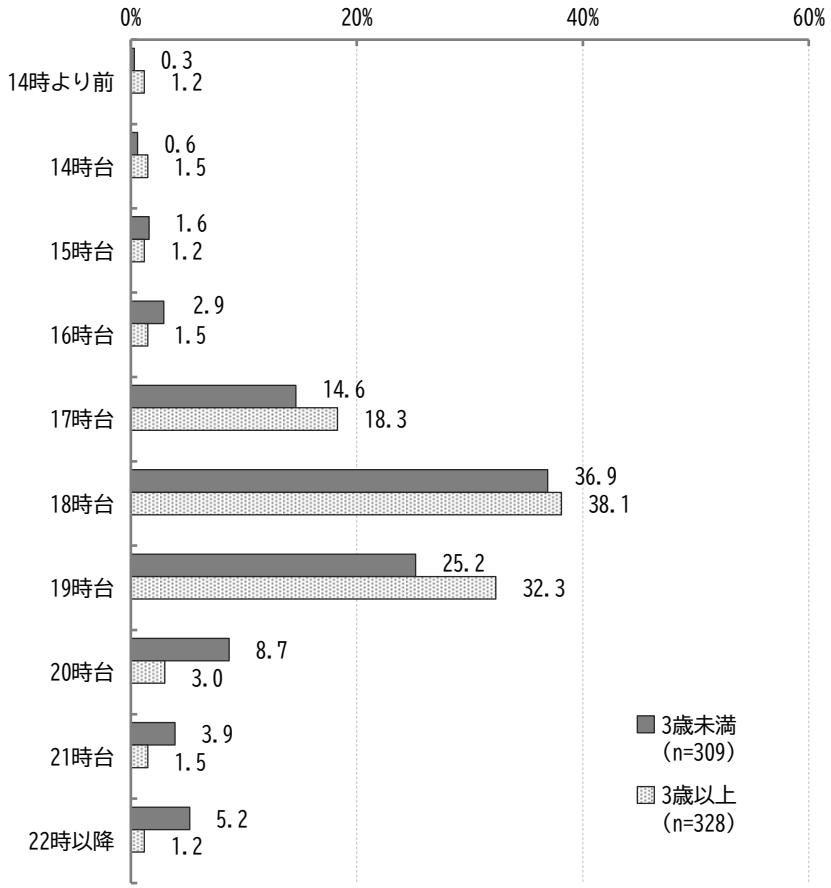
【④母親／家を出る時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時台」が４割以上と最も多く、次いで「７時台」が３割前後となっている。



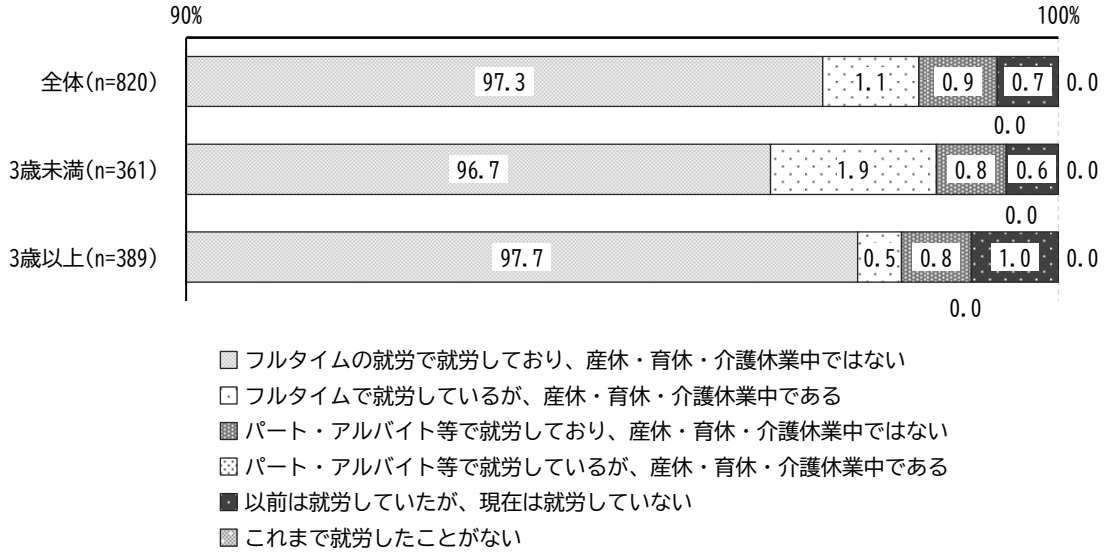
【⑤母親／帰宅時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「18 時台」が４割弱と最も多く、次いで「19 時台」が３割前後となっている。



【⑥父親／就労状況】

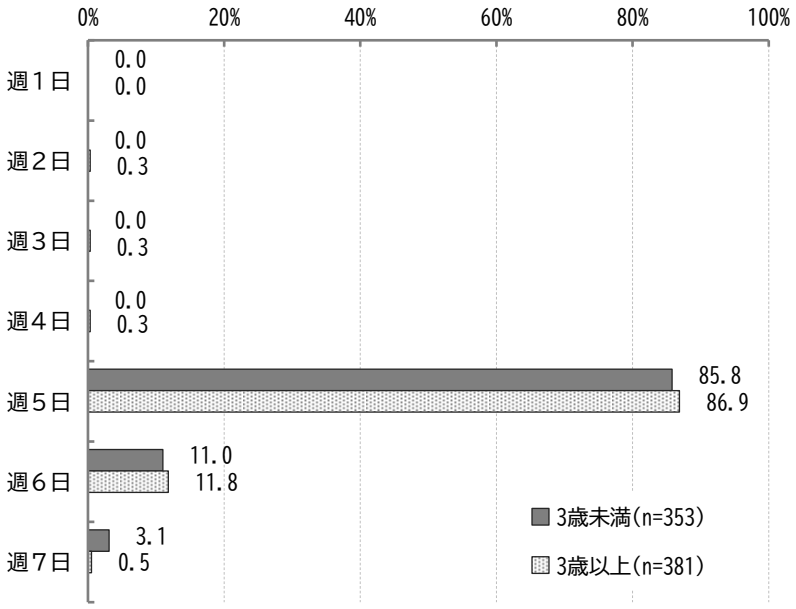
３歳未満・３歳以上ともに、「フルタイムの就労で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95%を超え最も多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

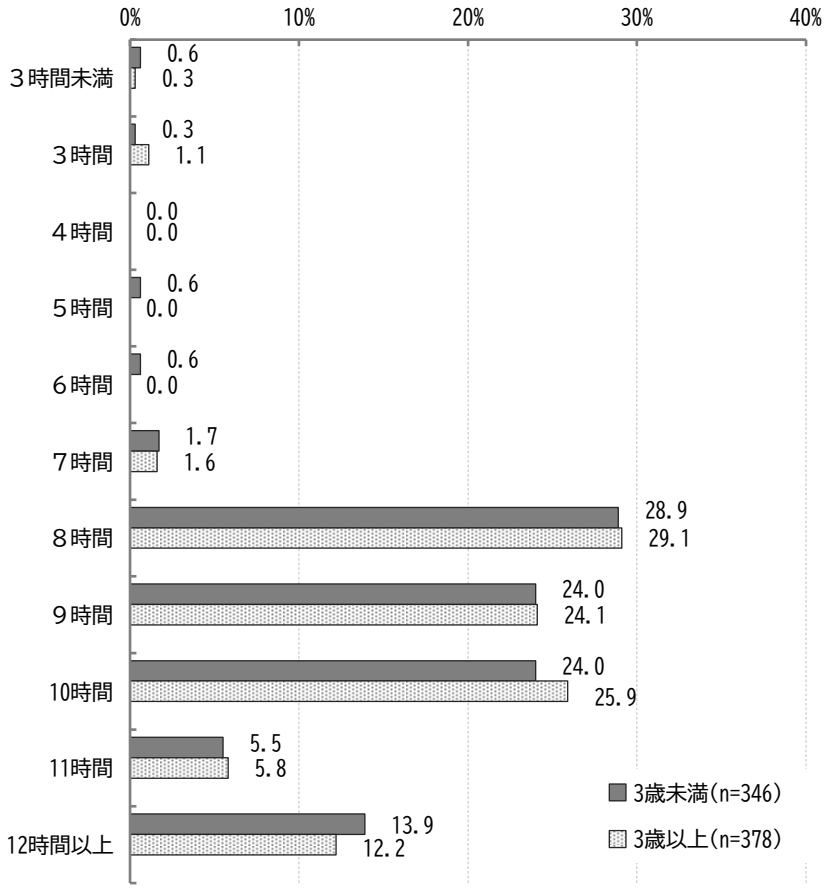
【⑦父親／１週あたりの就労日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週５日」が８割台で最も多く、次いで「週６日」が１割程度となっている。



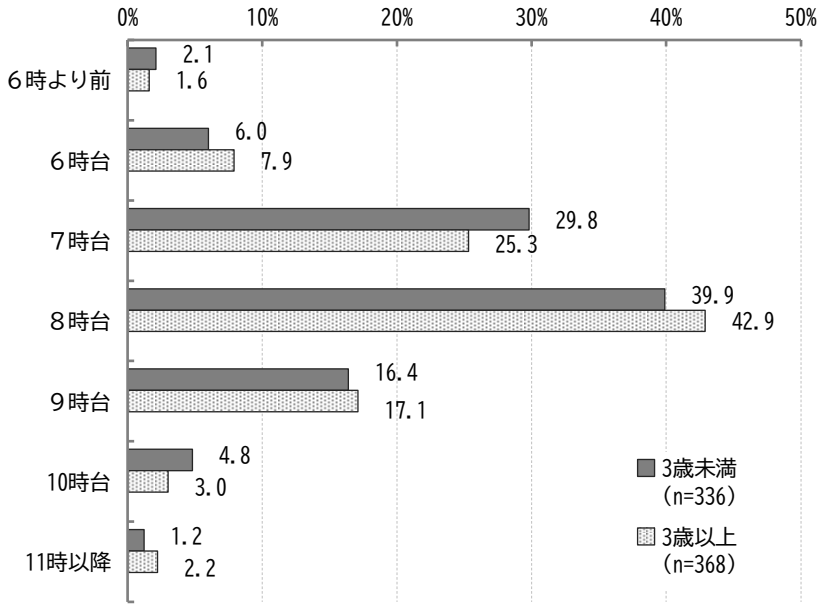
【⑧父親／１日あたりの就労時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時間」が３割程度と最も多く、次いで「10 時間」「９時間」が２割を超えている。



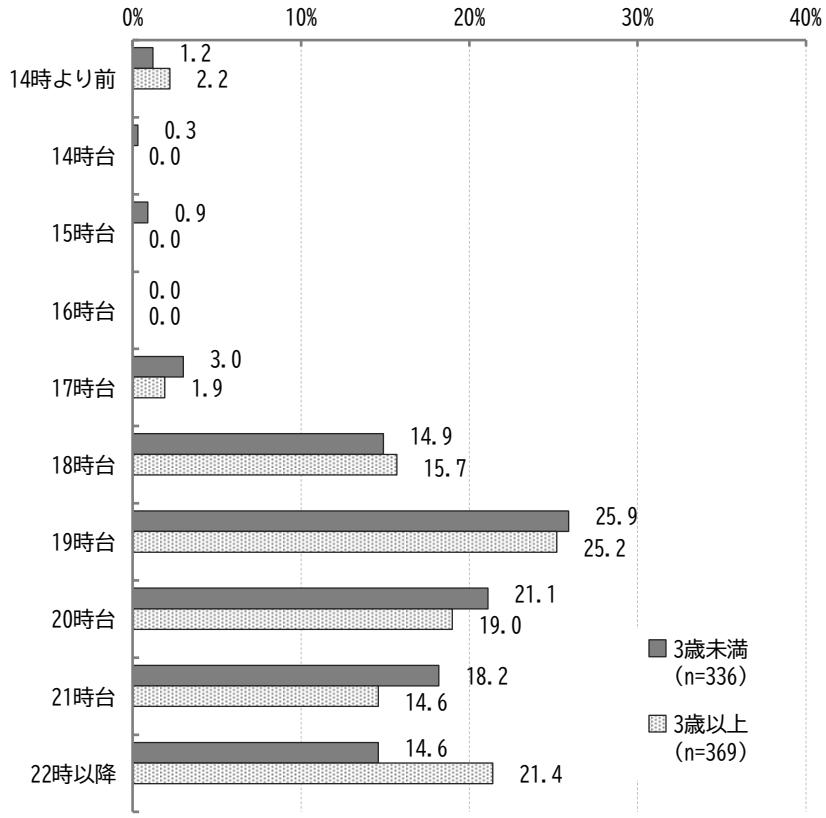
【⑨父親／家を出る時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時台」が４割前後と最も多く、次いで「７時」が３割弱となっている。



【⑩父親／帰宅時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「19 時台」が 25.0%超えと最も多くなっている。
次いで、３歳未満では「20 時台」が 21.1%、３歳以上では「22 時以降」が 21.4%となっている。



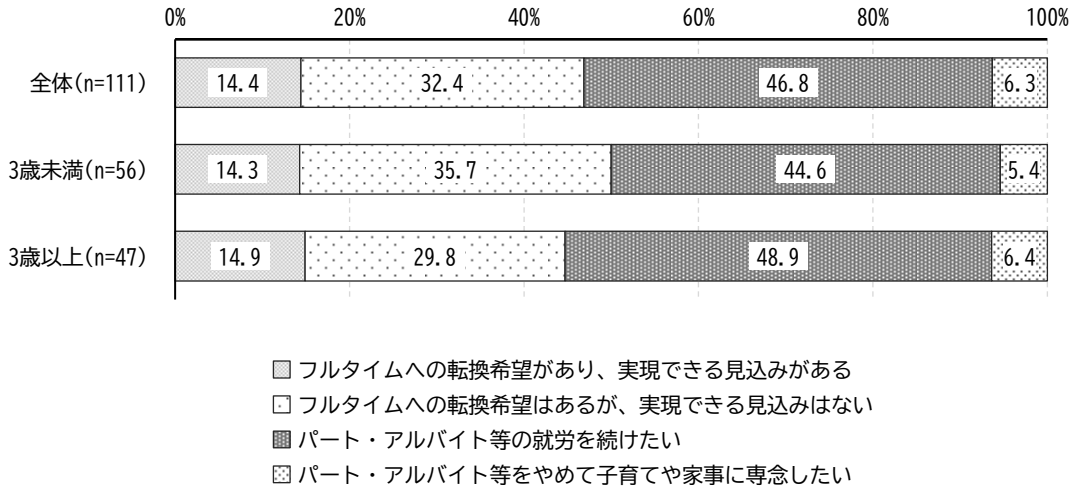
問１３－１で、「3.パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方に伺います。

（3）フルタイムへの転換希望

問１３－２　フルタイムへの転換希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号１つを選択、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

【①母親／フルタイムへの転換希望】

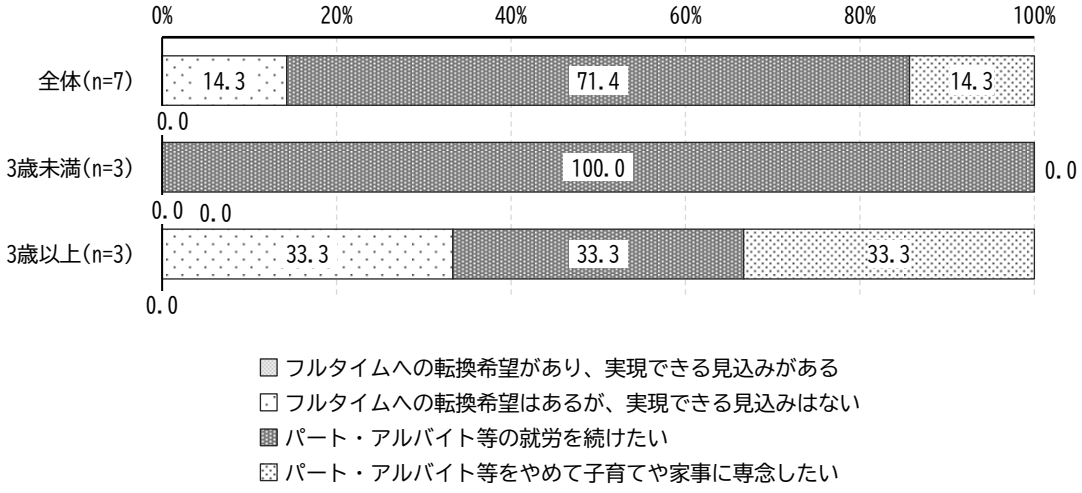
３歳未満・３歳以上ともに、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が５割弱最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が３割前後となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②父親／フルタイムへの転換希望】

回答が少ないため、あくまで参考情報であるが、３歳未満では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 100%となっている。３歳以上では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けたい」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が同数となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

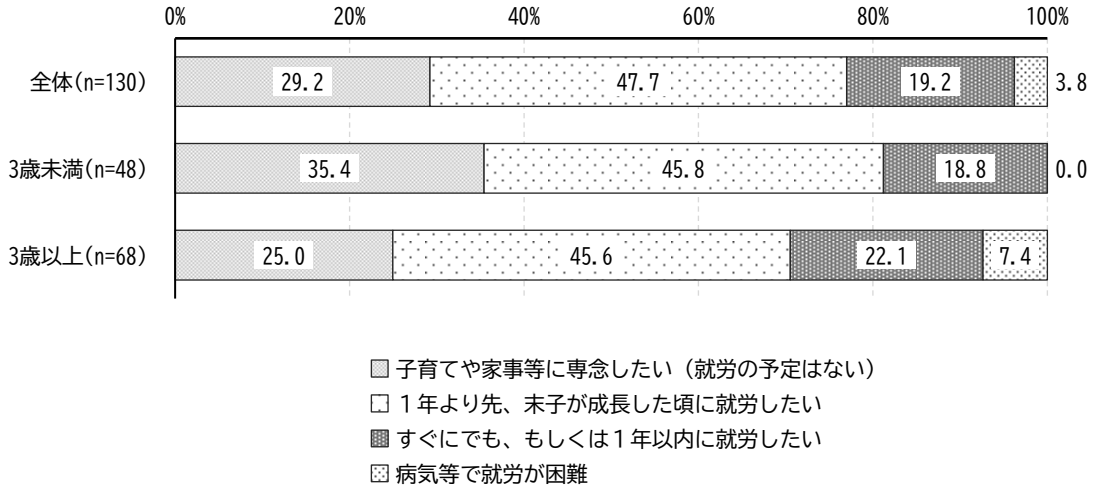
問１３－１で、「５.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６.これまで就労したことがない」を選んだ方に伺います。

（４）就労希望

問１３－３　就労したい希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号１つを選択、
□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

【①母親／就労希望】

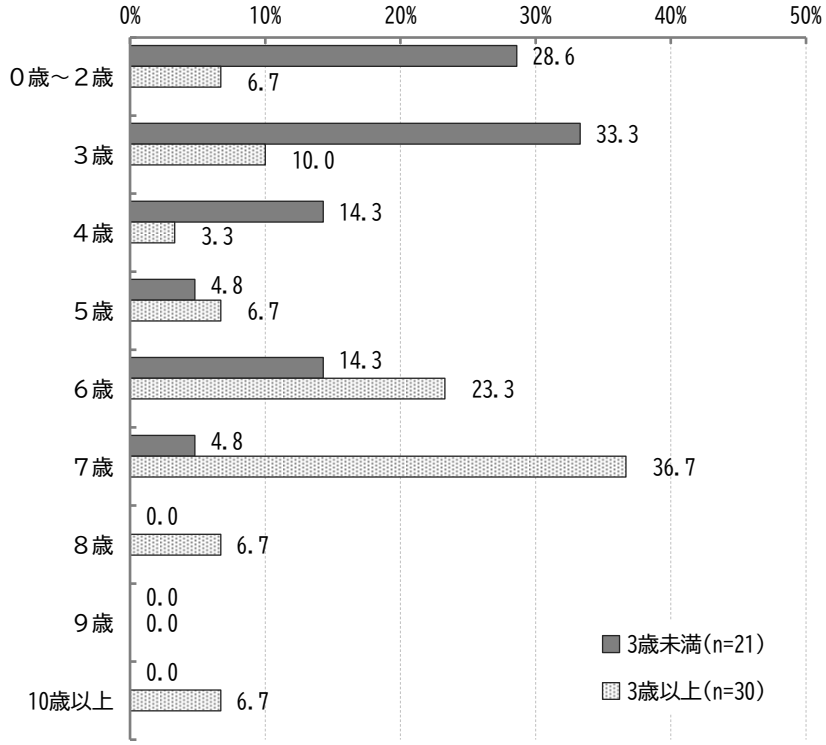
３歳未満・３歳以上ともに、「１年より先、末子が成長した頃に就労したい」が５割弱と最も多く、次いで「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が３割前後となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

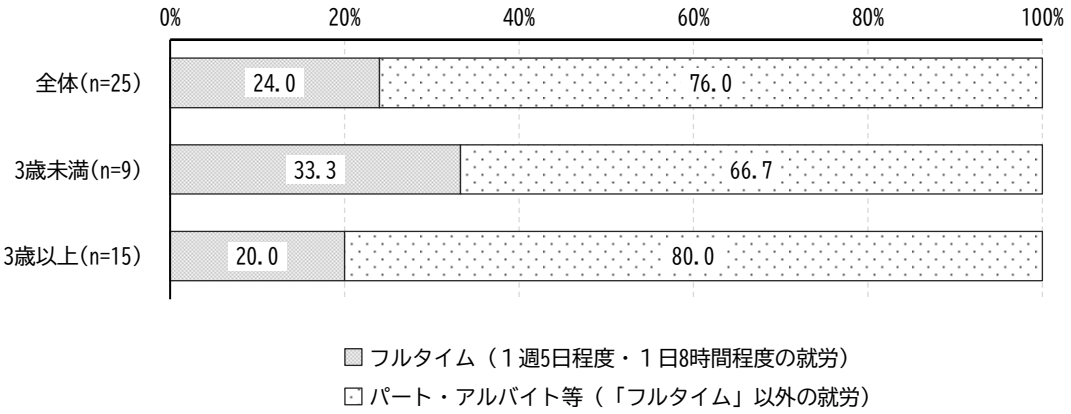
【②母親／就労したいと思う末子の年齢】

３歳未満は、「３歳」が 33.3%と最も多く、次いで「０～２歳」が 28.6%となっている。
３歳以上は、「７歳」が 36.7%と最も多く、次いで「６歳」が 23.3%となっている。



【③母親／希望する就労形態】

３歳未満・３歳以上ともに、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が６割以上と最も多くなっている。

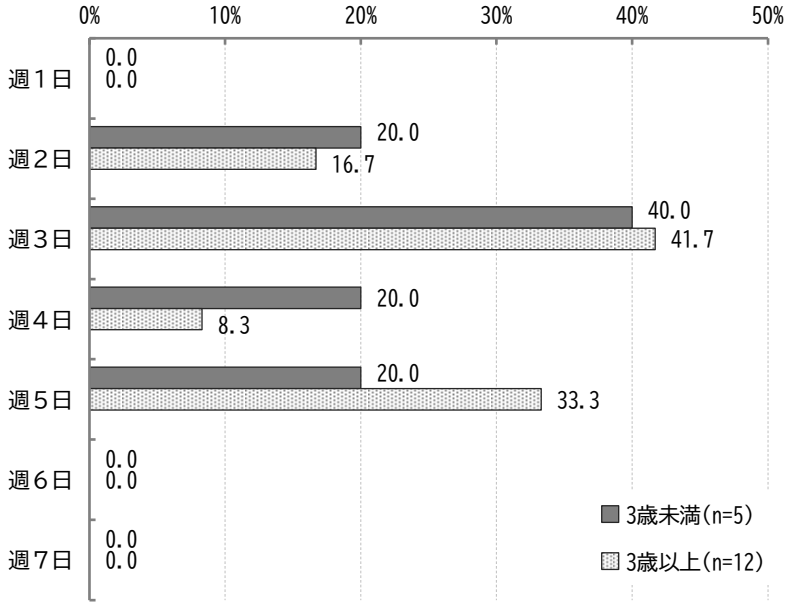


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【④母親／パート・アルバイト等で希望する就労日数】

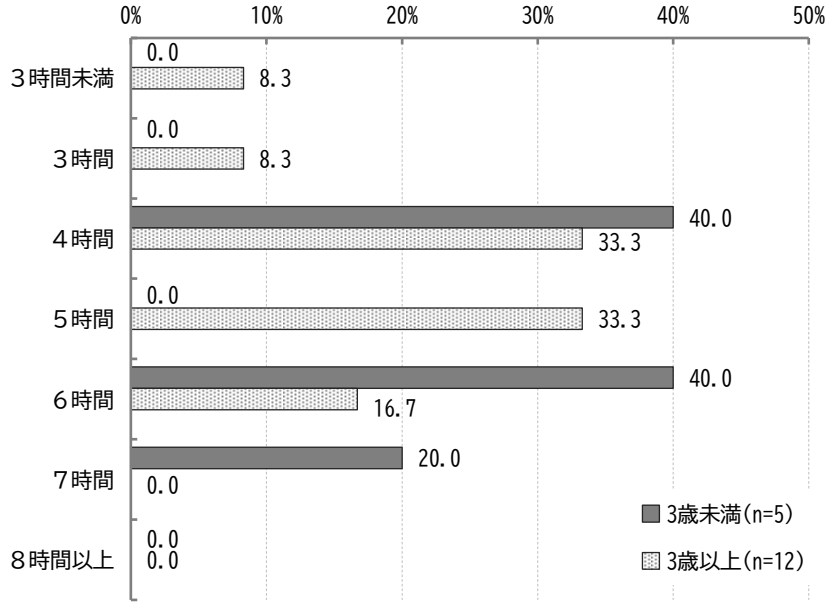
３歳未満・３歳以上ともに、「週３日」が４割以上と最も多くなっている。

次いで３歳未満では、「週２日」「週４日」「週５日」が 20.0%と同数となっており、３歳以上では、「週５日」が 33.3%となっている。



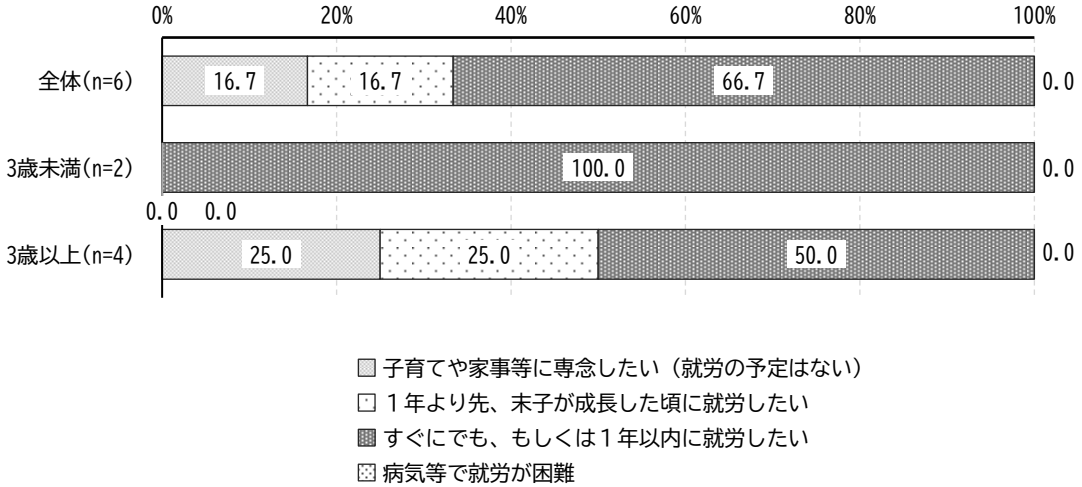
【⑤母親／パート・アルバイト等で希望する就労時間】

３歳未満は「４時間」「６時間」が 40.0%と最も多く、次いで「７時間」が 20.0%となっている。
３歳以上は「４時間」「５時間」が 33.3%と最も多く、次いで「６時間」が 16.7%となっている。



【⑥父親／就労希望】

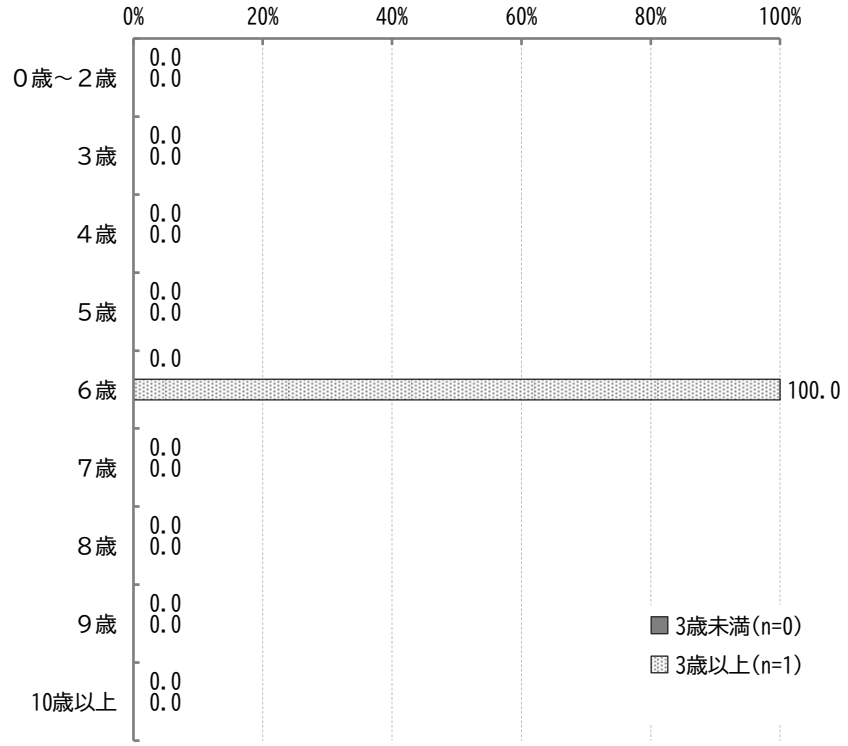
回答が少ないため、あくまで参考情報であるが、３歳未満・３歳以上ともに、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が５割以上と最も多く、次いで、３歳以上では「１年より先、末子が成長した頃に就労したい」「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 25.0%となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

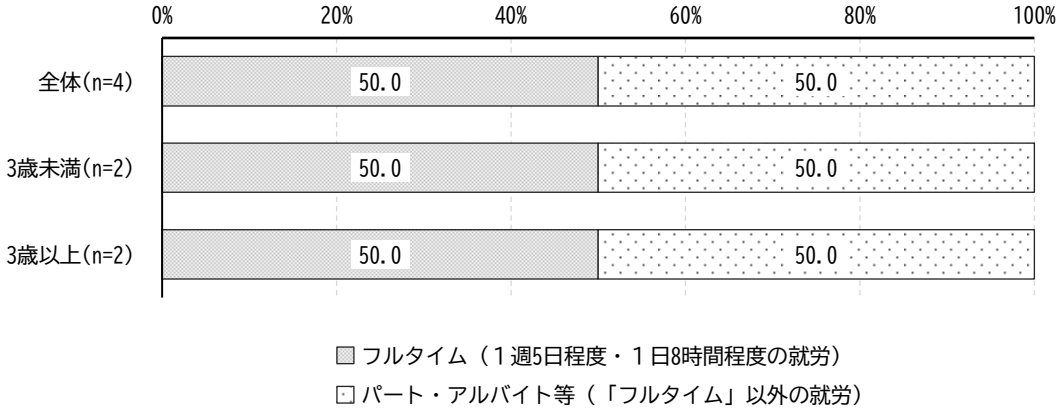
【⑦父親／就労したいと思う末子の年齢】

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、「６歳」が 100%となっている。



【⑧父親／希望する就労形態】

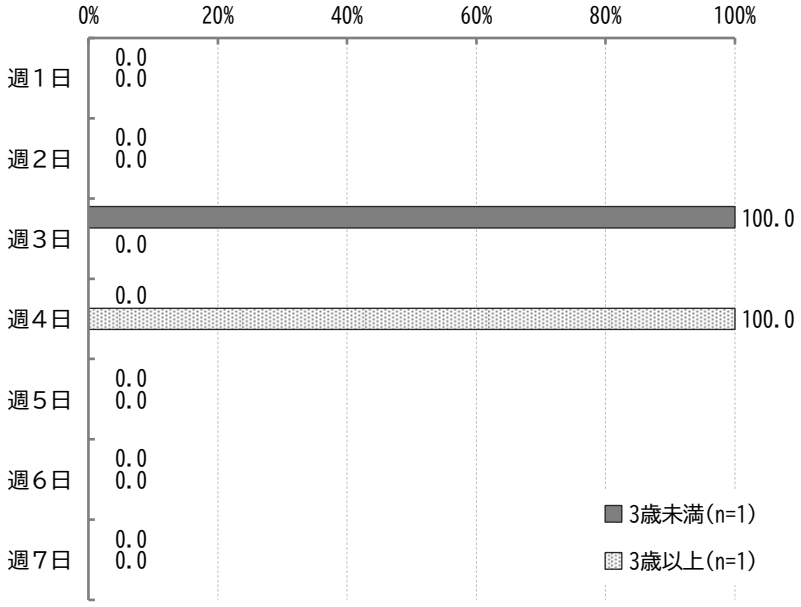
回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が半数ずつとなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

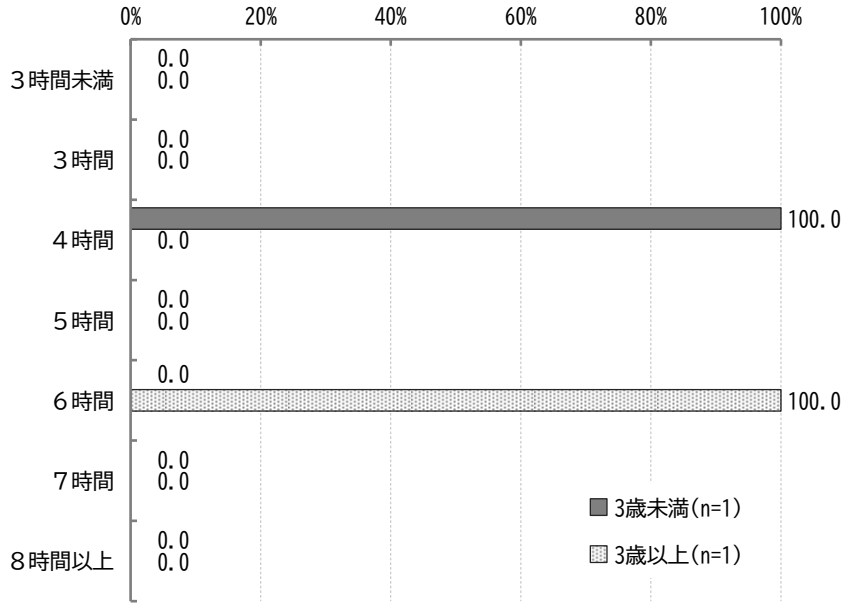
【⑨父親／パート・アルバイト等で希望する就労日数】

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、３歳未満では「週３日」、３歳以上では「週４日」が100%となっている。



【⑩父親／パート・アルバイト等で希望する就労時間】

回答数が少ないため、あくまで参考情報であるが、３歳未満では「４時間」、３歳以上では「６時間」が100%となっている。



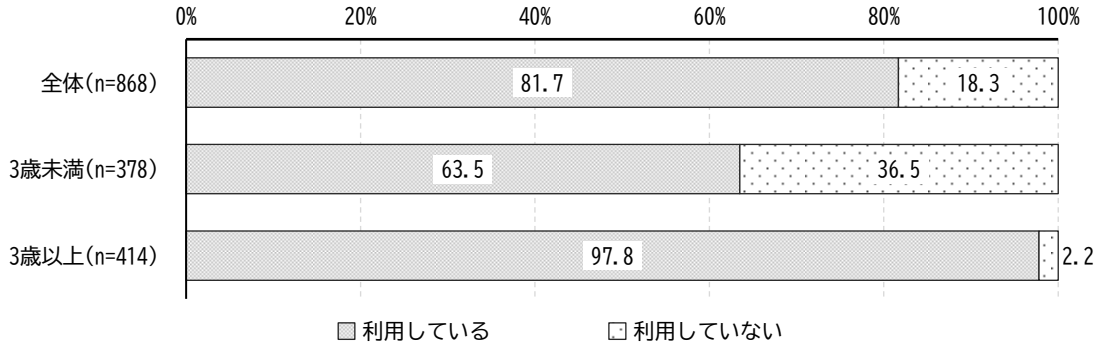
５．平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

（1）平日の定期的な教育・保育事業の利用有無

問１４　現在、あて名のお子さんは、平日に教育・保育事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。利用している場合は、年間を通じて「定期的に」利用している事業と利用日数等を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。

【①利用有無】

「利用している」が３歳未満では 63.5%、３歳以上では 97.8%となっている。

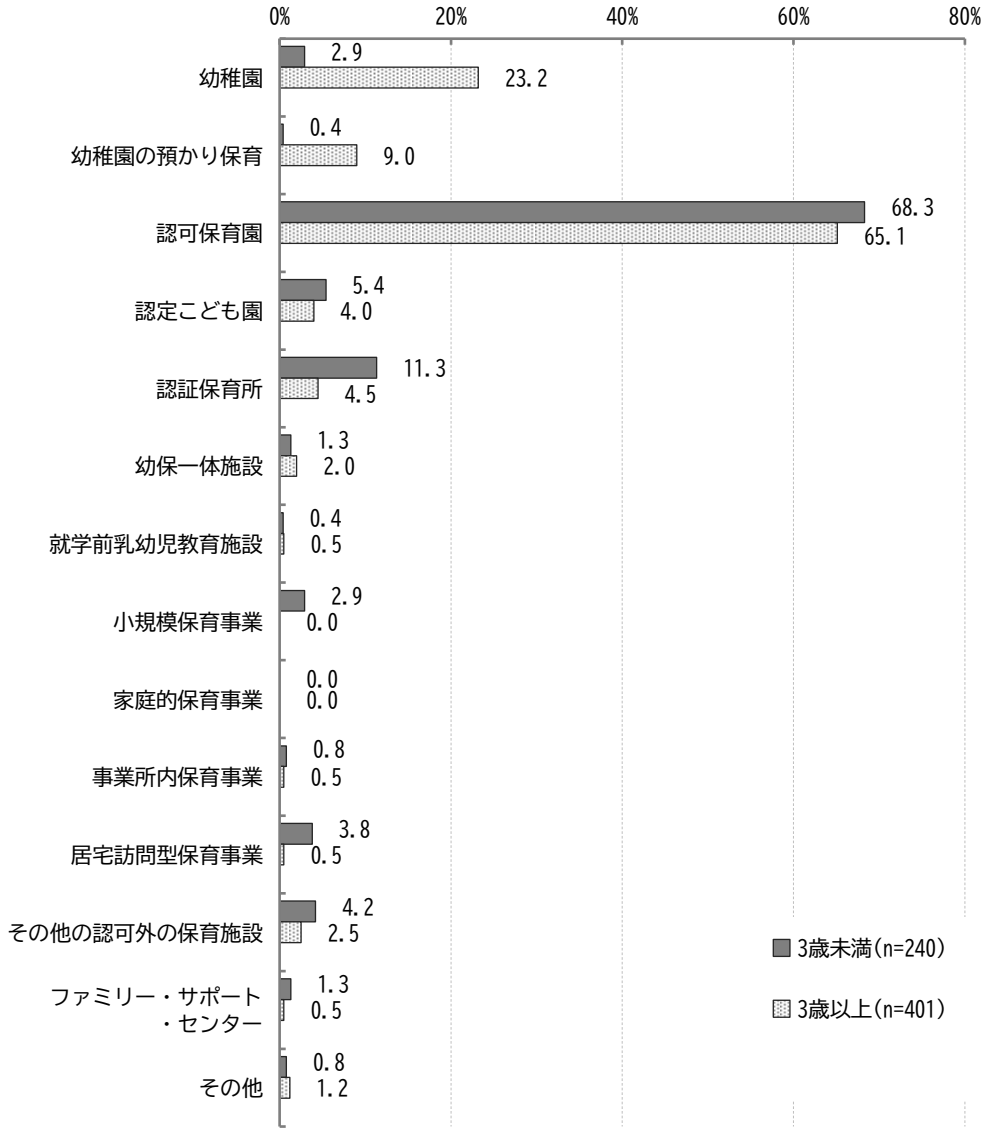


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②利用している保育・教育事業】

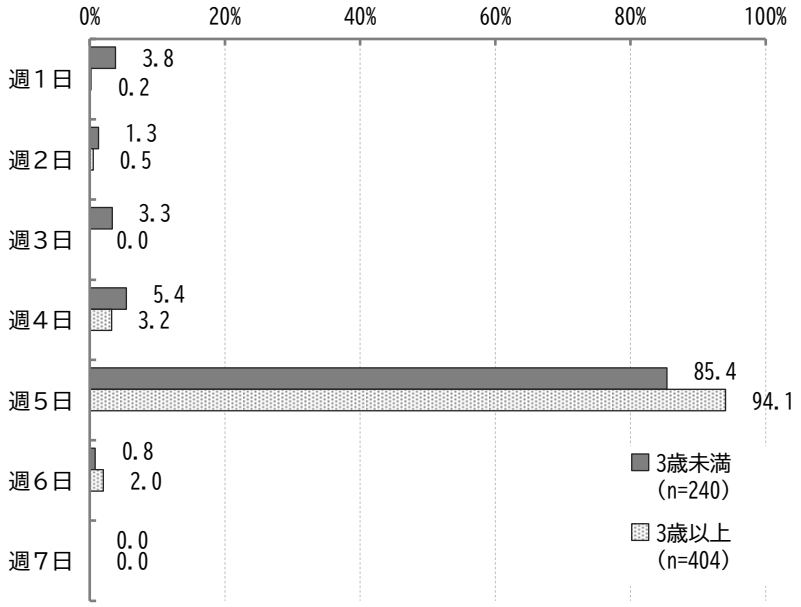
「認可保育園」が３歳未満で 68.3%、３歳以上で 65.1%と最も多くなっている。

次いで、３歳未満は「認証保育所」が 11.3%、「認定こども園」が 5.4%、３歳以上は、「幼稚園」が 23.2%、「認証保育所」が 4.5%となっている。



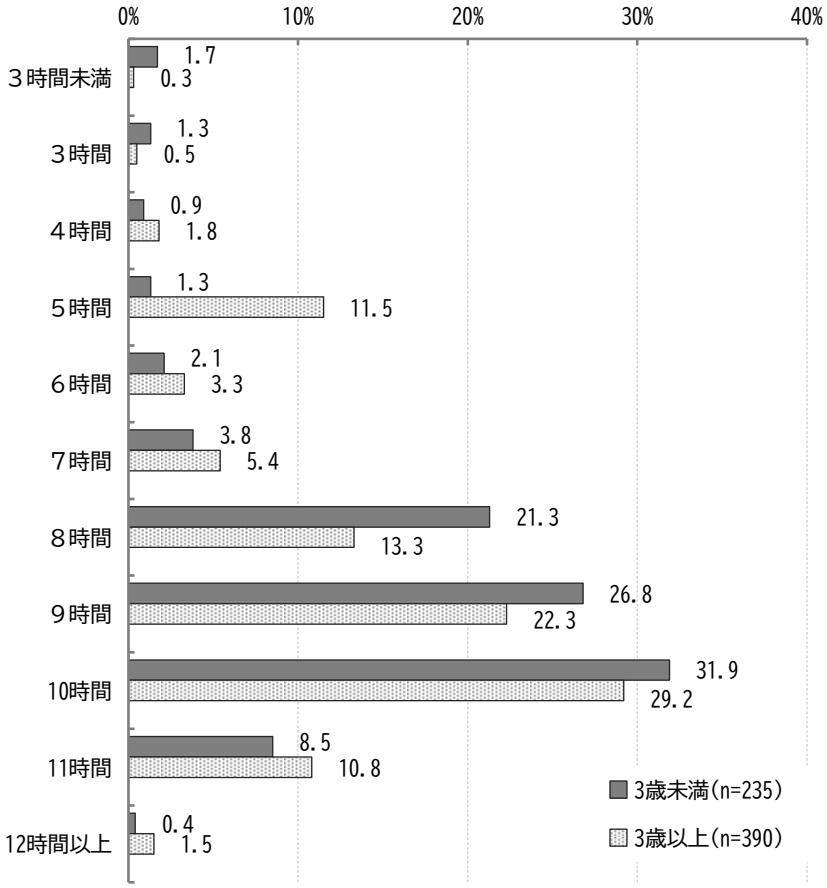
【③現在の利用状況／１週あたりの利用日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週５日」が９割前後で最も多くなっている。



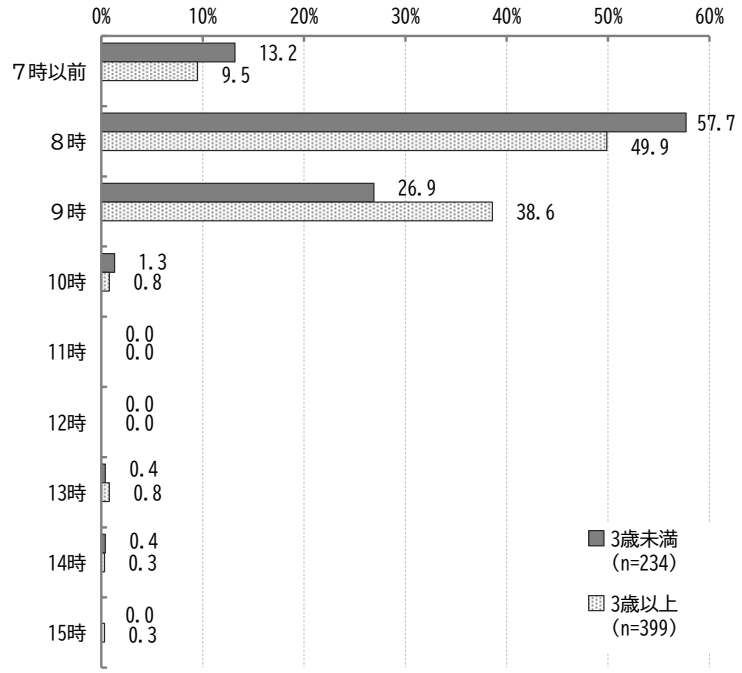
【④現在の利用状況／１日あたりの利用時間】

３歳未満・３歳以上ともに、「10 時間」が３割前後と最も多く、次いで「９時間」が２割程度、「８時間」が２割前後となっている。



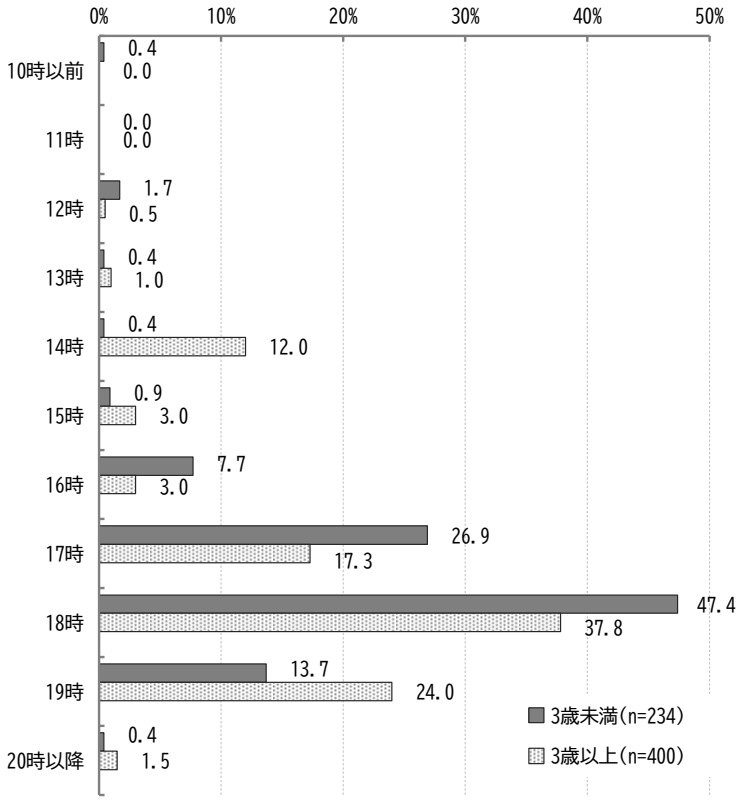
【⑤現在の利用状況／利用開始時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時」が５割前後と最も多く、次いで「９時」が３割前後となっている。



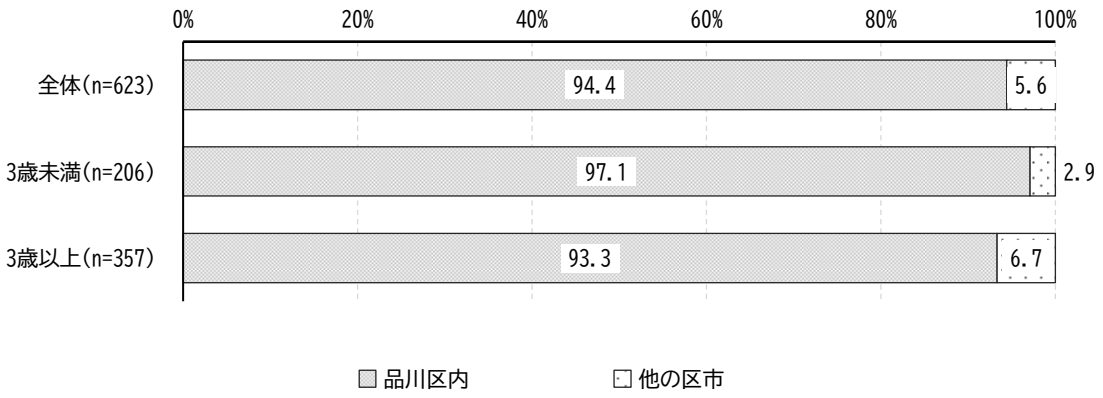
【⑥現在の利用状況／利用終了時刻】

「18 時」が３歳未満では 47.4%、３歳以上でが 37.8%と最も多くなっている。
次いで３歳未満では「17 時」が 26.9%、３歳以上では「19 時」が 24.0%となっている。



【⑦現在の利用状況／教育・保育事業の場所】

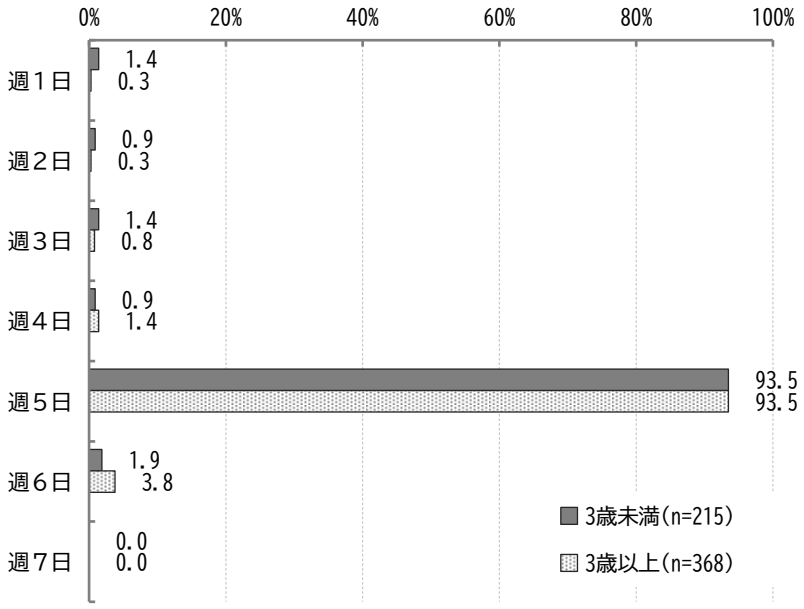
３歳未満・３歳以上ともに、「品川区内」が９割以上と最も多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

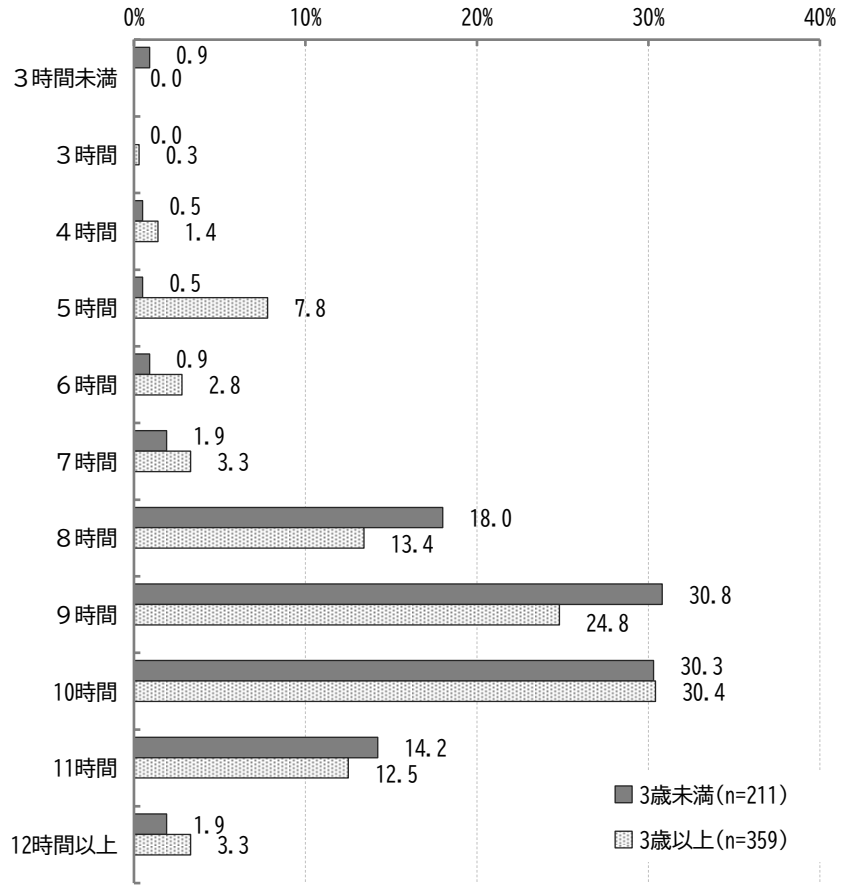
【⑧今後の利用希望／１週あたりの利用日数】

「週５日」が 93.5%と最も多い。



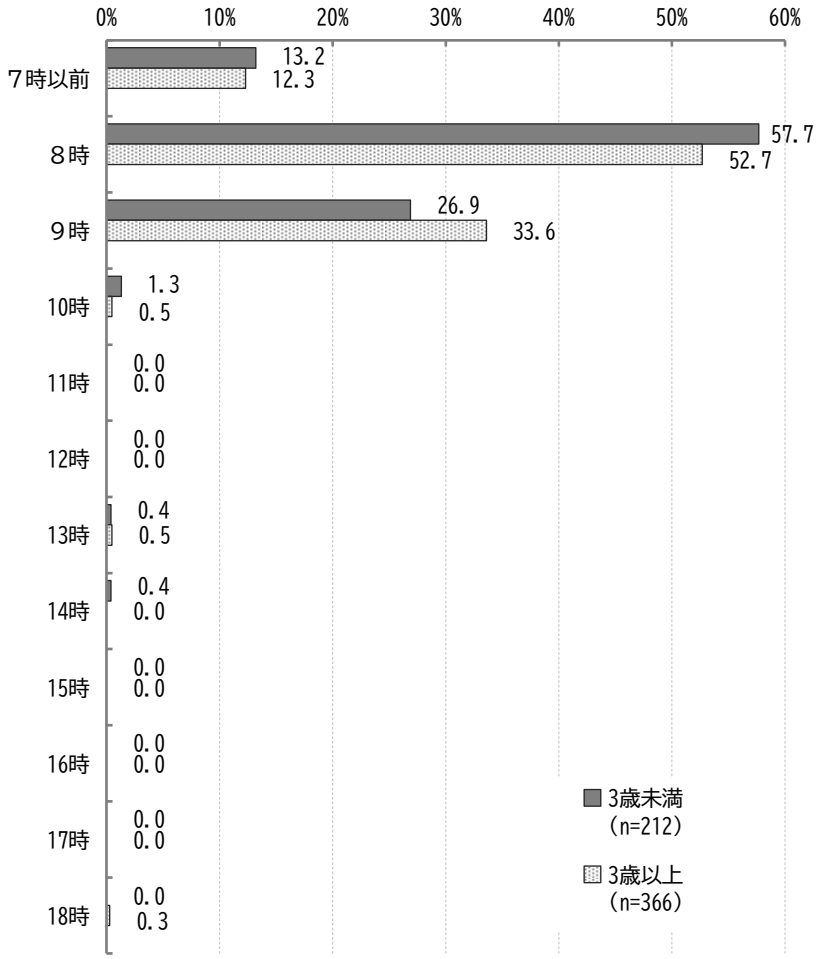
【⑨今後の利用希望／１日あたりの利用時間】

３歳未満は「９時間」30.8%、「10 時間」30.3%、「８時間」18.0%の順に多くなっている。
３歳以上は「10 時間」30.4%、「９時間」24.8%、「８時間」13.4%の順に多くなっている。



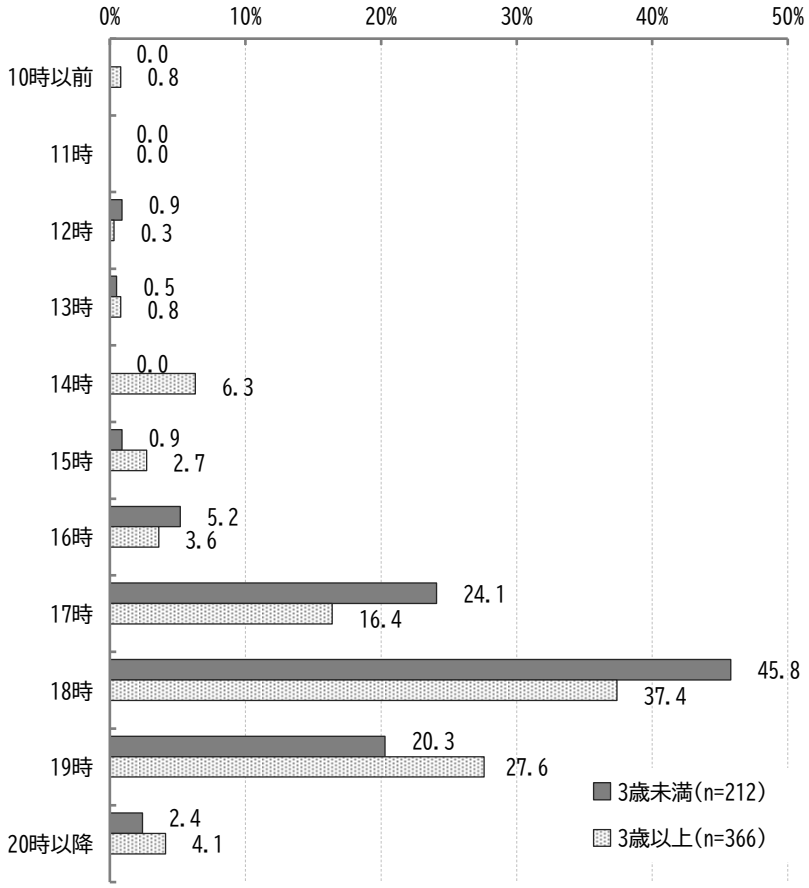
【⑩今後の利用希望／利用開始時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「８時」が５割以上と最も多く、次いで「９時」が３割前後となっている。



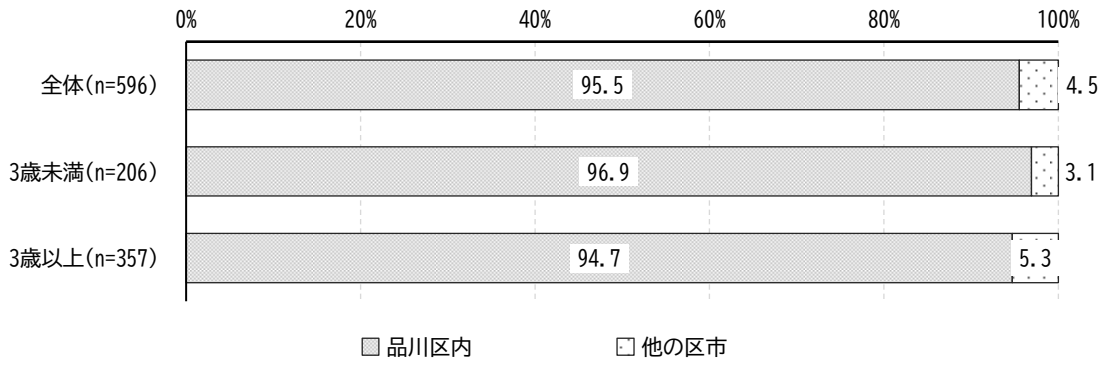
【⑪今後の利用希望／利用終了時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「18 時」が４割前後と最も多くなっている。
次いで、３歳未満では「17 時」が 24.1%、「19 時」が 20.3%となっている。
３歳以上では、「19 時」が 27.6%、「17 時」が 16.4%となっている。



【⑫今後の利用希望／教育・保育事業の場所】

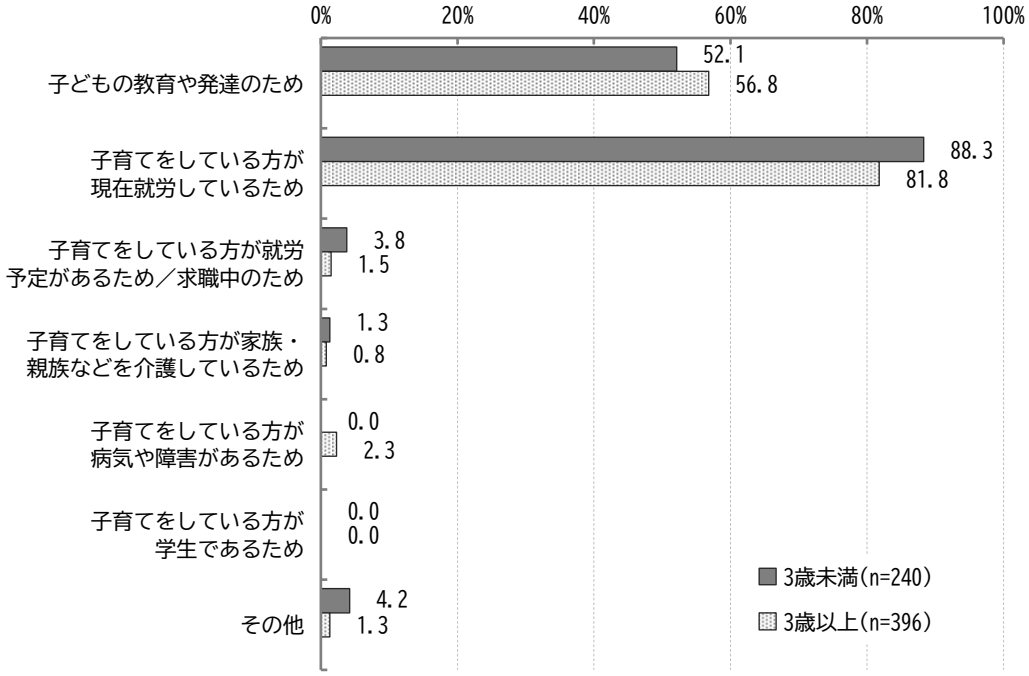
３歳未満・３歳以上ともに、「品川区内」が９割以上と多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【⑬利用している理由】

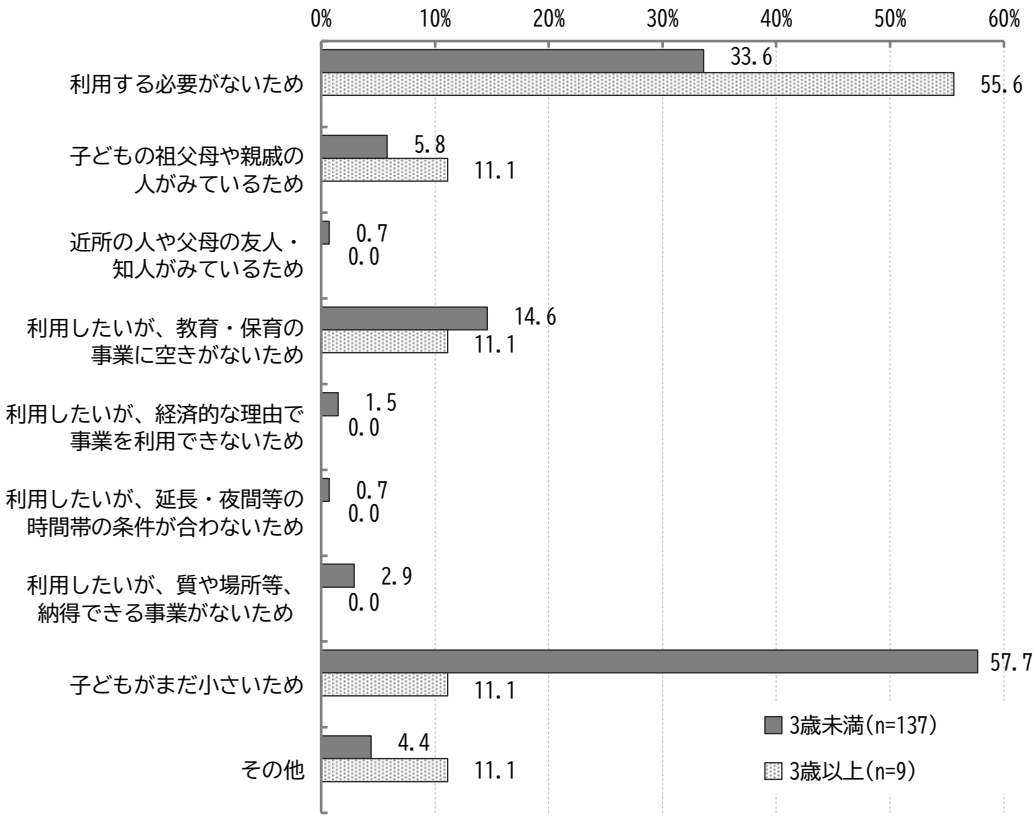
３歳未満・３歳以上ともに、「子育てをしている方が現在就労しているため」が８割以上と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が５割以上となっている。



【⑭利用していない理由】

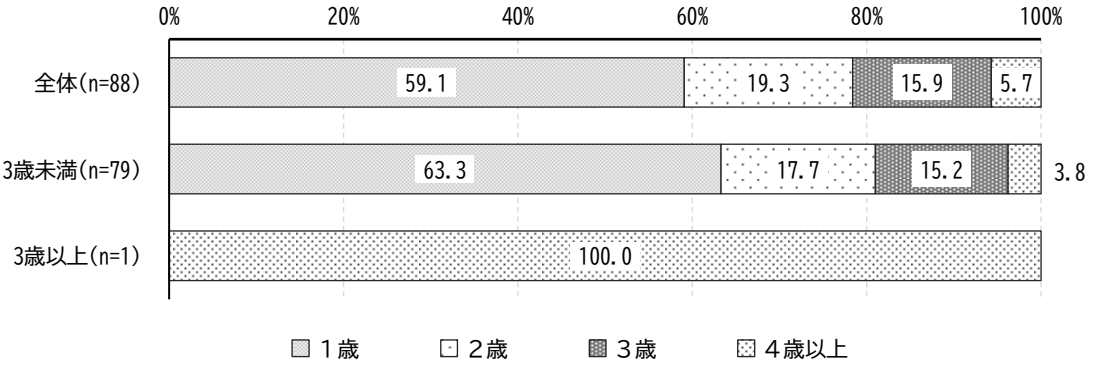
３歳未満では「子どもがまだ小さいため」が 57.7%と最も多く、次いで「利用する必要がないため」33.6%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがないため」14.6%となっている。

３歳以上では「利用する必要がないため」が 55.6%と最も多くなっている。



【⑮利用したいと思う子どもの年齢】

３歳未満では「１歳」が６割以上と最も多く、次いで「２歳」が 17.7%となっている。

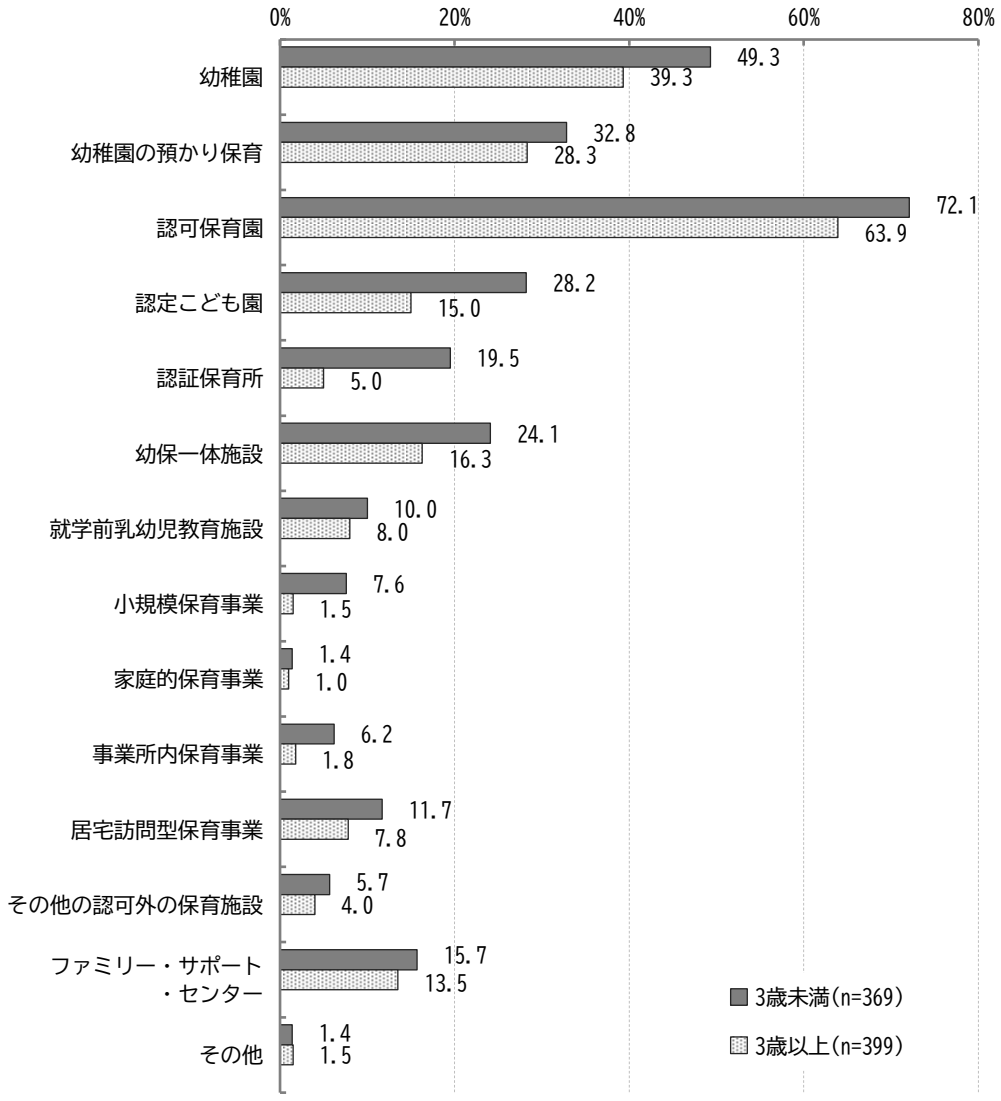


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）平日に定期的に利用したい教育・保育事業

問１５　現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと思う事業をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「認可保育園」が３歳未満で 72.1%、３歳以上で 63.9%と最も多くなっている。次いで「幼稚園」が３歳未満で 49.3%、３歳以上で 39.3%、「幼稚園の預かり保育」が３歳未満・３歳以上ともに、約３割となっている。

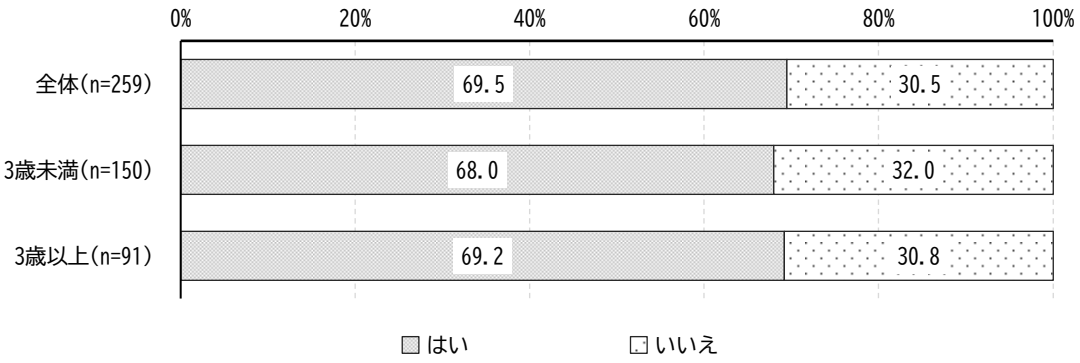


問１５で、「ア.幼稚園」または「イ.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「ウ.認可保育園」から「セ.居宅訪問型保育事業」にも○をつけた方に伺います。

（3）幼稚園の利用希望

問１５－１　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「はい」が７割弱を占めている。

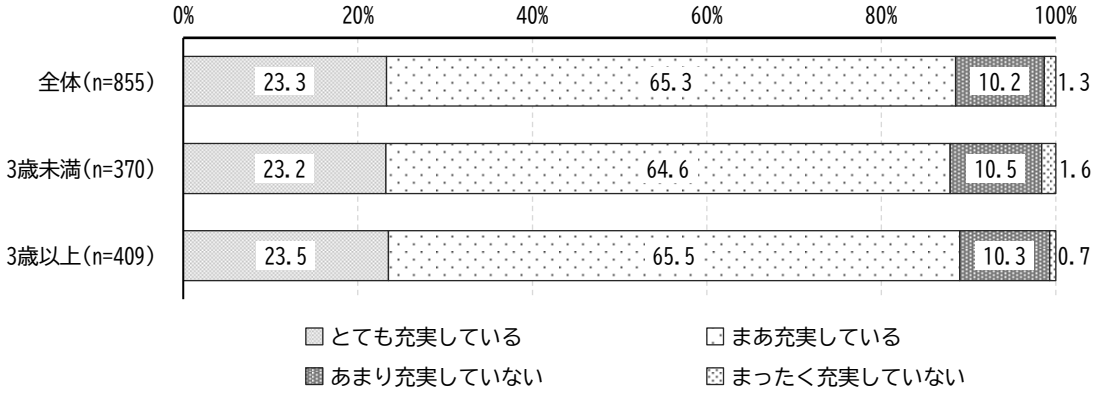


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（4）教育・保育内容の充実度

問１６　現在、品川区が行う教育・保育内容の充実度についてどのように思いますか。（１つを選択）「３.あまり充実していない」または「４.まったく充実していない」を選んだ方は、充実してほしい教育・保育内容を具体的にご記入ください。

３歳未満・３歳以上ともに、「まあ充実している」が６割を超え最も多く、次いで「とても充実している」が２割を占めている。



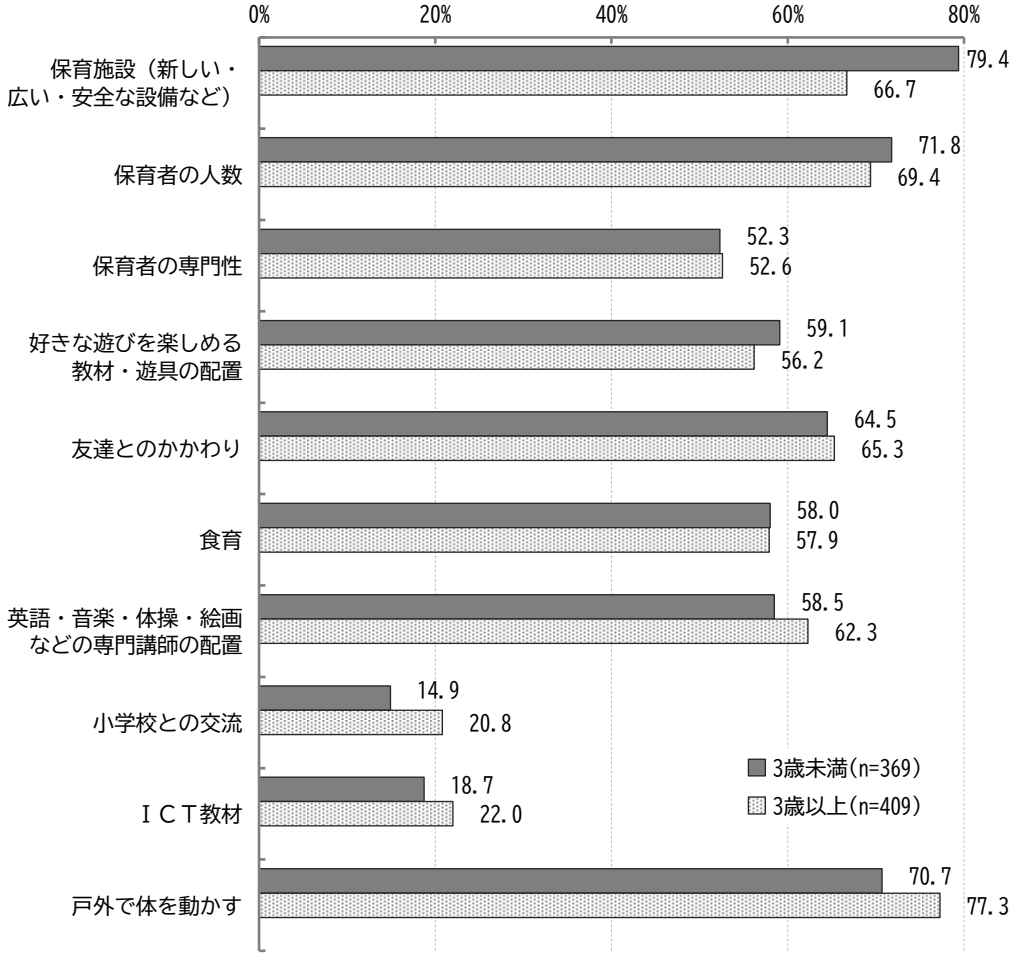
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（5）教育・保育の環境・内容において期待すること

問１７　定期的に教育・保育の事業を利用しているまたは希望する方に伺います。教育・保育の環境および内容として期待する項目をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満では「保育施設（新しい・広い・安全な設備など）」が 79.4%と最も多く、次いで「保育者の人数」71.8%、「戸外で体を動かす」70.7%となっている。

３歳以上では、「戸外で体を動かす」が 77.3%と最も多く、次いで「保育者の人数」69.4%、「保育施設（新しい・広い・安全な設備など）」66.7%となっている。

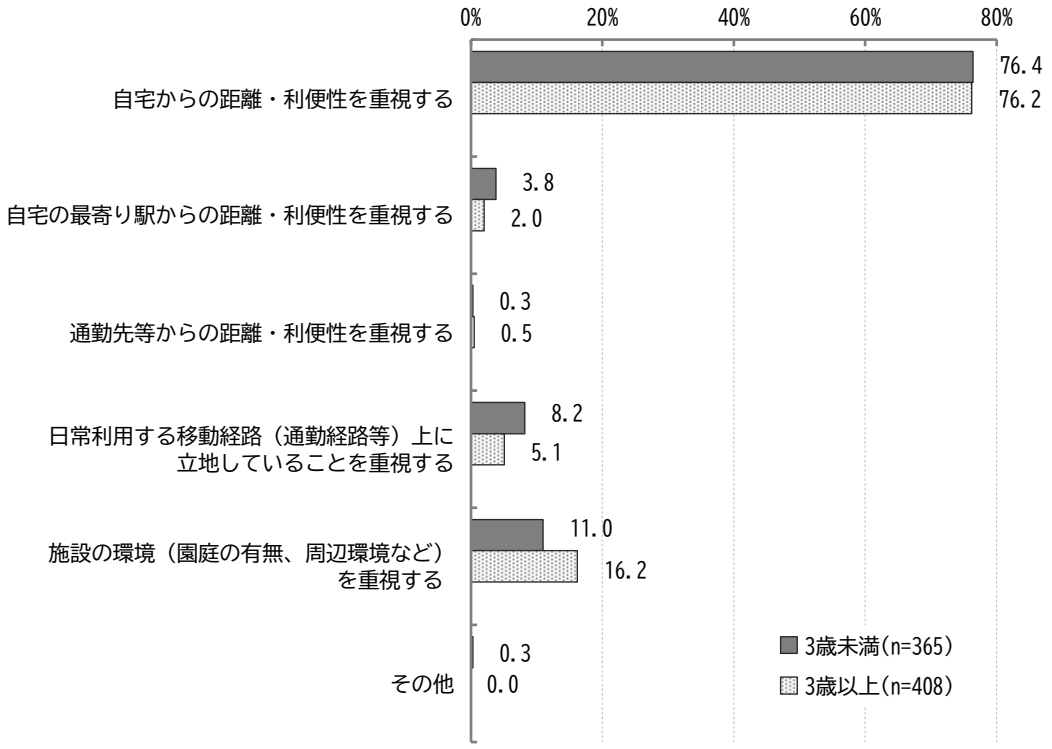


定期的に教育・保育事業を利用している方（問１４で「１.利用している」を選択）または利用を希望する方（問１５で何かを選択）に伺います。

（6）保育施設検討時の立地に関する考え方

問１８　保育の施設を検討する際の、立地に関する考え方をお答えください。
（最もあてはまるものを１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「自宅からの距離・利便性を重視する」が８割弱を占め、次いで「施設の環境（園庭の有無、周辺環境など）を重視する」が１割強となっている。



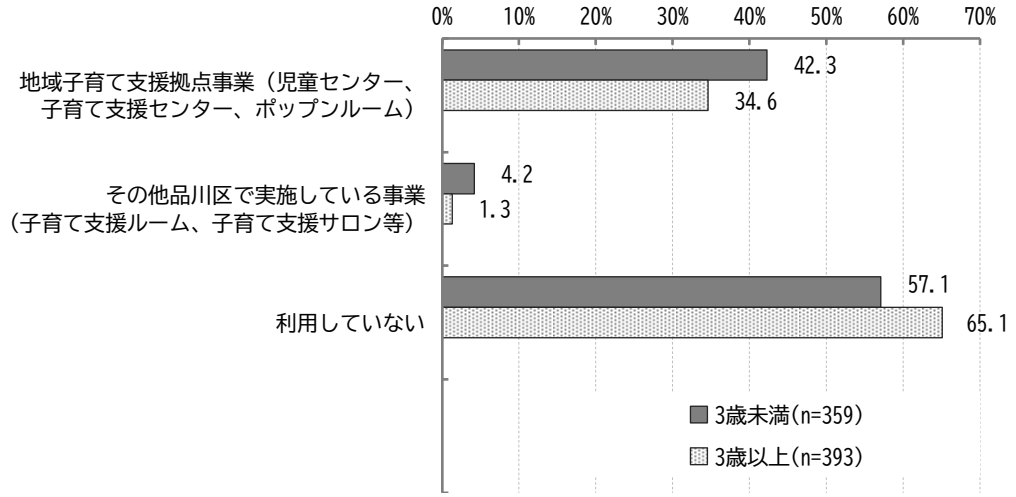
６．地域の子育て支援事業の利用状況

（1）地域子育て支援事業の現在の利用状況・今後の利用希望

問１９　お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場「児童センター」・「子育て支援センター」等）を利用していますか。また、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。次の中から、利用しているものすべてを選択してください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

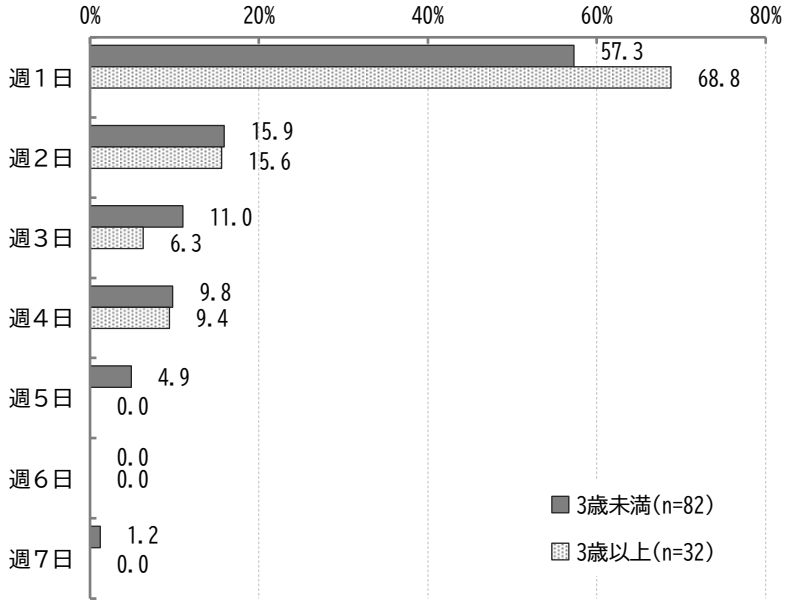
【①現在の利用状況】

３歳未満・３歳以上ともに、「利用していない」が６割前後と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業（児童センター、子育て支援センター、ポップンルーム）」が３歳未満は 42.3%、３歳以上は 34.6%となっている。



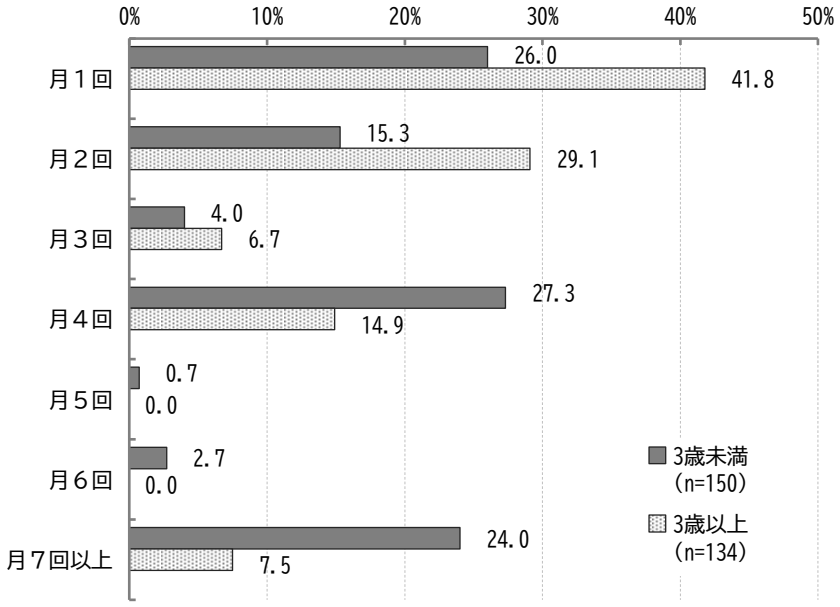
【②地域子育て支援事業／１週あたりの利用回数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週１回」が５～６割を占めている。



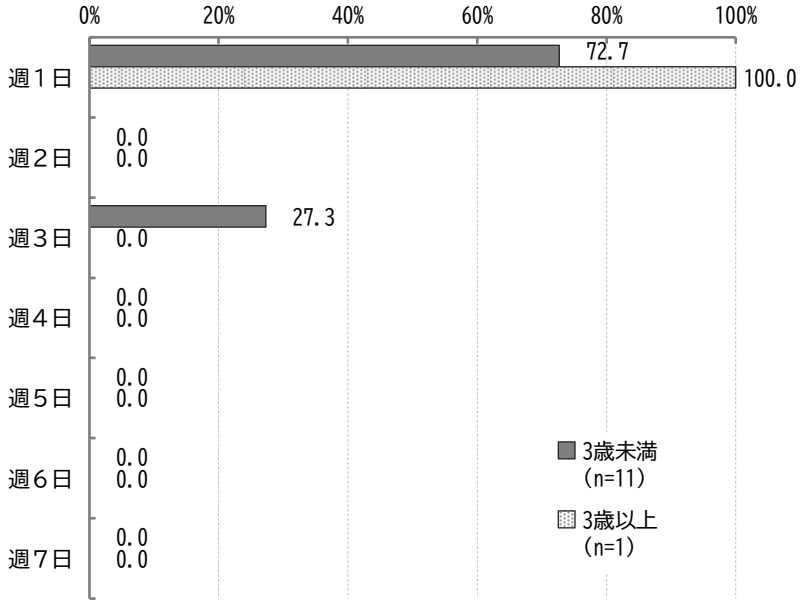
【③地域子育て支援事業／１か月あたりの利用回数】

３歳未満は「月４回」27.3%、「月１回」26.0%、「月７回以上」24.0%の順になっている。
３歳以上は「月１回」41.8%、「月２回」29.1%、「月４回」14.9%の順になっている。



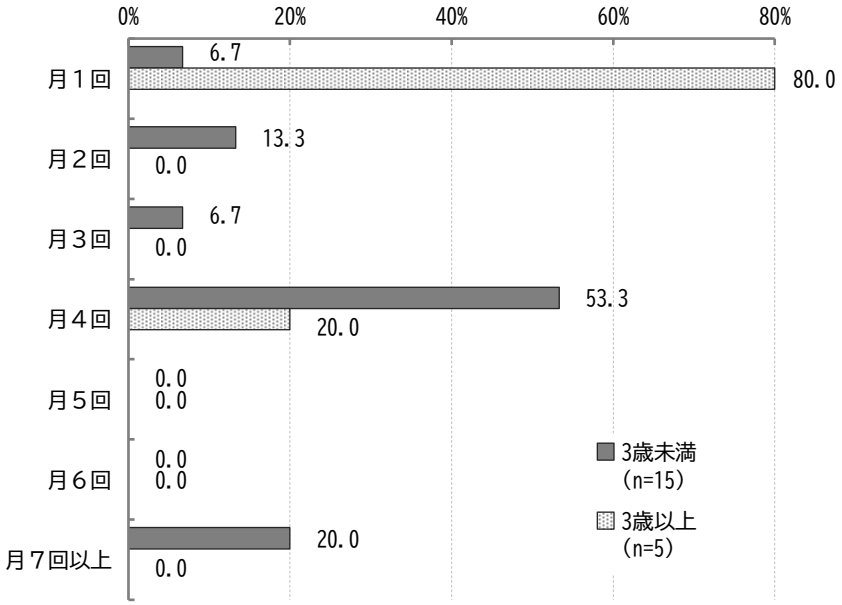
【④その他品川区で実施している事業／１週あたりの利用回数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週１回」が最も多くなっている。



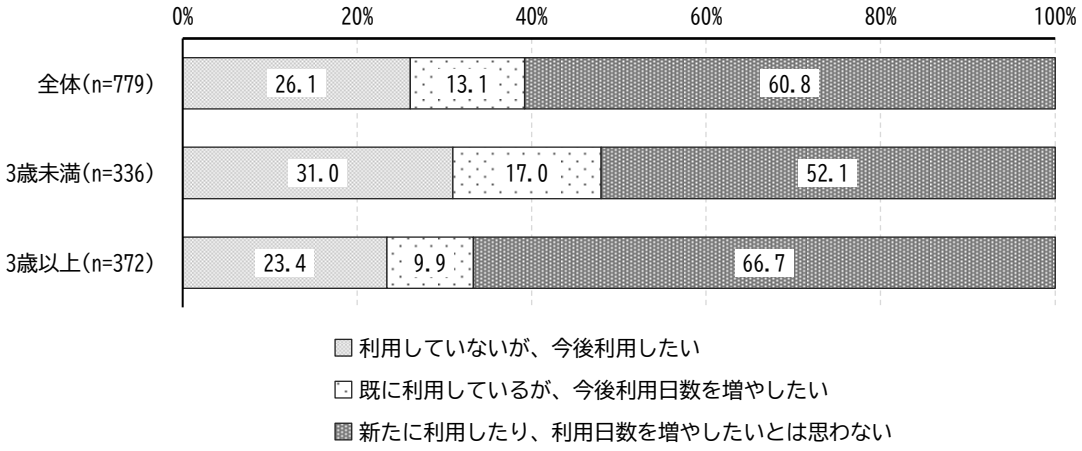
【⑤その他品川区で実施している事業／１か月あたりの利用回数】

３歳未満は「月４回」53.3%、「月７回以上」20.0%、「月２回」13.3%の順になっている。
３歳以上は「月１回」80.0%、「月４回」20.0%の順になっている。



【⑥今後の利用希望】

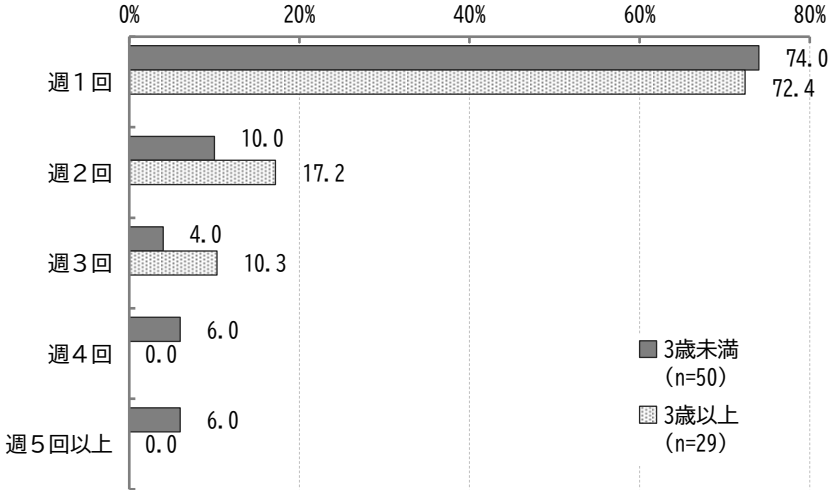
３歳未満・３歳以上ともに、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が５～６割と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が２～３割を占めている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

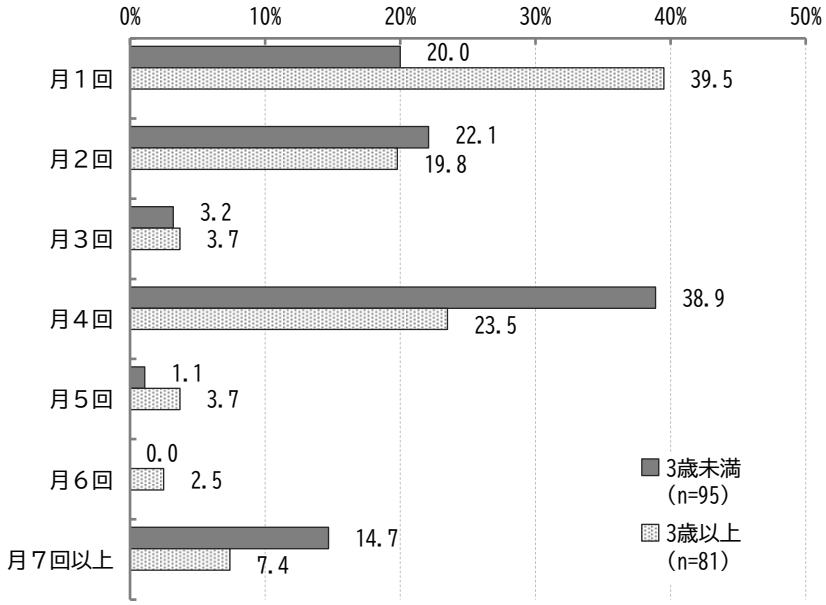
【⑦利用していないが今後利用したい／１週あたりの希望利用回数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週１回」が７割以上と最も多くなっている。



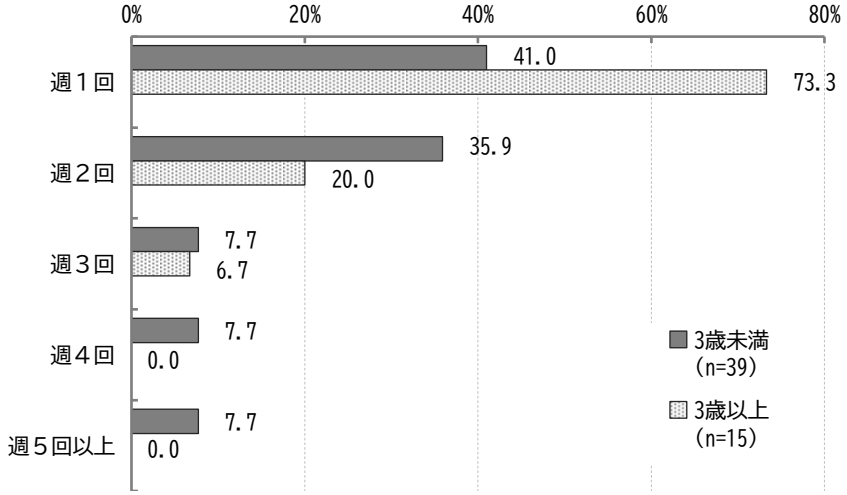
【⑧利用していないが今後利用したい／１か月あたりの希望利用回数】

３歳未満は「月４回」38.9%、「月２回」22.1%、「月１回」20.0%の順になっている。
３歳以上は「月１回」39.5%、「月４回」23.5%、「月２回」19.8%の順になっている。



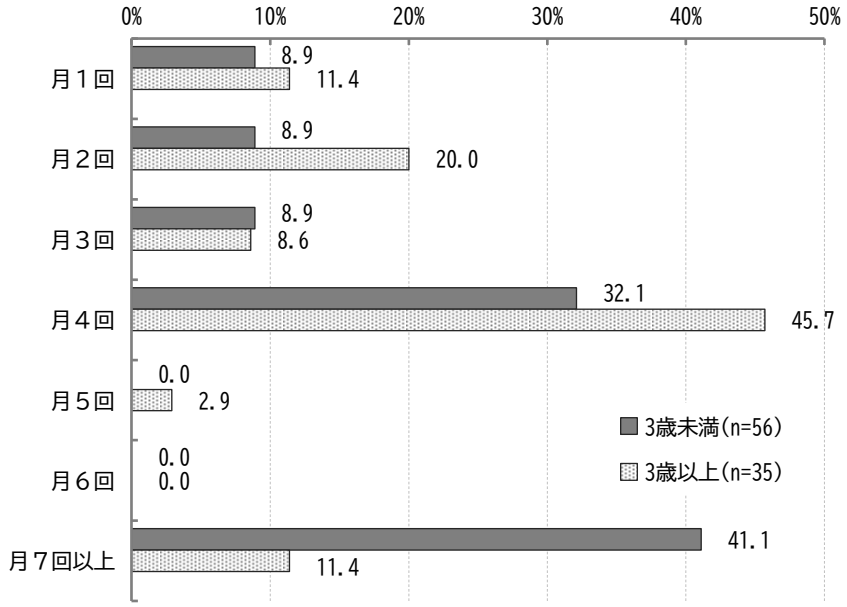
【⑨既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい／１週あたりの希望利用回数】

３歳未満・３歳以上ともに、「週１回」が最も多く、次いで「週２回」が多くなっている。
３歳以上は「週１回」が７割以上と圧倒的に多いが、３歳未満では「週１回」と「週２回」の差は３歳以上に比べると小さくなっている。



【⑩既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい／１か月あたりの希望利用回数】

３歳未満は「月７回以上」41.1%、「月４回」32.1%の順になっている。
３歳以上は、「月４回」45.7%、「月２回」20.0%の順になっている。

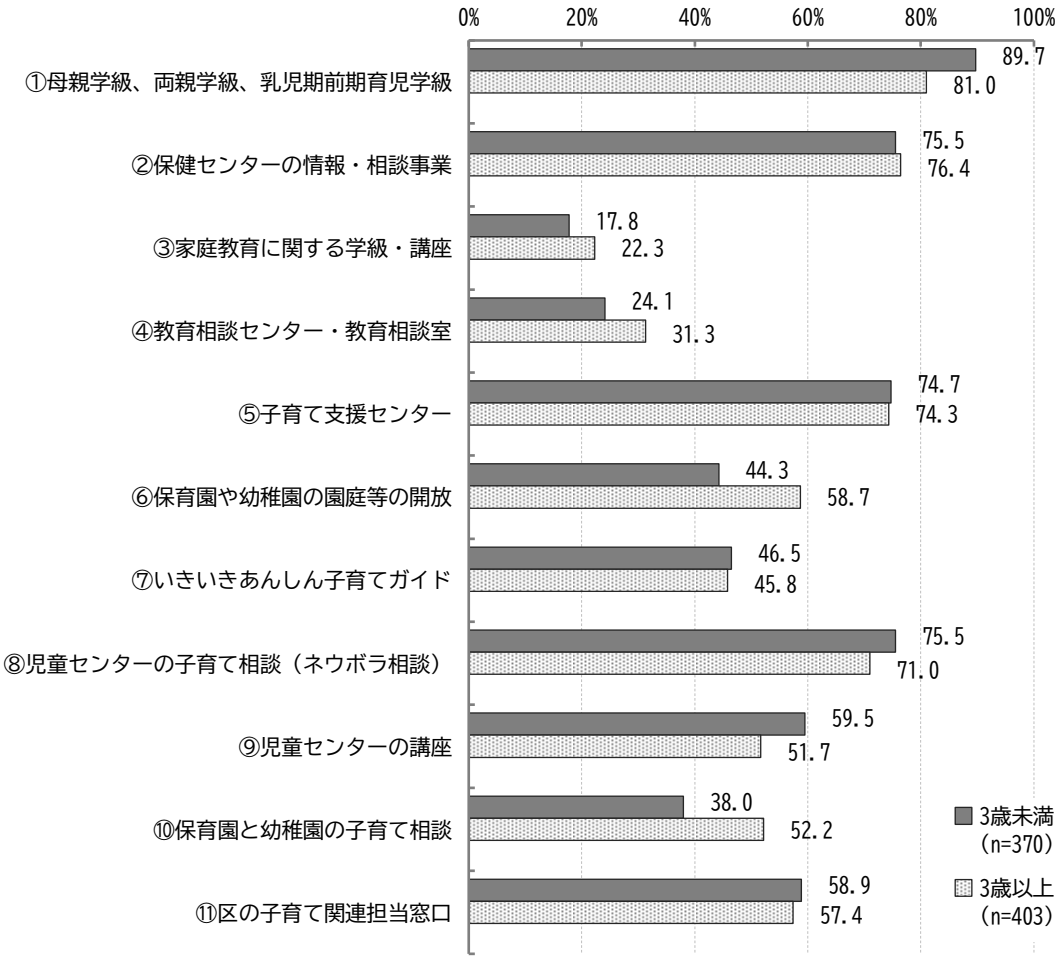


（2）地域子育て支援事業の認知度、利用意向

問２０　下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①から⑪の事業ごとに、ＡからＣのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。

【①事業の認知度】（「はい」を選択した者の割合）

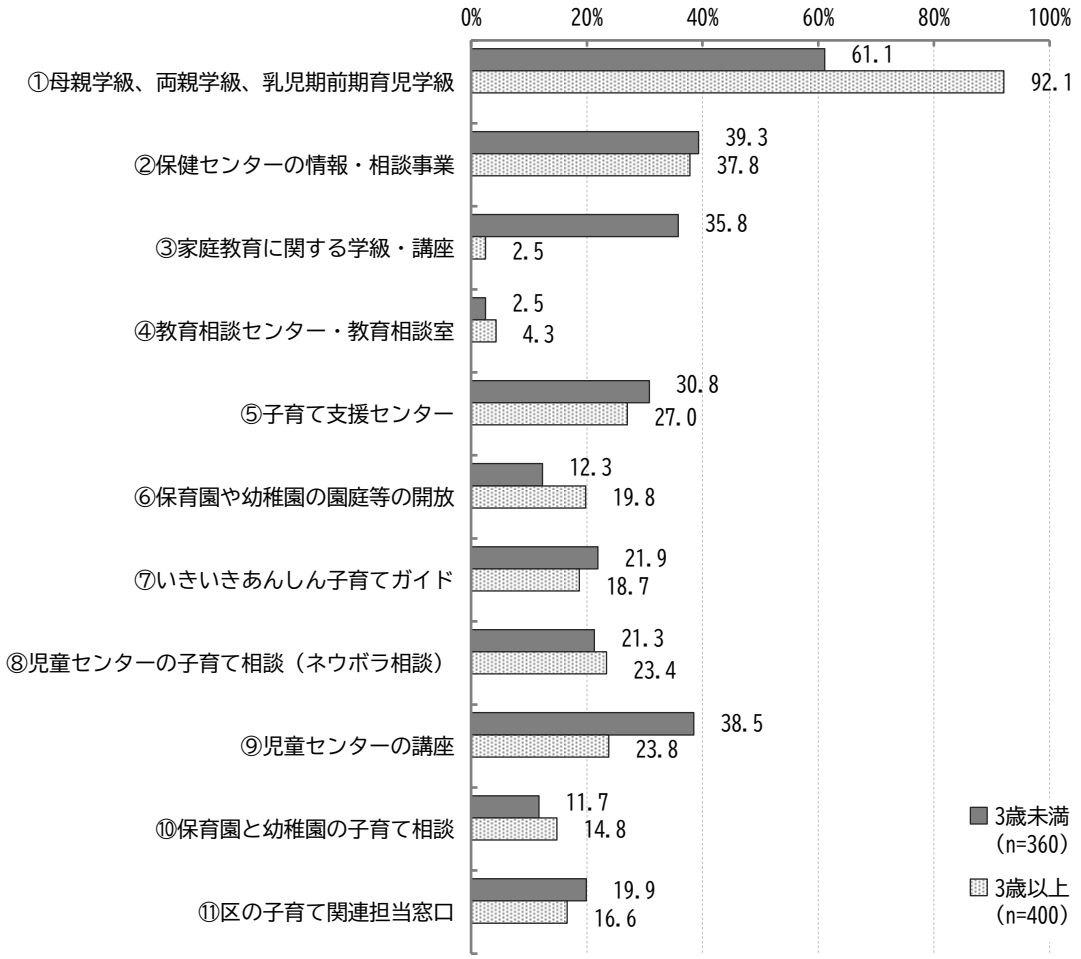
３歳未満・３歳以上ともに、「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」が８割以上と最も多く、次いで「②保健センターの情報・相談事業」、「⑤子育て支援センター」「⑧児童センターの子育て相談（ネウボラ相談）」が７割を超えている。



【②これまでの利用状況】（「はい」を選択した者の割合）

３歳未満は、「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」61.1%、「②保健センターの情報・相談事業」39.3%、「⑨児童センターの講座」38.5%の順になっている。

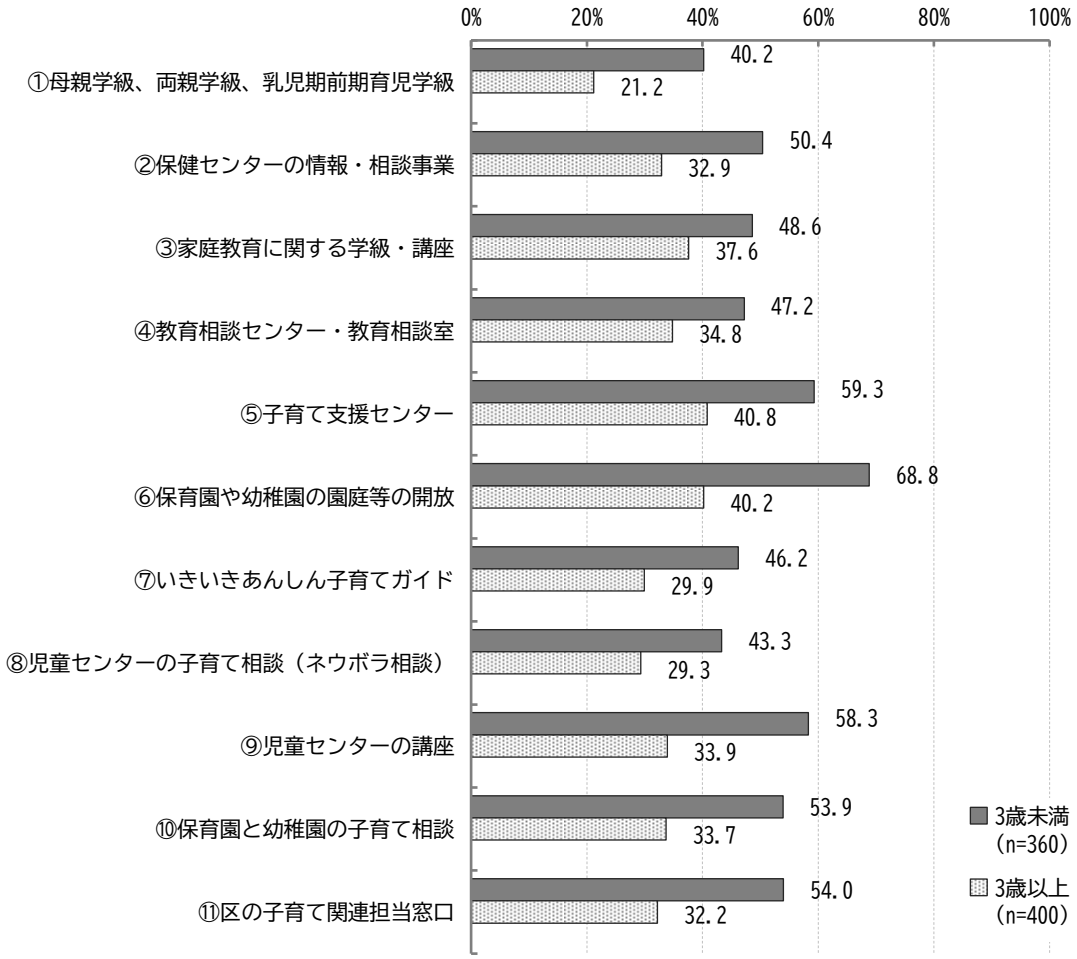
３歳以上は、「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」92.1%、「②保健センターの情報・相談事業」37.8%、「⑤子育て支援センター」27.0%の順になっている。



【③事業の利用意向】（「はい」を選択した者の割合）

３歳未満は、11 項目中６項目で半数以上が利用意向を示した。「⑥保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 68.8%と最も多くなっている。次いで「⑤子育て支援センター」が 59.3%、「⑨児童センターの講座」が 58.3%となっている。

３歳以上は、半数以上の利用意向を示す項目はなく、全体的に３～４割程度が利用意向を示した。



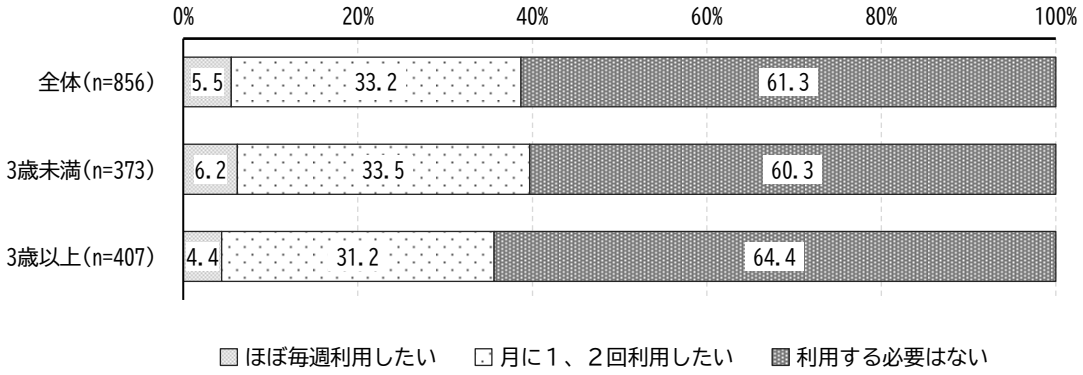
７．土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

（1）土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問２１　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます)。(それぞれ１つを選択)
希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

【①土曜日の利用希望】

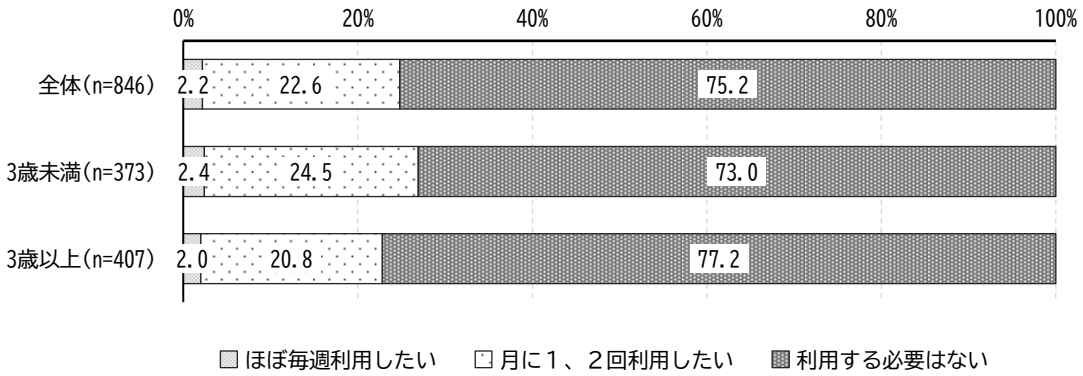
３歳未満・３歳以上ともに、「利用する必要はない」が６割以上と最も多く、「月に１、２回利用したい」が３割程度となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②日曜日・祝日の利用希望】

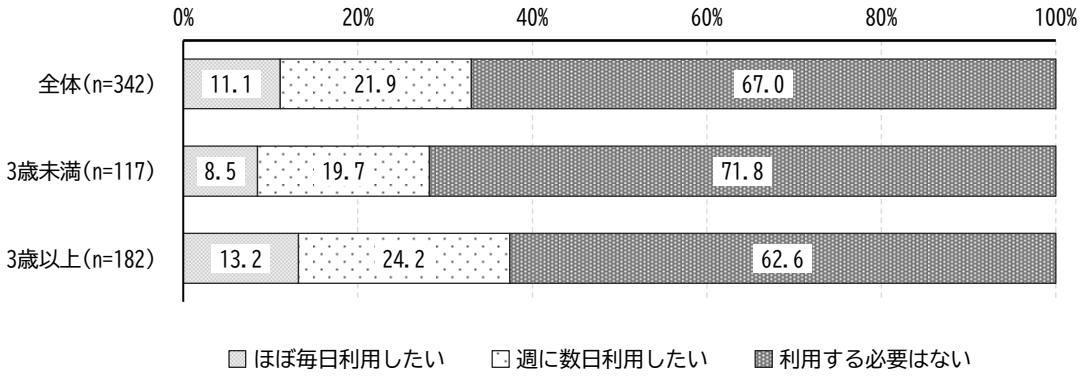
３歳未満・３歳以上ともに、「利用する必要はない」が７割以上と最も多く、「月に１、２回利用したい」が２割程度となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者のみ）】

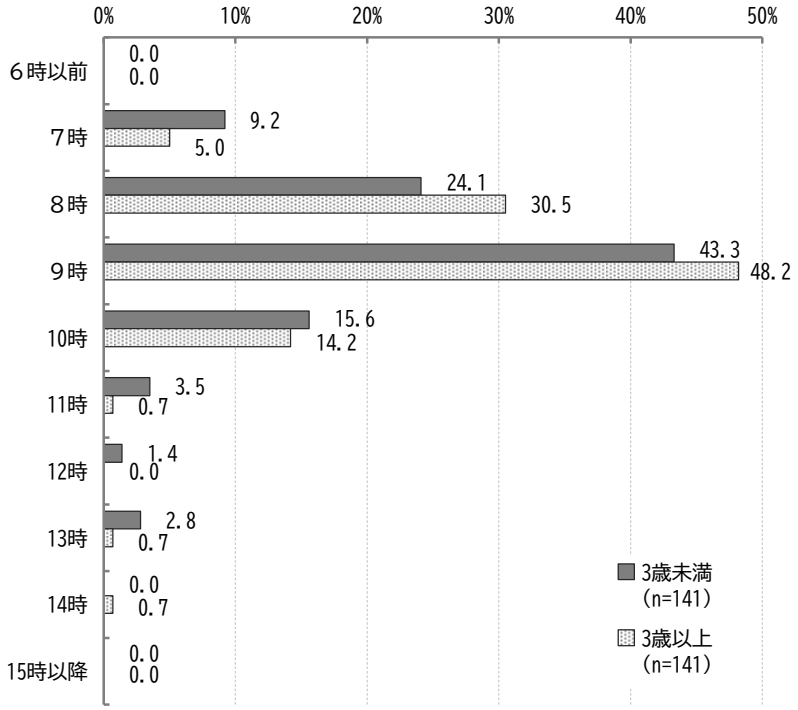
３歳未満・３歳以上ともに、「利用する必要はない」が６～７割と最も多く、次いで「週に数日利用したい」が２割程度となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

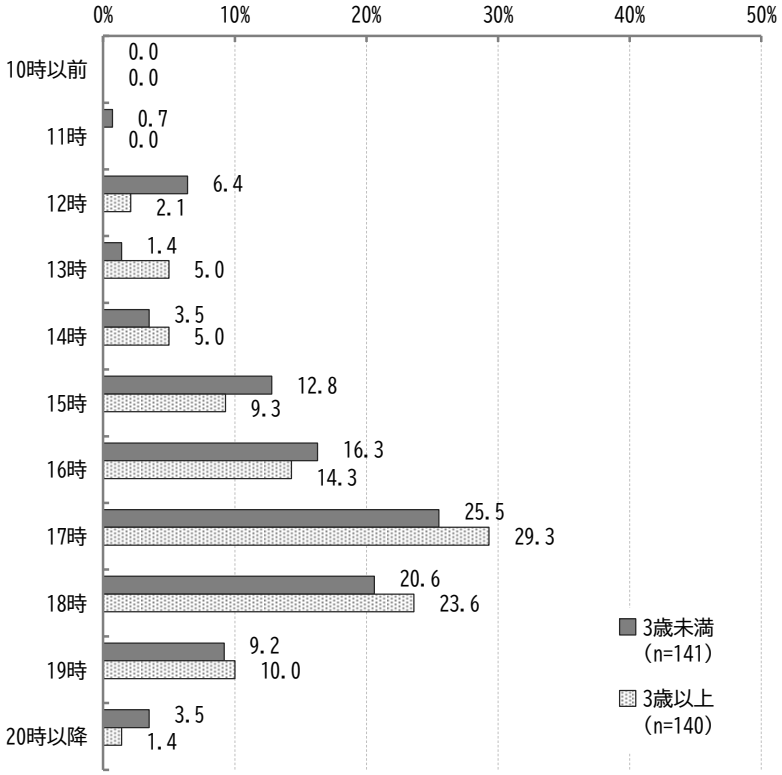
【④土曜日／希望利用開始時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「９時」が４割以上と最も多く、次いで「８時」が２～３割となっている。



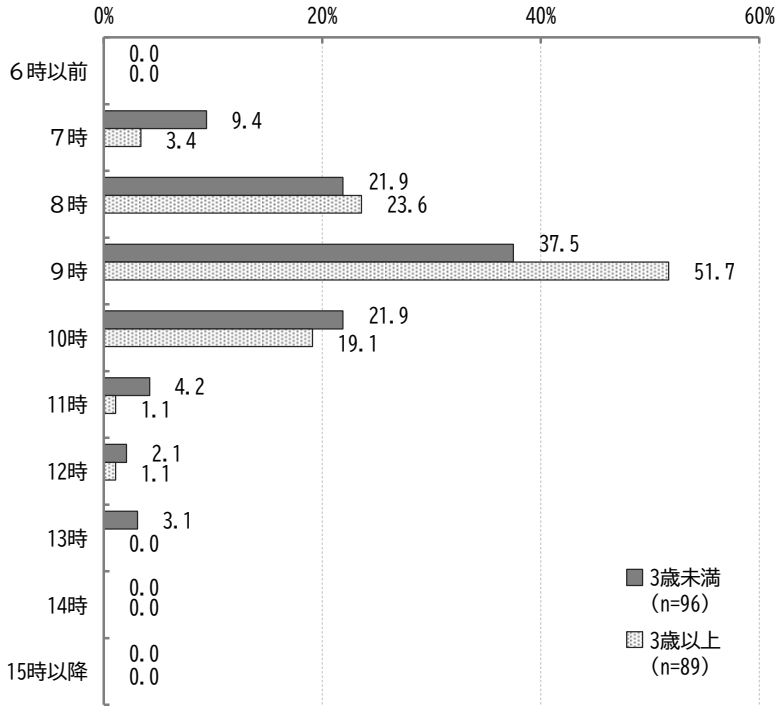
【⑤土曜日／希望利用終了時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「17 時」が３割弱と最も多く、次いで「18 時」が２割程度となっている。



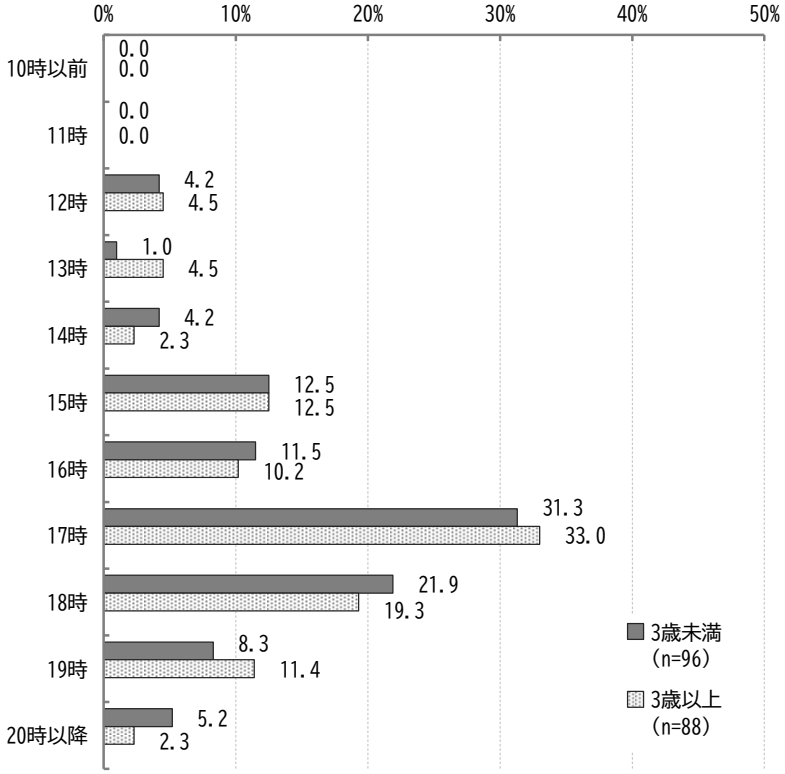
【⑥日曜日・祝日／希望利用開始時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「９時」が約４～５割と最も多く、次いで「８時」「10 時」が２割程度となっている。



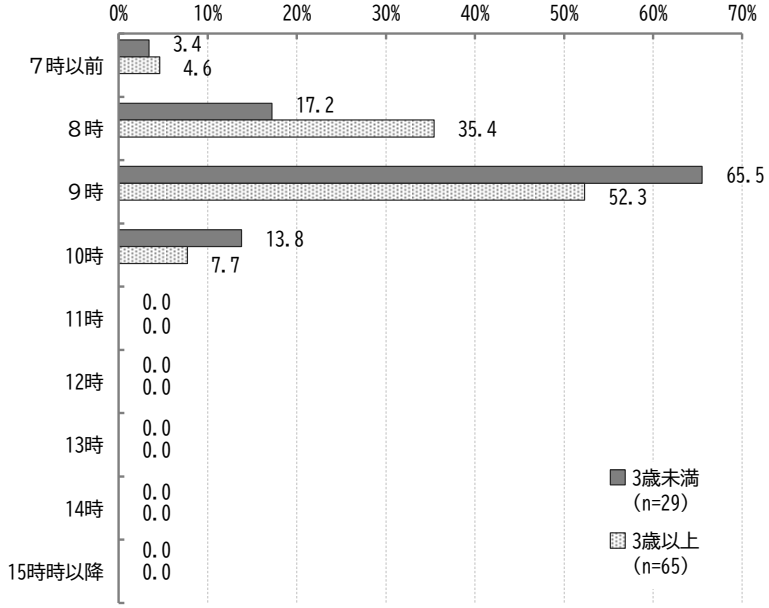
【⑦日曜日・祝日／希望利用終了時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「17 時」が３割以上と最も多く、次いで「18 時」が２割程度となっている。



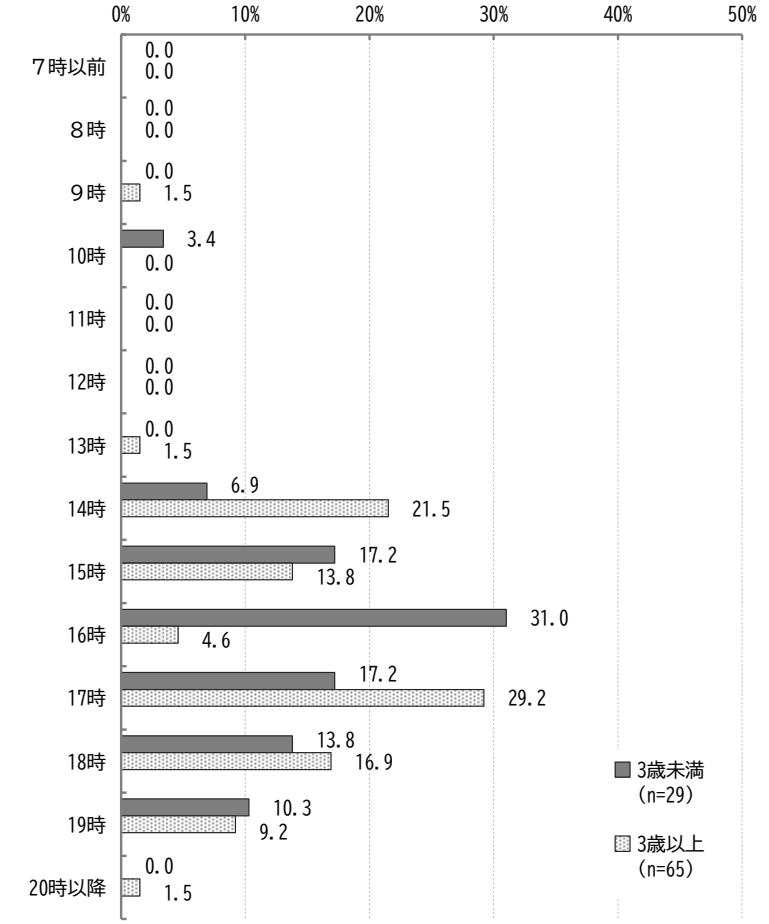
【⑧長期休暇中（幼稚園利用者）／希望利用開始時刻】

３歳未満・３歳以上ともに、「９時」が５割以上と最も多く、次いで「８時」となっている。



【⑨長期休暇中（幼稚園利用者）／希望利用終了時刻】

３歳未満は「16 時」が 31.0%と最も多く、次いで「15 時」「17 時」が 17.2%となっている。
３歳以上は「17 時」が 29.2%と最も多く、次いで「14 時」が 21.5%、「18 時」が 16.9%となっている。

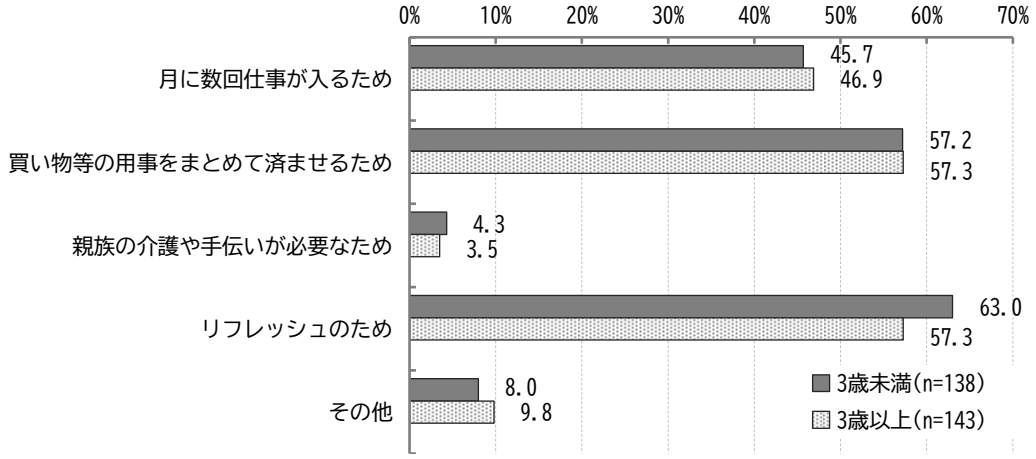


問２１の土曜日または日曜日・祝日で、「２.月に１、２回利用したい」を選んだ方に伺います。

（2）毎週ではなく、たまに利用したい理由

問２１－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。
（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「リフレッシュのため」が６割前後と多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が５割以上となっている。



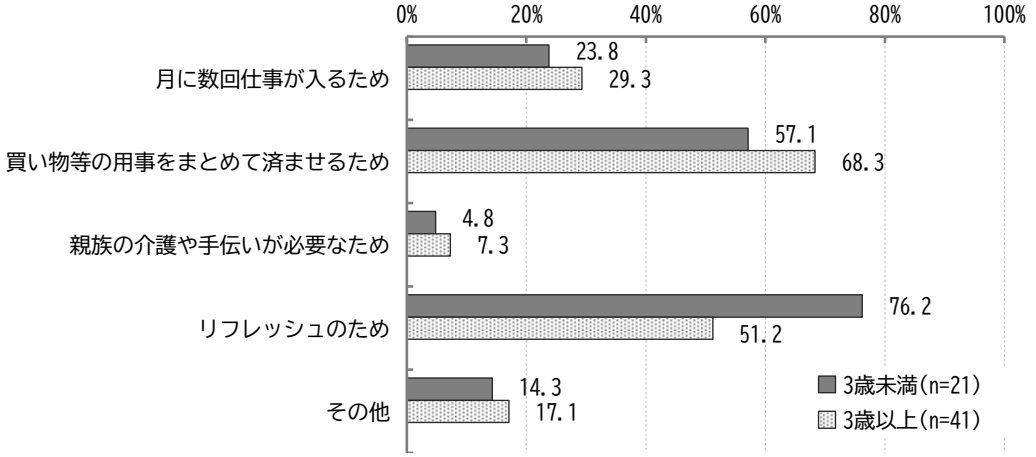
問２１の長期休暇中で、「２.週に数日利用したい」を選んだ方に伺います。

（3）毎日ではなく、たまに利用したい理由

問２１－２　毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。
（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満は「リフレッシュのため」が 76.2%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 57.1%となっている。

３歳以上は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 68.3%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が 51.2%となっている。



８．子どもが病気の際の対応（平日の教育・保育の利用者のみ）

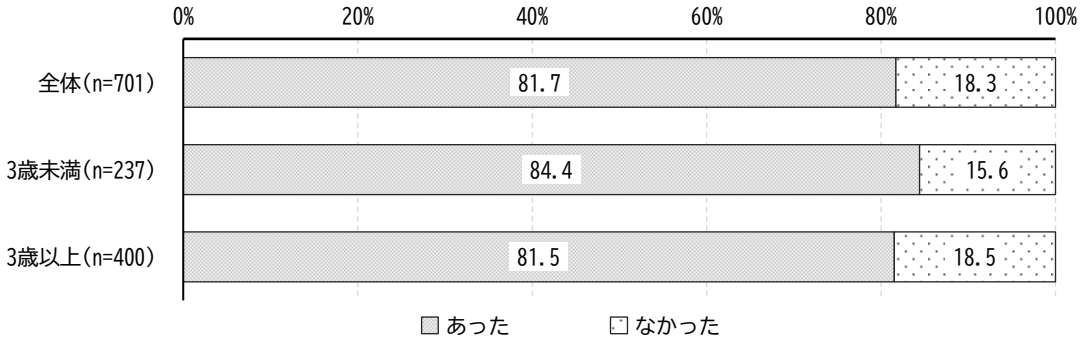
問１４で、「平日の定期的な教育・保育事業を利用している」を選んだ方に伺います。

（1）病気やけがで通常の事業を利用できなかった経験

問２２　この１年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことがありますか。あった場合は、行った対処方法と対処にかかった日数をあわせてお答えください。

【①病気やけがで利用できなかった経験】

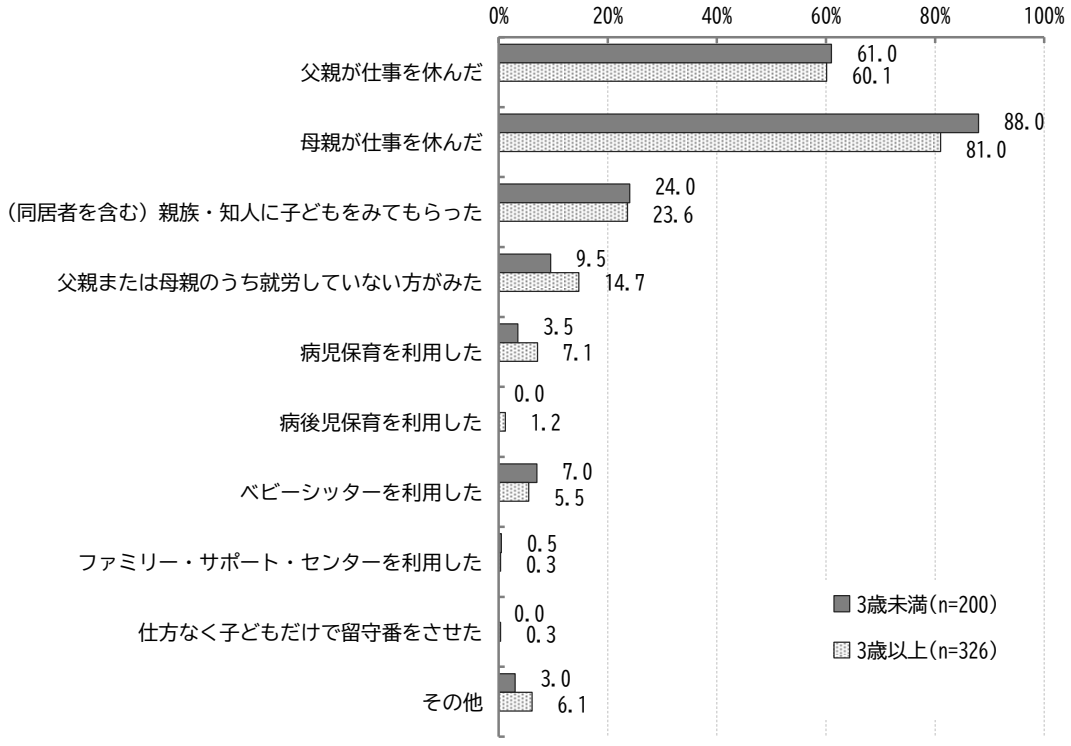
３歳未満・３歳以上ともに、「あった」が８割を超えている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

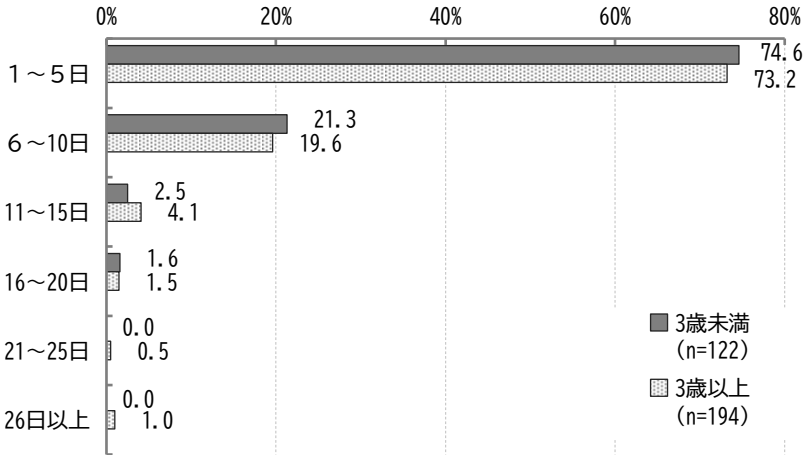
【②対処方法】

３歳未満・３歳以上ともに、「母親が仕事を休んだ」が８割以上と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が６割程度、「(同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が２割程度となっている。



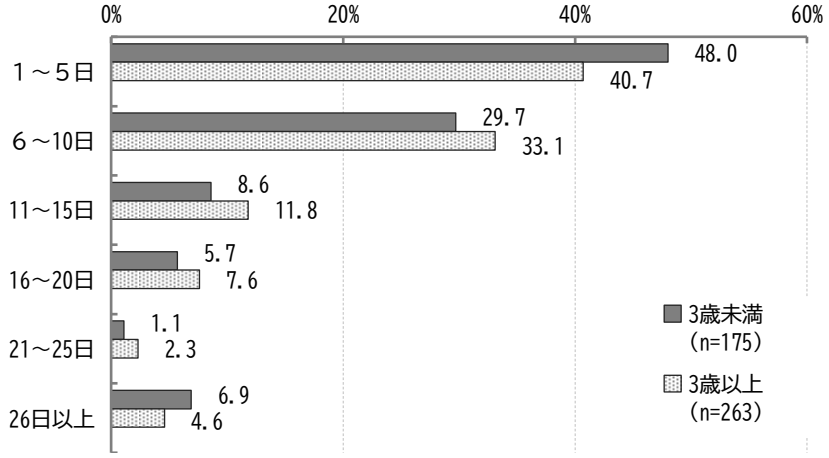
【③父親が仕事を休んだ／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が７割以上と最も多く、次いで「６～10 日」が２割程度となっている。



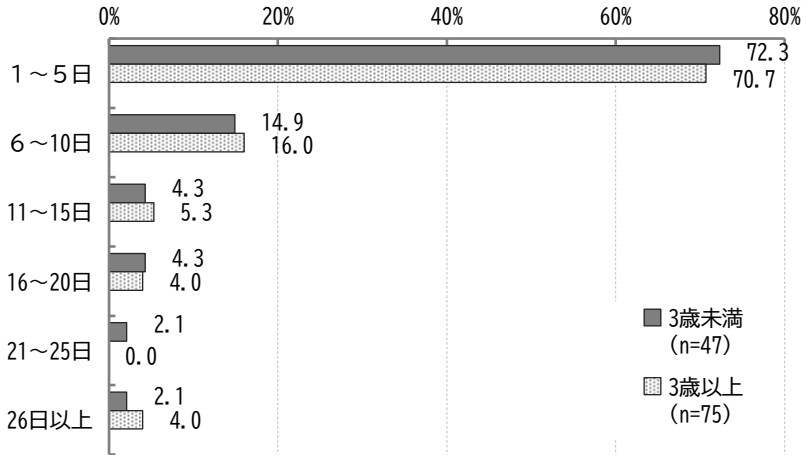
【③母親が仕事を休んだ／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が４割以上と最も多く、次いで「６～10 日」が３割程度となっている。



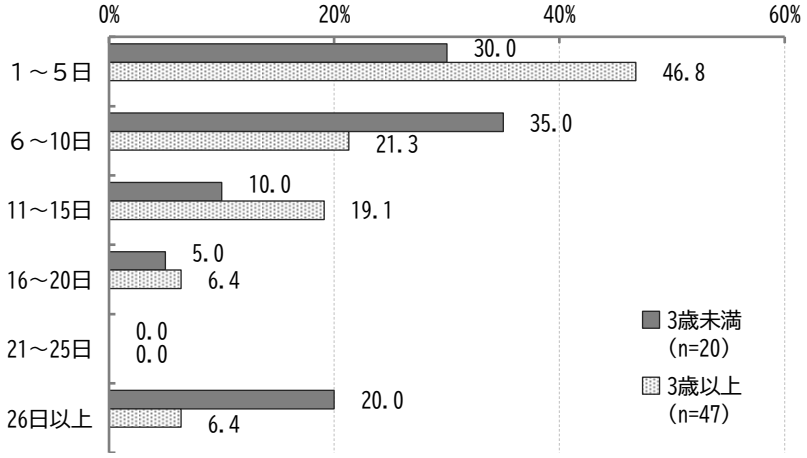
【⑤親族・知人にみてもらった／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が７割以上と最も多く、次いで「６～10 日」が１割以上となっている。



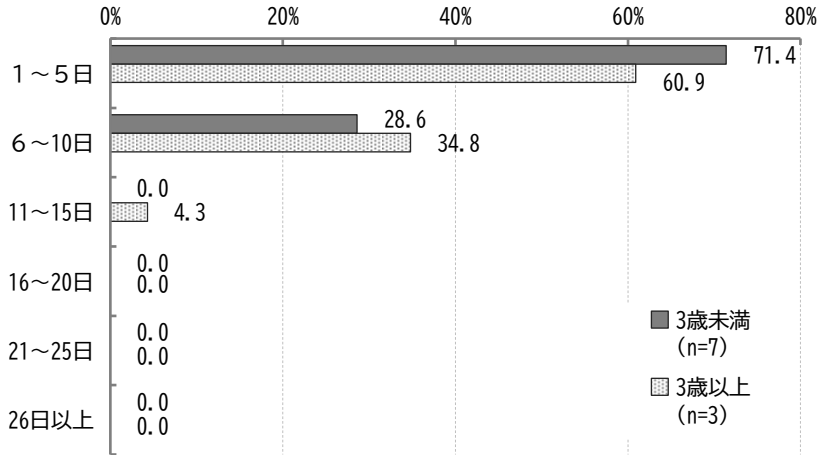
【⑥父親、母親で就労していない方がみた／年間延べ日数】

３歳未満は「６～10 日」35.0%、「１～５日」30.0%「26 日以上」20.0%の順になっている。３歳以上は「１～５日」46.8%、「６～10 日」21.3%、「11～15 日」19.1%の順になっている。



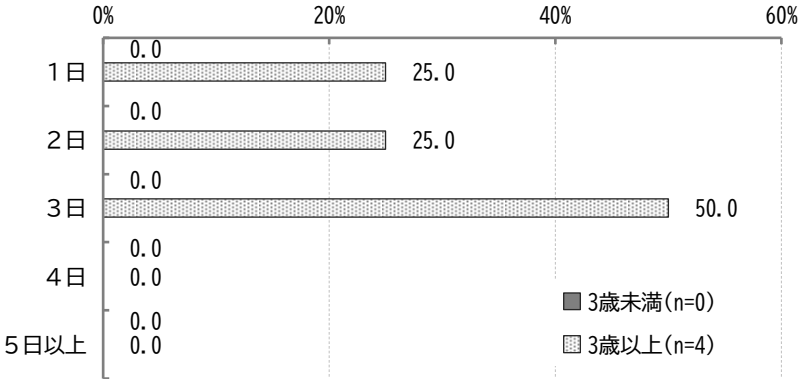
【⑦病児保育を利用／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が６～７割と最も多く、次いで「６～10 日」が３割程度となっている。



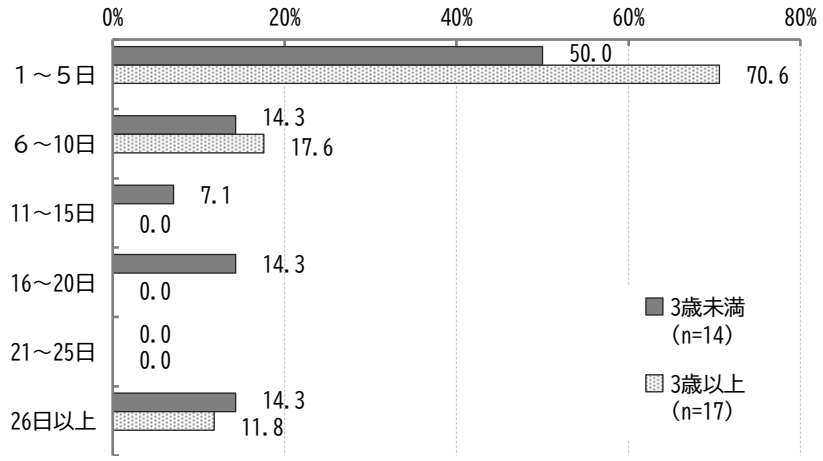
【⑧病後児保育を利用／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳以上は「３日」が最も多い。



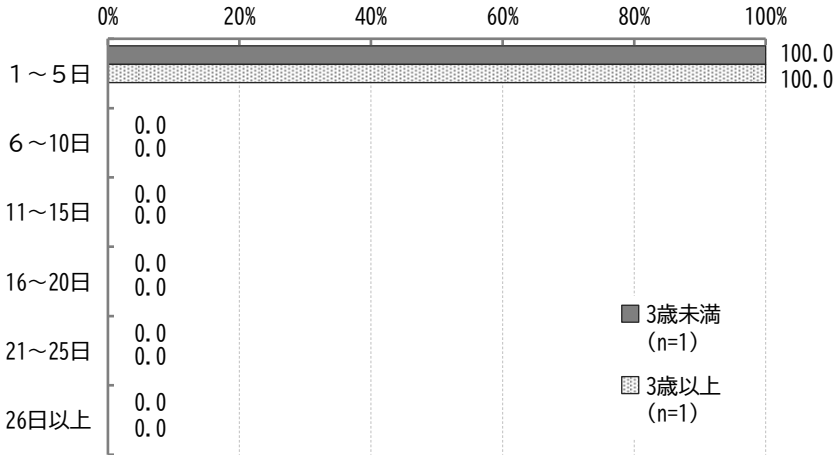
【⑨ベビーシッターを利用／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が５割以上と最も多くなっている。



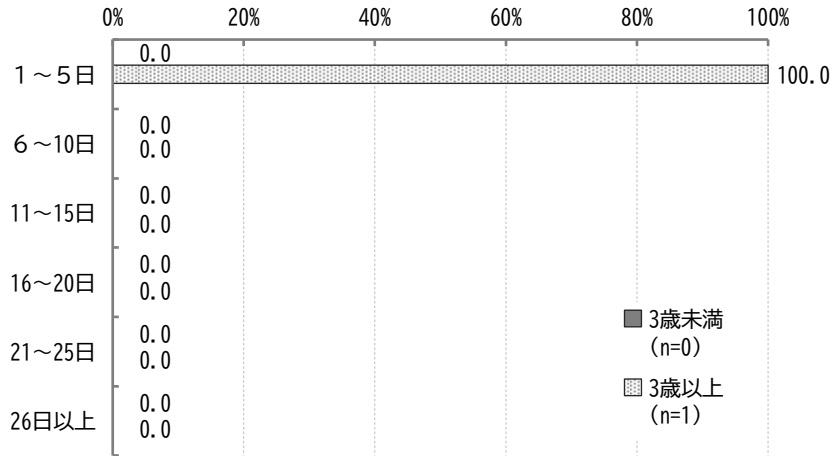
【⑩ファミリー・サポート・センターを利用／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が多い。



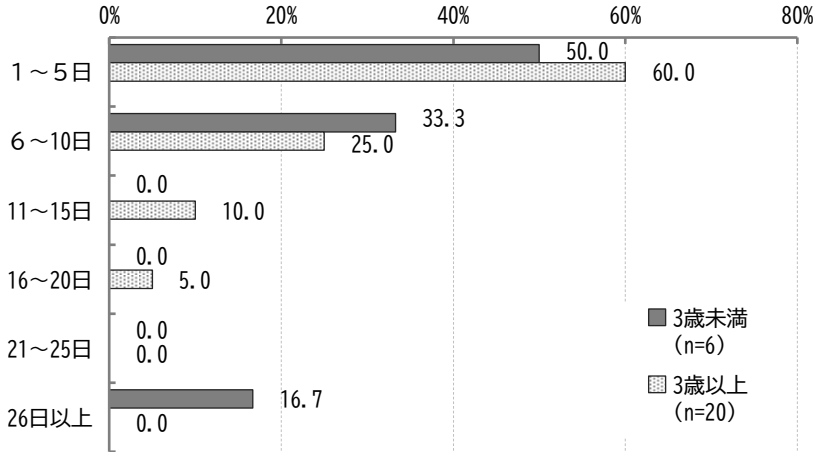
【⑪仕方なく子どもだけで留守番をさせた／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、「１～５日」が多い。



【⑫その他／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が５割以上と最も多く、次いで「６～10 日」が２～３割程度となっている。



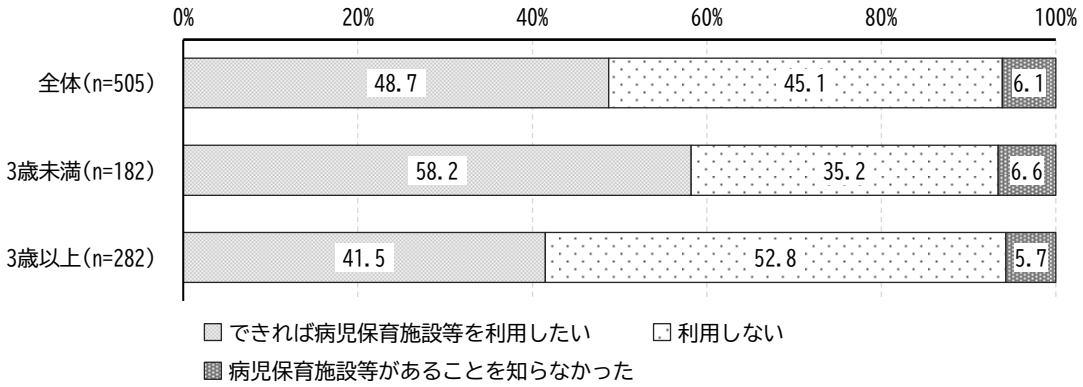
問２２で、「ア.父親が仕事を休んだ」または「イ.母親が仕事を休んだ」を選んだ方に伺います。

（２）病児保育施設等の利用希望

問２２－１　その際、お子さんが発熱や風邪などの病気であった場合、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（１つを選択）また、利用したい場合は、利用日数をあわせてお答えください。なお、病児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

【①利用希望】

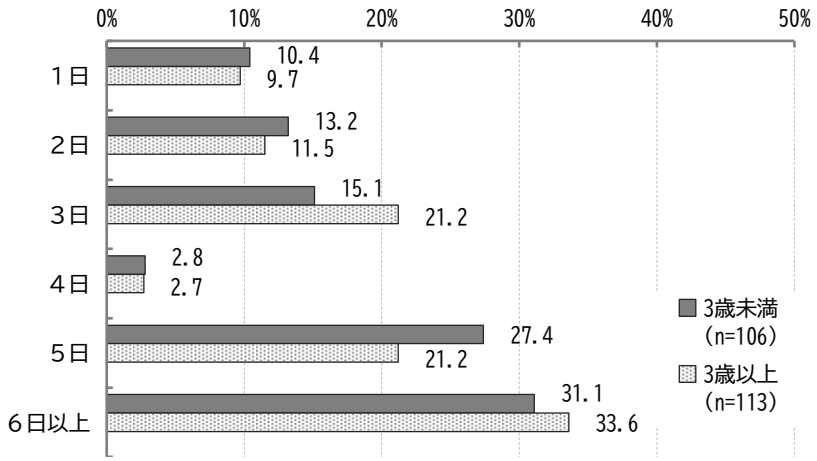
３歳未満では「できれば病児保育施設等を利用したい」が 58.2%と最も多くなっている。
３歳以上では「利用しない」が 52.8%と最も多く、「できれば病児保育施設等を利用したい」は 41.5%となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②希望利用日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「６日以上」が３割以上と最も多く、次いで「５日」が２割以上となっている。

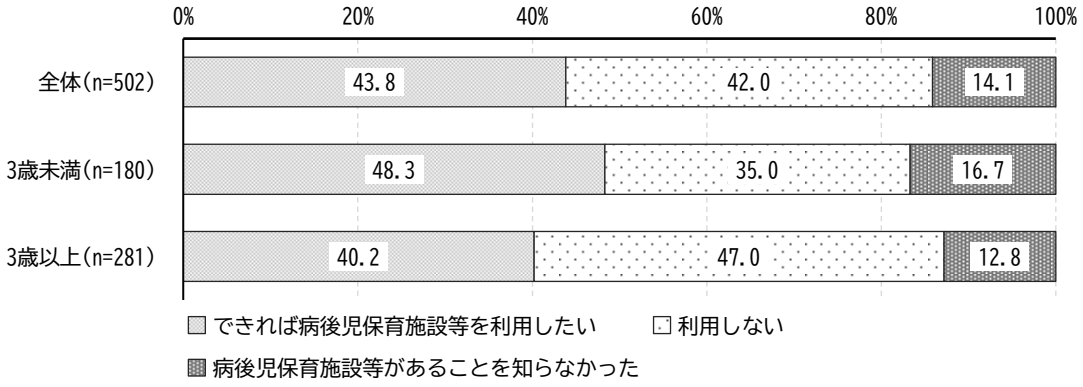


（3）病後児保育施設等の利用希望

問２２－２　その際、お子さんが発熱や風邪などの病気が回復し登園可能であるが、集団での保育や園での戸外活動に不安があると感じた場合、「できれば病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（１つを選択）また、利用したい場合は、利用日数をあわせてお答えください。なお、病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる場合があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

【①利用希望】

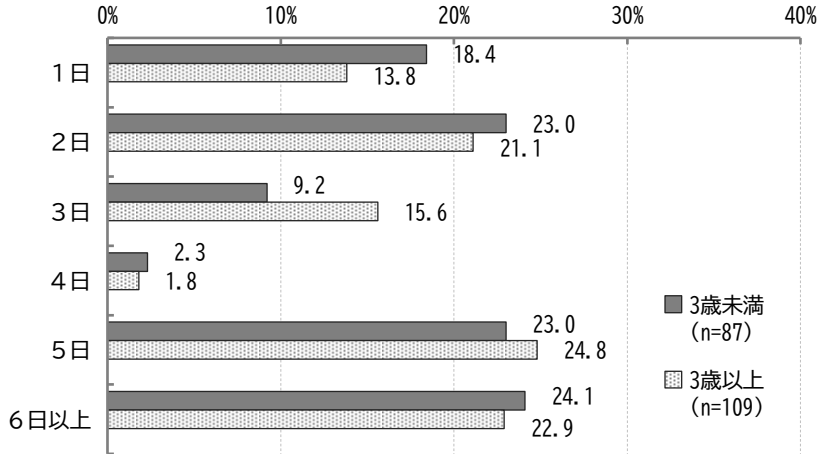
３歳未満では「できれば病児保育施設等を利用したい」が 48.3%と最も多くなっている。
３歳以上では「利用しない」が 47.0%と最も多く、「できれば病児保育施設等を利用したい」は 40.2%となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②希望利用日数】

３歳未満は「６日以上」24.1%、「５日」、「２日」が 23.0%の順になっている。
３歳以上は「５日」24.8%、「６日以上」22.9%、「２日」21.1%の順になっている。

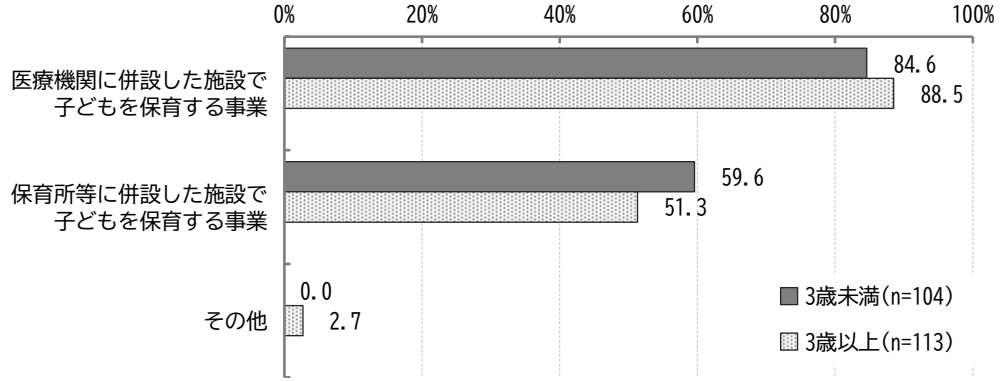


問２２－１で、「１.できれば病児保育施設等を利用したい」を選んだ方に伺います。

（４）病児保育施設の希望事業形態

問２２－３　病児保育施設に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が良いと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が８割以上と最も多く、次いで「保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が５割以上となっている。



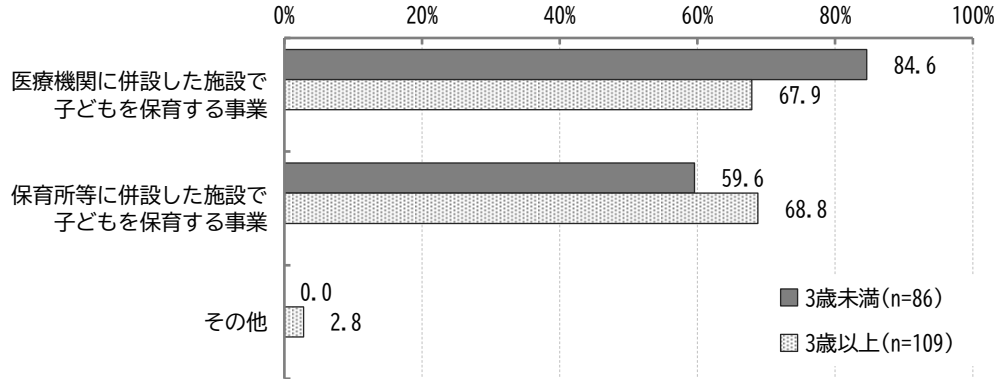
問２２－２で、「１.できれば病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方に伺います。

（５）病後児保育施設の希望事業形態

問２２－４　病後児保育施設に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が良いと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満は、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」が 84.6%と最も多く、次いで「保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」59.6%となっている。

３歳以上は「保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 68.8%と、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」67.9%を若干上回っている。

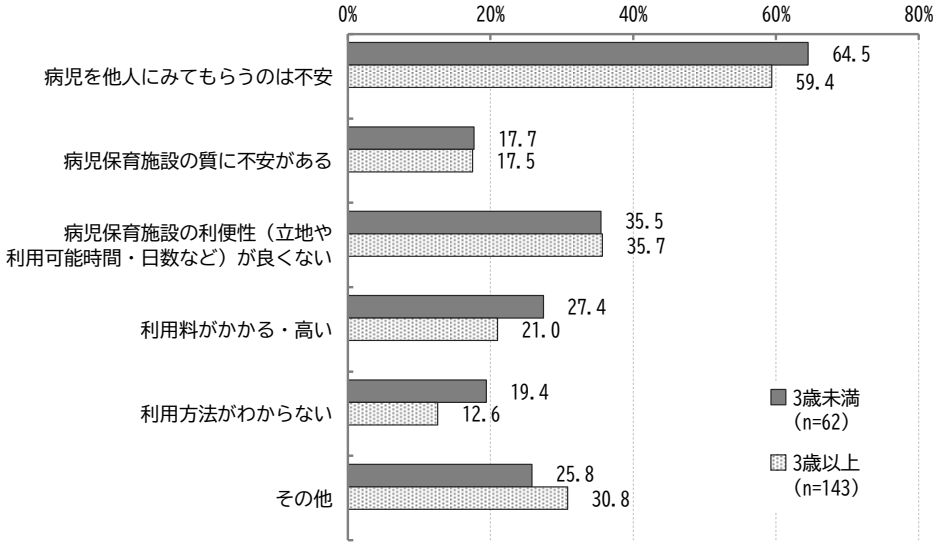


問２２－１で、「２.利用しない」を選んだ方に伺います。

（６）病児保育施設を利用しない理由

問２２－５　利用しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「病児を他人にみてもらうのは不安」が６割前後と最も多く、次いで「病児保育施設の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない」が３割以上となっている。

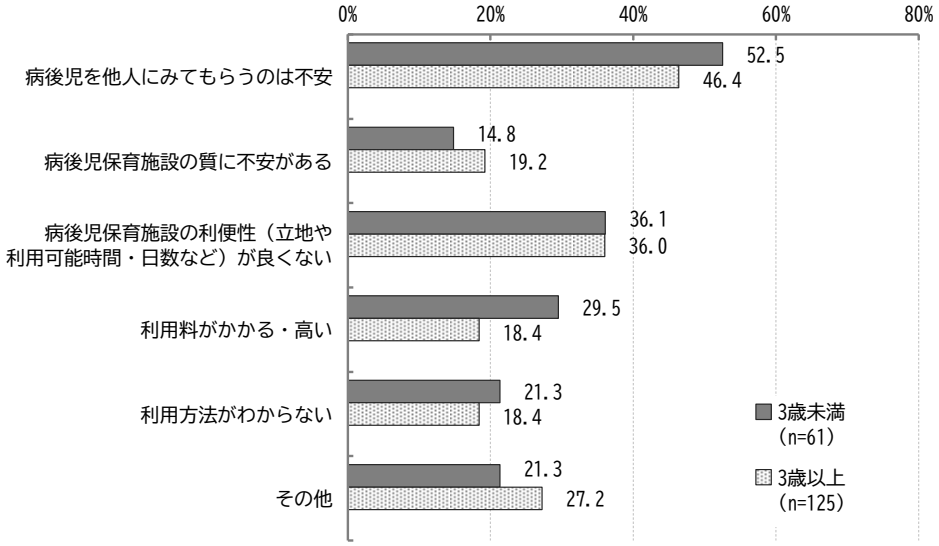


問２２－２で、「２.利用しない」を選んだ方に伺います。

（７）病後児保育施設を利用しない理由

問２２－６　利用しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「病後児を他人にみてもらうのは不安」が５割前後と最も多く、次いで「病後児保育施設の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない」が３割以上となっている。

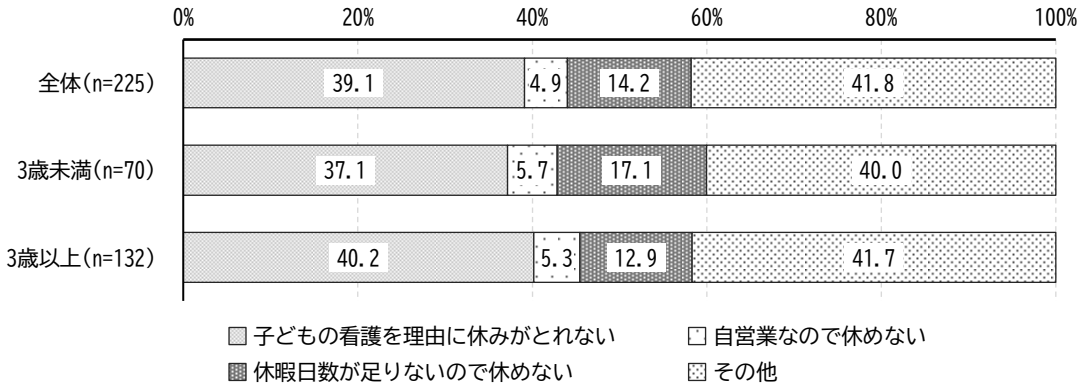


問２２で、「ウ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」～「コ．その他」を選んだ方に伺います。

（8）父親・母親の仕事が休めない理由

問２２－７　「ウ」から「コ」を選んだ理由はなんですか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が４割前後となっている。

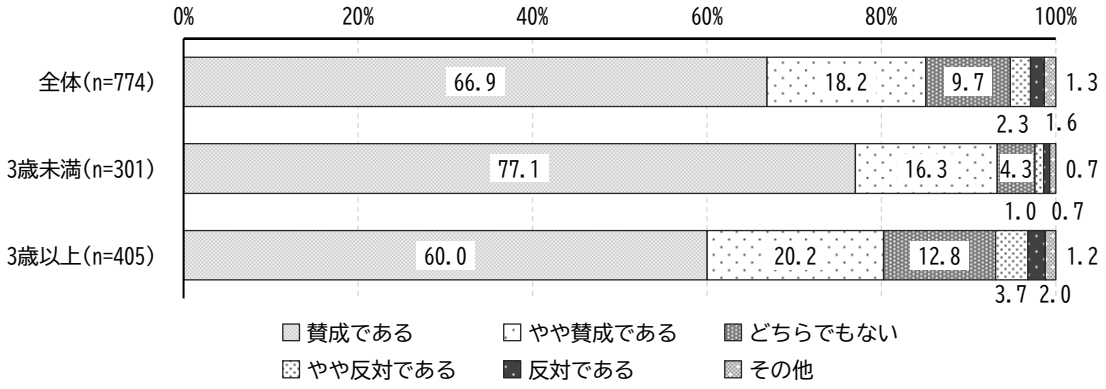


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（9）病児保育新設時の品川区の費用補助について

問２３　品川区が病児保育を新設する事業者に対して、開設費および運営費の補助を行うことについてどのように思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「賛成である」が６～７割以上と最も多く、次いで「やや賛成である」が２割程度となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

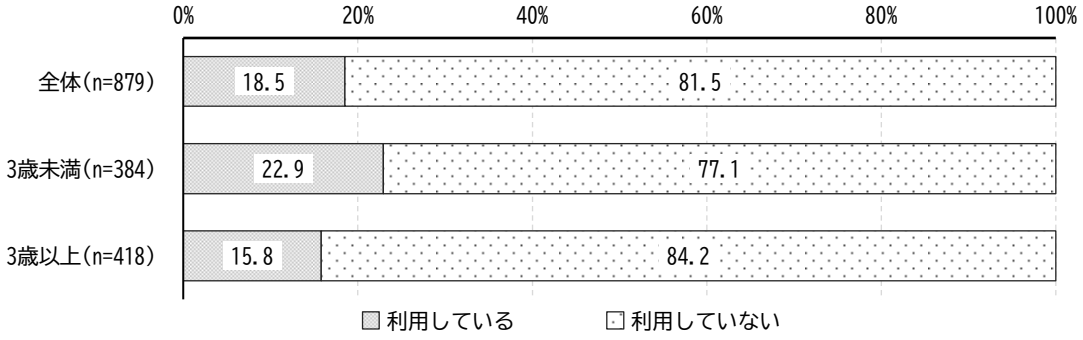
９．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

（1）不定期な教育・保育事業の利用状況

問２４　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。利用している場合は、利用している事業と１年間のおおよその利用日数を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。

【①不定期な教育・保育事業の利用状況】

３歳未満・３歳以上ともに、「利用していない」が８割以上と多くなっている。

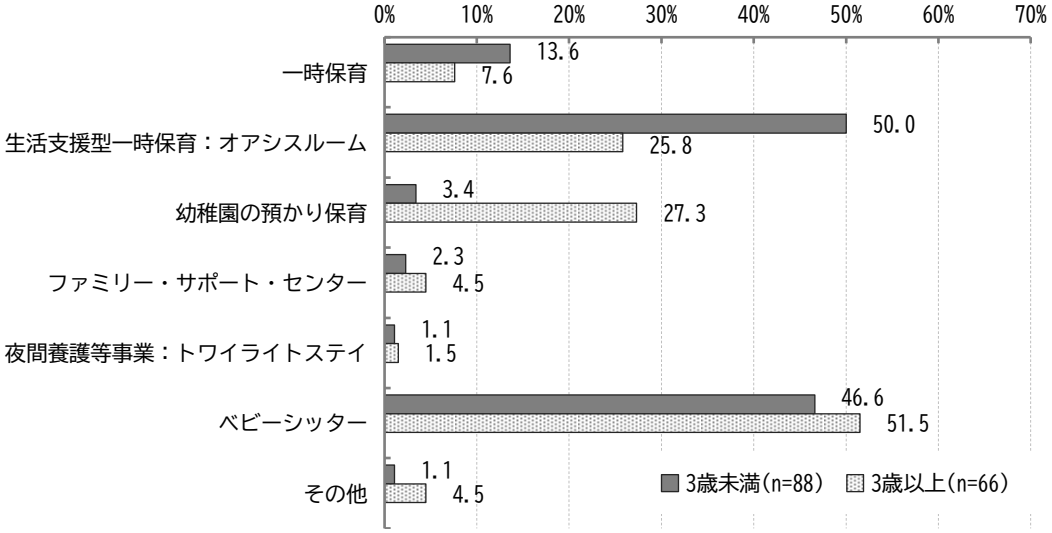


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②利用している事業】

３歳未満は「生活支援型一時保育：オアシスルーム」が 50.0%と最も多く、次いで「ベビーシッター」46.6%、「一時保育」13.6%の順になっている。

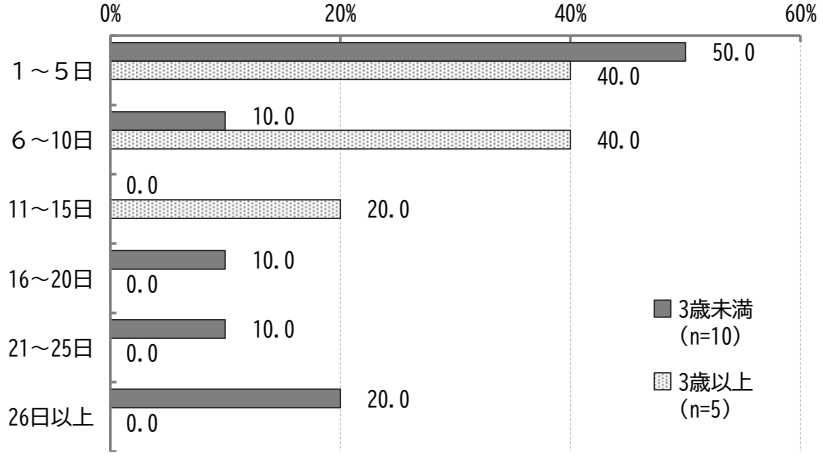
３歳以上は、「ベビーシッターが」51.5%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」27.3%、「生活支援型一時保育：オアシスルーム」25.8%の順になっている。



【③一時保育／年間延べ日数】

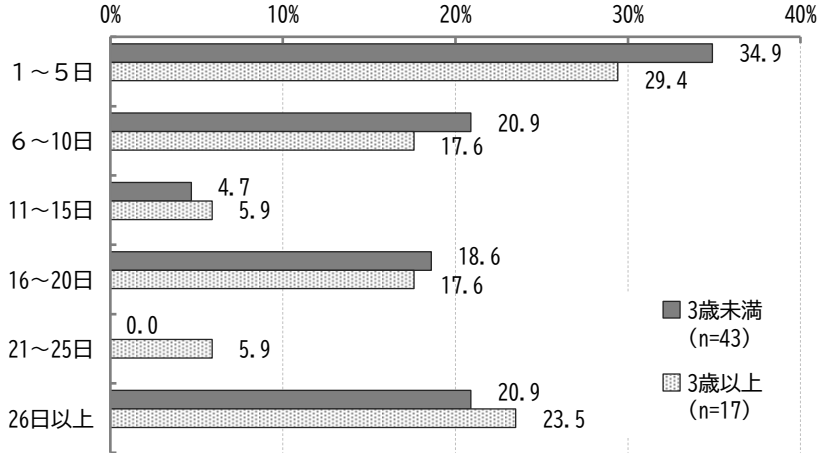
母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「１～５日」が 50.0%と最も多く、次いで「26 日以上」20.0%の順になっている。

３歳以上は「１～５日」「６～10 日」が 40.0%と最も多く、次いで「11～15 日」20.0%の順になっている。



【④生活支援型一時保育：オアシスルーム／年間延べ日数】

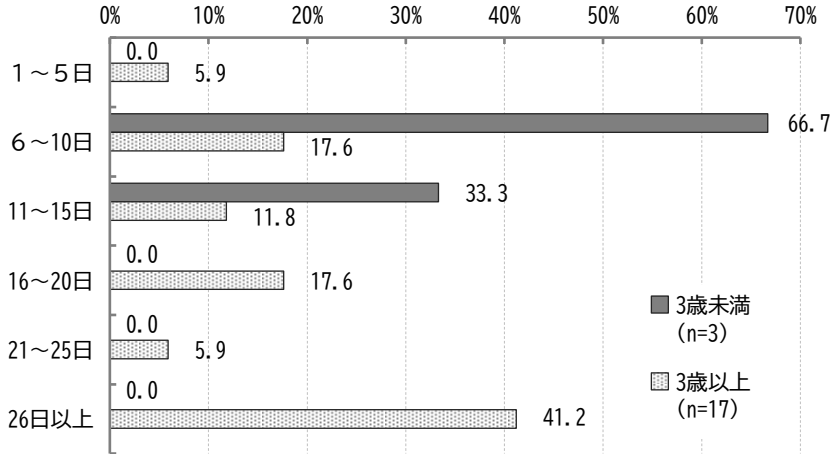
３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が３割程度と最も多く、次いで「26 日以上」が２割程度となっている。



【⑤幼稚園の預かり保育／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「６～10 日」が 66.7%と最も多く、次いで「11～15 日」33.3%となっている。

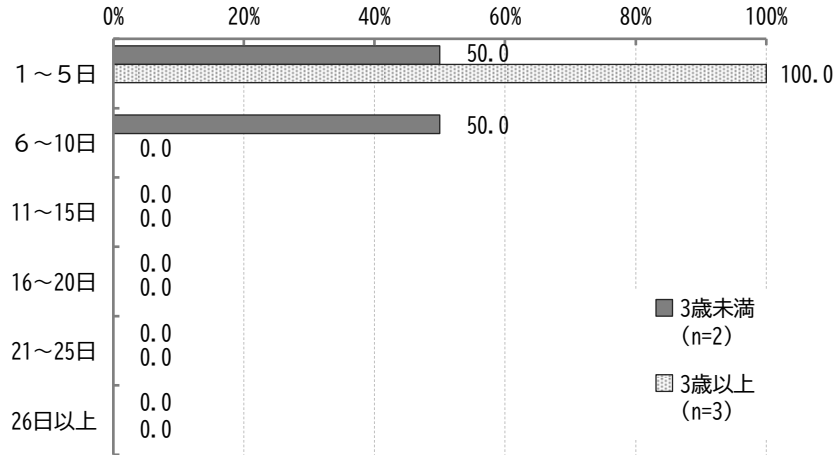
３歳以上は、「26 日以上」が 41.2%と最も多く、次いで「６～10 日」「16～20 日」が 17.6%となっている。



【⑥ファミリー・サポート・センター／年間延べ日数】

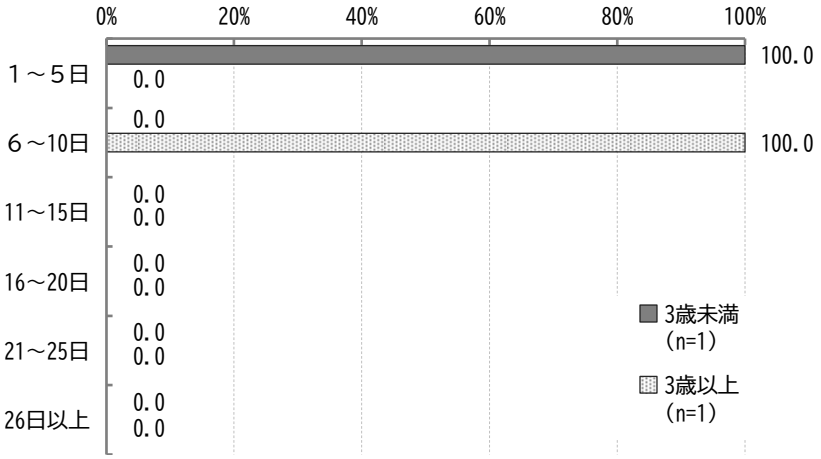
母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「１～５日」「６～10 日」が 50.0%となっている。

３歳以上は、「１～５日」が 100%となっている。



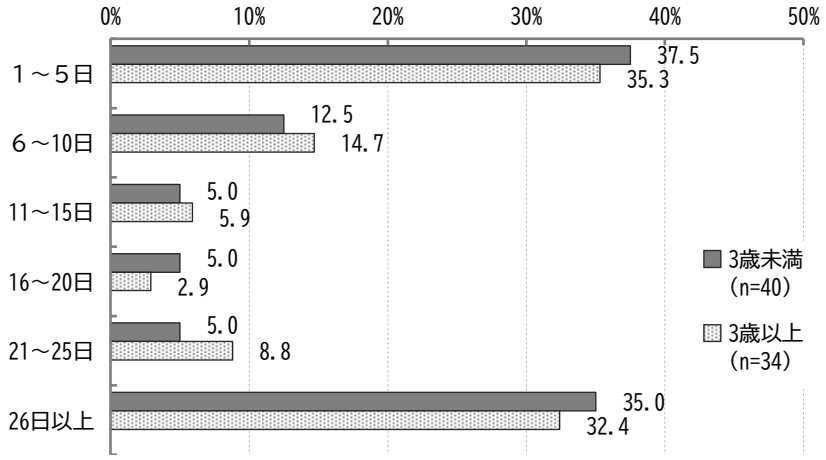
【⑦夜間養護等事業：トワイライト／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「１～５日」、３歳以上は「６～10 日」が多くなっている。



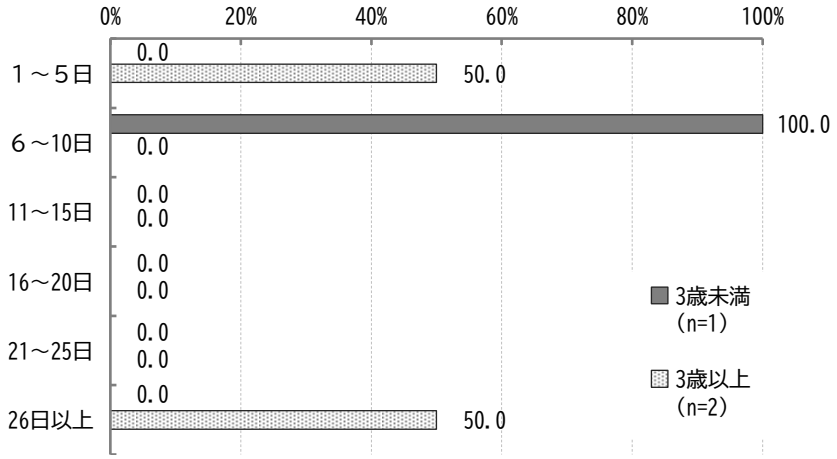
【⑧ベビーシッター／年間延べ日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が４割弱と最も多く、次いで「26 日以上」が３割以上となっている。しかし、その差は少ない。



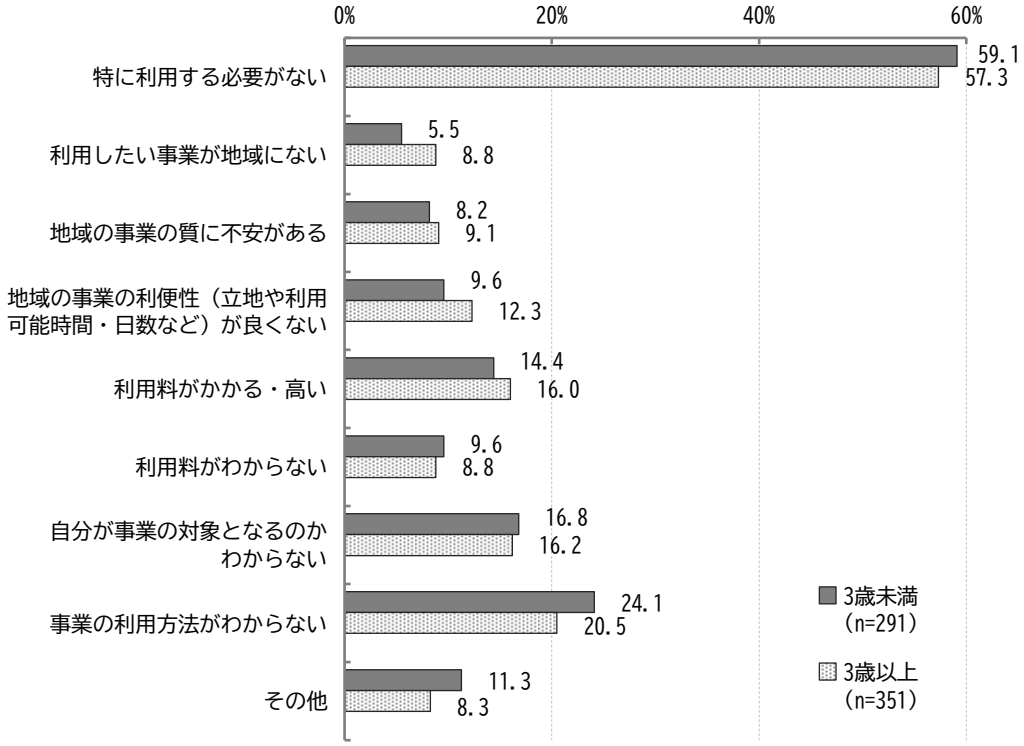
【⑨その他／年間延べ日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「６～10 日」が多く、３歳以上は「１～５日」「26 日以上」が多くなっている。



【⑩利用していない理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「特に利用する必要がない」が６割弱と最も多く、次いで「事業の利用方法がわからない」が２割程度となっている。

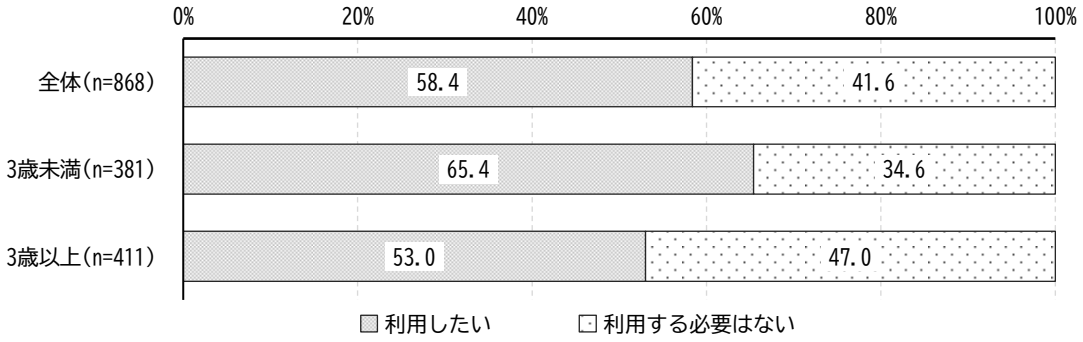


（2）不定期な教育・保育事業の利用希望

問２５　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてを選び、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

【①不定期な教育・保育事業の利用希望】

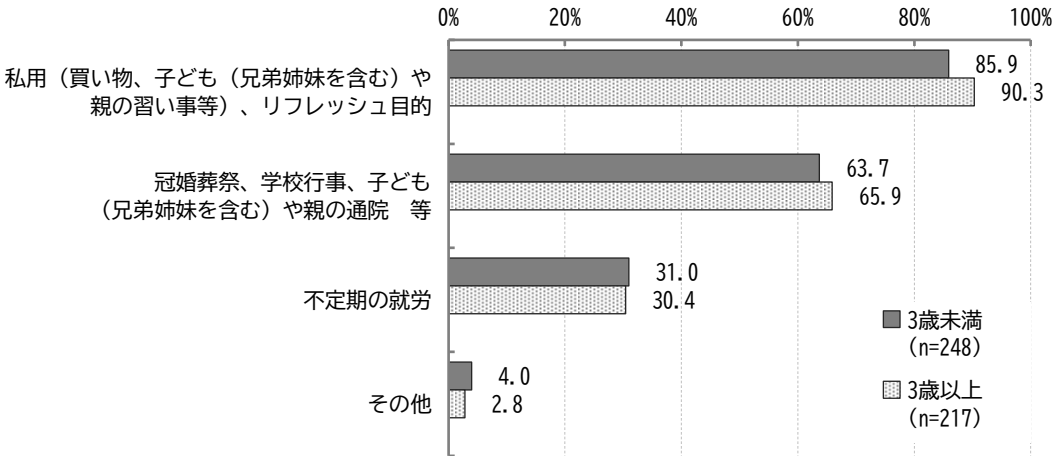
３歳未満・３歳以上ともに、「利用したい」が５～６割となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②利用したい理由、目的】

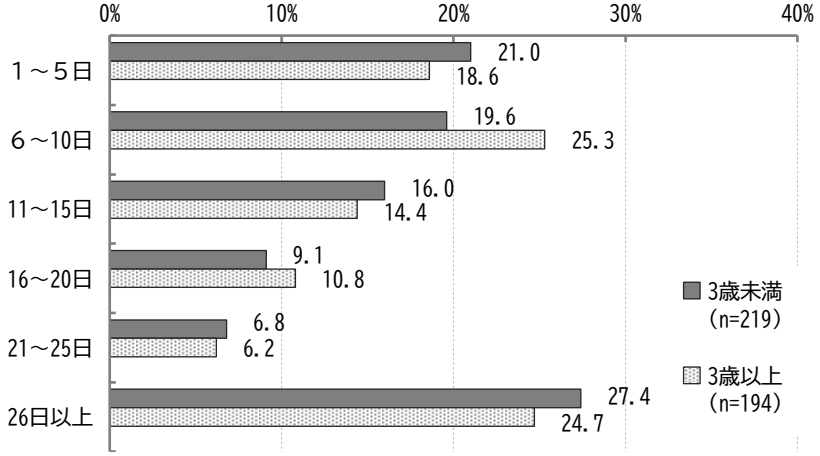
３歳未満・３歳以上ともに、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が８～９割と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が６割以上となっている。



【③必要合計日数】

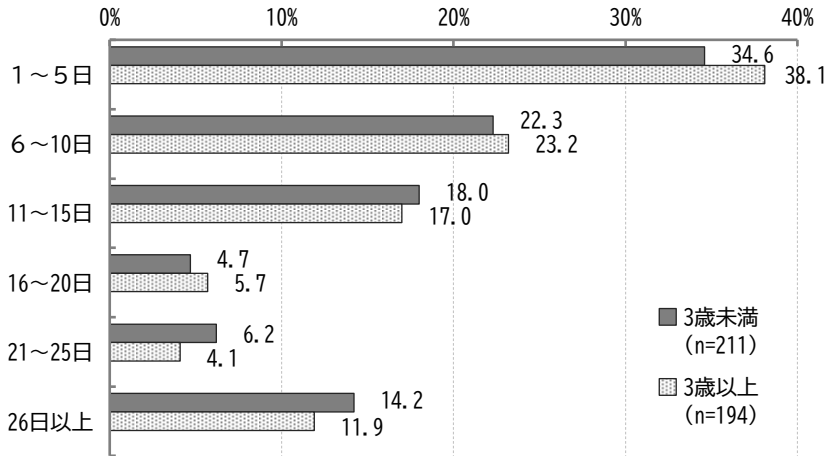
３歳未満は「26 日以上」が 27.4%と最も多く、次いで「１～５日」21.0%、「６～10 日」19.6%の順になっている。

３歳以上は、「６～10 日」が 25.3%と最も多く、次いで「26 日以上」24.7%、「１～５日」18.6%の順になっている。



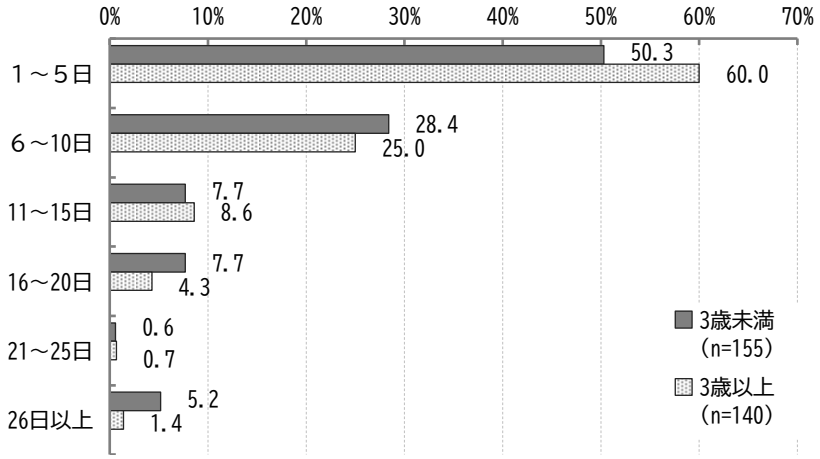
【④私用、リフレッシュ／必要日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が３割以上と最も多く、次いで「６～10 日」が２割以上となっている。



【⑤冠婚葬祭、学校行事等／必要日数】

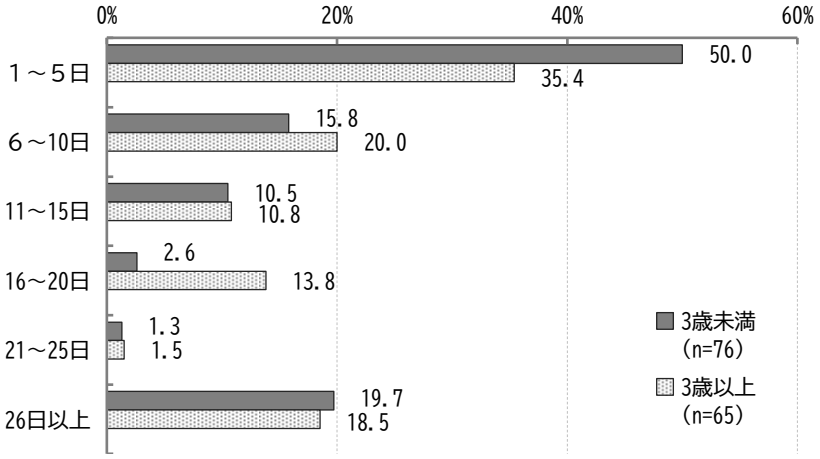
３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が５～６割と最も多く、次いで「６～10 日」が３割弱となっている。



【⑥不定期の就労／必要日数】

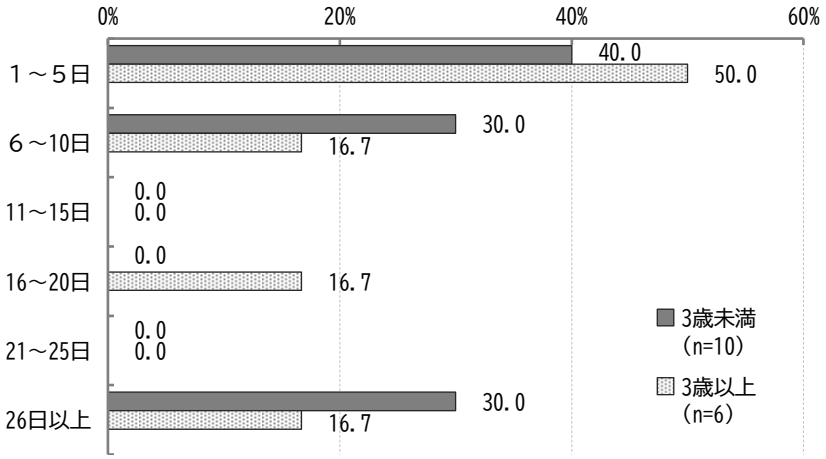
３歳未満は「１～５日」が 50.0%と最も多く、次いで「26 日以上」19.7%、「６～10 日」15.8%の順になっている。

３歳以上は、「１～５日」が 35.4%と最も多く、次いで「６～10 日」20.0%、「26 日以上」が 18.5%の順になっている。



【⑦その他／必要日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満・３歳以上ともに、「１～５日」が４～５割と最も多くなっている。

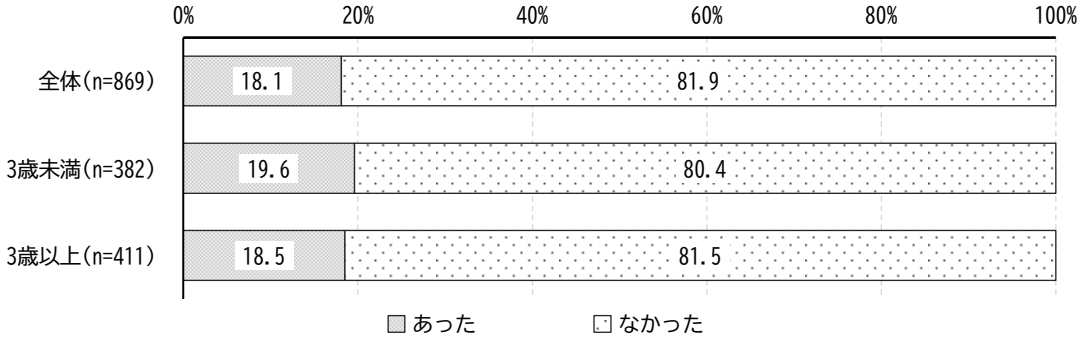


（3）宿泊を伴う一時預かりが必要な機会の有無

問２６　お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてを選択し、必要な泊数を数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

【①宿泊を伴う一時預かりが必要な機会】

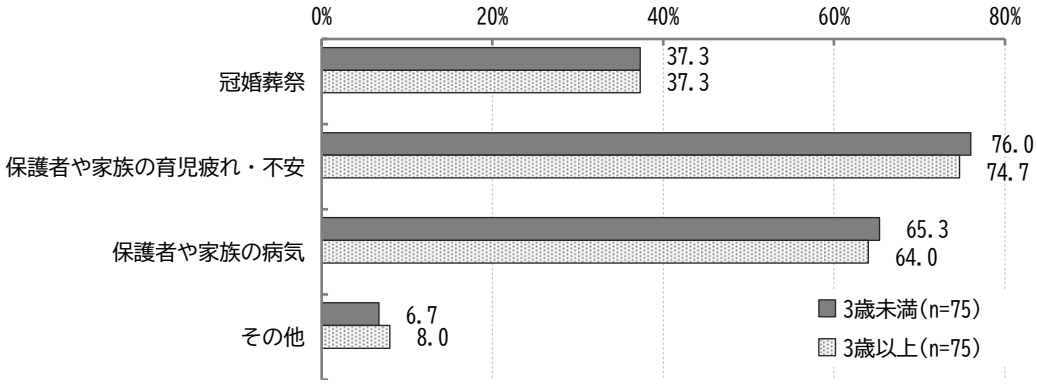
３歳未満・３歳以上ともに、「なかった」が８割以上と多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

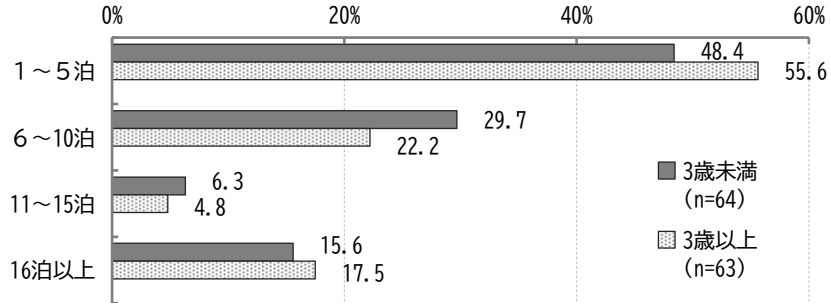
【②利用したい理由、目的】

３歳未満・３歳以上ともに、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が７割以上と最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が６割以上となっている。



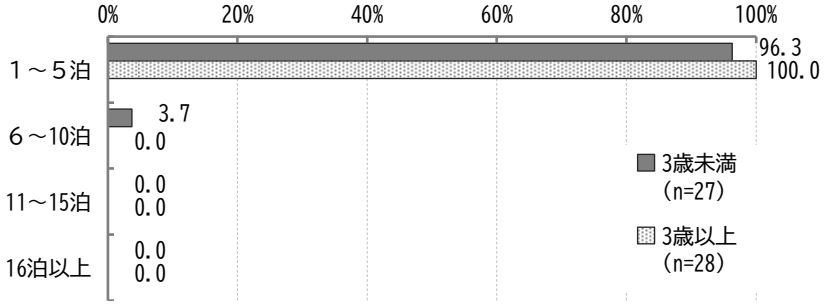
【③必要合計日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５泊」が４～５割程度と最も多く、次いで「６～10 泊」が３割弱となっている。



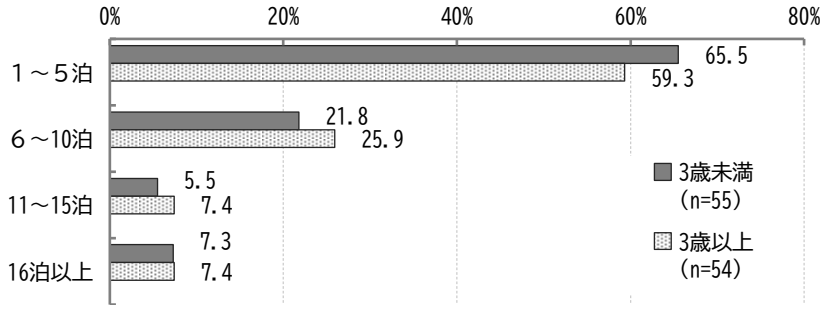
【④冠婚葬祭／必要日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満・３歳以上ともに、「１～５泊」が９割以上と最も多くなっている。



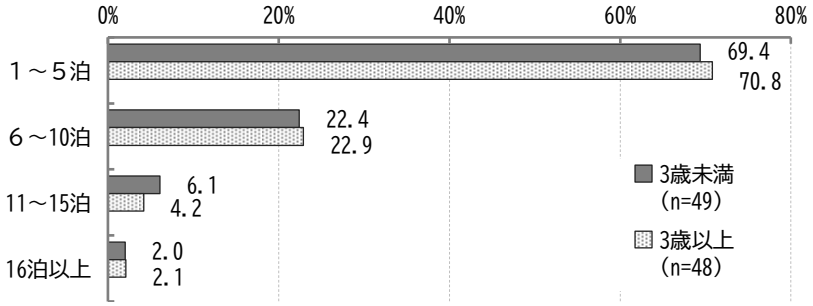
【⑤育児疲れ・不安／必要日数】

３歳未満・３歳以上ともに、「１～５泊」が６割程度と最も多く、次いで「６～10 泊」が２割程度となっている。



【⑥家族の病気／必要日数】

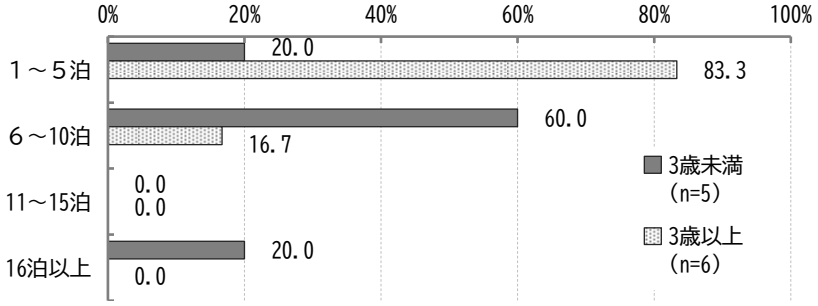
３歳未満・３歳以上ともに、「１～５泊」が７割程度と最も多く、次いで「６～10 泊」が２割程度となっている。



【⑦その他／必要日数】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「６～10 泊」が 60.0%と最も多く、次いで、「１～５泊」、「16 泊以上」が 20.0%となっている。

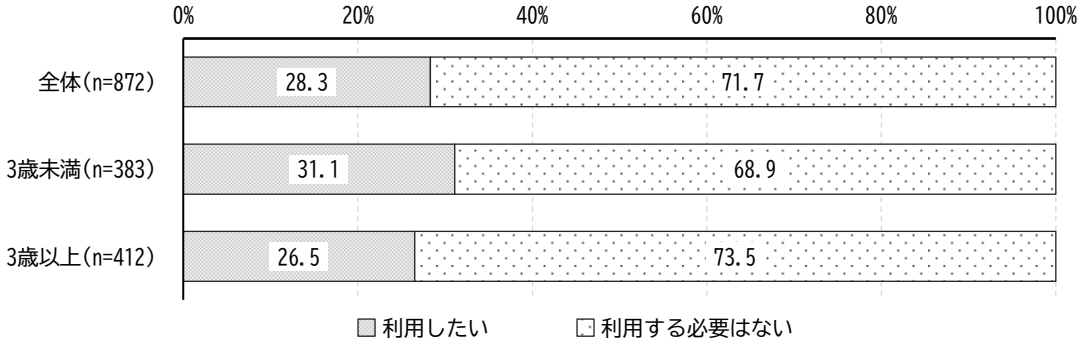
３歳以上は、「１～５泊」が 83.3%と最も多く、次いで「６～10 泊」16.7%となっている。



（4）夜間・深夜・早朝・休日保育サービスの利用希望

問２７　夜間・深夜・早朝・休日保育サービスを利用したいと思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「利用する必要はない」が７割程度と多くなっている。



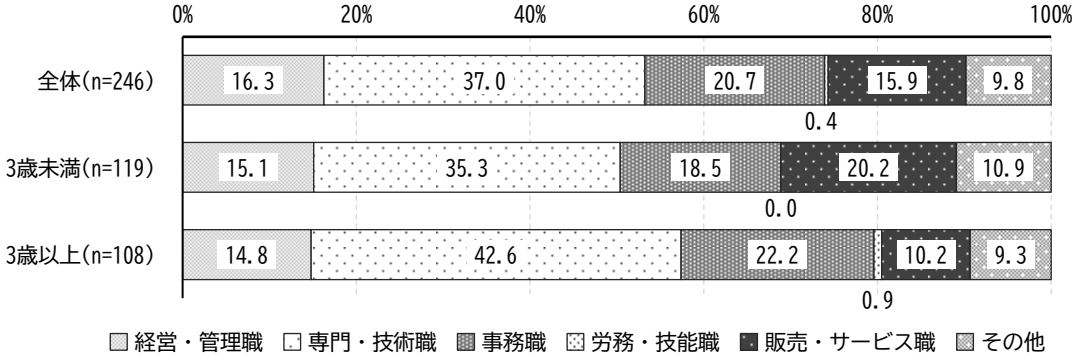
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

問２７で、「１.利用したい」を選んだ方に伺います。

（5）現在の職種

問２７－１　あなたの現在の職種をお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「専門・技術職」が４割前後と最も多くなっている。
３歳未満では、次いで「販売・サービス職」20.2%、「事務職」18.5%の順になっている。
３歳以上では、次いで「事務職」22.2%、「経営・管理職」4.8%の順になっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

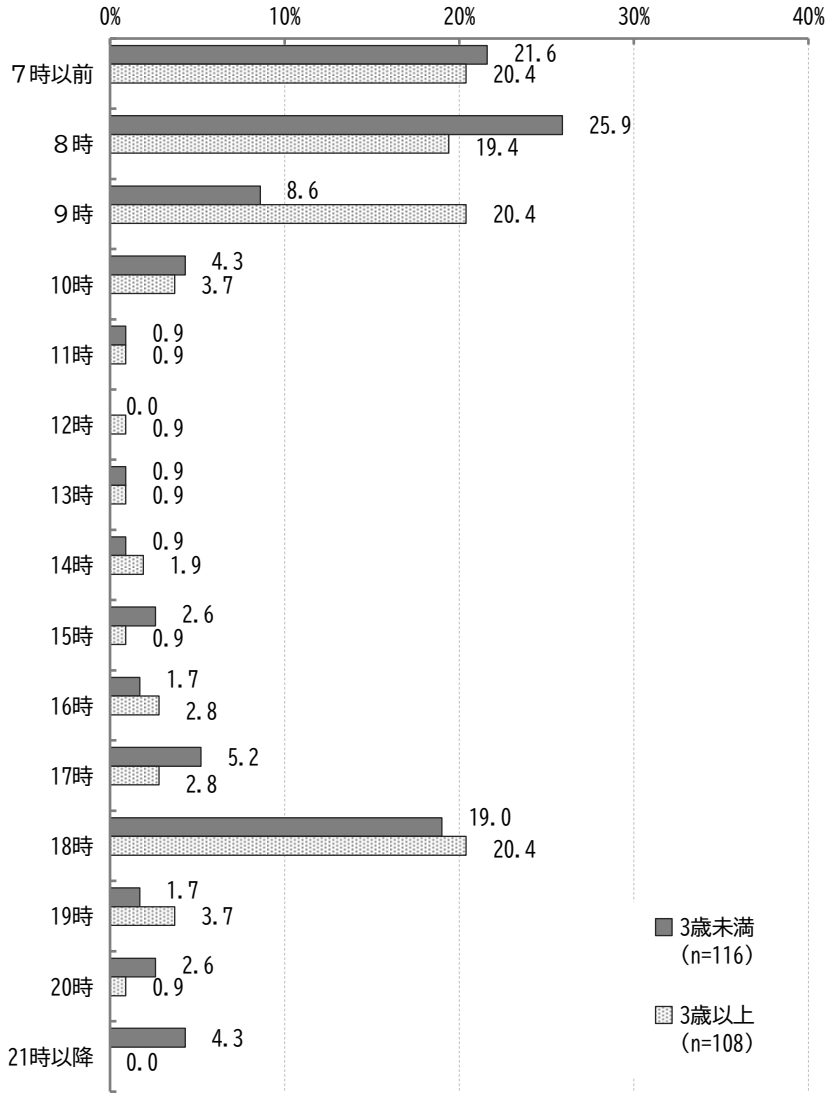
（6）利用したい時間帯

問２７－２　利用したい時間帯をご記入ください。

【①希望利用開始時刻】

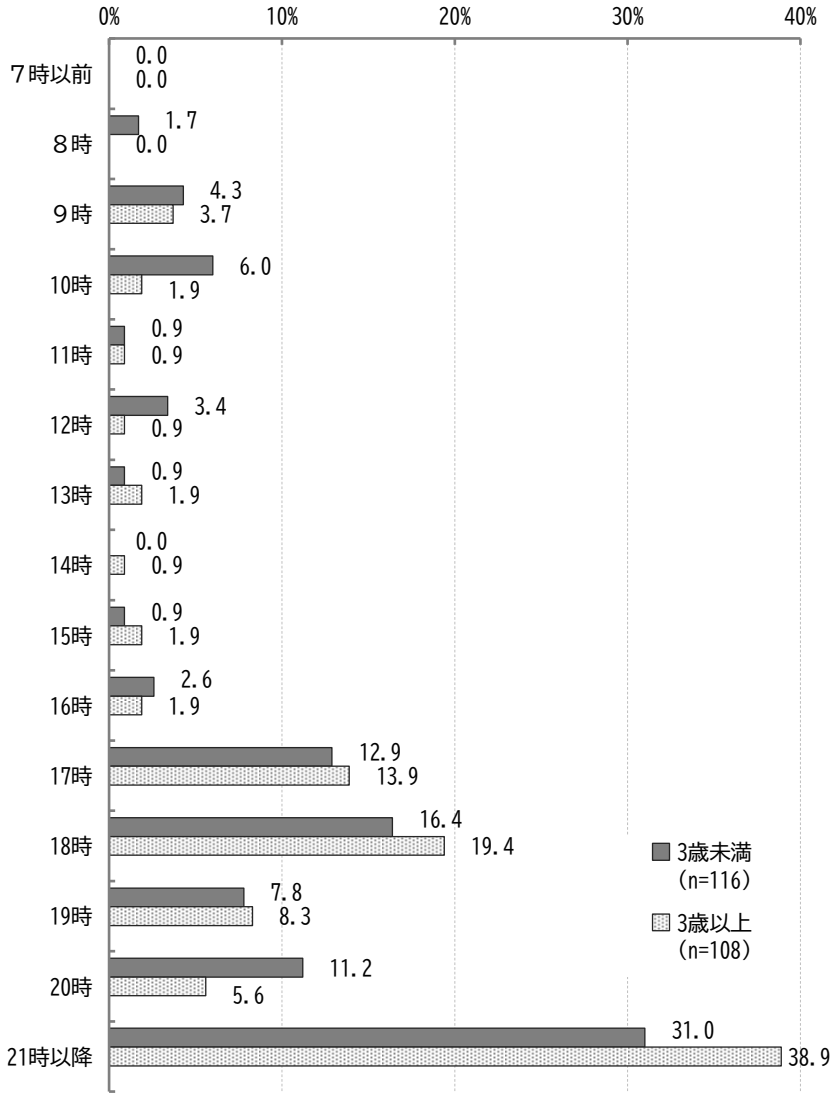
３歳未満は「８時」が 25.9%と最も多く、次いで「７時以前」21.6%、「18 時」が 19.0%の順になっている。

３歳以上は、「７時以前」「９時」「18 時」が 20.4%と最も多く、次いで「８時」19.4%の順になっている



【②希望利用終了時刻】

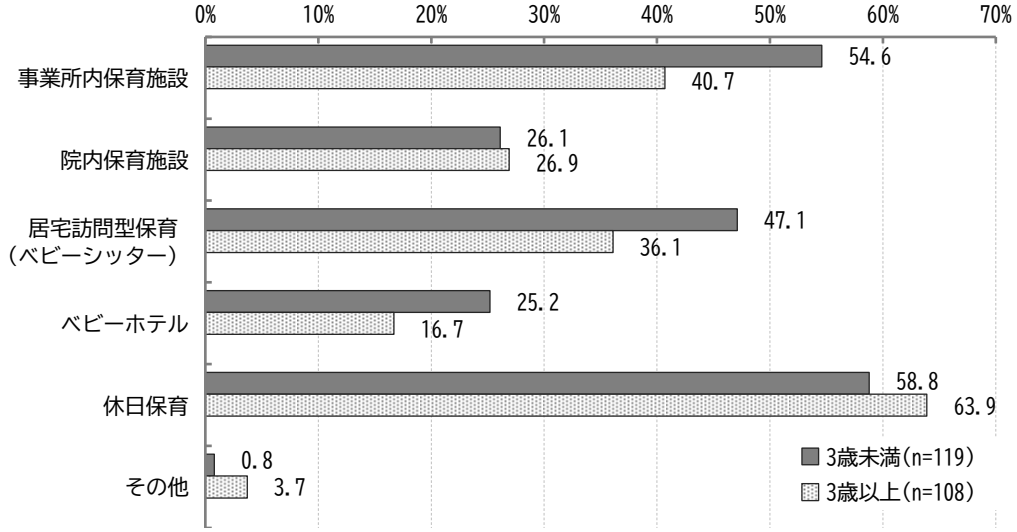
３歳未満・３歳以上ともに、「21 時以降」が３割以上と最も多く、次いで「18 時」が２割弱「17 時」が１割程度となっている。



（7）利用したい施設・事業

問２７－３　利用したい施設・事業をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「休日保育」が６割前後と最も多く、次いで「事業所内保育施設」が４～５割、「居宅訪問型保育（ベビーシッター）」が３～４割程度となっている。

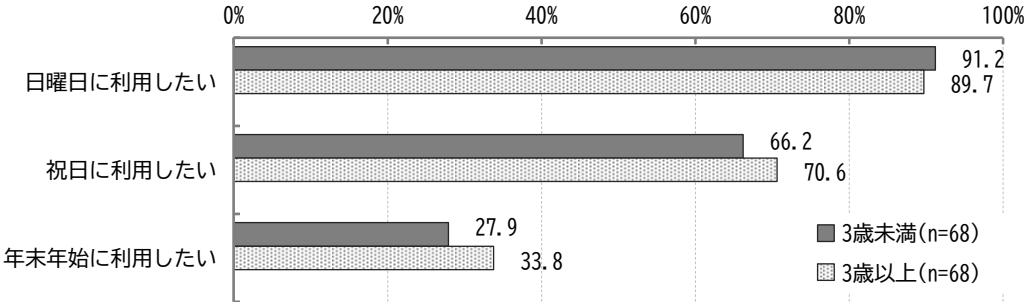


問２７－３で、「５.休日保育」を選んだ方に伺います

（8）休日保育の利用希望

問２７－４　日曜日・祝日、年末年始に、休日保育の利用希望はありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

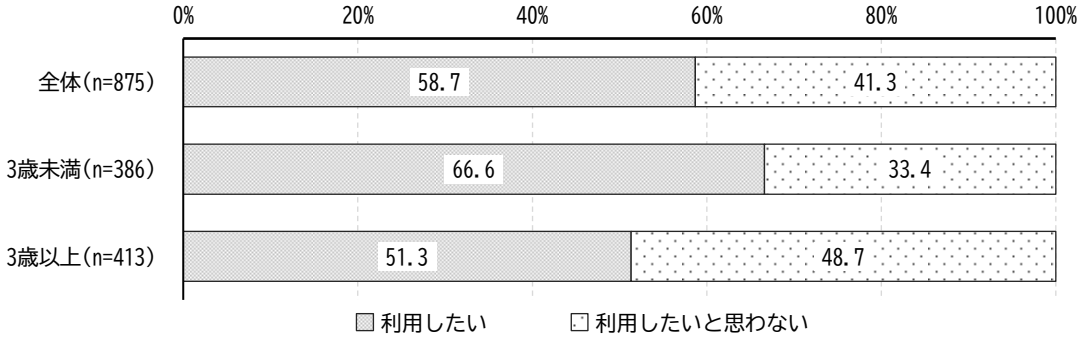
３歳未満・３歳以上ともに、「日曜日に利用したい」が９割程度と最も多く、次いで「祝日に利用したい」が７割程度となっている。



（9）こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望

問２８　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」※が導入された場合、利用したいと思いますか。（１つを選択）なお、事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

３歳未満・３歳以上ともに、「利用したい」が５割以上と多くなっている。



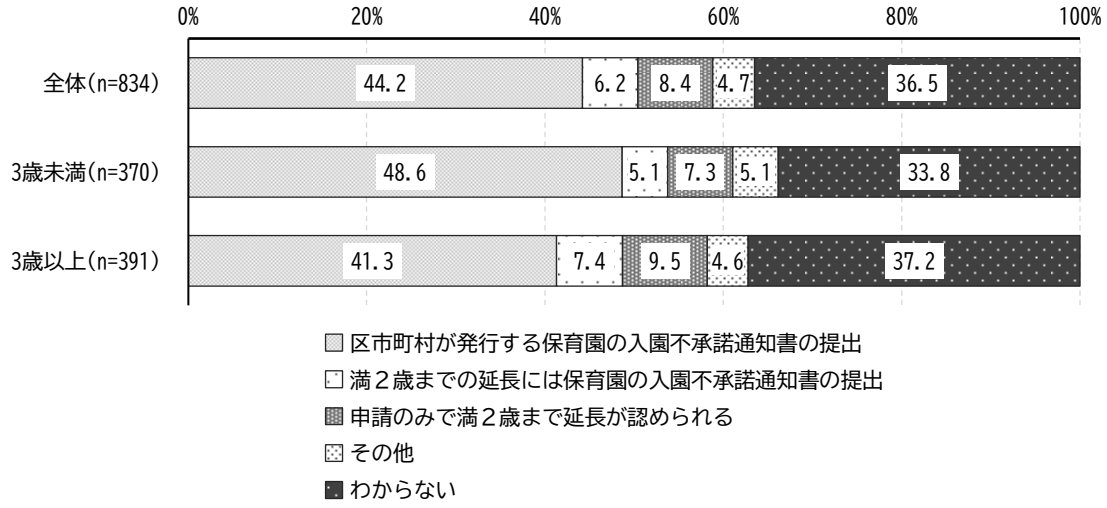
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

１０．育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

（1）育児休業取得時の勤め先での手続き

問２９　育児休業の延長（満１歳から満１歳６か月、満１歳６か月から満２歳）について伺います。育児休業を延長する場合、お勤め先にはどのような手続きが必要ですか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「区市町村が発行する保育園の入園不承諾通知書の提出」が４割以上と最も多く、次いで「わからない」が４割弱となっている。

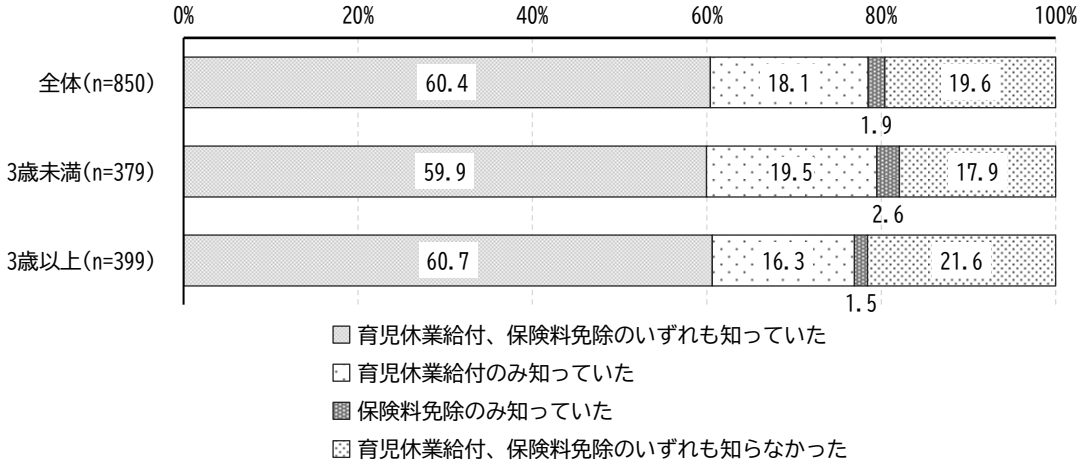


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）育児休業給付金支給等の仕組みに関する認知度

問２９－１　子どもが原則満１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は満２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が６割前後と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が２割程度となっている。

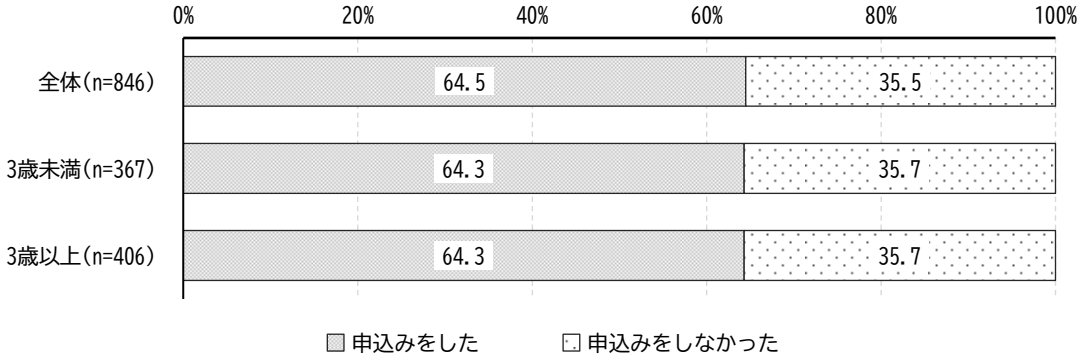


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（3）認可保育園への入園申込みの有無

問３０ お子さんが満１歳になる前に、認可保育園への入園申込みをしましたか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「申込みをした」が 64.3%と多くなっている。

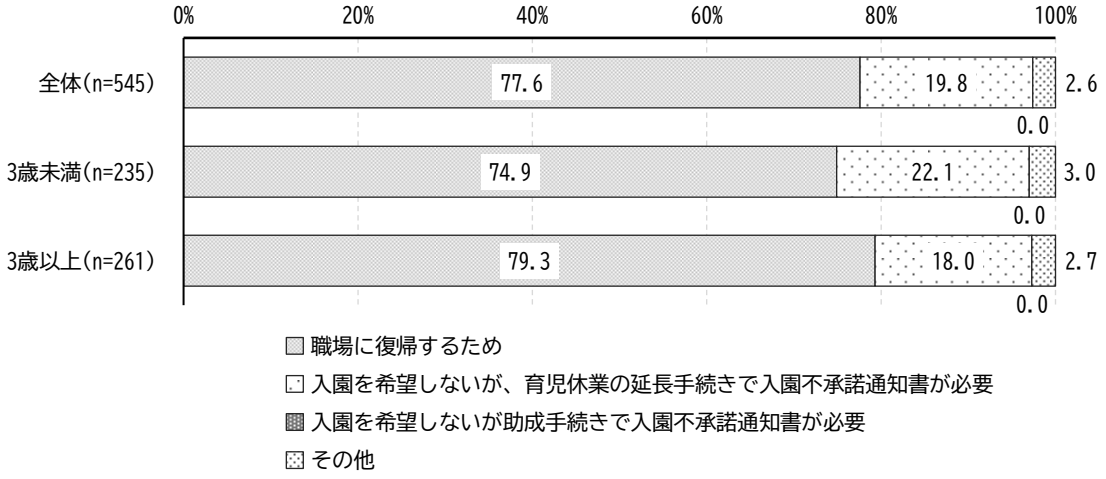


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（3）入園申込みの理由

問３１　入園申込みした理由をお答えください。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「職場に復帰するため」が７割以上と最も多く、次いで「入園を希望しないが、育児休業の延長手続きで入園不承諾通知書が必要」が２割程度となっている。



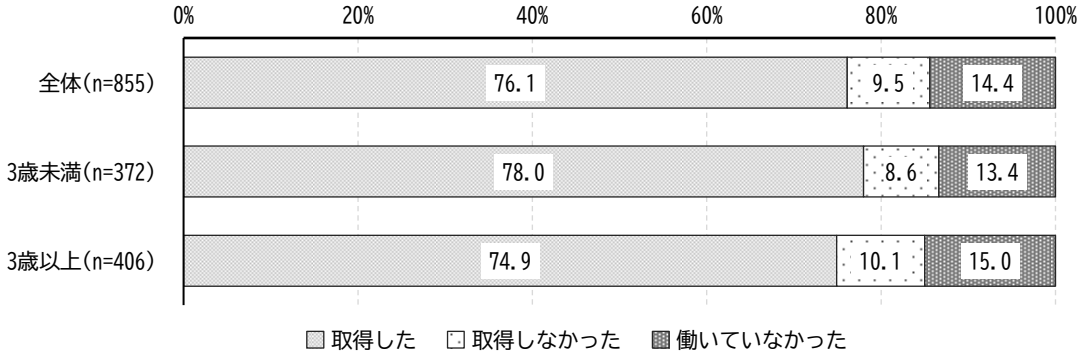
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（4）育児休業の取得状況

問３２　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
取得した場合は、取得後の状況を、取得しなかった場合は、その理由をお答えください。

【①母親／育児休業の取得状況】

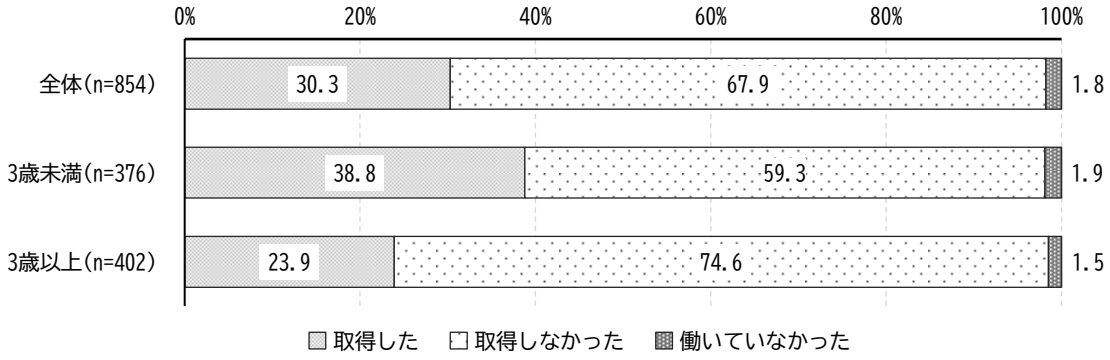
３歳未満・３歳以上ともに、「取得した」が７割以上と最も多く、次いで「働いていなかった」が１割以上となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②父親／育児休業の取得状況】

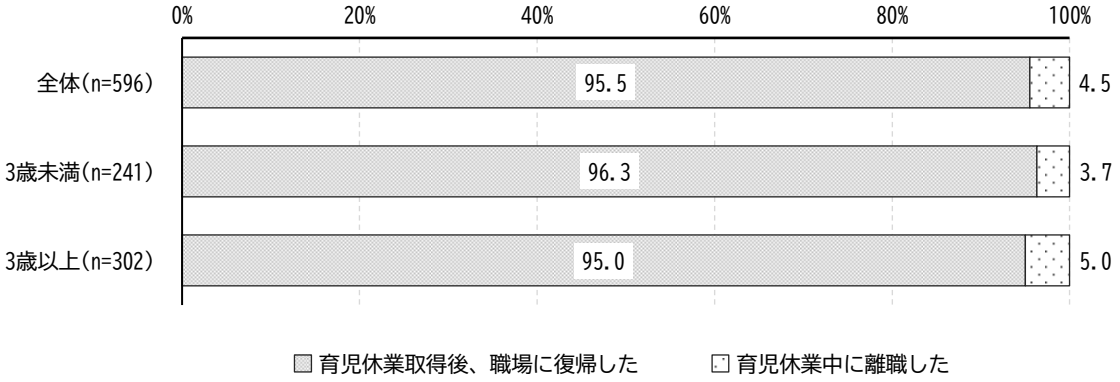
３歳未満・３歳以上ともに、「取得しなかった」が６～７割と最も多く、次いで「取得した」が多く、３歳未満は 38.8%、３歳以上は 23.9%となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③母親／育児休業の取得後の状況】

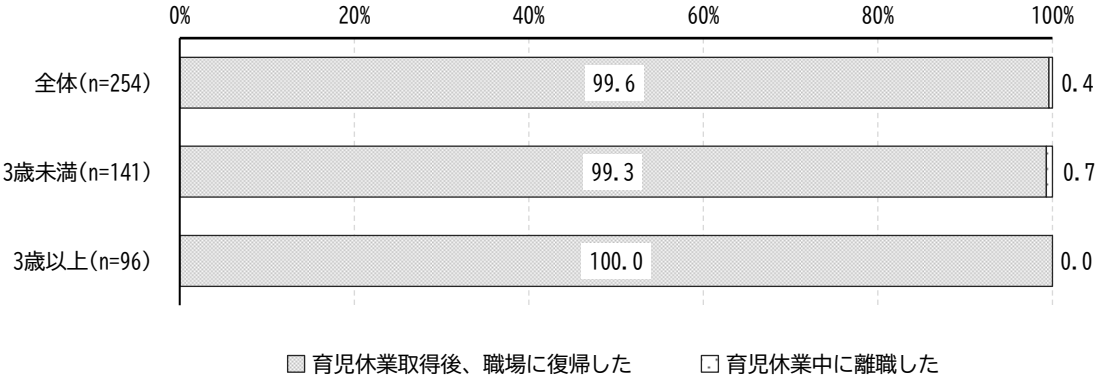
３歳未満・３歳以上ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した」が９割以上と多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【④父親／育児休業の取得後の状況】

３歳未満・３歳以上ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 99%を超えて多くなっている。



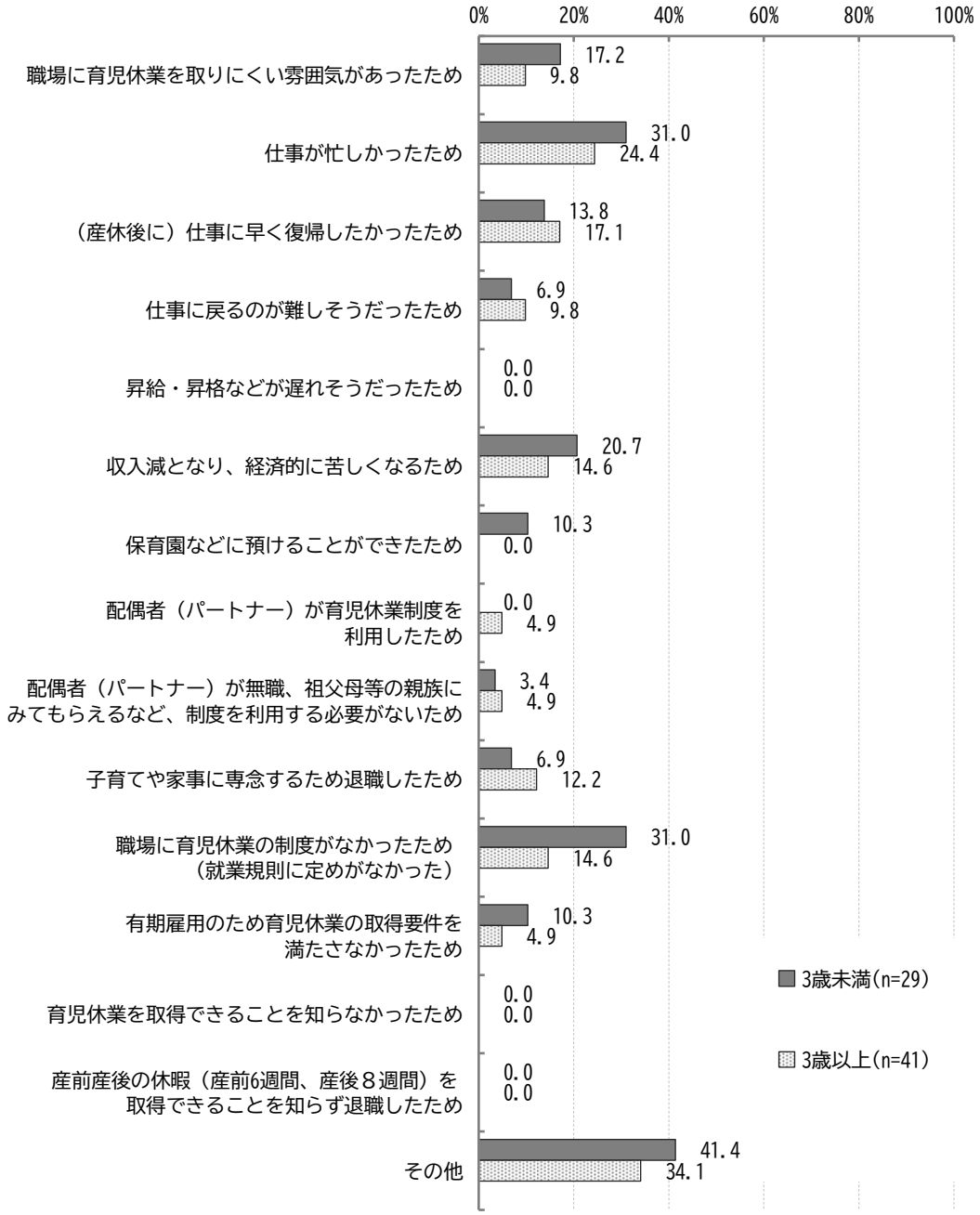
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③母親／取得していない理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「その他」が３～４割と最も多くなっている。「その他」の回答内容は、『自営業（フリーランス）』『会社役員』『無職（仕事を辞めた）』が多くなっている。

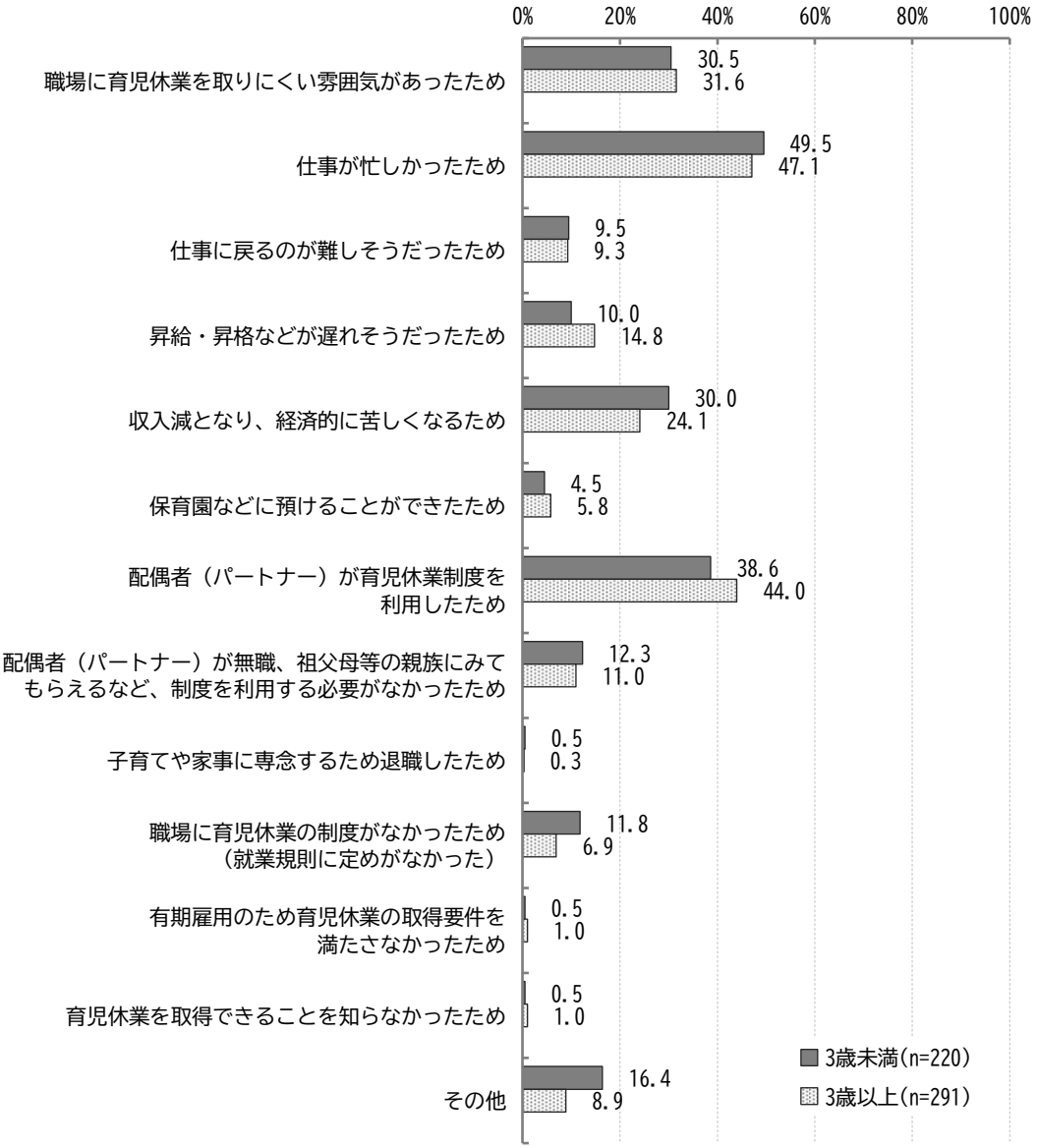
３歳未満は次いで、「仕事が忙しかったため」「職場に育児休業の制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）」31.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」20.7%の順になっている。

３歳以上は次いで、「仕事が忙しかったため」24.4%、「（産休後に）仕事に早く復帰したかったため」17.1%の順になっている。



【⑥父親／取得していない理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「仕事が忙しかったため」が４割以上と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」が４割前後「収入減となり、経済的に苦しくなるため」が３割前後となっている。



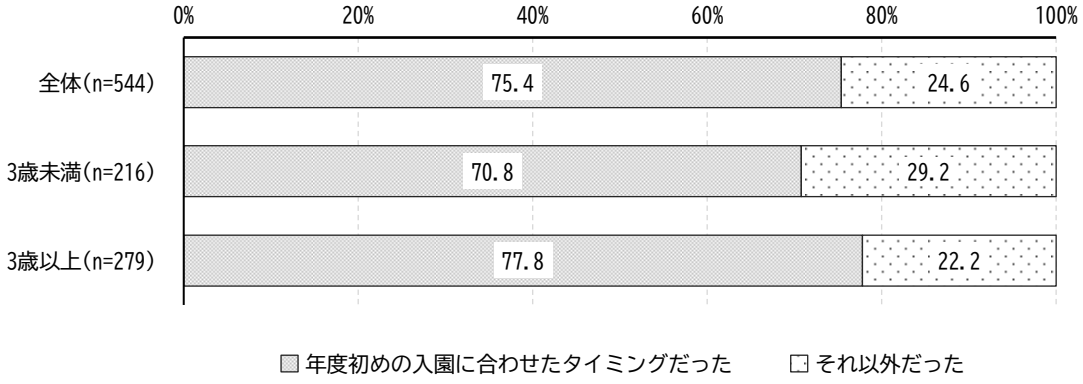
問３２の母親で、「１．取得した」の「Ａ．育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方は問３３にお答えください

（５）母親／育児休業から復職時の状況

問３３　　母親が職場に復帰した時の状況についてお答えください。

問３３－１　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が７割以上と多くなっている。

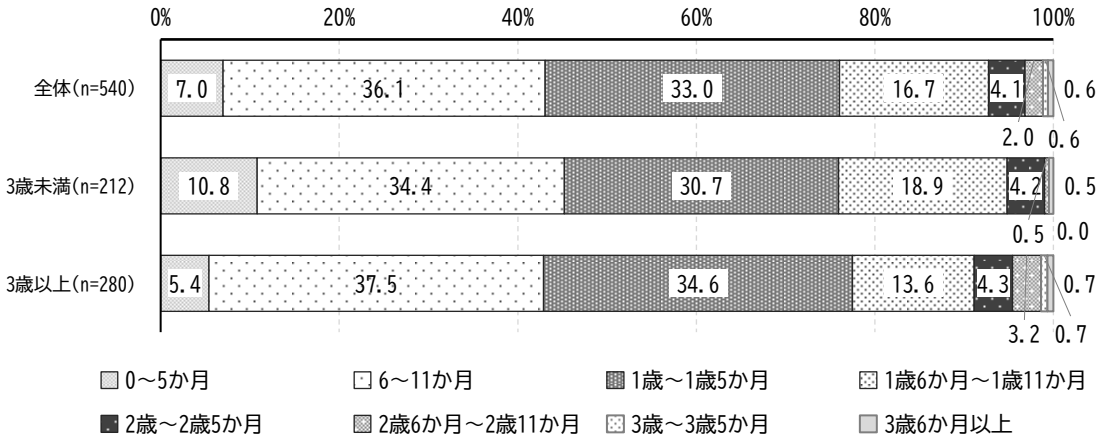


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（6）母親／復職時の子どもの年齢・理由

問３３－２　育児休業からは、「実際」にお子さんが満何歳何か月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、満何歳何か月のときまで取りたいと思いましたか。「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由をあわせてお答えください。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

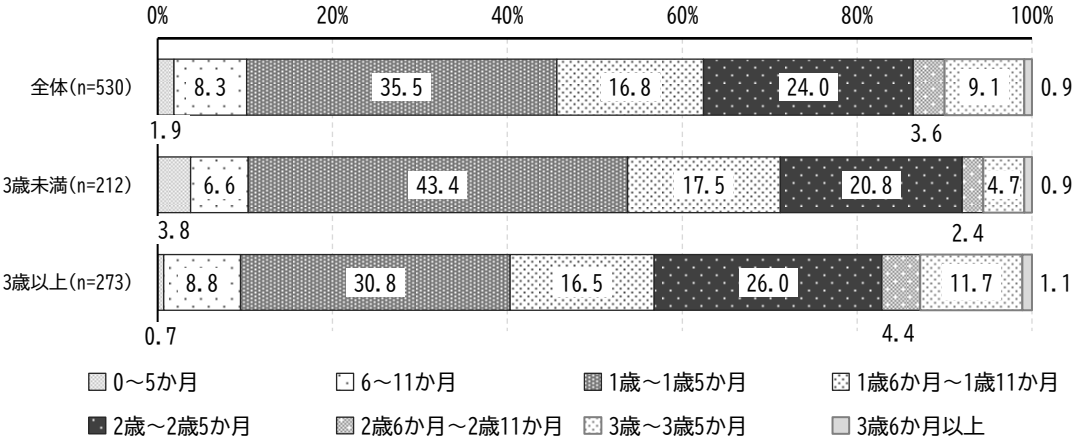
３歳未満・３歳以上ともに、「６～11か月」が４割弱と最も多く、次いで「１歳～１歳５か月」が３割以上、「１歳６か月～１歳11か月」が１割以上となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②母親／復職希望時の子どもの年齢】

３歳未満・３歳以上ともに、「１歳～１歳５か月」が３～４割と最も多く、次いで「２歳～２歳５か月」が２割以上、「１歳６か月～１歳11か月」が２割弱となっている。



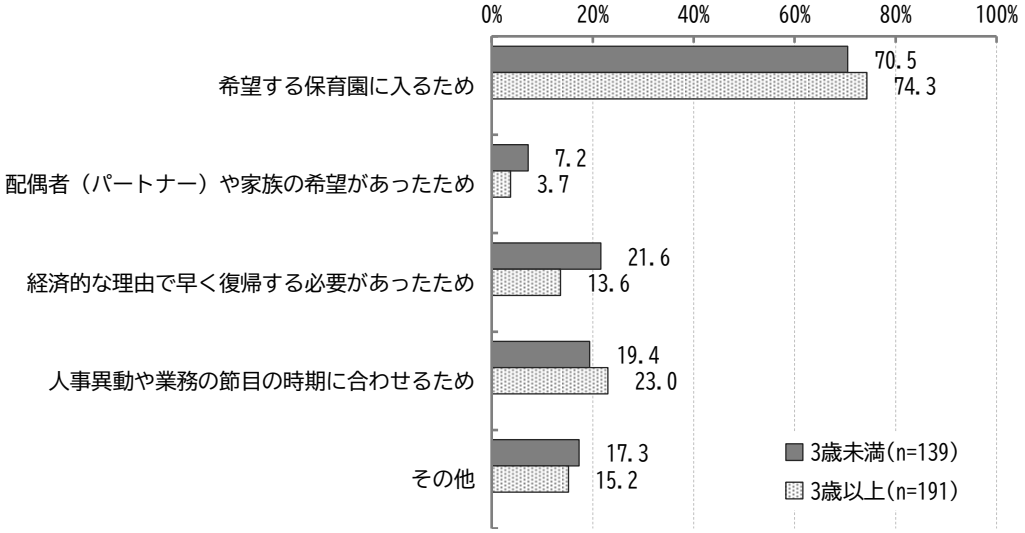
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③母親／希望より早く復職した理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「希望する保育園に入るため」が７割以上と最も多くなっている。

３歳未満は、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」21.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」19.4%の順になっている。

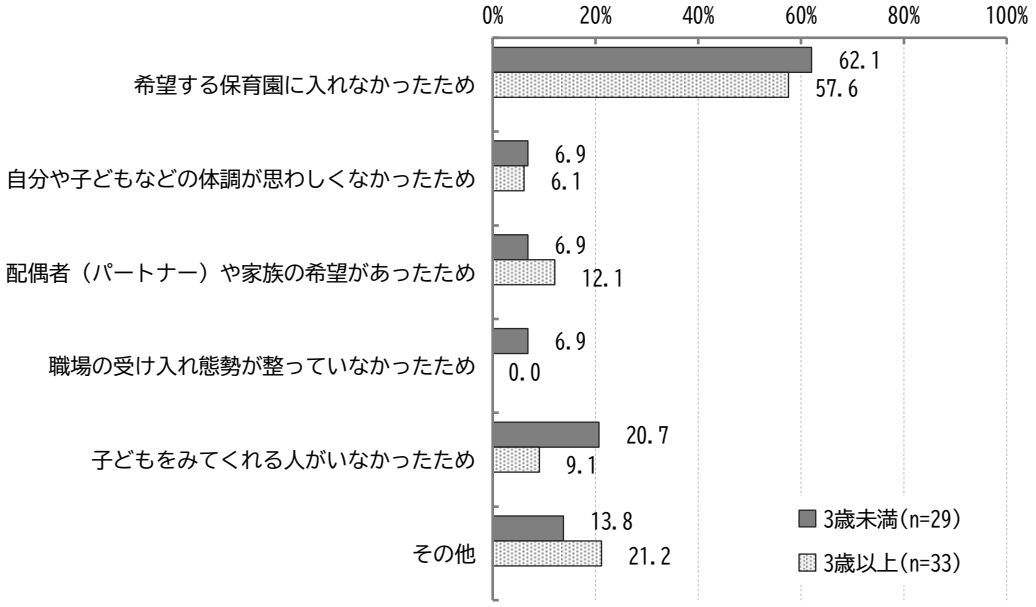
３歳以上は、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」23.0%、「その他」15.2%の順になっている。



【④母親／希望より遅く復職した理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「希望する保育園に入れなかったため」が５～６割と最も多くなっている。

次いで、３歳未満は「子どもをみてくれる人がいなかったため」20.7%、「その他」13.8%の順に、３歳以上は「その他」21.2%、「配偶者（パートナー）や家族の希望があったため」12.1%の順になっている。

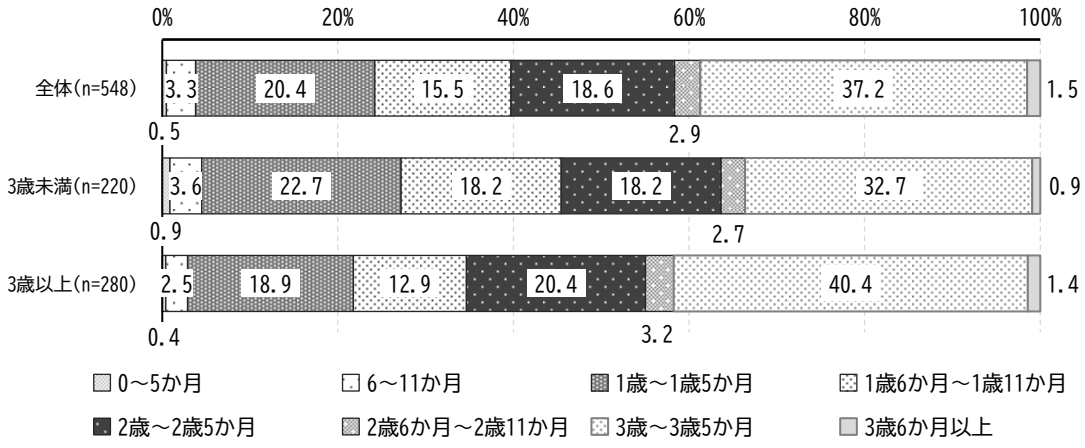


（７）母親／満３歳まで育児休業が取得できた場合、復職したい子どもの年齢

問３３－３　お勤め先に、満３歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが満何歳何か月のときまで取りたいと思いますか。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

３歳未満・３歳以上ともに、「３歳～３歳５か月」が３～４割と最も多くなっている。

次いで、３歳未満は「１歳～１歳５か月」22.7%、「１歳６か月～１歳 11 か月」「２歳～２歳５か月」18.2%、３歳以上は「２歳～２歳５か月」20.4%、「１歳～１歳５か月」18.9%の順になっている。



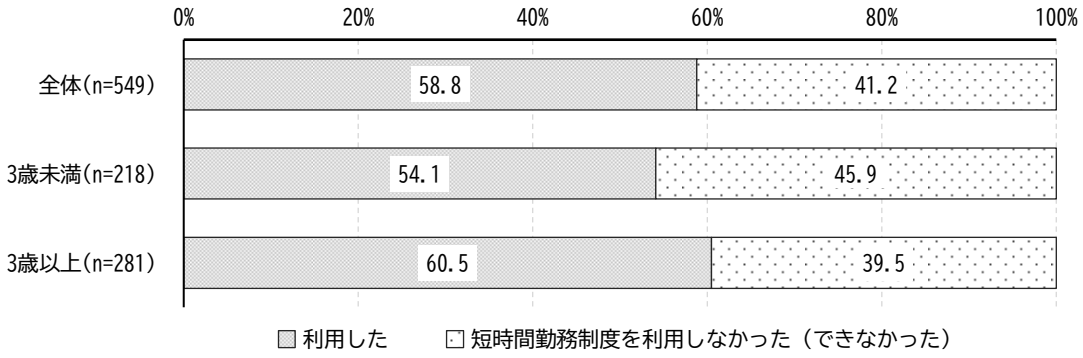
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（８）母親／短時間勤務制度の利用状況

問３３－４　育児休業から職場に復帰した時には短時間勤務制度を利用しましたか。
利用しなかった（できなかった）場合は、その理由もあわせてお答えください。

【①母親／短時間勤務制度の利用有無】

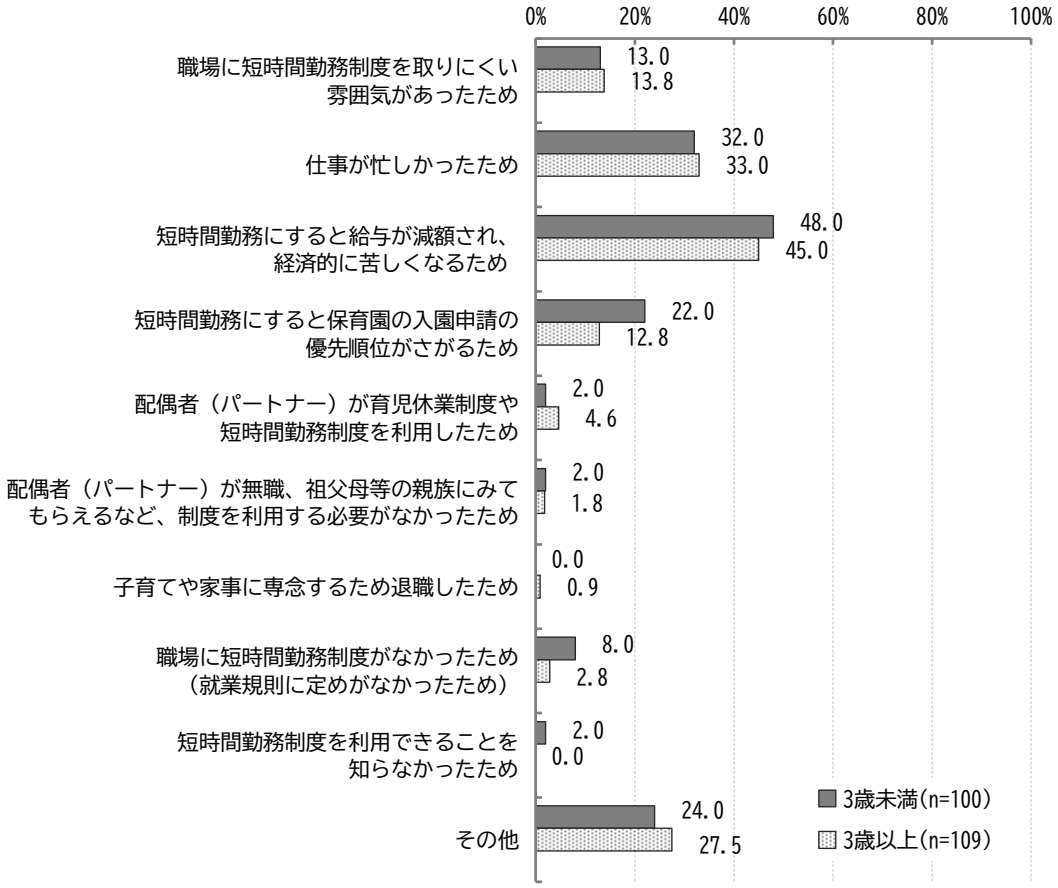
３歳未満・３歳以上ともに、「利用した」が５～６割と多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②母親／短時間勤務制度を利用しなかった理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」が４割以上と最も多く、次いで「仕事が忙しかったため」が３割、「その他」が２割以上となっている。



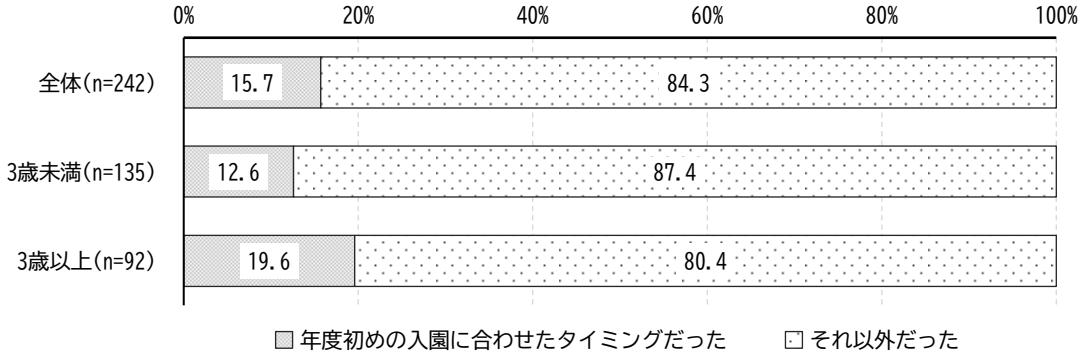
問３２の父親で、「１．取得した」の「Ａ．育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方は問３４にお答えください

（9）父親／育児休業から復職時の状況

問３４　　父親が職場に復帰した時の状況についてお答えください。

問３４－１　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（１つを選択)】

３歳未満・３歳以上ともに、「それ以外だった」が８割以上と最も多くなっている。



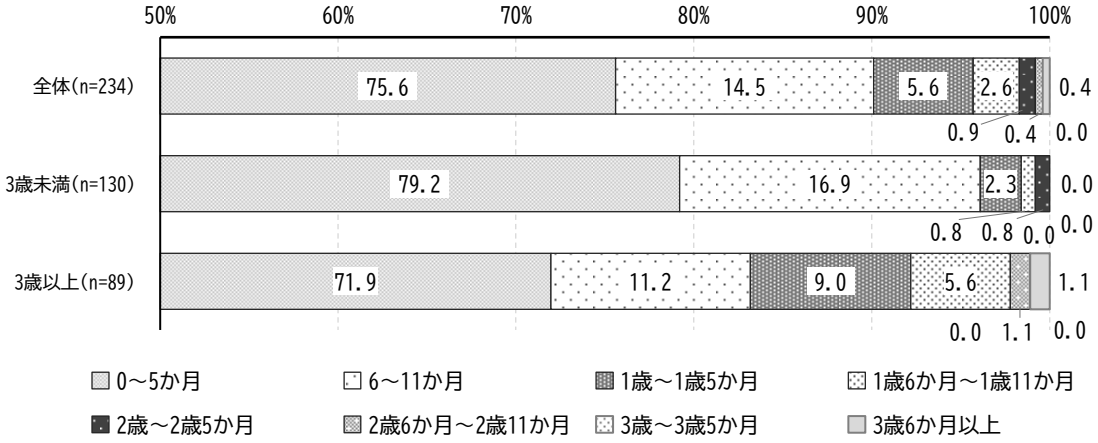
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（１０）父親／復職時の子どもの年齢・理由

問３４－２　育児休業からは、「実際」にお子さんが満何歳何か月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、満何歳何か月のときまで取りたいと思いましたか。「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由をあわせてお答えください。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

【①父親／復職時の子どもの年齢】

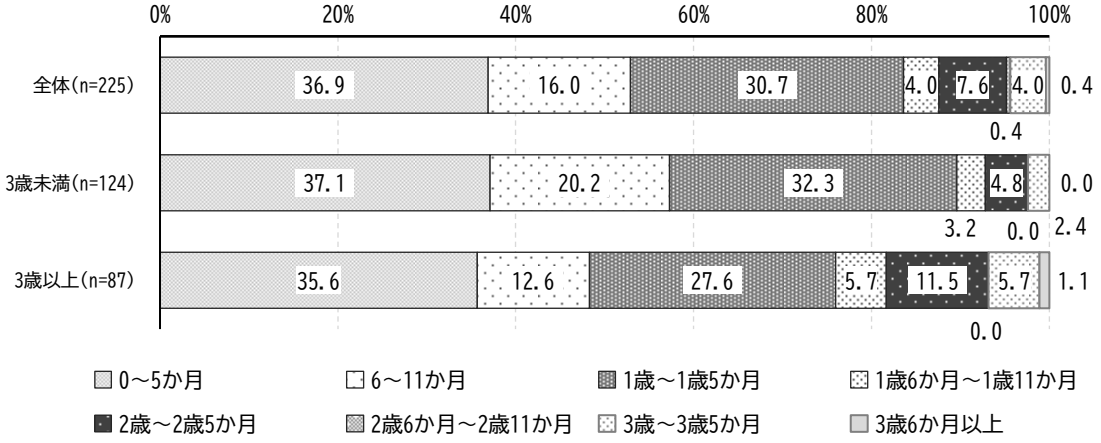
３歳未満・３歳以上ともに、「０～５か月」が７割以上と最も多く、次いで「６～11か月」が１割以上となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②父親／復職希望時の子どもの年齢】

３歳未満・３歳以上ともに、「０～５か月」が４割弱と最も多く、次いで「１歳～１歳５か月」が３割程度、「６～11か月」が１～２割となっている。

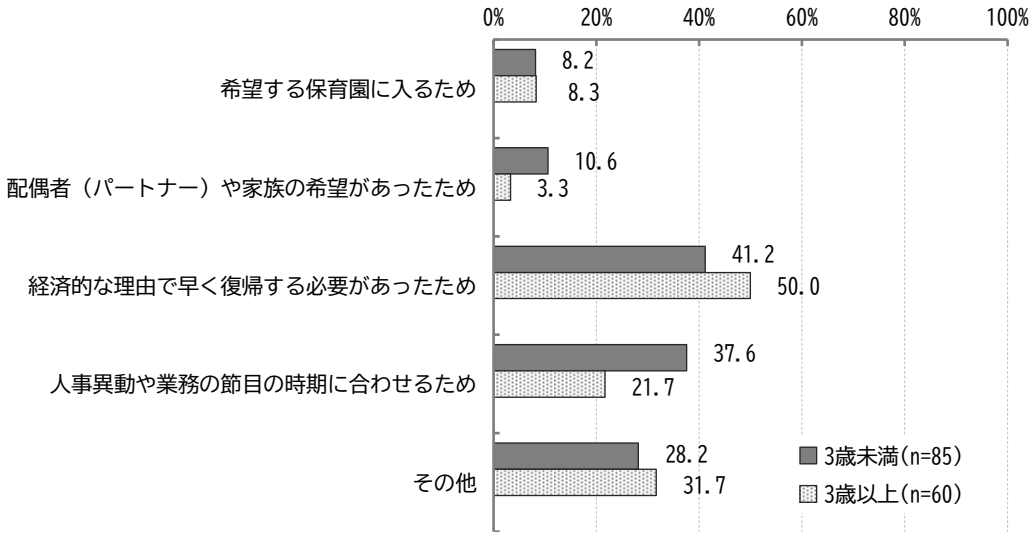


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③父親／希望より早く復職した理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が４～５割と最も多くなっている。

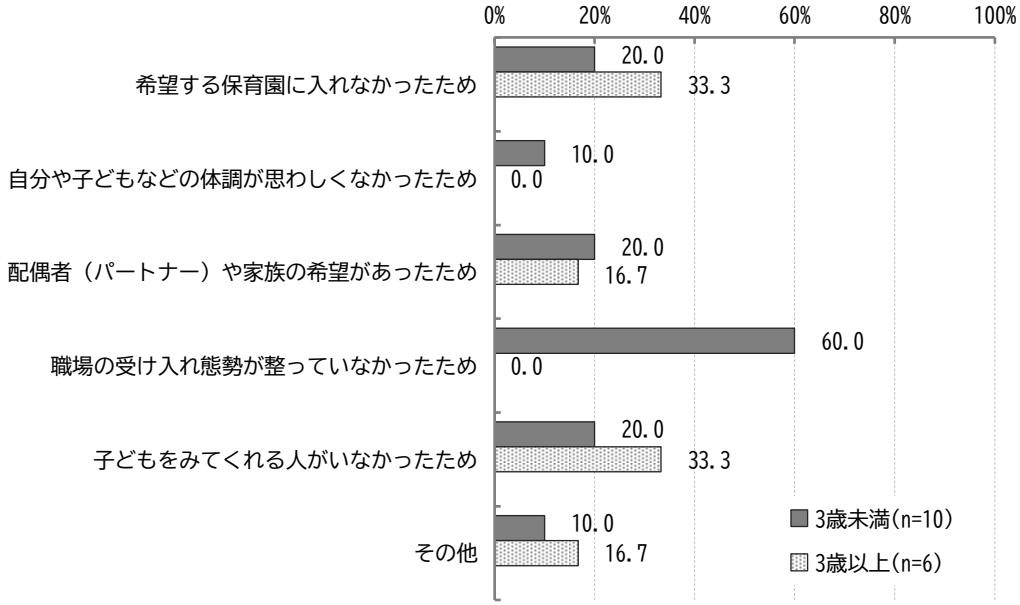
次いで、３歳未満は「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」37.6%、「その他」28.2%、３歳以上は「その他」31.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」21.7%の順になっている。



【④父親／希望より遅く復職した理由】

母数が少ないため参考値となるが、３歳未満は「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が 60.0%と最も多く、次いで「希望する保育園に入れなかったため」「配偶者（パートナー）や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 20.0%となっている。

３歳以上は「希望する保育園に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 33.3%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）や家族の希望があったため」「その他」が 16.7%となっている。

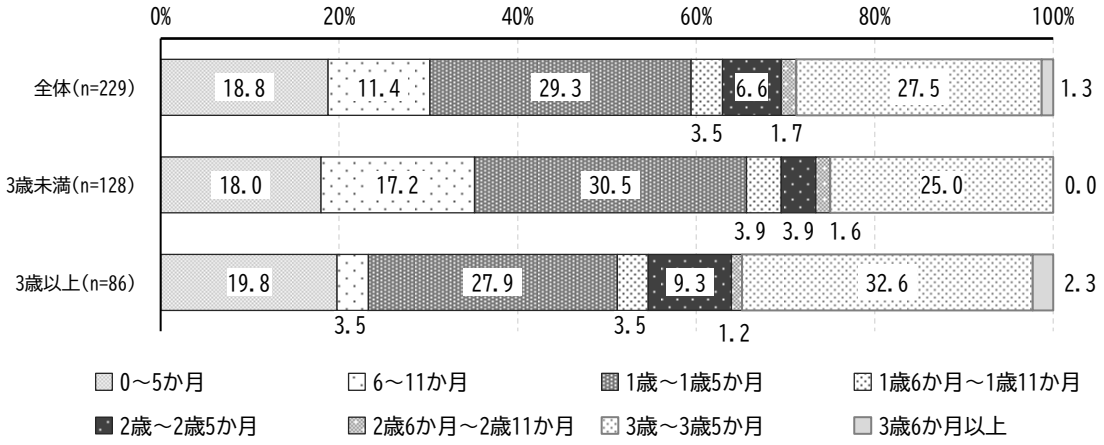


（１１）父親／満３歳まで育児休業が取得できた場合、復職したい子どもの年齢

問３４－３　お勤め先に、満３歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが満何歳何か月のときまで取りたいと思いますか。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

３歳未満は「１歳～１歳５か月」が 30.5%と最も多く、次いで「３歳～３歳５か月」25.0%、「０～５か月」18.0%の順になっている。

３歳以上は「３歳～３歳５か月」が 32.6%と最も多く、次いで「１歳～１歳５か月」27.9%、「０～５か月」19.8%の順になっている。



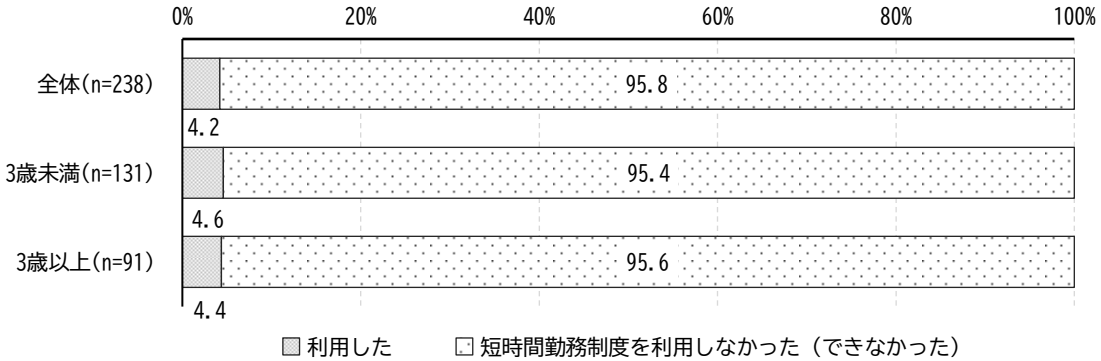
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（１２）父親／短時間勤務制度の利用状況

問３４－４　育児休業から職場に復帰した時には短時間勤務制度を利用しましたか。
利用しなかった（できなかった）場合は、その理由もあわせてお答えください。

【①父親／短時間勤務制度の利用有無】

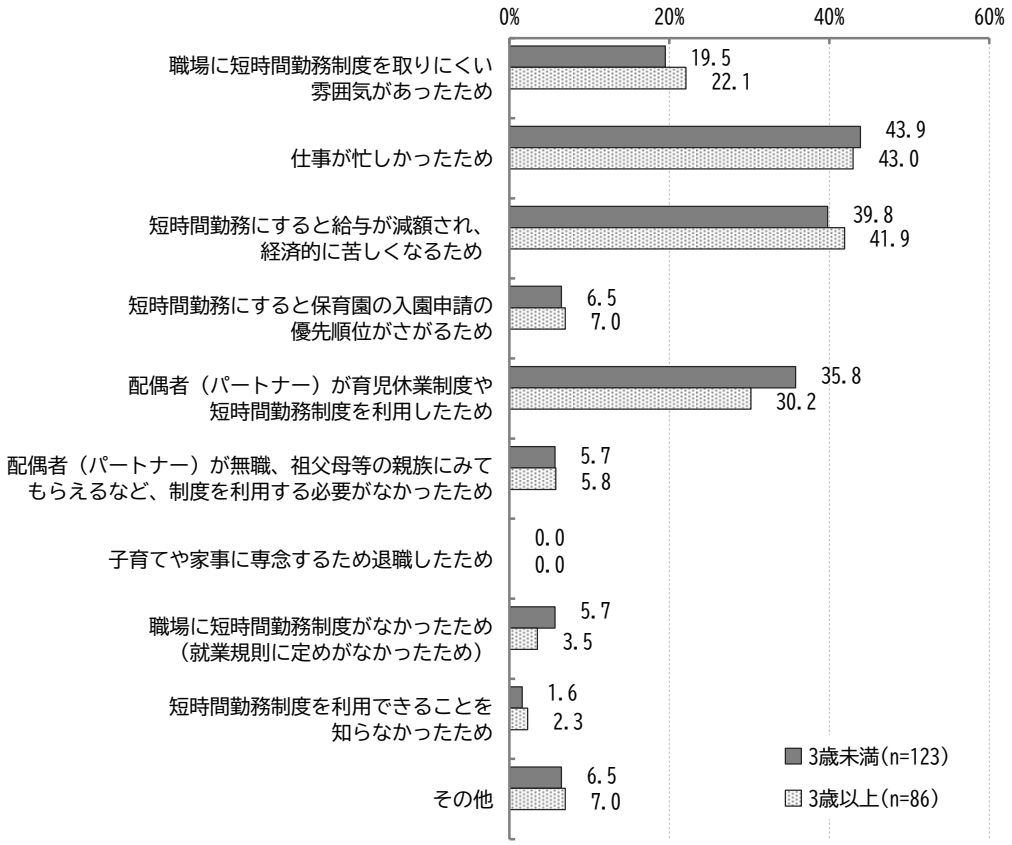
３歳未満・３歳以上ともに、「短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）」が 95%以上と多くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②父親／短時間勤務制度を利用しなかった理由】

３歳未満・３歳以上ともに、「仕事が忙しかったため」が４割以上と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」が４割前後、「配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため」が３割以上となっている。



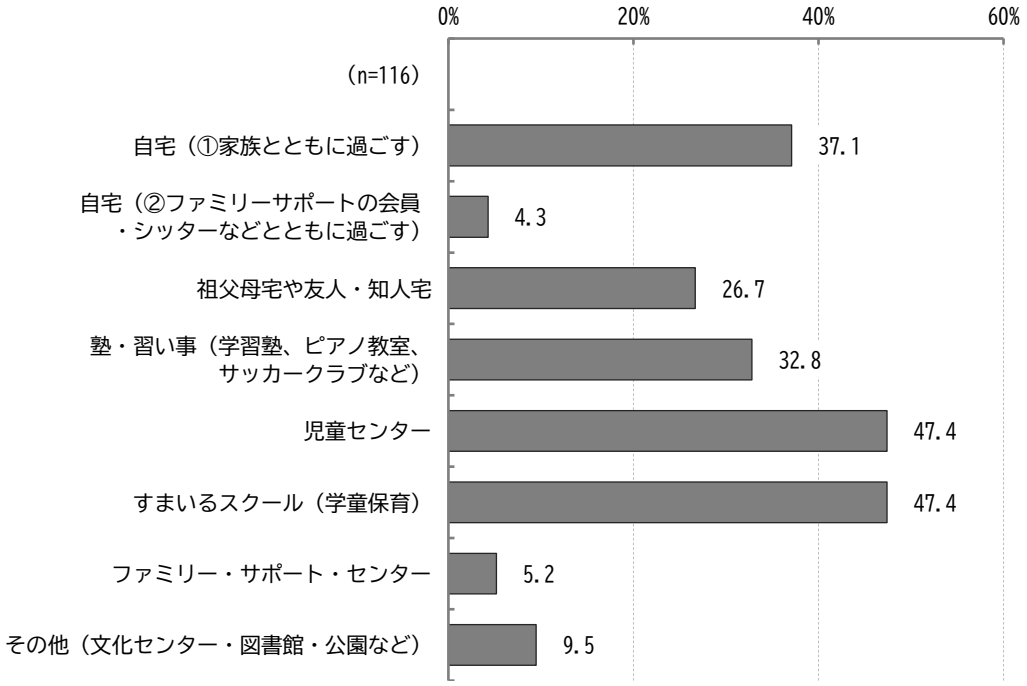
１１．小学校就学後の放課後の過ごし方（生年月日が平成 31 年４月１日以前の場合）

（1）放課後過ごさせたい場所／小学校低学年（１～３年生）

問３５　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

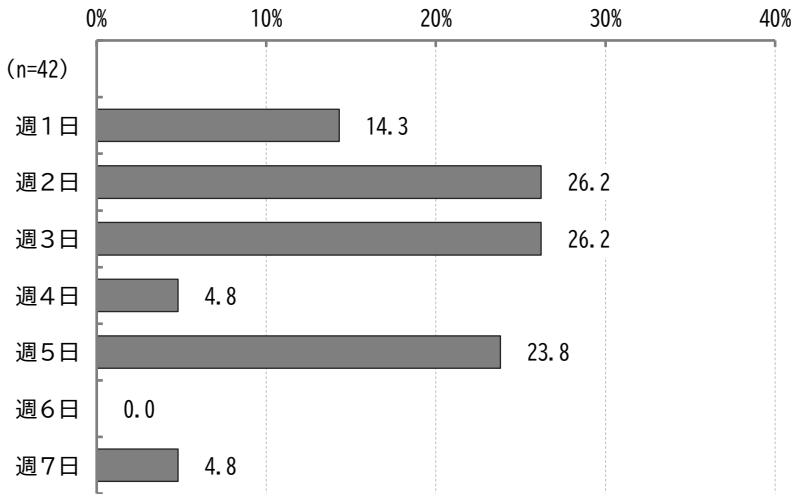
【①放課後過ごさせたい場所／小学校低学年】

「すまいるスクール（学童保育）」「児童センター」が 47.4%と最も多く、次いで「自宅（①家族とともに過ごす）」が 37.1%となっている。



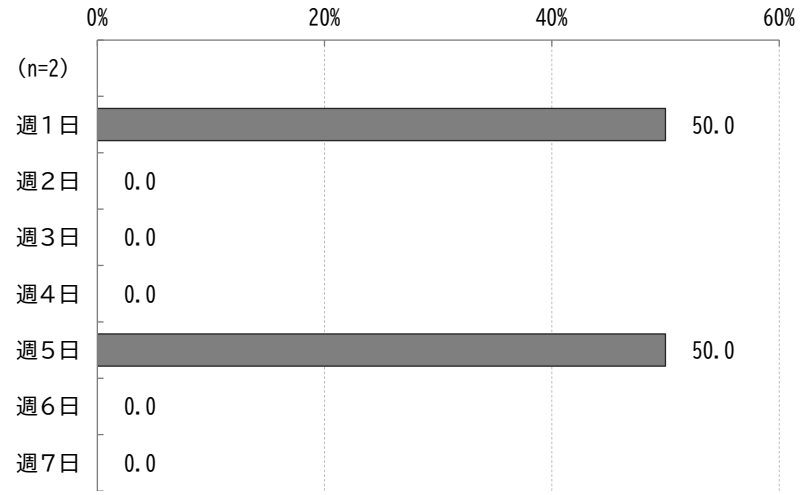
【②自宅で家族とともに過ごす／１週あたりの希望日数】

「週３日」「週２日」が 26.2%と最も多く、次いで「週５日」が 23.8%となっている。



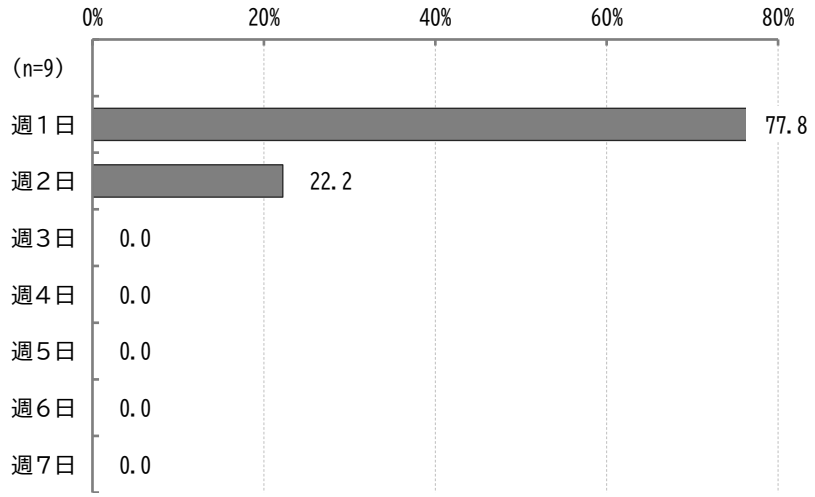
【③自宅でファミリーサポート会員などとともに過ごす／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」「週５」が 50.0%となっている。



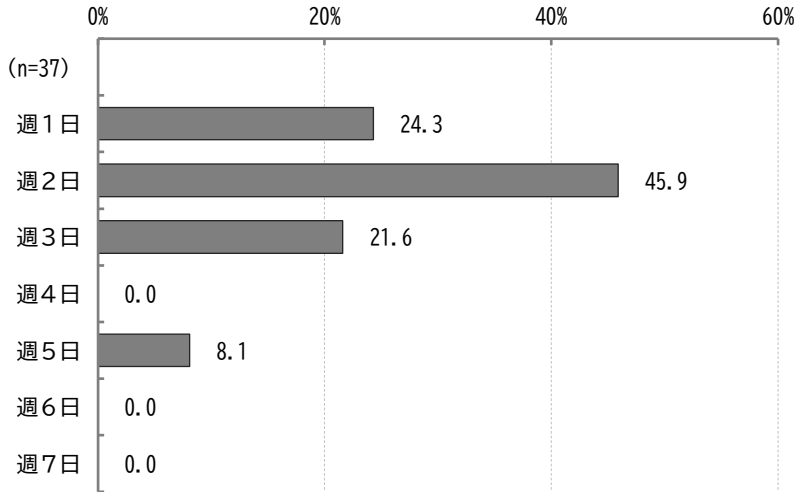
【④祖父母宅や友人・知人宅／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 77.8%と最も多く、次いで「週２日」が 22.2%となっている。



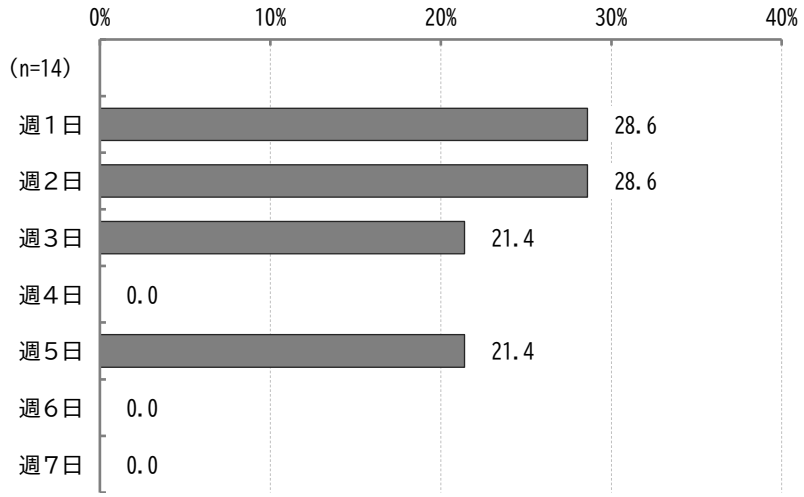
【⑤塾・習い事／１週あたりの希望日数】

「週２日」が 45.9%と最も多く、次いで「週１日」が 24.3%、「週３日」が 21.6%となっている。



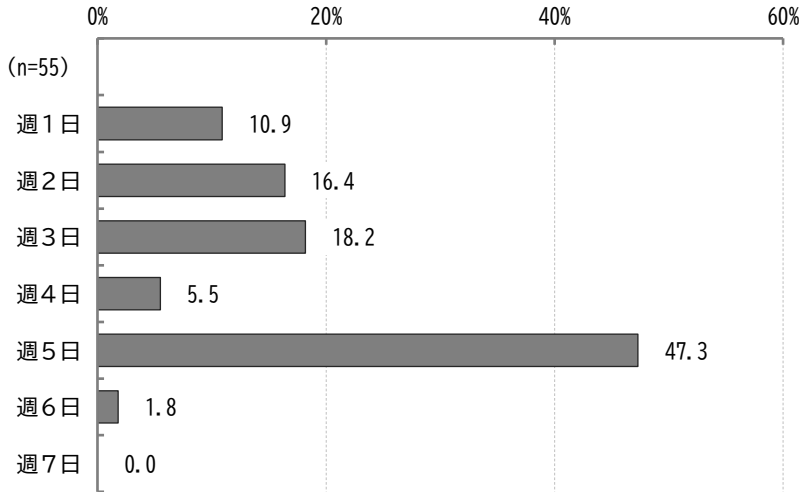
【⑥児童センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」「週２日」が 28.6%と最も多く、次いで「週３日」「週５日」が 21.4%となっている。



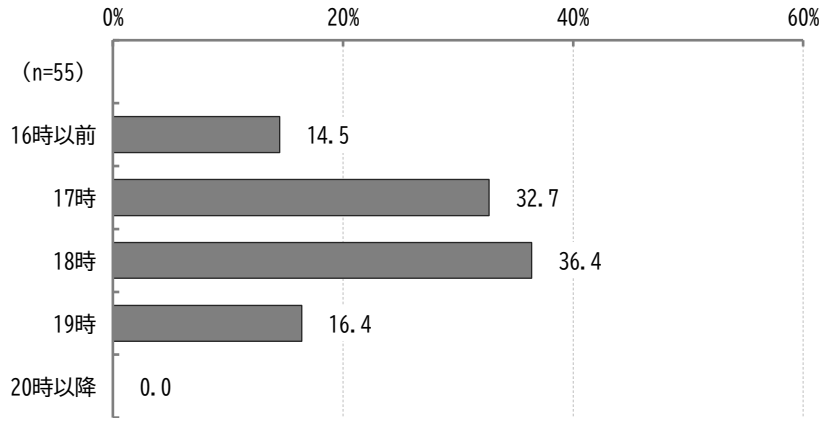
【⑦すまいるスクール（学童保育）／１週あたりの希望日数と希望終了時間】

「週５日」が 47.3%と最も多く、次いで「週３日」が 18.2%、「週２日」が 16.4%となっている。



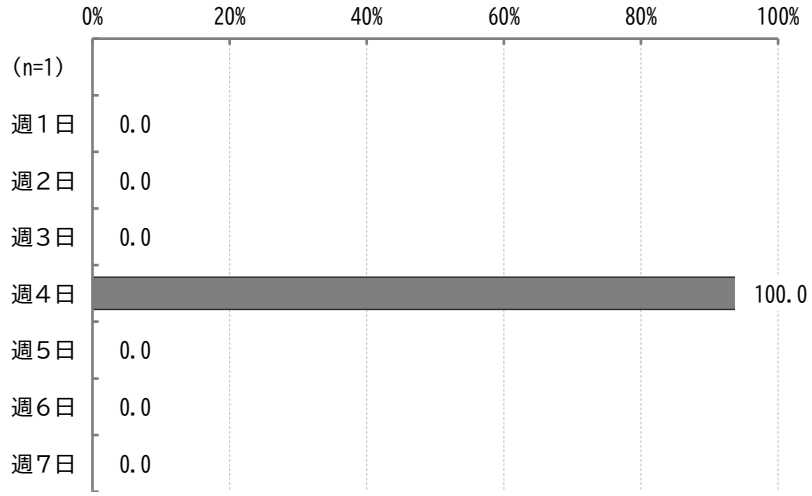
【希望終了時間】

「18 時」が 36.4%と最も多く、次いで「17 時」が 32.7%、「19 時」が 16.4%となっている。



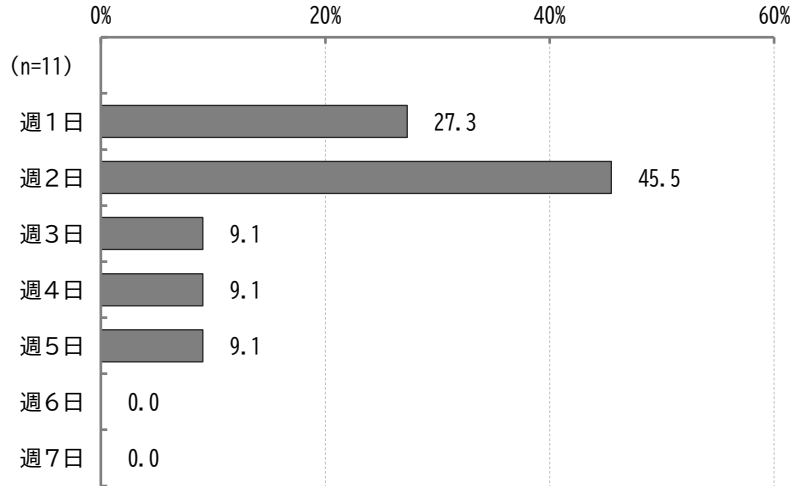
【⑧ファミリー・サポート・センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週４日」が 100%となっている。



【⑨その他（文化センター・図書館・公園など）／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週２日」が 45.5%と最も多く、次いで「週１日」が 27.3%となっている。

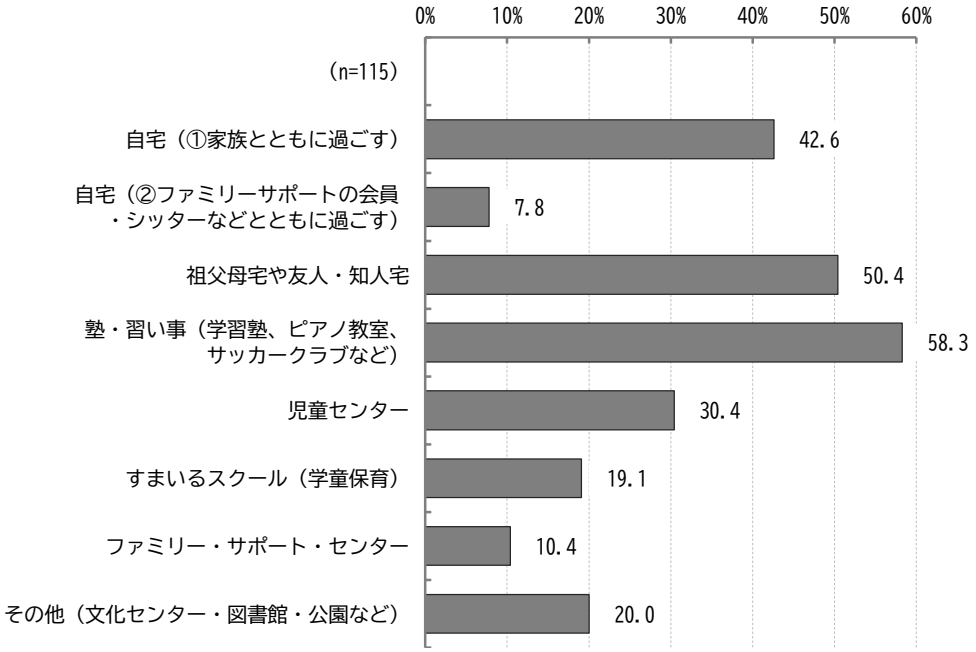


（２）放課後過ごさせたい場所／小学校高学年（４～６年生）

問３６　お子さんについて、小学校高学年（４、５、６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。まだ先のことですが、
現在お持ちのイメージでお答えください。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

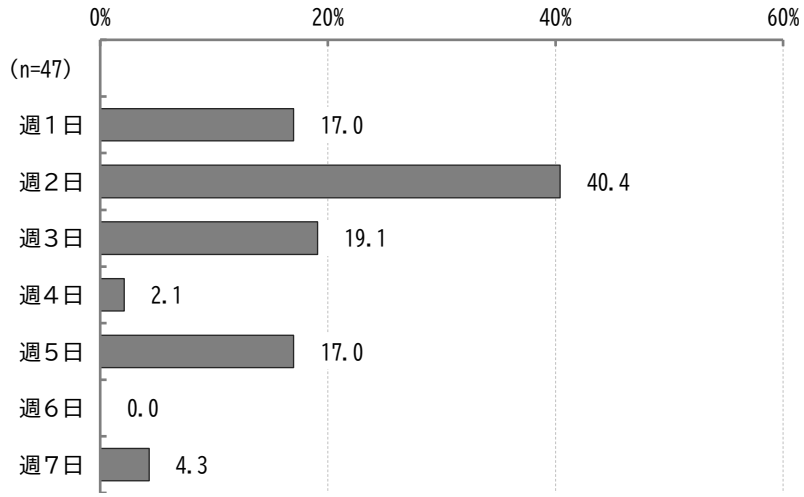
【①放課後過ごさせたい場所／小学校高学年】

「塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）」が 58.3%と最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が 50.4%、「自宅（①家族とともに過ごす）」が 42.6%となっている。



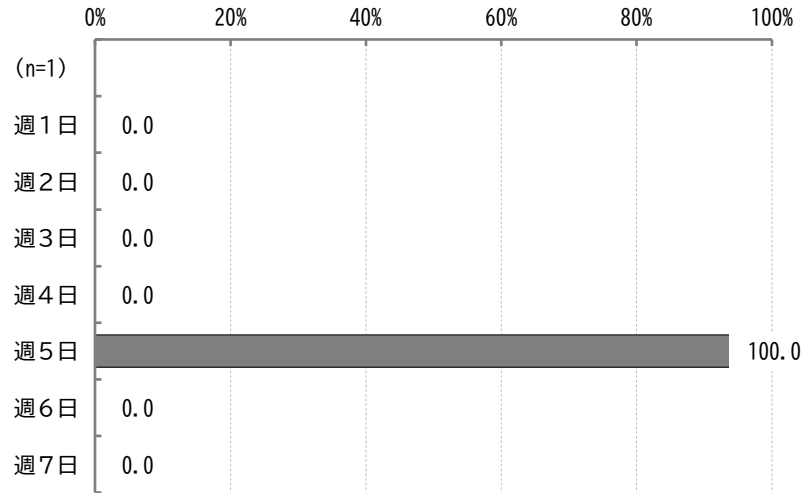
【②自宅で家族とともに過ごす／１週あたりの希望日数】

「週２日」が 40.4%と最も多く、次いで「週３日」が 19.1%、「週１日」「週５日」が 17.0%となっている。



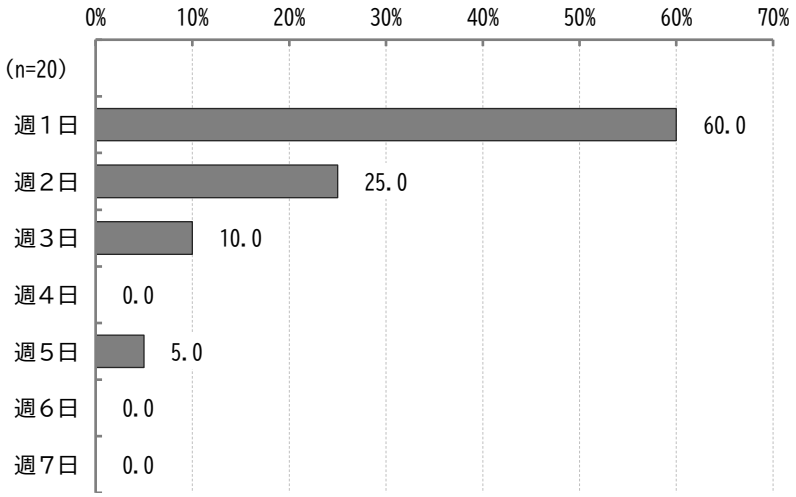
【③自宅でファミリーサポート会員などとともにに過ごす／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週５日」が 100%となっている。



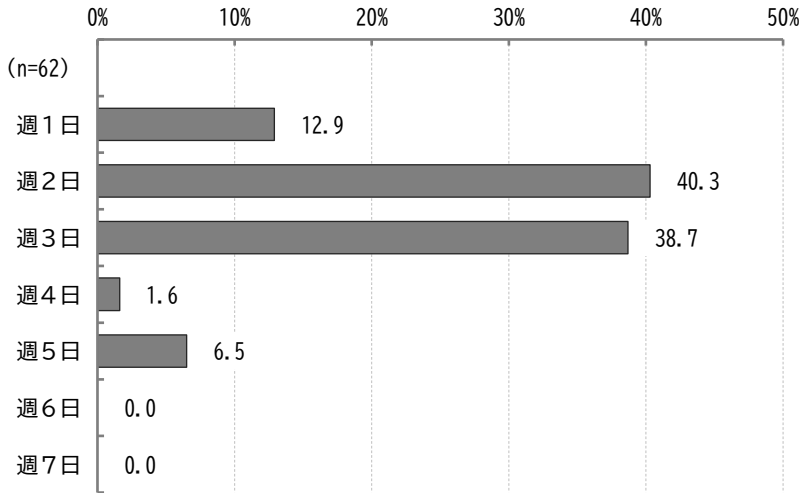
【④祖父母宅や友人・知人宅／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 60.0%と最も多く、次いで「週２日」が 25.0%、「週３日」が 10.0%となっている。



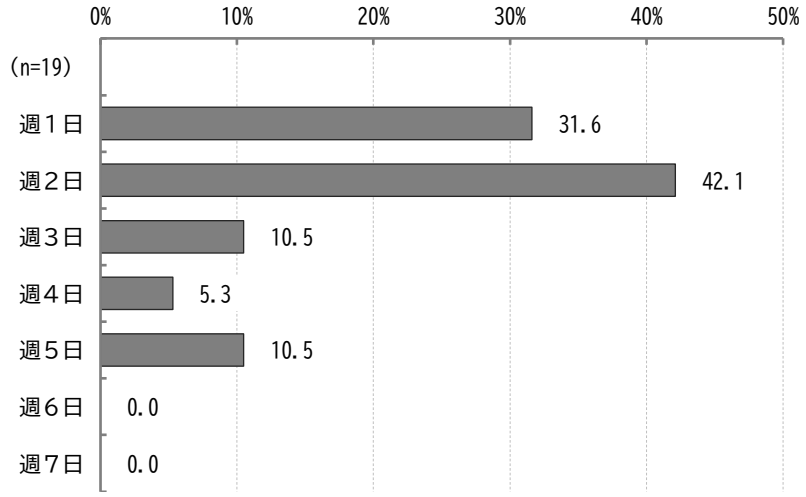
【⑤塾・習い事／１週あたりの希望日数】

「週２日」が 40.3%と最も多く、次いで「週３日」が 38.7%、「週１日」が 12.9%となっている。



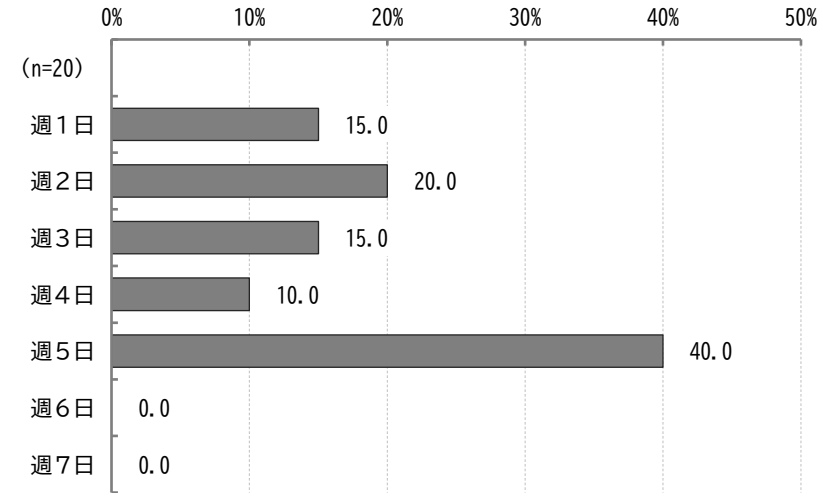
【⑥児童センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週２日」が 42.1%と最も多く、次いで「週１日」が 31.6%、「週３日」「週５日」が 10.5%となっている。



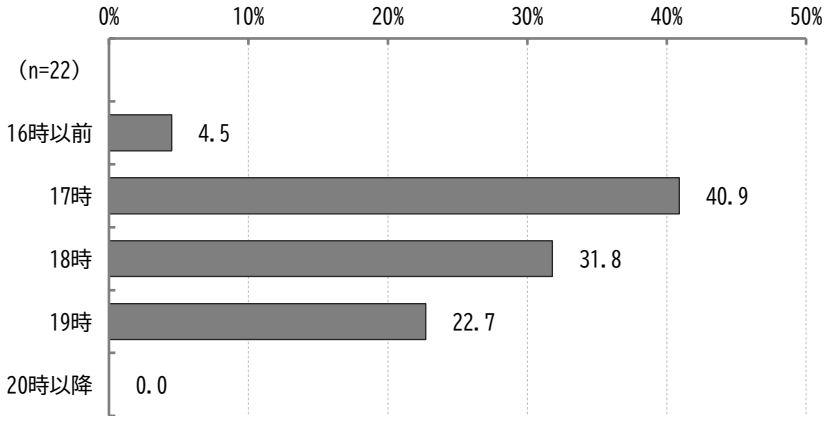
【⑦すまいるスクール（学童保育）／１週あたりの希望日数と希望終了時間】

母数が少ないため参考値となるが、「週５日」が 40.0%と最も多く、次いで「週２日」が 20.0%、「週１日」「週３日」が 15.0%となっている。



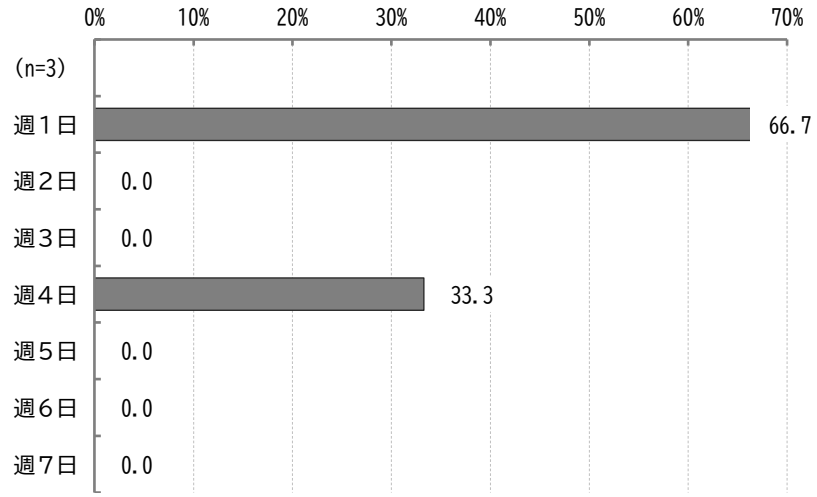
【希望終了時間】

母数が少ないため参考値となるが、「17 時」が 40.9%と最も多く、次いで「18 時」が 31.8%、「19 時」が 22.7%となっている。



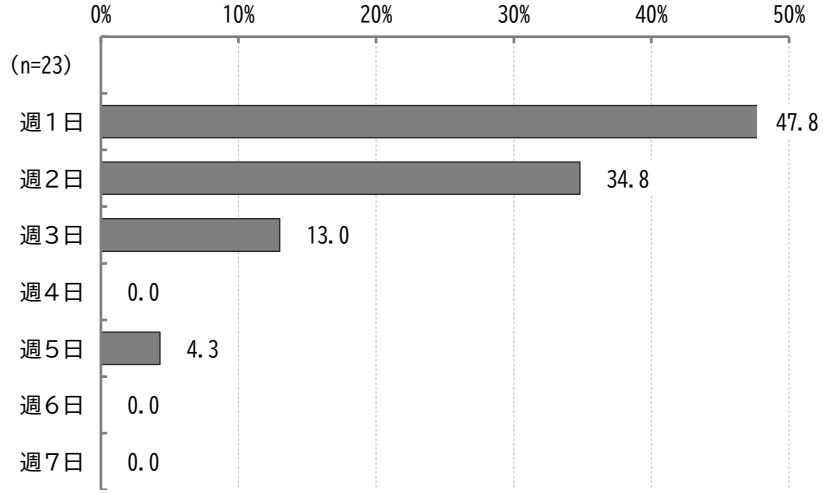
【⑧ファミリー・サポート・センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 66.7%と最も多く、次いで「週４日」が 33.3%となっている。



【⑨その他（文化センター・図書館・公園など）／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 47.8%と最も多く、次いで「週２日」が 34.8%、「週３日」が 13.0%となっている。



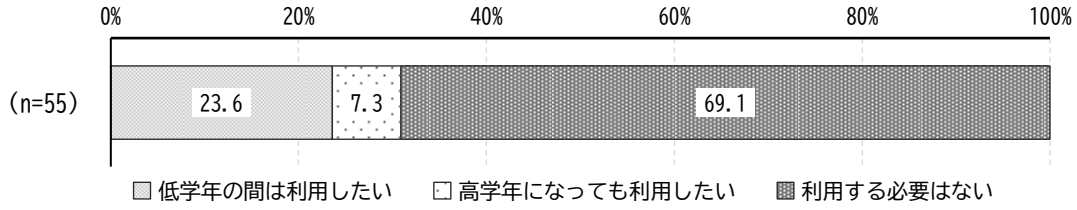
問３５または問３６で、「５．すまいるスクール（学童保育）」を選んだ方に伺います。

（３）土曜・日曜・休日の学童保育の利用希望

問３７　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、すまいるスクール（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。
（低学年…１、２、３年生、高学年…４、５、６年生）

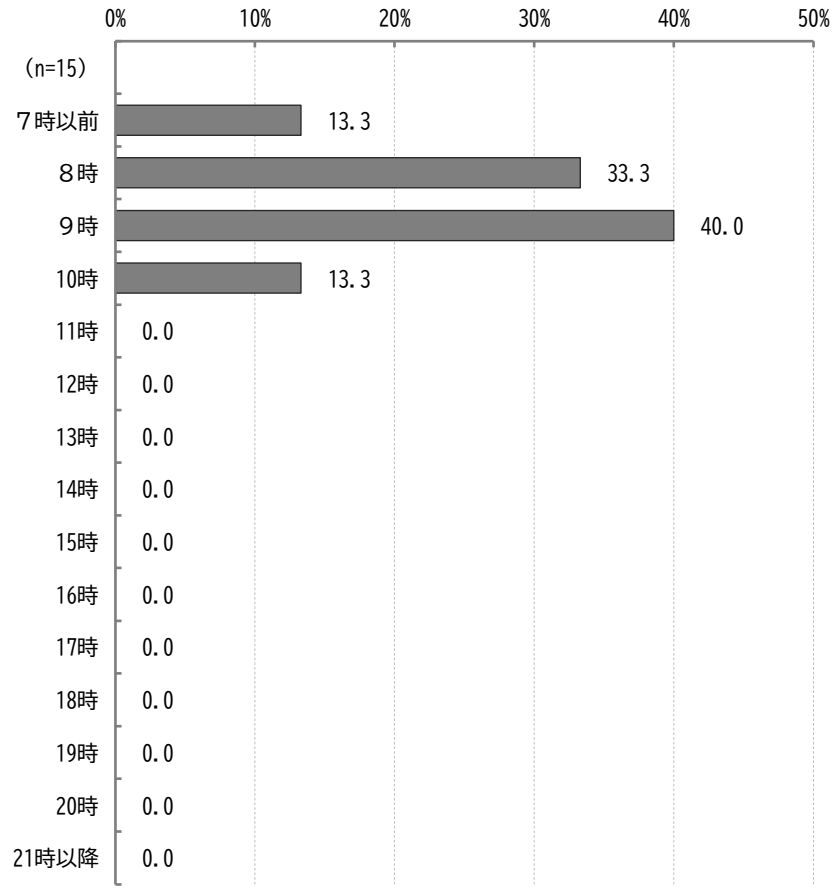
【①土曜日／利用希望】

「利用する必要はない」が 69.1%と最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 23.6%、「高学年になっても利用したい」が 7.3%となっている。



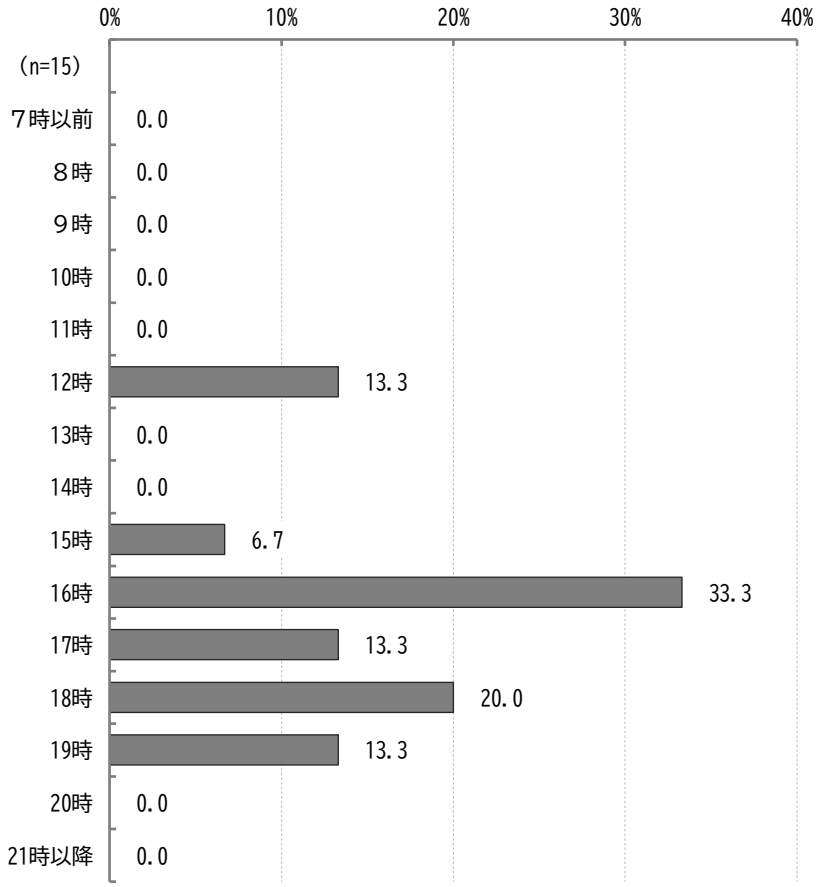
【②土曜日／希望利用開始時刻】

母数が少ないため参考値となるが、「９時」が 40.0%と最も多く、次いで「８時」が 33.3%、「７時以前」「10 時」が 13.3%となっている。



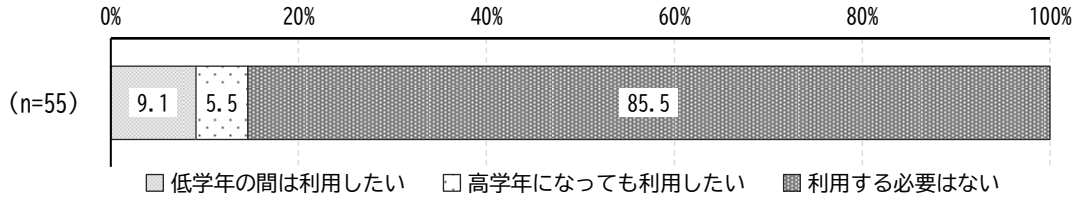
【③土曜日／希望利用終了時刻】

「16 時」が 33.3%と最も多く、次いで「18 時」が 20.0%となっている。



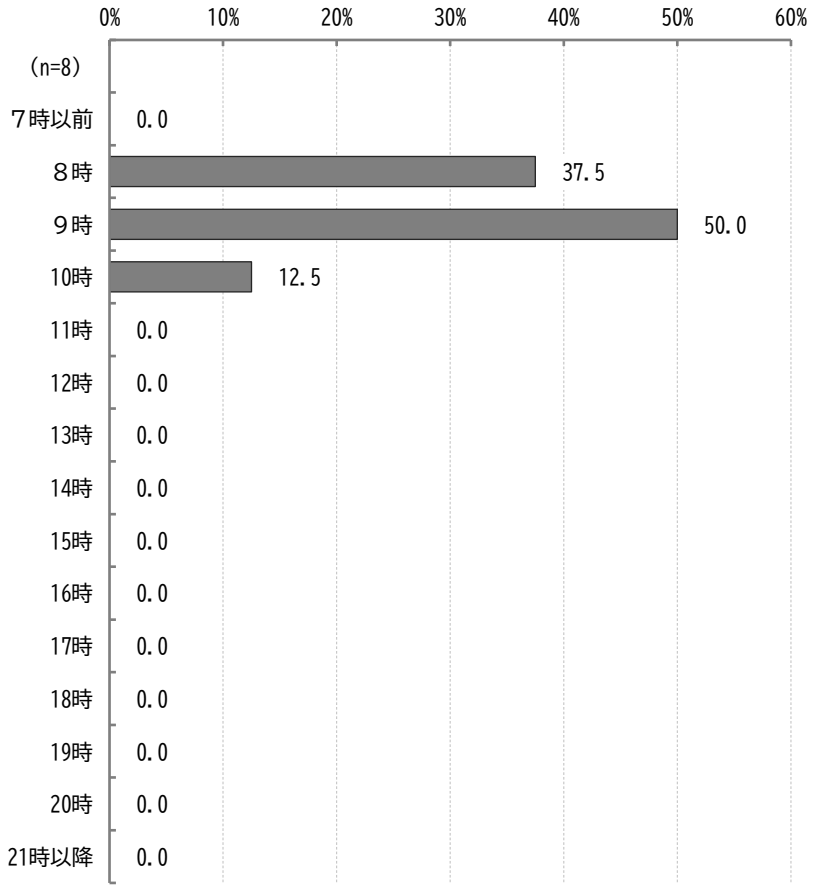
【④日曜日・祝日／利用希望】

「利用する必要はない」が 85.5%と最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 9.1%、「高学年になっても利用したい」が 5.5%となっている。



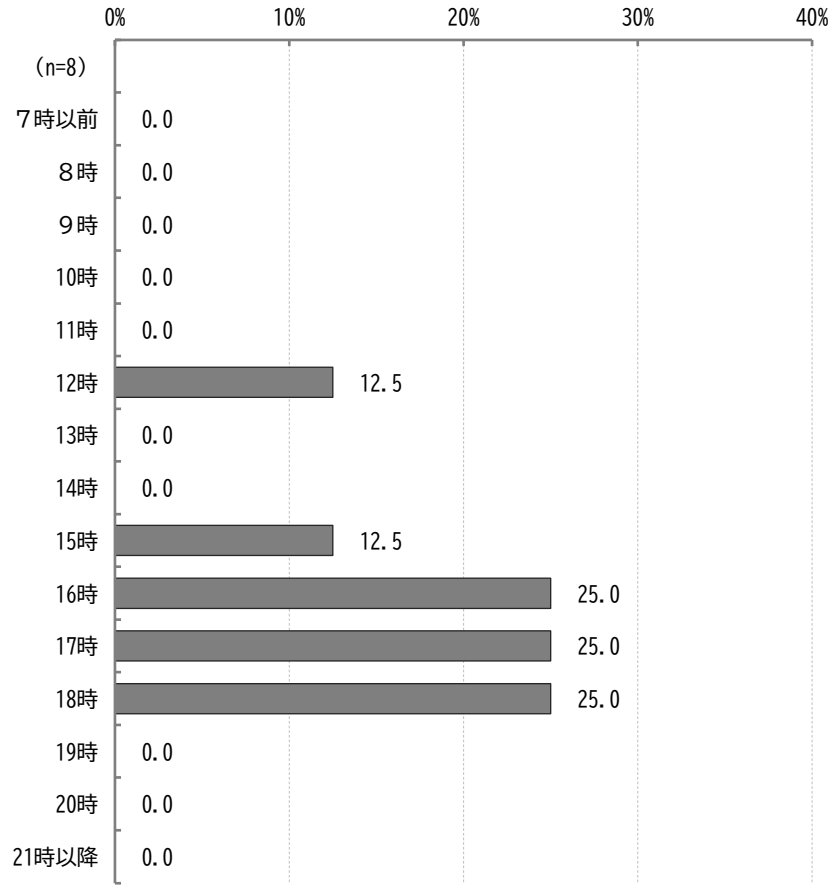
【⑤日曜日・祝日／希望利用開始時刻】

母数が少ないため参考値となるが、「９時」が 50.0%と最も多く、次いで「８時」が 37.5%、「10 時」が 12.5%となっている。



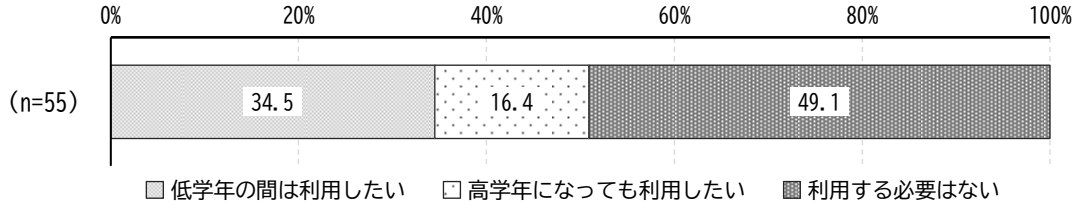
【⑥日曜日・祝日／希望利用終了時刻】

母数が少ないため参考値となるが、「16 時」「17 時」「18 時」が 25.0%と最も多くなっている。



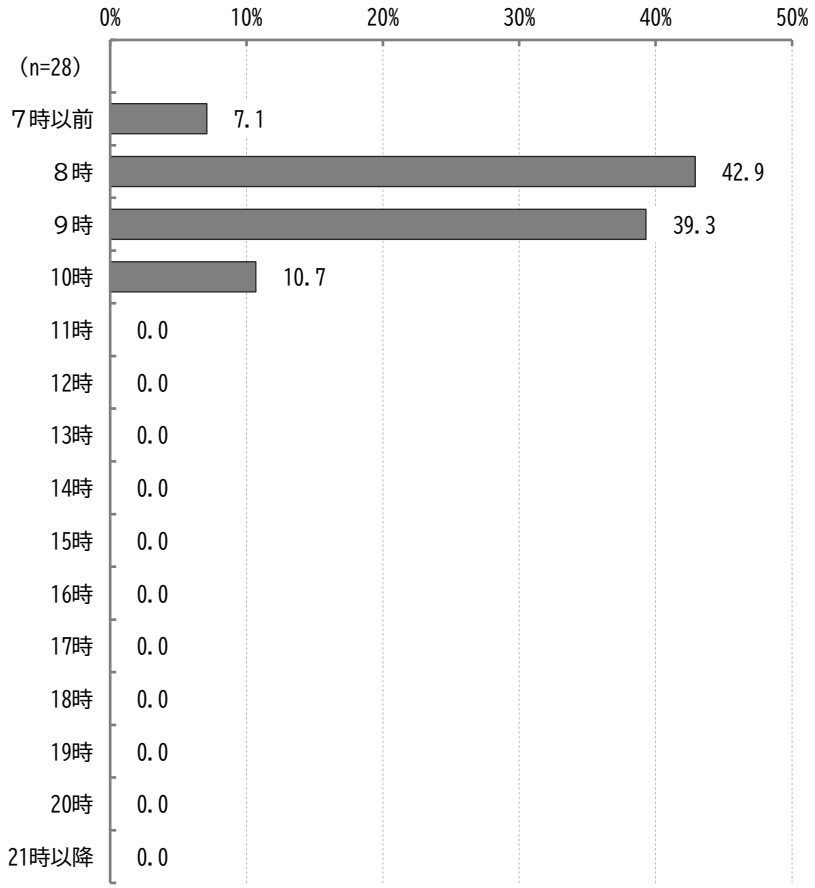
【⑦長期休暇中／利用希望】

「利用する必要はない」が 49.1%と最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 34.5%、「高学年になっても利用したい」が 16.4%となっている。



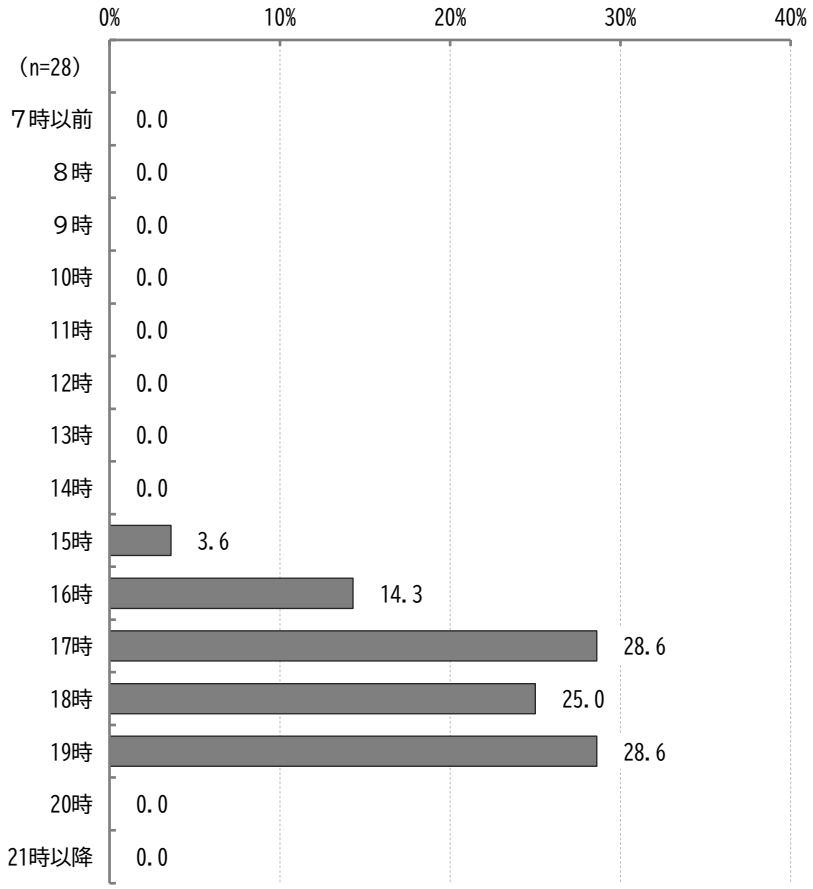
【⑧長期休暇中／希望利用開始時刻】

母数が少ないため参考値となるが、「８時」が 42.9%と最も多く、次いで「９時」が 39.3%、「10 時」が 10.7%となっている。



【⑨長期休暇中／希望利用終了時刻】

母数が少ないため参考値となるが、「17 時」「19 時」が 28.6%と最も多く、次いで「18 時」が 25.0%となっている。



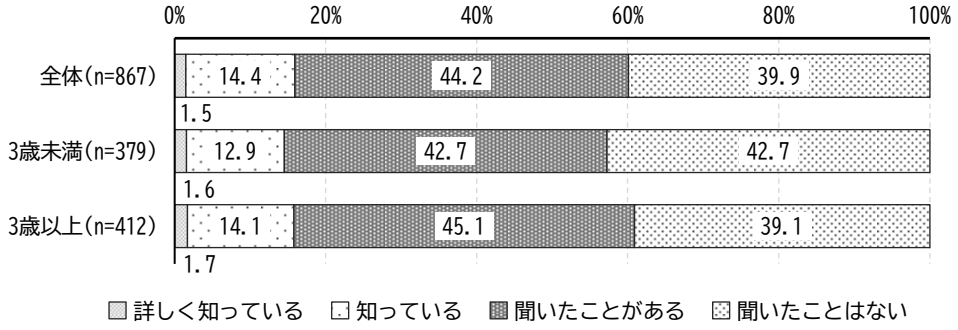
１２．家庭での子育てや日頃感じていること

（1）「こども基本法」「子どもの権利条約」の認知度

問３８　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

【こども基本法】

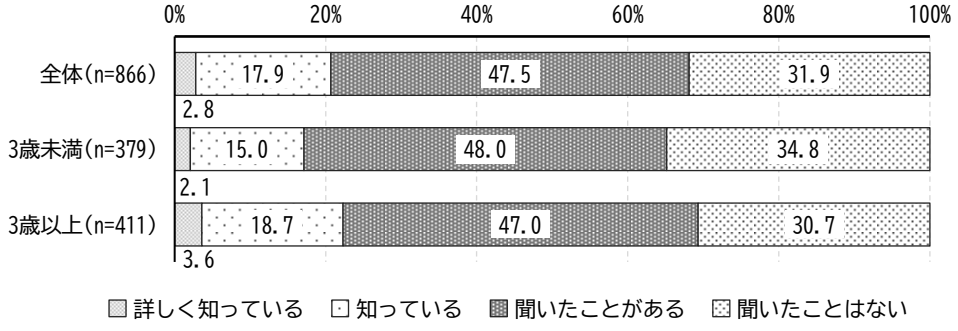
３歳未満・３歳以上ともに、認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は２割以下と低くなっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【子どもの権利条約】

３歳未満・３歳以上ともに、認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は２割程度と低くなっている。



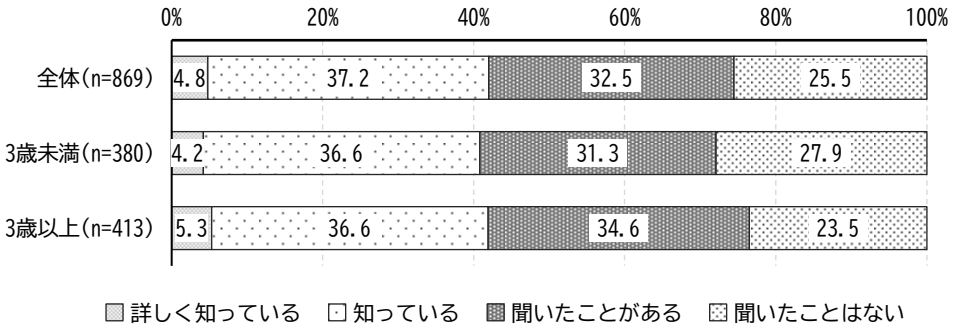
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（2）「子どもの権利条約」の子どもの権利に関する認知度

問３９　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

【①　　子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）】

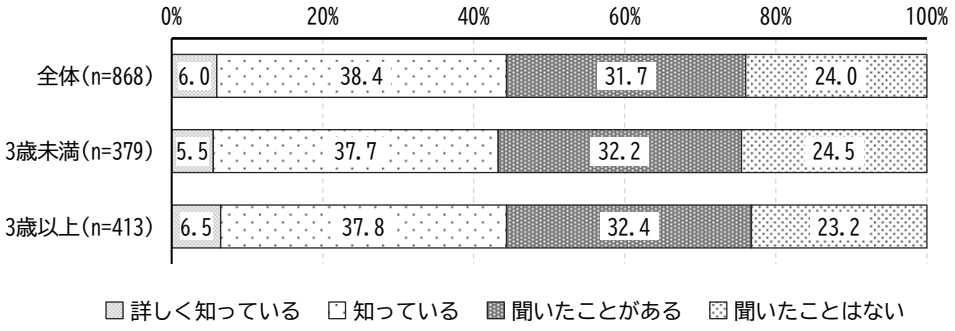
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」が４割弱と最も多いが、「聞いたことがある」３割以上、「聞いたことはない」３割弱と大きな差は見られない。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【②　　子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）】

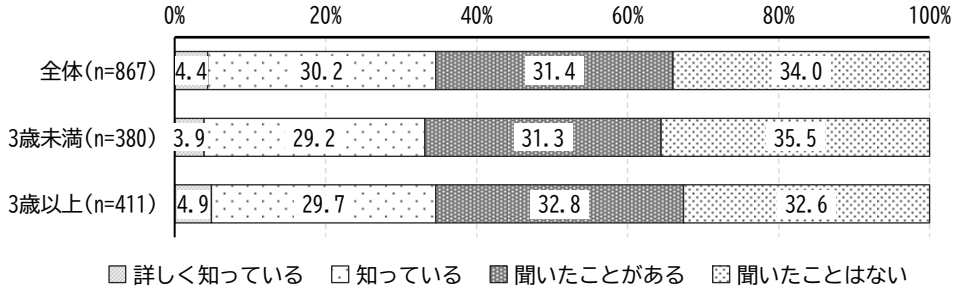
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」が４割弱と最も多く、次いで「聞いたことがある」が３割以上となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【③　大人はその子どもにとって最も良いことを優先する】

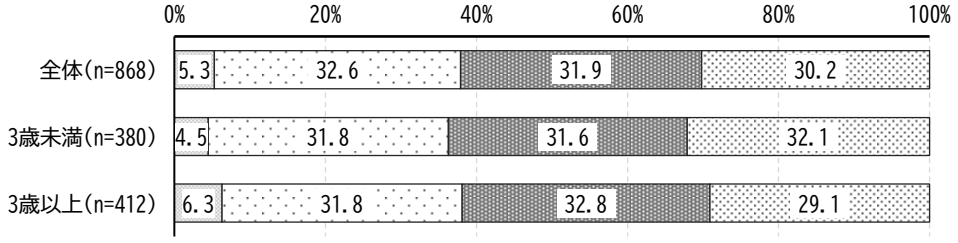
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」「聞いたことがある」「聞いたことはない」が３割前後と大きな差は見られない。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【④　自由に意見をいうことができ大人はそれを尊重する】

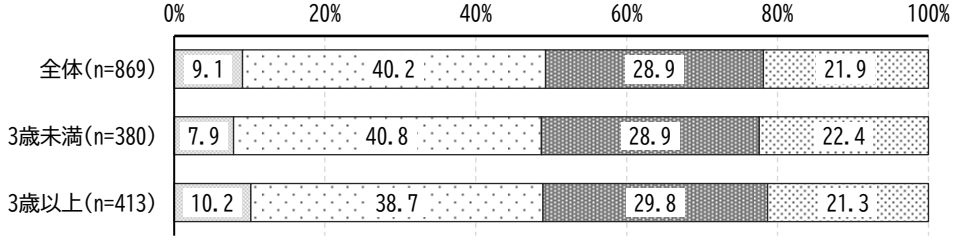
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」「聞いたことがある」「聞いたことはない」が３割前後と大きな差は見られない。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【⑤　子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護)】

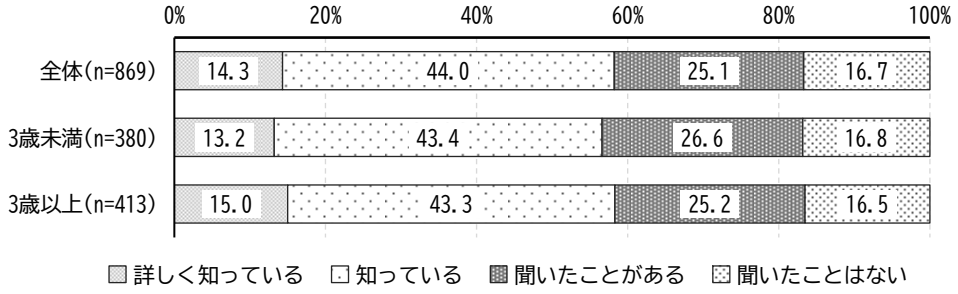
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」が４割前後と最も多く、次いで「聞いたことがある」が３割弱、「聞いたことはない」が２割程度となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【⑥　子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）】

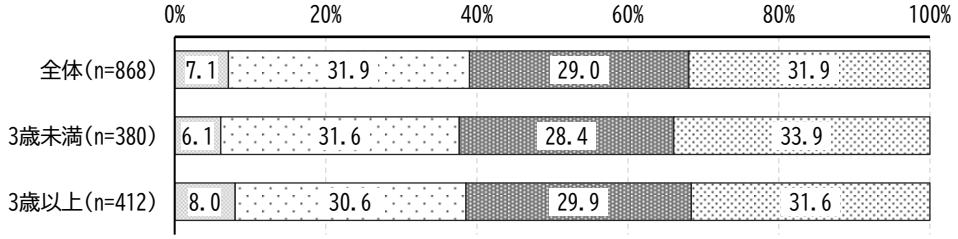
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」が４割以上と最も多く、次いで「聞いたことがある」が３割弱となっている。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【⑦　休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（遊ぶ権利）】

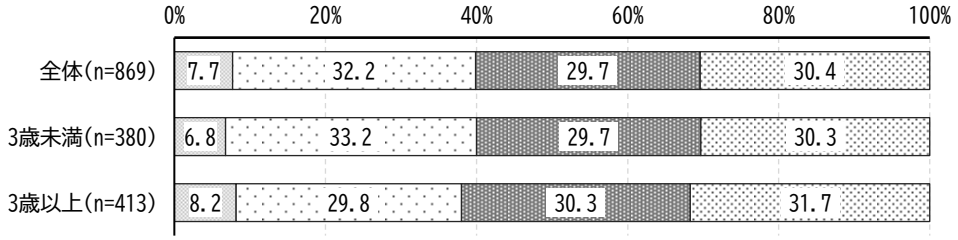
３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」「聞いたことがある」「聞いたことはない」が３割前後と大きな差は見られない。



※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

【⑧　自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）】

３歳未満・３歳以上ともに、「知っている」「聞いたことがある」「聞いたことはない」が３割前後と大きな差は見られない。

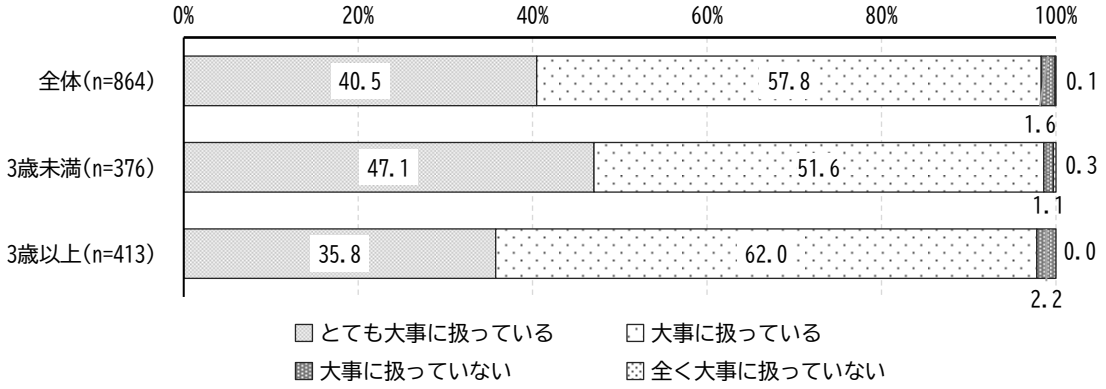


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（3）子どもを大事に扱っているか

問４０　あなたは、お子さんに関わることを決めるときに、お子さんの意見を聞いて、大事に扱っていると思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「大事に扱っている」が５～６割と最も多く、次いで「とても大事に扱っている」が４割程度となっている。

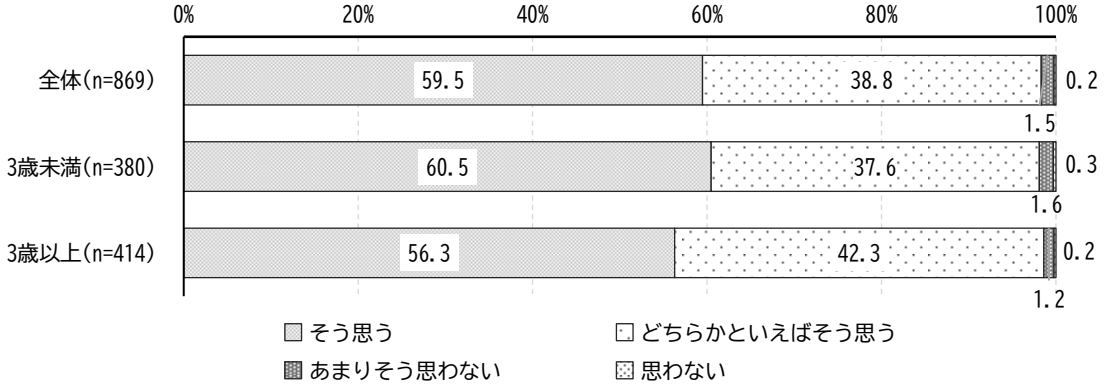


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（4）品川区は住みよいと思うか

問４１　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「そう思う」が６割前後と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が４割程度となっている。

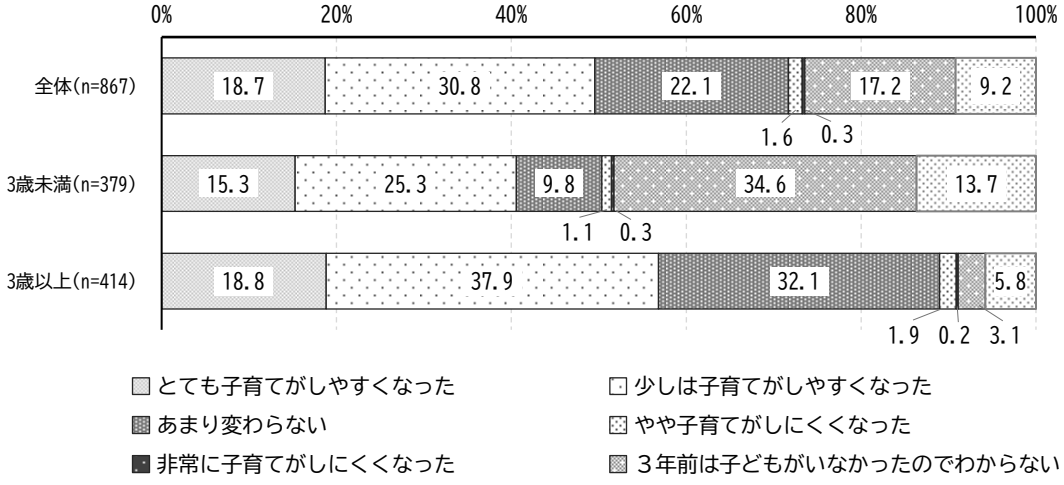


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（5）３年前との比較

問４２　品川区は、３年前と比べて、子育てのしやすいまちになったと思いますか。（１つを選択）

「少しは子育てがしやすくなった」が 30.8%と最も多く、次いで「あまり変わらない」が 22.1%、「とても子育てがしやすくなった」が 18.7%となっている。



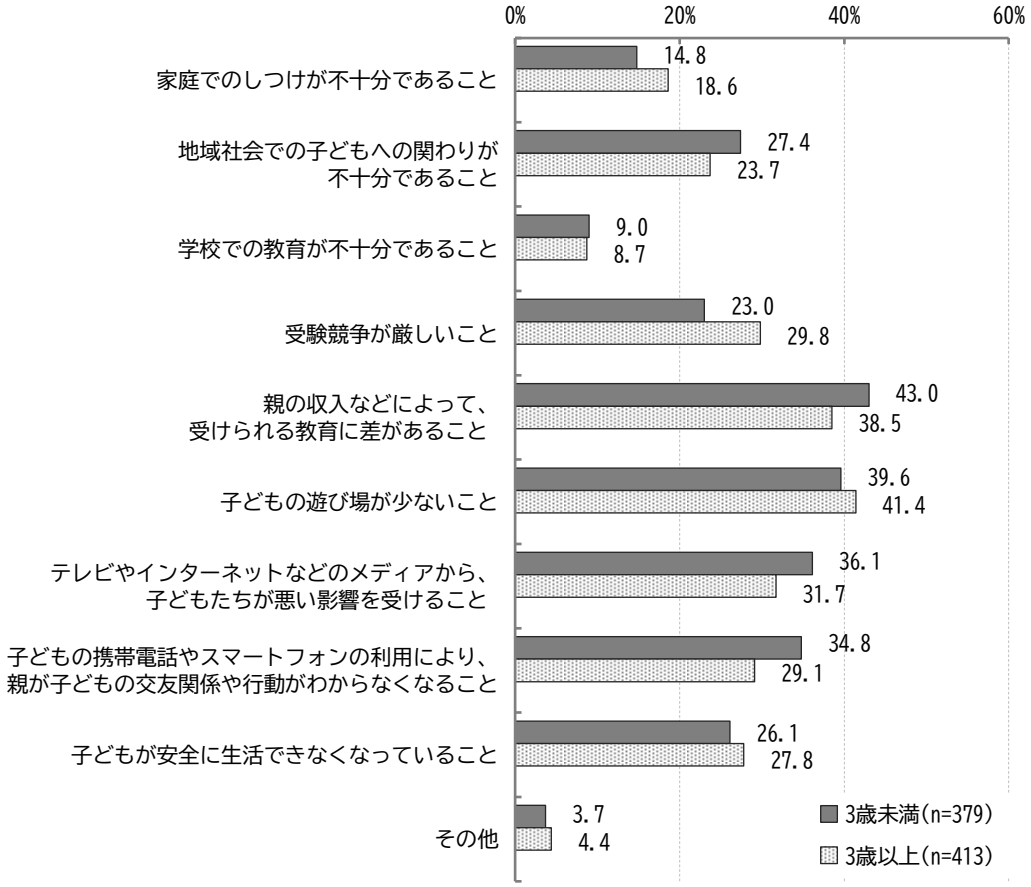
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（6）子育てや教育状況における問題

問４３　あなたは最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか。（特に問題だと思うものを３つまで選択）

３歳未満は「親の収入などによって、受けられる教育に差があること」が 43.0%と最も多く、次いで「子どもの遊び場が少ないこと」39.6%、「テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること」36.1%の順になっている。

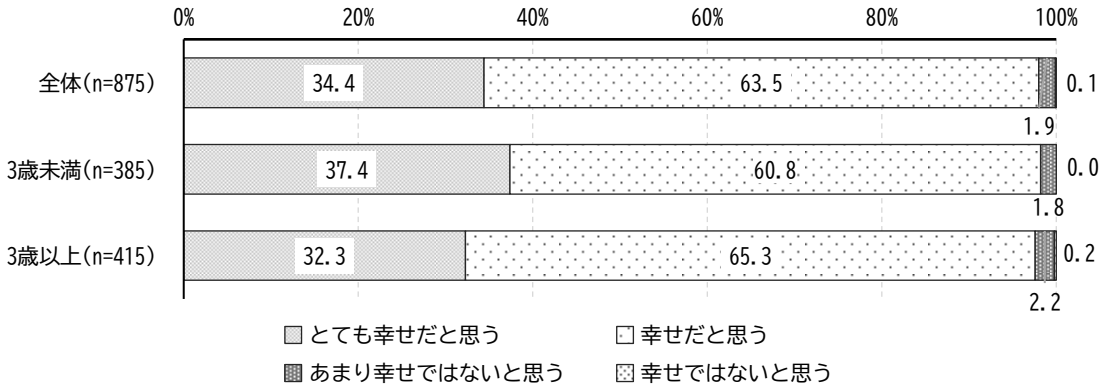
３歳以上は「子どもの遊び場が少ないこと」が 41.4%と最も多く、次いで「親の収入などによって、受けられる教育に差があること」38.5%、「テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること」31.7%の順になっている。



（7）子どもは現在の生活が幸せか

問４４　お子さんは、今の生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「幸せだと思う」が６割以上と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が３割以上なっている。

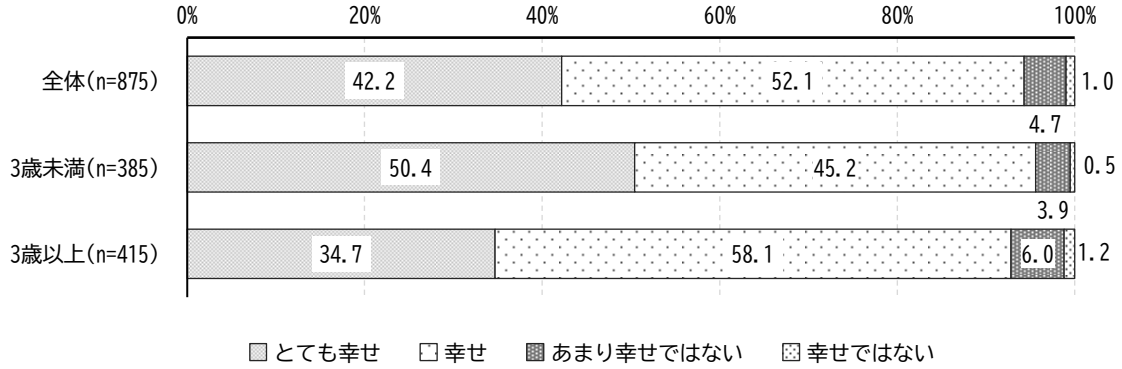


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（8）ご自身は現在の生活に幸せか

問４５　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

３歳未満は「とても幸せ」が 50.4%と最も多く、次いで「幸せ」45.2%となっている。
３歳以上は「幸せ」が 58.1%と最も多く、次いで「とても幸せ」34.7%となっている。

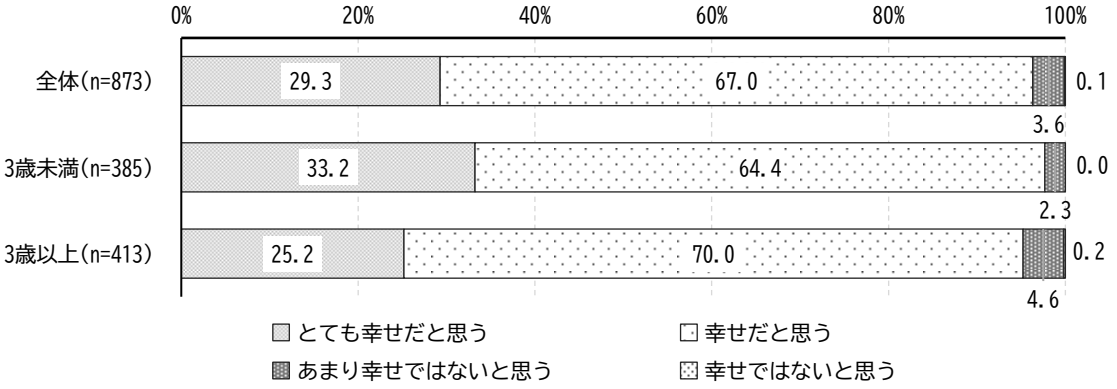


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（9）子どもは５年後の生活に幸せを感じているか

問４６　５年後のお子さんは、幸せな生活を送っていると思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「幸せだと思う」が７割前後と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が３割前後となっている。

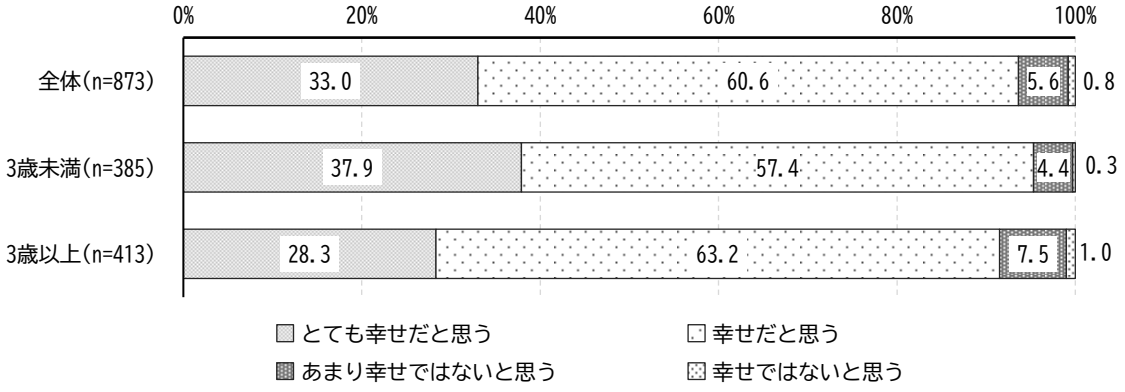


※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

（１０）ご自身は５年後の生活に幸せを感じているか

問４７　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

３歳未満・３歳以上ともに、「幸せだと思う」が６割前後と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が３～４割弱となっている。



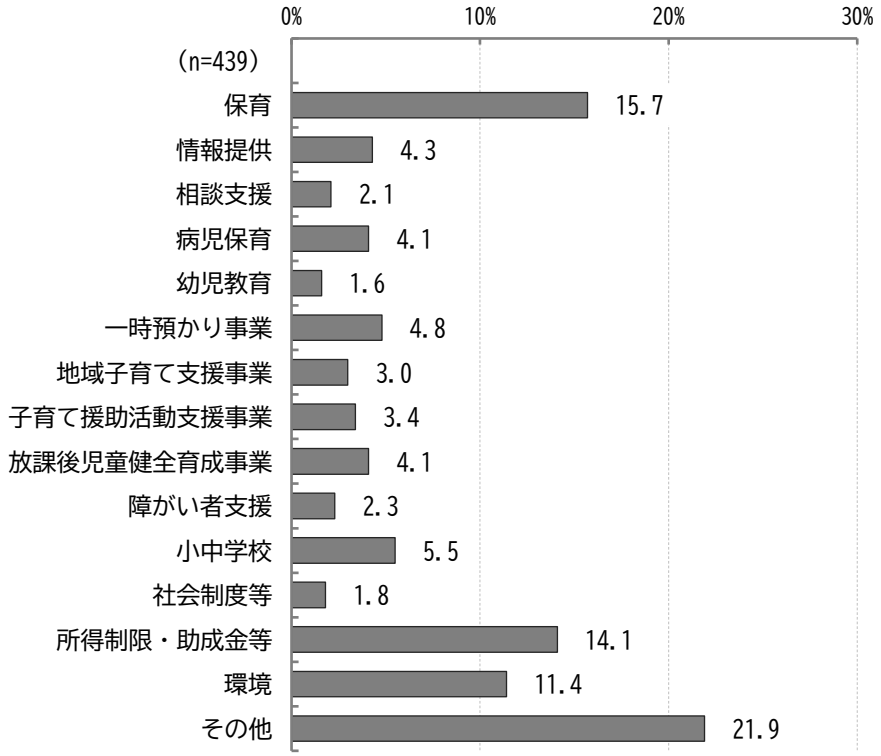
※「全体」は、年齢不明を含むため３歳未満と３歳以上の合計とｎは一致しない。

１３．自由記述

（1）自由記述

問４８　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

442 人（回答者の 50.0%）から回答があり、うち「特になし」の類を除く、439 人の回答について、事業を中心とした分類に整理したところ、次図のような分布となった。



主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	● 認可保育園の点数の中に、「祖父母が遠方に住んでいる」や「品川区居住歴」などを追加、優先事項にしてほしい。 ● 兄弟が別々の保育園になり、預けるだけで 40 分かかっている。早く兄弟そろって保育園に通えるようになってほしい。 ● 保育園に落ちないように、やむを得ず希望のタイミングより早く復職している人があまりに多い現状の改善を切望。 ● 保育園では就業だけでなく、リフレッシュ目的でも保育してもらえるようにしてほしい。 ● 保育士さんは労働条件が悪いから、人数が少ないのではないかと思う。近隣の保育士さんを見ていると、とても疲れていて子どもを預けるのも不安になる。もっと良く改善してあげてほしい。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
意見	● 子が早生まれの場合の保育園への入園が難しいと感じた。 ● 保育園内での交流は大事だと思うので、保育園を立てる場所等、もうちょっと考えてほしい。 ● 妊娠中の保育園入園申請期間があまりにも短い
評価	● 今の保育園では、大変よくしていただき、子供ものびのびすごしている。 ● 日々、先生方に子どもの成長を温かく見守っていただき大変ありがたい。担任の先生に感謝しているのはもちろんのこと、経験豊富な補助の先生方には母親や父親の育児の様子についても時々励ましの声をかけてもらい、いつも感謝している。

情報提供	
要望	● 出産前後は情報提供やケアが多くありがたかったが、子供の成長につれて区からの情報は少なくなったように感じる。学校等の情報提供があるとありがたい。 ● 子育て支援の面では充実してきていると感じているが、その支援の内容や助成金制度等の周知がうまくいっておらず、子どもを持つ親レベルにうまく届いていないように思う。もっと分かりやすく、情報に触れやすい環境を整えてほしい。 ● 東京ベビーシッターサービスはすごく良いのに、知らない人が多い。もっと大々的に周知させると良いと思う。 ● 商店や地域の活性化、お祭りや神輿などの情報の周知など地域交流について積極的に周知して欲しい
意見	● すでに様々な制度があって、知らないだけということも多いと思う。半ば強制的にでも、そういう制度を知る機会に触れられれば、もっと利用しようと思えるかもしれない。親として、まずは知ろうとして色々調べることが大事だと感じた。
評価	● いきいき安心子育てガイドがとてもわかりやすく、ぼろぼろになるまで読んだ。幼稚園情報などもありがたかったので、園バスや預かり保育の有無、給食の有無などもわかると、もっといろいろな道筋が立てやすいと感じた。

相談支援	
要望	● 地方出身なので、ローカルの一般常識的なことが分からないので、誰に聞いたらいいのかも分からない。子どもの地域での育ち方をざっくばらんに話せるコミュニケーターのような方がいる場があるとありがたい。 ● 子ども都合に合わせて保健センターや児童センターへ相談に行く事が難しかった為、LINE やチャットなど、時間を気にせず気軽に相談出来るシステムができるといいと思う。
意見	● 子育て中は、どうしても辛いことがあるので（体調、メンタル等）気軽に誰かに助けてと言える環境・社会になっていくことを望む。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

病児保育	
要望	● 病児保育施設を増やし、もっと使いやすくしてほしい。 ● 病児保育施設が少なすぎる。急な体調不良の時、シッターさんはすぐに捕まらないことが多いため、近くに病児保育がないと、親子ともに大変。改善を希望。 ● 利用していた病児保育が閉院となった影響が大きかった。小学生でも利用できる病児保育を開設してほしい。 ● 病児保育施設を増やしてほしい。子どもが２人いると、交互に病気になり、親のどちらかが仕事を休まねばならない。大井地区に病児保育施設がないので、特に大井町駅付近にあると大変助かる。
意見	● 病児保育に登録しているが、とても利用しにくく、実際には使っていない（使えない）利用の前日に小児科へ行って紙をもらって予約して、さらに当日また小児科へ行って紙をもらうという作業が発生する。これではとても利用できない。 ● 病児保育について娘が保育園を休む時（親が仕事を休む時）は熱が出た時だったが、近所の病児保育は感染症の場合は預けられないルールになっていて、利用する機会がなかった。熱で休む場合が多いのではないか？

幼児教育	
要望	● 区立幼稚園でも３年保育をしてほしい。 ● 国際教育の拡充も希望。 ● 運動神経強化、体力強化ができるプログラムをもった、育園や幼稚園が品川区にないのが残念設立してほしい。欲を言えば、英語・英会話についても伸ばせるプログラムもあるとありがたい。

一時預かり事業	
要望	● オアシスルームは保育園児は利用できないという規定がおかしいので、改定を求める。幼稚園児の親は、土曜にリフレッシュのために利用できるが、保育園児の親はなぜ不可なのか？ ● オアシスルームの優先枠を０歳でなくて１歳にしてほしい。 ● 一時預かり制度「小学生」までの延長（特に低学年） ● 預り施設がまだまだ不十分。24 時間いつでも事前予約の必要がなく、子どもを預けられる環境が必要。 ● 育休中も預かり保育が利用できるようにしてほしい。下の子は保育園の為、育休中も利用が可能だが、上の子は幼稚園の為、産後２ヶ月を過ぎると預かり保育がなくなってしまい、育児が心配。
意見	● オアシスルームを利用した際に、目の前にパーキングがあるにも関わらず、オアシスルーム利用者は使用できなく困った。徒歩では行けない場所なので、わざわざ車が止められる場所（パーキングがある場所）を選んで行ったのにも関わらず。とても残念だった。（近くのコインパーキングも満車だった。）

主な意見（一部抜粋・要約しています）

地域子育て支援事業	
要望	● 近隣の区のように日曜日も児童センターが利用できるようにしてほしい。 ● 児童センター等の施設について、老朽化が進んでいる所を整備してほしい。 ● 児童センターは授乳室、おむつ替えエリアなどが狭かったり、使いにくかったりと、ハード面で難がある所が多い。古い建物を大切に使うことは賛成ですが、こうした面での設備充実は図ってほしい。 ● 児童センターにエレベーターがほしい。子どもを抱っこして４階まで上がるのが辛い。
意見	● 子どもが２か月の頃、児童センターを案内してもらったが、遠くてあまり行く気にならず、行った際にも受付まで階段であがる必要があり、また行こうという気にならなかった。児童支援センターよりも子育てサロンの方が自宅から近かったので、もっと早くに知りたかった。
評価	● 児童センターが充実しているのでとても助かっている。

子育てに関する援助（子育て援助活動支援事業）	
要望	● 子育てに関するサポート・支援を行政の中でもっと積極的に行ってほしい。 ● 子育てのケアは幼児期だけではなく、小学校・中学校などもあると良い。 ● 産後ドゥーラにとても助けられ。単胎であっても、産前産後３年の利用ができると、なお嬉しい。 ● 急な仕事や子供が病気の時など、フレキシブルに利用できるベビーシッター等の保育サポートがほしい。
意見	● 住んでいる家の近くにシッターやサポート施設があまりない。ファミサポもマッチングできる人が近くにいない。その場合の質にも不安がある。 ● ファミリーサポートは、いつも予約でいっぱいで利用したい時に利用できないと聞き、利用したことがない。

障がい者支援	
要望	● 発達障害の子どものフォロー体制を整えてほしい。他の区と比べると全然、数も少なくて入れない。仕方なく他の区へ通っているが、非常に負担となっている。 ● 子どもが発達障害で、近所の小学校には支援級が無いため、就学について不安。療育園に通いたいが、定員オーバーで入れないので増やしてほしい。 ● 次男が小学校に入学してから発達障害の疑いがあり、相談・サポートを希望していたが、就学すると相談先がかなり限られてしまい、病院や相談先をやっと見つけても、定員オーバーで半年や１年待ちばかりだった。周りでも発達について相談したいという方が沢山いる。相談する場所や案内を増やしてほしい。
意見	● 子どもの事を様々な角度から支援をする姿勢はとても感じ実際に保護者の負担も軽減している。ただ、少数派の支援（グレー特性がある）においては就学と同時に途切れてしまうように思う。学童で難しい子、放デイの対象にはなれない子が居ることを知ってほしい。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

小・中学校、進学関連	
要望	● 「まるもっち」を小学生だけでなく、中学３年生まで持たせてほしい。 ● 区立の小学校の授業内容を中学受験向けにしてほしい。（選択制）また、英語教育の強化も希望。 ● AI を生かしたデジタル教材で、もっと個々の進捗に合わせた基礎学力の勉強が効率的に行えるようにし、学校現場ではグループワークやディスカッション、アクティブラーニングなどリアルでやる価値のある教育メインにシフトしてほしい。 ● 小学生の長期休暇中の昼食支援は、早々に実現してほしい。
意見	● 小学校の学区による設備の差が大きすぎる。何故一律で修繕建て替えを行わないのか。人気の差が発生する根源。 ● 学校の教育にいささか不安を感じる。社会に出れば常に新しいシステムにさらされ、常に段取りを求められる中、学校からの連絡が未だに紙媒体で専業主婦に任されている感覚を受ける。一般企業では経営に対してコンサル会社に依頼することもあり、学校教育も専門家に組織づくりを一任しても良いのではないか。国力を担う大事な人材が世間の状態から取り残されているようでやるせなさを感じる。
評価	● 小学校で放課後に宿題を一緒にやったり、プリントをやりながら教えてもらえる学習塾が１学期に４回ほどあり、とてもありがたい。 ● 他の区に住んだことがないので比較できないが、小学校の絵の具等の無料化等積極的に取り組んでもらいありがたいと感じている。

放課後児童健全育成事業	
要望	● すまいるスクールだけでは小学校のあとの受け皿が少ないと思う。長男は民間の学童に行っているが費用が高額。小学１～２年の間だけでも良いので支援をしてほしい。 ● すまいるスクールでの夏休み等長期休暇時にも給食や宅配弁当など何か昼食を手配してもらえるようにしてほしい（追加料金は払うので）。特に昨今夏場は弁当を朝から持たせることに衛生面での不安も感じ、共働き世帯が多いことからも需要はあると思う。 ● すまいるスクールは子どもが勝手に帰ってこられると聞くが、決められた時間までは必ず、すまいるスクールにいるように見張ってほしい。すまいるスクールで学校の宿題をやり終えて帰ってきてほしい。 ● 小学校区に１～２つは、放課後に過ごせる場所がほしい。
意見	● 学童の活動も習い事の様に収入に関係なく、学べる機会を平等に得られると親への負担や負い目が減ると思う。
評価	● すまいるスクール制度、とても素晴らしいです。他区は、こんなに融通がきかない。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

社会制度等	
要望	● 上の子が認可保育園に通っていると、下の子は満１歳になるまでしか育休延長にならない制度を撤廃してほしい。 ● 育児休業が長く取得できるよう保障体制を整えてほしい。

所得制限、助成金等	
要望	● 子育て支援は収入の額に関係なく実施して頂きたい。 ● 年収に関わらず、子育てに関する支援は平等にしてほしい。 ● 子どもの住環境を整える上で、不動産が割高になりすぎて産みたくても産めない方もたくさんいる気がする。家が整うと子育てもスムーズになり、ストレスフリーでより良い教育につながっていくと思うので、子育て家庭の住宅手当て等サポートを充実してほしい。 ● 子どもが３人いるので食費がかかる。商店街のクーポンやお米券等、現実的な支援をしてほしい
評価	● 品川区のおかげで、とても快適に子育てができている。医療費の負担がないことや、保育料の負担がないこと（第二子以降）など、他区の市町村と比べても子どもに寄り添っての行政で感謝している。住みやすく周りにもすすめている。

公園・施設・道路・防犯等	
要望	● 公園は多いと思うが、狭く、規則も多く思い切り遊べない状況。ボールが使えたり、スケボーができたり、キックボードができたりする場所が増えてほしい。 ● 子どもたちが遊べる広場を増やしてほしい。ボール遊び禁止が多過ぎる。 ● 西大井広場公園の端っこの滑り台がある場所が整備されておらず、死角も多く子どもが遊ぶ場所に適していないと思う。安全かつ綺麗に整備してほしい。 ● 明石市のハレハレのような無料～低価格で遊ばせることのできる屋内大型遊具施設があれば良いと思う。 ● 保育園周辺の歩道での自転車の通行が多いため、子どもがケガをするのではないかと不安になる。また、保育園の周辺でのタバコを吸えないようにしてほしい。 ● 狭い道路が多く、特に自転車走行レーンがほぼないので、歩行者の立場としても子どもの自転車走行のことを考えても危ない。
意見	● 都内の遊び場、自然の少なさを痛感する。子どもの教育、未来の選択のためにも都内にはいるが、「子どもの時にしか出来ないようなこと」ができる場所がない。 ● 公園遊具の整備や充実、安全性の確保等は、まだ不充分な箇所もあるように思う。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

その他	
要望	● 育休取得や保育園申請など、行政の手続きが本当に時間もかかりアナログで大変。オンラインで完結できることを望む。 ● 地域全体で子どもを育てる、地域のつながりがもっと感じられる環境づくりをしてほしい。 ● 小学校の先生の働き方改革や、保育士さんの勤務環境の改善にもぜひ注力いただきたい。優秀な教育人材が集まる区になってほしい。 ● 子育て環境の前提として、基本的な社会ルールをしっかり守らせ運用する区になってほしい。①飲食店出口での喫煙所設置による実態としての歩道でも喫煙②歩道などでも歩きタバコ③自転車の歩道通行④歩きスマホ ● 教育・保育環境に関する問い合わせ先を一本化してほしい。施設の種類により、問い合わせ先がバラバラ、縦割りをやめてほしい。 ● 子どものことだけでなく、父親の理解を促す機会を増やしてほしい。
意見	● 少子化が少しでも改善される環境になればと思います。 ● 育児と仕事の両立について、どんな職種の仕事であっても対応できる制度ができることに期待したい。24 時間体制、365 日体制の仕事の場合にも高額でなく、保育施設やサービスが利用できると嬉しいし、離職の必要もない。今回のアンケートの結果が、様々な制度の改定につながることに期待している。 ● 未来を担う子どもたちが、不自由なく暮らせる世の中を作ってほしい。また、生を受けた子が無事誕生し、生活をしていけるような世の中になってほしい。 ● 隣の区への越境もやりやすくしてほしい。区境に住んでいるので、隣の渋谷区、港区のサービスの方をよく利用するが、品川区内でもサービスを行っている地域の偏りを少なくしてほしい。ただ、力を入れ始めている事は伝わっているので、今回のアンケートに答えました。応援しています。
評価	● 品川区が子育てに力を入れていること伝わっています。ありがたいです。もっともっと育てやすくなる街になるよう応援しています。 ● 武蔵小山駅周辺は子どもが多く、地域も優しく、子育てがしやすいエリアだと思う。特に子どもが小さい時は、児童センターや公園に救われた。年々、制度の拡充、増加もされていると伺い、区の関係者の方には感謝している。 ● 他の自治体に比べて、本当に子どもに対して親切だと感じている。このまま、継続してほしい。

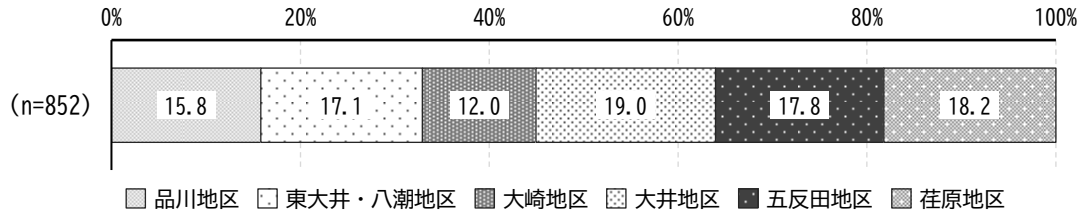
Ⅱ　小学生保護者

１．家族の住まいについて

（1）居住地区

問１　お住まいの地区をお答えください。（１つを選択）

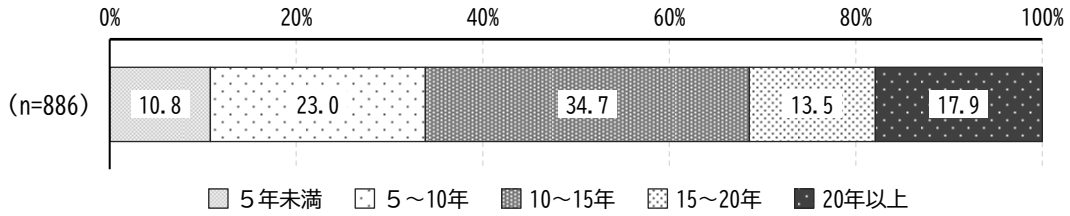
「大崎地区」が 12.0%と他の地域と比べて最も少なくなっている。「大井地区」「荏原地区」「五反田地区」「東大井・八潮地区」の４地区は、ほぼ同じ割合となっている。



（2）居住年数

問１－１　品川区に居住して何年になりますか。（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

「10～15 年」が 34.7%と最も多く、次いで「５～10 年」が 23.0%、「20 年以上」が 17.9%となっている。

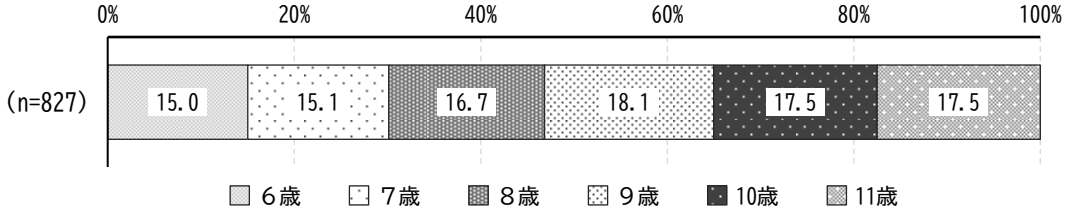


２．子どもと家族の状況について

（1）子どもの年齢

問２　お子さんの生年月をお答えください。（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

「９歳」が 18.1%と最も多く、次いで「10 歳」「11 歳」が 17.5%となっている。

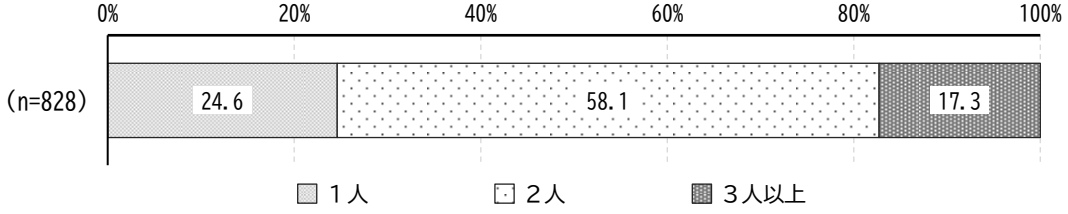


（2）きょうだいの人数

問３　お子さんのきょうだいは何人いますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。
２人以上のお子さんがいる場合は、末子の生年月をご記入ください。
（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

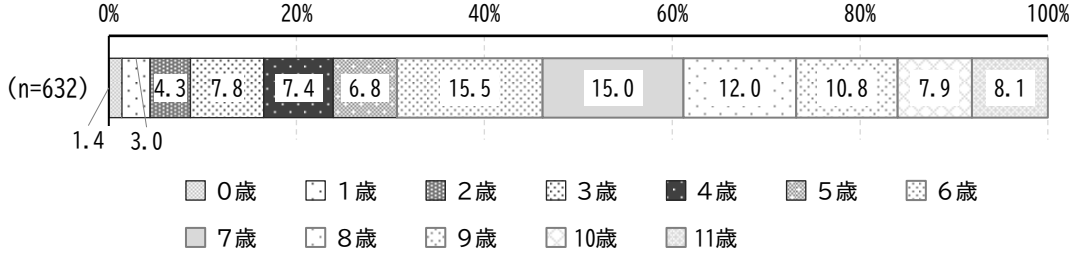
【子どもの人数】

「２人」が 58.1%と最も多く、次いで「１人」が 24.6%となっている。



【末子の年齢】

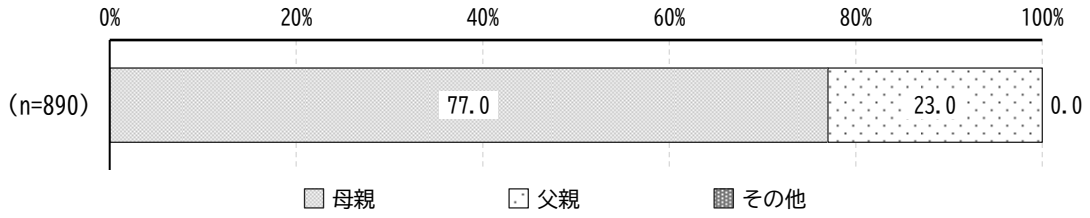
「６歳」が 15.5%と最も多く、次いで「７歳」が 15.0%、「８歳」が 12.0%となっている。



（3）調査票回答者

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つを選択）

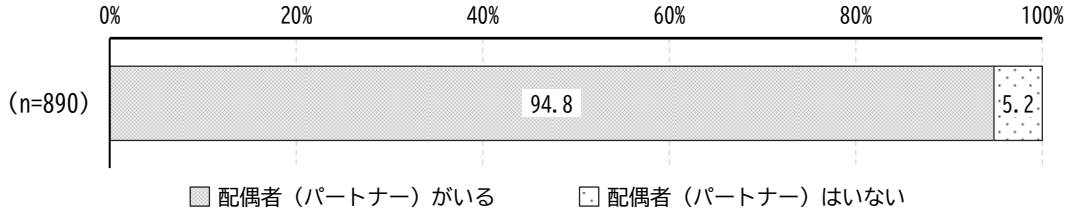
「母親」が 77.0%と最も多くなっている。



（4）回答者の配偶関係

問５　この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（１つを選択）

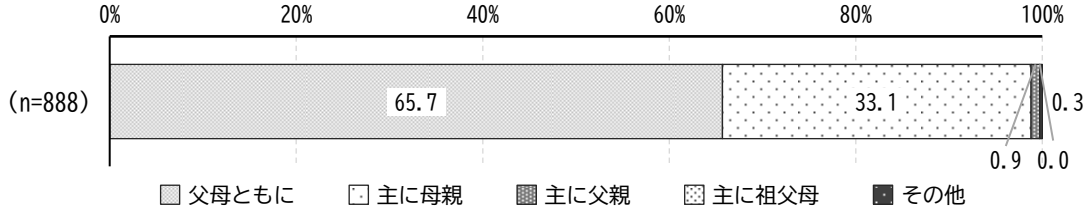
「配偶者（パートナー）がいる」が９割以上を占めている。



（5）子育てを主に行っている人

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。（１つを選択）

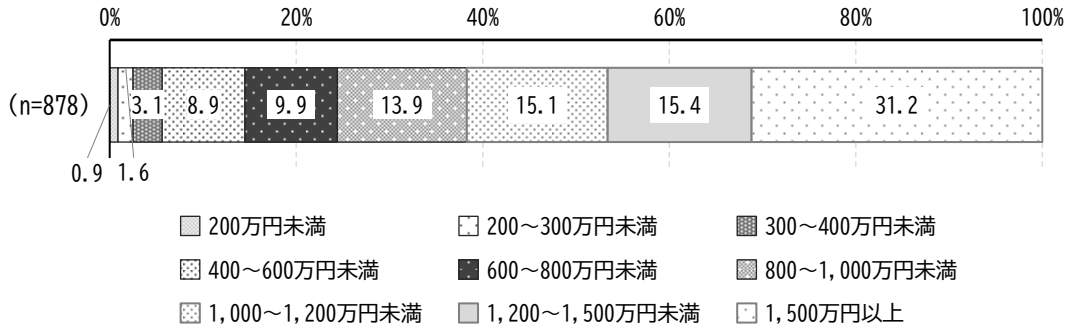
「父母ともに」が 65.7%と最も多く、次いで「主に母親」が 33.1%となっている。



（6）世帯年収

問７　あなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入」を教えてください。（手当、養育費、生活保護費などを含む）なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。（１つを選択）

「1,500 万円以上」が 31.2%と最も多く、次いで「1,200～1,500 万円未満」が 15.4%、「1,000～1,200 万円未満」が 15.1%となっている。



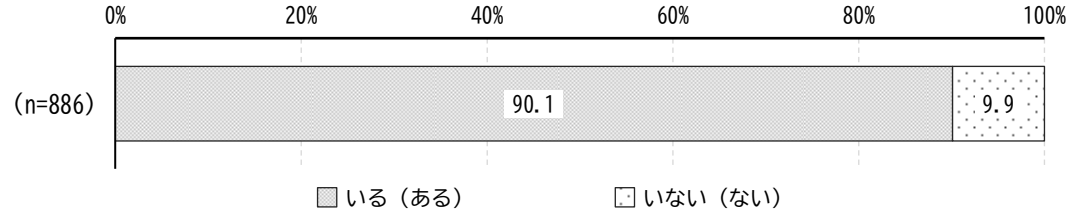
３．教育環境

（1）子育てをする上で、気軽に相談できる人の有無

問８　お子さんの子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。

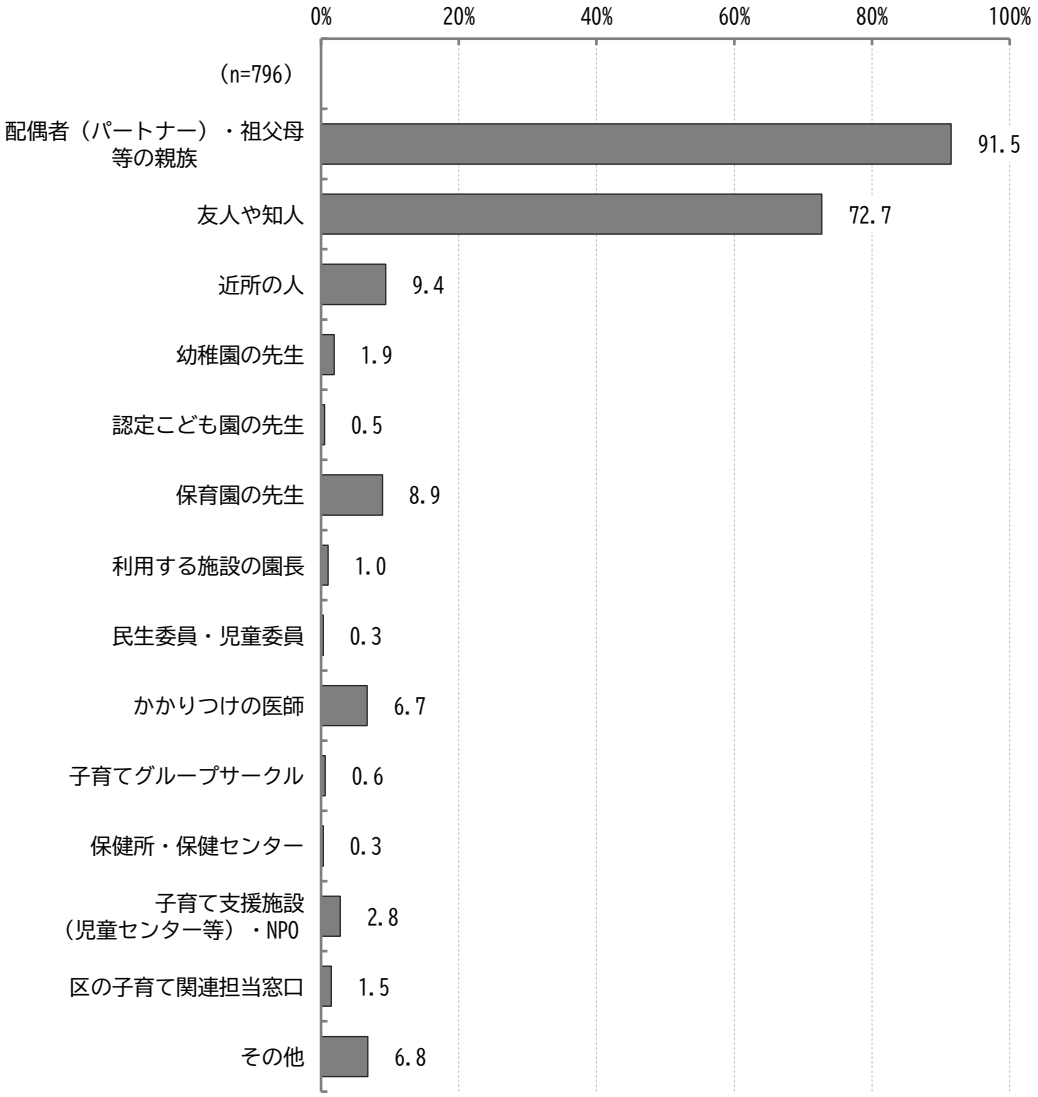
【相談できる人の有無】

「いる（ある）」が９割を占めている。



【相談相手】

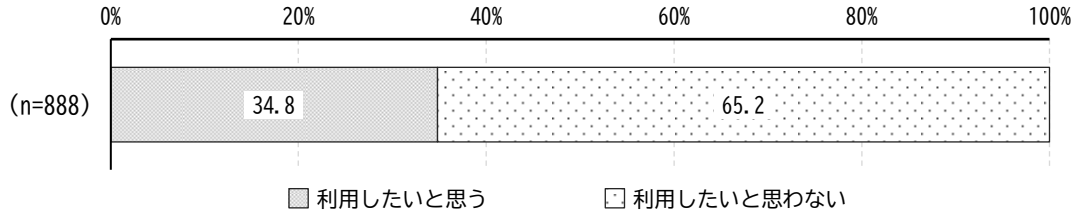
「配偶者（パートナー）・祖父母等の親族」が 91.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が 72.7%、「近所の人」が 9.4%となっている。



（2）オンライン相談について

問９　子育て相談に関して、オンラインで相談できれば利用したいと思いますか。（１つを選択）

「利用したいと思わない」が 65.2%と多くなっている。

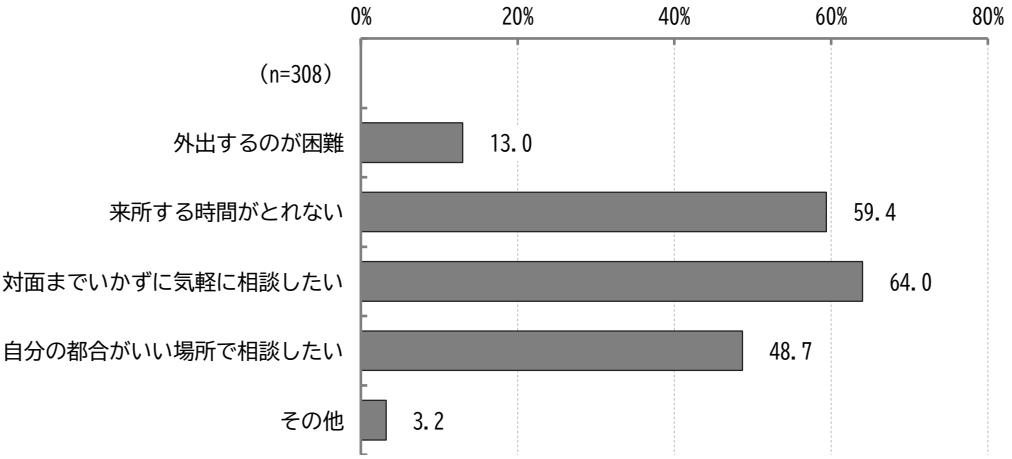


問９で、「１．利用したいと思う」を選んだ方に伺います。

（3）オンライン相談が必要な状況

問９－１　オンラインで相談が必要だと思う状況をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

「対面までいかずに気軽に相談したい」が 64.0%と最も多く、次いで「来所する時間がとれない」が 59.4%、「自分の都合がいい場所で相談したい」が 48.7%となっている。

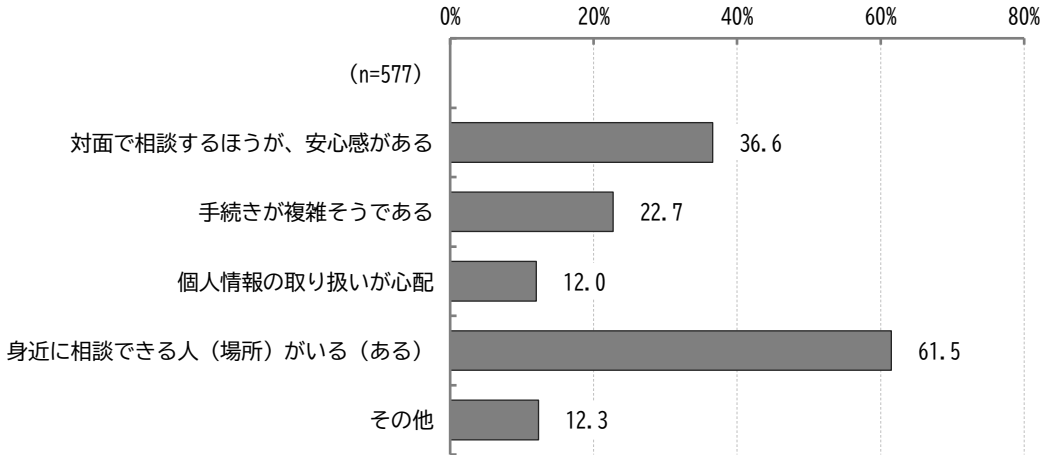


問９で、「２．利用したいと思わない」を選んだ方に伺います。

（４）利用したいと思わない理由

問９－２　利用したいと思わない理由をお答えください。

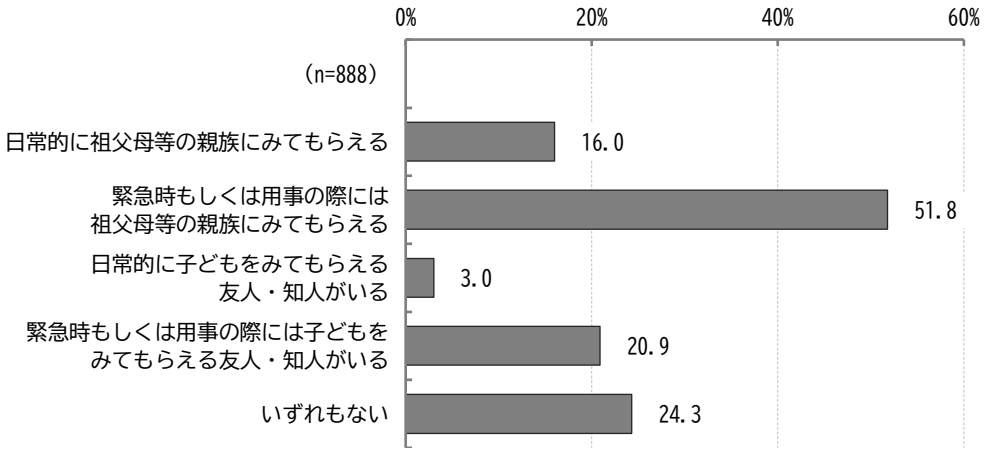
「身近に相談できる人（場所）がいる（ある）」が 61.5%と最も多く、次いで「対面で相談するほうが、安心感がある」が 36.6%、「手続きが複雑そうである」が 22.7%となっている。



（５）日頃子どもを見てもらえる親族・知人

問１０　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてを選択）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 51.8%と最も多く、次いで「いずれもない」が 24.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 20.9%となっている。

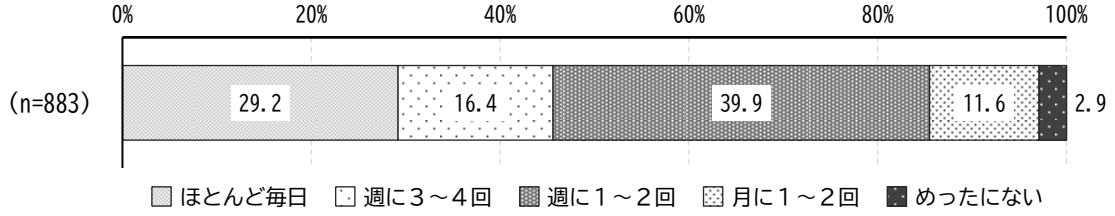


（6）普段お子さんとしていること

問１１ あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。
（それぞれについて１つを選択）

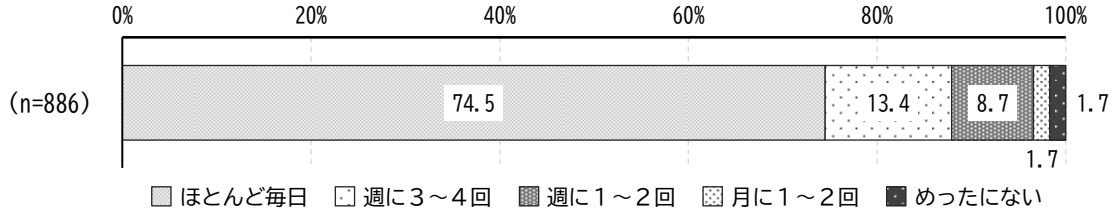
【①子どもと一緒に遊ぶ】

「週に１～２回」が 39.9%と最も多く、次いで「ほとんど毎日」が 29.2%となっている。



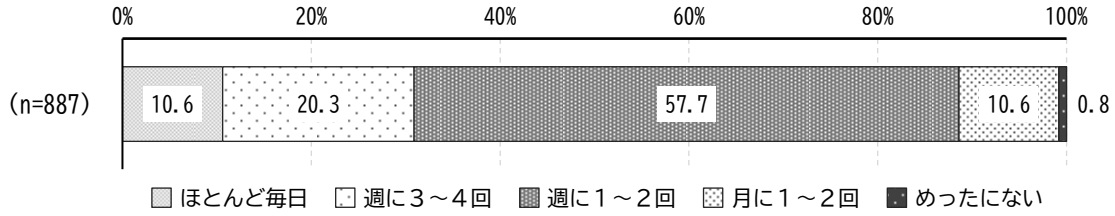
【②子どもと、自宅以外の場所（学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする】

「ほとんど毎日」が 74.5%と最も多く、次いで「週に３～４回」が 13.4%となっている。



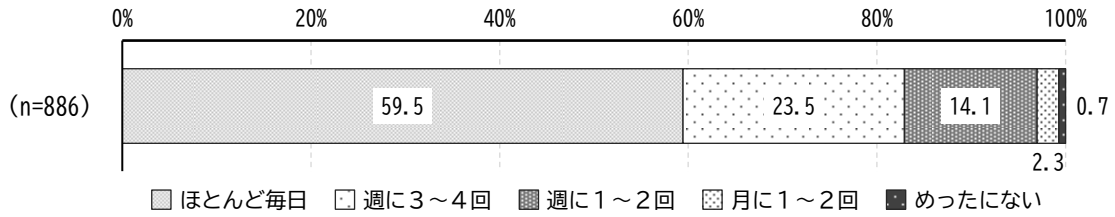
【③子どもと一緒に外出する（買い物含む）】

「月に１～２回」が 57.7%と最も多く、次いで「週に３～４回」が 20.3%となっている。



【④子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる】

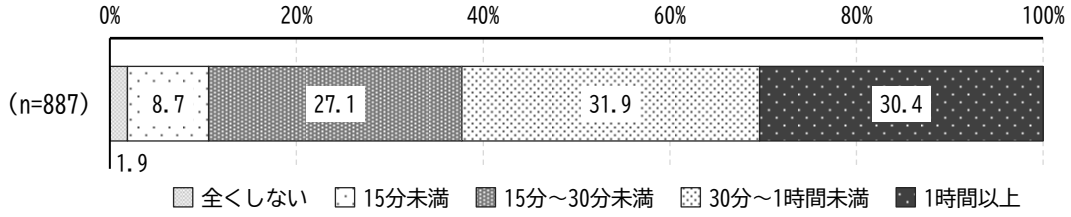
「ほとんど毎日」が 59.5%と最も多く、次いで「週に３～４回」が 23.5%となっている。



（7）子どもの学習時間

問１２　あて名のお子さんの学習環境について伺います。お子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（１つを選択）
※塾などの時間も含みます。

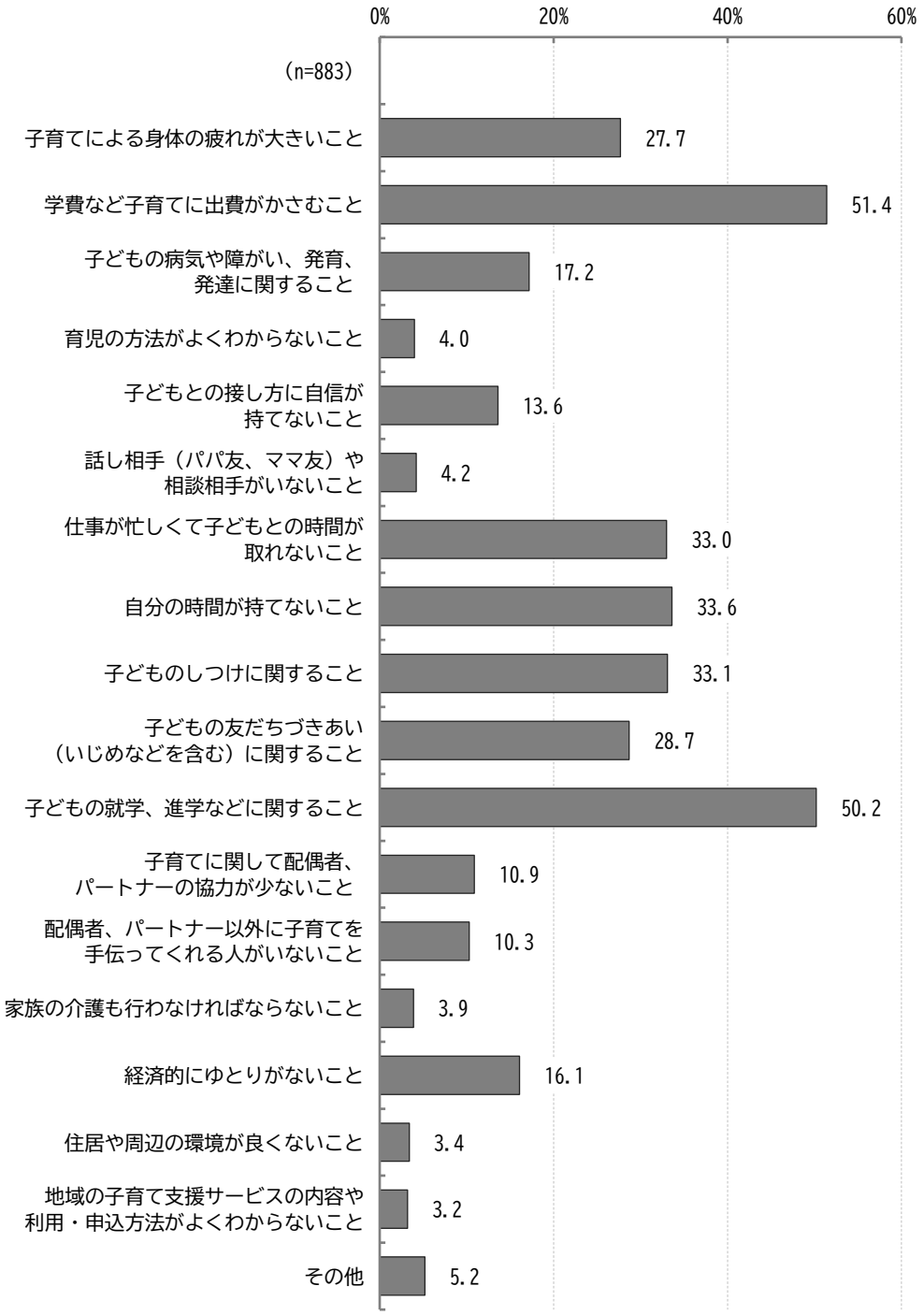
「30 分～１時間未満」が 31.9%と最も多く、次いで「１時間以上」が 30.4%、「15 分～30 分未満」が 27.1%となっている。



（8）子育てにおいて日頃の悩みや気になること

問１３　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてを選択）

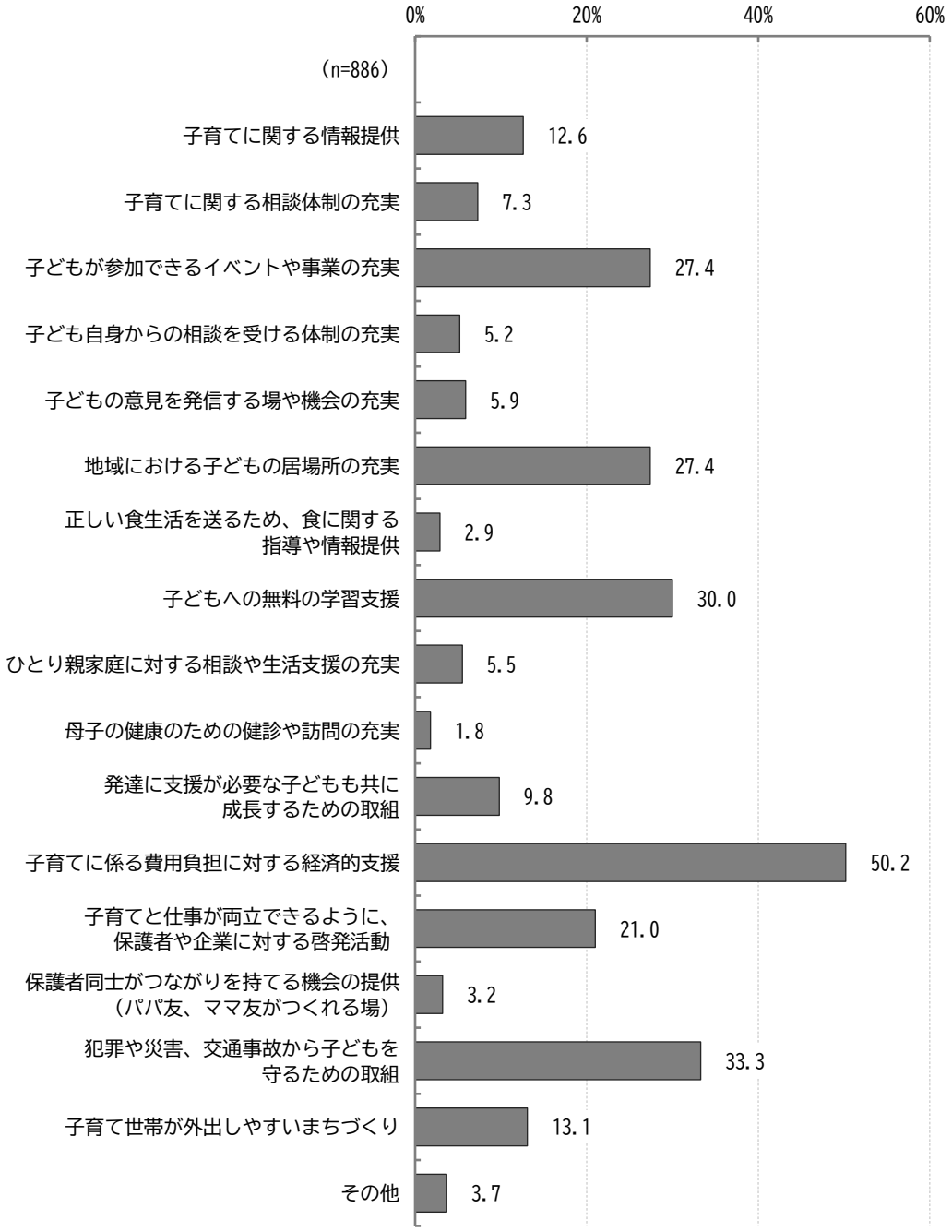
「学費など子育てに出費がかさむこと」が 51.4%と最も多く、次いで「子どもの就学、進学などに関すること」が 50.2%、「自分の時間が持てないこと」が 33.6%となっている。



（9）区の子育て支援への取組として期待すること

問１４　区の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。（あてはまるもの３つを選択）

「子育てに係る費用負担に対する経済的支援」が 50.2%と最も多く、次いで「犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取組」が 33.3%、「子どもへの無料の学習支援」が 30.0%となっている。



（１０）周囲からどのようなサポートが必要か

問１５　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	● 親の息抜きの時間を確保するため、例えば保育園（認可）の保育理由を就労以外でも許可してほしい。 ● 復職の為に保育園に入れたい→就職していないと保育園に入れない、という矛盾した状況で困っている保護者に対して復職するまでの仮保育施設があると助かる。 ● 保育サービス。小学生でも休日気軽に預けられるところがほしい。

情報提供	
要望	● 近所でやる様なお祭りやイベントはどうしてもママ友からの情報がメインになるので、まだ知り合いがいなかった頃は、どこで何がやっているのかが分かりにくかった。自分の地域だけでもイベントを知れるチラシやサイトがほしい。 ● 区の施策やサービスを総合的に案内できるコンシェルジュサービス ● 子育て情報を紙面で定期的に頂きたい。働いているとネットはほぼ見ない。
意見	● LINE を通して品川区の取り組みをようやく知れるようになった。せっかく取り組んでいることが区民に伝わっていないように思うので、周知の工夫を期待したい。

相談支援	
要望	● 子どもの相談相手、気軽に相談できる機関や人の存在。自分だけでなく、他の大人も自分の子どもを見てくれている、という状況がほしい。 ● 子育て相談窓口の内容の細分化と明確化。 ● 子育てのステージごとに相談できる人（そのステージを最近卒業したぐらいの方）がいると良い。
意見	● 未就学児の方が相談できる機会が多かったように感じる。
評価	● 子どもが小さい時、イトーヨーカドーに週１回平日に保健師の方が来て、子どもの成長等ちょっとした悩み事を気軽に相談ができて、とても助かった。

病児保育	
要望	● 病児保育の充実化。 ● 急な体調不良で、すぐに、安全に、確実にみてもらえる、病児保育のようなサポート。 ● 突然の病気等で、看病をしなければいけないが、仕事が休めない時などに預かってもらえる所があると助かる。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

一時預かり事業	
要望	● オアシスルームは働く保護者の利用はできず、土日などに自分の時間を確保することができない。保育園に通う子どもも対象としてほしい。 ● サービス業のため、日・祝日も安心して預けられる場所がほしい。 ● 子育てと仕事の両立ができるように、長期休暇期間も 8:30～18:00 頃まで安心して預けられる場所がほしい。 ● 子どもを一時的に預けられる場所・施設の拡充。

学校・教育関連	
要望	● ＳＳＴ（ソーシャルスキルトレーニング）を受けたい。 ● 公立校の教育の充実。 ● 寺子屋のような気軽に勉強を教えて頂ける場所。異学年や大人との交流の場があると良い。 ● これから必要と感じる英会話教育を整えてほしい。 ● 小中と多感な年頃と接するスクールカウンセラーの質を上げてほしい。学校による区内のカウンセラーの質の格差が歴然だと感じる。
評価	● 教育や小学生へのサポートは充実しており、安全面でもまもるっちの全生徒への支給は本当にありがたく助かっている。

地域子育て支援事業	
要望	● 放課後に安全に過ごせる施設、児童センターや学習施設（無料）
評価	● 児童センターに子ども同士で行くことがあり、良いことだと思う。職員の方が子どもの相手をしてくれて助かる。 ● 長女の成長がゆっくりで不安を抱えていた頃、児童センターの子育てネウボラ相談員さんや職員さんが、こちらの話を否定せず寄り添ってくれてありがたかった。

子育てに関する援助	
要望	● 保護者が仕事をしていて、子どもが一人でいる時間にサポートしてくれる人。 ● 子どもが学校から帰ってきてから 19:00 頃までの各種サポート。両親共働きで 19:00 頃まで子どものケアができないため。 ● 子どもが体調不良のときなど、電話一本で来てくれる地域のベビーシッターがいると、非常に有難い。 ● 子どもの普段の様子をよく知った上で、一緒に課題に向き合ってくれるサポート。
評価	● 子どもがまだ幼少の頃、ファミリーサポートをしました。大変助かったので、このようなサポートを行政が力を入れると良いと思う。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

所得制限、助成金等	
要望	● 経済的な支援。 ● ひとり親等の制度を決めず、子ども１人１人、一世帯ごとに平等に支援がほしい。ひとり親はかなり支援が充実しているが、それ以外の世帯にも目を向けてほしい。 ● 品川区内の私立は対象外になる。給食費、学用品の無償化を私立も対象にしてほしい。 ● 子育てに非常にお金がかかる。中学以上の経済的負担の軽減と、教育環境の選択の幅が広げられるような制度。

放課後児童健全育成事業	
要望	● すまいるスクールで長期休み中の昼食提供（有償の仕出し弁当等）を早急に実現してほしい。 ● すまいるスクールにて希望者に向け学習塾や体操教室等を行う。夏休みの期間、希望者に向けてお弁当を出してもらう。（料金は希望者へ徴収） ● 学童の時間の延長。 ● すまいるスクールを子どもが嫌がらない・飽きさせないための施策を考えてほしい。

子育て短期支援事業	
要望	● 高齢者サービスのような、ショートステイがあると、万が一のときは安心できる。 ● 気軽に利用できる夜間の預り保育。

進学関連	
要望	● 中学受験などの体験談など聞く機会がほしい。 ● 私立含めた進学についての選択肢について全体に情報発信がほしい。 ● 都立高校、私立高校の情報。

障がい者支援	
要望	● 発達障害児の学習支援。 ● 発達障害などへの理解があまりないので、周りから理解が得られるようなサポートがあれば良い。 ● 障害がある子どものガイドヘルパーなどの充実。障害がある子どもの理解を深める交流の場。 ● 発達障害の通う放課後デイが少なすぎる。もっと拡大してほしい。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

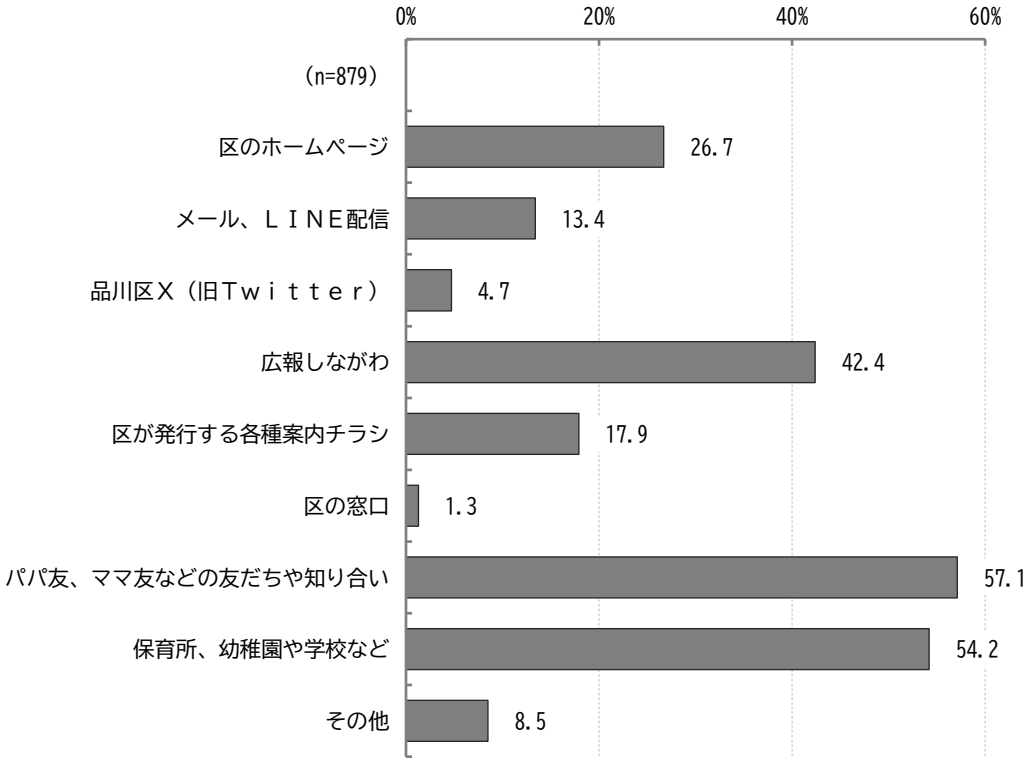
環境（公園・施設・イベント・道路・防犯等）	
要望	● 夏場（暑い時期）でも安心して過ごせる子ども達の遊び場（屋内や屋根つきの公園など）がもっと多くほしい。 ● 地域の公園などに、海岸のライフセーバーのような見守り員がいると、友達同士でも安心して遊びに行かせられてありがたい。（もちろん、そこで何かあっても基本的には自己責任。大人の目があるということ、何かあったときに頼れる人がいるということ、それだけでかなり安心できる。） ● 子どもが楽しめるイベント（学ぶ場）をたくさん企画してほしい。 ● 歩道や公園を使いやすくしてほしい。不要な赤いコーンやポールのせいで、ベビーカーや自転車、車椅子が通りにくく危ない。 ● 学校から自宅付近まで、特に下校時に道ばたに（人通りが多くなる所まで）見守りをしてくれる人がいると嬉しい。毎日のように声をかけてくる酔っ払いや自転車に乗った不審者がいる。

その他	
要望	● 騒いでも、ある程度まではあたたかい目で見守ってほしい。（すぐにうるさい、いやな看板をすぐ付けないでほしい） ● 様々な行政手続きのＤＸ化。区役所まで行かないといけない、何度も同じ内容を手書きして郵送しないといけないなど本当にわずらわしい。 ● 高学年向けサポート ● ホームページを分かりやすく、検索し易くしてほしい
意見	● 役割に応じてサポート内容は変わるため、ここに漠然とした“何か”を書くことは困難。
評価	● かなり充実していると思う。

（１１）子育てに関する情報収集の方法

問１６ 子育てに関する情報をどのように得ていますか。（あてはまるものすべてを選択）

「パパ友、ママ友などの友だちや知り合い」が 57.1%と最も多く、次いで「保育所、幼稚園や学校など」が 54.2%、「広報しながわ」が 42.4%となっている。



４．保護者の就労状況

（1）就労状況

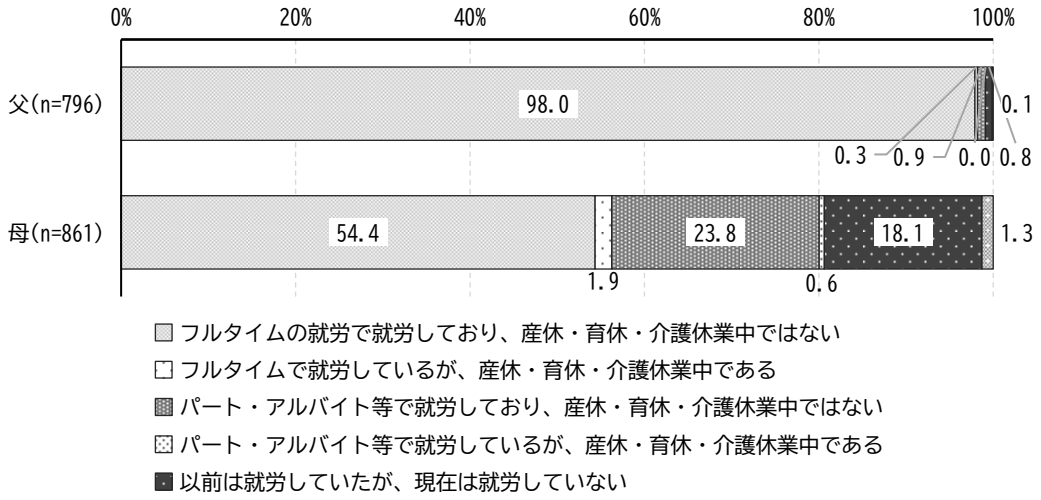
問１７　　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

問１７―１　保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

【①就労状況】

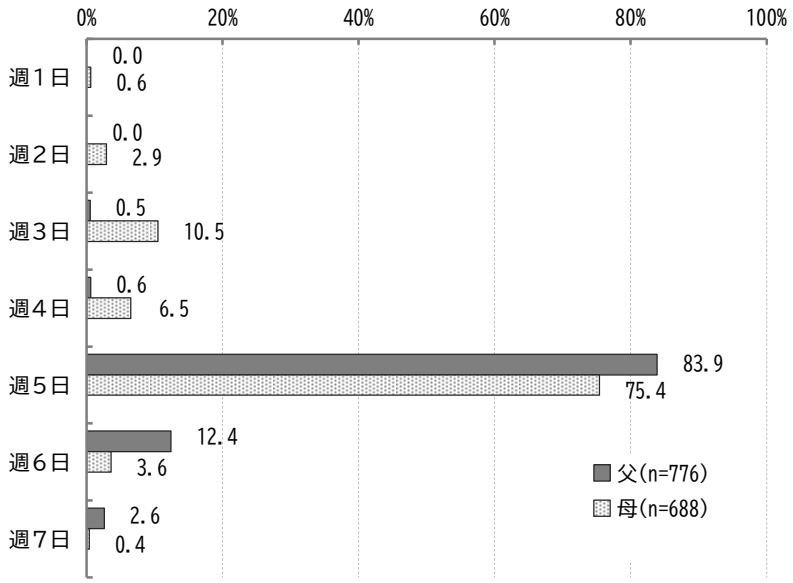
父親は「フルタイム（1週5日程度・１日8時間程度）の就労で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が、98.0%と最も多くなっている。

母親は、「フルタイム（1週5日程度・１日8時間程度）の就労で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が、54.4%と最も多く「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が18.1%となっている。



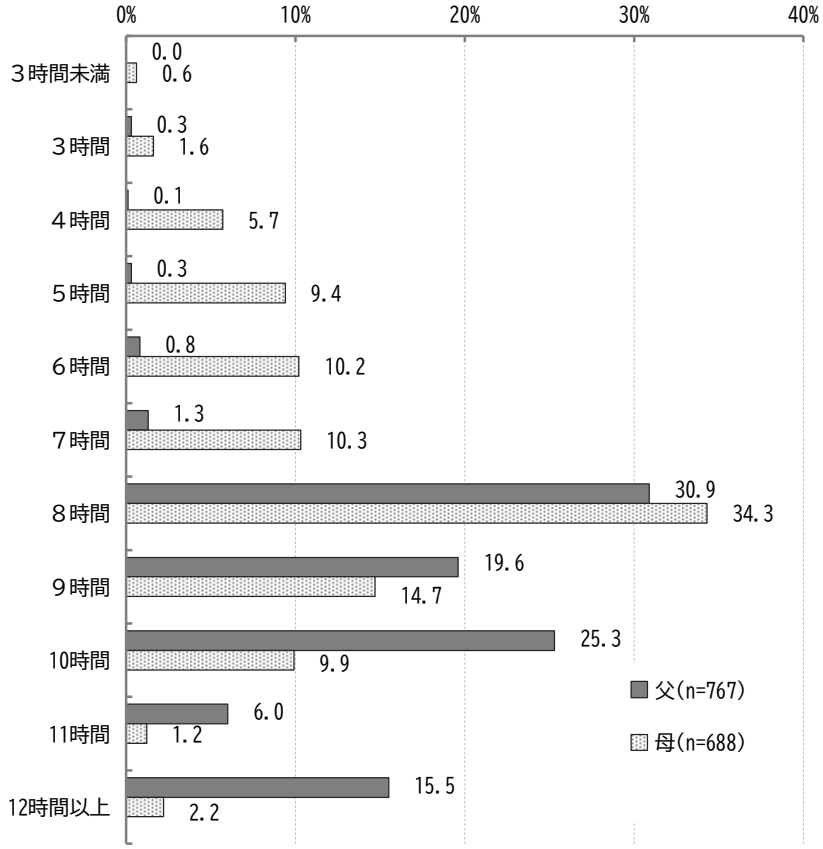
【②１週あたりの就労日数】

父母共に「週５日」が７割以上（父：83.9%、母：75.4%）と最も多くなっている。



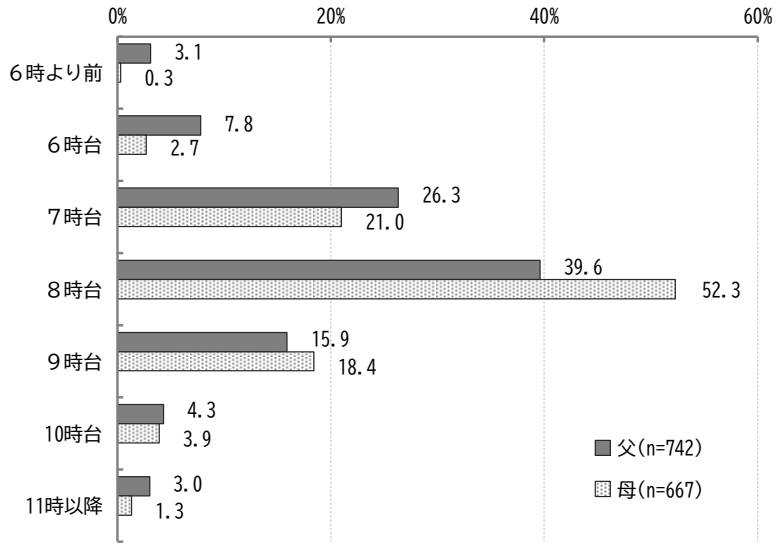
【③１日あたりの就労時間】

父親は「８時間」が 30.9%と最も多く、次いで「10 時間」25.3%、「９時間」19.6%となっている。
母親は「８時間」が 34.3%と最も多く、次いで「９時間」14.7%、「７時間」10.3%となっている。



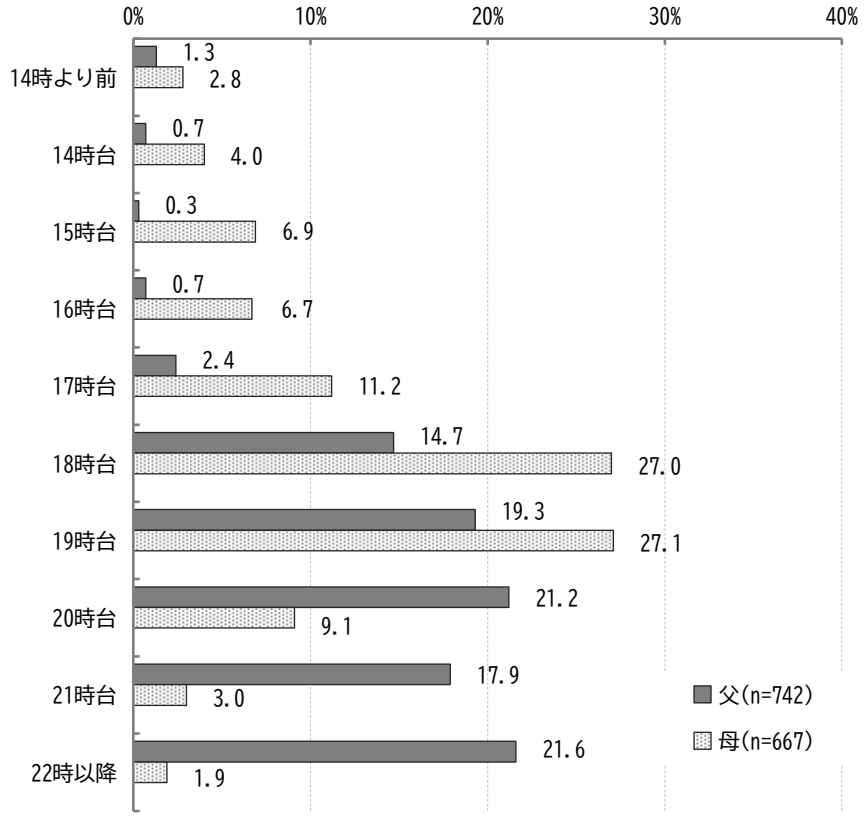
【④家を出る時間】

父母共に「８時台」が最も多く（父：39.6%、母：52.3%）、次いで「７時台」（父：26.3%、母：21.0%）、「９時台」（父：15.9%、母：21.0%）となっている。



【⑤帰宅時間】

父親は、「22 時以降」が 21.6%と最も多く、次いで「20 時台」21.2%、「19 時台」19.3%となっている。
母親は、「19 時台」が 27.1%と最も多く、次いで「18 時台」27.0%、「17 時台」11.2%となっている。



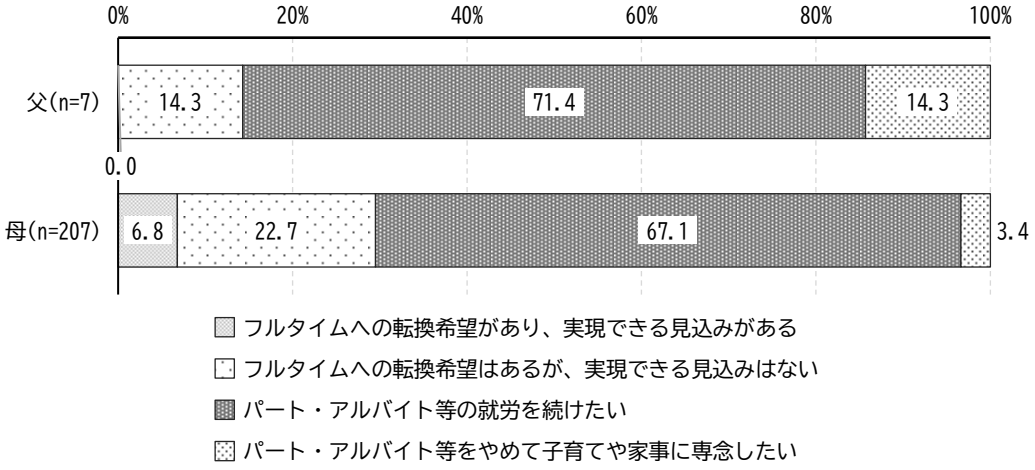
問１７－１で、「３．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方に伺います。

（２）フルタイムへの転換希望

１７－２　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ１つを選択）

父親は、母数が少ないため参考値となるが、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 71.4%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 14.3%と同じ割合になっている。

母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 67.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.7%となっている。



問１７－１で、「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」を選んだ方に伺います。

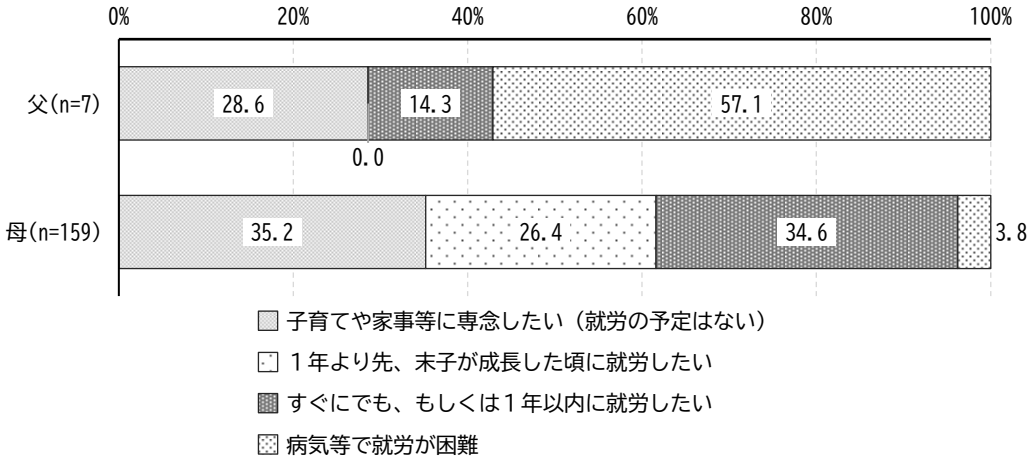
（3）就労希望

問１７－３　就労したい希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号１つを選択、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

【①就労希望】

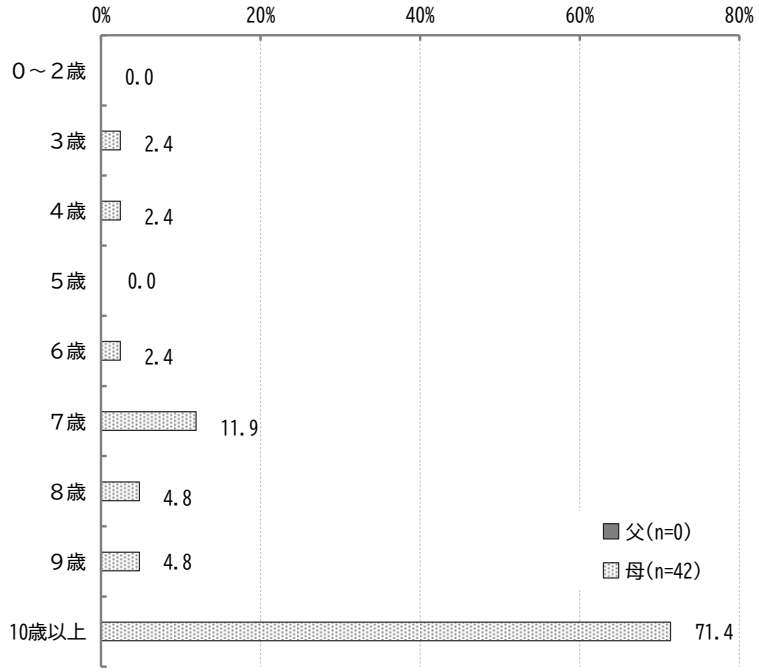
父親は、母数が少ないため参考値となるが、「病気等で就労が困難」が 57.1%と最も多く、次いで「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」28.6%となっている。

母親は、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が 35.2%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」34.6%、「１年より先、末子が成長した頃に就労したい」26.4%となっている。



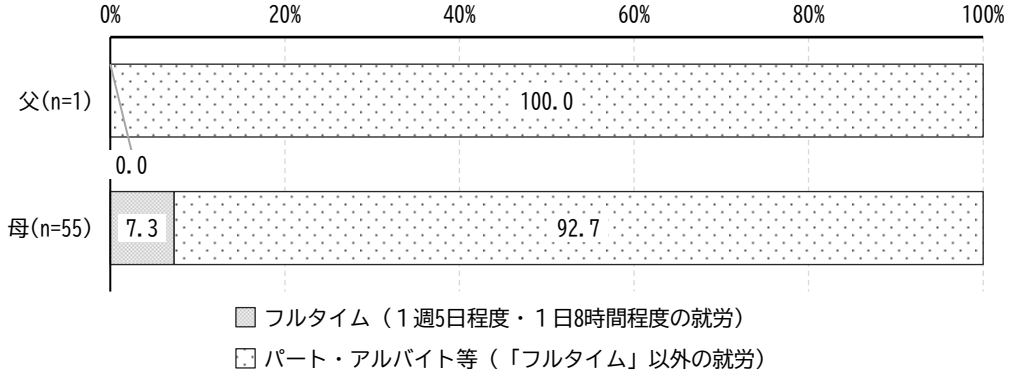
【②就労したいと思う末子の年齢】

母親は「10 歳以上」が 71.4%と最も多く、次いで「７歳」11.9%、「９歳」4.8%となっている。
なお、父親は回答がなかった。



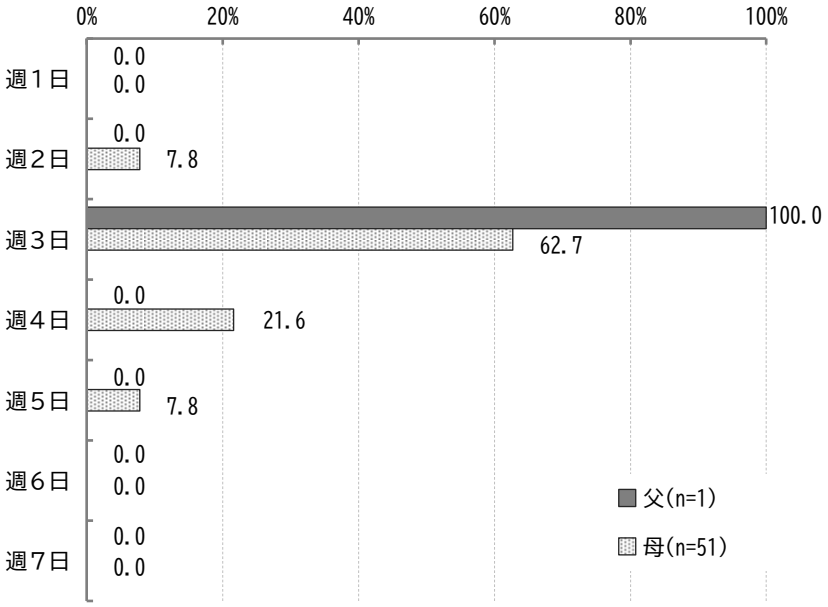
【③希望する就労形態】

父親は母数が少ないため参考値となるが、父母共に「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が９割以上を占めている。



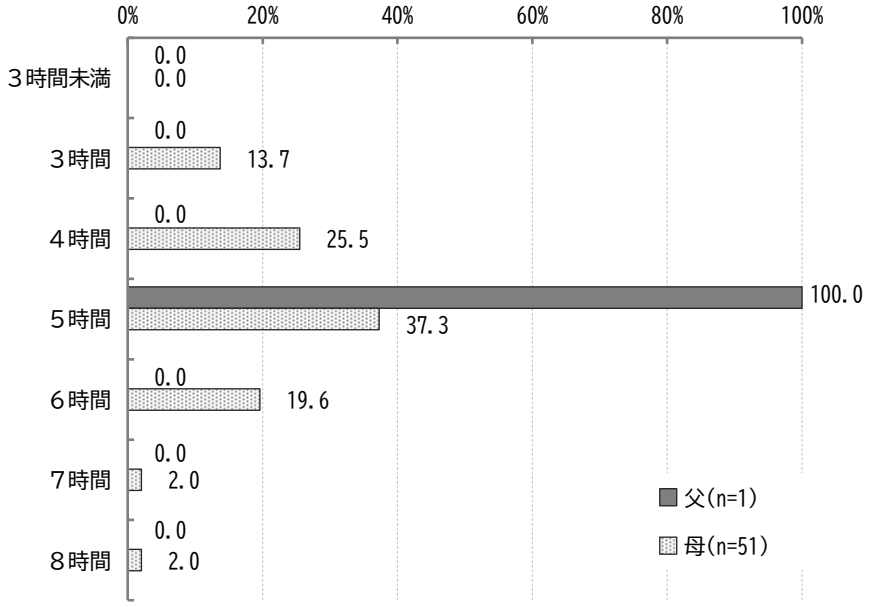
【④パート・アルバイト等で希望する就労日数】

父親は母数が少ないため参考値となるが、父母共に「週３日」が最も多く（父：100%、母：62.7%）なっている。次いで母親は「週４日」21.6%、「週２日」「週４日」7.8%の順になっている。



【⑤パート・アルバイト等で希望する就労時間】

父親は母数が少ないため参考値となるが、父母共に「５時間」が最も多く（父：100%、母：37.3%）なっている。母親は「４時間」25.5%、「６時間」19.6%の順になっている。



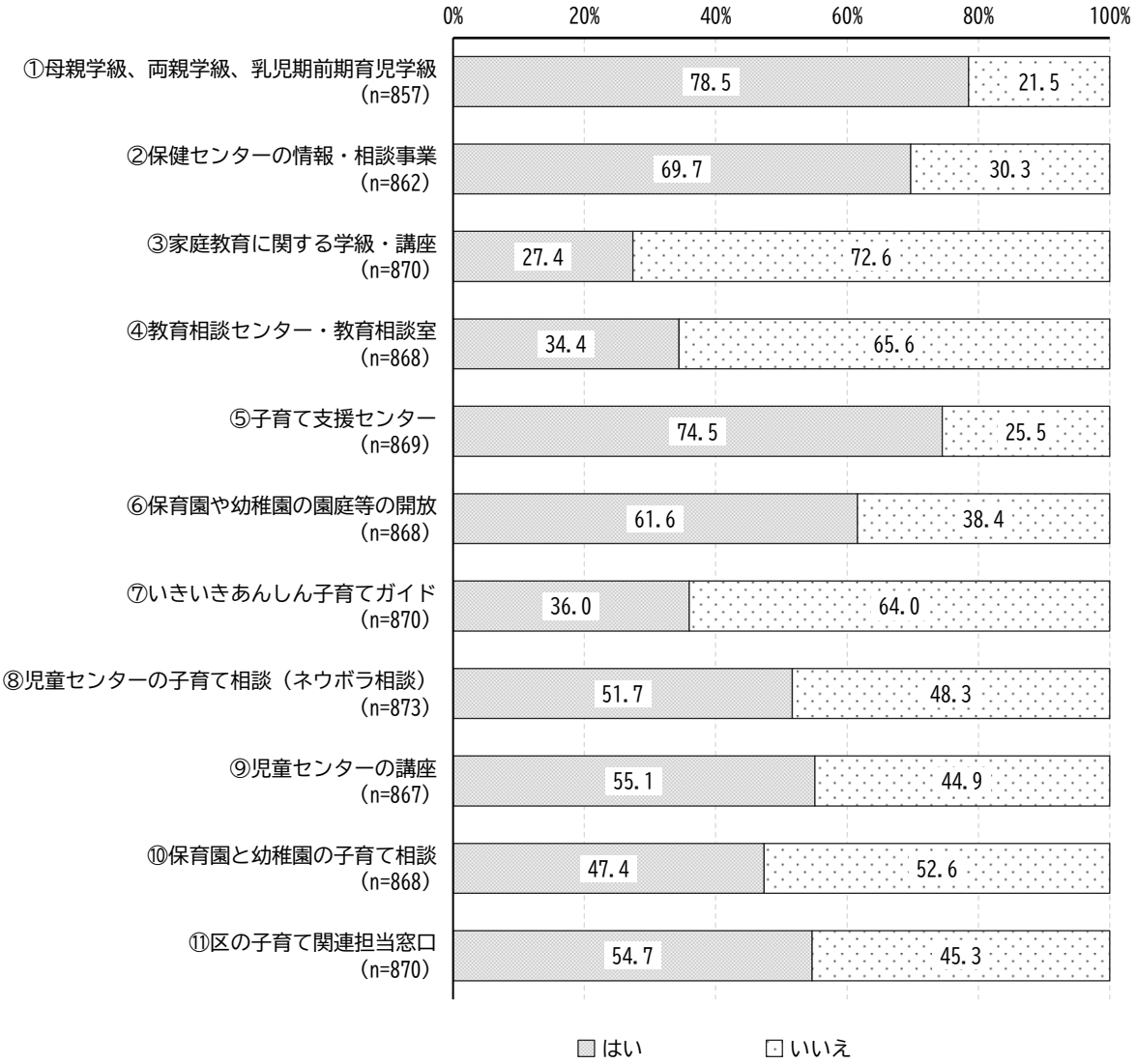
（４）地域子育て支援事業の認知度、利用意向

問１８　下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①から⑪の事業ごとに、Ａから Ｃ のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。

【①事業の認知度】

「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」「⑤子育て支援センター」は知っている人の割合が７割以上と高くなっている。

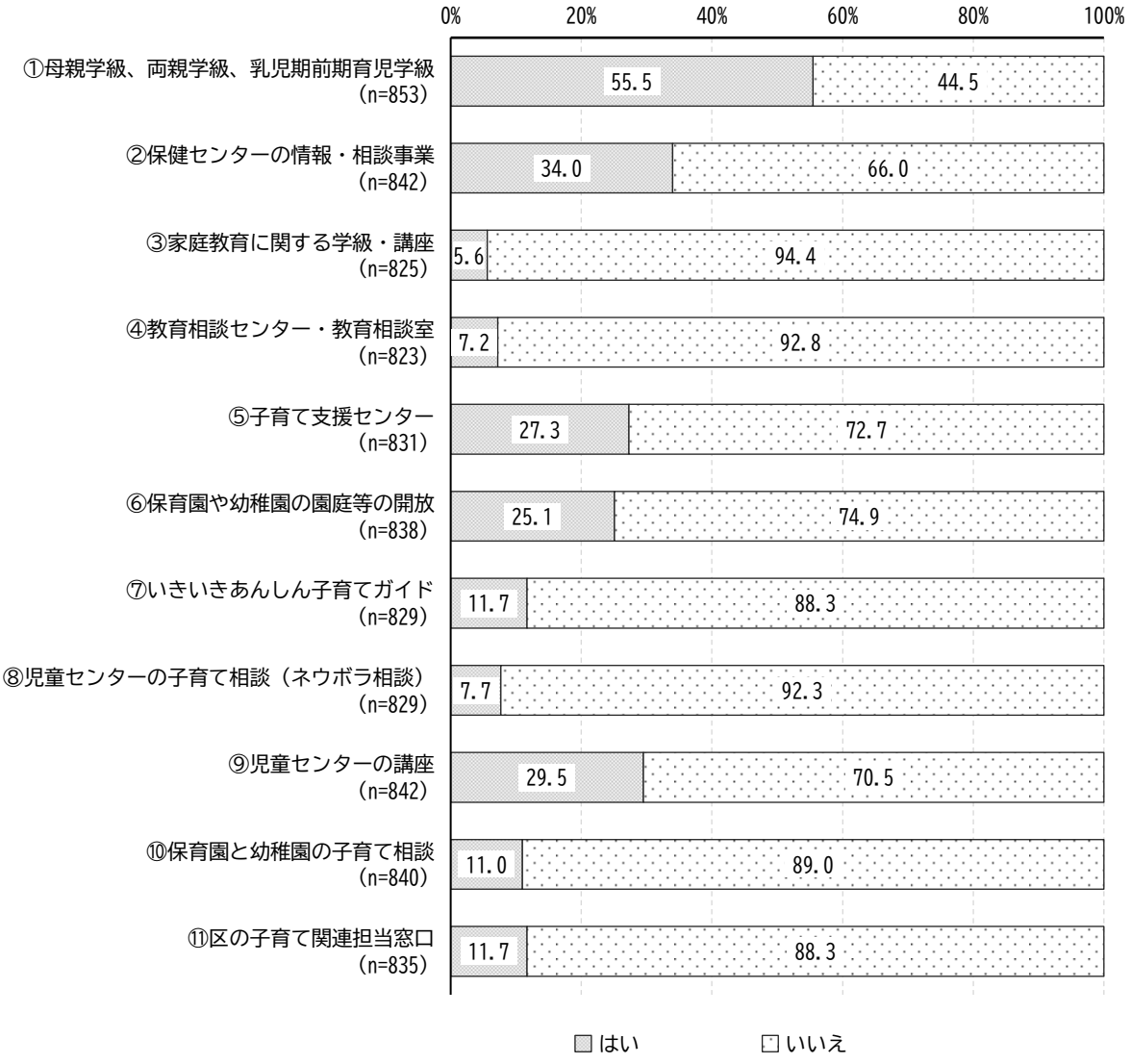
「③家庭教育に関する学級・講座」「教育相談センター・教育相談室」「⑦いきいきあんしん子育てガイド」は知らない人の割合が６割以上と認知度が低くなっている。



【②これまでの利用状況】

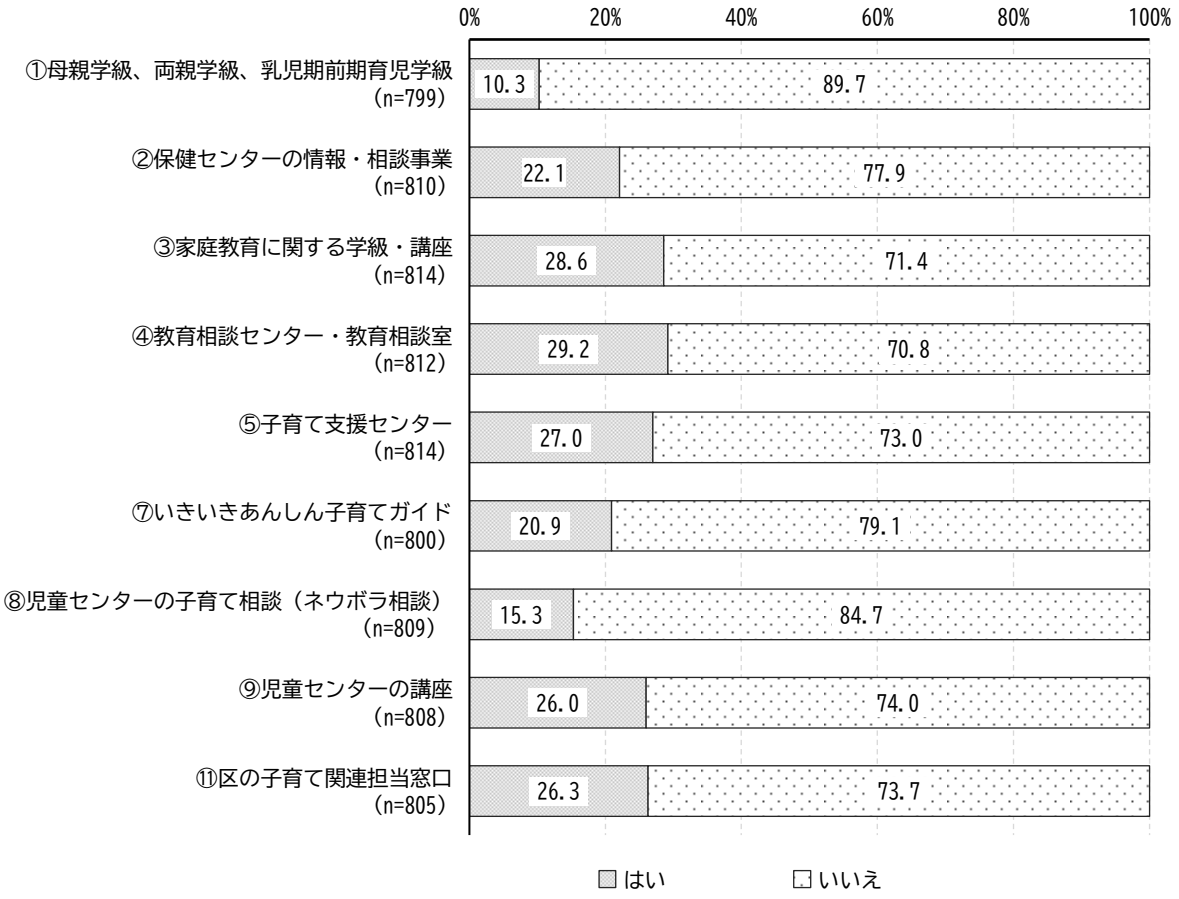
「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」は利用したことがある人の割合が他の事業に比べて高くなっている。

「③家庭教育に関する学級・講座」「④教育相談センター・教育相談室」「⑧児童センターの子育て相談（ネウボラ相談）」は利用したことがない人が９割以上となっている。



【③事業の利用意向】

全体的に利用意向は３割以下と低くなっている。中でも「①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級」は利用したい人の割合が 10.3%と最も低くなっている。



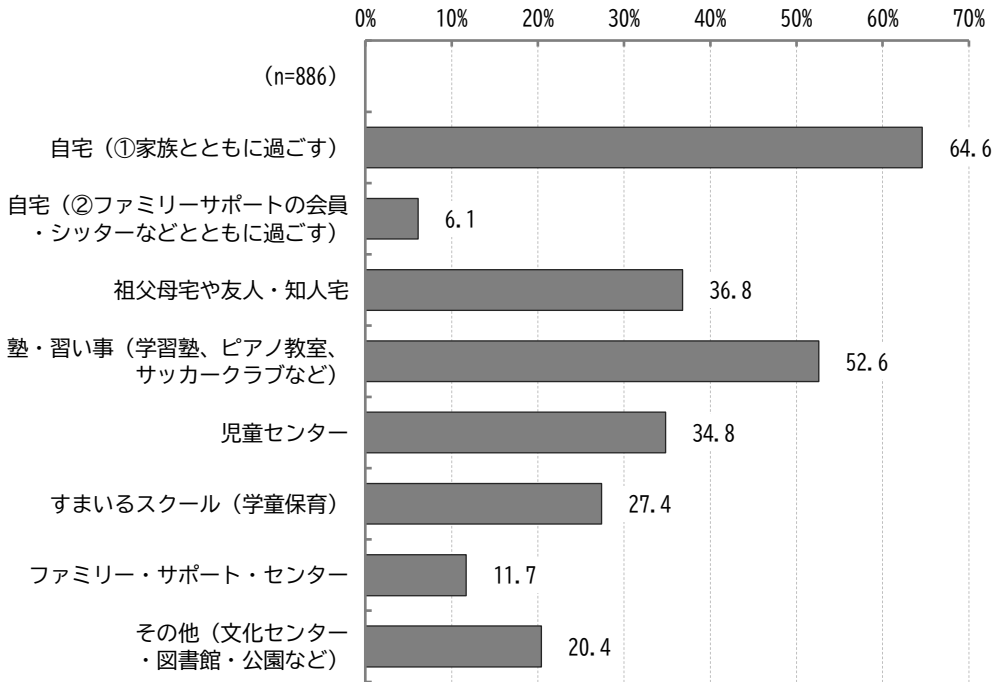
５．小学校就学後の放課後の過ごし方

（1）放課後過ごさせたい場所

問１９　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

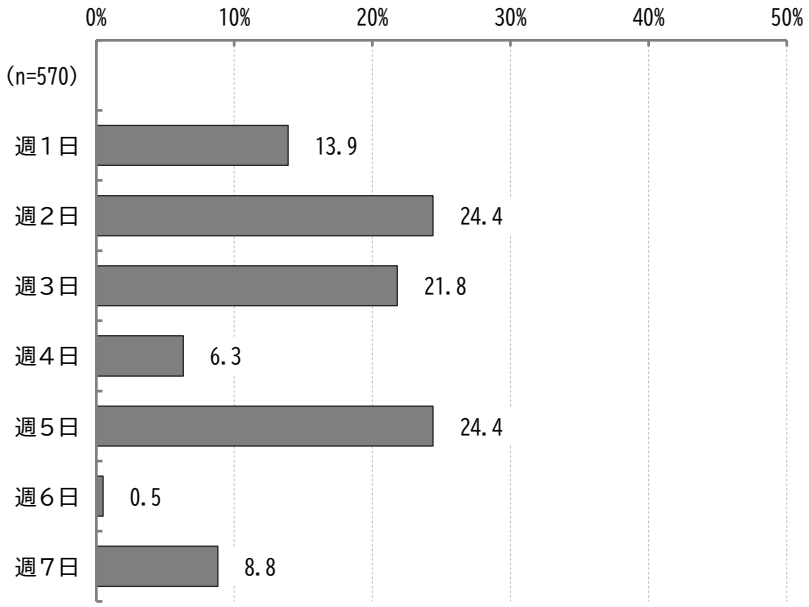
【①放課後過ごさせたい場所】

「自宅（①家族とともに過ごす）」が 64.6%と最も多く、次いで「塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）」が 52.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 36.8%となっている。



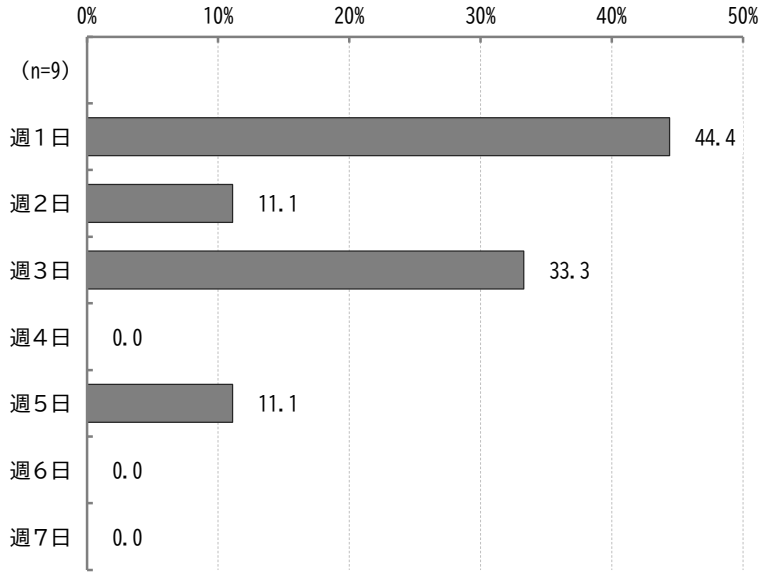
【②自宅で家族とともに過ごす／１週あたりの希望日数】

「週５日」「週２日」が 24.4%と最も多く、次いで「週３日」が 21.8%となっている。



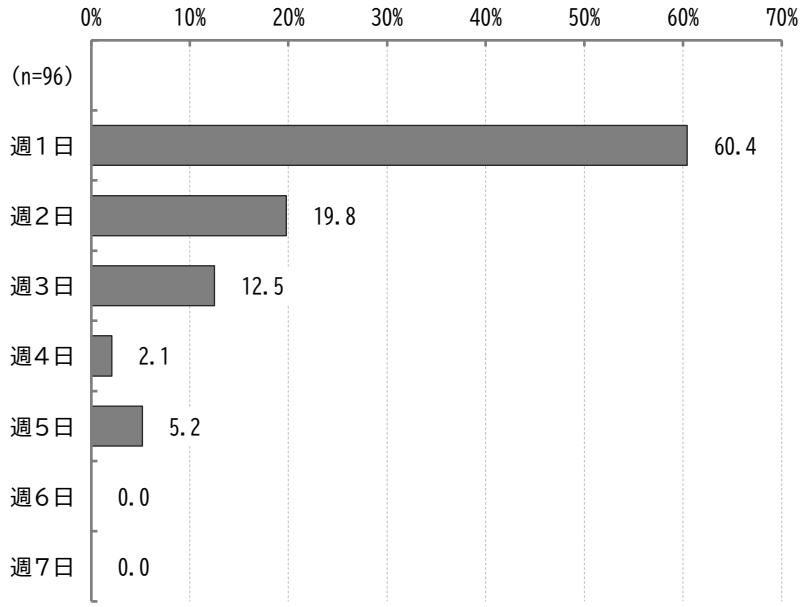
【③自宅でファミリーサポート会員などとともに過ごす／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 44.4%と最も多く、次いで「週３日」が 33.3%となっている。



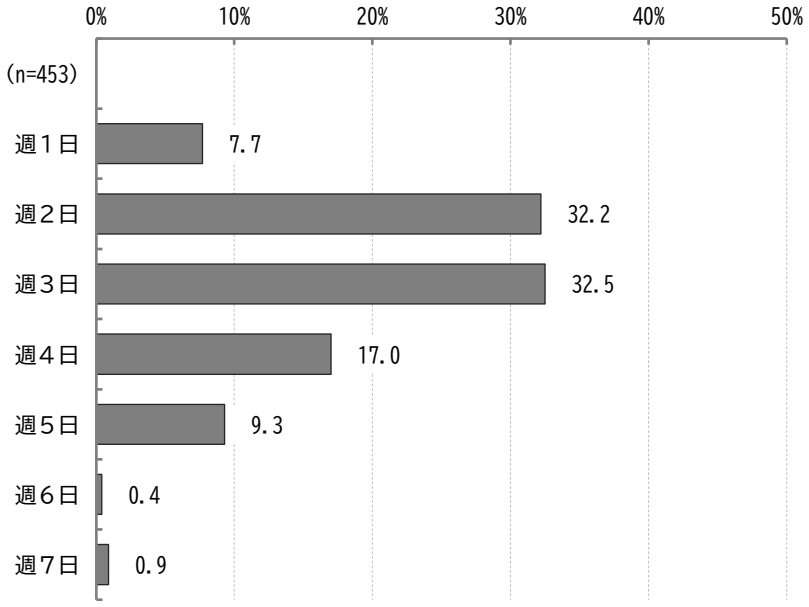
【④祖父母宅や友人・知人宅／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 60.4%と最も多く、次いで「週２日」19.8%、「週３日」12.5%となっている。



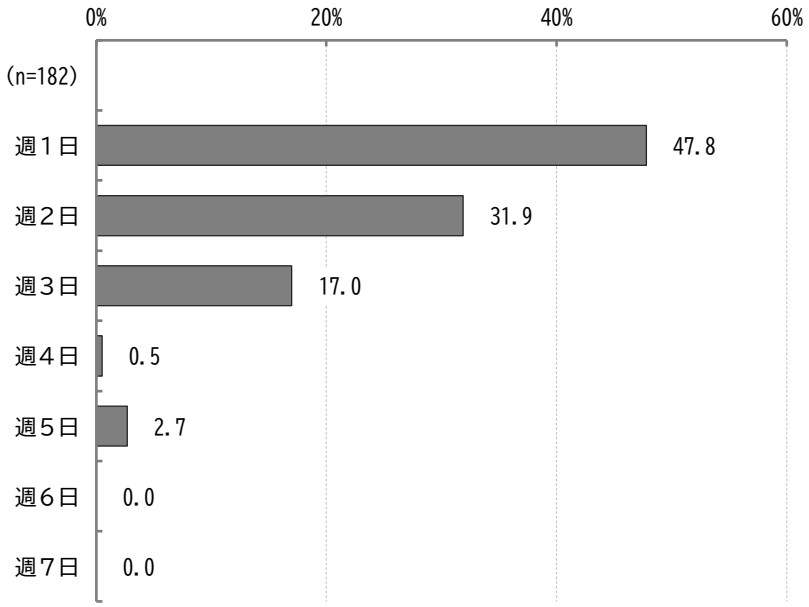
【⑤塾・習い事／１週あたりの希望日数】

「週３日」が 32.5%と最も多く、次いで「週２日」が 32.2%となっている。



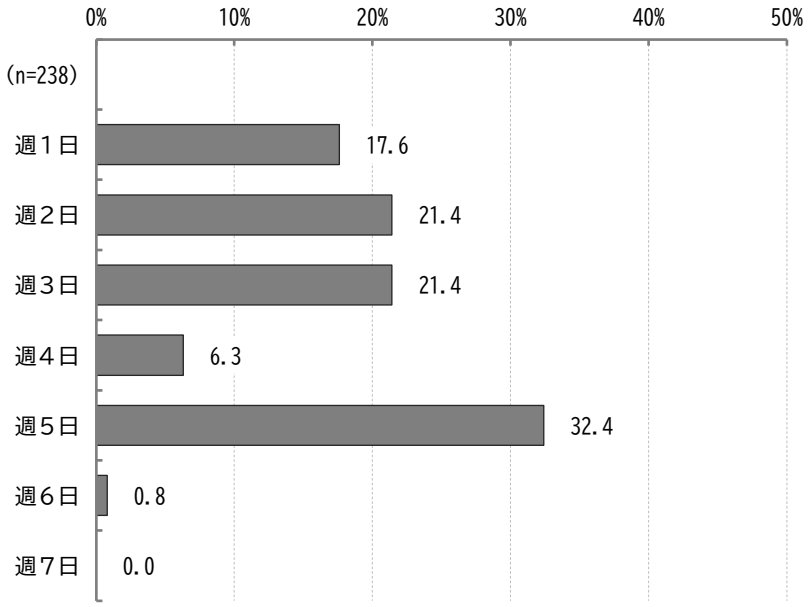
【⑥児童センター／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 47.8%と最も多く、次いで「週２日」31.9%、「週３日」17.0%となっている。



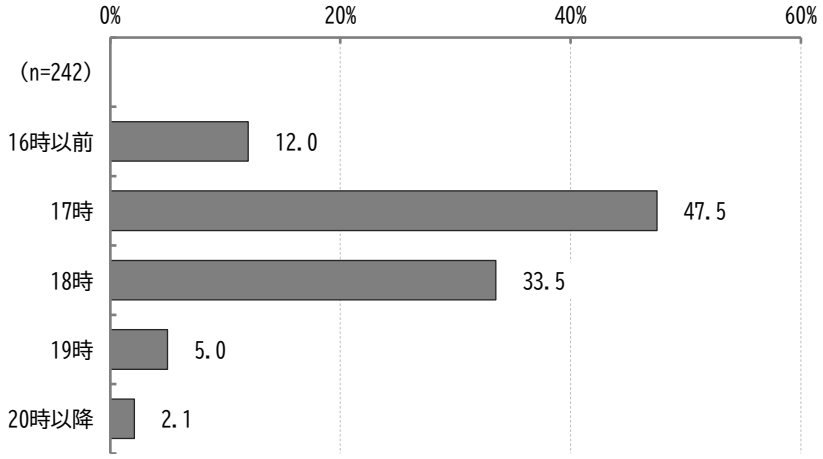
【⑦すまいるスクール（学童保育）／１週あたりの希望日数と希望終了時間】

「週５日」が 32.4%と最も多く、次いで「週２日」「週３日」21.4%、「週１日」17.6%の順になっている。



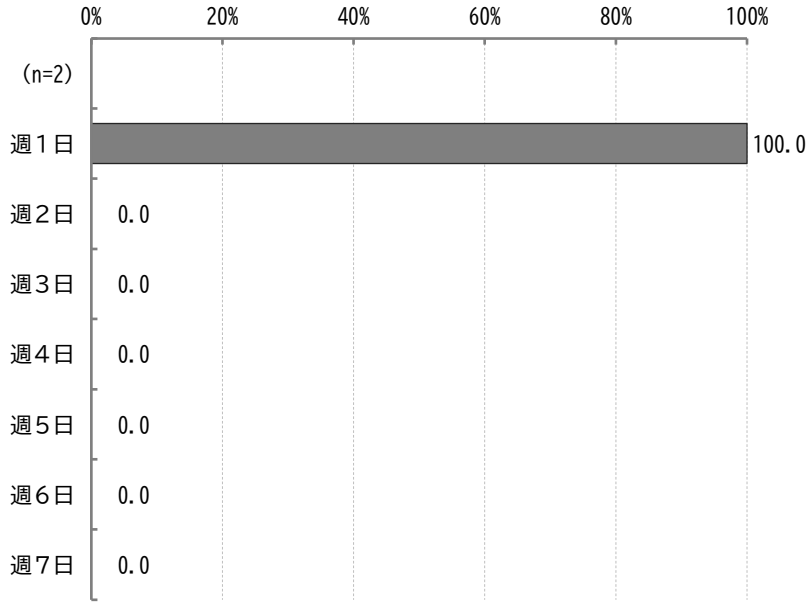
【希望終了時間】

「17 時」が 47.5%と最も多く、次いで「18 時」33.5%、「16 時以前」12.0%の順になっている。



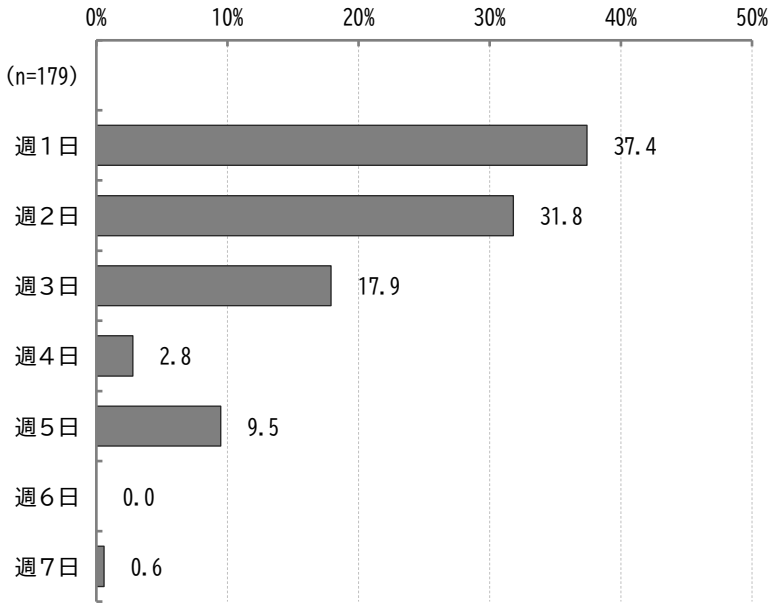
【⑧ファミリー・サポート・センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 100.0%と最も多くなっている。



【⑨その他（文化センター・図書館・公園など）／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 37.4%と最も多く、次いで「週２日」31.8%、「週３日」17.9%の順になっている。



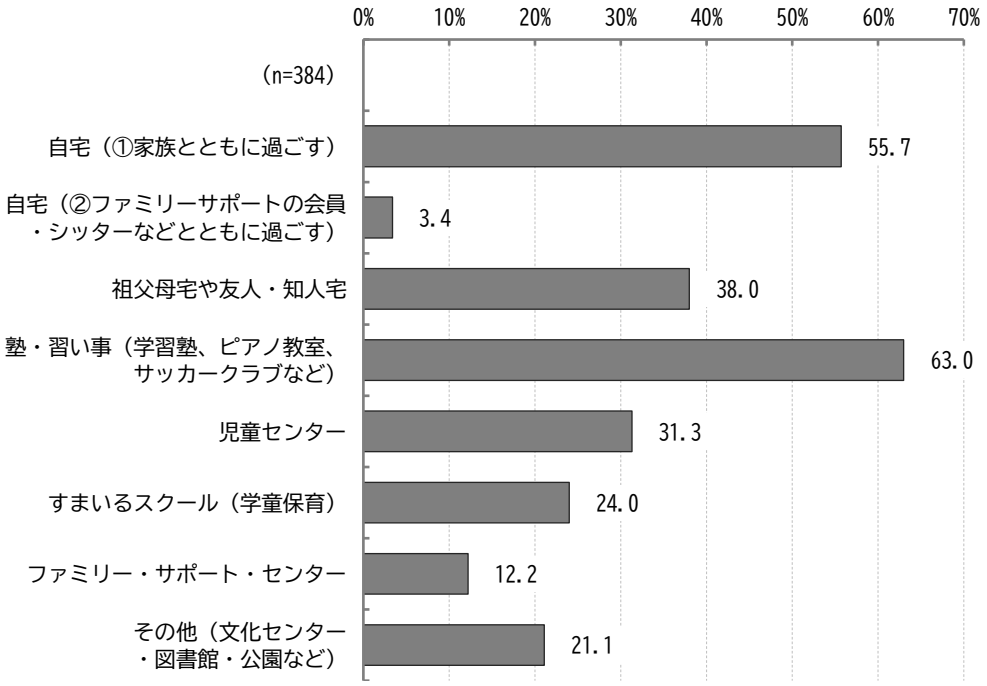
お子さんが小学校低学年（１、２、３年生）の方に伺います。

（2）高学年になったら放課後過ごさせたい場所

問２０　お子さんについて、小学校高学年（４、５、６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在お持ちのイメージでお答えください。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

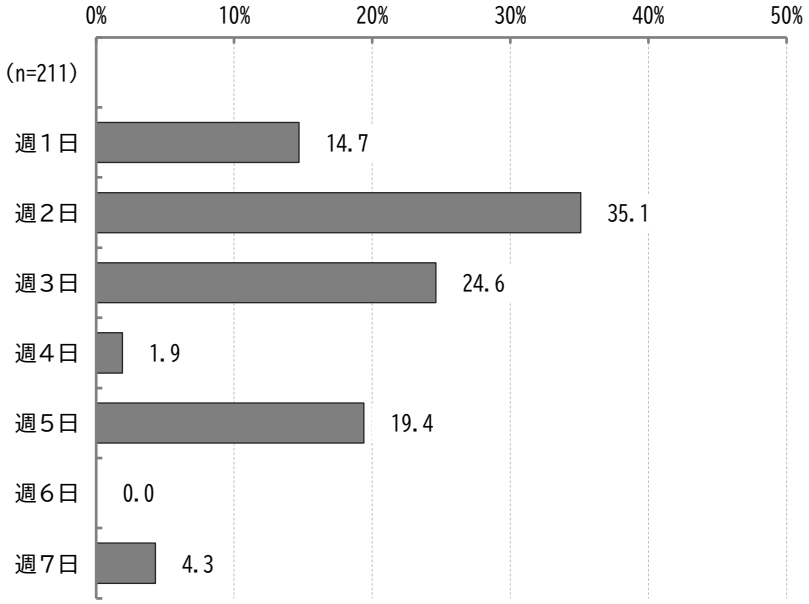
【①放課後過ごさせたい場所】

「塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）」が 63.0%と最も多く、次いで「自宅（①家族とともに過ごす）」が 55.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 38.0%となっている。



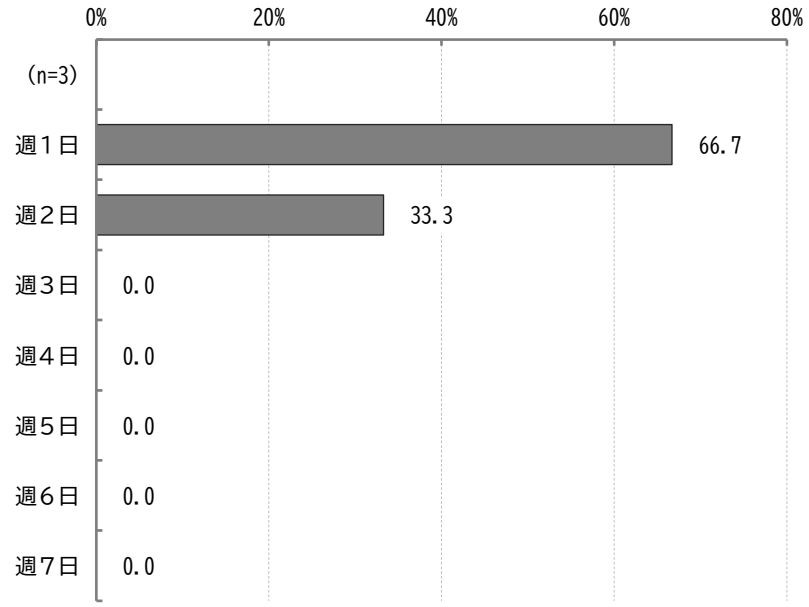
【②自宅で家族とともに過ごす／１週あたりの希望日数】

「週２日」が 35.1%と最も多く、次いで「週３日」が 24.6%、「週５日」が 19.4%となっている。



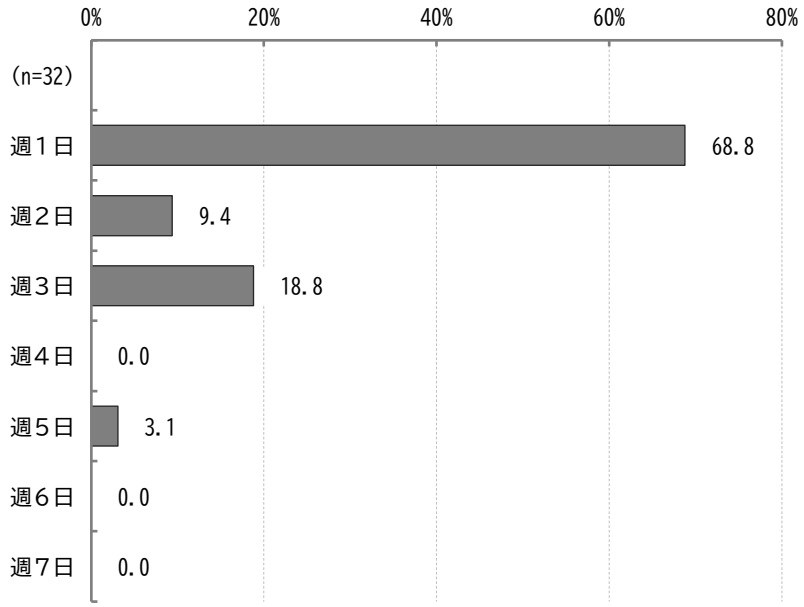
【③自宅でファミリーサポート会員などとともにに過ごす／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週１日」が 66.7%と最も多く、次いで「週２日」が 33.3%となっている。



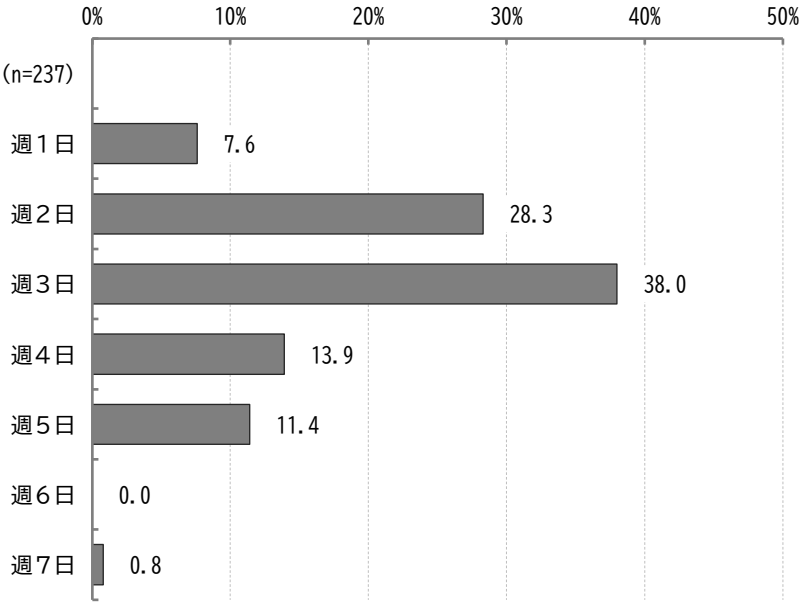
【④祖父母宅や友人・知人宅／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 68.8%と最も多く、次いで「週３日」が 18.8%、「週２日」が 9.4%となっている。



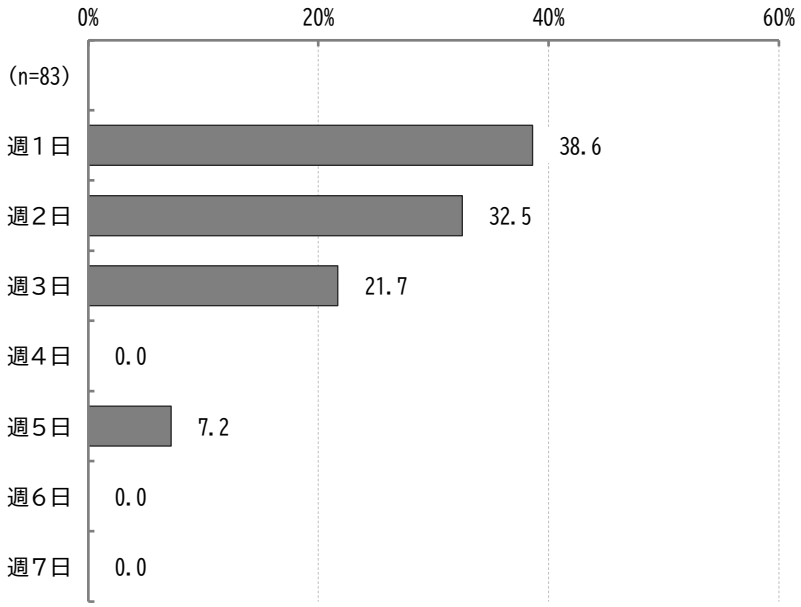
【⑤塾・習い事／１週あたりの希望日数】

「週３日」が 38.0%と最も多く、次いで「週２日」が 28.3%、「週４日」が 13.9%となっている。



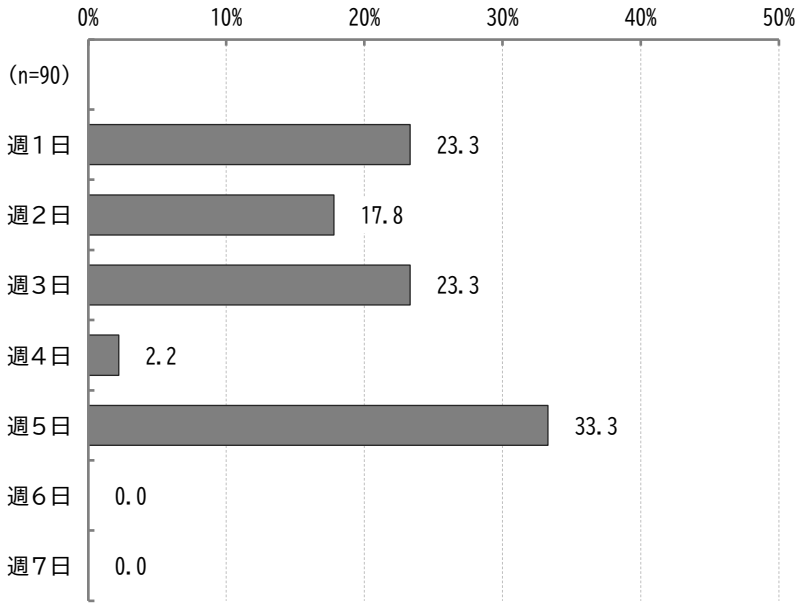
【⑥児童センター／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 38.6%と最も多く、次いで「週２日」が 32.5%、「週３日」が 21.7%となっている。



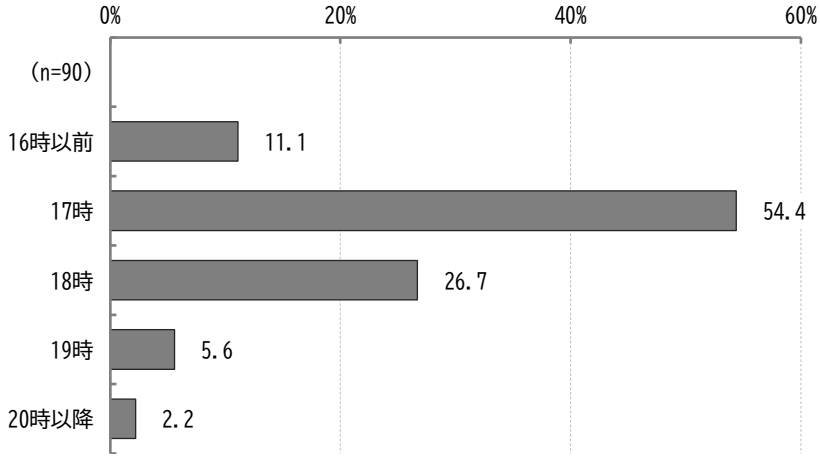
【⑦すまいるスクール（学童保育）／１週あたりの希望日数と希望終了時間】

「週５日」が 33.3%と最も多く、次いで「週１日」「週３日」が 23.3%、「週２日」が 17.8%となっている。



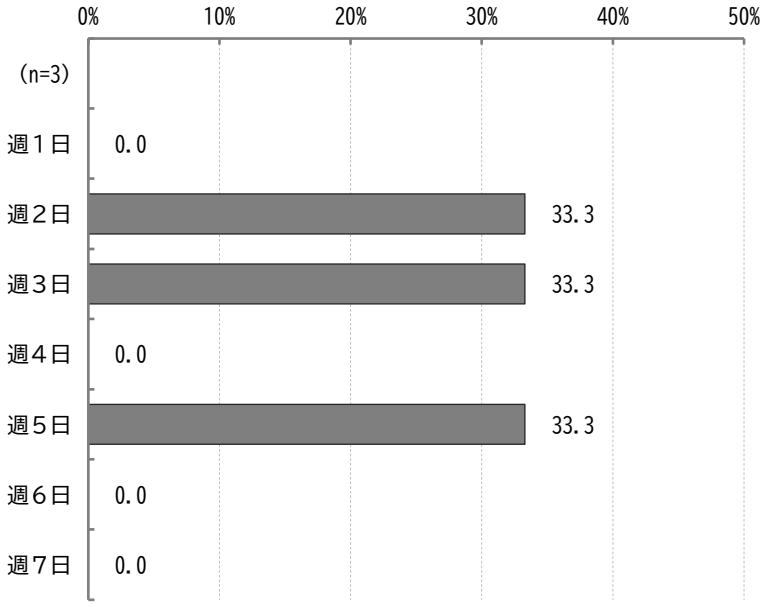
【希望終了時間】

「17 時」が 54.4%と最も多く、次いで「18 時」が 26.7%、「16 時以前」が 11.1%となっている。



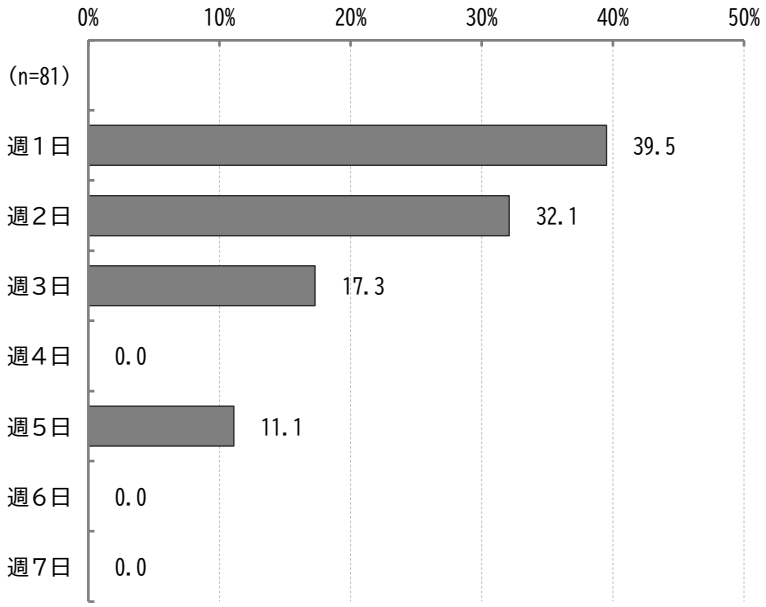
【⑧ファミリー・サポート・センター／１週あたりの希望日数】

母数が少ないため参考値となるが、「週２日」「週３日」「週５日」が 33.3%と同じ割合となっている。



【⑨その他（文化センター・図書館・公園など）／１週あたりの希望日数】

「週１日」が 39.5%と最も多く、次いで「週２日」が 32.1%、「週３日」が 17.3%となっている。



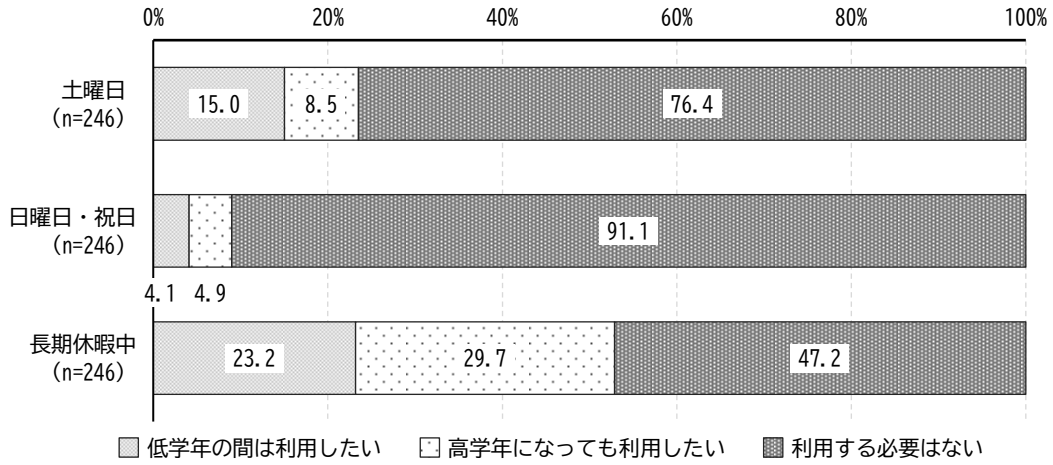
問１９または問２０で、「５．すまいるスクール（学童保育）」を選んだ方に伺います。

（3）土曜・日曜・休日の学童保育の利用希望

問２１　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、すまいるスクール（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。
（低学年…１、２、３年生、高学年…４、５、６年生）

【①利用希望】

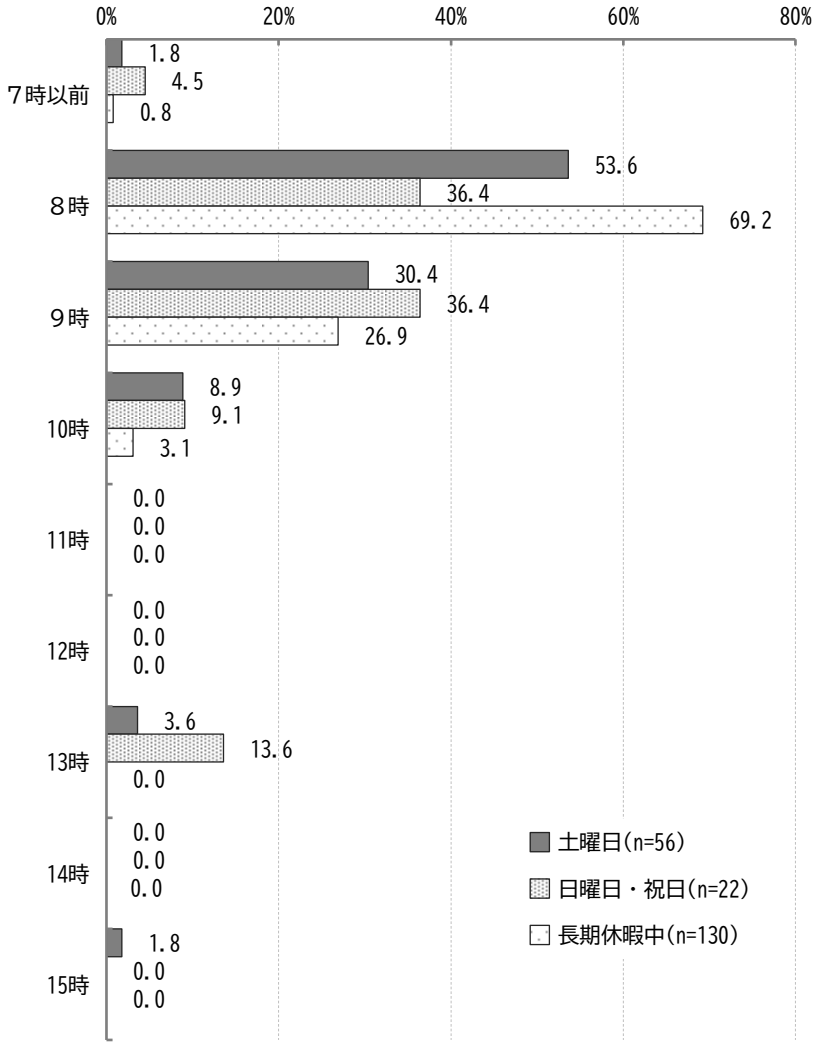
「利用する必要はない」が最も多く（土曜日：76.4%、日曜日・祝日：91.1%、長期休暇中：47.2%）なっている。長期休暇中においては、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」が２割以上となっている。



【②希望利用開始時刻】

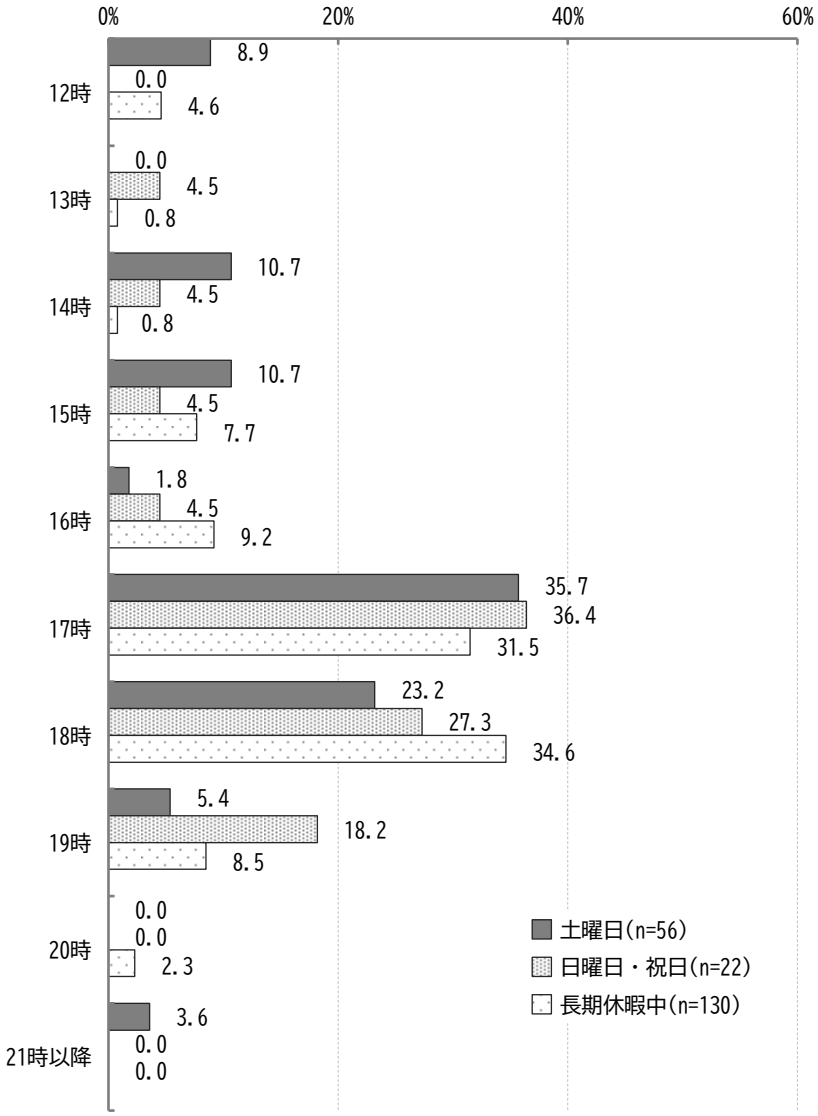
日曜日・祝日は母数が少ないため参考値となるが、「８時」「９時」が 36.4%と最も多くなっている。

土曜日、長期休暇中は「８時」が最も多く（土曜日：53.6%、長期休暇中：69.2%）、次いで「９時」（土曜日：30.4%、長期休暇中：26.9%）となっている。



【③希望利用終了時刻】

日曜日・祝日は母数が少ないため参考値となるが、３つの期間において、「17 時」が最も多く（土曜日：35.7%、日曜日・祝日：36.4%、長期休暇中：31.5%）、次いで「18 時」（土曜日：23.2%、日曜日・祝日：27.3%、長期休暇中：34.6%）となっている。

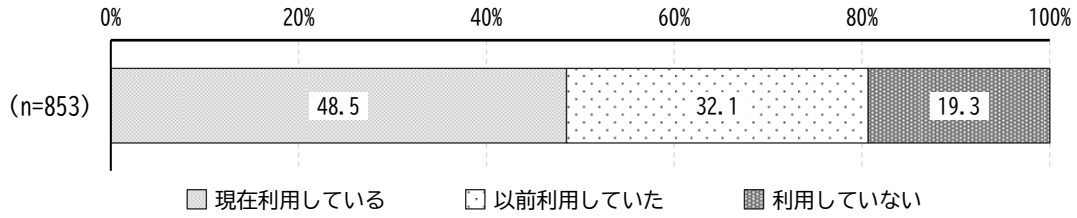


６.「すまいるスクール（学童保育）」について

（１）利用状況

問２２　お子さんは「すまいるスクール（学童保育）」を利用していますか。（１つを選択）

「現在利用している」が 48.5%と最も多く、「以前利用していた」が 32.1%、「利用していない」が 19.3%となっている。



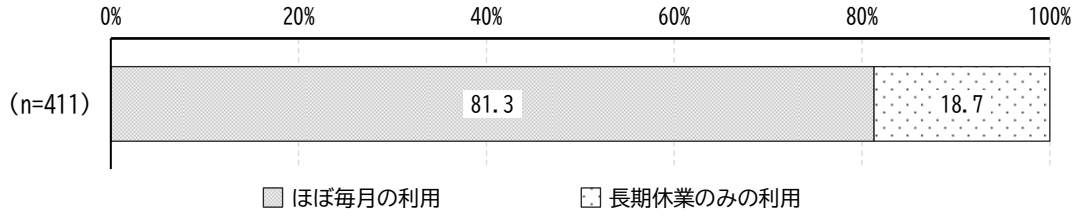
問２２で「１.現在利用している」を選んだ方に伺います。

（２）利用日数、利用している理由

問２２－１　お子さんの放課後児童クラブの利用日数について、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。
また、利用している理由について、あてはまる番号１つを選択してください。

【①利用時期】

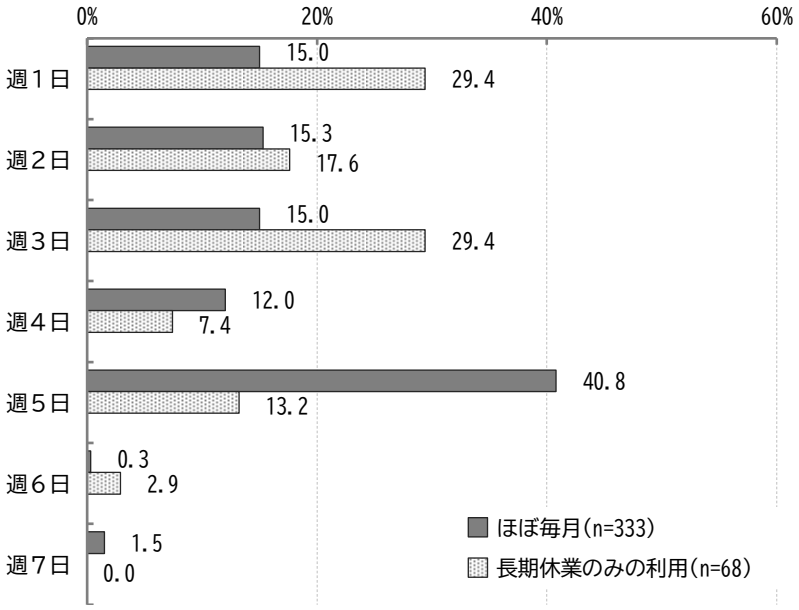
「ほぼ毎月の利用」が 81.3%と最も多く、次いで「長期休業のみの利用」が 18.7%となっている。



【②利用日数】

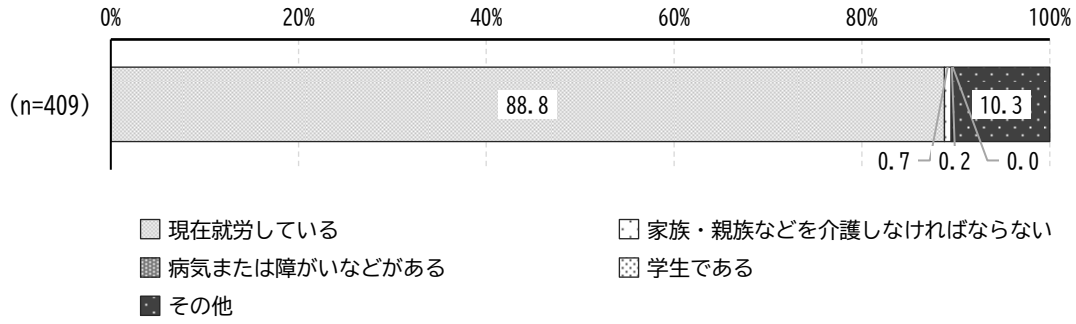
ほぼ毎月利用している人は、「週５日」が 40.8%と最も多く、次いで「週２日」が 15.3%、「週１日」「週３日」が 15.0%となっている。

長期休暇のみ利用している人は、「週１日」「週３日」が 29.4%と最も多く、次いで「週２日」が 17.6%、「週５日」が 13.2%となっている。



【③利用している理由】

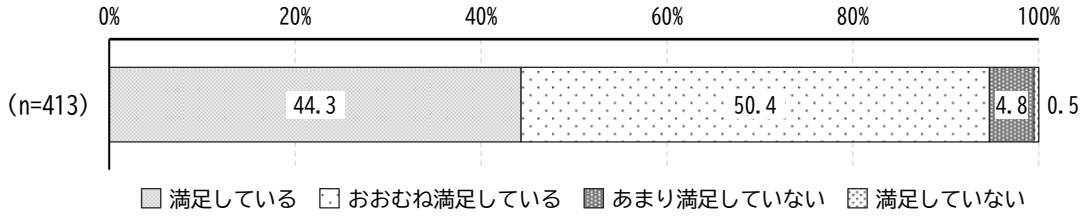
「現在就労している」が 88.8%と最も多くなっている。



（3）職員の満足度

問２２－２　「すまいるスクール（学童保育）」の職員に満足していますか。（１つを選択）

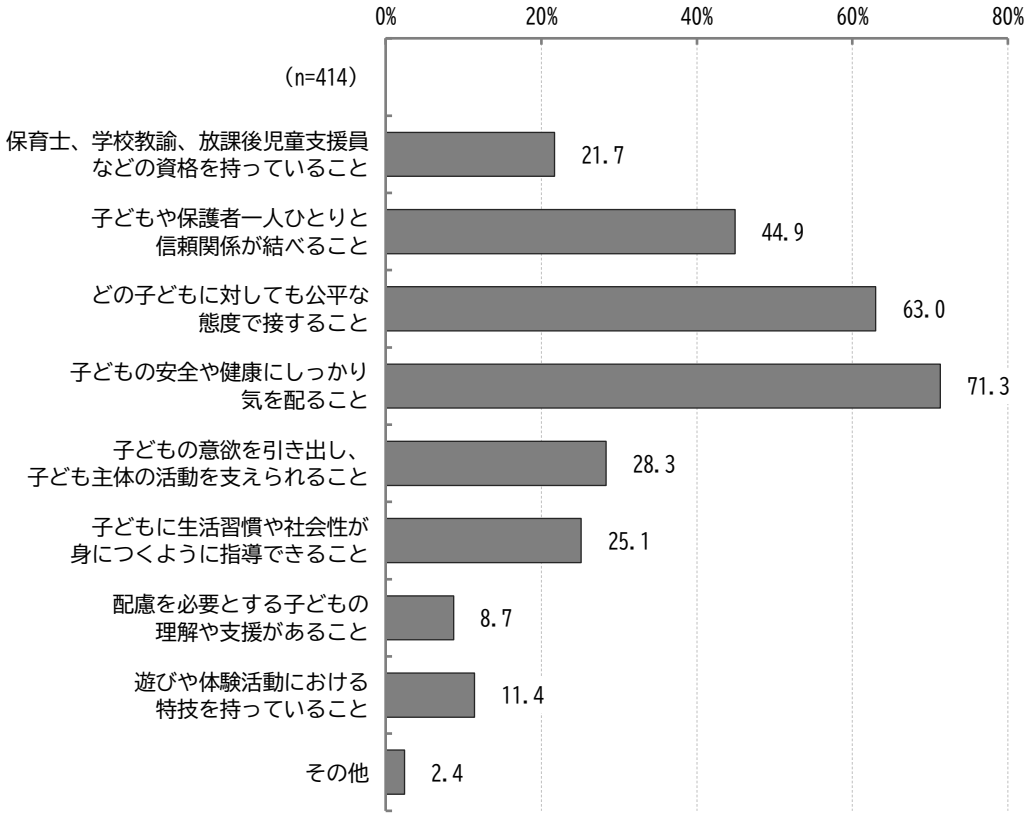
「おおむね満足している」が 50.4%と最も多く、次いで「満足している」が 44.3%となっている。



（4）職員に求めること

問２２－３　「すまいるスクール（学童保育）」の職員に求めることは何ですか。
（あてはまるもの３つを選択）

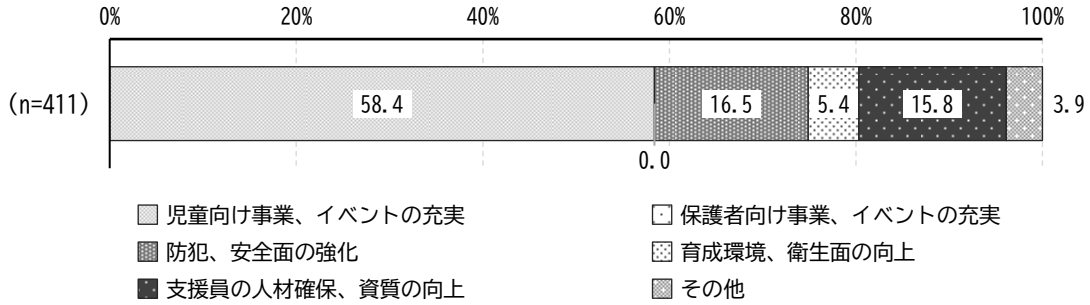
「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が 71.3%と最も多く、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が 63.0%、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が 44.9%となっている。



（4）取り組んでほしいこと

問２２－４　「すまいるスクール（学童保育）」で特に取り組んでほしいことは何ですか。
（１つを選択）

「児童向け事業、イベントの充実」が 58.4%と最も多く、次いで「防犯、安全面の強化」が 16.5%、「支援員の人材確保、資質の向上」が 15.8%となっている。

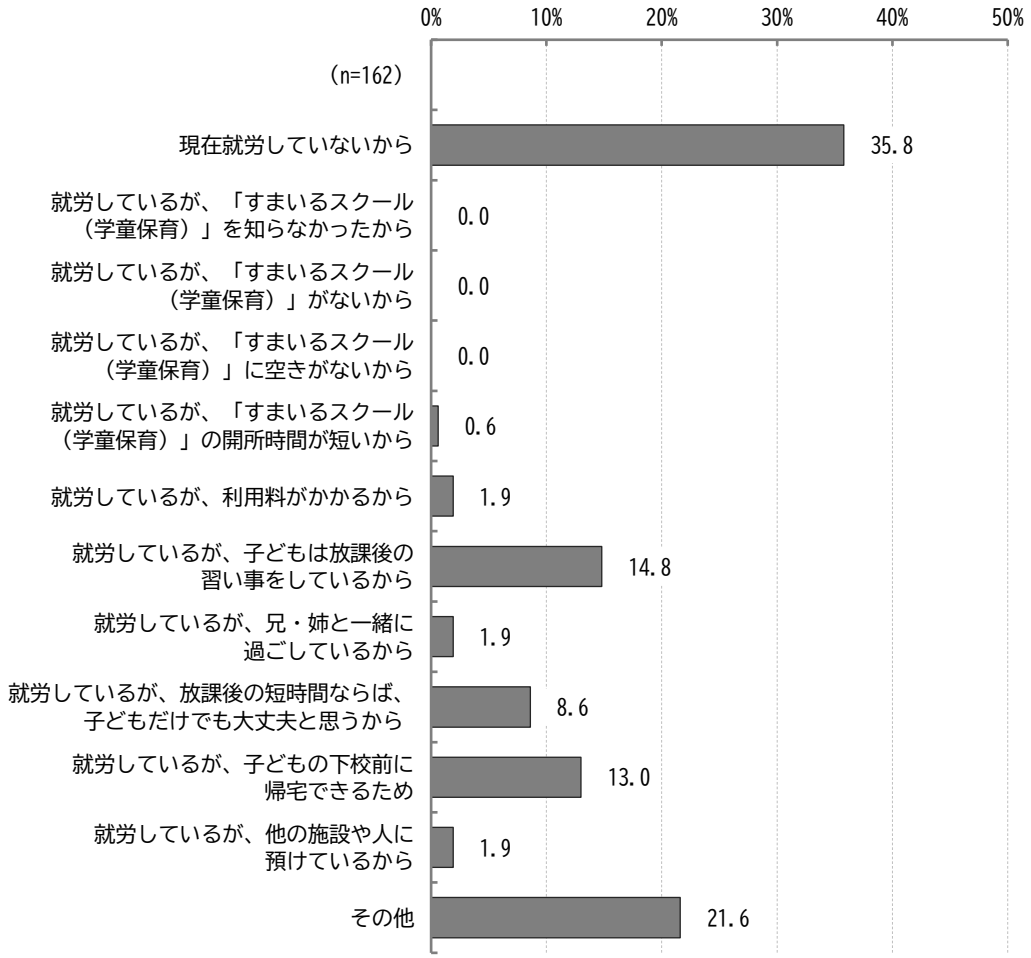


問２２で「３.利用していない」を選んだ方に伺います。

（５）利用していない理由

問２３　利用されていない理由はなんですか。（１つを選択）

「現在就労していないから」が 35.8%と最も多く、次いで「その他」が 21.6%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が 14.8%となっている。

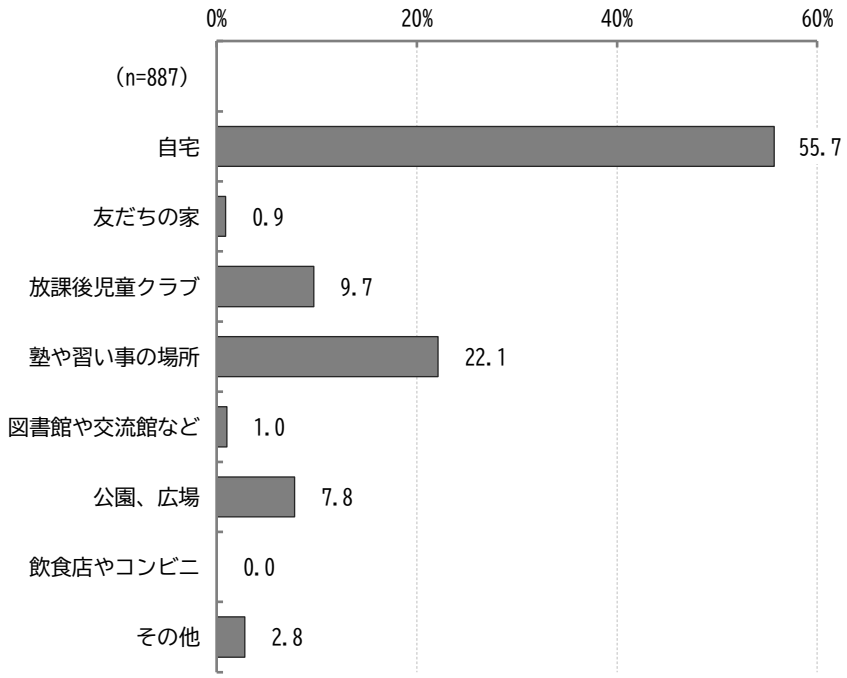


７．子どもの居場所について

（1）放課後や休日に過ごしている場所

問２４　放課後や休日、お子さんは、どこで過ごしていますか。
（一番多く過ごしている場所１つを選択）

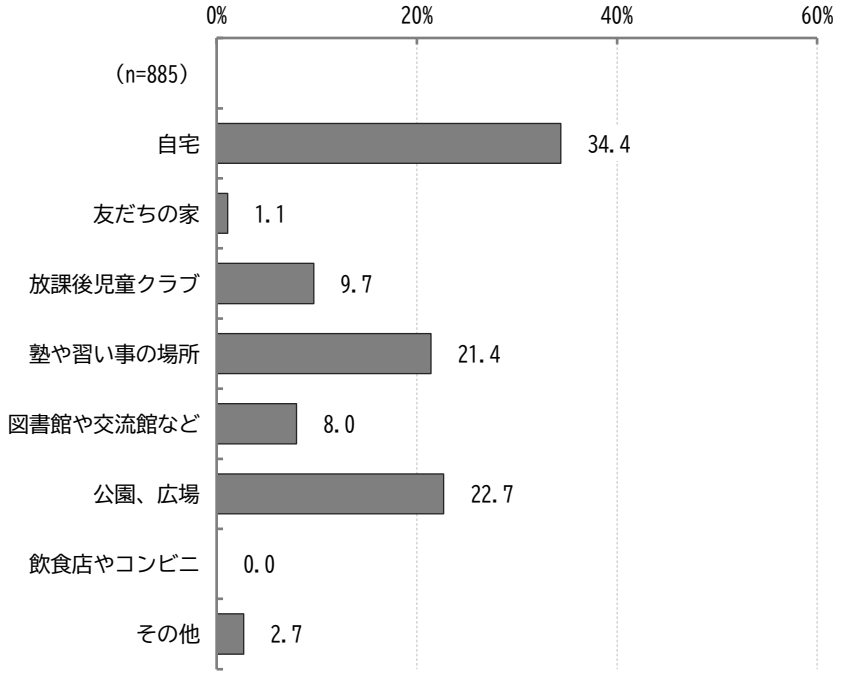
「自宅」が 55.7%と最も多く、次いで「塾や習い事の場所」が 22.1%、「放課後児童クラブ」が 9.7%となっている。



（2）放課後や休日に過ごしてほしい場所

問２５　放課後や休日、お子さんには、どこで過ごしてもらいたいですか。（１つを選択）

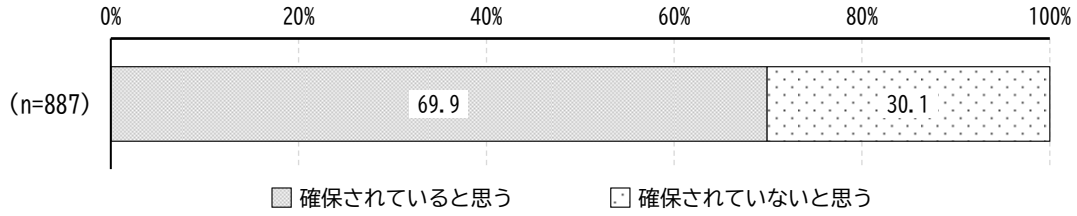
「自宅」が 34.4%と最も多く、次いで「公園、広場」が 22.7%、「塾や習い事の場所」が 21.4%となっている。



（3）放課後や休日に過ごす場所の確保状況

問２６　品川区では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。（１つを選択）※家と学校は除きます。

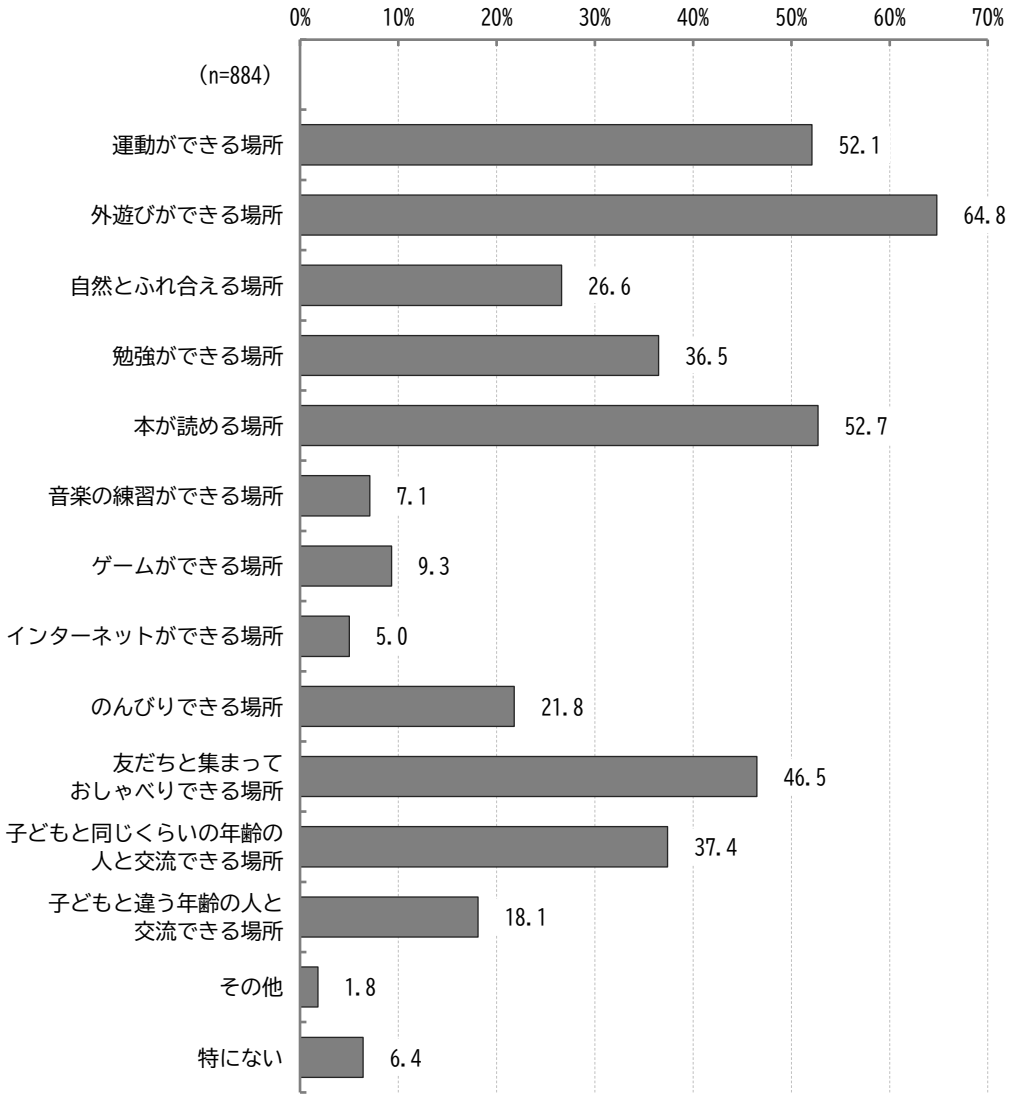
「確保されていると思う」が 69.9%と多くなっている。



（4）放課後や休日に過ごす場所として確保されている場所

問２７　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。（あてはまるものすべてを選択）

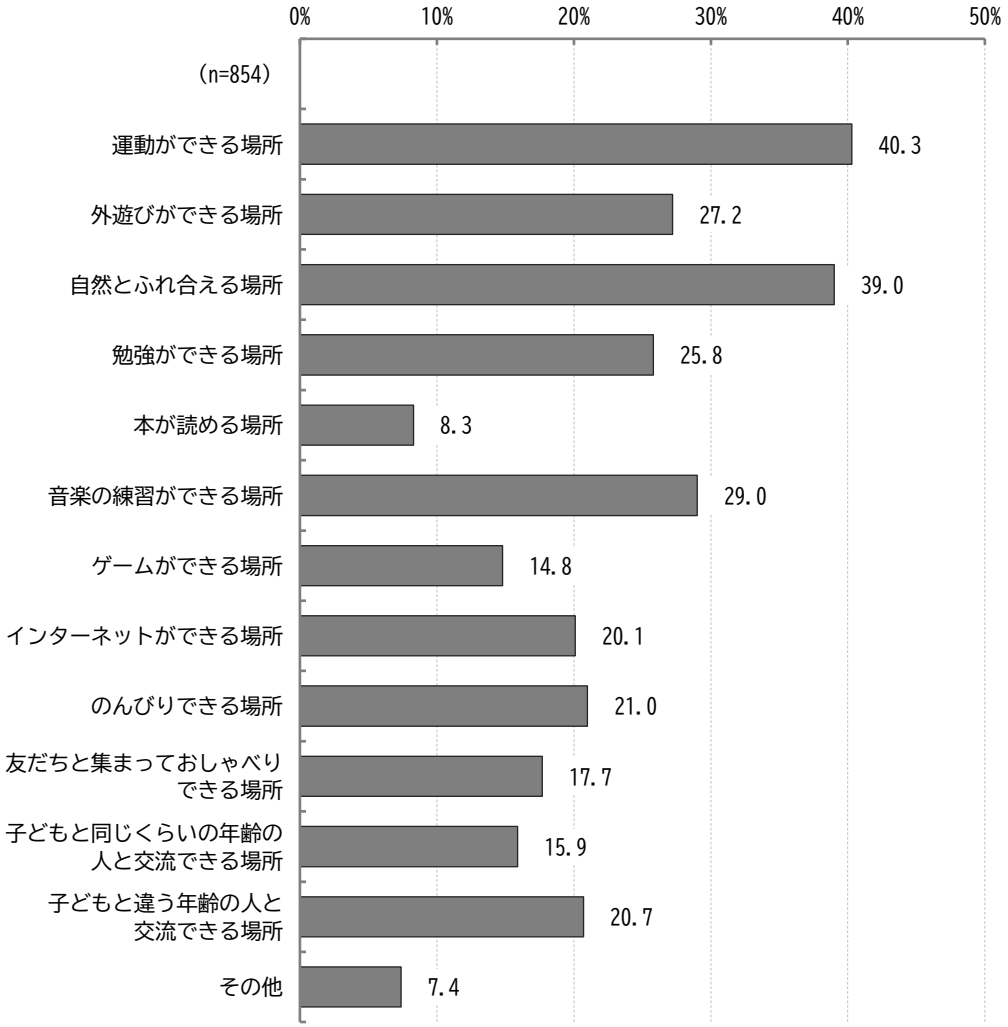
「外遊びができる場所」が 64.8%と最も多く、次いで「本が読める場所」が 52.7%、「運動ができる場所」が 52.1%となっている。



（5）放課後や休日に過ごす場所として確保されていない場所

問２８　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。（あてはまるものすべてを選択）

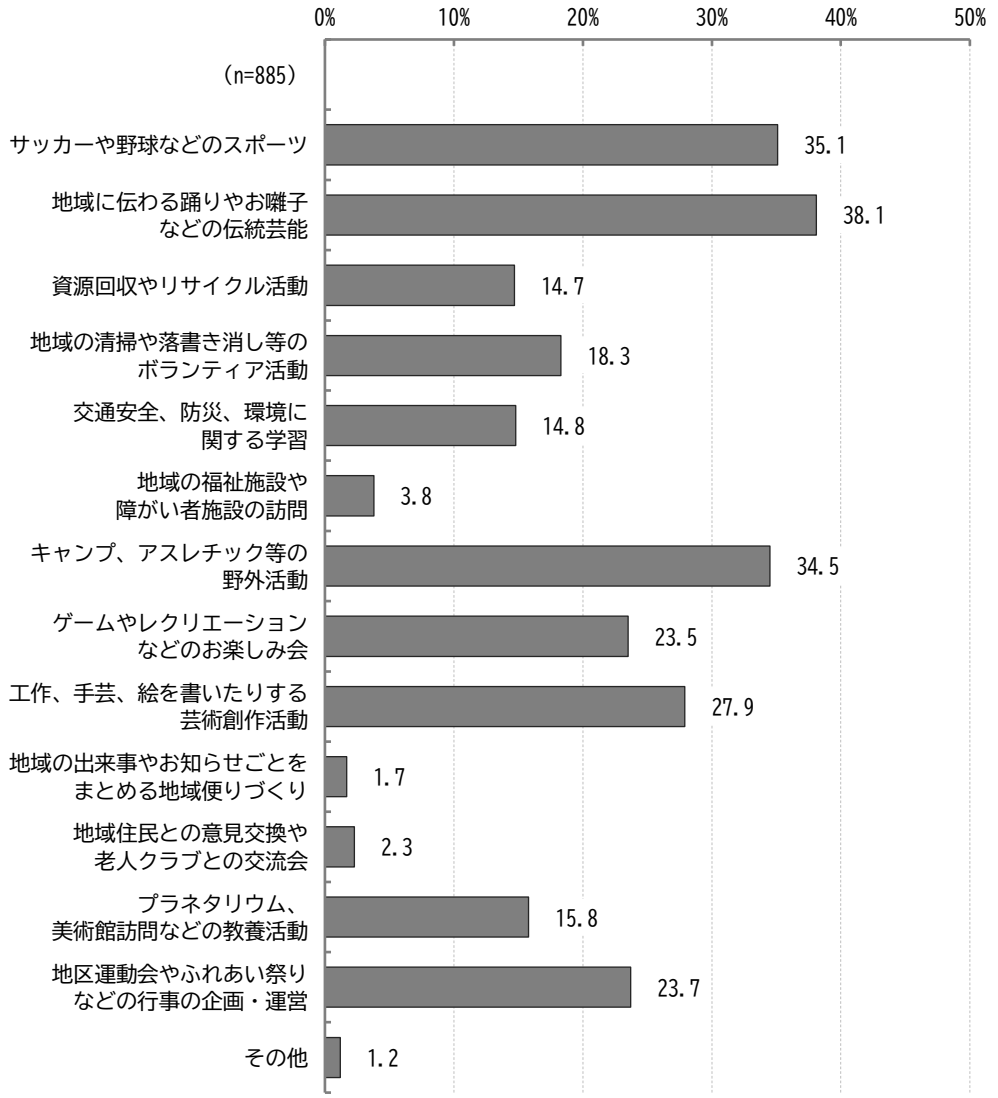
「運動ができる場所」が 40.3%と最も多く、次いで「自然とふれ合える場所」が 39.0%、「音楽の練習ができる場所」が 29.0%となっている。



（6）子どもが取り組むと良いと思う行事

問２９　あなたは、あなたのお子さんが地域の一員として年齢の異なる子どもや大人たちといっしょに取り組むと良いと思う行事はどれだと思いますか。（あてはまるもの３つを選択）

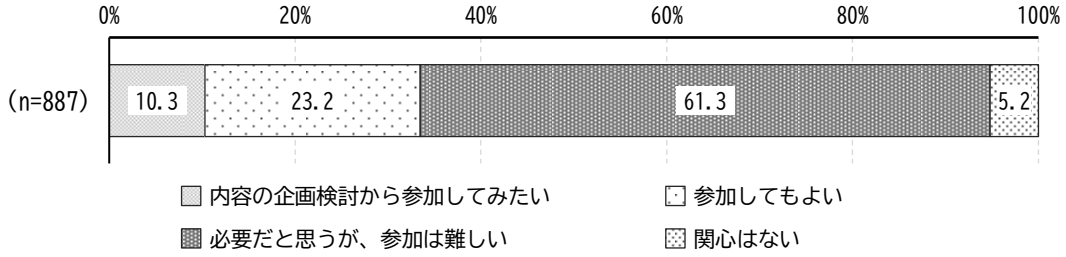
「地域に伝わる踊りやお囃子などの伝統芸能」が 38.1%と最も多く、次いで「サッカーや野球などのスポーツ」が 35.1%、「キャンプ、アスレチック等の野外活動」が 34.5%となっている。



（7）地域活動への参画について

問３０　放課後の子どもの居場所づくり（子どもの活動や見守りなど）で、地域の住民として参画することについて、どのようにお考えですか。（１つを選択）

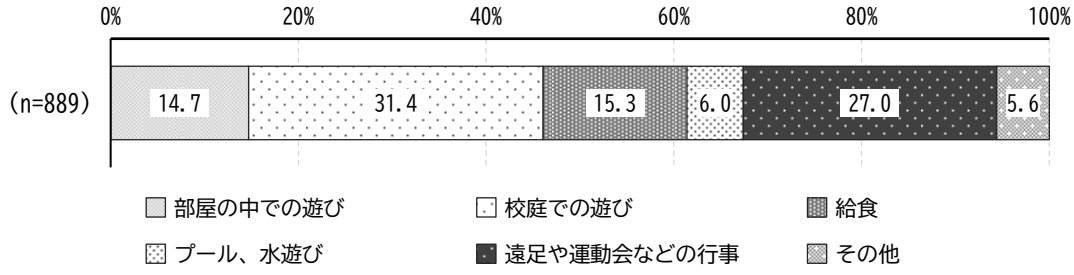
「必要だと思うが、参加は難しい」が 61.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 23.2%、「内容の企画検討から参加してみたい」が 10.3%となっている。



（8）子どもが学校で過ごす時間で楽しいこと

問３１　あなたのお子さんは、学校などで過ごす時間で、何を一番楽しみにしていますか。（１つを選択）

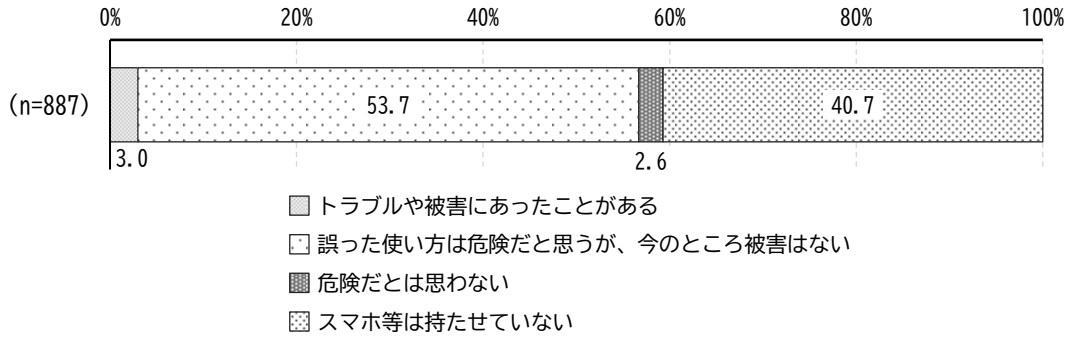
「校庭での遊び」が 31.4%と最も多く、次いで「遠足や運動会などの行事」が 27.0%、「給食」が 15.3%となっている。



（9）スマートフォン等の利用について

問３２　お子さんがスマホ等（スマートフォン、携帯ゲーム機等インターネットが接続できる機器）を利用していて、健康や対人関係などで「危ない」と感じたことはありますか。
（１つを選択）

「誤った使い方は危険だと思うが、今のところ被害はない」が 53.7%と最も多く、次いで「スマホ等は持たせていない」が 40.7%、「トラブルや被害にあったことがある」が 3.0%となっている。

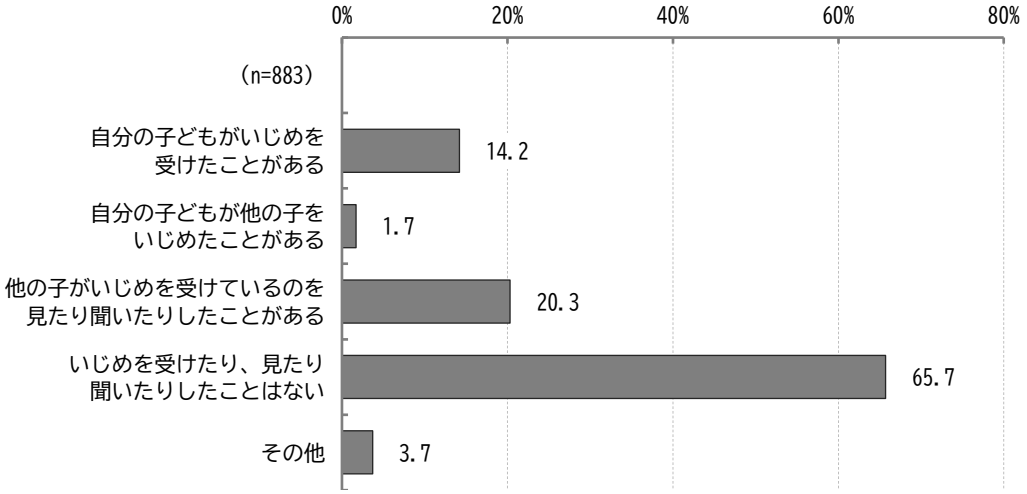


８．いじめや不登校について

（1）いじめについて

問３３　いじめについて伺います。あなたのお子さんは、これまでにいじめを受けたり、他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまるものすべてを選択）

「いじめを受けたり、見たり聞いたりしたことはない」が 65.7%と最も多く、次いで「他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」が 20.3%、「自分の子どもがいじめを受けたことがある」が 14.2%となっている。

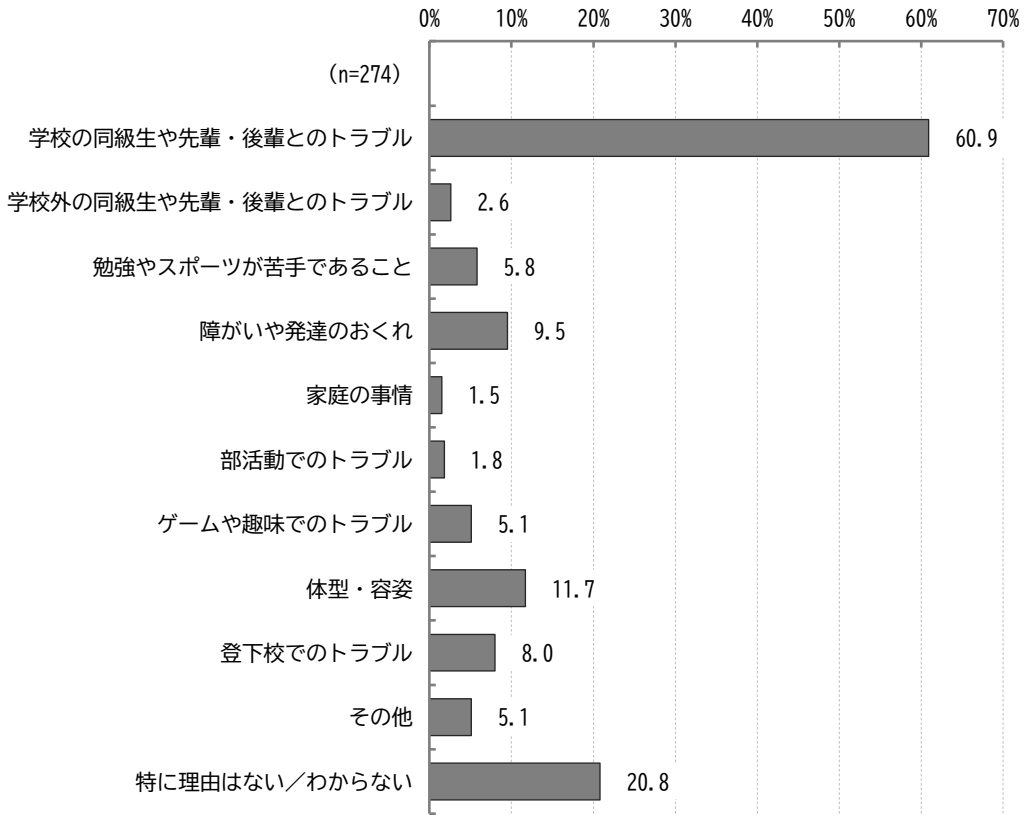


問３３で「１．自分の子どもがいじめを受けたことがある」～「３．他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」を選んだ方に伺います。

（２）いじめの理由

問３３－１　いじめの理由は何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

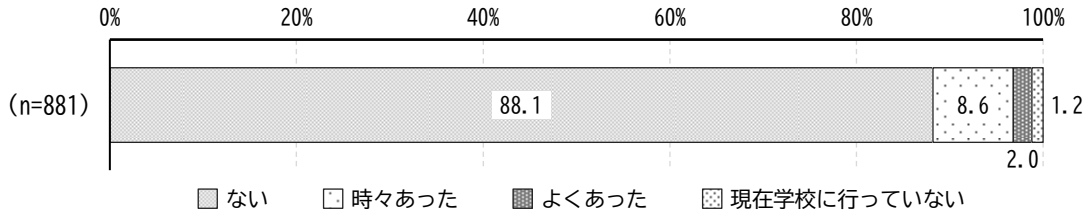
「学校の同級生や先輩・後輩とのトラブル」が 60.9%と最も多く、次いで「特に理由はない／わからない」が 20.8%、「体型・容姿」が 11.7%となっている。



（３）不登校の有無

問３４　不登校について伺います。あなたのお子さんは、これまでに学校に行かなくなったことがありましたか。（１つを選択）

「ない」が 88.1%と最も多くなっている。「時々あった」が 8.6%、「よくあった」が 2.0%となっている。

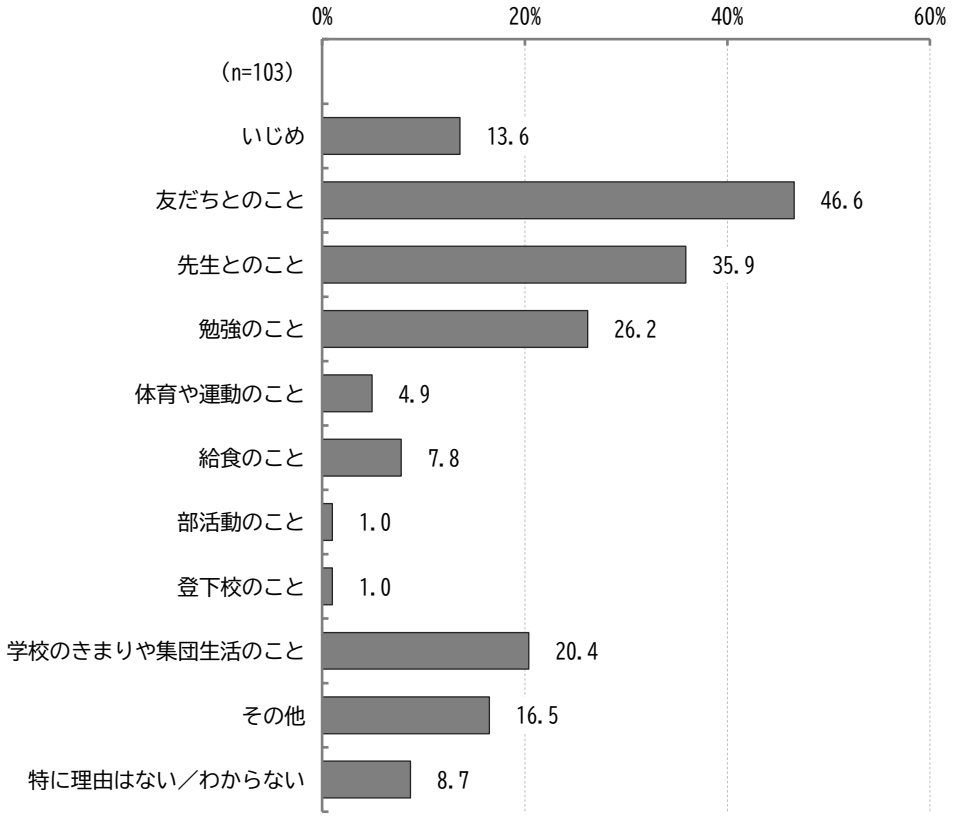


問３４で「２．時々あった」～「４．現在学校に行っていない」を選んだ方に伺います。

（４）不登校の理由

問３４-１　学校に行かなくなった理由

「友だちとのこと」が 46.6%と最も多く、次いで「先生とのこと」が 35.9%、「勉強のこと」が 26.2%となっている。

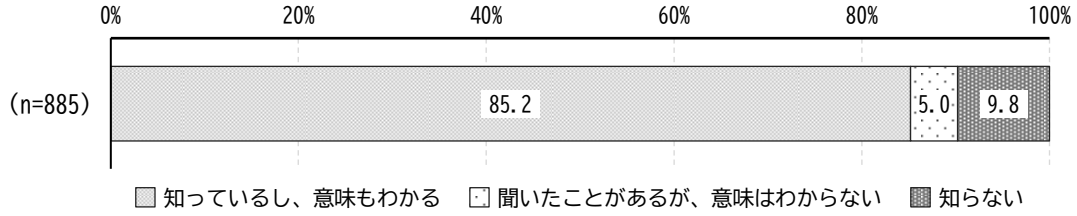


９．ヤングケアラーについて

（1）ヤングケアラーという言葉を知っているか

問３５　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

「知っているし、意味もわかる」が 85.2%と最も多く、「知らない」が 9.8%、「聞いたことがあるが、意味はわからない」が 5.0%となっている。

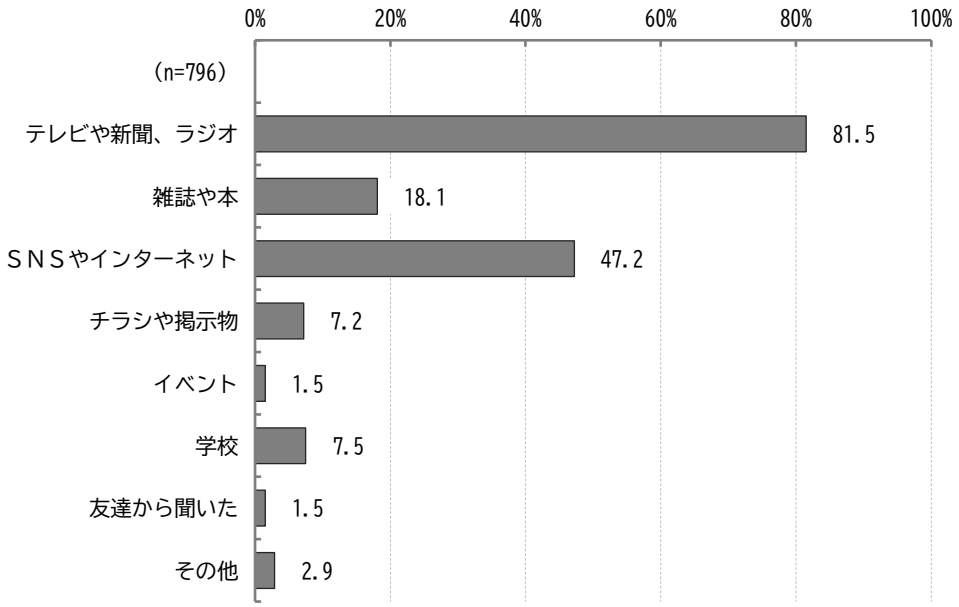


問３５で「１．知っているし、意味もわかる」または「２．聞いたことがあるが、意味はわからない」を選んだ方に伺います。

（2）ヤングケアラーという言葉を知った場所

問３５－１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか。（あてはまるものすべてを選択）

「テレビや新聞、ラジオ」が 81.5%と最も多く、次いで「ＳＮＳやインターネット」が 47.2%、「雑誌や本」が 18.1%となっている。



１０．家庭での子育てや日頃感じていること

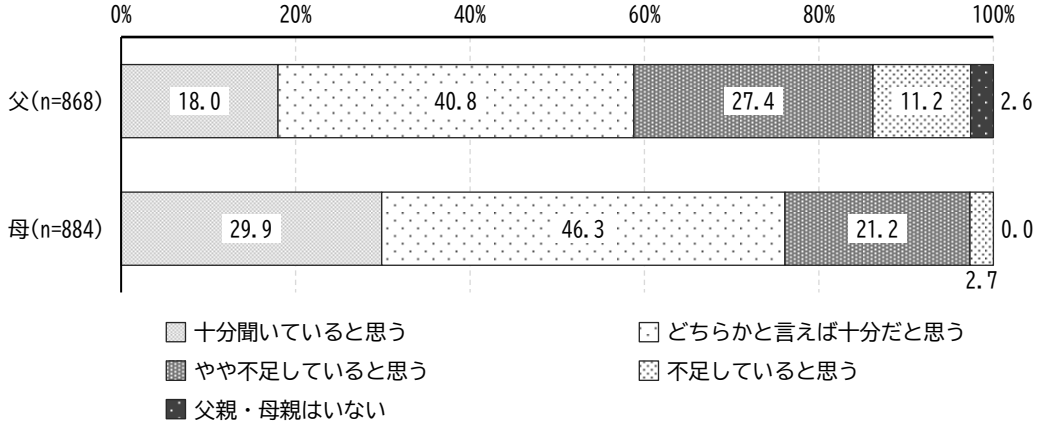
（1）子どもとの関係

問３６　家庭におけるお子さんとの関係についてうかがいます。
（(1)、(2)について、父親、母親のそれぞれについて１つを選択）

【①話や気持ちを聞いているか】

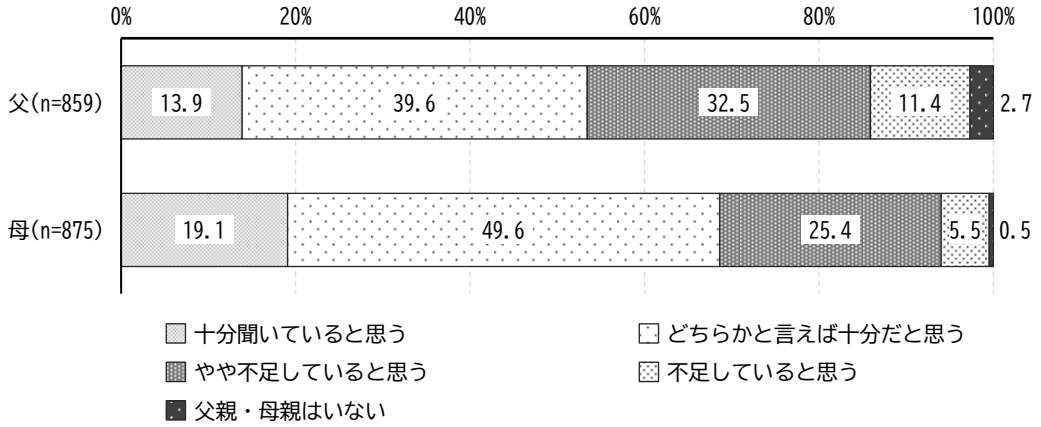
父親は「どちらかと言えば十分だと思う」が 40.8%と最も多く、次いで「やや不足していると思う」が 27.4%、「十分聞いていると思う」が 18.0%となっている。

母親は「どちらかと言えば十分だと思う」が 46.3%と最も多く、次いで「十分聞いていると思う」が 29.9%、「やや不足していると思う」が 21.2%となっている。



【②気持ちや考えをわかっていると思うか】

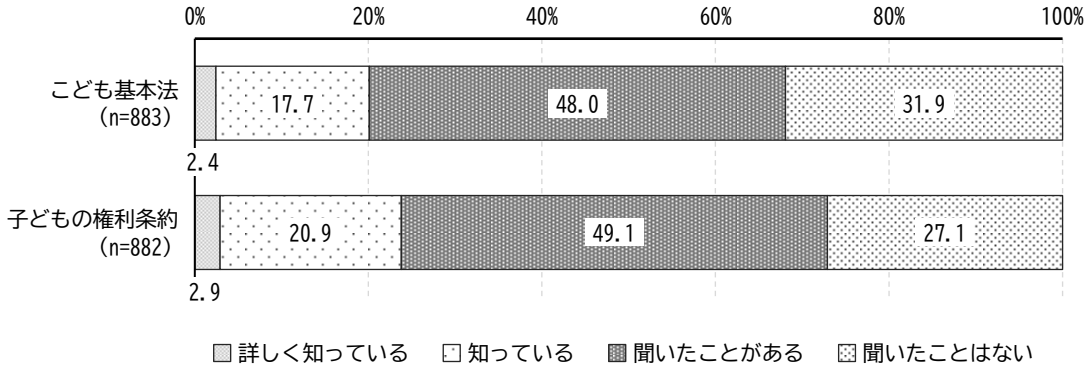
父母共に「どちらかと言えば十分だと思う」が最も多く（父：39.6%。母：49.6%）、次いで「やや不足していると思う」（父：32.5%、母：25.4%）、「十分聞いていると思う」（父：13.9%、母：19.1%）の順になっている。



（2）「こども基本法」「子どもの権利条約」の認知度

問３７　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

『こども基本法』『子どもの権利条約』どちらも認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は２割程度と低くなっている。

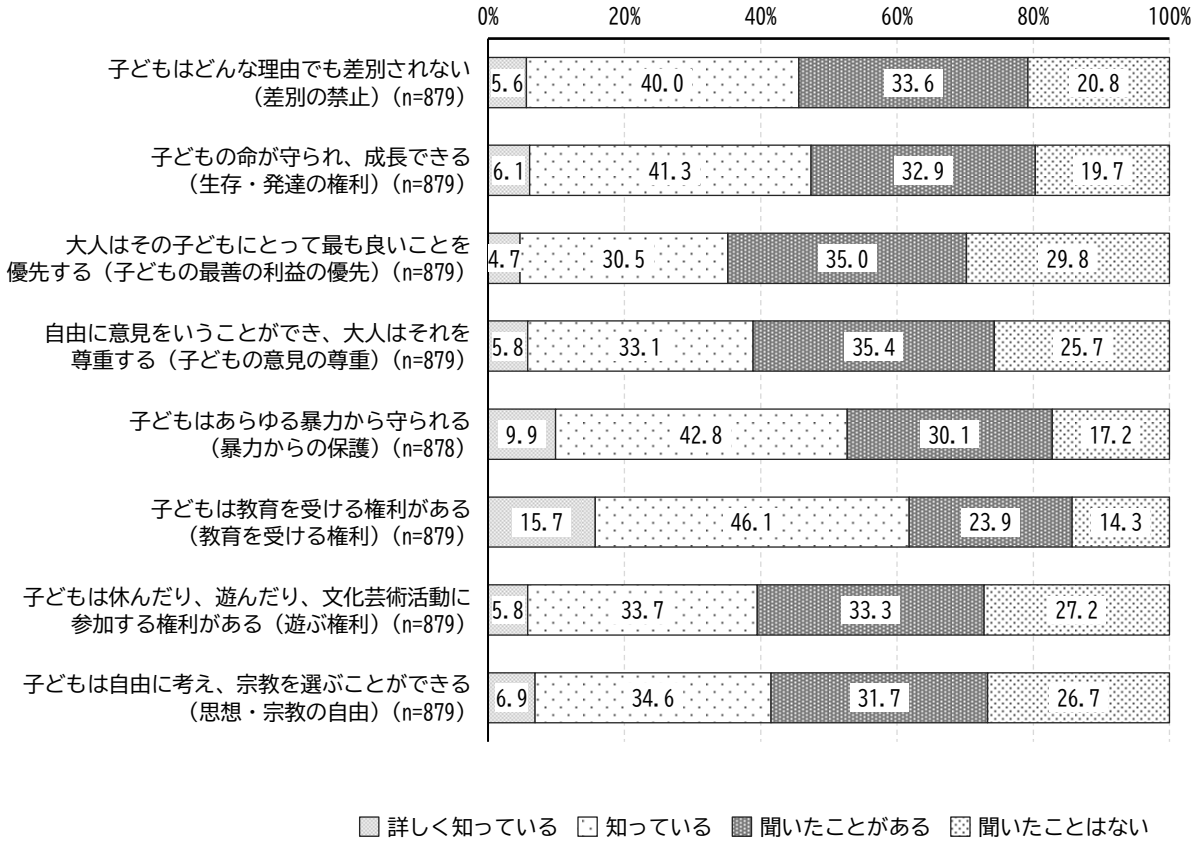


（3）「子どもの権利条約」の子どもの権利に関する認知度

問３８　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

「子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）」「子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）」「子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）」は、認知度（「詳しく知っている」と「知っている」の合計）が５割以上と高くなっている。

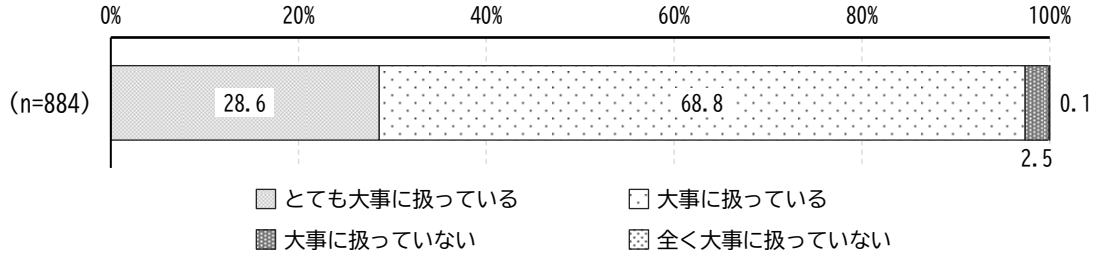
「子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）」「大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）」は「聞いたことはない」が 29.8%と認知度が最も低くなっている。



（4）子どもを大事に扱っているか

問３９　あなたは、お子さんに関わることを決めるときに、お子さんの意見を聞いて、大事に扱っていると思いますか。（１つを選択）

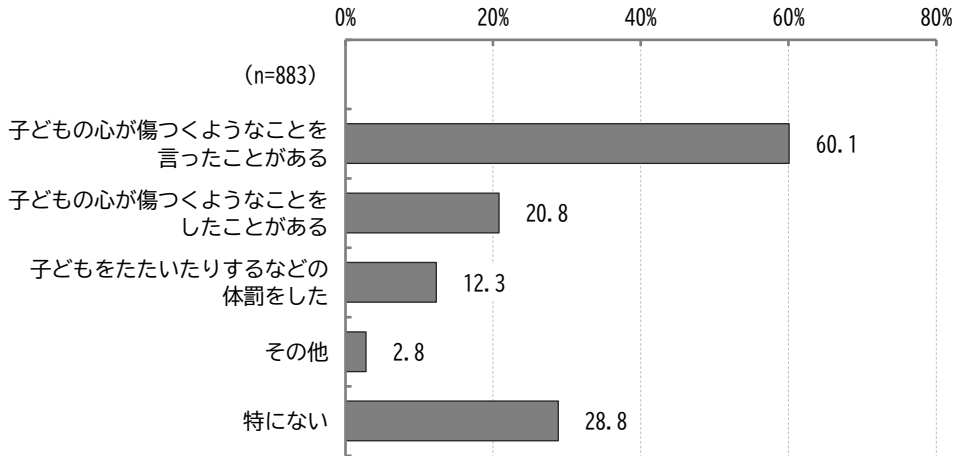
「大事に扱っている」が 68.8%と最も多く、次いで「とても大事に扱っている」が 28.6%となっている。



（5）子どもがつらい思いをするようなことをしたことがあるか

問４０　あなたは、子どもが大変いやな思い、つらい思いをするようなことを言ったり、したことがありますか。（あてはまるものすべてを選択）

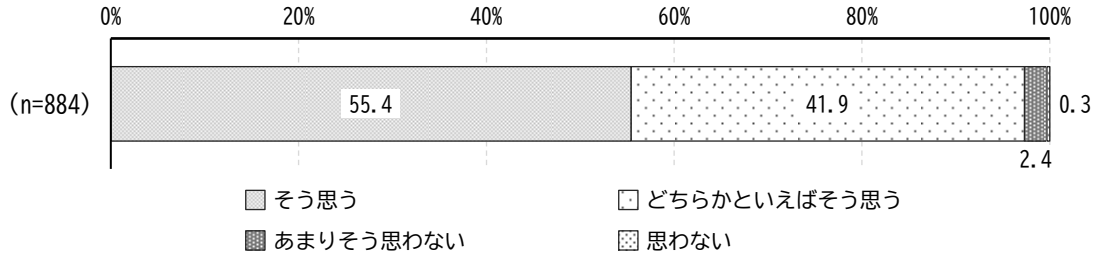
「子どもの心が傷つくようなことを言ったことがある」が 60.1%と最も多く、次いで「特にない」が 28.8%、「子どもの心が傷つくようなことをしたことがある」が 20.8%となっている。



（6）品川区は住みよいと思うか

問４１　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

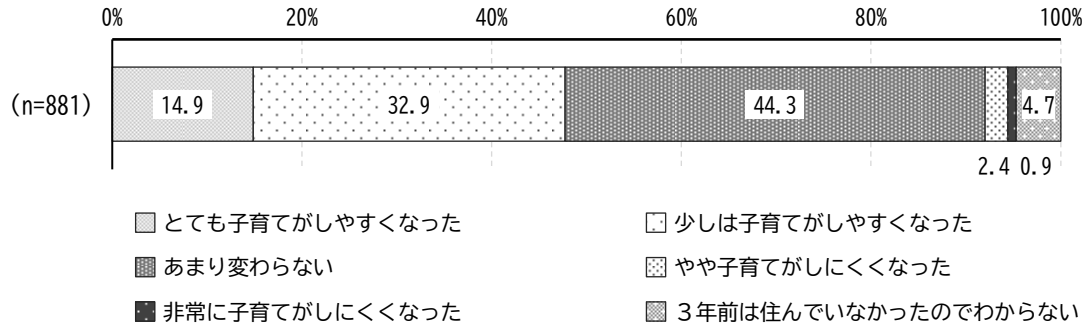
「そう思う」が 55.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 41.9%となっている。



（7）３年前との比較

問４２　品川区は３年前と比べて、子育てのしやすいまちになったと思いますか。（１つを選択）

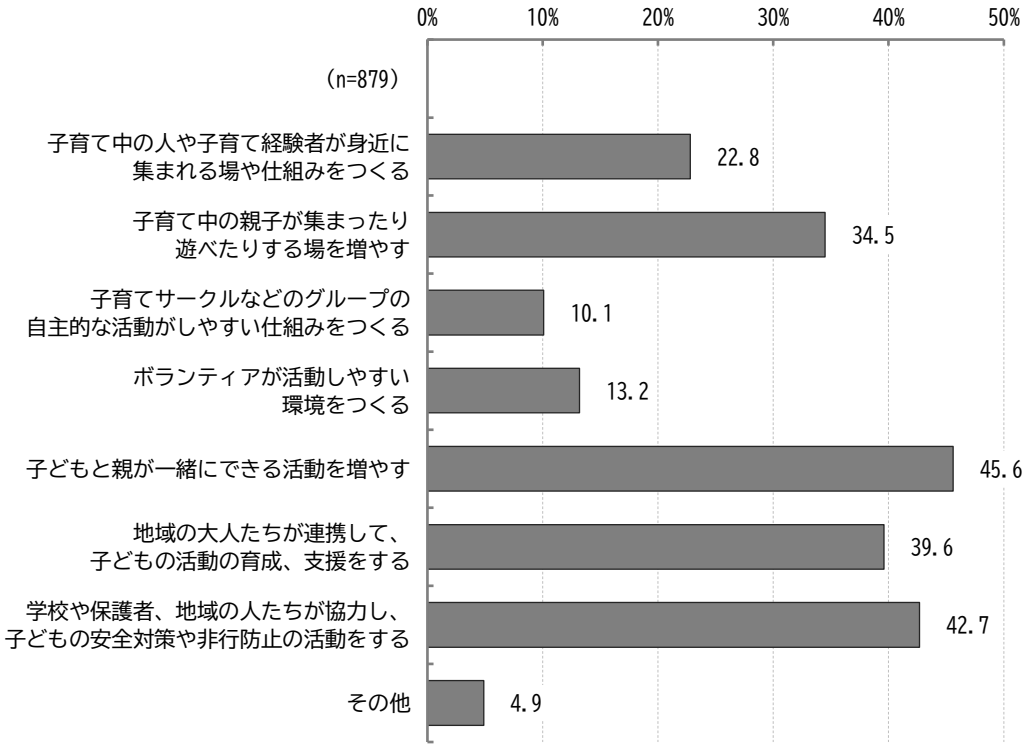
「あまり変わらない」が 44.3%と最も多く、次いで「少しは子育てがしやすくなった」が 32.9%、「とても子育てがしやすくなった」が 14.9%となっている。



（8）安心して子育てをするために必要な地域の人との取組

問４３　安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

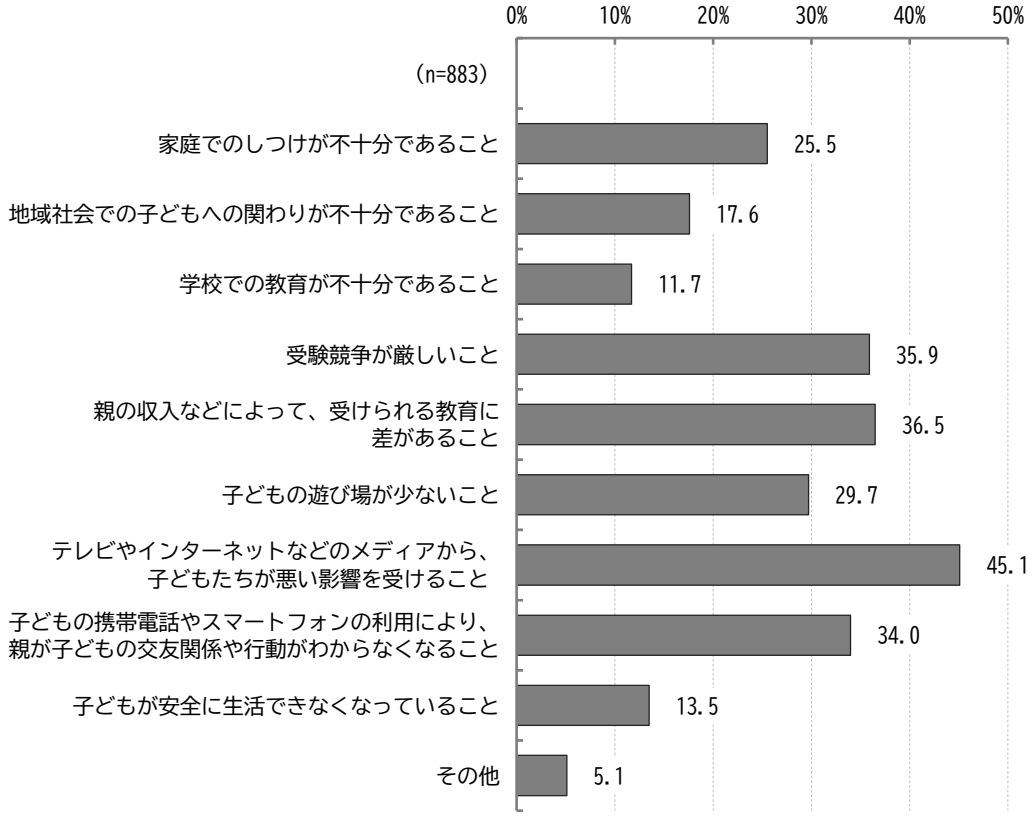
「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」が 45.6%と最も多く、次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする」が 42.7%、「地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成、支援をする」が 39.6%となっている。



（9）子育てや教育状況における問題

問４４　あなたは最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか。（特に問題だと思うものを３つまで選択）

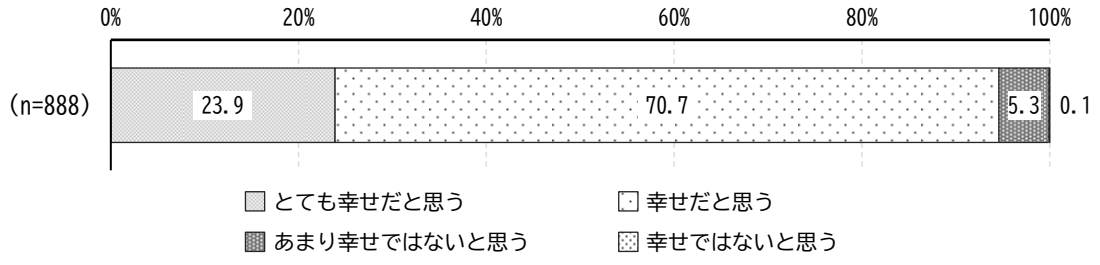
「テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること」が 45.1%と最も多く、次いで「親の収入などによって、受けられる教育に差があること」が 36.5%、「受験競争が厳しいこと」が 35.9%となっている。



（１０）子どもは現在の生活が幸せか

問４５　お子さんは、今の生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

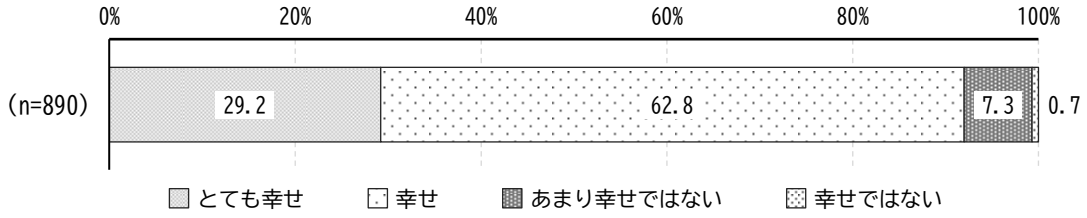
「幸せだと思う」が 70.7%と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が 23.9%となっている。



（１１）ご自身は現在の生活に幸せか

問４６　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

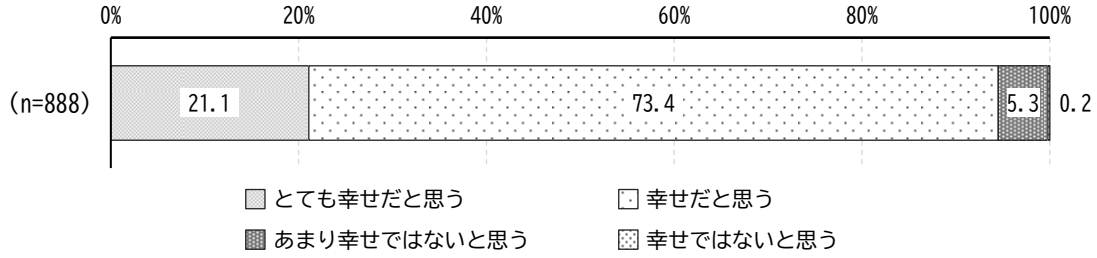
「幸せ」が 62.8%と最も多く、次いで「とても幸せ」が 29.2%となっている。



（１２）子どもは５年後の生活に幸せを感じているか

問４７　５年後のお子さんは、幸せな生活を送っていると思いますか。（１つを選択）

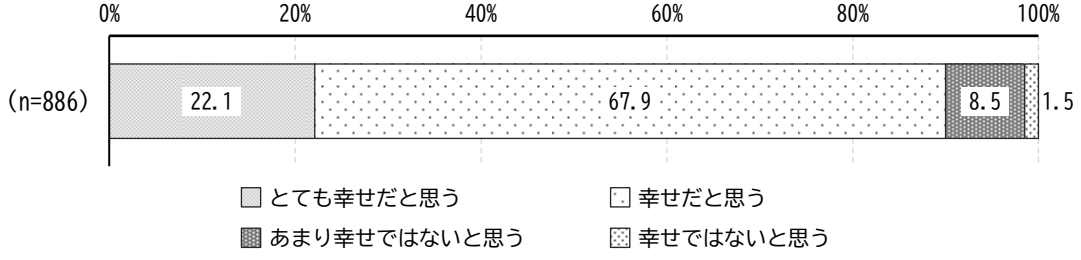
「幸せだと思う」が 73.4%と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が 21.1%となっている。



（１３）ご自身は５年後の生活に幸せを感じているか

問４８　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

「幸せだと思う」が 67.9%と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が 22.1%となっている。

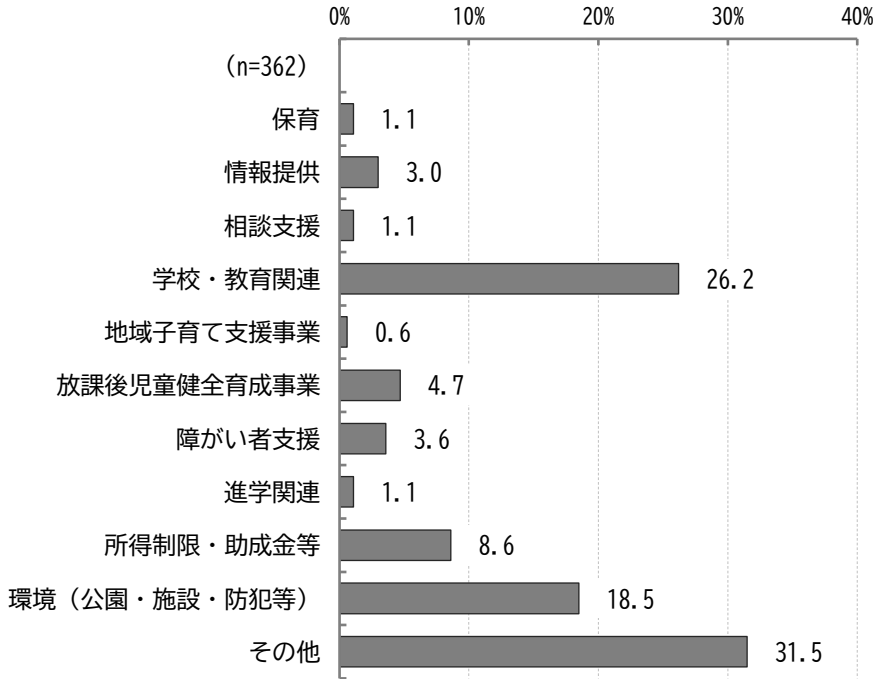


１１．自由記述

（1）自由記述

問４９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

369 人（回答者の 41.4%）から回答があり、うち「特になし」の類を除く、362 人の回答について、分類整理したところ、次図のような分布となった。



主な意見（一部抜粋・要約しています）

保育	
要望	● 勝島エリアに０歳から預かってくれる認可保育園を作ってほしい。 ● 就労以外の理由でも、保育園で子供を預かってくれるようにしてほしい。 ● 保育園に勤務しているが、支援が必要な園児が増えているのに対して保育園や幼稚園への負担が大きく保育者が疲弊しているように感じる。教育者、保育者へのサポートも必要だと思う。

情報提供	
要望	● 広報誌しながわが好きなので、子どもの学校で配布してもらえると嬉しい ● 区立学校に通っていない子に対して、支援が得られてないと感じている。情報がないので、もっと発信してほしい。 ● 支援の情報が届きにくいと感じている。特に子育て情報アンテナをはっていない家庭にも情報を届けられる仕組み、アイデアが必要。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

相談支援	
要望	● 不登校の為の相談場所を増やしてほしい。 ● 幼児期と比べると、児童期は気軽に子育て相談できる場が一気に減ると感じている。中学・高校など子が大きくなればなる程、減る気がする。小学校スクールカウンセラーのように相談できる場や、中学、高校ともに気軽に話せる子育て相談があったら良い。 ● 自分が子どもの頃と比べて、お金の価値（ガチャガチャ、１００均の存在、ゲーム類、課金など）、使い方などが変わりすぎていて、どう対処していいかわからないのでアドバイスがほしい。ガイドライン的な基準があるとよい。
評価	● 次男が通う幼稚園に来ていたカウンセラーの方や園長先生に、長男（当時小６）の反抗期の相談を聞いていただいた事がある。幼稚園という枠にはまらず、高学年の子どもの話を聞いていただけて、少し気持ちが楽になった。

学校・教育関連	
要望	● 公立中学への進学がその後の教育でも不利にならないよう、公立中学での教育を充実させてほしい。 ● 公立小学校の ICT 教育に差がありすぎることが心配。 ● タブレットの使い方について教育委員会でもう一度検討いただきたい。教育のためのツールという意味では理解できるが、使い方のルールが家庭に丸投げであるため、管理できない部分がある。例えば夜間になったら強制的にネットに繋がらないようにするなど規制をかけられるようにしてほしい。 ● 学校の先生の仕事量を軽減し、先生自身のゆとりを確保できる働き方を整えてほしい。クラスで問題が起きても対応にまわりきれない事で、問題が大きくなり子ども達が安心して通える場所ではなくなる。まず学校が適切に運営できるよう先生達の支援をお願いしたい。 ● まもるっち、スマホを持つこと、タブレットの使用について学校でルールを決め（タブレットは自宅に持ち帰らない、スマホは〇〇才からＯＫとする）統一してほしい。まもるっちの電話番号登録もトラブルにつながりやすいため、家族しか登録できないようにするなどの対応を希望。便利な分、トラブルが増えている。 ● 教育、保育に携わってくださっている方々が負担や不安なく働けるよう、人材配置や人材確保に十分な予算を取ってほしい。 ● PTA の仕事の負担を減らしてほしい。区で一定の基準を設けるなど、PTA による親への負担軽減に取り組んでほしい。
意見	● 小学校１年生からタブレットを持たせて授業をするのは早いと思う。まずは紙に書く事をいっぱいさせないと品川区の学力レベルはどんどん低下するのではないか。
評価	● 品川区独自の取り組み（まもるっち）は大変ありがたいサービス。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

地域子育て支援事業	
要望	● 区内の児童センターは、どこも施設が古く、利用する気になれない。（エレベーターもほとんどない。）児童センターの新設や改装を強く願う。
評価	● 子どもが乳児だった頃に、児童センターに気軽に足を運べる環境があり、とても助かった。感謝しかない。

放課後児童健全育成事業	
要望	● 学童は本当にありがたいが、毎年の手続きは変更のある時のみにしてほしい。 ● 学童での給食など、他の自治体では行われているケースもあるので検討してほしい。 ● すまいるでの保育的預かり以外の遊びや学びの体験を提供してほしい。（有料可） ● すまいるの利用は、17 時を過ぎた日だけ加算してほしい。１日しか利用していなくても月額かかるので、日割りにしてほしい。
意見	● 他地区には、勉強を学べるスマイルスクールがあると聞いた。 ● すまいるの支援員が少なく、子どもたちを見守りきれていないと感じる。

障がい者支援	
要望	● 障害者にとって優しい町（街）であってほしい。より多くの方に理解して頂けると助かる。 ● 障がい児の相談・サービスの利用、一本化されていなく、相談しても分散していて利用しにくい。一生続くかもしれないのに継続して相談、利用できる所が少ない。 ● 発達障害の子どもへの支援と相談場所がほしい。小学校の情緒支援学級を増やしてほしい。
意見	● 明確な発達障害の子に対する支援はあるが、いわゆるグレーゾーンの子に対する支援がないように思う。

進学関連	
要望	● 私立中学へ進学する子がとても多く、私立の情報は学校が積極的に発信していて得る事ができるが、公立の情報が手に入れにくい。公立中学のカリキュラムや進学情報なども発信してほしい。 ● 高校受験するにあたって、塾に通わせる費用に不安がある。何かサポートがほしい。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

所得制限・助成金等	
要望	● 所得に関係なく、子供の教育・進学は平等に補助を出してほしい。 ● 子育てに関する給付金に所得制限をつけるべきではない。 ● 子育て世代の負担を減らす為に、経済的な支援をもっと増やしてほしい。利用するかしないかわからない施設やサポートの充実よりも、現金の支援が１番助かる。 ● 教育費が高すぎるので、すべての子どもが幼稚園～大学へ無償で行けるようになると良い。 ● 子どもに関する無償化は品川区民全ての子どもが受けられるようにしてほしい。対象が義務教育、区立小学校のみというのは不公平。「子どもはどんな理由でも差別されない」に反していると思う。

環境（公園・施設・道路・防犯等）	
要望	● 自由にボール遊び（サッカー・野球等）ができる公園を増やしてほしい。 ● 渋谷区のハチラボやみなと科学館のように、品川区在住の子どもが科学に親しめる場所を作ってほしい。生き物や自然と触れ合える場所が身近にあると良い。 ● 高齢ドライバーの運転などが目立ち、子どもの登下校時の交通事故など不安。歩道がせまく、子乗せ自転車も非常に危険でヒヤリとすることが多い。 ● 道路の事故が一番心配。今後も監視カメラの設置は増やしてほしい。 ● 地震に対する安全対策が行き届いていない。高いブロック塀は無くしてほしい。（過去に痛ましい事故があった。）
評価	● まもるっちのシステムは他の区ではない品川区独自のもので、とても素晴らしいと思う。どんどん自立に向かう過程で、まもるっちの防犯システムが、とても心強い。

その他	
要望	● 地域とつながることで安心して子育てできる人が増えると思う。ボランティアとかしたい。（学校先生のお手伝いとか、学校には貼ってあったが、学校に行かない人は気づかないと思う。） ● 地域コーデネーターの人が少ないと聞いている。地域の人、企業もまき込み、その地域の大人が子育てに協力する仕組みがもっとあったら良い。 ● 支援が必要な子どもが増えているため、対策を考えてほしい。 ● 海外から１年半前に帰国し、いろいろと苦労したので、帰国子女が日本語や日本の生活に慣れるまでのコミュニティやクラスなどあれば良いと思う。品川区は帰国子女や、外国人小学生多いと思うので、子だけでなく、親への説明やサポートがあれば、尚良い。 ● 区や地域の支援を必要としている子どもや家庭はたくさんあると思う。時間を持て余しているシルバー世代や子育てが一段落した方の力や場所を借りられる方法があると良いと思う。

主な意見（一部抜粋・要約しています）

その他	
意見	● 乳児、未就学児の充実は感じるが、小学生向けの内容は少ないように思う。 ● 色々な選択肢が多い、それぞれの子ども、見守る人に合ったサポートが「選べる」ことが大切なのではないか。行政が大きく「場」を設けなくても、特色ある民間の団体などへの援助が、小さくても細かく、たくさんあればと良いと思う。
評価	● 昨年息子が不登校になった時、困り果てたがハーツの方々に本当に助けてもらい、命を救ってもらったと思っている。品川区に住んでいて良かった。 ● このようなアンケートで広く調査を実施し、子育て中の親の実際を知ってもらう取組みはありがたい。結果をよりよい施策につなげてほしい。 ● 品川区は子育てをする環境がとても充実していると思う。

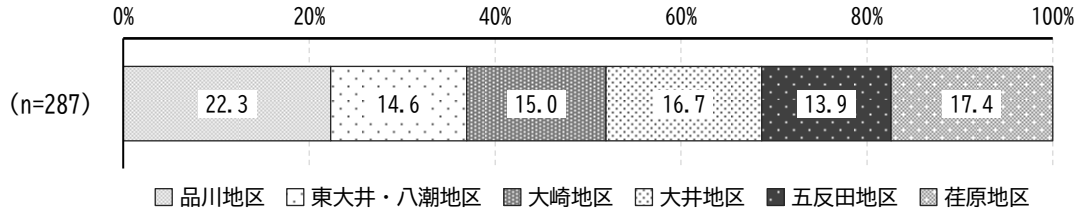
Ⅲ　中学生

１．回答者の属性

（1）居住地区

問１　お住まいの地区をお答えください。（１つを選択）

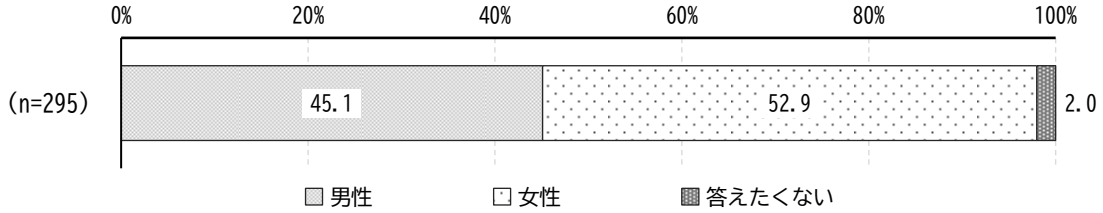
「品川地区」が 22.3%と最も多く、次いで「荏原地区」が 17.4%、「大井地区」が 16.7%となっている。



（2）性別

問２　性別を教えてください。（１つを選択）

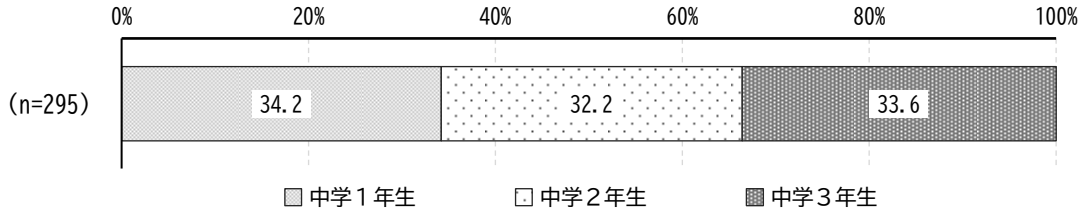
「女性」が 52.9%、「男性」が 45.1%、「答えたくない」が 2.0%となっている。



（3）学年

問３　学年を教えてください。（１つを選択）

「中学１年生」が 34.2%と最も多く、次いで「中学３年生」が 33.6%、「中学２年生」が 32.2%となっている。

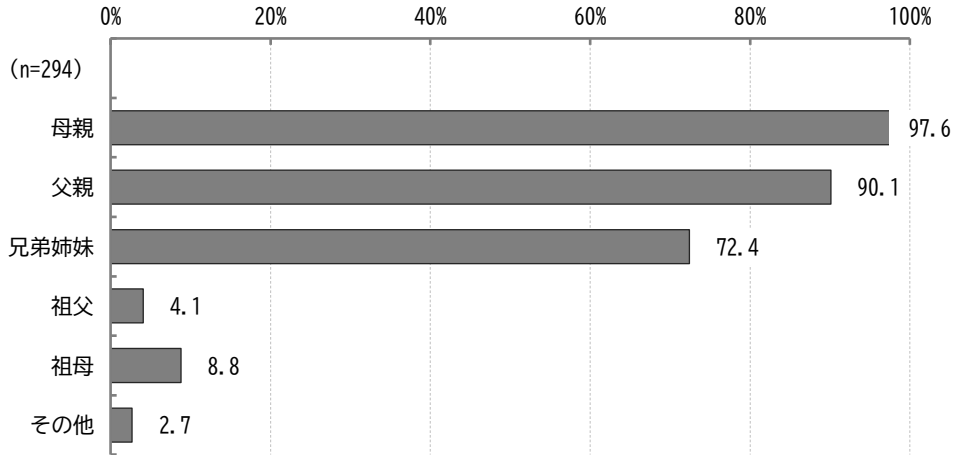


（4）家族構成

問４　誰と一緒に住んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）
　　また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

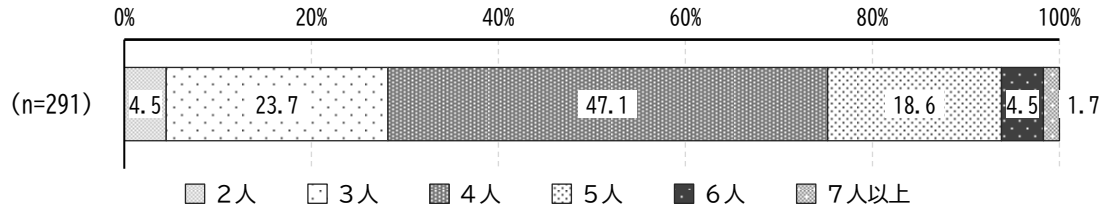
【一緒に住んでいる人】

「母親」が 97.6%と最も多く、次いで「父親」が 90.1%、「兄弟姉妹」が 72.4%となっている。



【家族の人数】

「４人」が 47.1%と最も多く、次いで「３人」が 23.7%、「５人」が 18.6%となっている。

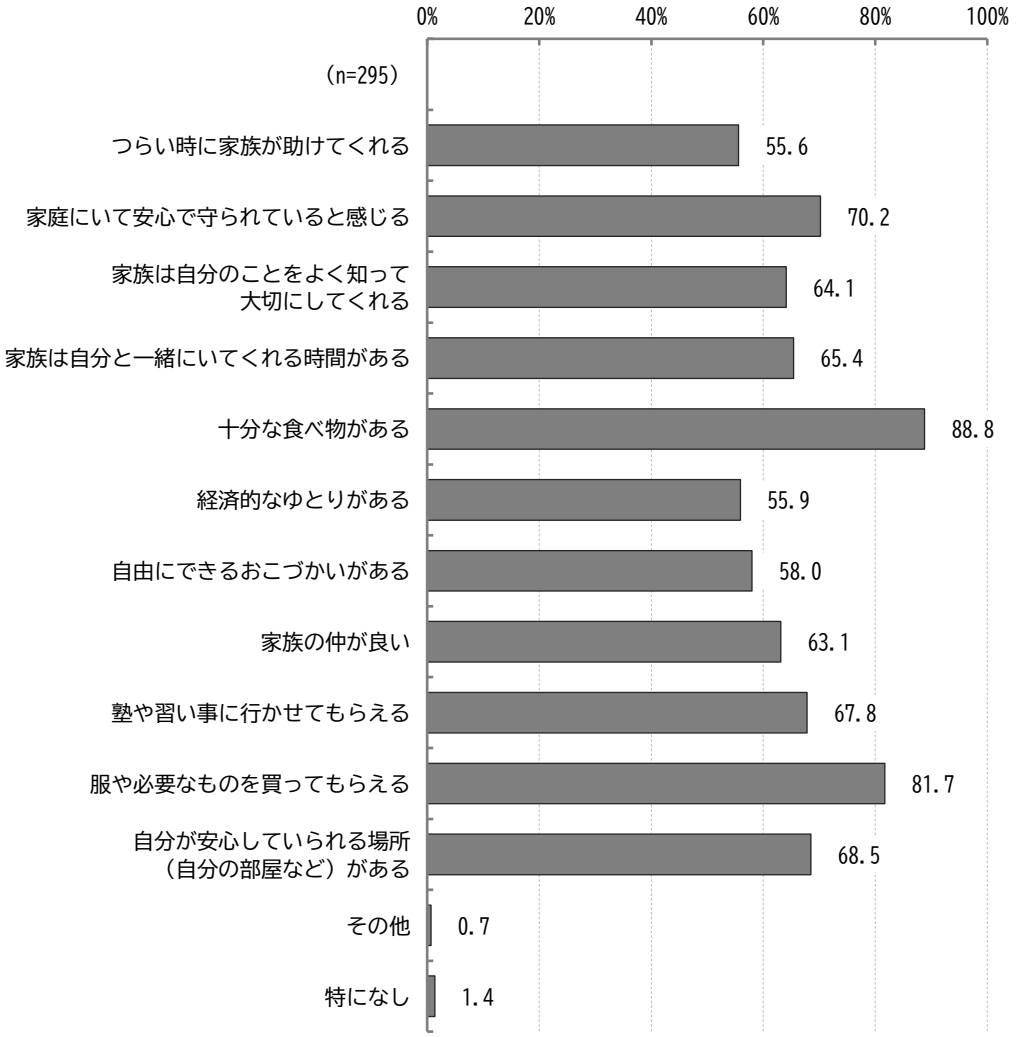


２．家族との関係

（1）普段の生活で良いと思うこと

問５　普段の家庭での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

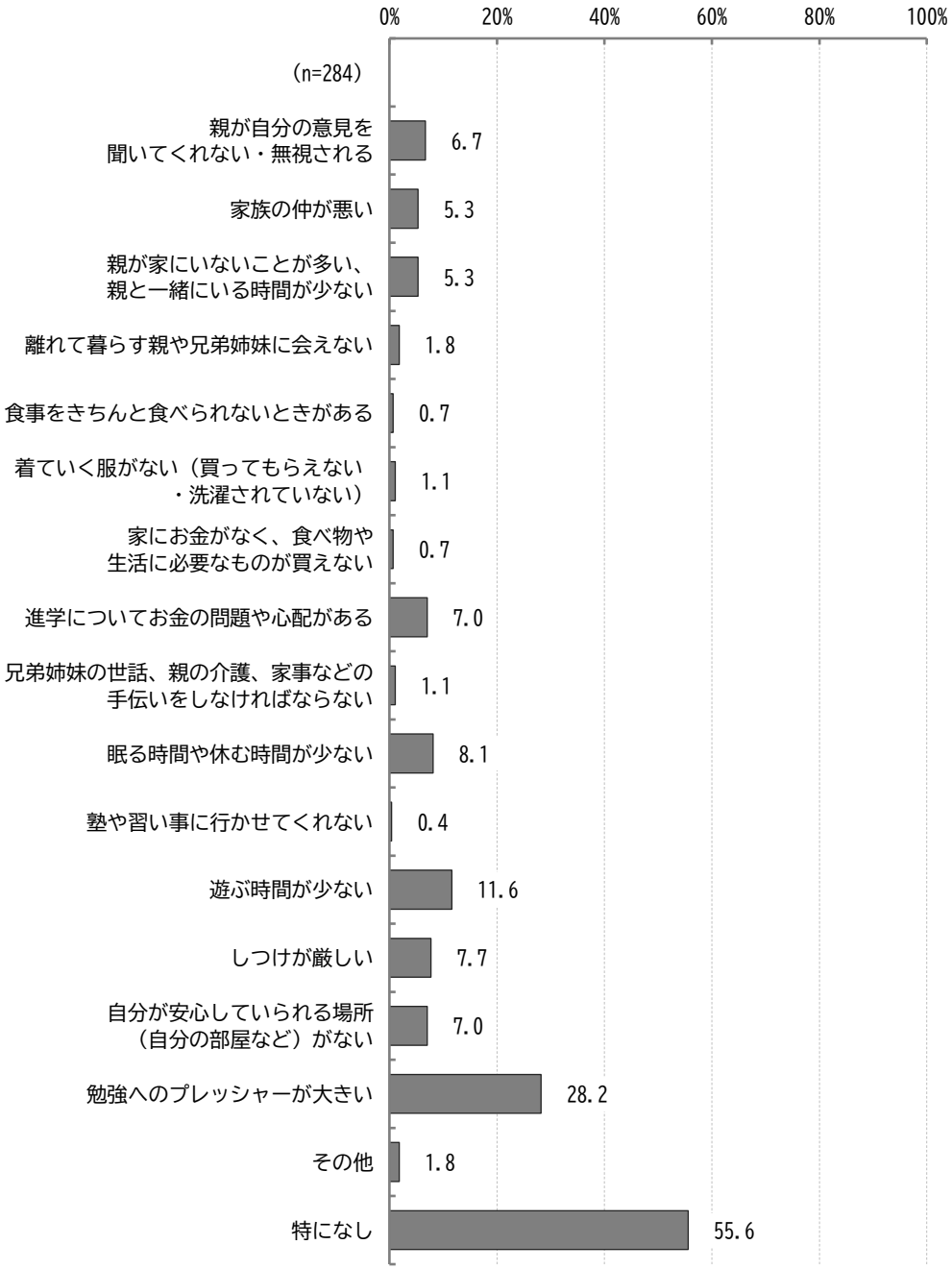
「十分な食べ物がある」が 88.8%と最も多く、次いで「服や必要なものを買ってもらえる」が 81.7%、「家庭にいて安心で守られていると感じる」が 70.2%となっている。



（2）普段の生活で不安や不満に感じていること

問６　普段の家庭での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

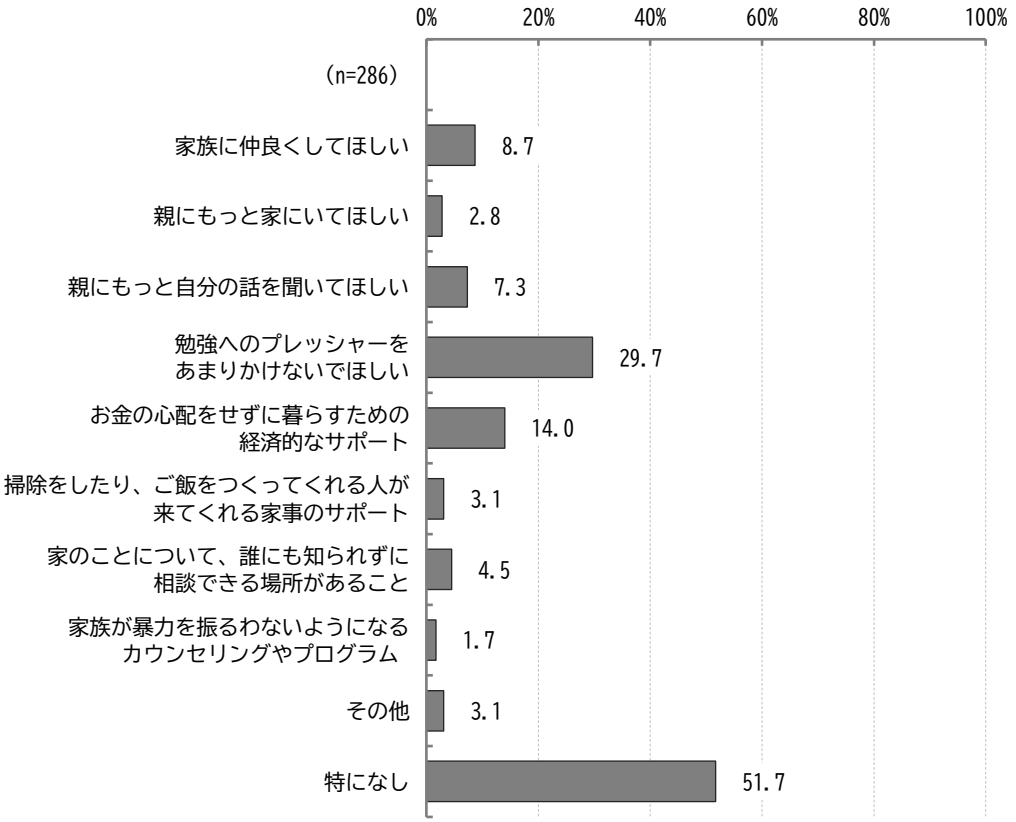
「特になし」が 55.6%と最も多く、次いで「勉強へのプレッシャーが大きい」が 28.2%、「遊ぶ時間が少ない」が 11.6%となっている。



（3）家庭であったらいいと思うサポート

問７　家庭でこうなったらいいなと思うことや、あったらいいと思うサポートはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

「特になし」が 51.7%と最も多く、次いで「勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい」が 29.7%、「お金の心配をせずに暮らすための経済的なサポート」が 14.0%となっている。

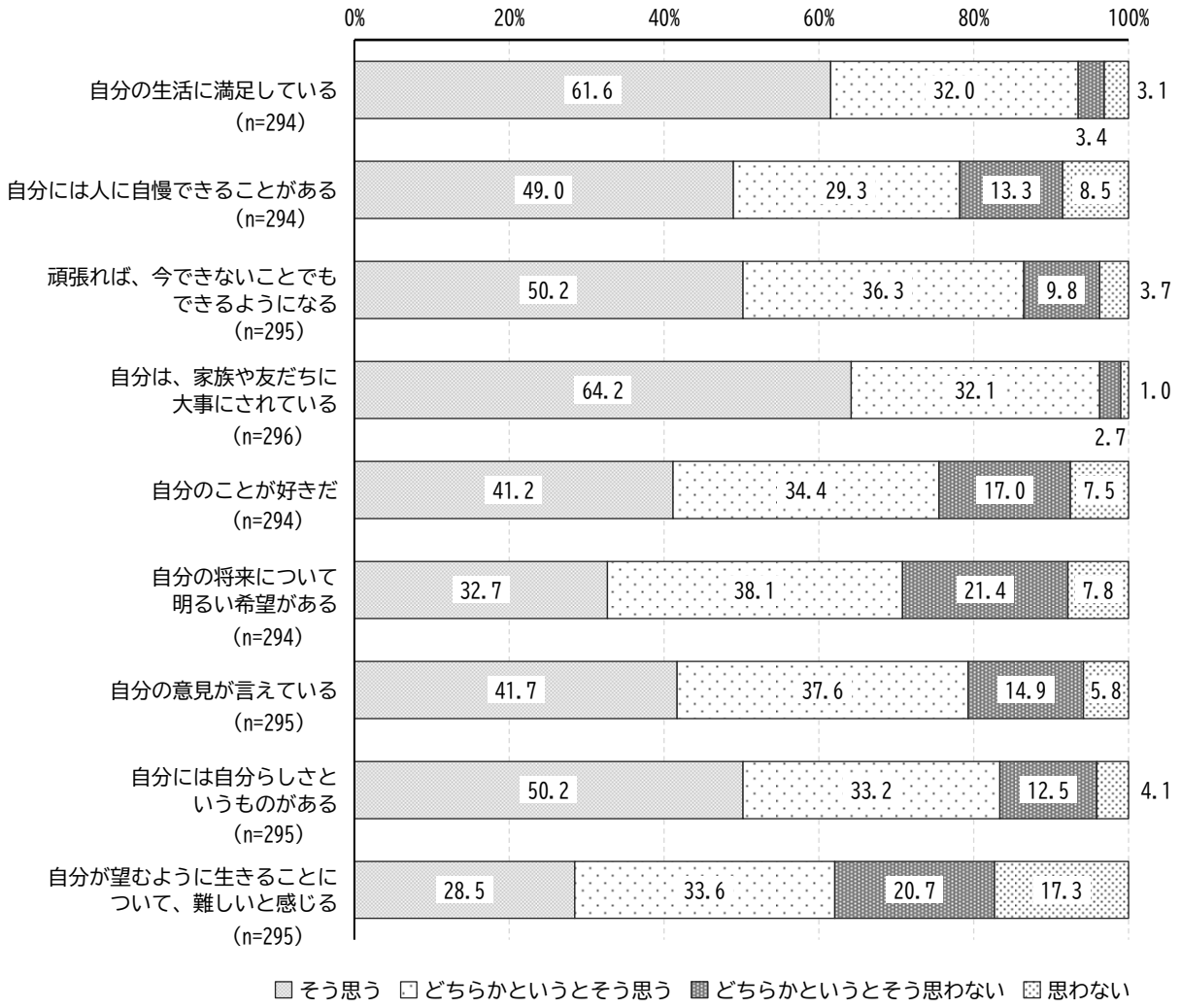


３．自分自身のこと、悩みごと、相談先について

（1）自分自身の考え

問８　あなた自身の考えを教えてください。（それぞれ１つを選択）

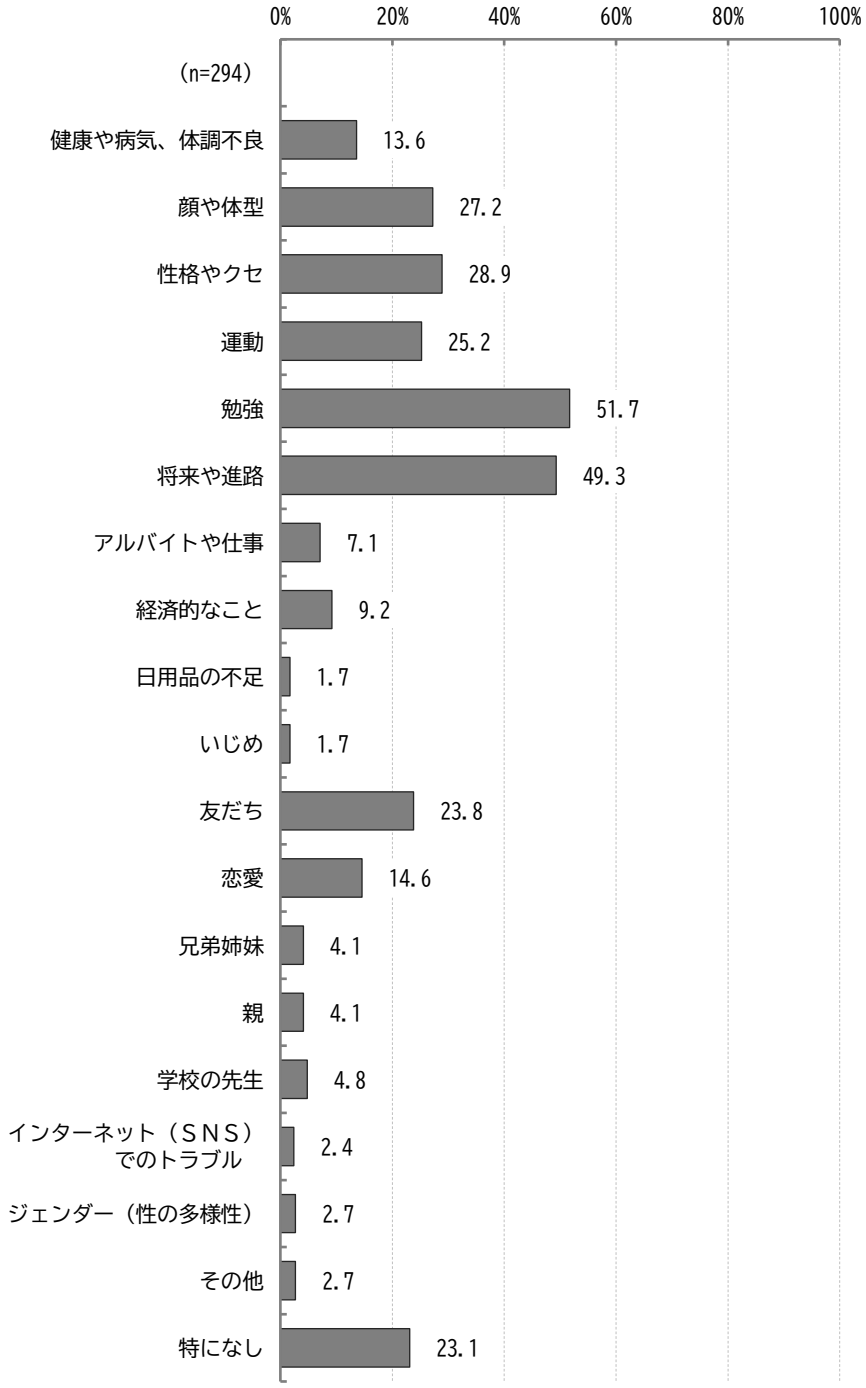
『自分の生活に満足している』と『自分は、家族や友だちに大事にされている』では、「そう思う」の割合が 60%以上と特に高くなっている。「思わない」の割合は『自分が望むように生きることについて、難しいと感じる』で 17.3%と最も高くなっている。



（2）悩みや心配なこと

問９　悩みや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

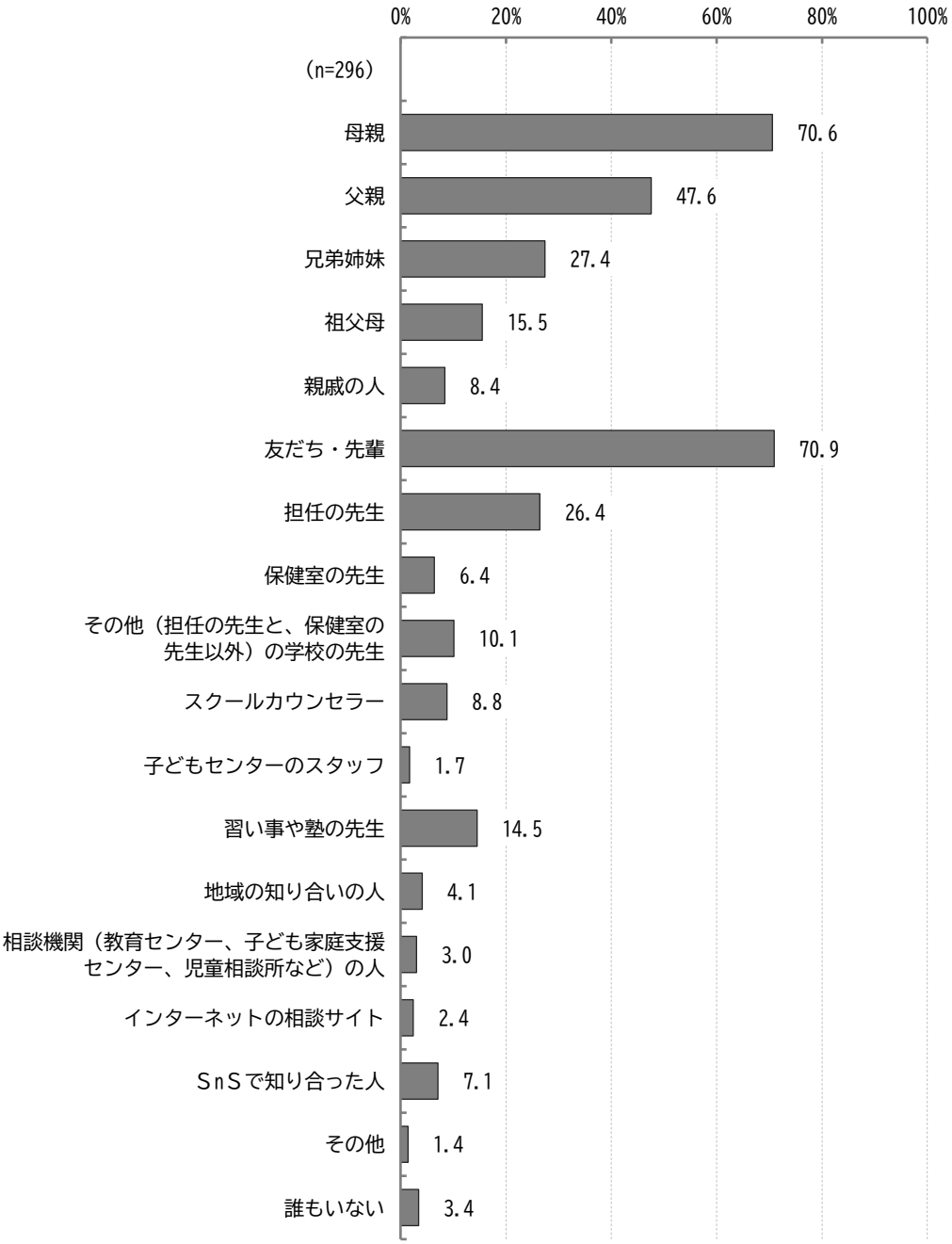
「勉強」が 51.7%と最も多く、次いで「将来や進路」が 49.3%、「性格やクセ」が 28.9%となっている。



（3）相談相手

問１０　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。
（あてはまるものすべてを選択）

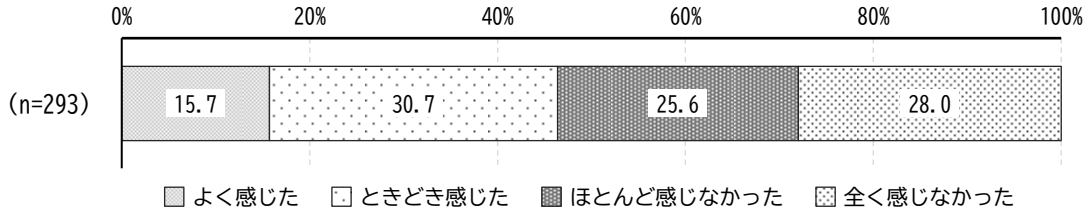
「友だち・先輩」が 70.9%と最も多く、次いで「母親」が 70.6%、「父親」が 47.6%となっている。



（4）ストレスや生きづらさ

問１１　最近、ストレスや生きづらさを感じましたか。（１つを選択）

「ときどき感じた」が 30.7%と最も多く、次いで「全く感じなかった」が 28.0%、「ほとんど感じなかった」が 25.6%となっている。

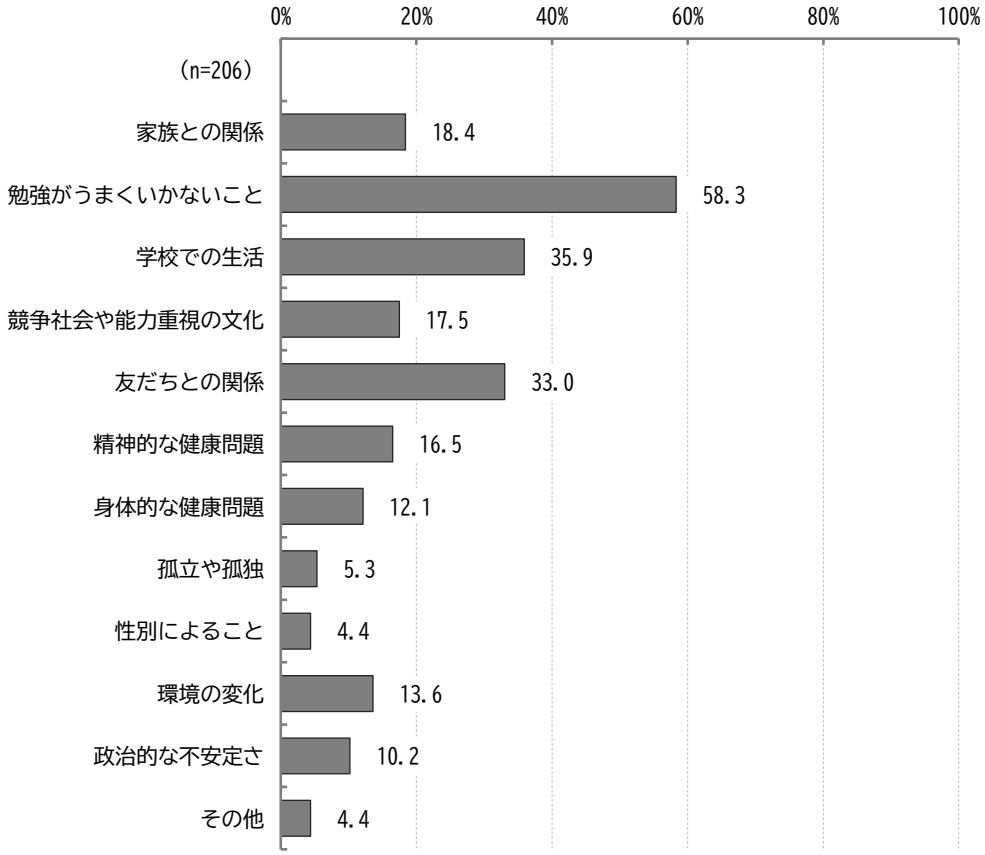


問１１で、「１．よく感じた」～「３．ほとんど感じなかった」を選んだ方に伺います。

（5）ストレスや生きづらさの理由

問１１－１　ストレスや生きづらさはどこで感じましたか。（あてはまるものすべてを選択）

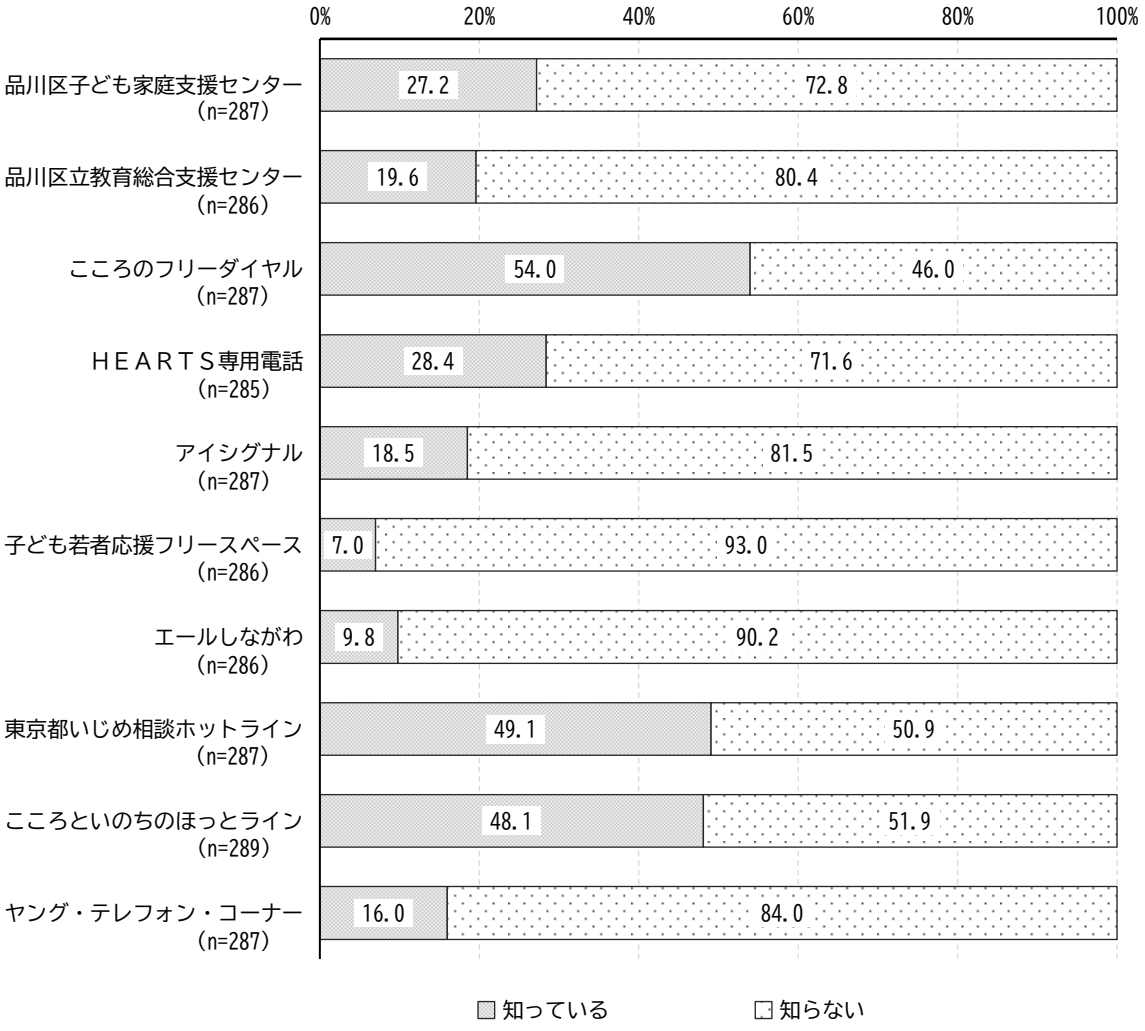
「勉強がうまくいかないこと」が 58.3%と最も多く、次いで「学校での生活」が 35.9%、「友だちとの関係」が 33.0%となっている。



（6）知っている相談できるところ

問１２　困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。
（それぞれ１つを選択）

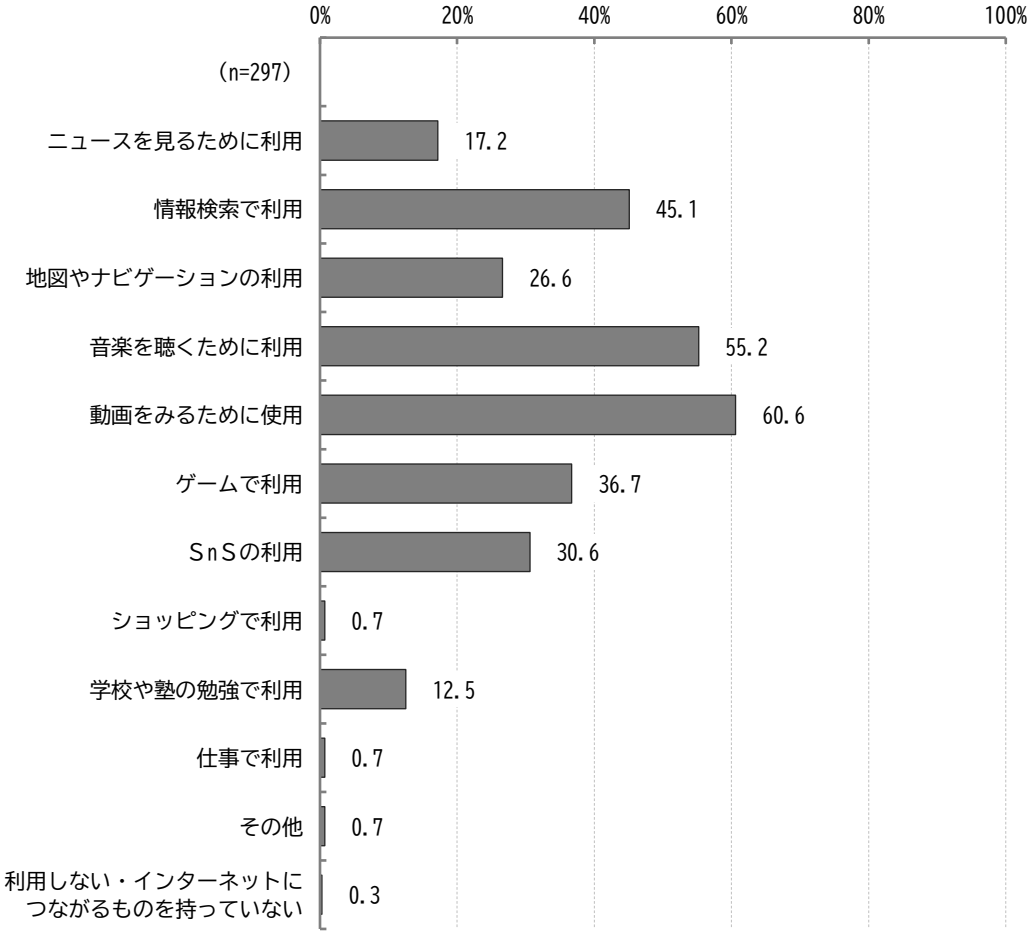
『こころのフリーダイヤル』は「知っている」の割合が 50%以上と特に高くなっている。『子ども若者応援フリースペース』と『エールしながわ』は「知らない」の割合が 90%以上と認知度が低くなっている。



（7）インターネットの利用方法

問１３　インターネットを主にどのようなことに利用していますか。
（特に利用の多いものを３つまで選択）

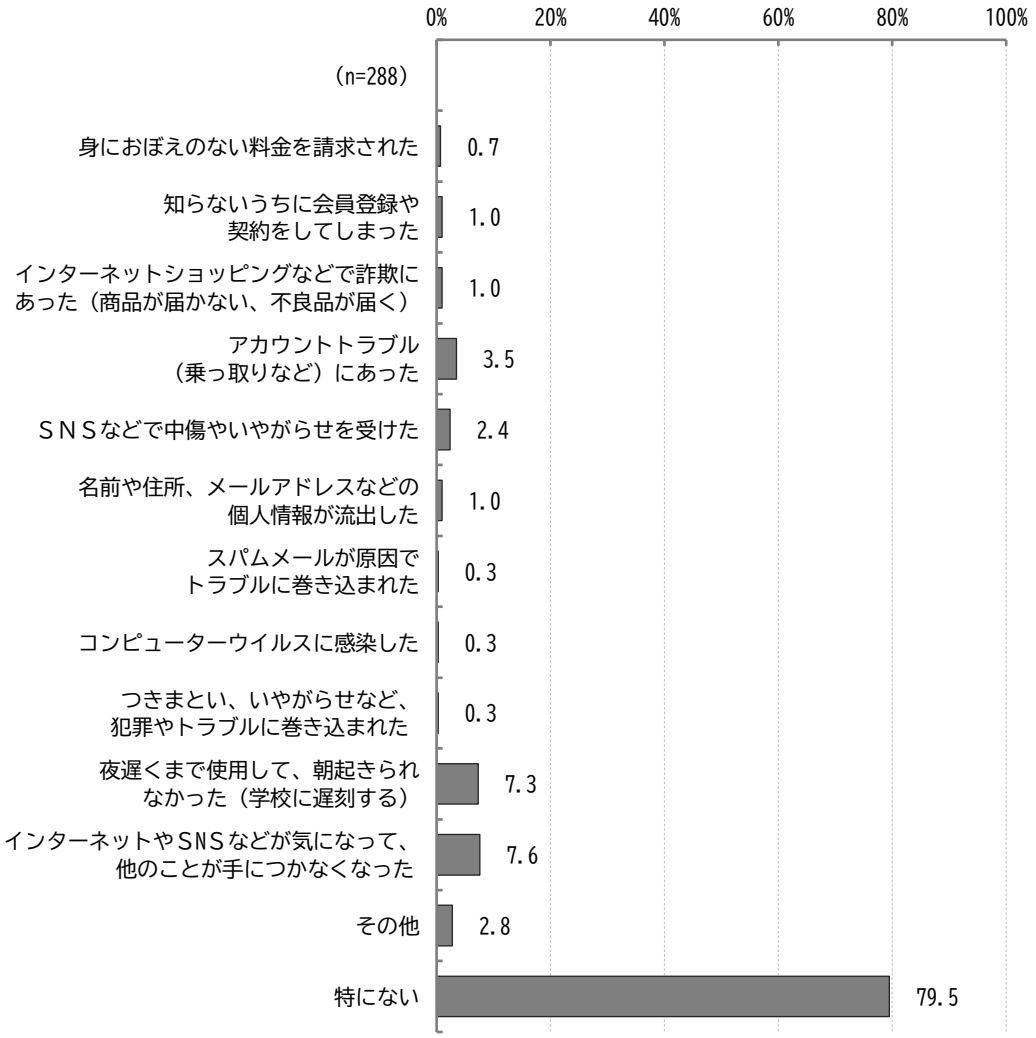
「動画をみるために使用」が 60.6%と最も多く、次いで「音楽を聴くために利用」が 55.2%、「情報検索で利用」が 45.1%となっている。



（8）インターネットを利用して起きたトラブル

問１４　インターネットを利用して、何かトラブルが起きたことはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

「特にない」が 79.5%と最も多く、次いで「インターネットやＳＮＳなどが気になって、他のことが手につかなくなった」が 7.6%、「夜遅くまで使用して、朝起きられなかった（学校に遅刻する）」が 7.3%となっている。

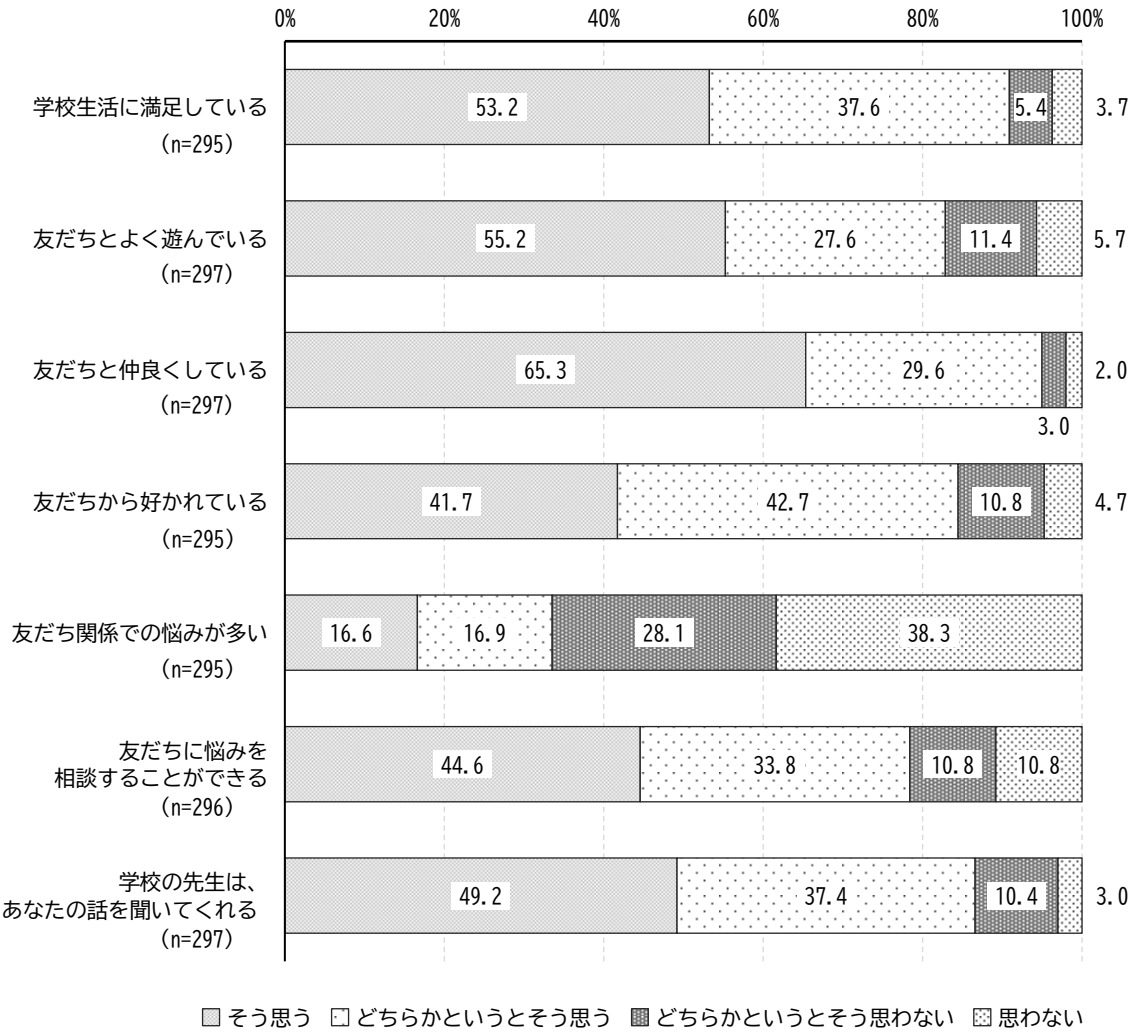


４．学校での生活や友達について

（1）学校生活について

問１５　あなたは、学校生活についてどう思っていますか。（それぞれ１つを選択）

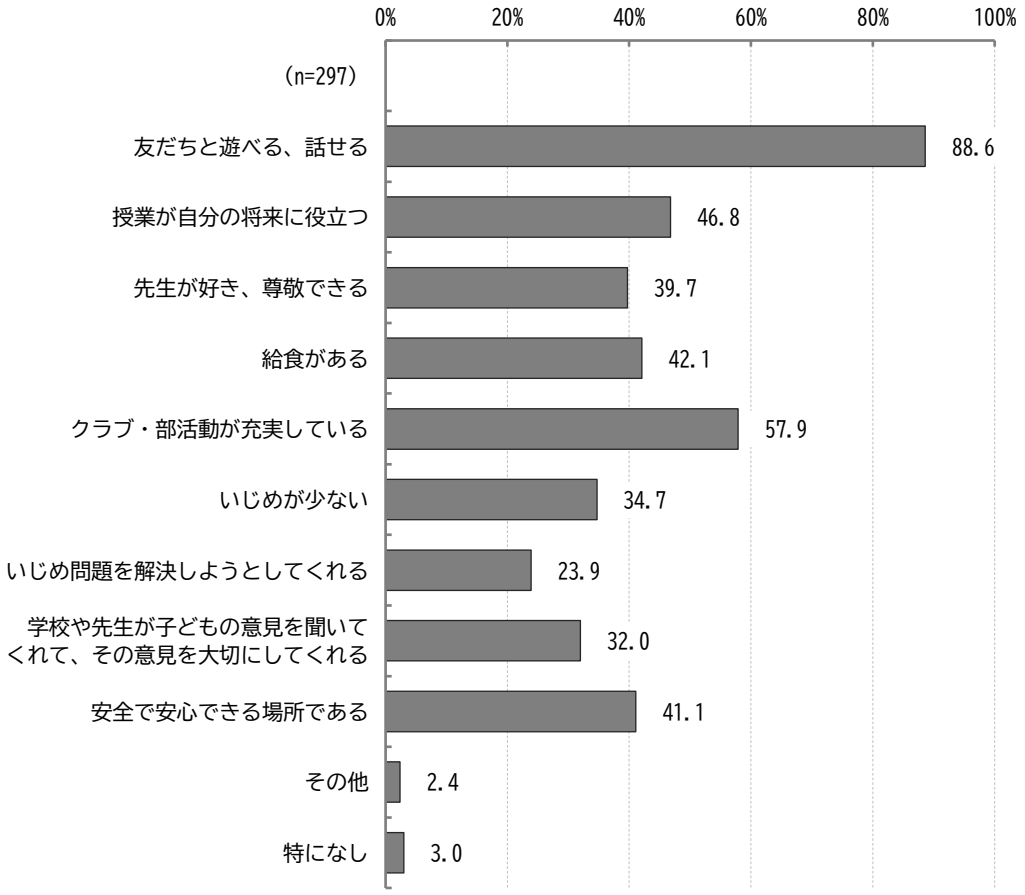
『学校生活に満足している』『友だちとよく遊んでいる』『友だちと仲良くしている』は「そう思う」の割合が５割以上と最も高くなっている。「思わない」の割合は『友だち関係での悩みが多い』で 38.3%と最も高くなっている。



（2）学校生活で良いと思うこと

問１６　学校での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

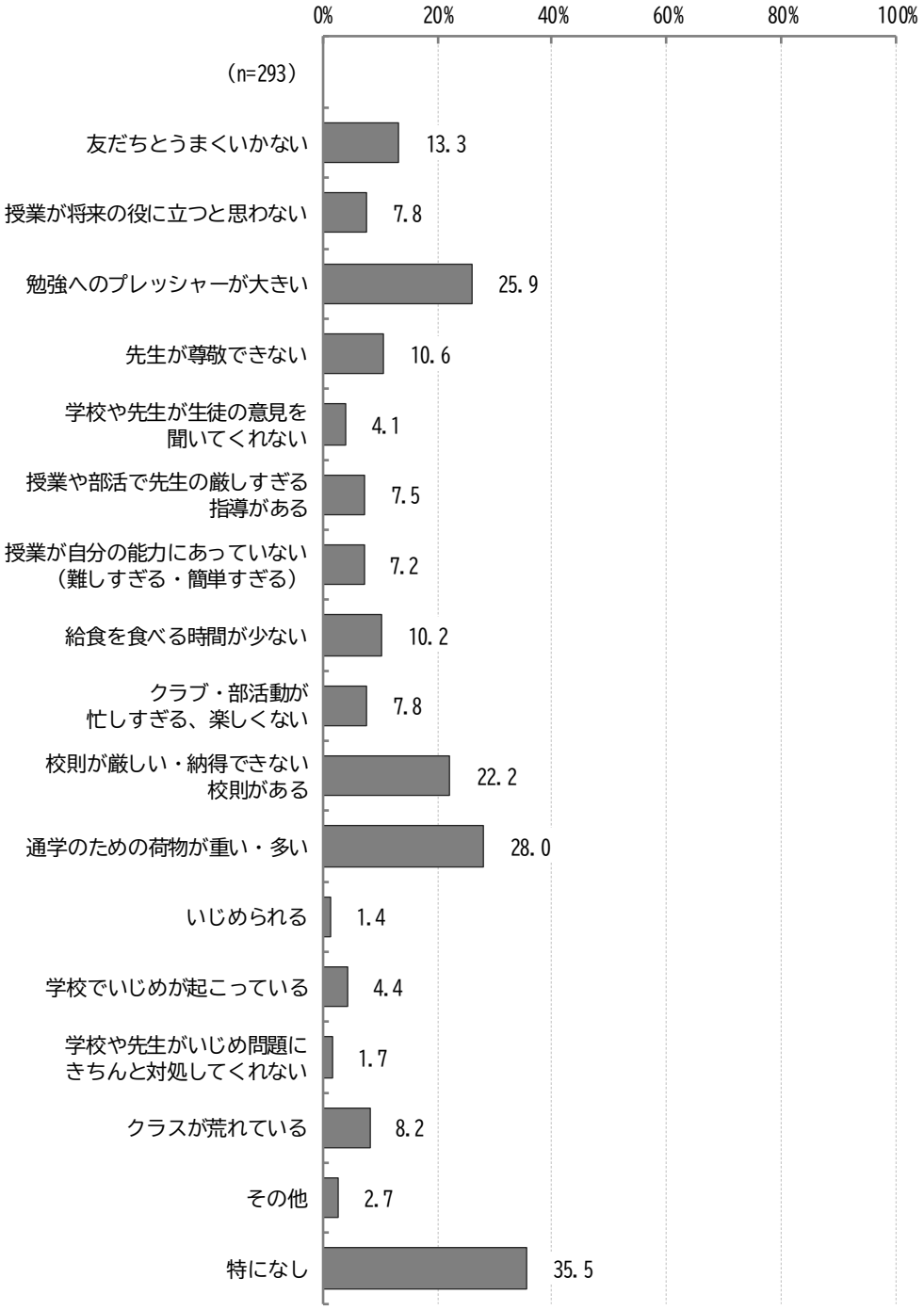
「友だちと遊べる、話せる」が 88.6%と最も多く、次いで「クラブ・部活動が充実している」が 57.9%、「授業が自分の将来に役立つ」が 46.8%となっている。



（3）学校生活で不安や不満に感じること

問１７　学校での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

「特になし」が 35.5%と最も多く、次いで「通学のための荷物が重い・多い」が 28.0%、「勉強へのプレッシャーが大きい」が 25.9%となっている。

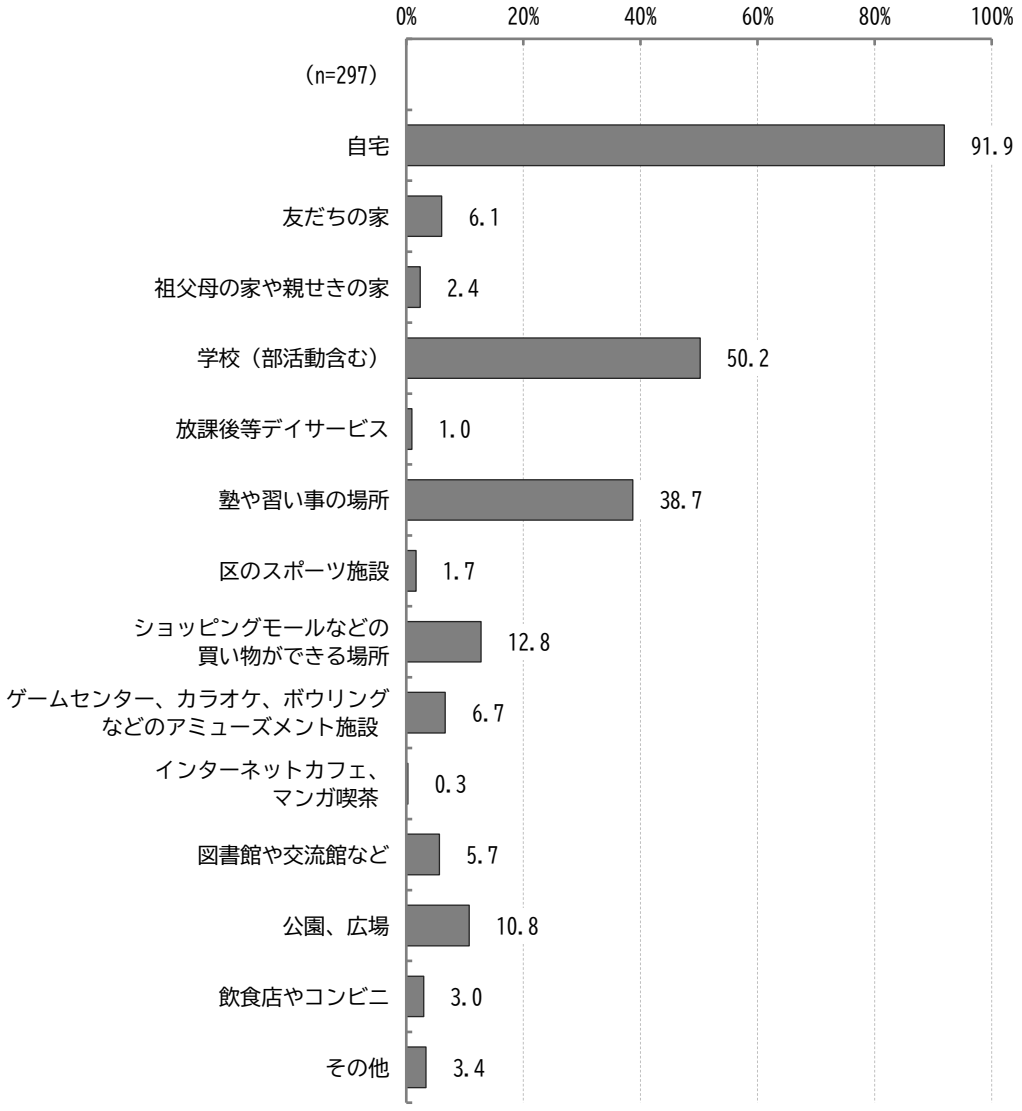


５．普段の過ごし方や地域の活動について

（1）放課後や休日に過ごす場所

問１８　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（３つまで選択）

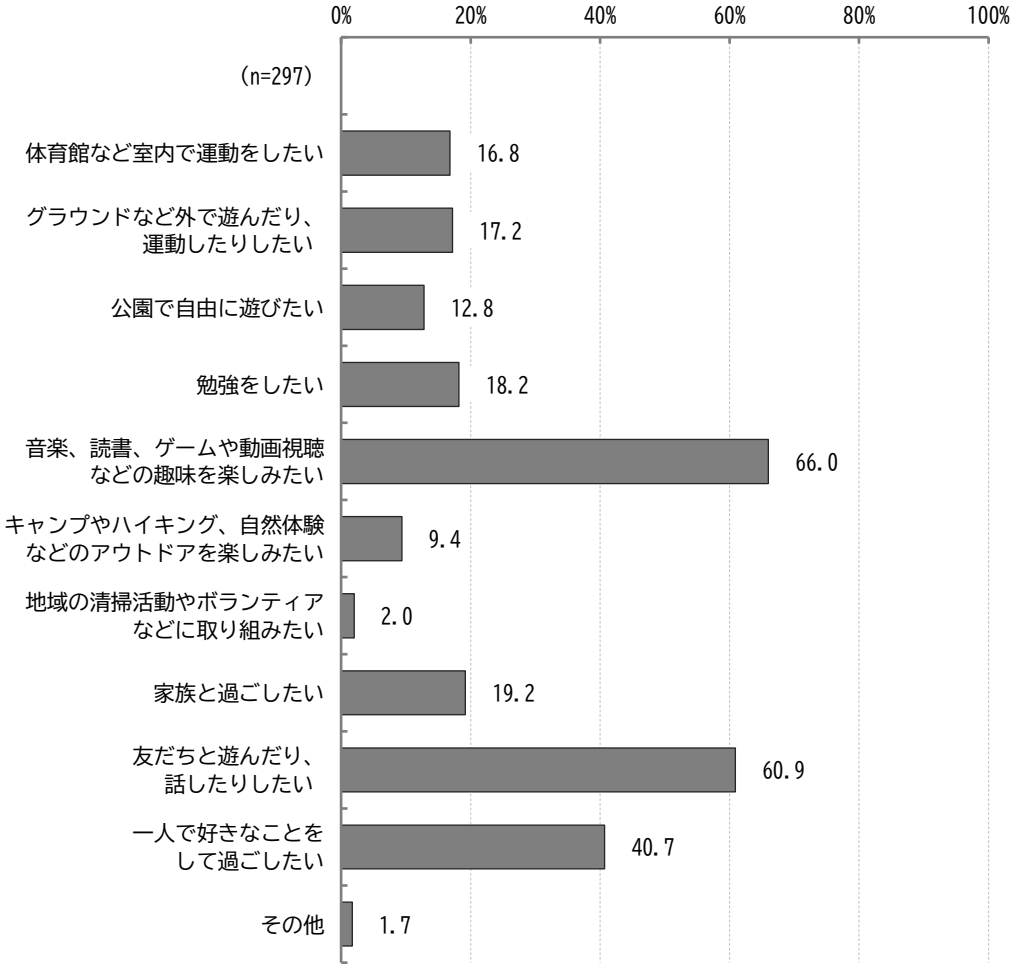
「自宅」が 91.9%と最も多く、次いで「学校（部活動含む）」が 50.2%、「塾や習い事の場所」が 38.7%となっている。



（2）放課後や休日はどのように過ごしたいか

問１９　放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。（３つまで選択）

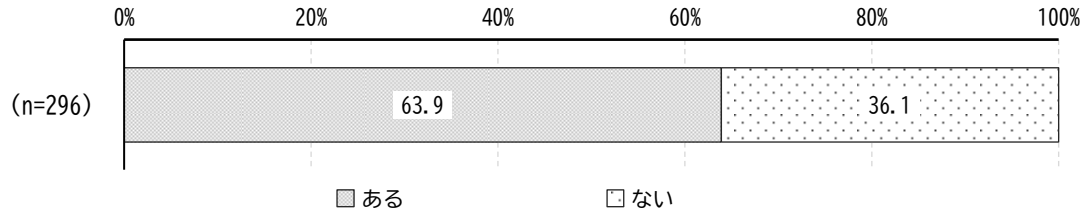
「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が 66.0%と最も多く、次いで「友だちと遊んだり、話したりしたい」が 60.9%、「一人で好きなことをして過ごしたい」が 40.7%となっている。



（3）家と学校以外で放課後や休日に過ごしたい場所の有無

問２０　家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が品川区にありますか。（１つを選択）

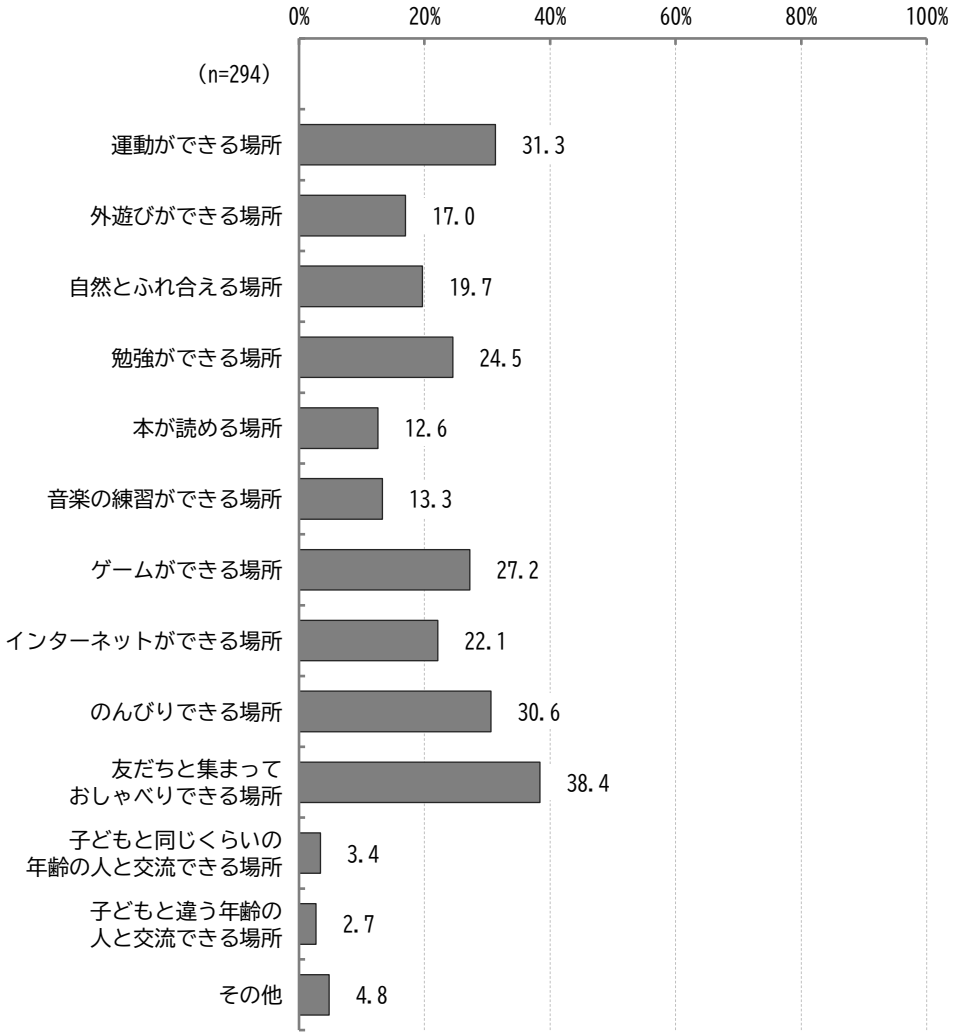
「ある」が 63.9%、「ない」が 36.1%となっている。



（4）放課後や休日に過ごす場所であったら良いと思うもの

問２１　放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったらいいと思うもの

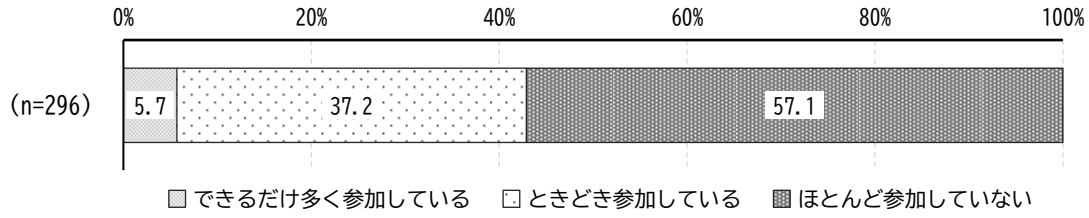
「友だちと集まっておしゃべりできる場所」が 38.4%と最も多く、次いで「運動ができる場所」が 31.3%、「のんびりできる場所」が 30.6%となっている。



（5）学校以外の地域行事や活動

問２２　学校以外の地域行事や活動にどのくらい参加していますか

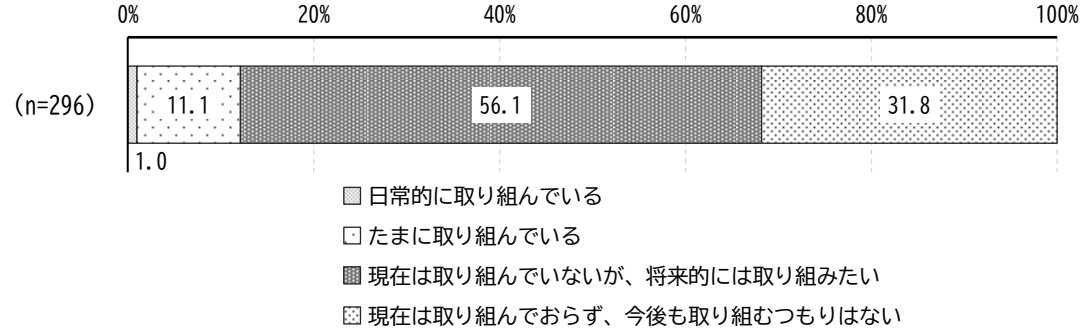
「ほとんど参加していない」が 57.1%と最も多く、「ときどき参加している」が 37.2%、「できるだけ多く参加している」が 5.7%となっている。



（6）コミュニティや地域社会での支援

問２３　あなたはコミュニティや地域社会で他人を支援したり、支えたりしたことがありますか。

「現在は取り組んでいないが、将来的には取り組みたい」が 56.1%と最も多く、次いで「現在は取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない」が 31.8%、「たまに取り組んでいる」が 11.1%となっている。

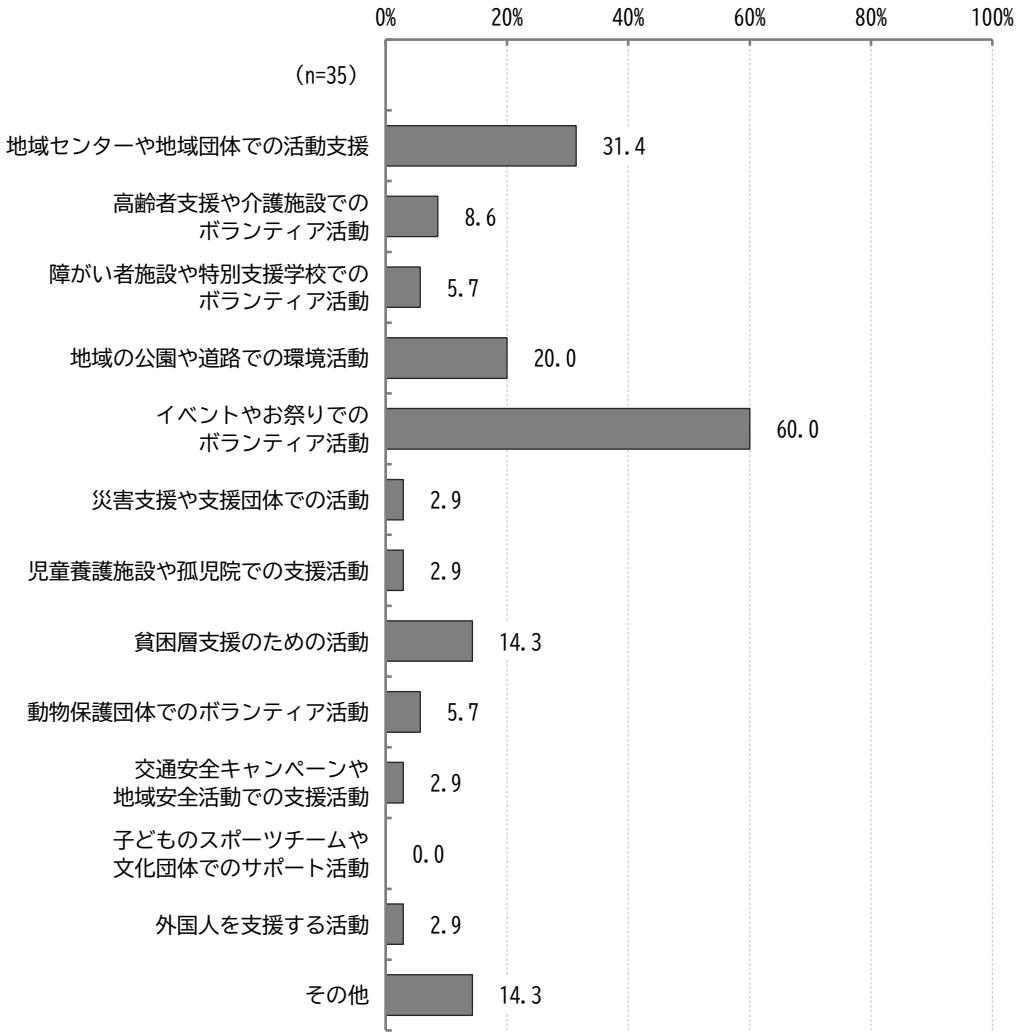


問２３で、「１．日常的に取り組んでいる」または「２．たまに取り組んでいる」を選んだ方に伺います。

（7）取り組んでいる場所

問２３－１　どんな場所で取り組んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）

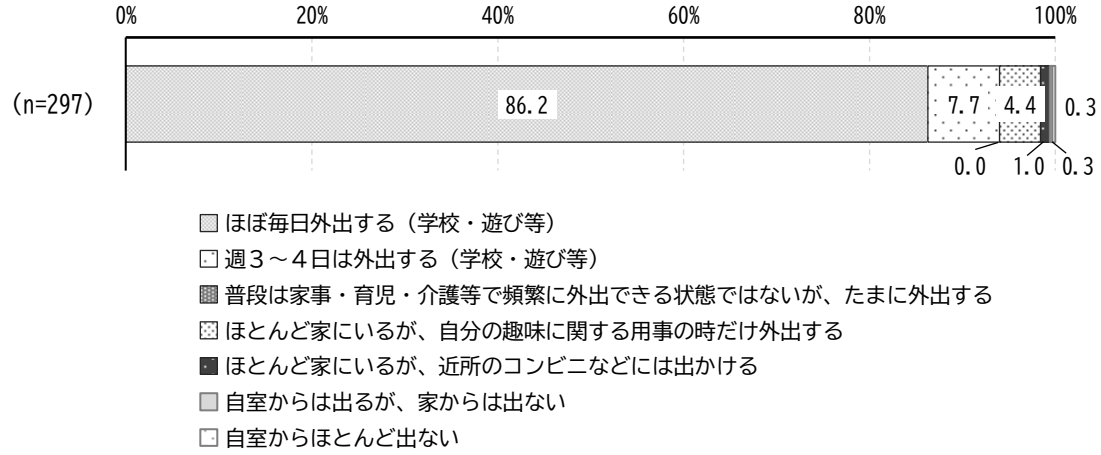
「イベントやお祭りでのボランティア活動」が 60.0%と最も多く、次いで「地域センターや地域団体での活動支援」が 31.4%、「地域の公園や道路での環境活動」が 20.0%となっている。



（8）普段の外出状況

問２４　あなたの普段の外出状況をお答えください。（１つを選択）

「ほぼ毎日外出する（学校・遊び等）」が 86.2%と最も多く、次いで「週３～４日は外出する（学校・遊び等）」が 7.7%、「ほとんど家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 4.4%となっている。

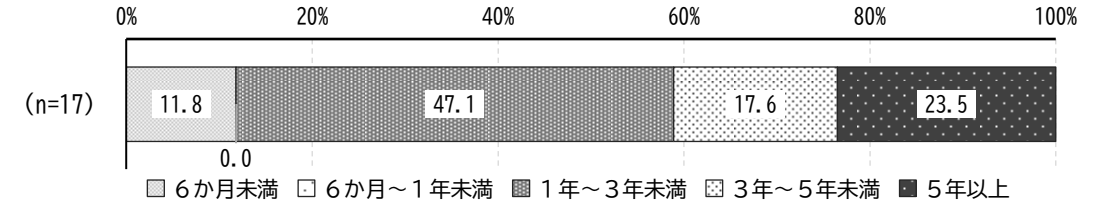


問２４で、「４．ほとんど家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「７．自室からほとんど出ない」を選んだ方に伺います。

（9）その状態が続いている期間

問２４-１　その状態はどのくらい続いていますか。（１つを選択）

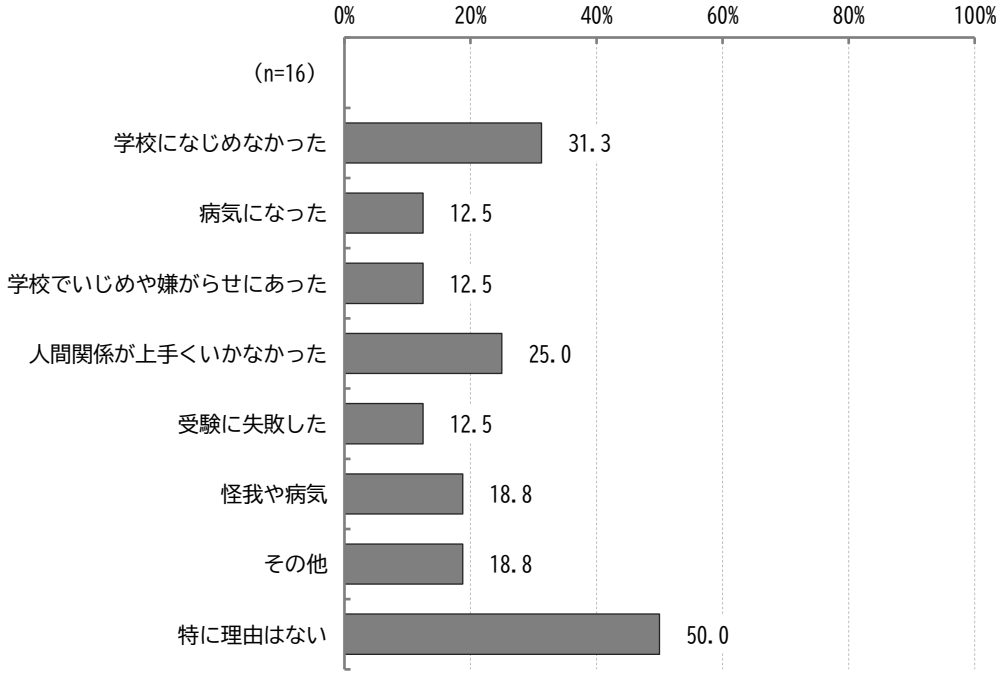
「１年～３年未満」が 47.1%と最も多く、次いで「５年以上」が 23.5%、「３年～５年未満」が 17.6%となっている。



（１０）その状態になったきっかけ

問２４-２　その状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

「特に理由はない」が 50.0%と最も多く、次いで「学校になじめなかった」が 31.3%、「人間関係が上手くいかなかった」が 25.0%となっている。

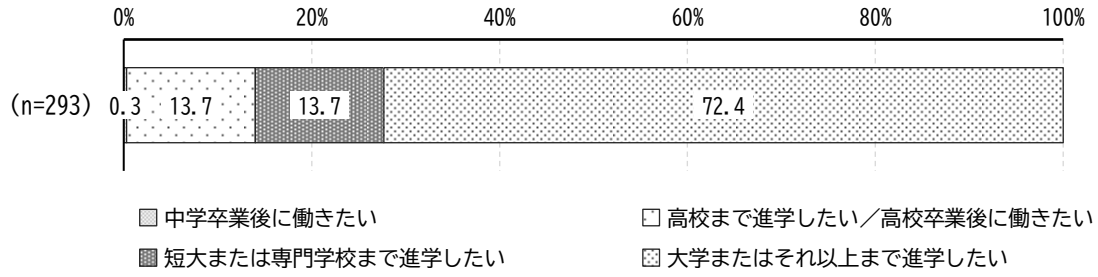


６．将来について

（１）将来の進路

問２５　あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。（１つを選択）

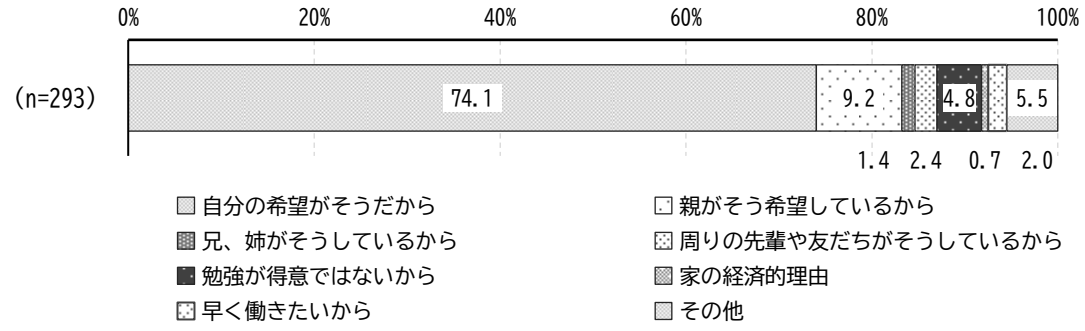
「大学またはそれ以上まで進学したい」が 72.4%と最も多く、次いで「高校まで進学したい／高校卒業後に働きたい」「短大または専門学校まで進学したい」が 13.7%となっている。



（２）将来の進路を考えた理由

問２５－１　将来の進路をそのように答えたのはなぜですか。（１つを選択）

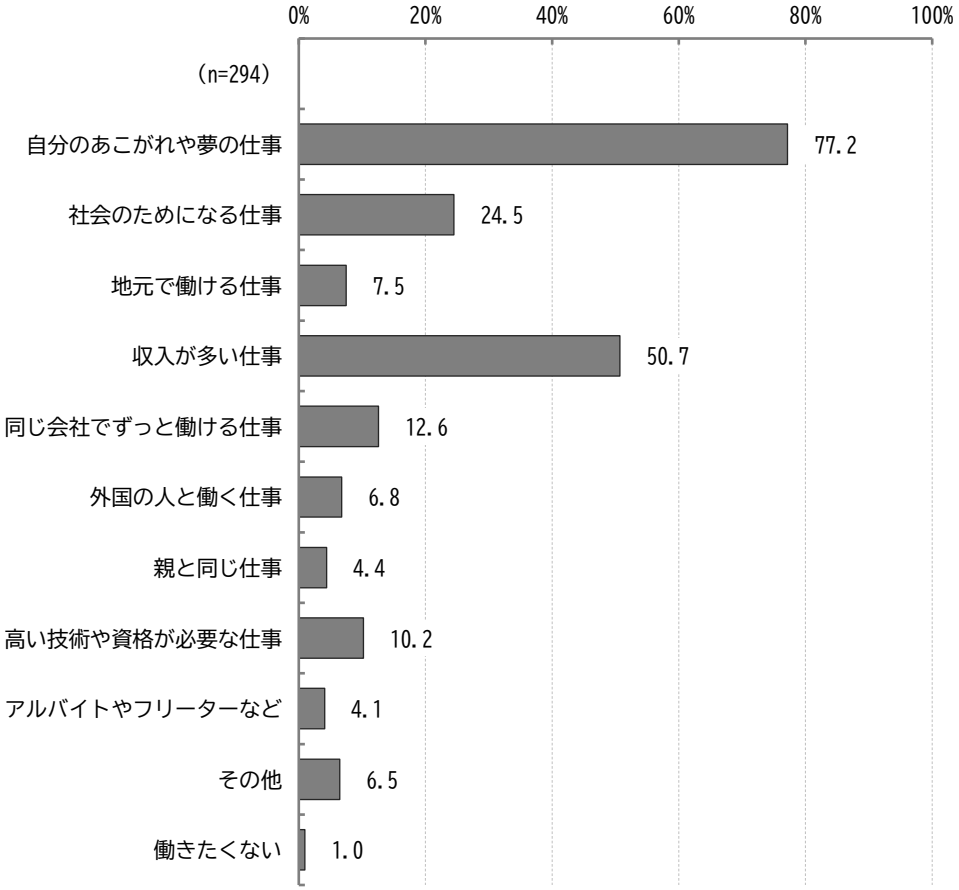
「自分の希望がそうだから」が 74.1%と最も多く、次いで「親がそう希望しているから」が 9.2%、「その他」が 5.5%となっている。



（3）将来就きたい仕事

問２６　将来はどのような仕事につきたいですか。（３つまで選択）

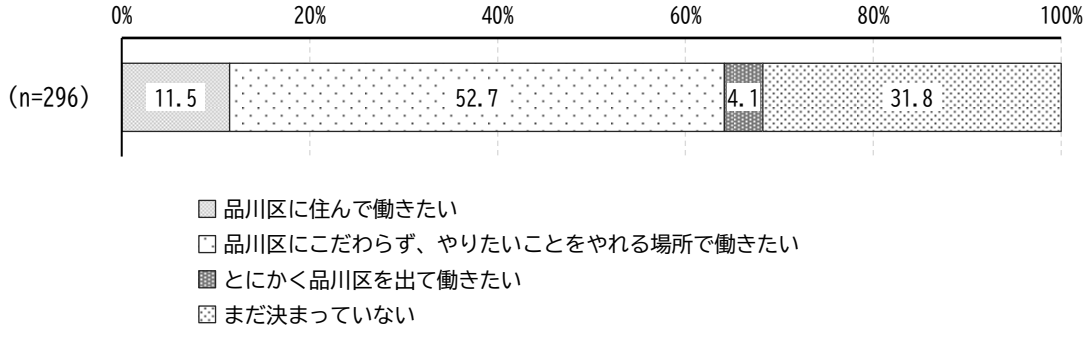
「自分のあこがれや夢の仕事」が 77.2%と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が 50.7%、「社会のためになる仕事」が 24.5%となっている。



（4）将来品川区で働きたいか

問２７　あなたは、将来品川区で働きたいと考えていますか。（１つを選択）

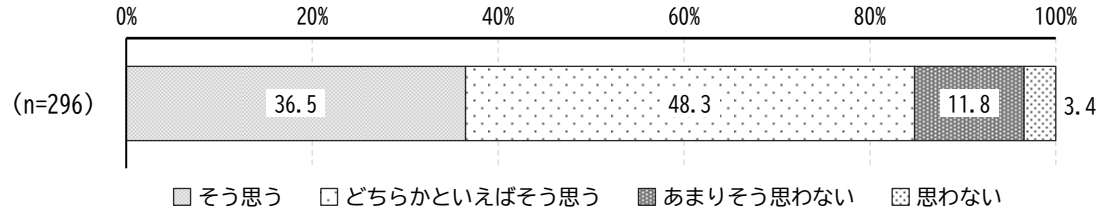
「品川区にこだわらず、やりたいことをやれる場所で働きたい」が 52.7%と最も多く、次いで「まだ決まっていない」が 31.8%、「品川区に住んで働きたい」が 11.5%となっている。



（5）今住んでいる地域に住み続けたいか

問２８　現在自分の住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。（１つを選択）

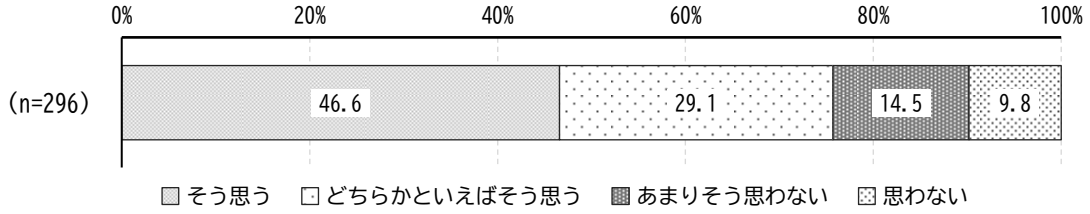
「どちらかといえばそう思う」が 48.3%と最も多く、次いで「そう思う」が 36.5%、「あまりそう思わない」が 11.8%となっている。



（6）将来結婚したいか

問２９　あなたは、将来結婚したいと思いますか。（１つを選択）

「そう思う」が 46.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.1%、「あまりそう思わない」が 14.5%となっている。

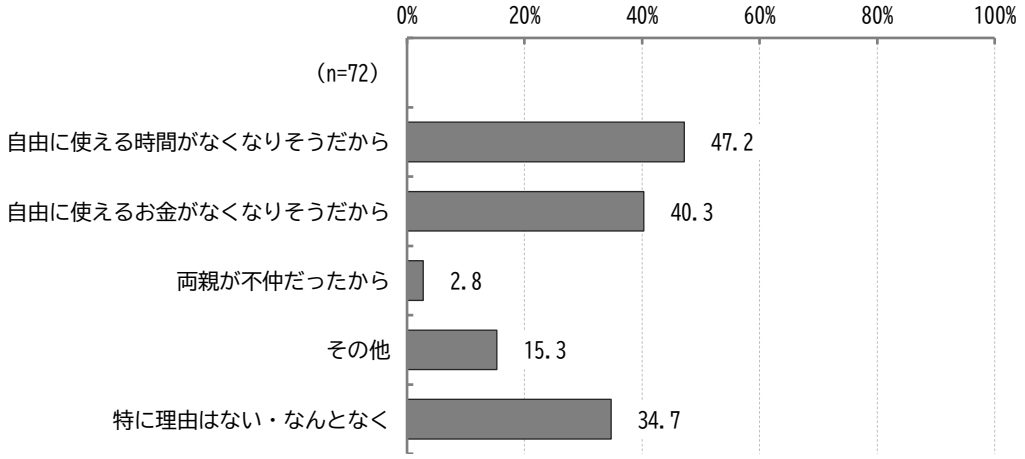


問２９で、「３．あまりそう思わない」または「４．思わない」を選んだ方に伺います。

（7）結婚したいと思わない理由

問２９－１　結婚したいと思わない理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。
（あてはまるものすべてを選択）

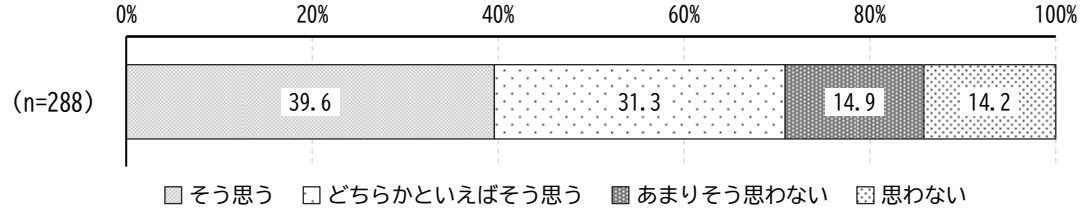
「自由に使える時間がなくなりそうだから」が 47.2%と最も多く、次いで「自由に使えるお金がなくなりそうだから」が 40.3%、「特に理由はない・なんとなく」が 34.7%となっている。



（8）将来子どもを育てたいか

問３０　あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか（１つを選択）

「そう思う」が 39.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.3%、「あまりそう思わない」が 14.9%となっている。

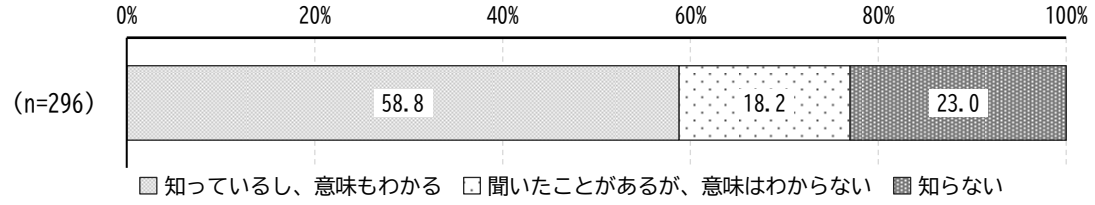


７．ヤングケアラーについて

（1）ヤングケアラーという言葉を知っているか

問３１　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

「知っているし、意味もわかる」が 58.8%と最も多く、次いで「知らない」が 23.0%、「聞いたことがあるが、意味はわからない」が 18.2%となっている。

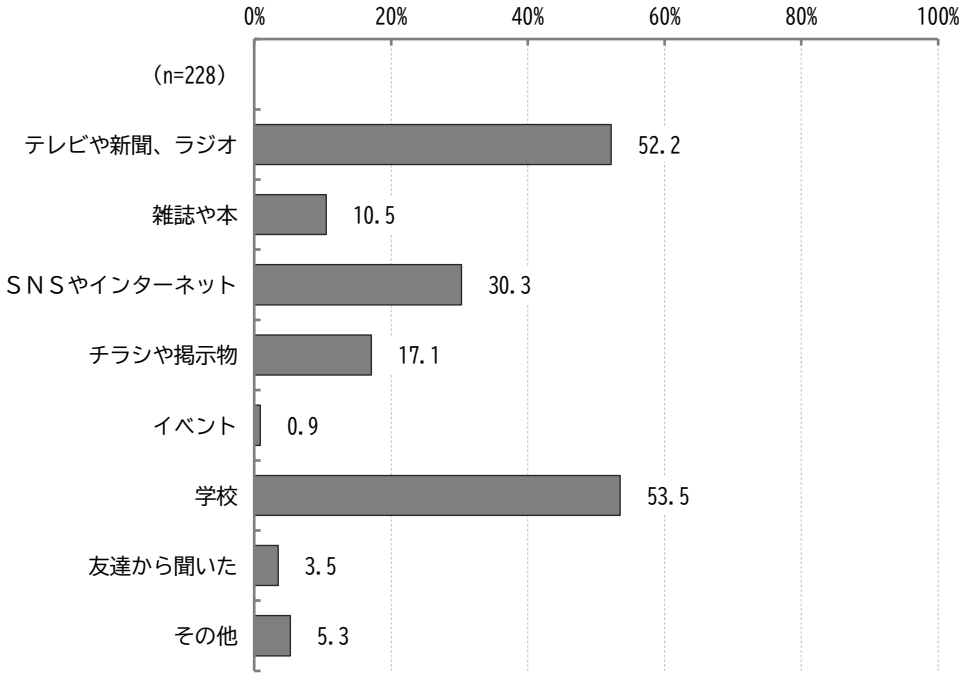


問３１で「1．知っているし、意味もわかる」または「2．聞いたことがあるが、意味はわからない」を選んだ方に伺います。

（2）ヤングケアラーという言葉を知った場所

問３１―１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか

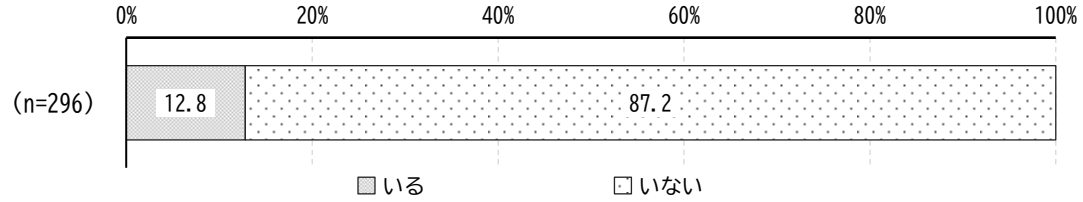
「学校」が 53.5%と最も多く、次いで「テレビや新聞、ラジオ」が 52.2%、「ＳＮＳやインターネット」が 30.3%となっている。



（3）世話が必要な家族の有無

問３２　あなたはお世話をする家族がいますか。（１つを選択）

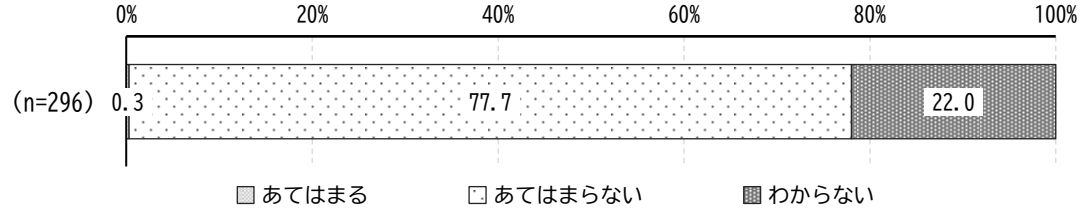
「いない」が 87.2%と最も多く、次いで「いる」が 12.8%となっている。



（4）ヤングケアラーに当てはまると思うか

問３３　あなたはヤングケアラーにあてはまると思いますか。（１つを選択）

「あてはまらない」が 77.7%と最も多く、次いで「わからない」が 22.0%、「あてはまる」が 0.3%となっている。

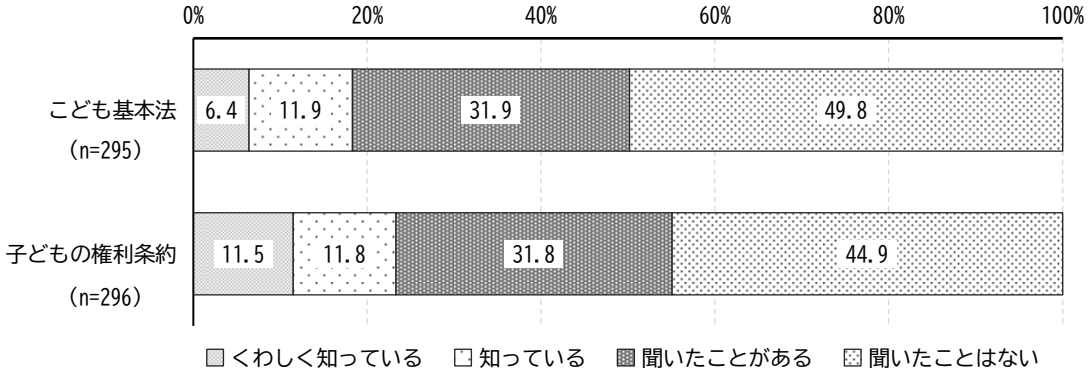


８．子どもの権利について

（1）「こども基本法」「子どもの権利条約」の認知度

問３４　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

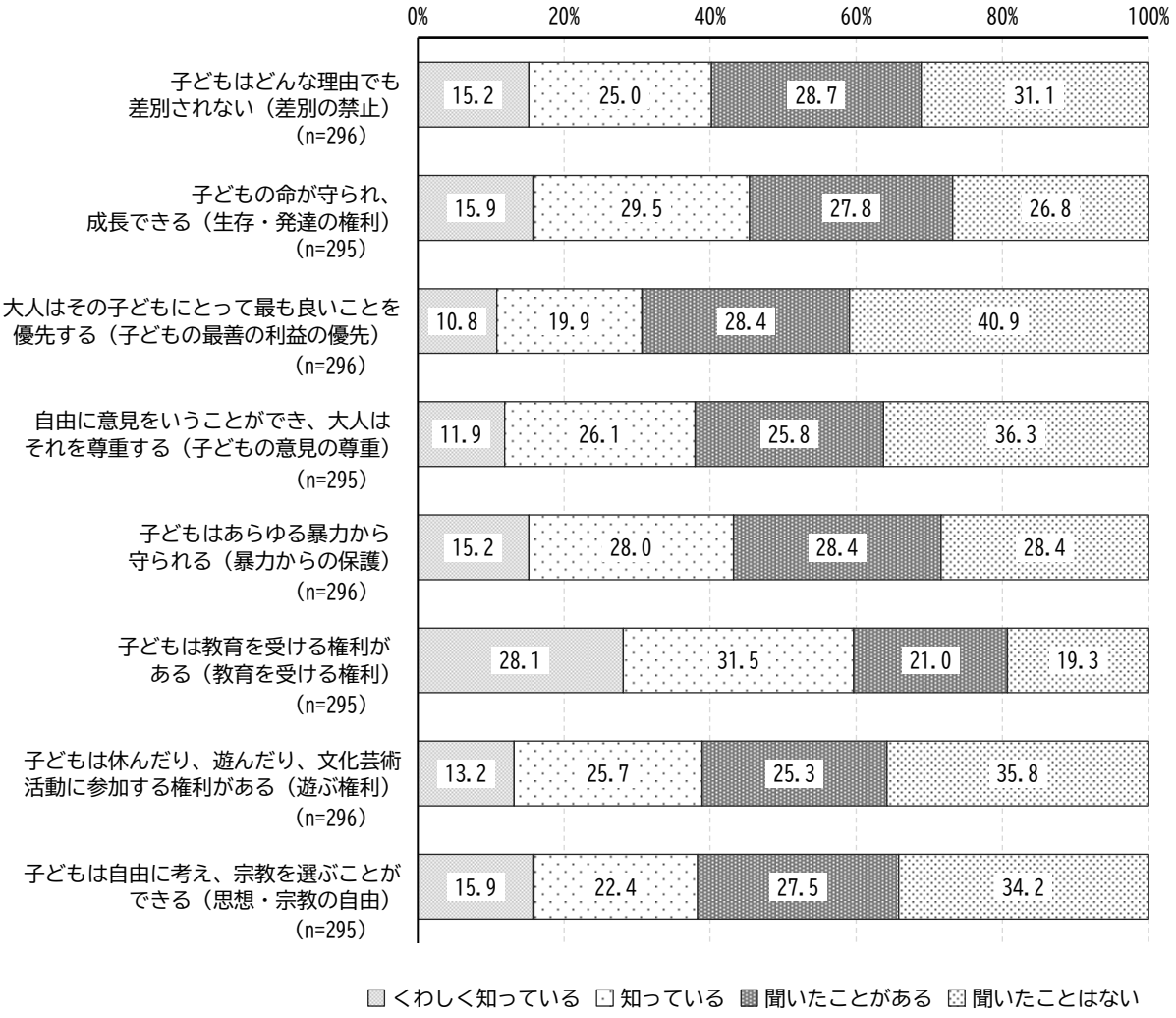
『こども基本法』『子どもの権利条約』どちらも認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は２割程度と低くなっている。



（2）「子どもの権利」の認知度

問３５　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

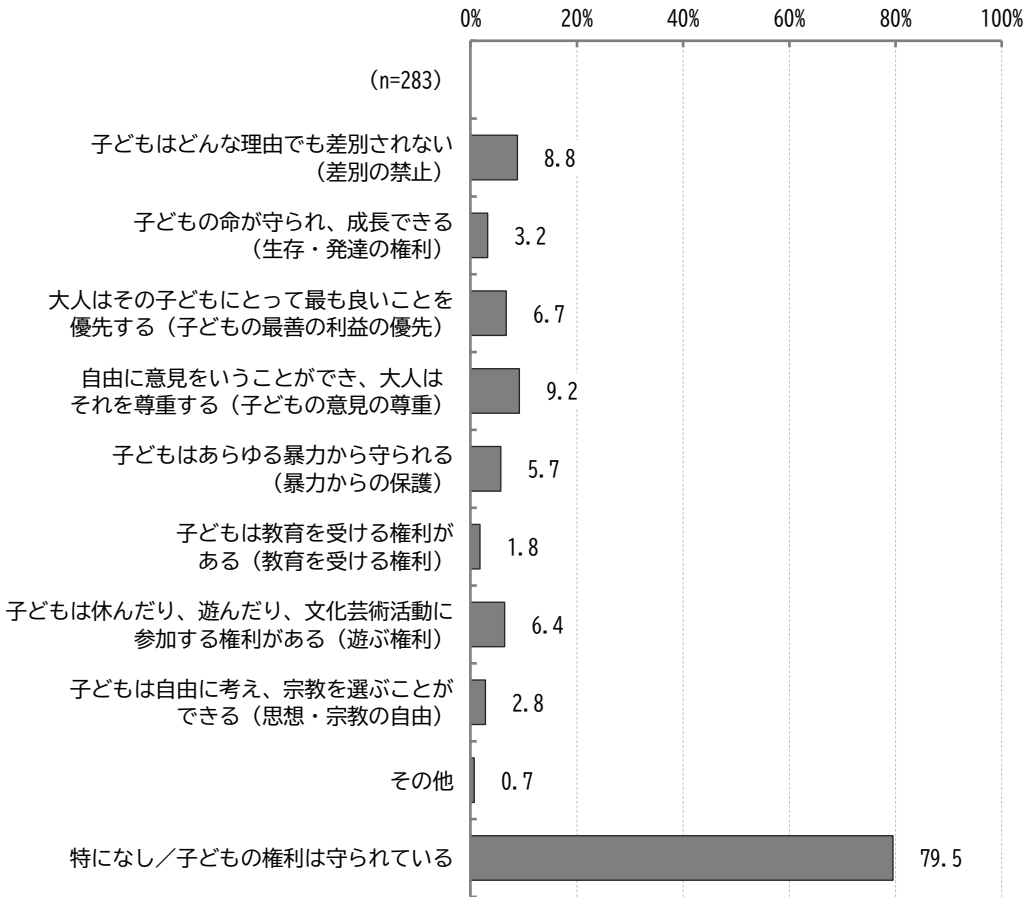
『子どもは教育を受ける権利がある』の、認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は59.6%と特に高くなっている。『大人はその子どもにとって最も良いことを優先する』は「聞いたことはない」が40.9%と認知度が最も低くなっている。



（3）子どもの権利で守られていないもの

問３６　あなたや、あなたの子どもの周りの子どもで、子どもの権利が守られていないものはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

「特になし／子どもの権利は守られている」が 79.5%と最も多く、次いで「自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）」が 9.2%、「子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）」が 8.8%となっている。

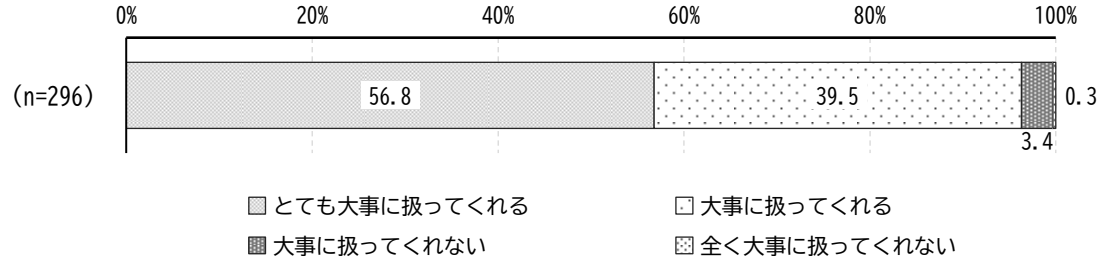


（4）親や先生は自分のことを大事にしているか

問３７　あなたの親や先生は、あなたについてのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事に扱ってくれると思いますか。（それぞれ１つを選択）

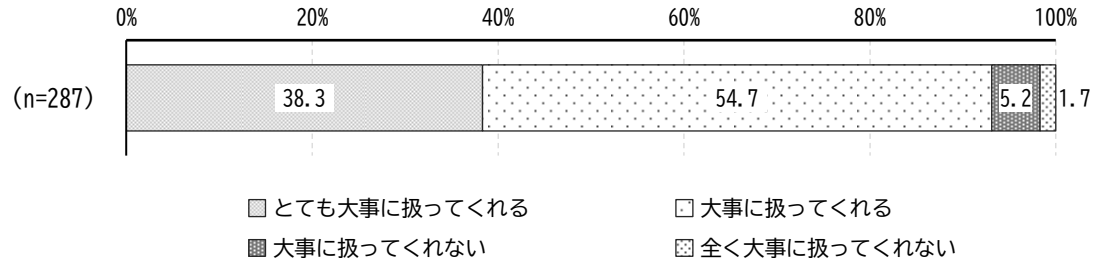
【親】

「とても大事に扱ってくれる」が 56.8%と最も多く、次いで「大事に扱ってくれる」が 39.5%、「大事に扱ってくれない」が 3.4%となっている。



【先生】

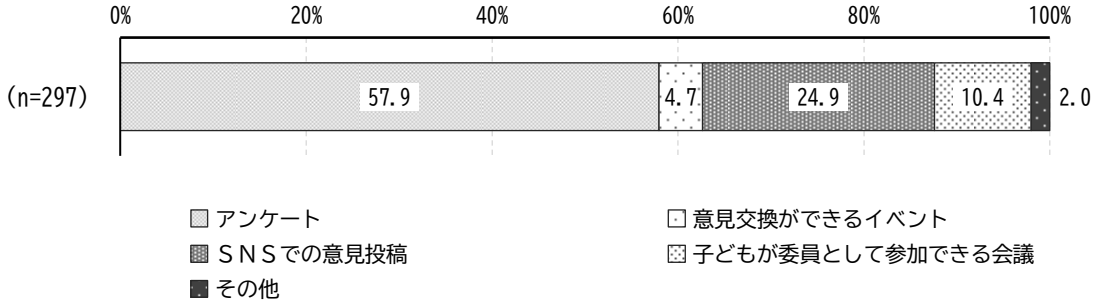
「大事に扱ってくれる」が 54.7%と最も多く、次いで「とても大事に扱ってくれる」が 38.3%、「大事に扱ってくれない」が 5.2%となっている。



（5）品川区に自分の意見を言える機会

問３８　品川区では、大人だけでなく、子どもの意見も大切にしています。
どのような機会があれば、自分の意見を品川区に言えると思いますか。（１つを選択）

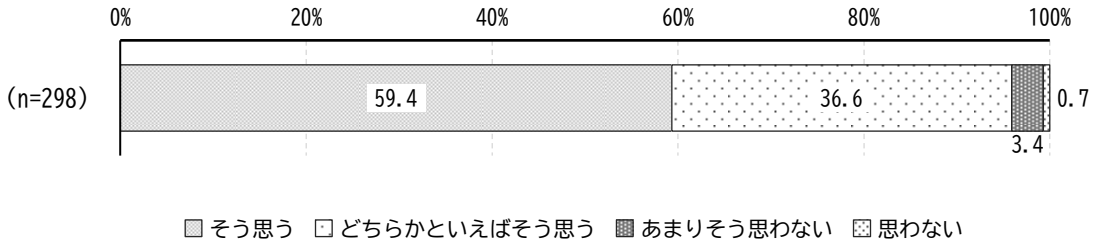
「アンケート」が 57.9%と最も多く、次いで「ＳＮＳでの意見投稿」が 24.9%、「子どもが委員として参加できる会議」が 10.4%となっている。



（6）品川区は住みよいと思うか

問３９　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

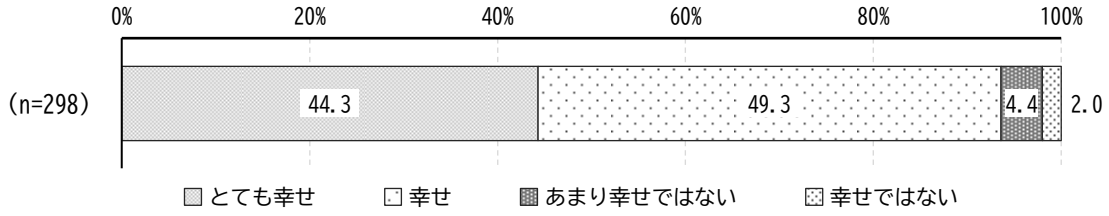
「そう思う」が 59.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.6%、「あまりそう思わない」が 3.4%となっている。



（7）現在の生活が幸せか

問４０　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

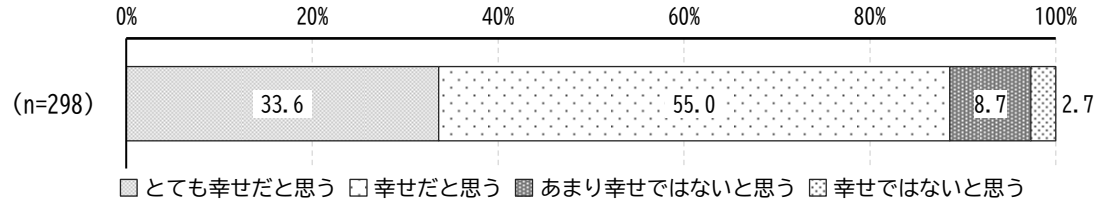
「幸せ」が 49.3%と最も多く、次いで「とても幸せ」が 44.3%、「あまり幸せではない」が 4.4%となっている。



（8）５年後の生活に幸せを感じているか

問４１　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

「幸せだと思う」が 55.0%と最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が 33.6%、「あまり幸せではないと思う」が 8.7%となっている。



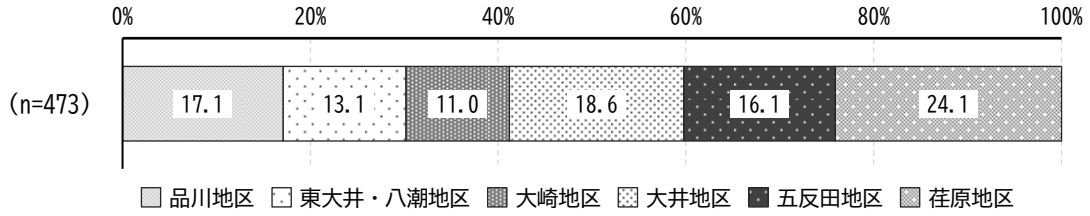
Ⅳ　若者

１．回答者の属性

（1）居住地区

問１　お住まいの地区をお答えください。（１つを選択）

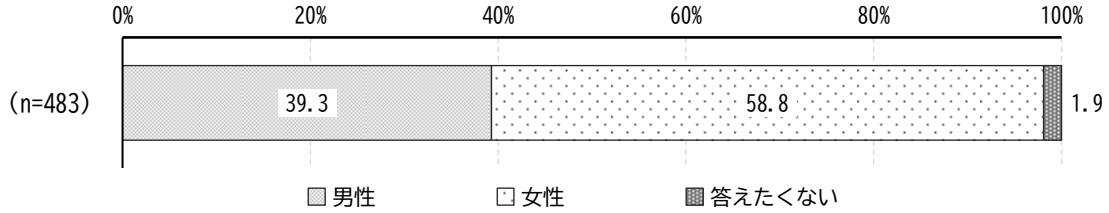
「荏原地区」が 24.1%と最も多く、次いで「大井地区」が 18.6%、「品川地区」が 17.1%となっている。



（2）性別

問２　性別を教えてください。（１つを選択）

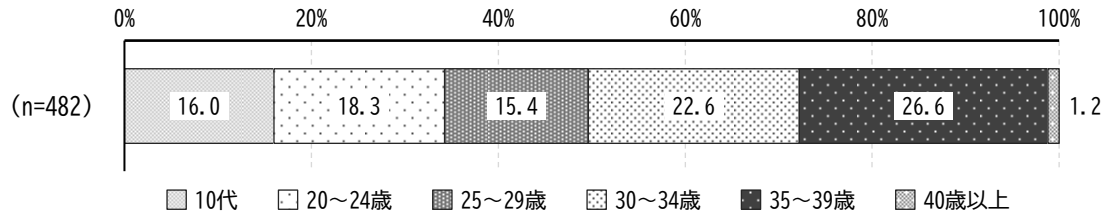
「女性」が 58.8%、「男性」が 39.3%、「答えたくない」が 1.9%となっている。



（3）年齢

問３　年齢を教えてください。（□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）

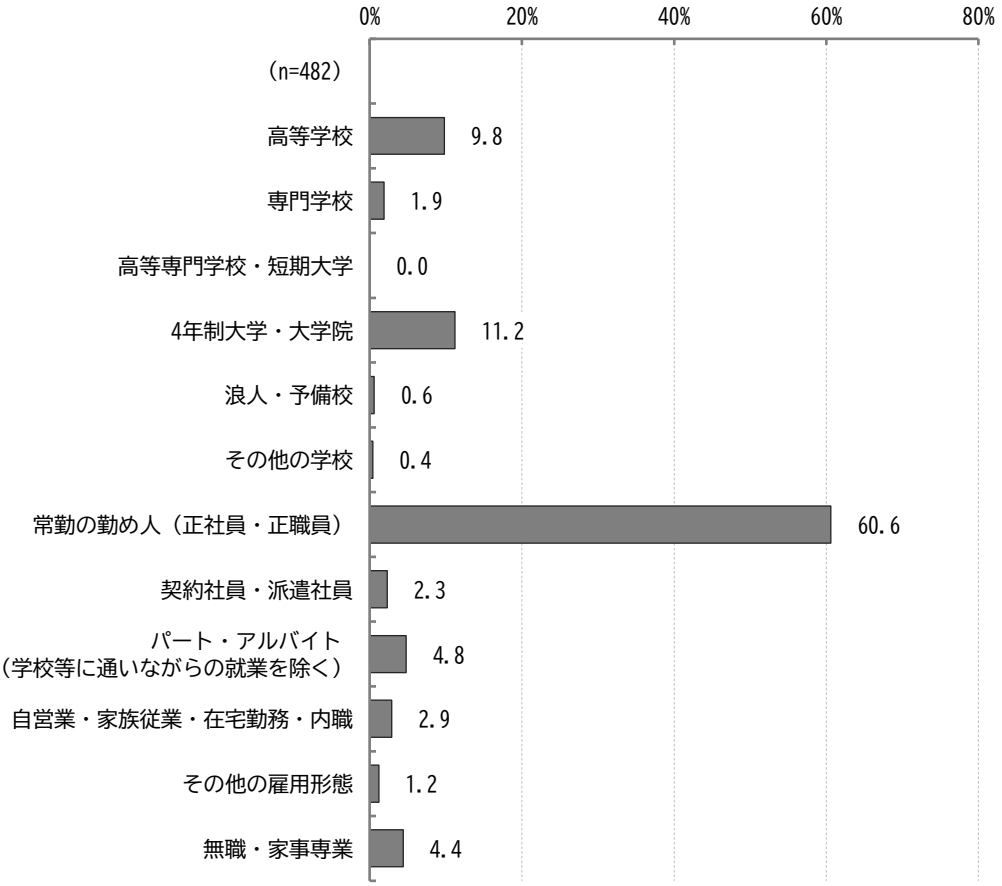
「35～39 歳」が 26.6%と最も多く、次いで「30～34 歳」が 22.6%、「20～24 歳」が 18.3%となっている。



（4）学業や仕事の状況

問４　あなたは現在、学業や仕事に従事していますか。（１つを選択）

「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 60.6%と最も多く、次いで「4 年制大学・大学院」が 11.2%、「高等学校」が 9.8%となっている。

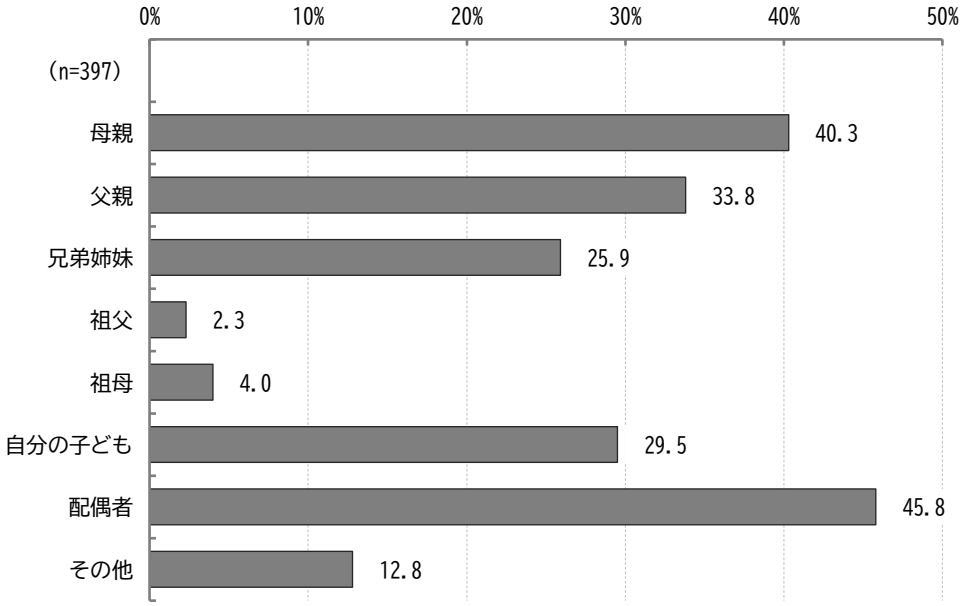


（5）家族構成

問５　誰と一緒に住んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

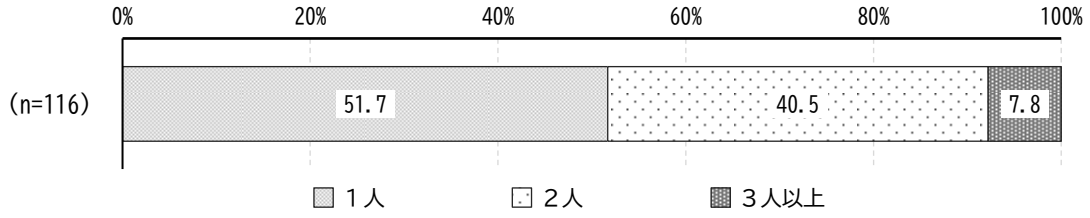
【一緒に住んでいる人】

「配偶者」が 45.8%と最も多く、次いで「母親」が 40.3%、「父親」が 33.8%となっている。



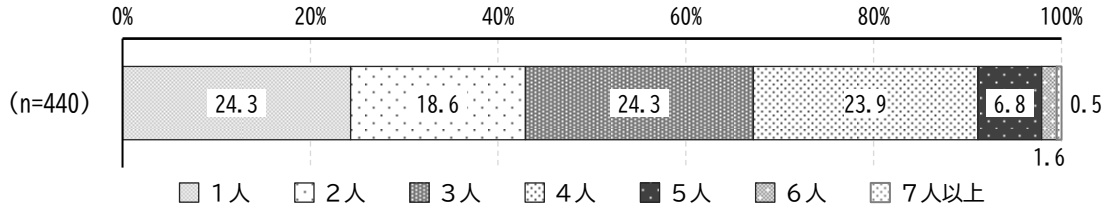
【自分の子どもの人数】

「１人」が 51.7%と最も多く、次いで「２人」が 40.5%、「３人以上」が 7.8%となっている。



【家族の人数】

「３人」「１人」が 24.3%と最も多く、次いで「４人」が 23.9%となっている。

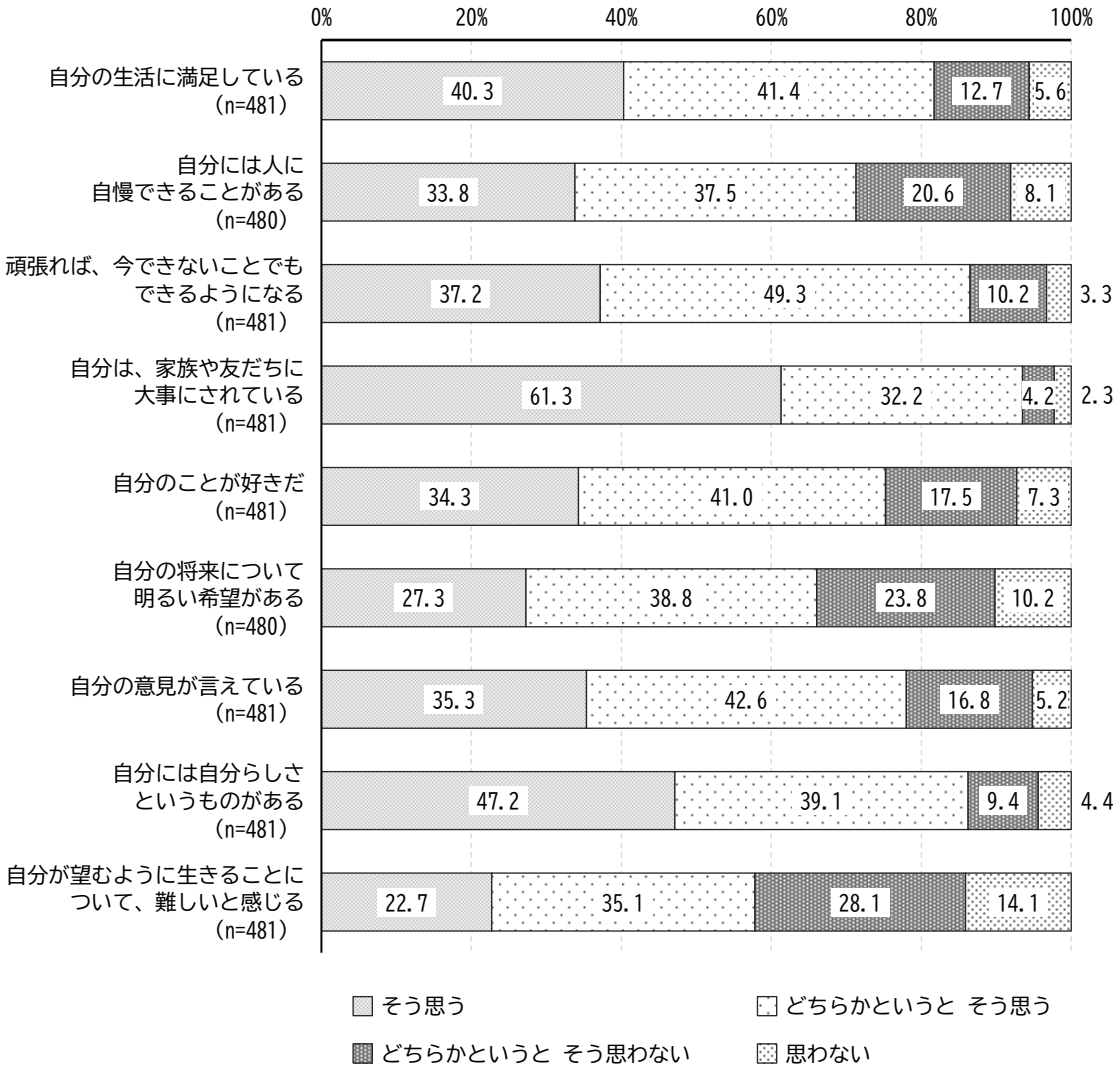


２．自分自身のこと、悩みごと、相談先について

（1）自分自身の考え

問６　あなた自身の考えを教えてください。（それぞれ１つを選択）

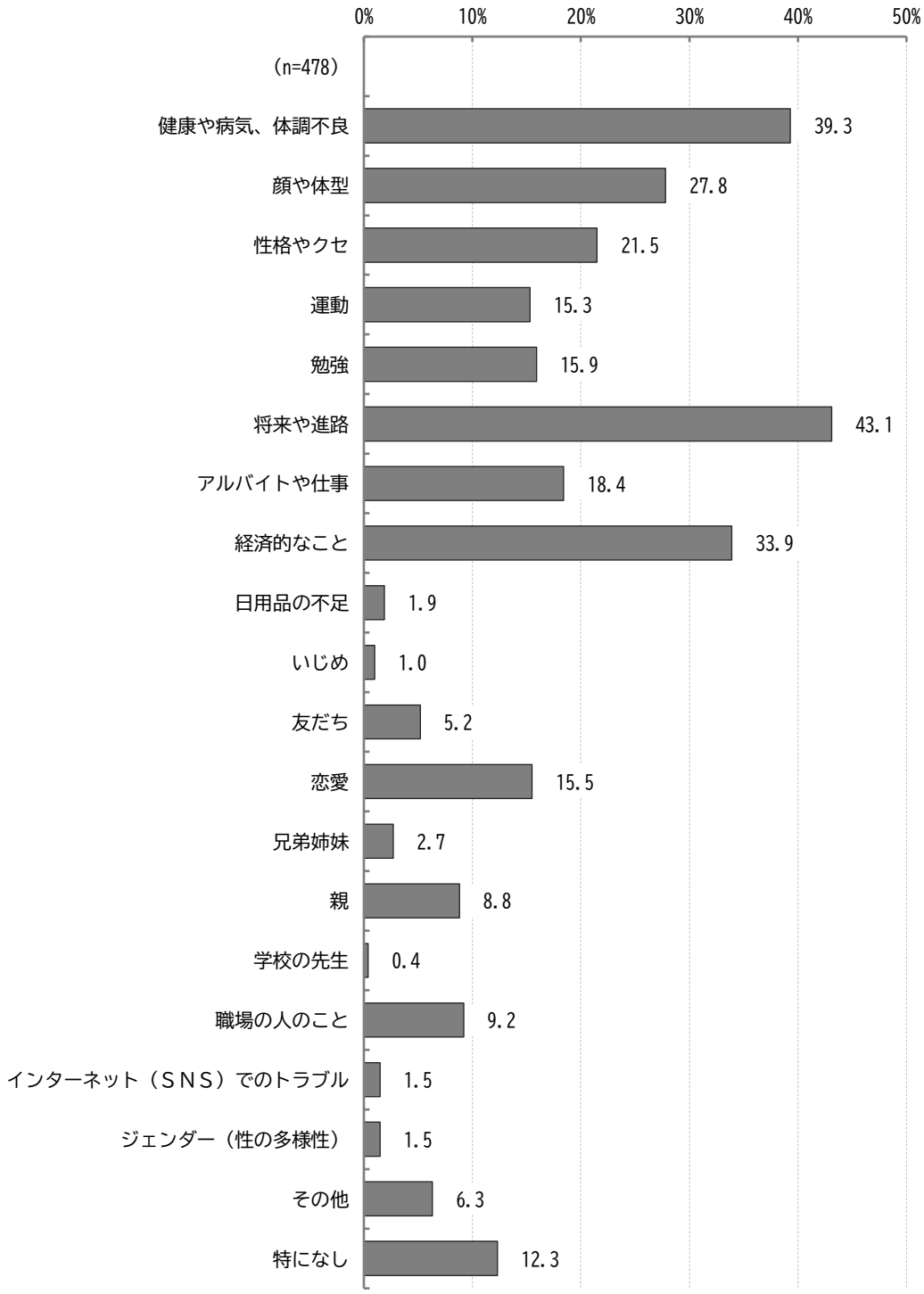
「自分は、家族や友だちに大事にされている」は、「そう思う」の割合が 61.3%と特に高くなっている。「思わない」の割合は『自分が望むように生きることについて、難しいと感じる』で 14.1%と最も高くなっている。



（2）悩みや心配なこと

問７　悩みや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

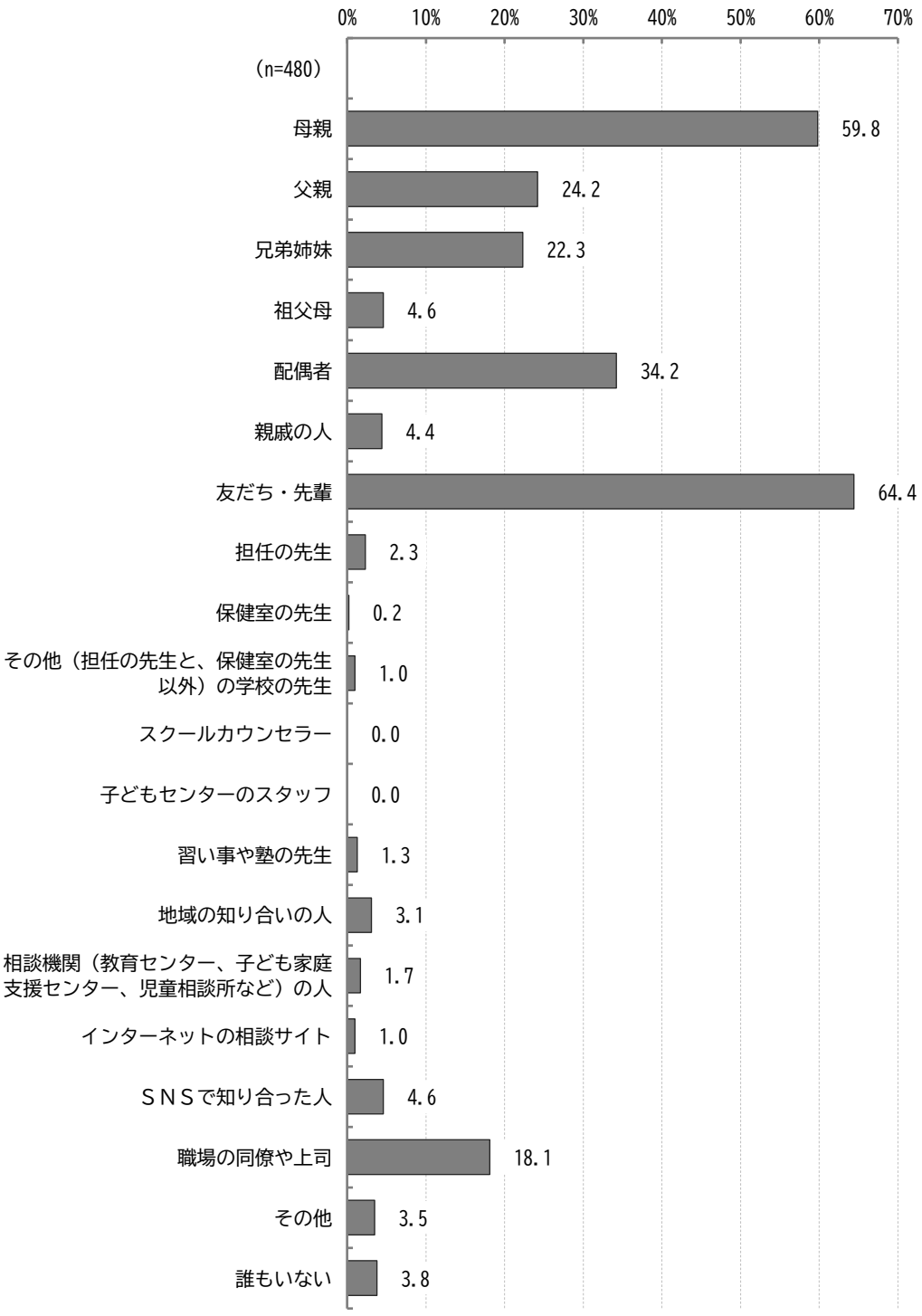
「将来や進路」が 43.1%と最も多く、次いで「健康や病気、体調不良」が 39.3%、「経済的なこと」が 33.9%となっている。



（3）相談相手

問８　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。
（あてはまるものすべてを選択）

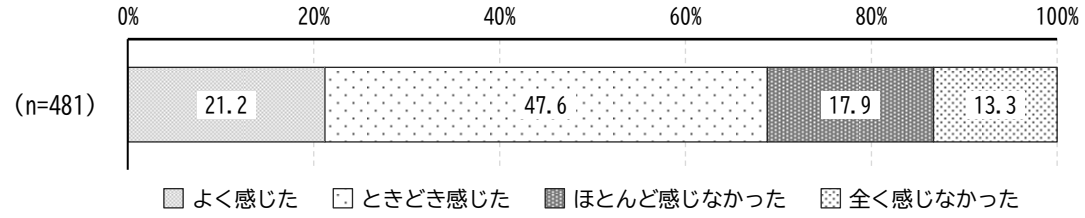
「友だち・先輩」が 64.4%と最も多く、次いで「母親」が 59.8%、「配偶者」が 34.2%となっている。



（4）ストレスや生きづらさ

問９　最近、ストレスや生きづらさを感じましたか。（１つを選択）

「ときどき感じた」が 47.6%と最も多く、次いで「よく感じた」が 21.2%、「ほとんど感じなかった」が 17.9%となっている。

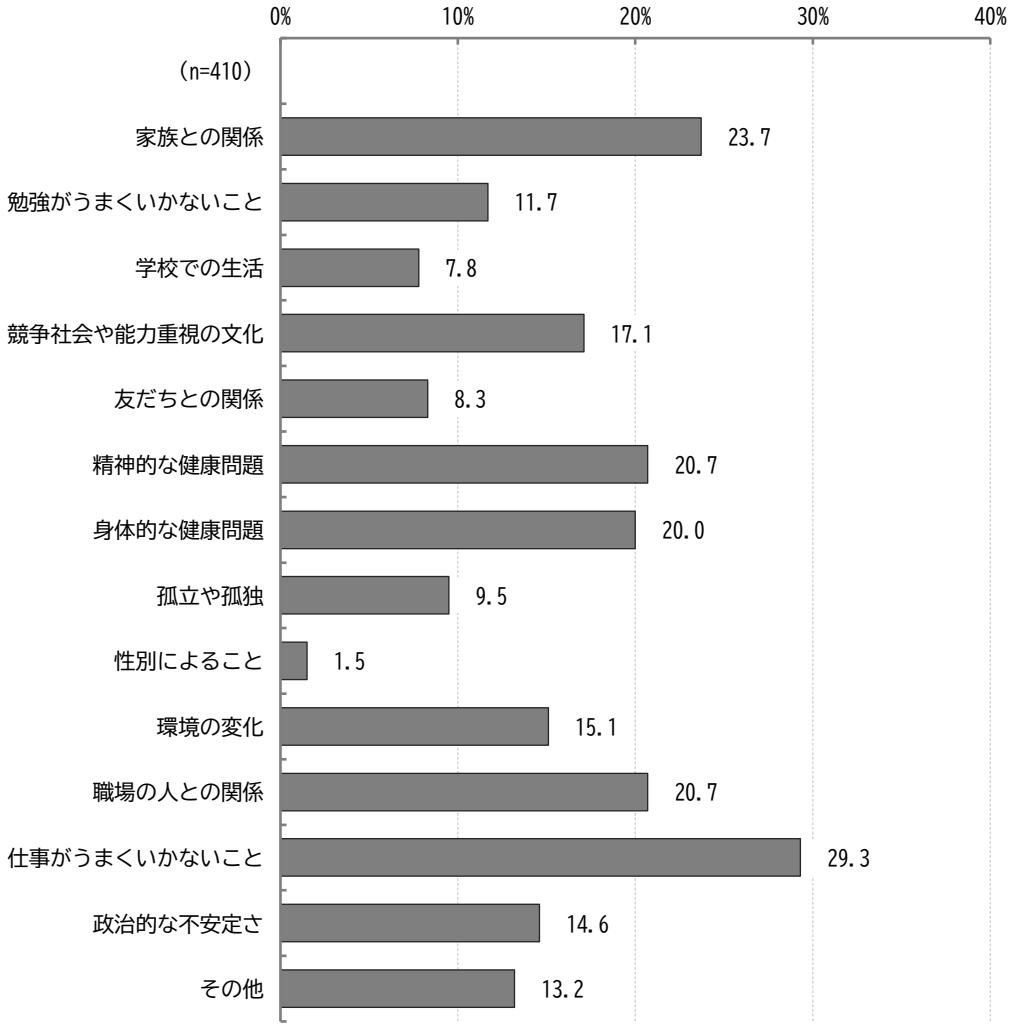


問９で、「１.よく感じた」～「３.ほとんど感じなかった」を選んだ方に伺います。

（5）ストレスや生きづらさの理由

問９－１　ストレスや生きづらさはどこで感じましたか。（あてはまるものすべてを選択）

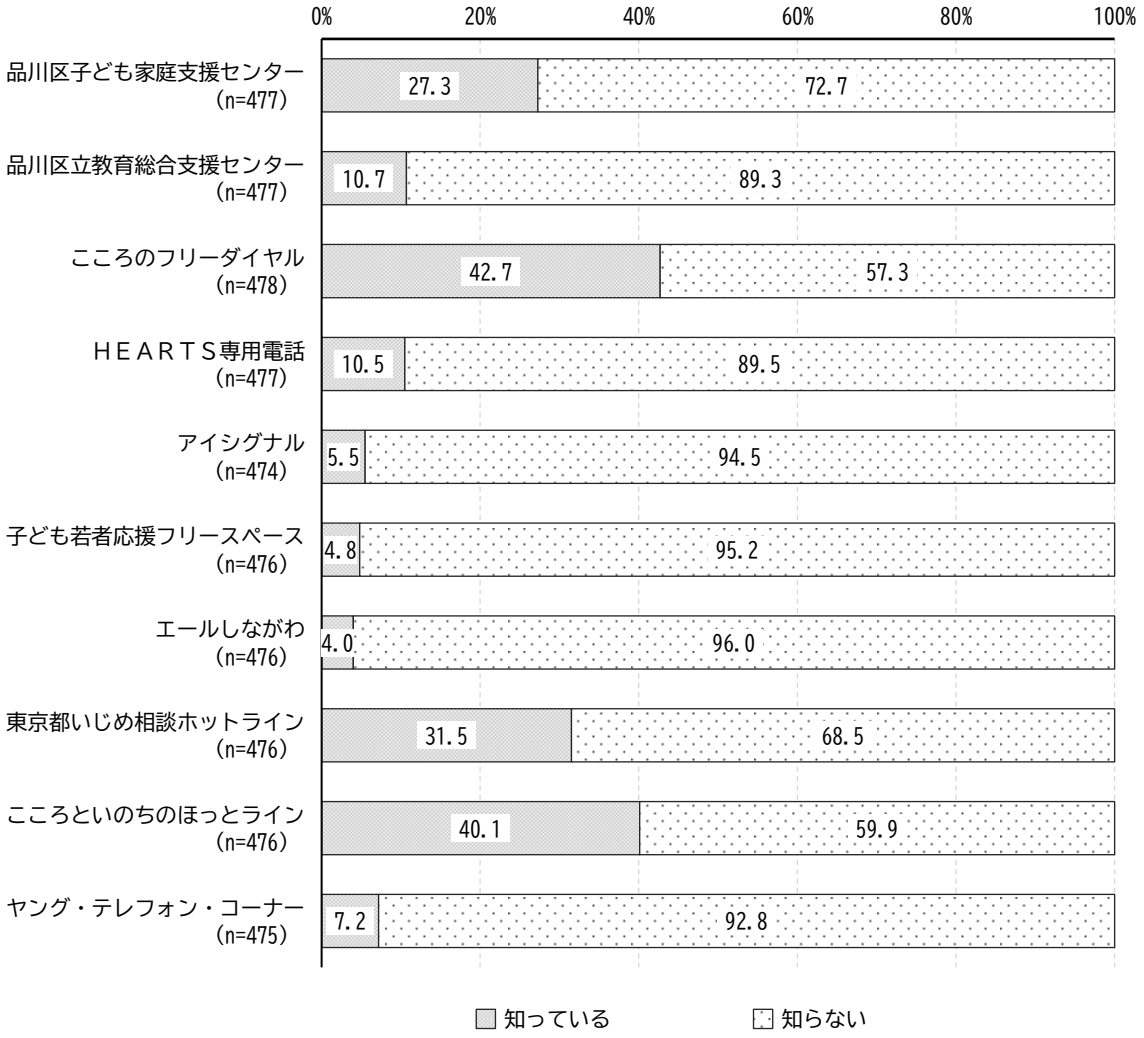
「仕事がうまくいかないこと」が 29.3%と最も多く、次いで「家族との関係」が 23.7%、「職場の人との関係」「精神的な健康問題」が 20.7%となっている。



（6）知っている相談できるところ

問１０　困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。
（それぞれ１つを選択）

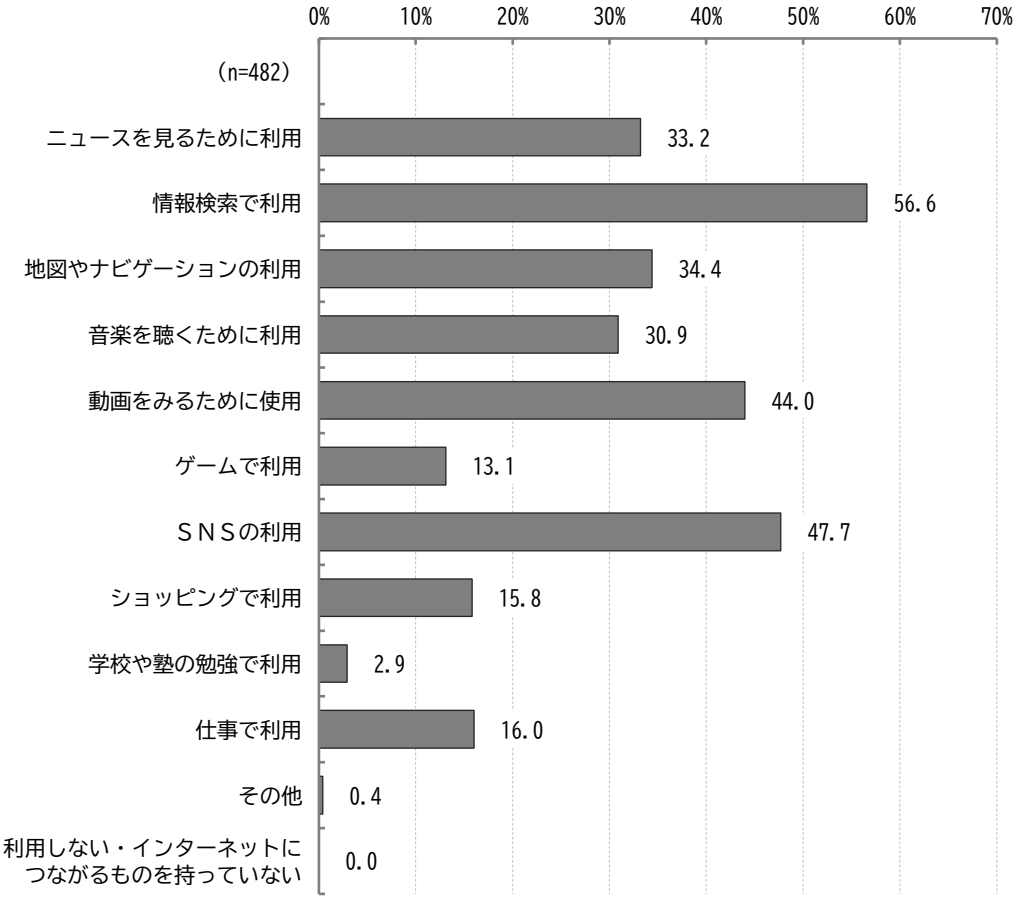
『こころのフリーダイヤル』と『こころといのちのほっとライン』は「知っている」の割合が４割以上と高くなっている。『アイシグナル』『子ども若者応援フリースペース』『エールしながわ』『ヤング・テレフォン・コーナー』は「知らない」の割合が 90%以上と認知度が低くなっている。



（7）インターネットの利用方法

問１１　インターネットを主にどのようなことに利用していますか。
（特に利用の多いものを３つまで選択）

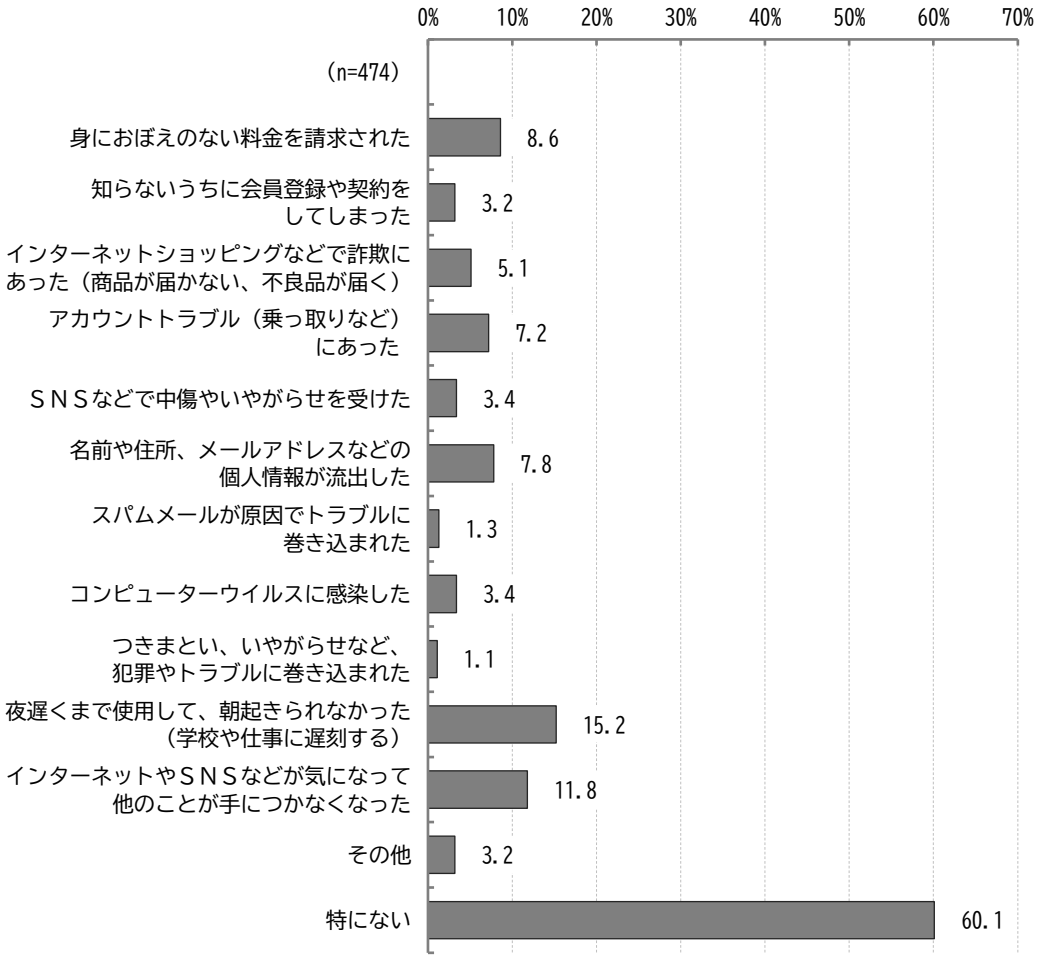
「情報検索で利用」が 56.6%と最も多く、次いで「ＳＮＳの利用」が 47.7%、「動画をみるために使用」が 44.0%となっている。



（8）インターネットを利用して起きたトラブル

問１２　インターネットを利用して、何かトラブルが起きたことはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

「特にない」が 60.1%と最も多く、次いで「夜遅くまで使用して、朝起きられなかった（学校や仕事に遅刻する）」が 15.2%、「インターネットやＳＮＳなどが気になって、他のことが手につかなくなった」が 11.8%となっている。



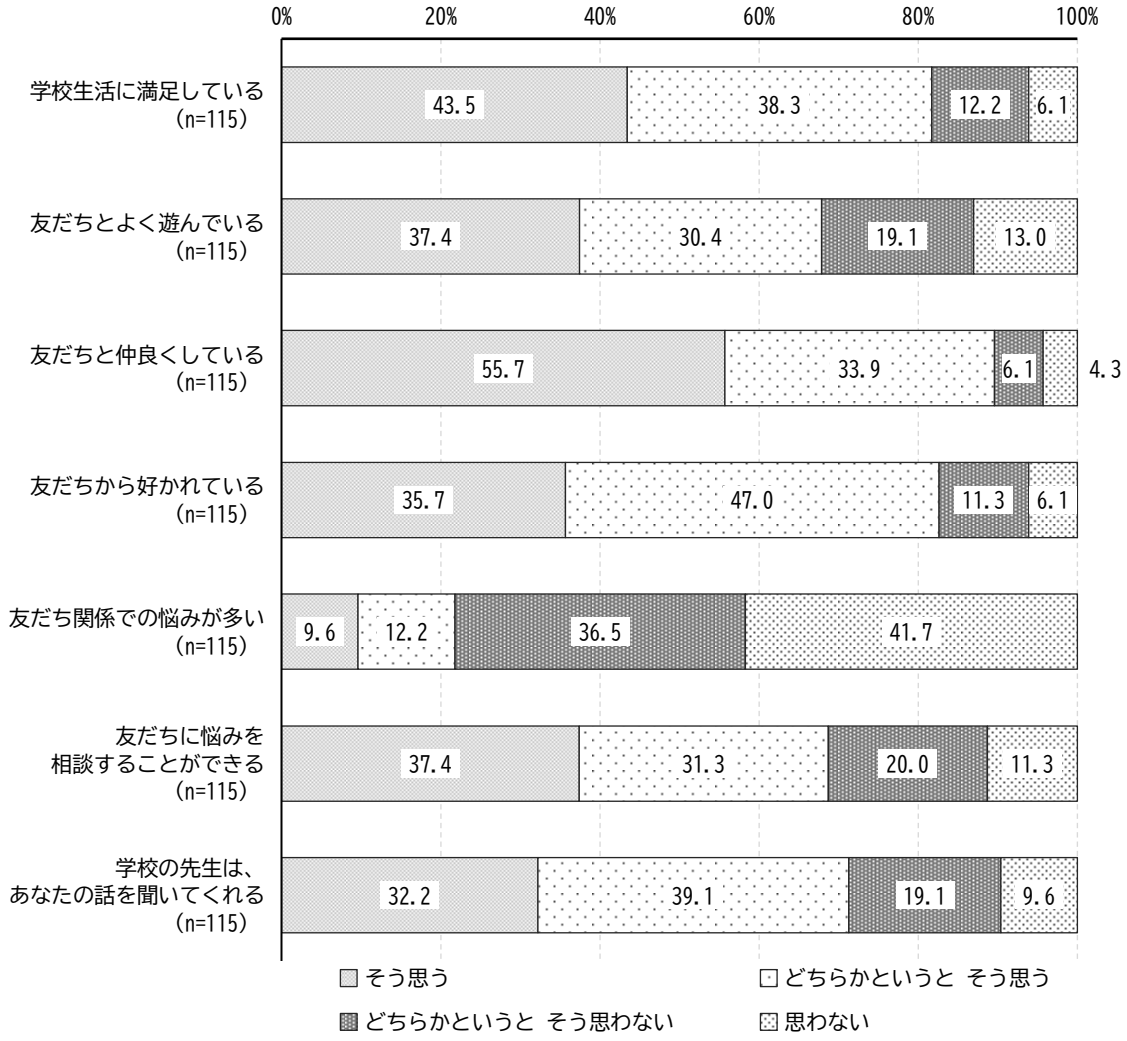
３．学校での生活や友達について

問４で、「１.高等学校」～「６.その他の学校」（学生）を選んだ方に伺います。

（1）学校生活について

問１３　あなたは、学校生活についてどう思っていますか。（それぞれ１つを選択）

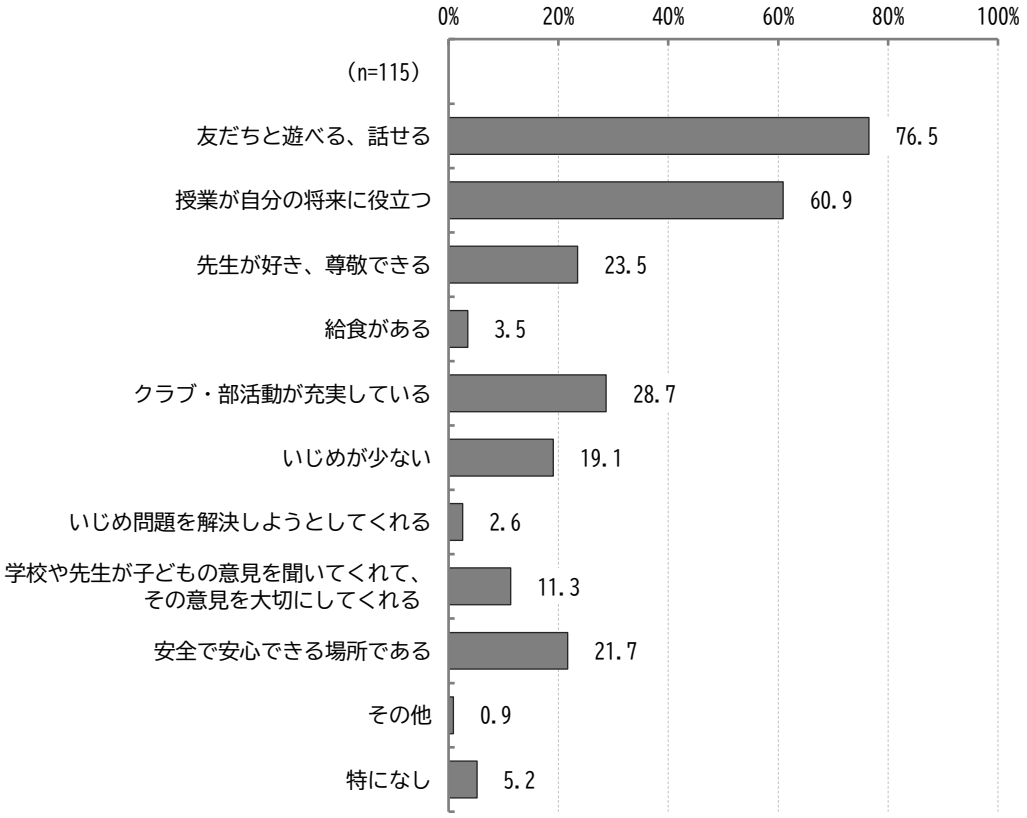
『友だちと仲良くしている』は、「そう思う」の割合が 55.7%と特に高くなっている。「思わない」の割合は『友だち関係での悩みが多い』で 41.7%と最も高くなっている。



（2）学校生活で良いと思うこと

問１４　学校での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

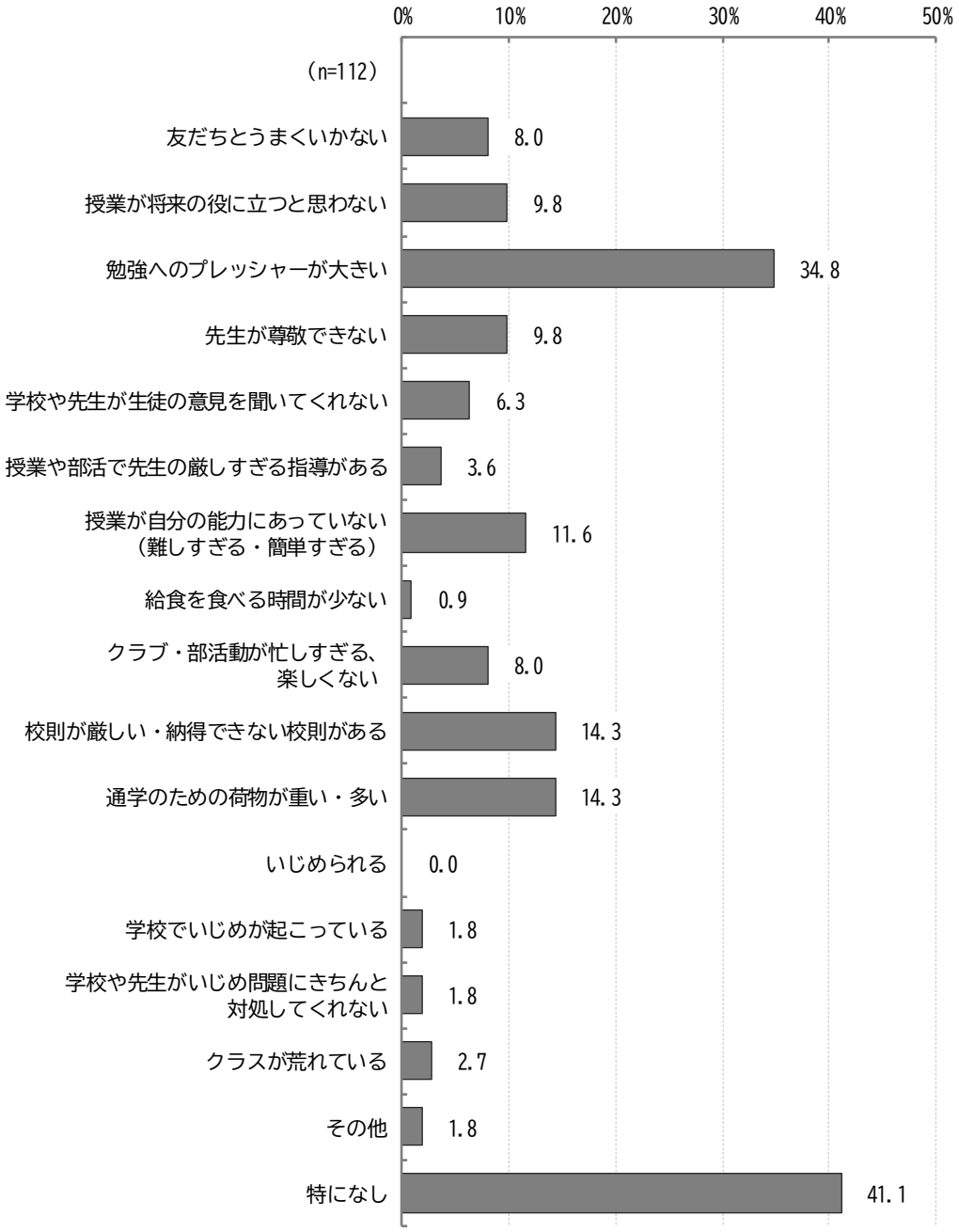
「友だちと遊べる、話せる」が 76.5%と最も多く、次いで「授業が自分の将来に役立つ」が 60.9%、「クラブ・部活動が充実している」が 28.7%となっている。



（3）学校生活で不安や不満に感じること

問１５　学校での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

「特になし」が 41.1%と最も多く、次いで「勉強へのプレッシャーが大きい」が 34.8%、「校則が厳しい・納得できない校則がある」「通学のための荷物が重い・多い」が 14.3%となっている。



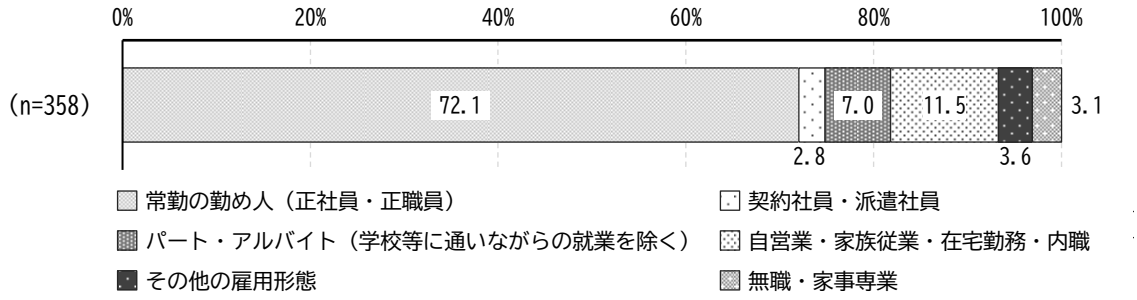
４．仕事について

問４で、「7.常勤の勤め人（正社員・正職員）」～「12.無職・家事専業」（学生以外）を選んだ方に伺います。

（1）希望する雇用形態

問１６　あなたが最も希望する雇用の形態等を教えてください。（就業していない方も、現在就業するとした場合に希望する雇用の形態をお答えください。）（１つを選択）

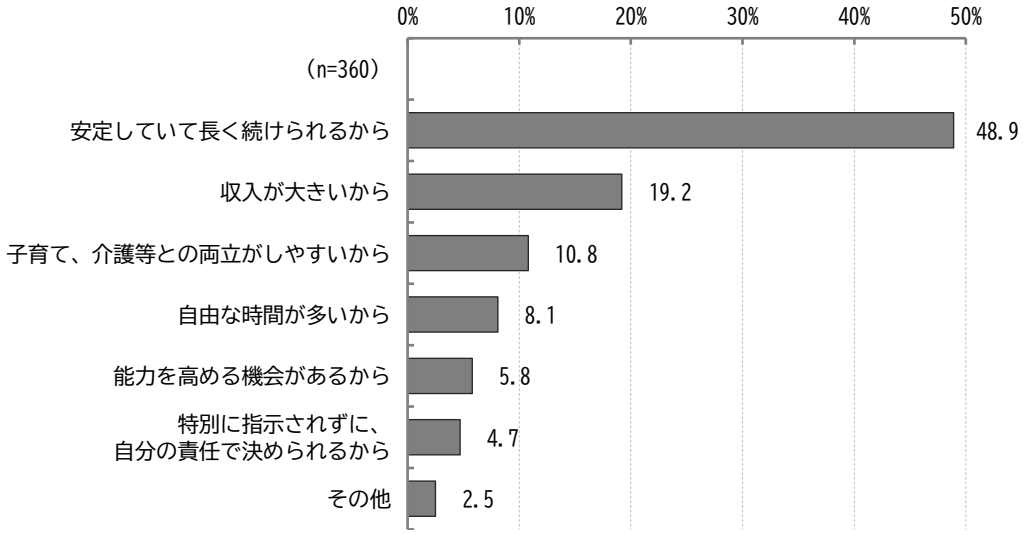
「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 72.1%と最も多く、次いで「自営業・家族従業・在宅勤務・内職」が 11.5%、「パート・アルバイト（学校等に通いながらの就業を除く）」が 7.0%となっている。



（2）希望する理由

問１６－１　その雇用形態を希望する理由を教えてください。（最も重要な理由１つを選択）

「安定していて長く続けられるから」が 48.9%と最も多く、次いで「収入が大きいから」が 19.2%、「子育て、介護等との両立がしやすいから」が 10.8%となっている。

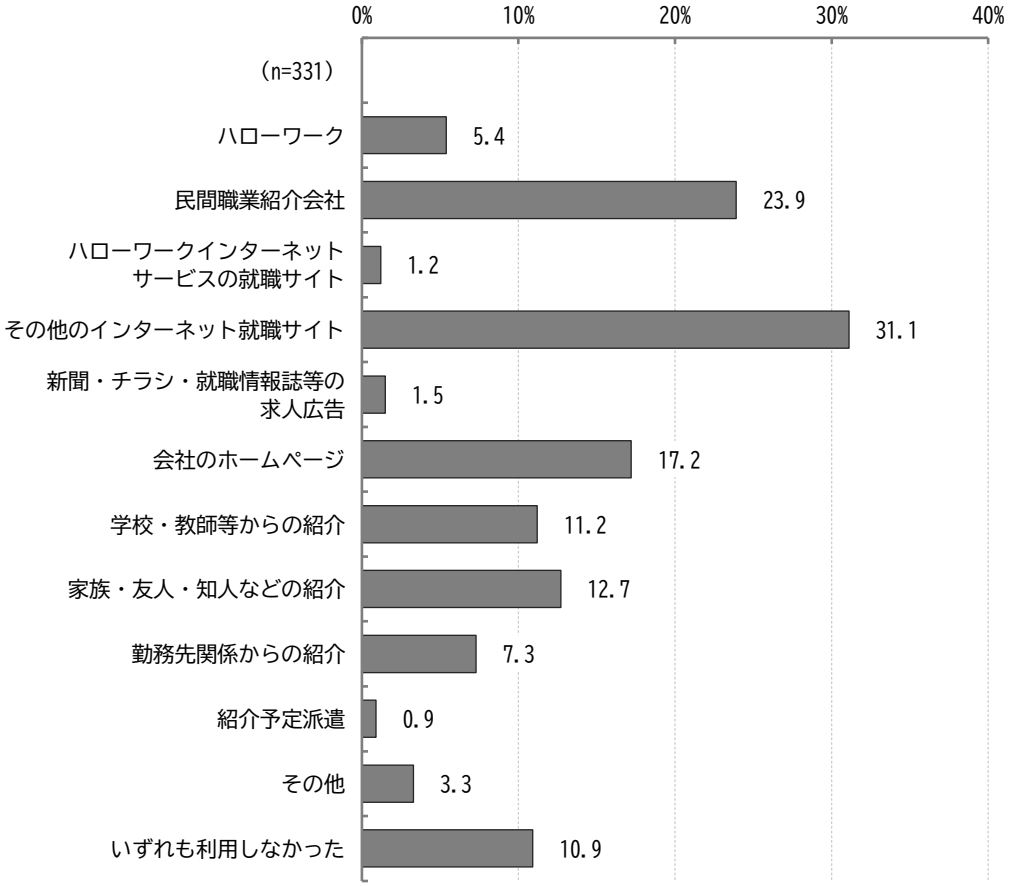


問４で、「７．常勤の勤め人（正社員・正職員）」～「11.その他の雇用形態」（学生、無職・家事専業以外）を選んだ方に伺います。

（３）現在の勤め先の求職方法

問１７　現在の勤め先に就職する際に利用した求職方法を教えてください。
（あてはまるものすべてを選択）

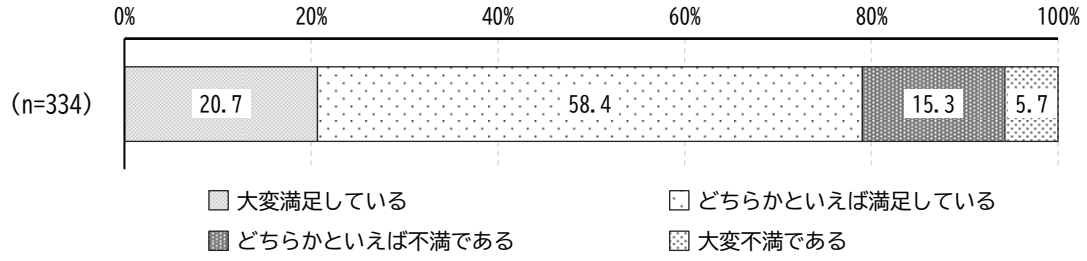
「その他のインターネット就職サイト」が 31.1%と最も多く、次いで「民間職業紹介会社」が 23.9%、「会社のホームページ」が 17.2%となっている。



（4）職業生活の満足度

問１８　あなたは、現在の職業生活に満足していますか。（１つを選択）

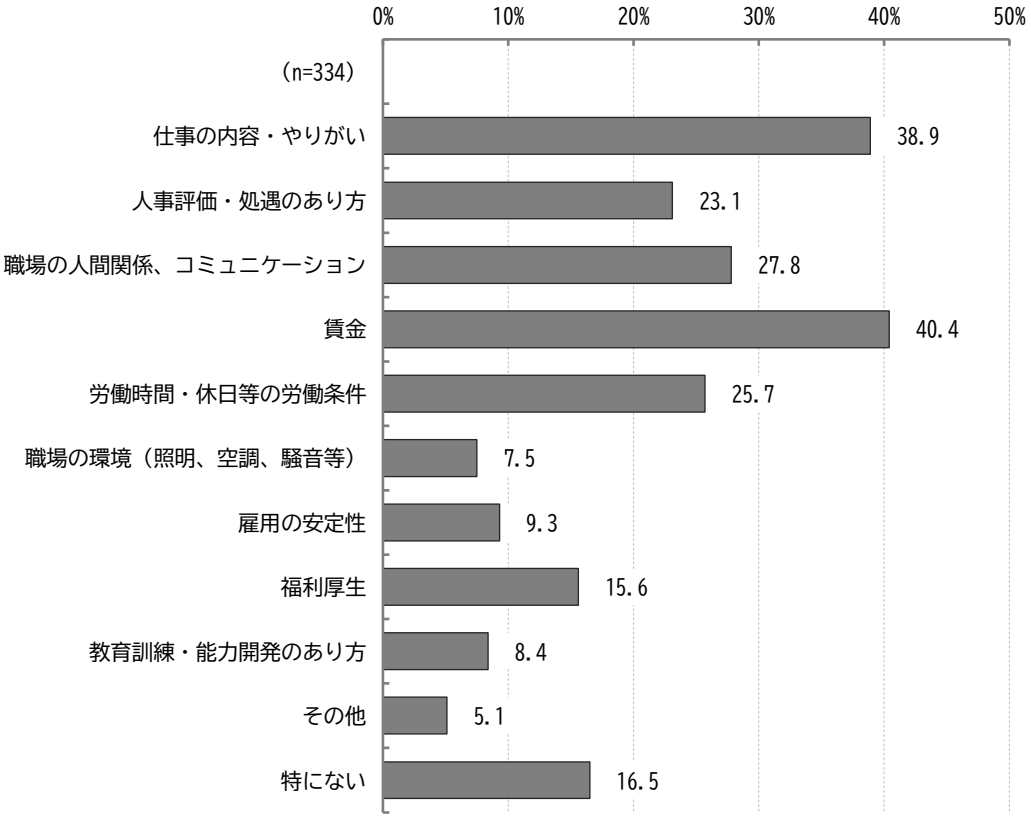
「どちらかといえば満足している」が 58.4%と最も多く、次いで「大変満足している」が 20.7%、「どちらかといえば不満である」が 15.3%となっている。



（5）仕事上の悩み

問１９　仕事上の悩みはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

「賃金」が 40.4%と最も多く、次いで「仕事の内容・やりがい」が 38.9%、「職場の人間関係、コミュニケーション」が 27.8%となっている。

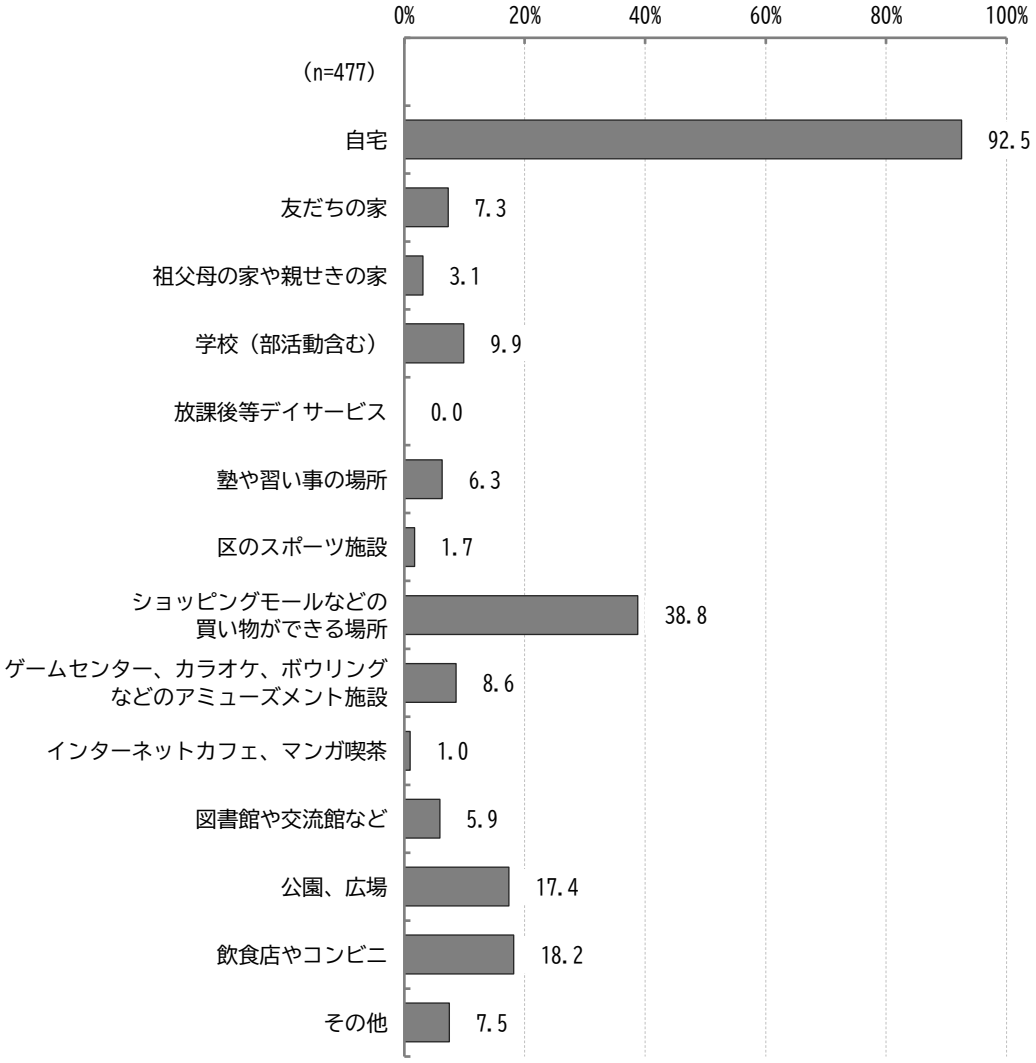


５．普段の過ごし方や地域の活動について

（1）放課後や休日に過ごす場所

問２０　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（３つまで選択）

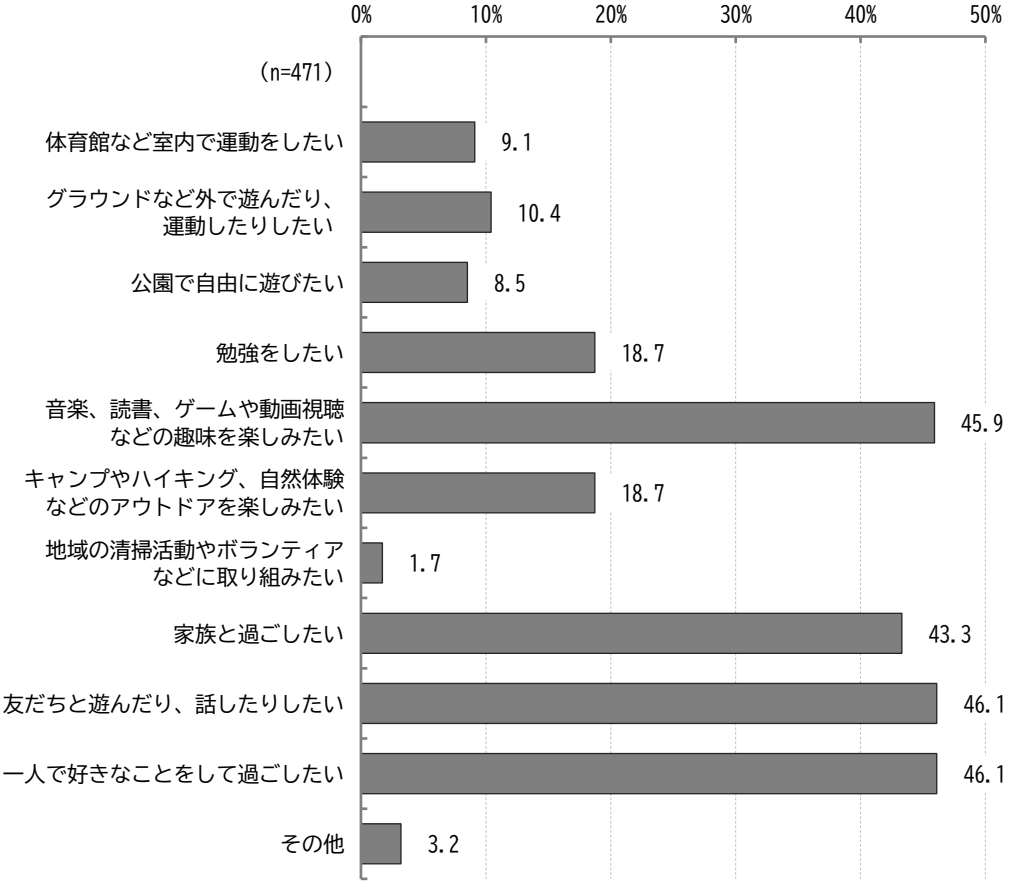
「自宅」が 92.5%と最も多く、次いで「ショッピングモールなどの買い物ができる場所」が 38.8%、「飲食店やコンビニ」が 18.2%となっている。



（2）放課後や休日はどのように過ごしたいか

問２１　放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。（３つまで選択）

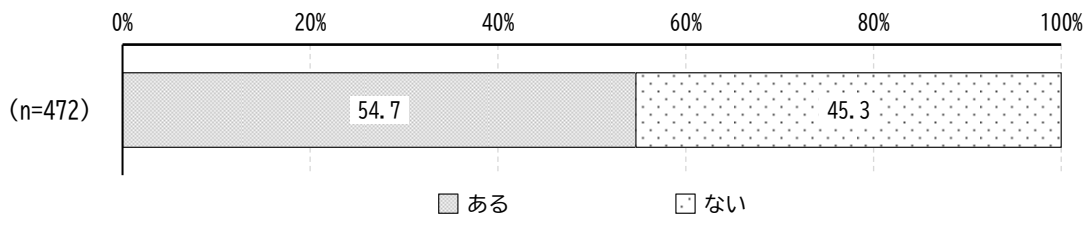
「友だちと遊んだり、話したりしたい」「一人で好きなことをして過ごしたい」が 46.1%と最も多く、次いで「音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい」が 45.9%、「家族と過ごしたい」が 43.3%となっている。



（3）家と学校以外で放課後や休日に過ごしたい場所の有無

問２２　家と学校（職場）以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が品川区にありますか。（１つを選択）

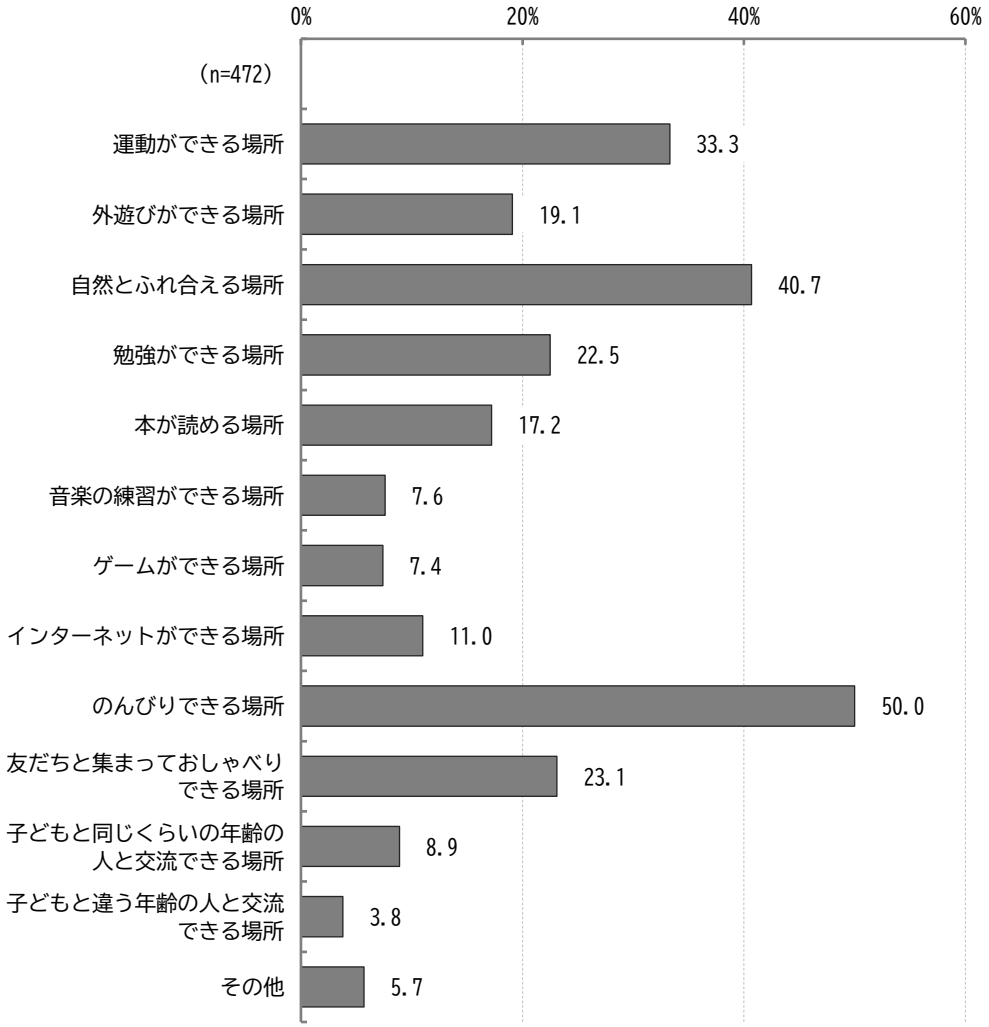
「ある」が 54.7%、「ない」が 45.3%となっている。



（4）放課後や休日に過ごす場所であったら良いと思うもの

問２３　放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったらいいと思うものはありますか。（３つまで選択）

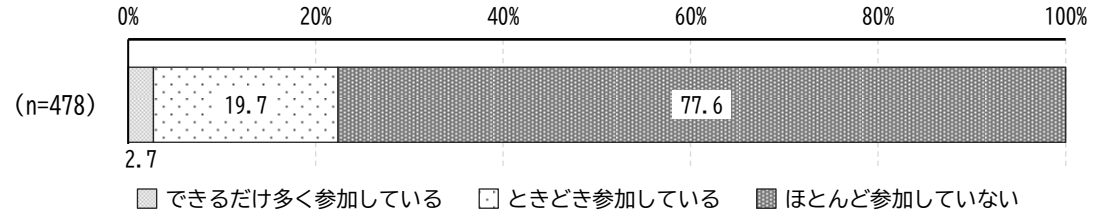
「のんびりできる場所」が 50.0%と最も多く、次いで「自然とふれ合える場所」が 40.7%、「運動ができる場所」が 33.3%となっている。



（5）学校や職場以外の地域行事や活動

問２４　学校や職場以外の地域行事や活動にどのくらい参加していますか。
（ボーイ・ガールスカウト、ボランティア活動、地域のおまつりなど）（１つを選択）

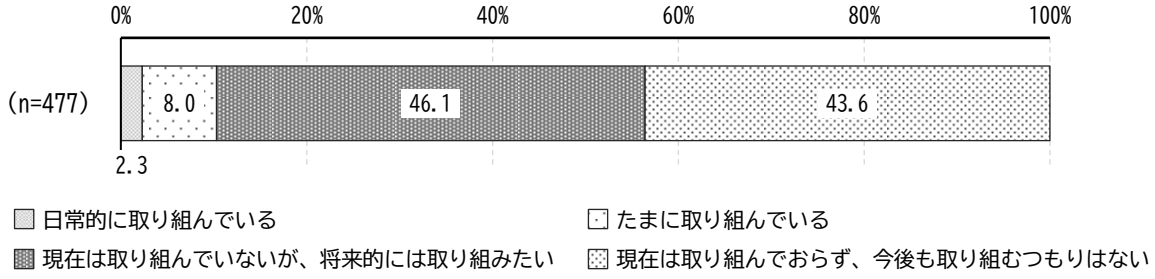
「ほとんど参加していない」が 77.6%と最も多く、「ときどき参加している」が 19.7%、「できるだけ多く参加している」が 2.7%となっている。



（6）コミュニティや地域社会での支援

問２５　あなたはコミュニティや地域社会で他人を支援したり、支えたりしたことがありますか。
（１つを選択）

「現在は取り組んでいないが、将来的には取り組みたい」が 46.1%と最も多く、次いで「現在は取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない」が 43.6%、「たまに取り組んでいる」が 8.0%となっている。

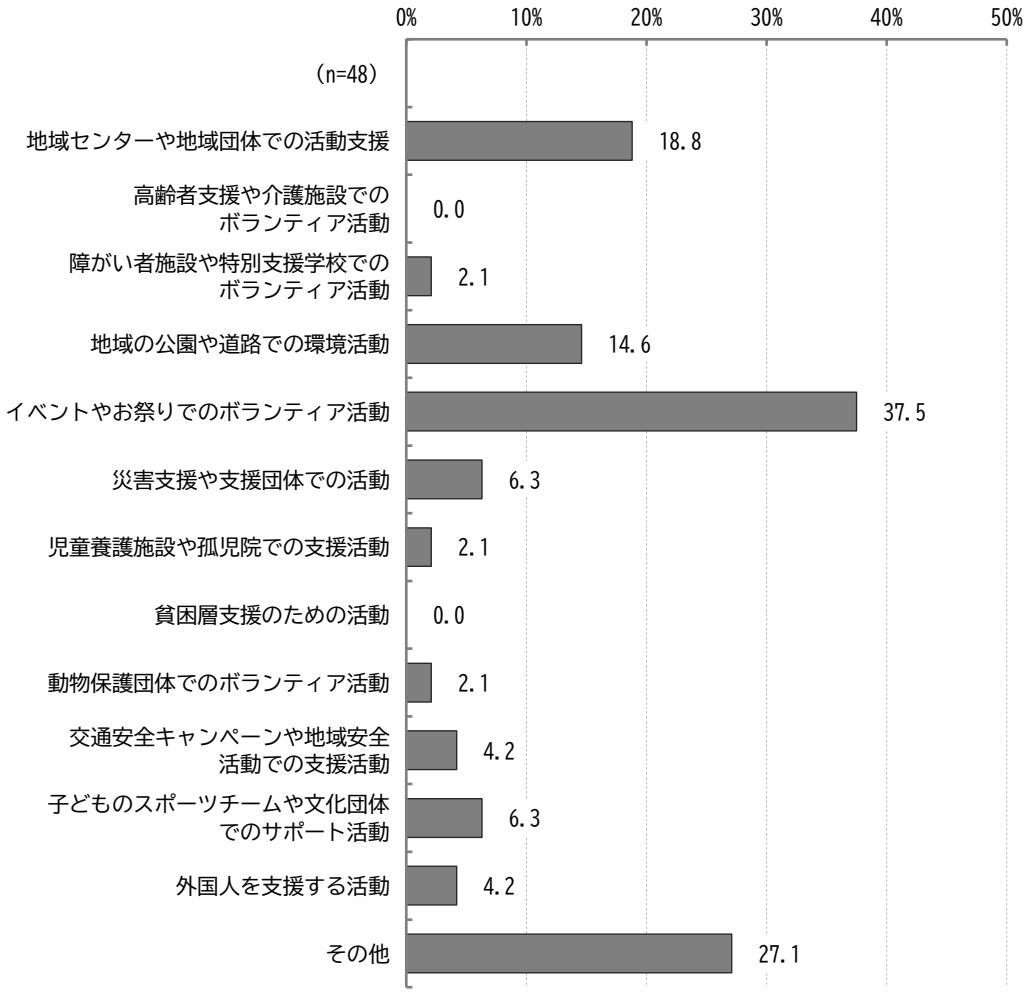


問２５で、「１.日常的に取り組んでいる」または「２.たまに取り組んでいる」を選んだ方に伺います。

（7）取り組んでいる場所

問２５－１　どんな場所で取り組んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）

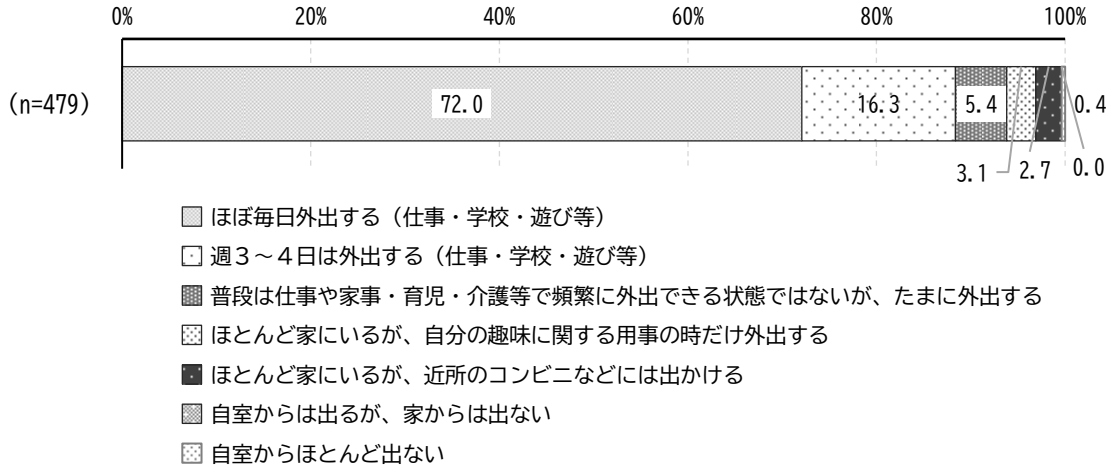
「イベントやお祭りでのボランティア活動」が 37.5%と最も多く、次いで「その他」が 27.1%、「地域センターや地域団体での活動支援」が 18.8%となっている。



（8）普段の外出状況

問２６　あなたの普段の外出状況をお答えください。（１つを選択）

「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び等）」が 72.0%と最も多く、次いで「週３～４日は外出する（仕事・学校・遊び等）」が 16.3%、「普段は仕事や家事・育児・介護等で頻繁に外出できる状態ではないが、たまに外出する」が 5.4%となっている。

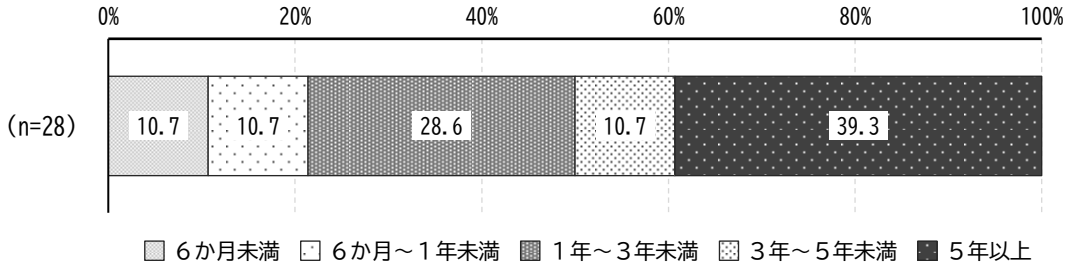


問２６で、「４.ほとんど家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「７.自室からほとんど出ない」（ほとんど家にいる・家や自室から出ない）を選んだ方に伺います。

（9）その状態が続いている期間

問２６－１　その状態はどのくらい続いていますか。（１つを選択）

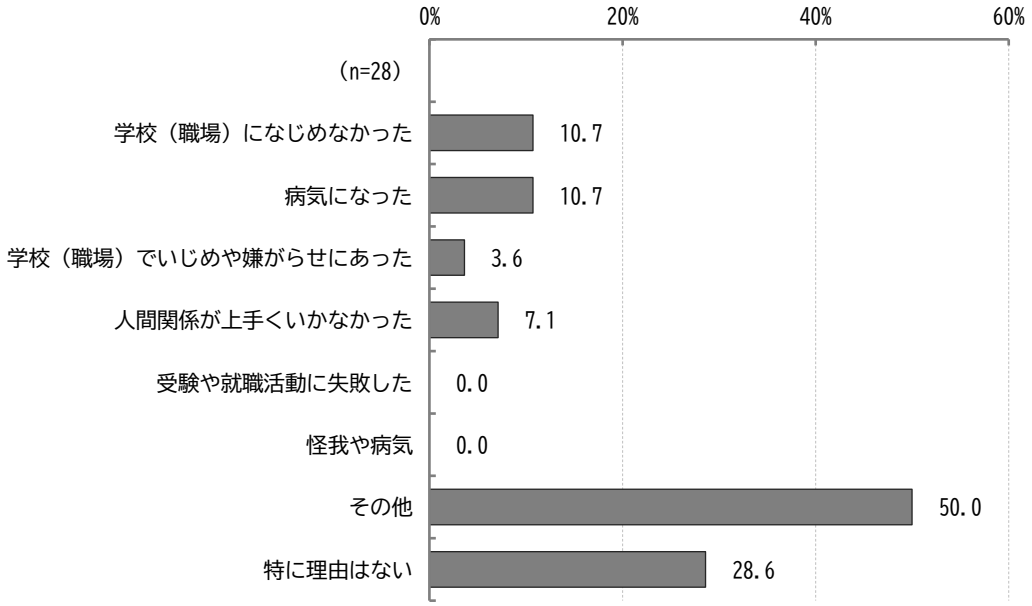
「５年以上」が 39.3%と最も多く、次いで「１年～３年未満」が 28.6%となっている。



（１０）その状態になったきっかけ

問２６－２　その状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

「その他」が 50.0%と最も多く、次いで「特に理由はない」が 28.6%、「病気になった」「学校（職場）になじめなかった」が 10.7%となっている。



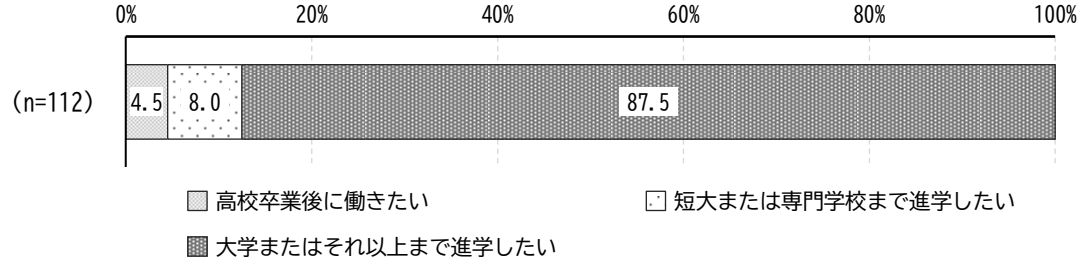
６．将来について

問４で、「１.高等学校」～「６.その他の学校」（学生）を選んだ方に伺います。

（１）将来の進路

問２７　あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。（１つを選択）

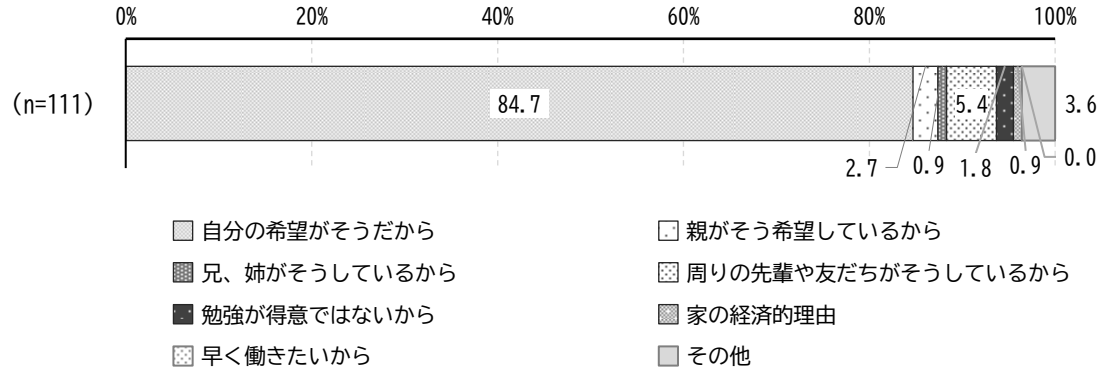
「大学またはそれ以上まで進学したい」が 87.5%と最も多く、「短大または専門学校まで進学したい」が 8.0%、「高校卒業後に働きたい」が 4.5%となっている。



（２）将来の進路を考えた理由

問２７－１　将来の進路をそのように答えたのはなぜですか。（１つを選択）

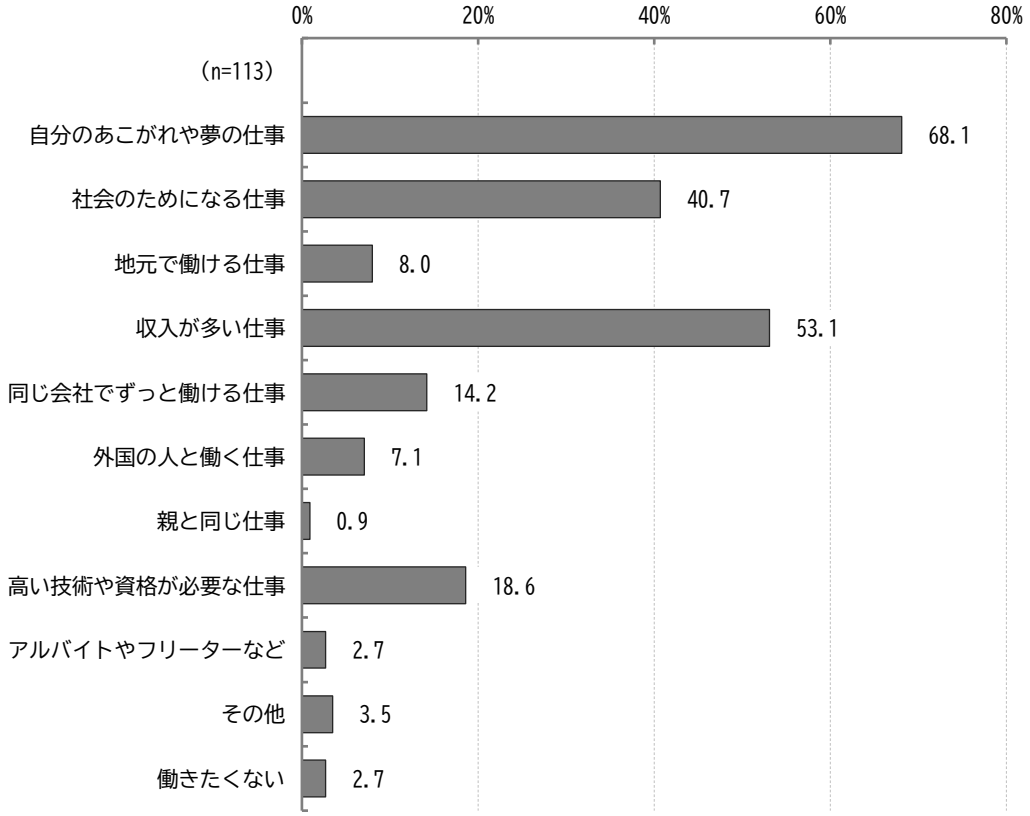
「自分の希望がそうだから」が 84.7%と最も多く、「周りの先輩や友だちがそうしているから」が 5.4%、「その他」が 3.6%となっている。



（3）将来就きたい仕事

問２８　将来はどのような仕事につきたいですか。（３つまで選択）

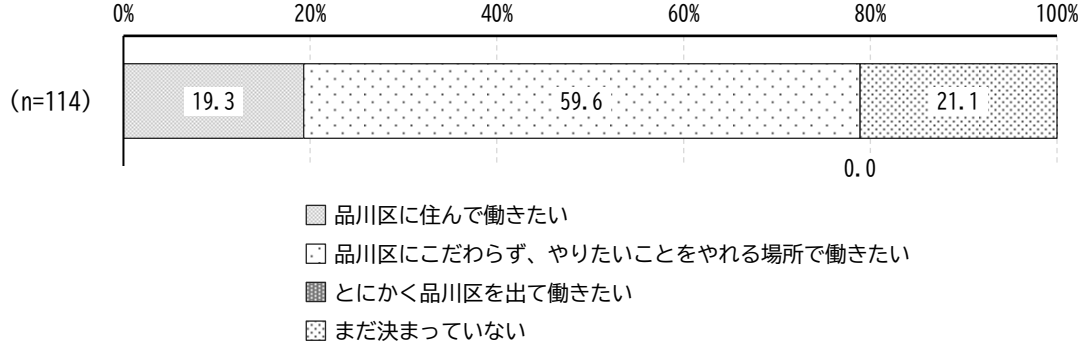
「自分のあこがれや夢の仕事」が 68.1%と最も多く、次いで「収入が多い仕事」が 53.1%、「社会のためになる仕事」が 40.7%となっている。



（4）将来品川区で働きたいか

問２９　あなたは、将来品川区で働きたいと考えていますか。（１つを選択）

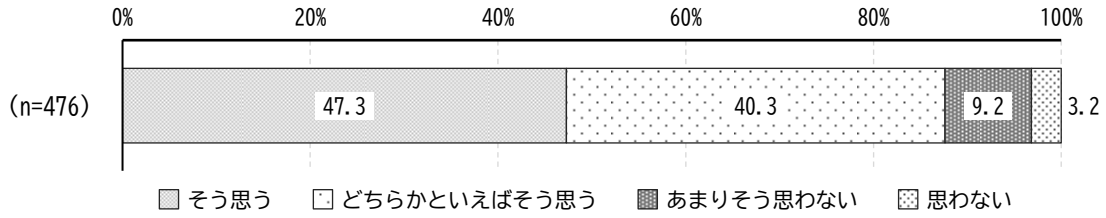
「品川区にこだわらず、やりたいことをやれる場所で働きたい」が 59.6%と最も多く、「まだ決まっていない」が 21.1%、「品川区に住んで働きたい」が 19.3%となっている。



（5）今住んでいる地域に住み続けたいか

問３０　現在自分の住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。（１つを選択）

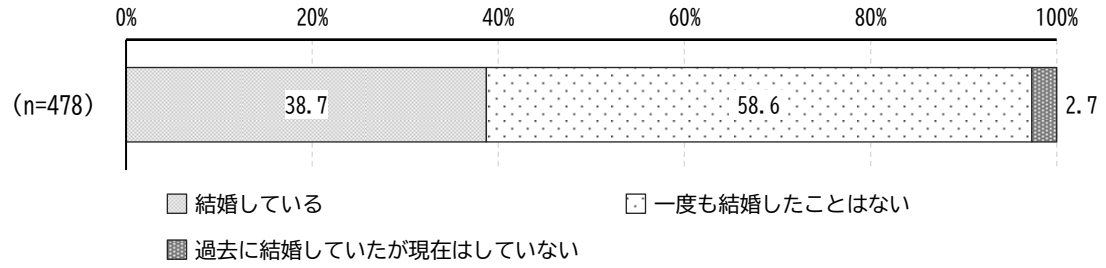
「そう思う」が 47.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 40.3%、「あまりそう思わない」が 9.2%となっている。



（6）結婚しているか

問３１　あなたは、現在結婚していますか。（１つを選択）

「一度も結婚したことはない」が 58.6%と最も多く、「結婚している」が 38.7%、「過去に結婚していたが現在はしていない」が 2.7%となっている。

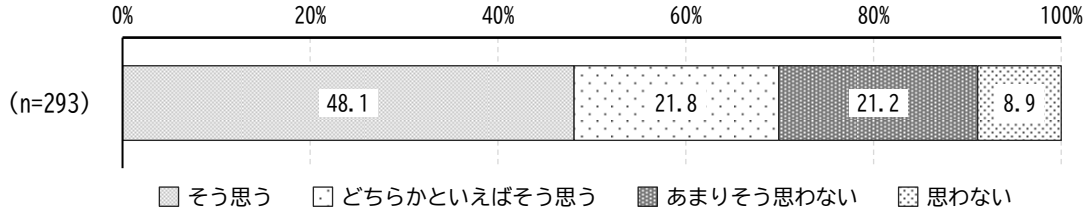


問３１で、「2.一度も結婚したことはない」または「3.過去に結婚していたが現在はしていない」を選んだ方に伺います。

（7）将来結婚したいか

問３１-１　あなたは、将来結婚したいと思いますか。（１つを選択）

「そう思う」が 48.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.8%、「あまりそう思わない」が 21.2%となっている。

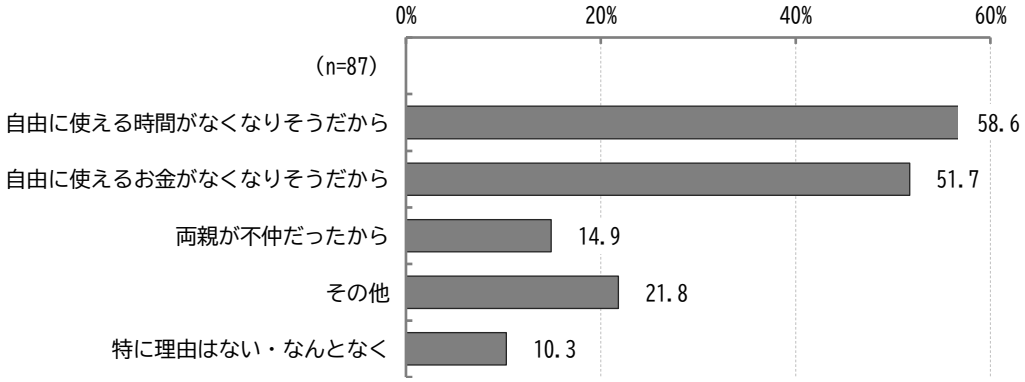


問３１－１で、「３.あまりそう思わない」または「４.思わない」を選んだ方に伺います。

（8）結婚したいと思わない理由

問３１－２　結婚したいと思わない理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。
（あてはまるものすべてを選択）

「自由に使える時間がなくなりそうだから」が 58.6%と最も多く、次いで「自由に使えるお金がなくなりそうだから」が 51.7%、「その他」が 21.8%となっている。

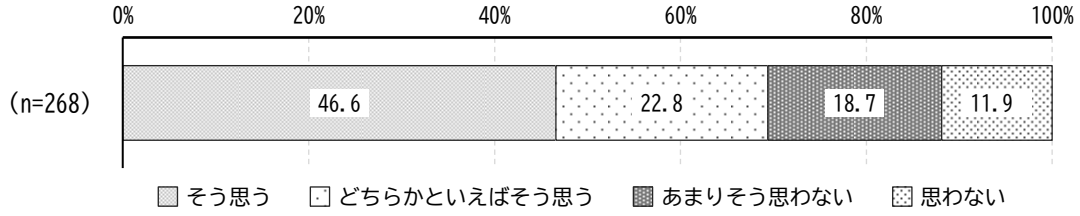


現在子どもがいない方に伺います。

（9）将来子どもを育てたいか

問３２　あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか。（１つを選択）

「そう思う」が 46.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.8%、「あまりそう思わない」が 18.7%となっている。

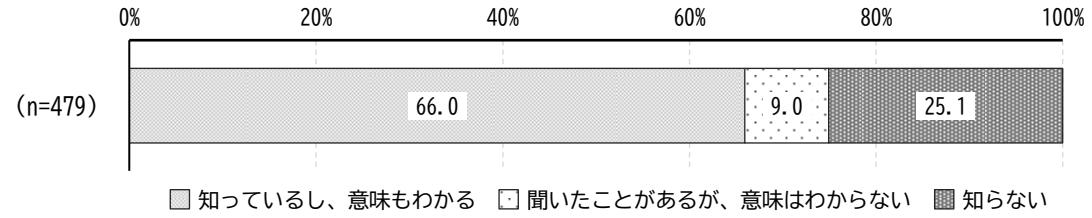


７．ヤングケアラーについて

（1）ヤングケアラーという言葉を知っているか

問３３　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

「知っているし、意味もわかる」が 66.0%と最も多く、「知らない」が 25.1%、「聞いたことがあるが、意味はわからない」が 9.0%となっている。

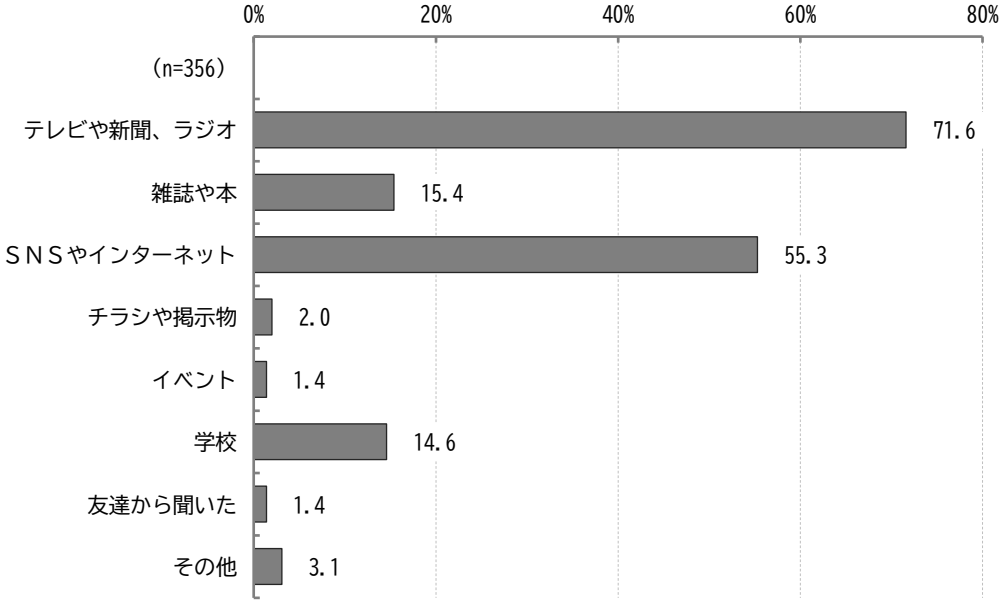


問３３で「１.知っているし意味もわかる」または「２.聞いたことはあるが、意味はわからない」を選んだ方に伺います。

（2）ヤングケアラーという言葉を知った場所

問３３-１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか。（あてはまるものすべてを選択）

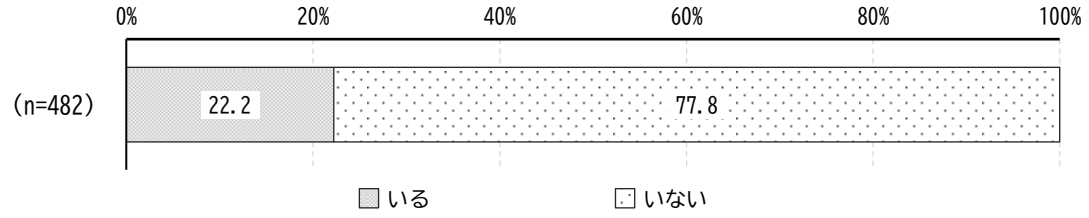
「テレビや新聞、ラジオ」が 71.6%と最も多く、次いで「ＳＮＳやインターネット」が 55.3%、「雑誌や本」が 15.4%となっている。



（3）世話が必要な家族の有無

問３４　あなたはお世話をする家族がいますか。（１つを選択）

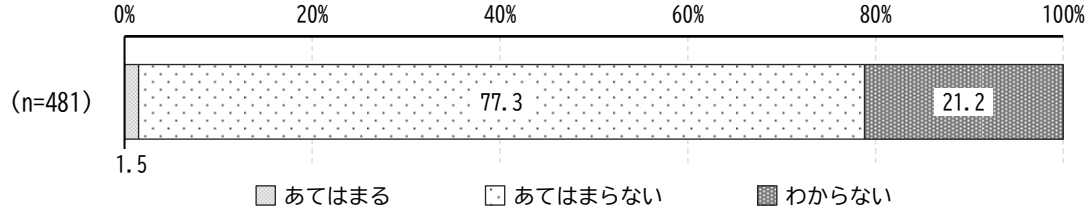
「いない」が 77.8%、「いる」が 22.2%となっている。



（4）ヤングケアラーに当てはまると思うか

問３５　あなたはヤングケアラーにあてはまると思いますか。（１つを選択）

「あてはまらない」が 77.3%と最も多く、「わからない」が 21.2%、「あてはまる」が 1.5%となっている。

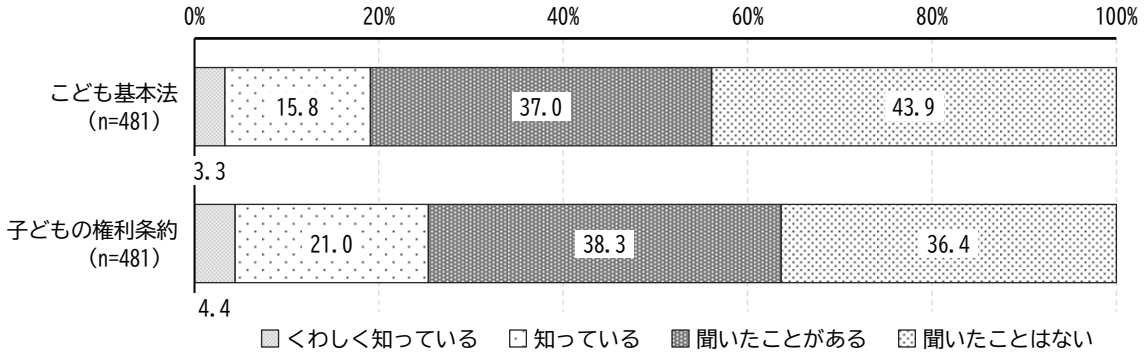


８．子どもの権利について

（1）「こども基本法」「子どもの権利条約」の認知度

問３６　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

『こども基本法』『子どもの権利条約』どちらも認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は２割程度と低くなっている。

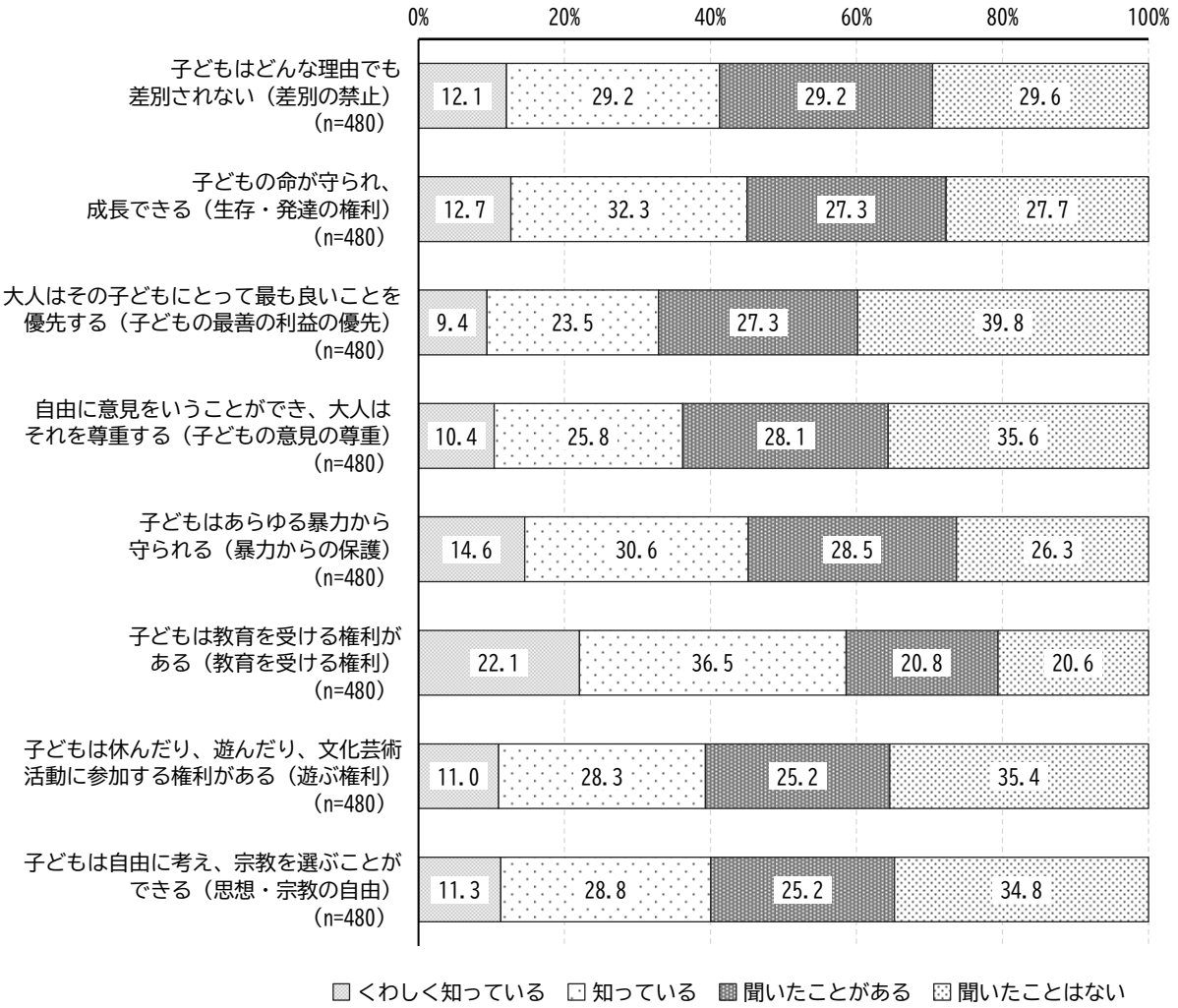


（2）「子どもの権利」の認知度

問３７　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

『子どもは教育を受ける権利がある』の、認知度（「くわしく知っている」と「知っている」の合計）は58.6%と特に高くなっている。

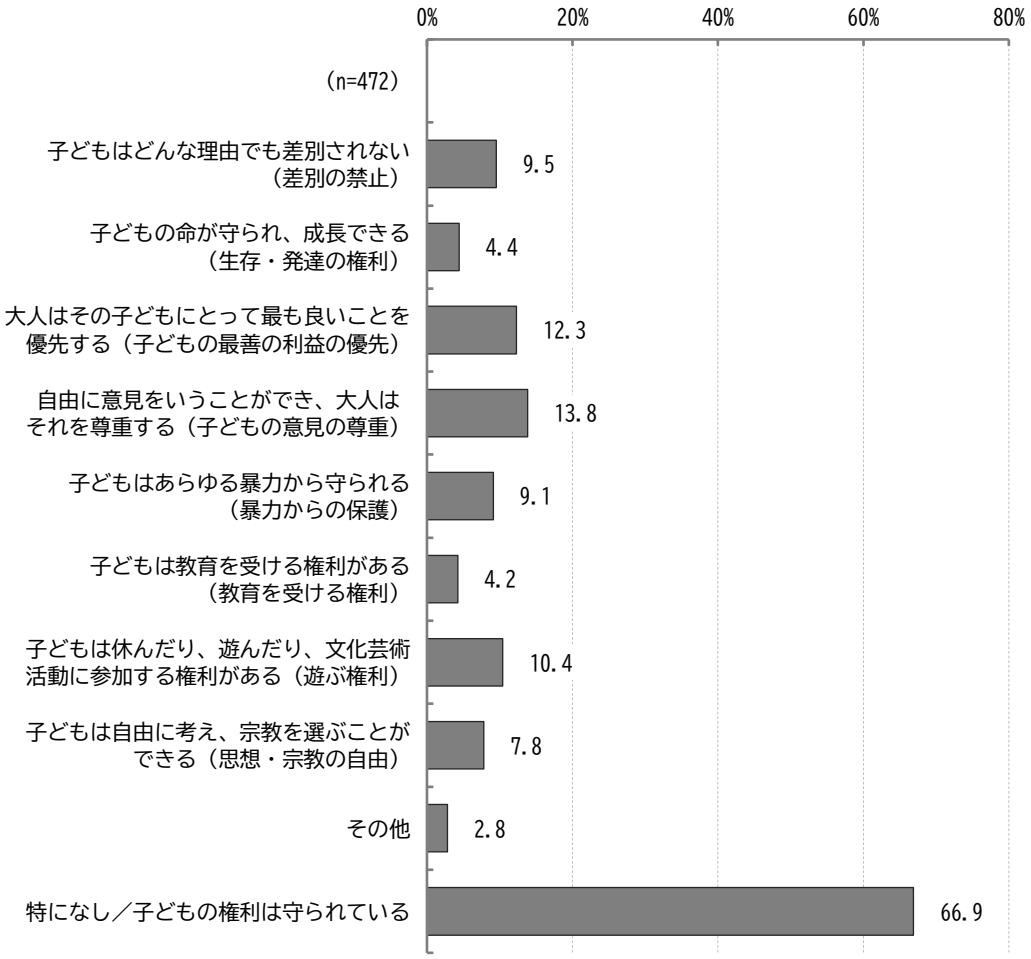
『大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先)』は「聞いたことはない」が39.8%と認知度が最も低くなっている。



（3）子どもの権利で守られていないもの

問３８　あなたや、あなたの子どもの周りの子どもで、子どもの権利が守られていないものはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

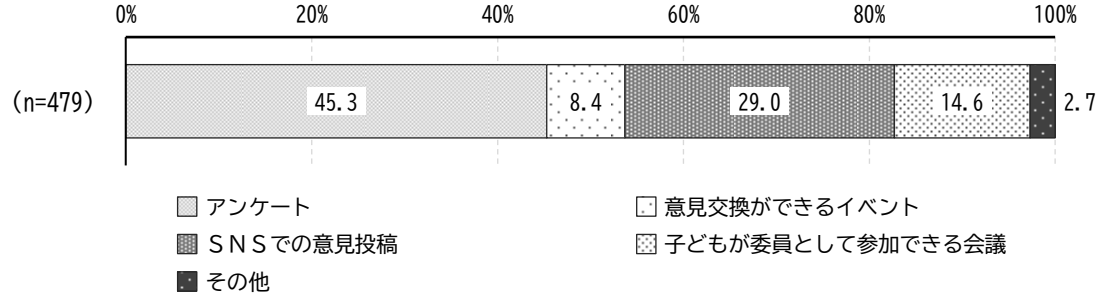
「特になし／子どもの権利は守られている」が 66.9%と最も多く、次いで「子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）」が 13.8%、「子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）」が 12.3%となっている。



（4）品川区に自分の意見を言える機会

問３９　品川区では、子ども・若者の意見も大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を品川区に言えると思いますか。（１つを選択）

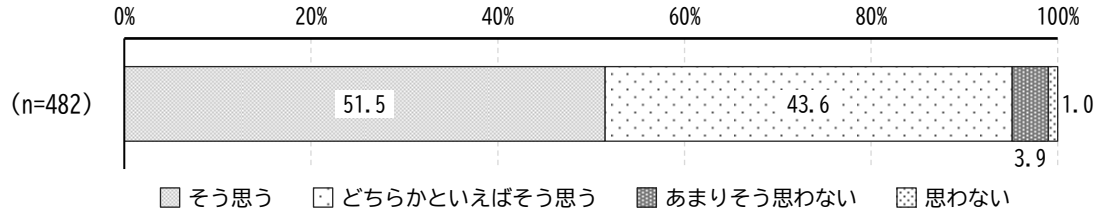
「アンケート」が 45.3%と最も多く、次いで「ＳＮＳでの意見投稿」が 29.0%、「子どもが委員として参加できる会議」が 14.6%となっている。



（5）品川区は住みよいと思うか

問４０ 品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

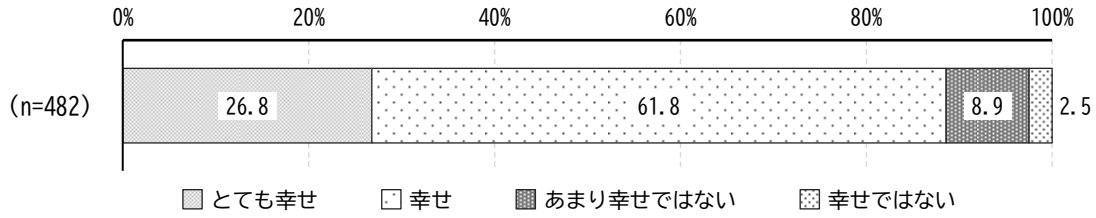
「そう思う」が 51.5%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」が 43.6%、「あまりそう思わない」が 3.9%となっている。



（6）現在の生活が幸せか

問４１　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

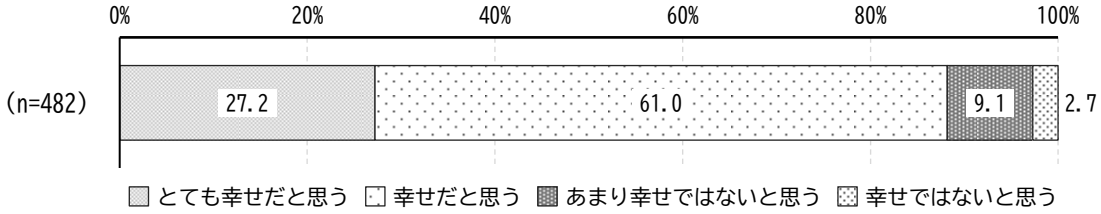
「幸せ」が 61.8%と最も多く、「とても幸せ」が 26.8%、「あまり幸せではない」が 8.9%となっている。



（7）５年後の生活に幸せを感じているか

問４２　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

「幸せだと思う」が 61.0%と最も多く、「とても幸せだと思う」が 27.2%、「あまり幸せではないと思う」が 9.1%となっている。



就学前児童保護者

（仮）品川区子ども計画の策定に向けた区民意識調査

～ご協力のお願い～

日頃より品川区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

品川区では、これまで「第２期品川区子ども・子育て支援計画」および「第２期品川区子ども・若者計画」を策定し、子ども・若者・子育て施策を計画的に推進してきましたが、この度、こども基本法に基づく「こども計画」と一体のものとして、「（仮）品川区子ども計画」を策定することといたしました。つきましては、策定の基礎資料とするため、子育て中の皆様を対象とした「アンケート調査」を実施いたします。

お忙しいところ設問が多く誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- この調査は、区内にお住まいの就学前のお子さんを無作為に２，０００人抽出し、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。
- 調査票にはお名前を書いていただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 回答は、区の施策を検討するための基礎資料として活用いたします。

令和６年６月
品川区長　森澤　恭子

【ご回答にあたってのお願い】

1. アンケート調査には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわり書きがある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。数字や文章をご記入いただく場合もあります。
4. 回答はＷＥＢ、調査票のどちらでもできます。
5. 選択肢に矢印やことわり書きがある場合は、それにしたがって次の設問に進んでください。
6. 回答期限は、　**6月21日(金)**　です。

【お問合せ先】
品川区　子ども育成課　子ども施策・計画担当
電話：０３－５７４２－６６９２（8：30～17：15 土日祝除く）

ー インターネットでご回答いただく場合 ー

① スマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
※　スマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

【URL】
https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/shinagawa01

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインID】＊＊＊＊＊＊
【パスワード】＊＊＊＊＊＊
※ パスワードはアルファベット(小文字)

※　このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※　なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。

ー郵送でご回答いただく場合 ー

① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
② 調査票は、ご記入のうえ同封の返信用封筒に入れて封をし、ポストへ投函してください。

回答期限　令和6年6月21日(金)まで

ご家族のお住まいについて伺います。

問1　お住まいの地区をお答えください。（1つを選択）

No.	地区	町名・丁目
1	品川地区	北品川1～6、東品川1～5、南品川1～6、八潮1～3、東八潮、広町1
2	東大井・八潮地区	東大井1～6、南大井1～6、勝島1～3、八潮4・5
3	大崎地区	西品川1～3、大崎1～5、豊町1、平塚1、戸越1～5
4	大井地区	大井1～7、西大井1～6、二葉1～4、豊町2～6、広町2、戸越6
5	五反田地区	上大崎1～4、東五反田1～5、西五反田1～6、小山台1・2、小山1～3、花原1～3
6	花原地区	旗の台1～6、中延1～6、小山4～7、花原4～7、平塚2・3、西中延1～3、東中延1・2

問1-1　品川区に居住して何年になりますか。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

□□ 年

お子さんとご家族の状況について伺います。

問2　お子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

（平成・令和） □□ 年 □□ 月生まれ

問3　お子さんのきょうだいは何人いますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがいる場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月　（平成・令和） □□ 年 □□ 月生まれ

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つを選択）

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問5　この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（1つを選択）

1．配偶者（パートナー）がいる　　2．配偶者（パートナー）はいない

問6　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つを選択）

1．父母ともに　　3．主に父親　　5．その他（　　）
2．主に母親　　4．主に祖父母

問7　あなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入」を教えてください。（手当、養育費、生活保護費などを含む）なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。（1つを選択）

1．200万円未満　　6．800～1,000万円未満
2．200～300万円未満　　7．1,000～1,200万円未満
3．300～400万円未満　　8．1,200～1,500万円未満
4．400～600万円未満　　9．1,500万円以上
5．600～800万円未満

お子さんの養育環境について伺います。

問8　お子さんの子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人はいますか，また，相談できる場所はありますか。いる（ある）場合は，相談相手（場所）とあわせてお答えください。

相談先の有無【1つ選択】	相談相手（場所）【複数選択可】	
1．いる（ある）	ア．配偶者（パートナー）・祖父母等の親族	ク．民生委員・児童委員
	イ．友人や知人	ケ．かかりつけの医師
	ウ．近所の人	コ．子育てグループサークル
	エ．幼稚園の先生	サ．保健所・保健センター
	オ．認定こども園の先生	シ．子育て支援施設（児童センター等）・NPO
	カ．保育園の先生	ス．区の子育て関連相当窓口
	キ．利用する施設の園長	セ．その他（　　）
2．いない（ない）		

問9　子育て相談に関して，オンラインで相談できれば利用したいと思いますか。（1つを選択）

1．利用したいと思う	2．利用したいと思わない

問9で，「1」（利用したい）を選んだ方に伺います。

問9－1　オンラインで相談が必要だと思う状況をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

1．外出するのが困難	4．自分の都合がいい場所で相談したい
2．来所する時間がとれない	5．その他（　　）
3．対面までいかずに気軽に相談したい	

問9で，「2」（利用したいと思わない）を選んだ方に伺います。

問9－2　利用したいと思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

1．対面で相談するほうが，安心感がある	4．身近に相談できる人（場所）がいる（ある）
2．手続きが複雑そうである	5．その他（　　）
3．個人情報の取り扱いが心配	

すべての方に伺います。

問10　日頃，お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5．いずれもない

問11　子育て（教育を含む）をする上で，周囲（身近な人，行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

お子さんの保護者の就労状況について伺います。

問１２　お子さんの保護者は子育てと就労についてどのような希望がありますか。
（それぞれ１つを選択）

母親	
１．在宅で子育てをしたい	３．配偶者（パートナー）が在宅で子育てして自分は働きたい
２．教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい	４．その他（　　）

父親	
１．在宅で子育てをしたい	３．配偶者（パートナー）が在宅で子育てして自分は働きたい
２．教育・保育事業を利用して働きながら子育てをしたい	４．その他（　　）

問１３　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

問１３-１　保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

※時間は、必ず 24 時間制（例：08 時、18 時）でお答えください。

母親の就労状況【１つ選択】	就労時間【数字を記入】
１．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ＊フルタイム：１週５日程度・１日８時間程度の就労 ２．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ３．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ＊パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労 ４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	１週あたり　□日 １日あたり（残業含む）　□□時間□□分 家を出る時刻　□□時□□分 帰宅時刻　□□時□□分
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	

１または２と回答 ⇒ 問１４へ
３または４と回答 ⇒ 問１３-２へ
５または６と回答 ⇒ 問１３-３へ

父親の就労状況【１つ選択】	就労時間【数字を記入】
１．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない ＊フルタイム：１週５日程度・１日８時間程度の就労 ２．フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である ３．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない ＊パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労 ４．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	１週あたり　□日 １日あたり（残業含む）　□□時間□□分 家を出る時刻　□□時□□分 帰宅時刻　□□時□□分
５．以前は就労していたが、現在は就労していない ６．これまで就労したことがない	

１または２と回答 ⇒ 問１４へ
３または４と回答 ⇒ 問１３-２へ
５または６と回答 ⇒ 問１３-３へ

問１３-１で、「３」または「４」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方に伺います。

問１３-２　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ１つを選択）

母親	
１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	３．パート・アルバイト等の就労を続けたい
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	４．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

父親	
１．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	３．パート・アルバイト等の就労を続けたい
２．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	４．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問１３-１で、「５」または「６」（現在就労していない）を選んだ方に伺います。

問１３-３　就労したい希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号１つを選択、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

母親

１．子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、末子が□□歳になった頃に就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

希望する就労形態【１つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（ア．フルタイム以外の就労） １週あたり　□日　１日あたり　□□時間□□分

４．病気等で就労が困難

父親

１．子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）
２．１年より先、末子が□□歳になった頃に就労したい
３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

希望する就労形態【１つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（ア．フルタイム以外の就労） １週あたり　□日　１日あたり　□□時間□□分

４．病気等で就労が困難

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います。

問１４　現在、あて名のお子さんは、平日に教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。利用している場合は、年間を通じて「定期的に」利用している事業と利用日数等を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。
※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

利用の有無（1つ選択）	現在の利用状況【複数選択可】	
1．利用している	利用している教育・保育事業	ア．幼稚園　通常の就園時間の利用 イ．幼稚園の預かり保育　通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ ウ．認可保育園　国が定める最低基準に適合し、都等の認可を受けた定員20人以上の施設 エ．認定こども園　幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設（区立一本橋・五反田・旗の台・北品川第二保育園、私立Gakkan こどもえん、ポピンズナーサリースクール西五反田、石井こども園、空のはねこども園はたのだい、はぐはぐキッズこども園中延） オ．認証保育所　認可保育園ではないが、都が定めた施設基準を満たし、都が認証した施設 カ．幼保一体施設　保育園と幼稚園を同じ建物内か隣接する施設内において一体的に運営する施設（二葉すこやか園、第一日野すこやか園、平塚すこやか園、のびっこ園台場、御殿山すこやか園、八潮すこやか園） キ．就学前乳幼児教育施設　保育園と幼稚園相互の特色を生かした保育と教育を継続的、一体的に行う施設（沢りすくーる西五反田） ク．小規模保育事業　国が定める最低基準に適合し、区の認可を受けた定員が戦は6から19人の施設 ケ．家庭的保育事業　保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業 コ．事業所内保育事業　企業が主に従業員用に運営する施設 サ．居宅訪問型保育事業　保育者が子どもの家庭で保育する事業（ベビーシッター） シ．その他の認可外の保育施設（企業主導型保育事業を含む） ス．ファミリー・サポート・センター　地域住民が子どもを預かる事業 セ．その他（　　）
	利用日数・時間	現在の利用状況：1週あたり □ 日・1日あたり □□時間□□分 □□時□□分 から □□時□□分 現在、利用している教育・保育事業の実施場所 →（1．品川区内　2．他の区市）
	利用日数・時間	今後の利用希望：1週あたり □ 日・1日あたり □□時間□□分 □□時□□分 から □□時□□分 今後、利用を希望する教育・保育事業の実施場所 →（1．品川区内　2．他の区市）
	教育・保育事業を利用している理由【複数選択可】	1．子どもの教育や発達のため 2．子育てをしている方が現在就労しているため 3．子育てをしている方が就労予定があるため／求職中のため 4．子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため 5．子育てをしている方が病気や障害があるため 6．子育てをしている方が学生であるため 7．その他（　　）

	利用していない理由【複数選択可】
2．利用していない	ア．利用する必要がないため（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していない） イ．子どもの祖父母や親戚の人がみているため ウ．近所の人や父母の友人・知人がみているため エ．利用したいが、教育・保育の事業に空きがないため オ．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため カ．利用したいが、延長・時間等の時間帯の条件が合わないため キ．利用したいが、質や場所等、納得できる事業がないため ク．子どもがまだ小さいため（満 □ 歳くらいになったら利用しようと考えている） ケ．その他（　　）

すべての方に伺います。

問１５　現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと思う事業をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ア．幼稚園
通常の就園時間の利用

イ．幼稚園の預かり保育
通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ

ウ．認可保育園
国が定める最低基準に適合し、都等の認可を受けた定員20人以上の施設

エ．認定こども園
幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
（区立一本橋・五反田・旗の台・北品川第二保育園、私立Gakkan こどもえん、ポピンズナーサリースクール西五反田、石井こども園、空のはねこども園はたのだい、はぐはぐキッズこども園中延）

オ．認証保育所
認可保育園ではないが、都が定めた施設基準を満たし、都が認証した施設

カ．幼保一体施設
保育園と幼稚園を同じ建物内か隣接する施設内において一体的に運営する施設
（二葉すこやか園、第一日野すこやか園、平塚すこやか園、のびっこ園台場、御殿山すこやか園、八潮すこやか園）

キ．就学前乳幼児教育施設
保育園と幼稚園相互の特色を生かした保育と教育を継続的、一体的に行う施設（沢りすくーる西五反田）

ク．小規模保育事業
国が定める最低基準に適合し、区の認可を受けた定員が戦は6から19人の施設

ケ．家庭的保育事業
保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業

コ．事業所内保育事業
企業が主に従業員用に運営する施設

サ．居宅訪問型保育事業
保育者が子どもの家庭で保育する事業（ベビーシッター）

シ．その他の認可外の保育施設
（企業主導型保育事業を含む）

ス．ファミリー・サポート・センター
地域住民が子どもを預かる事業

セ．その他（　　）

問１５で、「ア」または「イ」に○をつけ、かつ「ウ」から「セ」にも○をつけた方に伺います。

問１５－１　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（１つを選択）

1．はい	2．いいえ

すべての方に伺います。

問１６　現在、品川区が行う教育・保育内容の充実度についてどのように思いますか。（１つを選択）
「３」または「４」を選んだ方は、充実してほしい教育・保育内容を具体的にご記入ください。

1．とても充実している
2．まあ充実している
3．あまり充実していない
4．まったく充実していない

<充実してほしい教育・保育内容>
具体的に：

問１７　定期的に教育・保育の事業を利用しているまたは希望する方に伺います。教育・保育の環境および内容として期待する項目をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

1．保育施設（明るい・広い・安全な設備など）
2．保育者の人数
3．保育者の専門性
4．好きな遊び充実しめる教材・遊具の配置
5．友達とのかかわり
6．食育
7．英語・音楽・体操・絵画などの専門講師の配置
8．小学校との交流
9．ＩＣＴ教材
10．戸外で体を動かす

※ＩＣＴ教材を活用した学習は、タブレットパソコンや電子黒板によるわかりやすい授業により、一人ひとりの能力や特性を伸ばすとともに、子どもたち同士が楽しみながら教え合い学び合うことを目的としています。

定期的に教育・保育事業を利用している方（問１４で１を選択）または利用を希望する方（問１５で何かを選択）に伺います。

問１８　保育の施設を検討する際の、立地に関する考え方をお答えください。
（最もあてはまるものを１つを選択）

1．自宅からの距離・利便性を重視する
2．自宅の最寄り駅からの距離・利便性を重視する
3．通勤先等からの距離・利便性を重視する
4．日常利用する移動経路（通勤経路等）上に立地していることを重視する
5．施設の環境（園庭の有無、周辺環境など）を重視する
6．その他（　　）

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について伺います。

問１９　お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場「児童センター」・「子育て支援センター」等）を利用していますか。また、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。次の中から、利用しているものすべてを選択してください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

現在の利用状況（複数選択可）／おおよその利用回数【数字を記入】	今後の利用希望（１つ選択）／おおよその利用回数【数字を記入】
1．地域子育て支援拠点事業（児童センター、子育て支援センター、ポップンルーム） １週あたり □回程度 もしくは　１か月あたり □回程度	1．利用していないが、今後利用したい １週あたり □回程度 もしくは　１か月あたり □回程度
2．その他品川区で実施している事業（子育て支援ルーム、子育て支援サロン等） １週あたり □回程度 もしくは　１か月あたり □回程度	2．既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい １週あたり □回程度 もしくは　１か月あたり □回程度
3．利用していない	3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問２０　下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①から⑪の事業ごとに、Ａから Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。

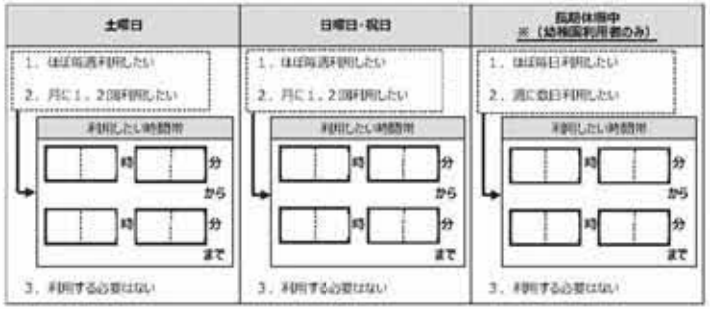
	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤子育て支援センター	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦いきいきあんしん子育てガイド	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧児童センターの子育て相談（ネウボラ相談）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑨児童センターの講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑩保育園と幼稚園の子育て相談	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑪区の子育て関連担当窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

お子さんの土曜・日曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について伺います。

問２１　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ１つを選択）
希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※　教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業のことをいい、親族・知人による預かりは含みません。

※　時間は、必ず 24 時間制（例：08 時、18 時）でお答えください。



問２１の土曜日または日曜日・祝日で、「２」を選んだ方に伺います。

問２１－１　毎週ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。
（あてはまるものすべてを選択）

1．月に数回仕事が入るため	4．リフレッシュのため
2．買い物等の用事をまとめて済ませるため	5．その他（　　）
3．親族の介護や手伝いが必要なため	

問２１の長期休暇中で、「２」を選んだ方に伺います。

問２１－２　毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。
（あてはまるものすべてを選択）

1．月に数回仕事が入るため	4．リフレッシュのため
2．買い物等の用事をまとめて済ませるため	5．その他（　　）
3．親族の介護や手伝いが必要なため	

お子さんの病気の際の対応について伺います。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問１４で、「平日の定期的な教育・保育事業を利用している」を選んだ方に伺います。
利用していない方は、16 ページ 問２３へお進みください。

問２２　この１年間に、あて名のお子さんが病気や けがで、通常の事業が利用できなかったことがありますか。あった場合は、行った対処方法と対処にかかった日数をあわせてお答えください。

※半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

通常の事業を利用できなかったこと【１つ選択】	１年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数【数字を記入】	
1．あった	ア．父親が仕事を休んだ	日	⇒問２２－１、２へ
	イ．母親が仕事を休んだ	日	
	ウ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	日	⇒問２２－７へ
	エ．父親または母親のうち就労していない方がみた	日	
	オ．病児保育を利用した	日	
	カ．病後児保育を利用した	日	
	キ．ベビーシッターを利用した	日	
	ク．ファミリー・サポート・センターを利用した	日	
	ケ．仕方なく子ども だけで留守番をさせた	日	
	コ．その他（　　）	日	
2．なかった			問２３へ

問２２で、「ア」または「イ」（母親、父親が仕事を休んだ）を選んだ方に伺います。

問２２－１　その際、お子さんが発熱や風邪などの病気であった場合、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（１つを選択）
また、利用したい場合は、利用日数をあわせてお答えください。
なお、病児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1．できれば病児保育施設等を利用したい（　　日くらい利用したい）
2．利用しない
3．病児保育施設等があることを知らなかった

問２２－２　その際、お子さんが発熱や風邪などの病気が回復し登園可能であるが、集団での保育や園での戸外活動に不安があると感じた場合、「できれば病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（１つを選択）
また、利用したい場合は、利用日数をあわせてお答えください。
なお、病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる場合があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1．できれば病後児保育施設等を利用したい（　　日くらい利用したい）
2．利用しない
3．病後児保育施設等があることを知らなかった

問２２－１で、「１」（病児保育施設等を利用したい）を選んだ方に伺います。

問２２－３　病児保育施設に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が良いと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
2．保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
3．その他（　　）

問２２－２で、「１」（病後児保育施設等を利用したい）を選んだ方に伺います。

問２２－４　病後児保育施設に子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が良いと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
2．保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
3．その他（　　）

問２２－１で、「２」（病児保育施設等を利用しない）を選んだ方に伺います。

問２２－５　利用しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．病児を他人にみてもらうのは不安
2．病児保育施設の質に不安がある
3．病児保育施設の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
4．利用料がかかる・高い
5．利用方法がわからない
6．その他（　　）

問２２－２で、「２」（病後児保育施設等を利用しない）を選んだ方に伺います。

問２２－６　利用しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．病後児を他人にみてもらうのは不安
2．病後児保育施設の質に不安がある
3．病後児保育施設の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
4．利用料がかかる・高い
5．利用方法がわからない
6．その他（　　）

問２２で、「ウ」から「コ」（母親もしくは父親が休んだ以外）のいずれかを選んだ方に伺います。

問２２－７　「ウ」から「コ」を選んだ理由はなんですか。（１つを選択）

1．子どもの看護を理由に休みが取れない
2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない
4．その他（　　）

すべての方に伺います。

問２３　品川区が病児保育を新設する事業者に対して、開設費および運営費の補助を行うことについてどのように思いますか。（１つを選択）

1．賛成である
2．やや賛成である
3．どちらでもない
4．やや反対である
5．反対である
6．その他（　　）

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います。

問２４　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。利用している場合は、利用している事業と１年間のおおよその利用日数を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。

利用の有無【1つ選択】			年間延べ日数【数字を記入】
1．利用している	▶	利用している事業【複数選択可】	
		ア．一時保育（保護者が病気や出産等の理由で子どもを保育できないときに、一時的に認可保育園で預かる事業）	日
		イ．生活支援型一時保育：オアシスルーム（在宅で子育てをする保護者が一時的な保育を希望する場合に、時間単位で子どもを預かる事業）	日
		ウ．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
		エ．ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
		オ．夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
		カ．ベビーシッター	日
		キ．その他（　　）	日
2．利用していない	▶	利用していない理由【複数選択可】	
		ア．特に利用する必要がない	
		イ．利用したい事業が地域にない	
		ウ．地域の事業の質に不安がある	
		エ．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない	
		オ．利用料がかかる・高い	
		カ．利用料がわからない	
		キ．自分が事業の対象となるのかわからない	
		ク．事業の利用方法がわからない	
		ケ．その他（　　）	

問２５　お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてを選び、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字（１枠に１字）をご記入ください）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．利用したい		計　日
	ア．私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	日
	ウ．不定期の就労	日
	エ．その他（　　）	日
2．利用する必要はない		

問２６　お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてを選択し、必要な泊数を数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください。）
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．泊まった		計　泊
	ア．冠婚葬祭	泊
	イ．保護者や家族の育児疲れ・不安	泊
	ウ．保護者や家族の病気	泊
	エ．その他（　　）	泊
2．泊まらなかった		

問２７　夜間・深夜・早朝・休日保育サービスを利用したいと思いますか。（１つを選択）

１．利用したい	２．利用する必要はない

問２７で、「１」（利用したい）を選んだ方に伺います。

問２７－１　あなたの現在の職種をお答えください。（１つを選択）

１．経営・管理職	３．事務職	５．販売・サービス職
２．専門・技術職	４．労務・技能職	６．その他（　　）

問２７－２　利用したい時間帯をご記入ください。
※時間は、必ず２４時制（例：０８時、１８時）でお答えください。

利用したい時間		時		分から		時	分まで

問２７－３　利用したい施設・事業をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

１．事業所内保育施設	３．居宅訪問型保育（ベビーシッター）	５．休日保育
２．院内保育施設	４．ベビーホテル	６．その他（　　）

問２７-３で、「５」（休日保育）を選んだ方に伺います。

問２７－４　日曜日・祝日、年末年始に、休日保育の利用希望はありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

１．日曜日に利用したい	２．祝日に利用したい	３．年末年始に利用したい

すべての方に伺います。

問２８　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」※が導入された場合、利用したいと思いますか。（１つを選択）
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。

１．利用したい	２．利用したいと思わない

※「こども誰でも通園制度（仮称）」とは、現在保育所や幼稚園等を利用していない未就学児を、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる通園制度です。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について伺います。

問２９　育児休業の延長（満１歳から満１歳６か月、満１歳６か月から満２歳）について伺います。
育児休業を延長する場合、お勤め先にはどのような手続きが必要ですか。（１つを選択）

１．区市町村が発行する保育園の入園不承認通知書の提出を求められている
２．満１歳６か月までの延長は申請のみだが、満２歳までの延長には、保育園の入園不承認通知書の提出を求められている
３．申請のみで満２歳まで延長が認められる
４．その他（　　）
５．わからない

問２９－１　子どもが原則満１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は満２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。（１つを選択）

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	３．保険料免除のみ知っていた	
２．育児休業給付のみ知っていた	４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	

問３０　お子さんが満１歳になる前に、認可保育園への入園申込みをしましたか。（１つを選択）

１．申込みをした　→**問３１へ**	２．申込みをしなかった　→**問３２へ**

問３１　入園申込みした理由をお答えください。（１つを選択）

１．認可保育園へ入園し、職場に復帰するため
２．認可保育園への入園を希望しないが、育児休業の延長手続きで入園不承認通知書が必要となるため
３．認可保育園への入園を希望しないが、認可外保育施設やベビーシッターの保育料助成手続きで入園不承認通知書が必要となるため
４．その他（　　）

問３２　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得した場合は、取得後の状況を、取得しなかった場合は、その理由をお答えください。

問３２の母親で、「１．取得した」の「A」（職場に復帰）を選んだ方は問３３にお答えください。
「B」（離職）を選んだ方は 23 ページ 問３４へお進みください。

問32の母親で、「2．取得しなかった」または「3．働いていなかった」を選んだ方、その他いずれにも該当しない方も、**23 ページ 問34へ**お進みください。

問３３　母親が職場に復帰した時の状況についてお答えください。

問３３－１　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（１つを選択）

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、１月から２月頃に復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「１」を選択してください。

1．年度初めの入園に合わせたタイミングだった	2．それ以外だった

問３３－２　育児休業からは、「実際」にお子さんが満何歳何か月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、満何歳何か月のときまで取りたいと思いましたか。「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由をあわせてお答えください。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

実際の時期	□歳 □□か月 ➡	希望の時期	□歳 □□か月

「希望」より早く復帰した方【複数選択可】	「希望」より遅く復帰した方【複数選択可】
1．希望する保育園に入るため	1．希望する保育園に入れなかったため
2．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため	2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．その他（　　）	5．子どもをみてくれる人がいなかったため
	6．その他（　　）

問３３－３　お勤め先に、満３歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが満何歳何か月のときまで取りたいと思いますか。□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。

□歳 □□か月

問３３－４　育児休業から職場に復帰した時には短時間勤務制度を利用しましたか。利用しなかった（できなかった）場合は、その理由もあわせてお答えください。

利用の有無【１つ選択】		利用しなかった理由【複数選択可】
１．利用した		
２．短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）	➡	ア．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため イ．仕事がたしかったため ウ．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため エ．短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がるため オ．配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため カ．配偶者（パートナー）が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため キ．子育てや家事に専念するため退職したため ク．職場に短時間勤務制度がなかったため（就業規則に定めがなかったため） ケ．短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため コ．その他（　　）

問３２の父親で、「１．取得した」の「A」（職場に復帰）を選んだ方は問３４にお答えください。「B」（離職）を選んだ方は 25 ページ 問３５へお進みください。

問32の父親で、「2．取得しなかった」または「3．働いていなかった」を選んだ方、その他いずれにも該当しない方も、25 ページ 問35へお進みください。

問３４　父親が職場に復帰した時の状況についてお答えください。

問３４－１　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。（１つを選択）

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、１月から２月頃に復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１」にあてはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「１」を選択してください。

１．年度初めの入園に合わせたタイミングだった　　２．それ以外だった

問３４－２　育児休業からは、「実際」にお子さんが満何歳何か月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、満何歳何か月のときまで取りたいと思いましたか。「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由をあわせてお答えください。□内に数字（１桁に１字）をご記入ください。

実際の時期 □歳□□か月 ➡ 希望の時期 □歳□□か月	
「希望」より早く復帰した方【複数選択可】	「希望」より遅く復帰した方【複数選択可】
１．希望する保育園に入るため	１．希望する保育園に入れなかったため
２．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため	２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があったため	３．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
５．その他（　　）	５．子ども見てくれる人がいなかったため
	６．その他（　　）

問３４－３　お勤め先に、満３歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが満何歳何か月のときまで取りたいと思いますか。□内に数字（１桁に１字）をご記入ください。

□歳□□か月

問３４－４　育児休業から職場に復帰した時には短時間勤務制度を利用しましたか。利用しなかった（できなかった）場合は、その理由もあわせてお答えください。（１つを選択）

利用の有無【１つ選択】		利用しなかった理由【複数選択可】
１．利用した		
２．短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）	➡	ア．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため イ．仕事がたしかったため ウ．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため エ．短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がるため オ．配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため カ．配偶者（パートナー）が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため キ．子育てや家事に専念するため退職したため ク．職場に短時間勤務制度がなかったため（就業規則に定めがなかったため） ケ．短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため コ．その他（　　）

お子さんの生年月日が平成31年4月1日以前の場合、小学校就学後の放課後の過ごし方について伺います。

→ お子さんの生年月日が平成31年4月2日以降の場合、問38へ

問35　お子さんについて、小学校低学年（1、2、3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ、あてはまる番号1つを選択し、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。
※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

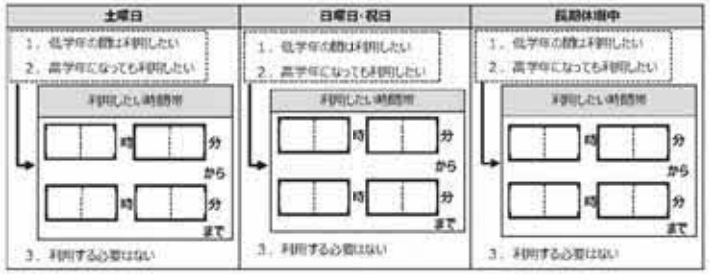
1．自宅　① 家族とともに過ごす	週 □	日くらい
② ファミリーサポートの会員・シッターなどとともに過ごす	週 □	日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週 □	日くらい
3．塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）	週 □	日くらい
4．児童センター	週 □	日くらい
5．すまいるスクール（学童保育）	週 □	日くらい　下校時から □□ 時まで
6．ファミリー・サポート・センター	週 □	日くらい
7．その他（文化センター・図書館・公園など）	週 □	日くらい

問36　お子さんについて、小学校高学年（4、5、6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。まだ先のことですが、現在お持ちのイメージでお答えください。それぞれ、あてはまる番号1つを選択し、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

1．自宅　① 家族とともに過ごす	週 □	日くらい
② ファミリーサポートの会員・シッターなどとともに過ごす	週 □	日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週 □	日くらい
3．塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）	週 □	日くらい
4．児童センター	週 □	日くらい
5．すまいるスクール（学童保育）	週 □	日くらい　下校時から □□ 時まで
6．ファミリー・サポート・センター	週 □	日くらい
7．その他（文化センター・図書館・公園など）	週 □	日くらい

問35または問36で、「5．すまいるスクール（学童保育）」を選んだ方に伺います。

問37　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、すまいるスクール（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれ、あてはまる番号1つを選択し、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。（低学年…1、2、3年生、高学年…4、5、6年生）※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。



ご家庭での子育てや日頃感じていることについて伺います。

問38　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。（それぞれについて1つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
こども基本法	1	2	3	4
子どもの権利条約	1	2	3	4

問３９　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）	1	2	3	4
子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）	1	2	3	4
子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）	1	2	3	4
子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）	1	2	3	4
子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）	1	2	3	4
子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）	1	2	3	4
子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（遊ぶ権利）	1	2	3	4
子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）	1	2	3	4

問４０　あなたは、お子さんに関わることを決めるときに、お子さんの意見を聞いて、大事に扱っていると思いますか。（１つを選択）

1．とても大事に扱っている
2．大事に扱っている
3．大事に扱っていない
4．全く大事に扱っていない

問４１　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．あまりそう思わない　4．思わない

問４２　品川区は、３年前と比べて、子育てのしやすいまちになったと思いますか。（１つを選択）

1．とても子育てがしやすくなった
2．少しは子育てがしやすくなった
3．あまり変わらない
4．やや子育てがしにくくなった
5．非常に子育てがしにくくなった
6．３年前は子どもがいなかったのでわからない
7．３年前は住んでいなかったのでわからない

<なぜそう思いましたか>

理由：

問４３　あなたは最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか。（特に問題だと思うものを３つまで選択）

1．家庭でのしつけが不十分であること
2．地域社会での子どもへの関わりが不十分であること
3．学校での教育が不十分であること
4．受験競争が厳しいこと
5．親の収入などによって、受けられる教育に差があること
6．子どもの遊び場が少ないこと
7．テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること
8．子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により、親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること
9．子どもが安全に生活できなくなっていること
10．その他（　　）

問４４　お子さんは、今の生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

1．とても幸せだと思う　2．幸せだと思う　3．あまり幸せではないと思う　4．幸せではないと思う

問４５　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

1．とても幸せ　2．幸せ　3．あまり幸せではない　4．幸せではない

問４６　５年後のお子さんは、幸せな生活を送っていると思いますか。（１つを選択）

1．とても幸せだと思う　2．幸せだと思う　3．あまり幸せではないと思う　4．幸せではないと思う

問４７　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

1．とても幸せだと思う　2．幸せだと思う　3．あまり幸せではないと思う　4．幸せではないと思う

問４８　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は、終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。

小学生保護者

（仮）品川区子ども計画の策定に向けた区民意識調査

～ご協力のお願い～

日頃より品川区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

品川区では、これまで「第２期品川区子ども・子育て支援計画」および「第２期品川区子ども・若者計画」を策定し、子ども・若者・子育て施策を計画的に推進してきましたが、この度、こども基本法に基づく「こども計画」と一体のものとして、「（仮）品川区子ども計画」を策定することといたしました。つきましては、策定の基礎資料とするため、子育て中の皆様を対象とした「アンケート調査」を実施いたします。

お忙しいところ設問が多く誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- この調査は、区内にお住まいの小学生のお子さんを無作為に２，０００人抽出し、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。
- 調査票にはお名前を書いていただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 回答は、区の施策を検討するための基礎資料として活用いたします。

令和６年６月

品川区長　森澤　恭子

【ご回答にあたってのお願い】

1. アンケート調査には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわり書きがある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。数字や文章をご記入いただく場合もあります。
4. 回答はＷＥＢ、調査票のどちらでもできます。
5. 選択肢に矢印やことわり書きがある場合は、それにしたがって次の設問に進んでください。
6. 回答期限は、　**６月２１日(金)**　です。

【お問合せ先】

品川区　子ども育成課　子ども施策・計画担当

電話：０３－５７４２－６６９２（８:３０～１７:１５ 土日祝除く）

ー インターネットでご回答いただく場合 ー

① スマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。

※　スマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

【URL】
https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/shinagawa02

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインID】＊＊＊＊＊＊

【パスワード】＊＊＊＊＊＊

※ パスワードはアルファベット(小文字)

※　このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。

※　なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。

④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。

ー郵送でご回答いただく場合 ー

① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。

② 調査票は、ご記入のうえ同封の返信用封筒に入れて封をし、ポストへ投函してください。

回答期限　令和6年6月21日(金)まで

ご家族のお住まいについて伺います。

問1　お住まいの地区をお答えください。（1つを選択）

No.	地区	町名・丁目
1	品川地区	北品川1～6、東品川1～5、南品川1～6、八潮1～3、東八潮、広町1
2	東大井・八潮地区	東大井1～6、南大井1～6、勝島1～3、八潮4・5
3	大崎地区	西品川1～3、大崎1～5、豊町1、平塚1、戸越1～5
4	大井地区	大井1～7、西大井1～6、二葉1～4、豊町2～6、広町2、戸越6
5	五反田地区	上大崎1～4、東五反田1～5、西五反田1～6、小山台1・2、小山1～3、花原1～3
6	花原地区	旗の台1～6、中延1～6、小山4～7、花原4～7、平塚2・3、西中延1～3、東中延1・2

問1-1　品川区に居住して何年になりますか。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

□□ 年

お子さんとご家族の状況について伺います。

問2　お子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

（平成・令和） □□ 年 □□ 月生まれ

問3　お子さんのきょうだいは何人いますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上のお子さんがいる場合は、末子の生年月をご記入ください。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月　（平成・令和） □□ 年 □□ 月生まれ

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つを選択）

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問5　この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（1つを選択）

1．配偶者（パートナー）がいる　　2．配偶者（パートナー）はいない

問6　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つを選択）

1．父母ともに　　3．主に父親　　5．その他（　　）
2．主に母親　　4．主に祖父母

問7　あなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入」を教えてください。（手当、養育費、生活保護費などを含む）なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。（1つを選択）

1．200万円未満
2．200～300万円未満
3．300～400万円未満
4．400～600万円未満
5．600～800万円未満
6．800～1,000万円未満
7．1,000～1,200万円未満
8．1,200～1,500万円未満
9．1,500万円以上

お子さんの養育環境について伺います。

問8　お子さんの子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。

相談先の有無【1つ選択】	相談相手（場所）【複数選択可】	
1．いる（ある）	ア．配偶者（パートナー）・祖父母等の親族	ク．民生委員・児童委員
	イ．友人や知人	ケ．かかりつけの医師
	ウ．近所の人	コ．子育てグループリーダー
	エ．幼稚園の先生	サ．保健所・保健センター
	オ．認定こども園の先生	シ．子育て支援施設（児童センター等）・NPO
	カ．保育園の先生	ス．区の子育て関連担当窓口
	キ．利用する施設の職員	セ．その他（　　）
2．いない（ない）		

問９　子育て相談に関して、オンラインで相談できれば利用したいと思いますか。（１つを選択）

１．利用したいと思う	２．利用したいと思わない

問９で、「１」（利用したい）を選んだ方に伺います。

問９－１　オンラインで相談が必要だと思う状況をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

１．外出するのが困難	４．自分の都合がいい場所で相談したい
２．来所する時間がとれない	５．その他（　　）
３．対面までいかずに気軽に相談したい	

問９で、「２」（利用したいと思わない）を選んだ方に伺います。

問９－２　利用したいと思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてを選択）

１．対面で相談するほうが、安心感がある	４．身近に相談できる人（場所）がいる（ある）
２．手続きが複雑そうである	５．その他（　　）
３．個人情報に取り扱いが心配	

すべての方に伺います。

問１０　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてを選択）

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
５．いずれもない

問１１　あなたのご家庭では、あて名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれについて１つを選択）

	ほとんど毎日	週に３～４回	週に１～２回	月に１～２回	めったにない
子どもと一緒に遊ぶ	1	2	3	4	5
子どもと、自宅以外の場所（学校など）でのことやテレビ番組、ニュースなどの話をする	1	2	3	4	5
子どもと一緒に外出する（買い物含む）	1	2	3	4	5
子どもの習い事や勉強を題材にコミュニケーションをとる	1	2	3	4	5

問１２　あて名のお子さんの学習環境について伺います。お子さんは、普段（月曜日～金曜日）、学校以外で１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（１つを選択）
※塾などの時間も含みます。

１．全くしない
２．15 分未満
３．15 分～30 分未満
４．30 分～１時間未満
５．１時間以上

問１３　子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてを選択）

１．子育てによる身体の疲れが大きいこと
２．学費など子育てに出費がかさむこと
３．子どもの病気や障がい、発育、発達に関すること
４．育児の方法がよくわからないこと
５．子どもとの接し方に自信が持てないこと
６．話し相手（パパ友、ママ友）や相談相手がいないこと
７．仕事が忙しくて子どもとの時間が取れないこと
８．自分の時間が持てないこと
９．子どものしつけに関すること
10．子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること
11．子どもの就学、進学などに関すること
12．子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと
13．配偶者、パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14．家族の介護も行わなければならないこと
15．経済的にゆとりがないこと
16．住居や周辺の環境が良くないこと
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
18．その他（　　）

問１４　区の子育て支援への取組や少子化対策として、期待すること、重要なことは何ですか。（あてはまるもの３つまで選択）

1．子育てに関する情報提供
2．子育てに関する相談体制の充実
3．子どもが参加できるイベントや事業の充実
4．子ども自身からの相談を受ける体制の充実
5．子どもの意見を発信する場や機会の充実
6．地域における子どもの居場所の充実
7．正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供
8．子どもへの無料の学習支援
9．ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
10．母子の健康のための健診や訪問の充実
11．発達に支援が必要な子どもも共に成長するための取組
12．子育てに係る費用負担に対する経済的支援
13．子育てと仕事が両立できるように、保護者や企業に対する啓発活動
14．保護者同士がつながりを持てる機会の提供（パパ友、ママ友がつくれる場）
15．犯罪や災害、交通事故から子どもを守るための取組
16．子育て世帯が外出しやすいまちづくり
17．その他（　　）

問１５　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

問１６　子育てに関する情報をどのように得ていますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．区のホームページ
2．メール、ＬＩＮＥ配信
3．品川区Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）
4．広報しながわ
5．区が発行する各種案内チラシ
6．区の窓口
7．パパ友、ママ友などの友だちや知り合い
8．保育所、幼稚園や学校など
9．その他（　　）

お子さんの保護者の就労状況について伺います。

問１７　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業，家族従事者含む）を伺います。

問１７-１　保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は，最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況でお答えください。

※時間は、必ず24時間制（例：08時，18時）でお答えください。

母親の就労状況【１つ選択】	就労時間【数字を記入】
1．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ＊フルタイム：１週５日程度・１日８時間程度の就労 2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ＊パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労 4．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	１週あたり　□日 １日あたり（残業含む）　□□時間□□分 家を出る時刻　□□時□□分 帰宅時刻　□□時□□分
5．以前は就労していたが、現在は就労していない 6．これまで就労したことがない	**１または２と回答 ⇒ 問１８へ** **３または４と回答 ⇒ 問１７-２へ** **５または６と回答 ⇒ 問１７-３へ**

父親の就労状況【１つ選択】	就労時間【数字を記入】
1．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない ＊フルタイム：１週５日程度・１日８時間程度の就労 2．フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない ＊パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労 4．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	１週あたり　□日 １日あたり（残業含む）　□□時間□□分 家を出る時刻　□□時□□分 帰宅時刻　□□時□□分
5．以前は就労していたが、現在は就労していない 6．これまで就労したことがない	**１または２と回答 ⇒ 問１８へ** **３または４と回答 ⇒ 問１７-２へ** **５または６と回答 ⇒ 問１７-３へ**

問17-1で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方に伺います。

問17-2　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つを選択）

母親	
1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	3．パート・アルバイト等の就労を続けたい
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

父親	
1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	3．パート・アルバイト等の就労を続けたい
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問17-1で、「5」または「6」（現在就労していない）を選んだ方に伺います。

問17-3　就労したい希望はありますか。それぞれ、あてはまる番号・記号1つを選択、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。

母親

1．子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）

2．1年より先、末子が□□歳になった頃に就労したい

3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態【1つ選択】※「イ」の場合は希望する就労時間も記入

ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外の就労）

↳ 1週あたり□日　1日あたり□□時間□□分

4．病気等で就労が困難

父親

1．子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）

2．1年より先、末子が□□歳になった頃に就労したい

3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態【1つ選択】※「イ」の場合は希望する就労時間も記入

ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外の就労）

↳ 1週あたり□日　1日あたり□□時間□□分

4．病気等で就労が困難

問18　下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①から⑫の事業ごとに、Aから Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①母親学級、両親学級、乳児期前期育児学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤子育て支援センター	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい　いいえ	はい　いいえ	—
⑦いきいきあんしん子育てガイド	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧児童センターの子育て相談（ネウボラ相談）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑨児童センターの講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑩保育園と幼稚園の子育て相談	はい　いいえ	はい　いいえ	—
⑪区の子育て関連担当窓口	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

小学校の放課後の過ごし方について伺います。

問19　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ、あてはまる番号1つを選択し、□内に数字（1枠に1字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

1．自宅	① 家族とともに過ごす	週□日くらい
	② ファミリーサポートの会員・シッターなどとともに過ごす	週□日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅		週□日くらい
3．塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）		週□日くらい
4．児童センター		週□日くらい
5．すまいるスクール（学童保育）		週□日くらい　下校時から□□時まで
6．ファミリー・サポート・センター		週□日くらい
7．その他（文化センター・図書館・公園など）		週□日くらい

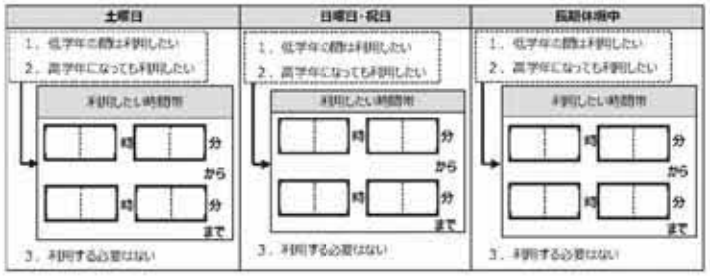
お子さんが小学校低学年（1、2、3年生）の方に伺います。

問２０　お子さんについて、小学校高学年（4、5、6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在お持ちのイメージでお答えください。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。また、「すまいるスクール（学童保育）」には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

1．自宅　① 家族とともに過ごす	週 □ 日くらい
② ファミリーサポートの会員・シッターなどとともに過ごす	週 □ 日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3．塾・習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）	週 □ 日くらい
4．児童センター	週 □ 日くらい
5．すまいるスクール（学童保育）	週 □ 日くらい　下校時から □□ 時まで
6．ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい
7．その他（文化センター・図書館・公園など）	週 □ 日くらい

問１９または問２０で、「5．すまいるスクール（学童保育）」を選んだ方に伺います。

問２１　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、すまいるスクール（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれ、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。（低学年…1、2、3年生、高学年…4、5、6年生）※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。



「すまいるスクール（学童保育）」について、伺います。

問２２　お子さんは「すまいるスクール（学童保育）」を利用していますか。（１つを選択）

1．現在利用している
2．以前利用していた　→**問２４へ**
3．利用していない　→**問２３へ**

問２２で「1」（利用している）を選んだ方に伺います。

問２２-１　お子さんの放課後児童クラブの利用日数について、あてはまる番号１つを選択し、□内に数字（１枠に１字）をご記入ください。
また、利用している理由について、あてはまる番号１つを選択してください。

利用日数	1．ほぼ毎月の利用　→週 □ 日くらい 2．長期休業のみの利用　→週 □ 日くらい
利用している理由【1つ選択】	主にお子さんの身の回りの世話をしている方が、 1．現在就労している 2．家族・親戚などを介護しなければならない 3．病気または障がいなどがある 4．学生である 5．その他（　　）

問２２-２　「すまいるスクール（学童保育）」の職員に満足していますか。（１つを選択）

1．満足している
2．おおむね満足している
3．あまり満足していない
4．満足していない

問２２-３　「すまいるスクール（学童保育）」の職員に求めることは何ですか。（あてはまるもの３つまで選択）

1．保育士、学校教諭、放課後児童支援員などの資格を持っていること
2．子どもや保護者一人ひとと信頼関係が結べること
3．どの子どもに対しても公平な態度で接すること
4．子どもの安全や健康にしっかり気を配ること
5．子どもの興味を引き出し、子ども主体の活動を支えられること
6．子どもに生活習慣や社会性が身につくように指導できること
7．配慮を必要とする子どもの理解や支援があること
8．遊びや体験活動における特技を持っていること
9．その他（　　）

問２２-４　「すまいるスクール（学童保育）」で特に取り組んでほしいことは何ですか。（１つを選択）

1．児童館事業、イベントの充実
2．保護者向け事業、イベントの充実
3．防犯、安全面の強化
4．育成環境、衛生面の向上
5．支援員の人材確保、資質の向上
6．その他（　　）

問２２で「３」（利用していない）を選んだ方に伺います。

問２３　利用されていない理由はなんですか。（１つを選択）

主にお子さんの身の回りの世話をしている方が、
1．現在就労していないから
2．就労しているが、「すまいるスクール（学童保育）」を知らなかったから
3．就労しているが、「すまいるスクール（学童保育）」がないから
4．就労しているが、「すまいるスクール（学童保育）」に空きがないから
5．就労しているが、「すまいるスクール（学童保育）」の開所時間が短いから
6．就労しているが、利用料がかかるから
7．就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8．就労しているが、兄・姉と一緒に過ごしているから
9．就労しているが、放課後の短時間なら、子どもだけでも大丈夫と思うから
10．就労しているが、子どもの下校前に帰宅できるため
11．就労しているが、他の施設や人に預けているから
12．その他（　　）

子どもの居場所について、伺います。

問２４　放課後や休日、お子さんは、どこで過ごしていますか。
（一番多く過ごしている場所１つを選択）

1．自宅
2．友だちの家
3．放課後児童クラブ
4．塾や習い事の場所
5．図書館や交流館など
6．公園、広場
7．飲食店やコンビニ
8．その他（　　）

問２５　放課後や休日、お子さんには、どこで過ごしてもらいたいですか。（１つを選択）

1．自宅
2．友だちの家
3．放課後児童クラブ
4．塾や習い事の場所
5．図書館や交流館など
6．公園、広場
7．飲食店やコンビニ
8．その他（　　）

問２６　品川区では、子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）は確保されていると思いますか。（１つを選択）
※家と学校は除きます。

1．確保されていると思う
2．確保されていないと思う

問２７　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていると思う場所はどこですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．運動ができる場所
2．外遊びができる場所
3．自然とふれ合える場所
4．勉強ができる場所
5．本が読める場所
6．音楽の練習ができる場所
7．ゲームができる場所
8．インターネットができる場所
9．のんびりできる場所
10．友だちと集まっておしゃべりできる場所
11．子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所
12．子どもと違う年齢の人と交流できる場所
13．その他（　　）
14．特にない

問２８　子どもが放課後や休日に過ごす場所（子どもの居場所）として確保されていないと思う場所はどこですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．運動ができる場所	8．インターネットができる場所
2．外遊びができる場所	9．のんびりできる場所
3．自然とふれ合える場所	10．友だちと集まっておしゃべりできる場所
4．勉強ができる場所	11．子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所
5．本が読める場所	12．子どもと違う年齢の人と交流できる場所
6．音楽の練習ができる場所	13．その他（　　）
7．ゲームができる場所	

問２９　あなたは、あなたのお子さんが地域の一員として年齢の異なる子どもや大人たちといっしょに取り組むと良いと思う行事はどれだと思いますか。（あてはまるもの３つまで選択）

1．サッカーや野球などのスポーツ	9．工作、手芸、絵を書いたりする芸術創作活動
2．地域に伝わる踊りやお囃子などの伝統芸能	10．地域の出来事やお知らせごとをまとめる地域便りづくり
3．資源回収やリサイクル活動	11．地域住民との意見交換や老人クラブとの交流会
4．地域の清掃や落書き消し等のボランティア活動	12．プラネタリウム、美術館訪問などの教養活動
5．交通安全、防災、環境に関する学習	13．地区運動会やふれあい祭りなどの行事の企画・運営
6．地域の福祉施設や障がい者施設の訪問	14．その他（　　）
7．キャンプ、アスレチック等の野外活動	
8．ゲームやレクリエーションなどのお楽しみ会	

問３０　放課後の子どもの居場所づくり（子どもの活動や見守りなど）で、地域の住民として参画することについて、どのようにお考えですか。（１つを選択）

1．内容の企画検討から参加してみたい	3．必要だと思うが、参加は難しい
2．参加してもよい	4．関心はない

問３１　あなたのお子さんは、学校などで過ごす時間で、何を一番楽しみにしていますか。（１つを選択）

1．部屋の中での遊び	4．プール、水遊び
2．校庭での遊び	5．遠足や運動会などの行事
3．給食	6．その他（　　）

問３２　お子さんがスマホ等（スマートフォン、携帯ゲーム機等インターネットが接続できる機器）を利用していて、健康や対人関係などで「危ない」と感じたことはありますか。（１つを選択）

1．トラブルや被害にあったことがある
2．扱った使い方は危険だと思うが、今のところ被害はない
3．危険だとは思わない
4．スマホ等は持たせていない

いじめや不登校について伺います。

問３３　いじめについて伺います。あなたのお子さんは、これまでにいじめを受けたり、他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．自分の子どもがいじめを受けたことがある
2．自分の子どもが他の子をいじめたことがある
3．他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある
4．いじめを受けたり、見たり聞いたりしたことはない
5．その他（　　）

問３３で「１」～「３」（いじめをしたり、受けたり、見たり聞いたりしたことがある）を選んだ方に伺います。

問３３-１　いじめの理由は何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．学校の同級生や先輩・後輩とのトラブル	7．ゲームや趣味でのトラブル
2．学校外の同級生や先輩・後輩とのトラブル	8．体型・容姿
3．勉強やスポーツが苦手であること	9．登下校でのトラブル
4．障がいや発達のおくれ	10．その他（　　）
5．家庭の事情	11．特に理由はない／わからない
6．部活動でのトラブル	

すべての方に伺います。

問３４　不登校について伺います。あなたのお子さんは、これまでに学校に行かなくなったことがありましたか。（１つを選択）

1．ない	2．時々あった	3．よくあった	4．現在学校に行っていない

問３４で「２」～「４」（学校に行かなくなったことがあった、または現在学校に行っていない）を選んだ方に伺います。

問３４-１　学校に行かなくなった理由は何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．いじめ	5．体育や運動のこと	9．学校のきまりや集団生活のこと
2．友だちとのこと	6．給食のこと	10．その他（　　）
3．先生とのこと	7．部活動のこと	11．特に理由はない／わからない
4．勉強のこと	8．登下校のこと	

ヤングケアラーについて伺います。

問３５　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

1．知っている。意味もわかる
2．聞いたことがあるが、意味はわからない
3．知らない

問３５で「１」または「２」（知っている、聞いたことがある人）を選んだ方に伺います。

問３５-１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか。（あてはまるものすべてを選択）

1．テレビや新聞、ラジオ	5．イベント
2．雑誌や本	6．学校
3．ＳＮＳやインターネット	7．友達から聞いた
4．チラシや掲示物	8．その他（　　）

ご家庭での子育てや日頃感じていることについて伺います。

問３６　家庭におけるお子さんとの関係についてうかがいます（(1)、(2)について、母親、父親のそれぞれについて１つを選択）

（1）日ごろ、お子さんの話や気持ちを聞いていますか。

母親	父親
1．十分聞いていると思う	1．十分聞いていると思う
2．どちらかと言えば十分だと思う	2．どちらかと言えば十分だと思う
3．やや不足していると思う	3．やや不足していると思う
4．不足していると思う	4．不足していると思う
5．母親がいない	5．父親がいない

（2）お子さんの気持ちや考えをわかっていると思いますか。

母親	父親
1．十分聞いていると思う	1．十分聞いていると思う
2．どちらかと言えば十分だと思う	2．どちらかと言えば十分だと思う
3．やや不足していると思う	3．やや不足していると思う
4．不足していると思う	4．不足していると思う
5．母親がいない	5．父親がいない

問３７　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
こども基本法	1	2	3	4
子どもの権利条約	1	2	3	4

問３８　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）	1	2	3	4
子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）	1	2	3	4
子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）	1	2	3	4
子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）	1	2	3	4
子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）	1	2	3	4
子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）	1	2	3	4
子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（遊ぶ権利）	1	2	3	4
子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）	1	2	3	4

問３９　あなたは、お子さんに関わることを決めるときに、お子さんの意見を聞いて、大事に扱っていると思いますか。（１つを選択）

1．とても大事に扱っている
2．大事に扱っている
3．大事に扱っていない
4．全く大事に扱っていない

問４０　あなたは、子どもが大変いやな思い、つらい思いをするようなことを言ったり、したことがありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．子どもの心が傷つくようなことを言ったことがある	4．その他（　　）
2．子どもの心が傷つくようなことをしたことがある	5．特にない
3．子どもをたたいたりするなどの体罰をした	

問４１　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．あまりそう思わない	４．思わない

問４２　品川区は、３年前と比べて、子育てのしやすいまちになったと思いますか。（１つを選択）

１．とても子育てがしやすくなった
２．少しは子育てがしやすくなった
３．あまり変わらない
４．やや子育てがしにくくなった
５．非常に子育てがしにくくなった
６．３年前は住んでいなかったのでわからない

<なぜそう思いましたか>

理由：

問４３　安心して子育てをするためには、地域の人とどのような取組をする必要があると思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

１．子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
２．子育て中の親子が集まったり遊べたりする場を増やす
３．子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
４．ボランティアが活動しやすい環境をつくる
５．子どもと親が一緒にできる活動を増やす
６．地域の大人たちが連携して、子どもの活動の育成、支援をする
７．学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全対策や非行防止の活動をする
８．その他（　　）

問４４　あなたは最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか。（特に問題だと思うものを３つまで選択）

１．家庭でのしつけが不十分であること
２．地域社会での子どもへの関わりが不十分であること
３．学校での教育が不十分であること
４．受験競争が厳しいこと
５．親の収入などによって、受けられる教育に差があること
６．子どもの遊び場が少ないこと
７．テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること
８．子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により、親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること
９．子どもが安全に生活できなくなっていること
10．その他（　　）

問４５　お子さんは、今の生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

１．とても幸せだと思う	２．幸せだと思う	３．あまり幸せではないと思う	４．幸せではないと思う

問４６　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

１．とても幸せ	２．幸せ	３．あまり幸せではない	４．幸せではない

問４７　５年後のお子さんは、幸せな生活を送っていると思いますか。（１つを選択）

１．とても幸せだと思う	２．幸せだと思う	３．あまり幸せではないと思う	４．幸せではないと思う

問４８　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

１．とても幸せだと思う	２．幸せだと思う	３．あまり幸せではないと思う	４．幸せではないと思う

問４９　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケート調査は、終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。

中学生

（仮）品川区子ども計画の策定に向けた区民意識調査

～ご協力のお願い～

日頃より品川区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

品川区では、これまで「第２期品川区子ども・子育て支援計画」および「第２期品川区子ども・若者計画」を策定し、子ども・若者・子育て施策を計画的に推進してきましたが、この度、こども基本法に基づく「こども計画」と一体のものとして、「（仮）品川区子ども計画」を策定することといたしました。つきましては、策定の基礎資料とするため、中学生の皆様を対象とした「アンケート調査」を実施いたします。

お忙しいところ設問が多く誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- この調査は、区内にお住まいの中学生のみなさんを無作為に１，０００人抽出し、ご協力をお願いするものです。
- 調査票にはお名前を書いていただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 回答は、区の施策を検討するための基礎資料として活用いたします。

令和６年６月

品川区長　森澤　恭子

【ご回答にあたってのお願い】

1. アンケートは、友だちや保護者などに相談しないで、自分の考えをあなたご自身が回答してください。名前を書く必要はありませんので、誰がどのような回答をしたかが他の人に知られることはありません。
2. 回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。数字や文章をご記入いただく場合もあります。
3. 回答はＷＥＢ、調査票のどちらでもできます。
4. 選択肢に矢印やことわり書きがある場合は、それにしたがって次の設問に進んでください。
5. 回答期限は、**６月２１日(金)**です。

【お問合せ先】
品川区　子ども育成課　子ども施策・計画担当
電話：０３－５７４２－６６９２（８：３０～１７：１５ 土日祝除く）

ー インターネットでご回答いただく場合 ー

① スマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
※　スマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

【URL】
https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/shinagawa03

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインID】＊＊＊＊＊＊
【パスワード】＊＊＊＊＊＊
※ パスワードはアルファベット(小文字)

※　このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※　なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。

ー郵送でご回答いただく場合 ー

① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
② 調査票は、ご記入のうえ同封の返信用封筒に入れて封をし、ポストへ投函してください。

回答期限　令和6年6月 21 日(金)まで

みなさんにお聞きします。

問1　お住まいの地区をお答えください。（1つを選択）

No.	地区	町名・丁目
1	品川地区	北品川1～6、東品川1～5、南品川1～6、八潮1～3、東八潮、広町1
2	東大井・八潮地区	東大井1～6、南大井1～6、勝島1～3、八潮4・5
3	大崎地区	西品川1～3、大崎1～5、豊町1、平塚1、戸越1～5
4	大井地区	大井1～7、西大井1～6、二葉1～4、豊町2～6、広町2、戸越6
5	五反田地区	上大崎1～4、東五反田1～5、西五反田1～6、小山台1・2、小山1～3、荏原1～3
6	荏原地区	旗の台1～6、中延1～6、小山4～7、荏原4～7、平塚2・3、西中延1～3、東中延1・2

問2　性別を教えてください。（1つを選択）

1．男性	2．女性	3．答えたくない

問3　学年を教えてください（1つを選択）

1．中学1年生	2．中学2年生	3．中学3年生

問4　誰と一緒に住んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）
また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

1．母親
2．父親
3．兄弟姉妹
4．祖父
5．祖母
6．その他（　　）

家族全員で［　　］人で住んでいる

家族との関係について伺います。

問5　普段の家庭での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．つらい時に家族が助けてくれる
2．家庭にいて安心で守られていると感じる
3．家族は自分のことをよく知って大切にしてくれる
4．家族は自分と一緒にいてくれる時間がある
5．十分な食べ物がある
6．経済的なゆとりがある
7．自由にできるおこづかいがある
8．家族の仲が良い
9．塾や習い事に行かせてもらえる
10．服や必要なものを買ってもらえる
11．自分が安心していられる場所（自分の部屋など）がある
12．その他（　　）
13．特になし

問6　普段の家庭での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．親が自分の意見を聞いてくれない・無視される
2．家族の仲が悪い
3．親が家にいないことが多い、親と一緒にいる時間が少ない
4．離れて暮らす親や兄弟姉妹に会えない
5．食事をきちんと食べられないときがある
6．着ていく服がない（買ってもらえない・洗濯されていない）
7．家にお金がなく、食べ物や生活に必要なものが買えない
8．進学についてお金の問題や心配がある
9．兄弟姉妹の世話、親の介護、家事などの手伝いをしなければならない
10．眠る時間や休む時間が少ない
11．塾や習い事に行かせてくれない
12．遊ぶ時間が少ない
13．しつけが厳しい
14．自分が安心していられる場所（自分の部屋など）がない
15．勉強へのプレッシャーが大きい
16．その他（　　）
17．特になし

問7　家庭でこうなったらいいなと思うことや、あったらいいと思うサポートはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．家族に仲良くしてほしい
2．親にもっと家にいてほしい
3．親にもっと自分の話を聞いてほしい
4．勉強へのプレッシャーをあまりかけないでほしい
5．お金の心配をせずに暮らすための経済的なサポート
6．掃除をしたり、ご飯をつくってくれる人が来てくれる家事のサポート
7．家のことについて、誰にも知られずに相談できる場所があること
8．家族が暴力を振るわないようになるカウンセリングやプログラム
9．その他（　　）
10．特になし

あなた自身のことや、悩みごと、相談先について伺います。

問8　あなた自身の考えを教えてください。（それぞれ1つを選択）

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	思わない
自分の生活に満足している	1	2	3	4
自分には人に自慢できることがある	1	2	3	4
頑張れば、今できないことでもできるようになる	1	2	3	4
自分は、家族や友だちに大事にされている	1	2	3	4
自分のことが好きだ	1	2	3	4
自分の将来について明るい希望がある	1	2	3	4
自分の意見が言えている	1	2	3	4
自分には自分らしさというものがある	1	2	3	4
自分が望むように生きることについて、難しいと感じる	1	2	3	4

問9　悩みや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．健康や病気、体調不良	11．友だち
2．顔や体型	12．恋愛
3．性格やクセ	13．兄弟姉妹
4．運動	14．親
5．勉強	15．学校の先生
6．将来や進路	16．インターネット（ＳＮＳ）でのトラブル
7．アルバイトや仕事	17．ジェンダー（性の多様性）
8．経済的なこと	18．その他（　　）
9．日用品の不足	19．特になし
10．いじめ	

問10　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．母親	11．子どもセンターのスタッフ
2．父親	12．習い事や塾の先生
3．兄弟姉妹	13．職場の知り合いの人
4．祖父母	14．相談機関（保育センター、子ども家庭支援センター、児童相談所など）の人
5．親戚の人	
6．友だち・先輩	15．インターネットの相談サイト
7．担任の先生	16．ＳＮＳで知り合った人
8．保健室の先生	17．その他（　　）
9．その他（担任の先生と、保健室の先生以外）の学校の先生	18．誰もいない
10．スクールカウンセラー	

問11　最近、ストレスや生きづらさを感じましたか。（1つを選択）

1．よく感じた
2．ときどき感じた
3．ほとんど感じなかった
4．全く感じなかった

問11で、「1」～「3」（ストレスや生きづらさを感じた）を選んだ方に伺います。

問11－1　ストレスや生きづらさはどこで感じましたか。（あてはまるものすべてを選択）

1．家族との関係	5．友だちとの関係	9．性別によること
2．勉強がうまくいかないこと	6．精神的な健康問題	10．環境の変化
3．学校での生活	7．身体的な健康問題	11．政治的な不安定さ
4．競争社会や能力重視の文化	8．孤立や孤独	12．その他（　　）

すべての方に伺います。

問１２　困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。（それぞれ１つを選択）

	知っている	知らない
品川区子ども家庭支援センター（品川区） 子どもと家庭に関するあらゆる相談、児童虐待に関する相談 電話：０３－６４２１－５２３６	1	2
品川区立教育総合支援センター（品川区） 困りごと、悩みのなんでも相談 電話：０３－３４９０－２０００	1	2
こころのフリーダイヤル（品川区） カウンセラーや相談スタッフがお話をきます 電話：０１２０－５５２－７７７	1	2
HEARTS 専用電話（品川区） いじめのことで話したいとき 電話：０３－５７４０－８２２５	1	2
アイシグナル（品川区） いじめのことで相談したいとき 相談方法：学校配布の iPad ホーム画面にあるアイコンから相談	1	2
子ども若者応援フリースペース（品川区） 不登校・高校中退・ニート・ひきこもりなど、さまざまな「生きづらさ」を持つ子ども・若者とその家族を応援する居場所です。個別相談も行っています。 電話：０３－６４２１－５４７１	1	2
エールしながわ（品川区社会福祉協議会） ひきこもりに関する相談 電話：０３－５７１８－１２７３	1	2
東京都いじめ相談ホットライン（東京都） いじめ、学校生活、家族、友人関係、ヤングケアラー等に関する相談 電話０１２０－５３－８２２８	1	2
こころといのちのほっとライン（東京都） 生きることに悩んでいる人のための相談 電話：０５７０－０８７４７８	1	2
ヤング・テレフォン・コーナー（警視庁） 非行、いじめ、不登校、犯罪被害等に関する相談 電話０３－３５８０－４９７０	1	2

問１３　インターネットを主にどのようなことに利用していますか。
（特に利用の多いものを３つまで選択）

1．ニュースを知るために利用
2．情報検索で利用
3．地図やナビゲーションの利用
4．音楽を聴くために利用
5．動画をみるために使用
6．ゲームで利用
7．ＳＮＳの利用
8．ショッピングで利用
9．学校や塾の連絡で利用
10．その他（　　）
11．利用しない・インターネットにつながるものを持っていない

問１４　インターネットを利用して、何かトラブルが起きたことはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．身におぼえのない料金を請求された
2．知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
3．インターネットショッピングなどで詐欺にあった（商品が届かない、不良品が届く）
4．アカウントトラブル（乗っ取りなど）にあった
5．ＳＮＳなどで中傷やいやがらせを受けた
6．名前や住所、メールアドレスなどの個人情報が流出した
7．スパムメールが原因でトラブルに巻き込まれた
8．コンピューターウイルスに感染した
9．つきまとい、いやがらせなど、犯罪やトラブルに巻き込まれた
10．夜遅くまで使用して、寝起きられなかった（学校に遅刻する）
11．インターネットやＳＮＳなどが気になって、他のことが手につかなくなった
12．その他（　　）
13．特にない

学校での生活や、友だちについて伺います。

問１５　あなたは、学校生活についてどう思っていますか。（それぞれ１つを選択）

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	思わない
学校生活に満足している	1	2	3	4
友だちとよく遊んでいる	1	2	3	4
友だちと仲良くしている	1	2	3	4
友だちから好かれている	1	2	3	4
友だち関係での悩みが多い	1	2	3	4
友だちに悩みを相談することができる	1	2	3	4
学校の先生は、あなたの話を聞いてくれる	1	2	3	4

問１６　学校での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．友だちと遊べる、話せる	7．いじめ問題を解決しようとしてくれる
2．授業が自分の将来に役立つ	8．学校や先生が子どもの意見を聞いてくれて、その意見を大切にしてくれる
3．先生が好き、尊敬できる	9．安全で安心できる場所である
4．給食がある	10．その他（　　）
5．クラブ・部活動が充実している	11．特になし
6．いじめが少ない	

問１７　学校での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．友だちとうまくいかない	10．クラブ・部活動が忙しすぎる、楽しくない
2．授業が将来の役に立つと思わない	11．校則が厳しい・納得できない校則がある
3．勉強へのプレッシャーが大きい	12．通学のための荷物が重い・多い
4．先生が尊敬できない	13．いじめられる
5．学校や先生が生徒の意見を聞いてくれない	14．学校でいじめが起こっている
6．授業や部活で先生の厳しすぎる指導がある	15．学校や先生がいじめ問題にきちんと対応してくれない
7．授業や部活で先生の厳しすぎる指導がある	16．クラスが荒れている
8．授業が自分の能力にあっていない（難しすぎる・簡単すぎる）	17．その他（　　）
9．給食を食べる時間が少ない	18．特になし

普段の過ごし方や地域での活動について伺います。

問１８　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（３つまで選択）

1．自宅	8．ショッピングモールなどの買い物ができる場所
2．友だちの家	9．ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
3．祖父母の家や親せきの家	10．インターネットカフェ、マンガ喫茶
4．学校（部活動含む）	11．図書館や交流館など
5．放課後等デイサービス	12．公園、広場
6．塾や習い事の場所	13．飲食店やコンビニ
7．区のスポーツ施設	14．その他（　　）

問１９　放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。（３つまで選択）

1．体育館など室内で運動をしたい	7．地域の清掃活動やボランティアなどに取り組みたい
2．グラウンドなど外で遊んだり、運動したりしたい	8．家族と過ごしたい
3．公園で自由に遊びたい	9．友だちと遊んだり、話したりしたい
4．勉強をしたい	10．一人で好きなことをして過ごしたい
5．音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい	11．その他（　　）
6．キャンプやハイキング、自然体験などのアウトドアを楽しみたい	

問２０　家と学校以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が品川区にありますか。
（１つを選択）

1．ある	2．ない

問２１　放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったらいいと思うものはありますか。（３つまで選択）

1．運動ができる場所	8．インターネットができる場所
2．外遊びができる場所	9．のんびりできる場所
3．自然とふれ合える場所	10．友だちと集まっておしゃべりできる場所
4．勉強ができる場所	11．子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所
5．本が読める場所	12．子どもと違う年齢の人と交流できる場所
6．音楽の練習ができる場所	13．その他（　　）
7．ゲームができる場所	

問２２　学校以外の地域行事や活動にどのくらい参加していますか。（ジュニアクラブ、ボーイ・ガールスカウト、ボランティア活動、地域のおまつりなど）（１つを選択）

1．できるだけ多く参加している	2．ときどき参加している	3．ほとんど参加していない

問２３　あなたはコミュニティや地域社会で他人を支援したり、支えたりしたことがありますか。
（１つを選択）

1．日常的に取り組んでいる
2．たまに取り組んでいる
3．現在は取り組んでいないが、将来的には取り組みたい
4．現在は取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない

問２３で、「１」または「２」（取り組んでいる）を選んだ方に伺います。

問２３－１　どんな場所で取り組んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．地域センターや地域団体での活動支援	8．貧困層支援のための活動
2．高齢者支援や介護施設でのボランティア活動	9．動物保護団体でのボランティア活動
3．障がい者施設や特別支援学校でのボランティア活動	10．交通安全キャンペーンや地域安全活動での支援活動
4．地域の公園や道路での環境活動	11．子どものスポーツチームや文化団体でのサポート活動
5．イベントやお祭りでのボランティア活動	12．外国人を支援する活動
6．災害支援や支援団体での活動	13．その他（　　）
7．児童養護施設や図書館での支援活動	

すべての方に伺います。

問２４　あなたの普段の外出状況をお答えください。（１つを選択）

1．ほぼ毎日外出する（学校・遊び等）
2．週３～４日は外出する（学校・遊び等）　→問２５へ
3．普段は家事・育児・介護等で頻繁に外出できる状態ではないが、たまに外出する
4．ほとんど家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
5．ほとんど家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
6．自室からは出るが、家からは出ない
7．自室からほとんど出ない

問２４で、「４」～「７」（ほとんど家にいる・家や自室から出ない）を選んだ方に伺います。

問２４-１　その状態はどのくらい続いていますか。（１つを選択）

1．６か月未満
2．６か月～１年未満
3．１年～３年未満
4．３年～５年未満
5．５年以上

問２４-２　その状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．学校になじめなかった
2．病気になった
3．学校でいじめや嫌がらせにあった
4．人間関係が上手くいかなかった
5．受験に失敗した
6．怪我や病気
7．その他（　　）
8．特に理由はない

あなたの将来について伺います。

問２５　あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。（１つを選択）

1．中学卒業後に働きたい
2．高校まで進学したい／高校卒業後に働きたい
3．短大または専門学校まで進学したい
4．大学またはそれ以上まで進学したい

問２５－１　将来の進路をそのように答えたのはなぜですか。（１つを選択）

1．自分の希望がそうだから
2．親がそう希望しているから
3．兄、姉がそうしているから
4．周りの先輩や友だちがそうしているから
5．勉強が得意ではないから
6．家の経済的理由
7．早く働きたいから
8．その他（　　）

問２６　将来はどのような仕事につきたいですか。（３つまで選択）

1．自分のあこがれや夢の仕事
2．社会のためになる仕事
3．地元で働ける仕事
4．収入が多い仕事
5．同じ会社でずっと働ける仕事
6．外国の人と働く仕事
7．親と同じ仕事
8．高い技術や資格が必要な仕事
9．アルバイトやフリーターなど
10．その他（　　）
11．働きたくない

問２７　あなたは、将来品川区で働きたいと考えていますか。（１つを選択）

1．品川区に住んで働きたい
2．品川区にこだわらず、やりたいことをやれる場所で働きたい
3．とにかく品川区を出て働きたい
4．まだ決まっていない

問２８　現在自分の住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．あまりそう思わない　4．思わない

問２９　あなたは、将来結婚したいと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う
2．どちらかといえばそう思う
3．あまりそう思わない
4．思わない

問２９で、「３」または「４」（結婚したいと思わない）を選んだ方に伺います。

問２９－１　結婚したいと思わない理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。
（あてはまるものすべてを選択）

1．自由に使える時間がなくなりそうだから
2．自由に使えるお金がなくなりそうだから
3．周囲が不仲だったから
4．その他（　　）
5．特に理由はない・なんとなく

すべての方に伺います。

問３０　あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う
2．どちらかといえばそう思う
3．あまりそう思わない
4．思わない

ヤングケアラーについて伺います。

問３１　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

1．知っている。意味もわかる
2．聞いたことがあるが、意味はわからない
3．知らない

問３１で「１」または「２」（知っている、聞いたことがある人）を選んだ方に伺います。

問３１－１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか。（あてはまるものすべてを選択）

1．テレビや新聞、ラジオ
2．雑誌や本
3．ＳＮＳやインターネット
4．チラシや掲示物
5．イベント
6．学校
7．友達から聞いた
8．その他（　　）

すべての方に伺います。

問３２　あなたはお世話をする家族がいますか。（１つを選択）

1．いる　　2．いない

問３３　あなたはヤングケアラーにあてはまると思いますか。（１つを選択）

1．あてはまる　　2．あてはまらない　　3．わからない

子どもの権利について伺います。

問３４　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
こども基本法	1	2	3	4
子どもの権利条約	1	2	3	4

問３５　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）	1	2	3	4
子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）	1	2	3	4
子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）	1	2	3	4
子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）	1	2	3	4
子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）	1	2	3	4
子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）	1	2	3	4
子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（休息権利）	1	2	3	4
子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）	1	2	3	4

問３６　あなたや、あなたの子どもの周りの子どもで、子どもの権利が守られていないものはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）
2．子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）
3．子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）
4．子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）
5．子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）
6．子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）
7．子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（休息権利）
8．子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）
9．その他（　　）
10．特になし／子どもの権利が守られている

問３７　あなたの親や先生は、あなたについてのことを決めるときに、あなたの意見を聞いて、大事に扱ってくれると思いますか。（それぞれ１つを選択）

親	先生
1．とても大事に扱ってくれる	1．とても大事に扱ってくれる
2．大事に扱ってくれる	2．大事に扱ってくれる
3．大事に扱ってくれない	3．大事に扱ってくれない
4．全く大事に扱ってくれない	4．全く大事に扱ってくれない

問３８　品川区では、大人だけでなく、子どもの意見も大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を品川区に言えると思いますか。（１つを選択）

1．アンケート
2．意見交換ができるイベント
3．ＳＮＳでの意見投稿
4．子どもが委員として参加できる会議
5．その他（　　）

問３９　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．あまりそう思わない　4．思わない

問４０　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

1．とても幸せ　2．幸せ　3．あまり幸せではない　4．幸せではない

問４１　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

1．とても幸せだと思う　2．幸せだと思う　3．あまり幸せではないと思う　4．幸せではないと思う

以上でアンケート調査は、終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。

若者
（高校生から39歳）

（仮）品川区子ども計画の策定に向けた区民意識調査

～ご協力のお願い～

日頃より品川区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

品川区では、これまで「第２期品川区子ども・子育て支援計画」および「第２期品川区子ども・若者計画」を策定し、子ども・若者・子育て施策を計画的に推進してきましたが、この度、こども基本法に基づく「こども計画」と一体のものとして、「（仮）品川区子ども計画」を策定することといたしました。つきましては、策定の基礎資料とするため、若者の皆様を対象とした「アンケート調査」を実施いたします。

お忙しいところ設問が多く誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- この調査は、区内にお住まいの高校生から39歳までのみなさんを無作為に２，０００人抽出し、ご協力をお願いするものです。
- 調査票にはお名前を書いていただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 回答は、区の施策を検討するための基礎資料として活用いたします。

令和６年６月
品川区長　森澤　恭子

【ご回答にあたってのお願い】

1. アンケートは、自分の考えをあなたご自身が回答してください。名前を書く必要はありませんので、誰がどのような回答をしたかが他の人に知られることはありません。
2. 回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。数字や文章をご記入いただく場合もあります。
3. 回答はＷＥＢ、調査票のどちらでもできます。
4. 選択肢に矢印やことわり書きがある場合は、それにしたがって次の設問に進んでください。
5. 回答期限は、**６月２１日(金)**です。

【お問合せ先】
品川区　子ども育成課　子ども施策・計画担当
電話：０３－５７４２－６６９２（８：３０～１７：１５ 土日祝除く）

― インターネットでご回答いただく場合 ―

① スマートフォン、パソコン等でＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
※　スマートフォン、パソコン等の通信料は、利用者様のご負担となります。

【URL】
https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/shinagawa04

② 以下のログインＩＤ・パスワードを入力し、ログインしてください。

【ログインID】＊＊＊＊＊＊
【パスワード】＊＊＊＊＊＊
※ パスワードはアルファベット(小文字)

※　このログインＩＤはインターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※　なりすましによる回答を防ぐため、ログインＩＤ・パスワードは他の人に教えないでください。

③ 調査項目ごとに回答フォームが表示されます。質問文を読んで、該当する選択肢や、あなたの考えに当てはまるものを選んで回答してください。
④ すべての回答の入力が終わりましたら、回答の確認ページが表示されます。その内容でよろしければ「登録」ボタンを押してください。これで回答は終了です。

―郵送でご回答いただく場合 ―

① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
② 調査票は、ご記入のうえ同封の返信用封筒に入れて封をし、ポストへ投函してください。

回答期限　令和6年6月21日(金)まで

みなさんにお聞きします。

問1　お住まいの地区をお答えください。（1つを選択）

No.	地区	町名・丁目
1	品川地区	北品川1～6、東品川1～5、南品川1～6、八潮1～3、東八潮、広町1
2	東大井・八潮地区	東大井1～6、南大井1～6、勝島1～3、八潮4・5
3	大崎地区	西品川1～3、大崎1～5、豊町1、平塚1、戸越1～5
4	大井地区	大井1～7、西大井1～6、二葉1～4、豊町2～6、広町2、戸越6
5	五反田地区	上大崎1～4、東五反田1～5、西五反田1～6、小山台1・2、小山1～3、花原1～3
6	花原地区	旗の台1～6、中延1～6、小山4～7、花原4～7、平塚2・3、西中延1～3、東中延1・2

問2　性別を教えてください。（1つを選択）

1．男性　　2．女性　　3．答えたくない

問3　年齢を教えてください。（□内に数字（1枠に1字）をご記入ください）

□□ 歳

問4　あなたは現在、学業や仕事に従事していますか。（1つを選択）

1．高等学校
2．専門学校
3．高等専門学校・短期大学
4．4年制大学・大学院
5．浪人・予備校
6．その他の学校
7．常勤の勤め人（正社員・正職員）
8．契約社員・派遣社員
9．パート・アルバイト（学校等に通いながらの就業を除く）
10．自営業・家族従業・在宅勤務・内職
11．その他の雇用形態
12．無職・家事専業

問5　誰と一緒に住んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）
また、あなたを含めて、何人で住んでいるかを数字で記入してください。

1．母親
2．父親
3．兄弟姉妹
4．祖父
5．祖母
6．自分の子ども（□人）
7．配偶者
8．その他（　　）

家族全員で□人で住んでいる

あなた自身のことや、悩みごと、相談先について伺います。

問6　あなた自身の考えを教えてください。（それぞれ1つを選択）

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	思わない
自分の生活に満足している	1	2	3	4
自分には人に自慢できることがある	1	2	3	4
頑張れば、今できないことでもできるようになる	1	2	3	4
自分は、家族や友だちに大事にされている	1	2	3	4
自分のことが好きだ	1	2	3	4
自分の将来について明るい希望がある	1	2	3	4
自分の意見が言えている	1	2	3	4
自分には自分らしさというものがある	1	2	3	4
自分が望むように生きることについて、難しいと感じる	1	2	3	4

問7　悩みや心配なことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．経済や病気、体調不良
2．顔や体型
3．性格やクセ
4．運動
5．勉強
6．将来や進路
7．アルバイトや仕事
8．経済的なこと
9．日用品の不足
10．いじめ
11．友だち
12．恋愛
13．兄弟姉妹
14．親
15．学校の先生
16．職場の人のこと
17．インターネット（SNS）でのトラブル
18．ジェンダー（性の多様性）
19．その他（　　）
20．特になし

問８　何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいますか。
（あてはまるものすべてを選択）

1．母親	12．子どもセンターのスタッフ
2．父親	13．習い事や塾の先生
3．兄弟姉妹	14．地域の知り合いの人
4．祖父母	15．相談機関（教育センター、子ども家庭支援センター、児童相談所など）の人
5．配偶者	16．インターネットの相談サイト
6．親戚の人	17．ＳＮＳで知り合った人
7．友だち・先輩	18．職場の同僚や上司
8．担任の先生	19．その他（　　）
9．保健室の先生	20．誰もいない
10．その他（担任の先生と、保健室の先生以外）の学校の先生	
11．スクールカウンセラー	

問９　最近、ストレスや生きづらさを感じましたか。（１つを選択）

1．よく感じた
2．ときどき感じた
3．ほとんど感じなかった
4．全く感じなかった

問９で、「１」～「３」（ストレスや生きづらさを感じた）を選んだ方に伺います。

問９－１　ストレスや生きづらさはどこで感じましたか。（あてはまるものすべてを選択）

1．家族との関係	6．精神的な健康問題	11．職場の人との関係
2．勉強がうまくいかないこと	7．身体的な健康問題	12．仕事がうまくいかないこと
3．学校での生活	8．経済や経費	13．政治的な不安定さ
4．競争社会や能力重視の文化	9．性差によること	14．その他（　　）
5．友だちとの関係	10．環境の変化	

すべての方に伺います。

問１０　困ったときに、相談できるところ（相談窓口）で知っているところはどこですか。
（それぞれ１つを選択）

	知っている	知らない
品川区子ども家庭支援センター（品川区） 子どもと家庭に関するあらゆる相談、児童虐待に関する相談 電話：０３－６４２１－５２３６	1	2
品川区立教育総合支援センター（品川区） 困りごと、悩みのなんでも相談 電話：０３－３４９０－２０００	1	2
こころのフリーダイヤル（品川区） カウンセラーや相談スタッフがお話をききます 電話：０１２０－５５２－７７７	1	2
HEARTS 専用電話（品川区） いじめのことで話したいとき 電話：０３－５７４０－８２２５	1	2
アイシグナル（品川区） いじめのことで相談したいとき 相談方法：学校配布のiPadホーム画面にあるアイコンから相談	1	2
子ども若者応援フリースペース（品川区） 不登校・長校中退・ニート・ひきこもりなど、さまざまな「生きづらさ」を持つ子ども・若者とその家族を応援する居場所です。個別相談も行っています。 電話：０３－６４２１－５４７１	1	2
エールしながわ（品川区社会福祉協議会） ひきこもりに関する相談 電話：０３－５７１８－１２７３	1	2
東京都いじめ相談ホットライン（東京都） いじめ、学校生活、家族、友人関係、ヤングケアラー等に関する相談 電話０１２０－５３－８２２８	1	2
こころといのちのほっとライン（東京都） 生きることに悩んでいる人のための相談 電話：０５７０－０８７４７８	1	2
ヤング・テレフォン・コーナー（警視庁） 非行、いじめ、不登校、犯罪被害等に関する相談 電話０３－３５８０－４９７０	1	2

問１１　インターネットを主にどのようなことに利用していますか。
（特に利用の多いものを３つまで選択）

1．ニュースを見るために利用	7．ＳＮＳの利用
2．情報検索で利用	8．ショッピングで利用
3．地図やナビゲーションの利用	9．学校や塾の勉強で利用
4．音楽を聴くために利用	10．仕事で利用
5．動画をみるために使用	11．その他（　　）
6．ゲームで利用	12．利用しない・インターネットにつながるものを持っていない

問１２　インターネットを利用して、何かトラブルが起きたことはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．身に覚えのない料金を請求された
2．知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
3．インターネットショッピングなどで詐欺にあった（商品が届かない、不良品が届く）
4．アカウントトラブル（乗っ取りなど）にあった
5．ＳＮＳなどで中傷やいやがらせを受けた
6．名前や住所、メールアドレスなどの個人情報が流出した
7．スパムメールが原因でトラブルに巻き込まれた
8．コンピューターウイルスに感染した
9．つきまとい、いやがらせなど、犯罪やトラブルに巻き込まれた
10．夜遅くまで使用して、朝起きられなかった（学校や仕事に遅刻する）
11．インターネットやＳＮＳなどが気になって、他のことが手につかなくなった
12．その他（　　）
13．特にない

学校での生活や、友だちについて伺います。

問４で、「１」～「６」（学生）を選んだ方に伺います。
学生以外の方は、８ページ 問１６へお進みください。

問１３　あなたは、学校生活についてどう思っていますか。（それぞれ１つを選択）

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	思わない
学校生活に満足している	1	2	3	4
友だちとよく遊んでいる	1	2	3	4
友だちと仲良くしている	1	2	3	4
友だちから好かれている	1	2	3	4
友だち関係での悩みが多い	1	2	3	4
友だちに悩みを相談することができる	1	2	3	4
学校の先生は、あなたの話を聞いてくれる	1	2	3	4

問１４　学校での生活で、良いと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてを選択）

1．友だちと遊べる、話せる
2．授業が自分の将来に役立つ
3．先生が好き、尊敬できる
4．給食がある
5．クラブ・部活動が充実している
6．いじめが少ない
7．いじめ問題を解決しようとしてくれる
8．学校や先生が子どもの意見を聞いてくれて、その意見を大切にしてくれる
9．安全で安心できる場所である
10．その他（　　）
11．特になし

問１５　学校での生活で、不安や不満に感じていることはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．友だちとうまくいかない
2．授業が将来の役に立つと思わない
3．勉強へのプレッシャーが大きい
4．先生が尊敬できない
5．学校や先生が生徒の意見を聞いてくれない
6．授業や部活で先生の厳しすぎる指導がある
7．授業や部活で先生の厳しすぎる指導がある
8．授業が自分の能力にあっていない（難しすぎる・簡単すぎる）
9．給食を食べる時間が少ない
10．クラブ・部活動がたくさんある、楽しくない
11．校則が厳しい・納得できない校則がある
12．通学のための時間が長い・多い
13．いじめられる
14．学校でいじめが起こっている
15．学校や先生がいじめ問題にきちんと対処してくれない
16．クラスが荒れている
17．その他（　　）
18．特になし

仕事に関することについて伺います。

問４で、「７」～「１２」（学生以外）を選んだ方に伺います。

問１６　あなたが最も希望する雇用の形態等を教えてください。（就業していない方も、現在就業するとした場合に希望する雇用の形態をお答えください。）（１つを選択）

1．常勤の勤め人（正社員・正職員）
2．契約社員・派遣社員
3．パート・アルバイト（学校等に通いながらの就業を除く）
4．自営業・家族従業・在宅勤務・内職
5．その他の雇用形態
6．無職・家事専業

問１６-１　その雇用形態を希望する理由を教えてください。（最も重要な理由１つを選択）

1．安定していて長く続けられるから
2．収入が大きいから
3．子育て、介護等との両立がしやすいから
4．自由な時間が多いから
5．能力を高める機会があるから
6．特別に指示されずに、自分の責任で決められるから
7．その他（　　）

問4で、「7」～「11」（学生、無職・家事専業以外）を選んだ方に伺います。

問17　現在の勤め先に就職する際に利用した求職方法を教えてください。
（あてはまるものすべてを選択）

1．ハローワーク	8．家族・友人・知人などの紹介
2．民間職業紹介会社	9．勤務先関係からの紹介
3．ハローワークインターネットサービスの就職サイト	10．紹介予定派遣
4．その他のインターネットの就職サイト	11．その他（　　）
5．新聞・チラシ・就職情報誌等の求人広告	12．いずれも利用しなかった
6．会社のホームページ	
7．学校・教師等からの紹介	

問18　あなたは、現在の職業生活に満足していますか。（1つを選択）

1．大変満足している
2．どちらかといえば満足している
3．どちらかといえば不満である
4．大変不満である

問19　仕事上の悩みはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．仕事の内容・やりがい	7．雇用の安定性
2．人事評価・処遇のあり方	8．福利厚生
3．職場の人間関係、コミュニケーション	9．教育訓練・能力開発のあり方
4．賃金	10．その他（　　）
5．労働時間・休日等の労働条件	11．特にない
6．職場の環境（照明、空調、騒音等）	

普段の過ごし方や地域での活動について伺います。

問20　放課後（夕方）や休日はどこにいることが多いですか。（3つまで選択）

1．自宅	8．ショッピングモールなどの買い物ができる場所
2．友だちの家	9．ゲームセンター、カラオケ、ボウリングなどのアミューズメント施設
3．祖父母の家や親せきの家	10．インターネットカフェ、マンガ喫茶
4．学校（部活動含む）	11．図書館や交流館など
5．放課後等デイサービス	12．公園、広場
6．塾や習い事の場所	13．飲食店やコンビニ
7．区のスポーツ施設	14．その他（　　）

問21　放課後（夕方）や休日はどのように過ごしたいですか。（3つまで選択）

1．体育館など室内で運動をしたい
2．グラウンドなど外で遊んだり、運動したりしたい
3．公園で自由に遊びたい
4．勉強をしたい
5．音楽、読書、ゲームや動画視聴などの趣味を楽しみたい
6．キャンプやハイキング、自然体験などのアウトドアを楽しみたい
7．地域の清掃活動やボランティアなどに取り組みたい
8．家族と過ごしたい
9．友だちと遊んだり、話したりしたい
10．一人で好きなことをして過ごしたい
11．その他（　　）

問22　家と学校（職場）以外で、放課後（夕方）や休日に過ごしたいと思える場所が品川区にありますか。（1つを選択）

1．ある　　2．ない

問23　放課後（夕方）や休日に過ごす場所として、地域でこんな場所があったらいいと思うものはありますか。（3つまで選択）

1．運動ができる場所	8．インターネットができる場所
2．外遊びができる場所	9．のんびりできる場所
3．自然とふれ合える場所	10．友だちと集まっておしゃべりできる場所
4．勉強ができる場所	11．子どもと同じくらいの年齢の人と交流できる場所
5．本が読める場所	12．子どもと違う年齢の人と交流できる場所
6．音楽の練習ができる場所	13．その他（　　）
7．ゲームができる場所	

問24　学校や職場以外の地域行事や活動にどのくらい参加していますか。（ボーイ・ガールスカウト、ボランティア活動、地域のおまつりなど）（1つを選択）

1．できるだけ多く参加している　　2．ときどき参加している　　3．ほとんど参加していない

問25　あなたはコミュニティや地域社会で他人を支援したり、支えたりしたことがありますか（1つを選択）

1．日常的に取り組んでいる
2．たまに取り組んでいる
3．現在は取り組んでいないが、将来的には取り組みたい
4．現在は取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない

問２５で、「１」または「２」（取り組んでいる）を選んだ方に伺います。

問２５－１　どんな場所で取り組んでいますか。（あてはまるものすべてを選択）

１．地域センターや地縁団体での活動支援	８．貧困層支援のための活動
２．高齢者支援や介護施設でのボランティア活動	９．動物保護団体でのボランティア活動
３．障がい者施設や特別支援学校でのボランティア活動	10．交通安全キャンペーンや地域安全活動での支援活動
４．地域の公園や道路での環境活動	11．子どものスポーツチームや文化団体でのサポート活動
５．イベントやお祭りでのボランティア活動	12．外国人を支援する活動
６．災害支援や支援団体での活動	13．その他（　　）
７．児童養護施設や児童館での支援活動	

すべての方に伺います。

問２６　あなたの普段の外出状況をお答えください。（１つを選択）

１．ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び等）	→問２７へ
２．週３～４日は外出する（仕事・学校・遊び等）	
３．普段は仕事や家事・育児・介護等で頻繁に外出できる状態ではないが、たまに外出する	
４．ほとんど家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	
５．ほとんど家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	
６．自室からは出るが、家からは出ない	
７．自室からほとんど出ない	

問２６で、「４」～「７」（ほとんど家にいる・家や自室から出ない）を選んだ方に伺います。

問２６-１　その状態はどのくらい続いていますか。（１つを選択）

１．６か月未満	４．３年～５年未満
２．６か月～１年未満	５．５年以上
３．１年～３年未満	

問２６-２　その状態になったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

１．学校（職場）になじめなかった	
２．病気になった	
３．学校（職場）でいじめや嫌がらせにあった	
４．人間関係が上手くいかなかった	
５．受験や就職活動に失敗した	
６．怪我や病気	
７．その他（　　）	
８．特に理由はない	

あなたの将来について伺います。

問４で、「１」～「６」（学生）を選んだ方に伺います。
学生以外の方は、１３ページ問３０へお進みください。

問２７　あなたは、将来の進路をどのように考えていますか。（１つを選択）

１．高校卒業後に働きたい
２．短大または専門学校まで進学したい
３．大学またはそれ以上まで進学したい

問２７－１　将来の進路をそのように答えたのはなぜですか。（１つを選択）

１．自分の希望がそうだから	５．勉強が得意ではないから
２．親がそう希望しているから	６．家の経済的理由
３．兄、姉がそうしているから	７．早く働きたいから
４．周りの先輩やおとながそうしているから	８．その他（　　）

問２８　将来はどのような仕事につきたいですか。（３つまで選択）

１．自分のあこがれや夢の仕事	７．親と同じ仕事
２．社会のためになる仕事	８．高い技術や資格が必要な仕事
３．地元で働ける仕事	９．アルバイトやフリーターなど
４．収入が多い仕事	10．その他（　　）
５．同じ会社でずっと働ける仕事	11．働きたくない
６．外国の人と働く仕事	

問２９　あなたは、将来品川区で働きたいと考えていますか。（１つを選択）

１．品川区に住んで働きたい
２．品川区にこだわらず、やりたいことをやれる場所で働きたい
３．とにかく品川区を出て働きたい
４．まだ決まっていない

すべての方に伺います。

問３０　現在自分の住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。（１つを選択）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う	３．あまりそう思わない	４．思わない

問３１　あなたは、現在結婚していますか。（１つを選択）

１．結婚している
２．一度も結婚したことはない
３．過去に結婚していたが現在はしていない

問３１で、「２」または「３」（現在結婚していない）を選んだ方に伺います。

問３１-１　あなたは、将来結婚したいと思いますか。（１つを選択）

１．そう思う
２．どちらかといえばそう思う
３．あまりそう思わない
４．思わない

問３１-１で、「３」または「４」（結婚したいと思わない）を選んだ方に伺います。

問３１-２　結婚したいと思わない理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。
（あてはまるものすべてを選択）

１．自由に使える時間がなくなりそうだから
２．自由に使えるお金がなくなりそうだから
３．両親が不仲だったから
４．その他（　　）
５．特に理由はない・なんとなく

現在子どもがいない方に伺います。

問３２　あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか。（１つを選択）

１．そう思う
２．どちらかといえばそう思う
３．あまりそう思わない
４．思わない

ヤングケアラーについて伺います。

問３３　あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（１つを選択）

１．知っている。意味もわかる
２．聞いたことがあるが、意味はわからない
３．知らない

問３３で「１」または「２」（知っている、聞いたことがある人）を選んだ方に伺います。

問３３-１　「ヤングケアラー」という言葉はどこで知りましたか。（あてはまるものすべてを選択）

１．テレビや新聞、ラジオ	５．イベント
２．雑誌や本	６．学校
３．ＳＮＳやインターネット	７．友達から聞いた
４．チラシや掲示物	８．その他（　　）

すべての方に伺います。

問３４　あなたはお世話をする家族がいますか。（１つを選択）

１．いる	２．いない

問３５　あなたはヤングケアラーにあてはまると思いますか。（１つを選択）

１．あてはまる	２．あてはまらない	３．わからない

子どもの権利について伺います。

問３６　あなたは「こども基本法」「子どもの権利条約」について知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
こども基本法	1	2	3	4
子どもの権利条約	1	2	3	4

問３７　あなたは、子どもの権利条約の子どもの権利について、どの程度知っていますか。
（それぞれについて１つを選択）

	くわしく知っている	知っている	聞いたことがある	聞いたことはない
子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）	1	2	3	4
子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）	1	2	3	4
子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）	1	2	3	4
子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）	1	2	3	4
子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）	1	2	3	4
子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）	1	2	3	4
子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（休息・余暇権利）	1	2	3	4
子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）	1	2	3	4

問３８　あなたや、あなたの子どもの周りの子どもで、子どもの権利が守られていないものはありますか。（あてはまるものすべてを選択）

1．子どもはどんな理由でも差別されない（差別の禁止）
2．子どもの命が守られ、成長できる（生存・発達の権利）
3．子どもに関することについては、大人はその子どもにとって最も良いことを優先する（子どもの最善の利益の優先）
4．子どもは自分に関することについて、自由に意見をいうことができ、大人はそれを尊重する（子どもの意見の尊重）
5．子どもはあらゆる暴力から守られる（暴力からの保護）
6．子どもは教育を受ける権利がある（教育を受ける権利）
7．子どもは休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利がある（休息権利）
8．子どもは自由に考え、宗教を選ぶことができる（思想・宗教の自由）
9．その他（　　）
10．特になし／子どもの権利が守られている

問３９　品川区では、子ども・若者の意見も大切にしています。どのような機会があれば、自分の意見を品川区に言えると思いますか。（１つを選択）

1．アンケート
2．意見交換ができるイベント
3．ＳＮＳでの意見投稿
4．子どもが委員として参加できる会議
5．その他（　　）

問４０　品川区は、住みよいまちだと思いますか。（１つを選択）

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．あまりそう思わない　4．思わない

問４１　あなたは、今の生活に幸せを感じていますか。（１つを選択）

1．とても幸せ　2．幸せ　3．あまり幸せではない　4．幸せではない

問４２　５年後のあなたは、生活に幸せを感じていると思いますか。（１つを選択）

1．とても幸せだと思う　2．幸せだと思う　3．あまり幸せではないと思う　4．幸せではないと思う

以上でアンケート調査は、終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。

品川区こどもの策定に向けた区民意識調査報告書

発行年月　令和7年3月

発行　品川区

編集　品川区 子ども未来部 子ども育成課
〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区役所
電話 03-5742-6692